

子ども・子育て支援に関するニーズ調査
【乳幼児・小学生・中高生等の保護者】

平成30年度

福岡市

< 目 次 >

I 調査概要

1.	調査の目的	1
2.	調査の項目	1
3.	調査の性格	2
4.	調査主体	2
5.	調査の監修	2
6.	調査結果の見方	3

II 乳幼児の保護者調査結果

第1章	対象児童及び家庭の概況	5
1.	回答者の基本属性	5
2.	家庭の概況	6
第2章	子育て環境について	10
1.	子育て（教育を含む）への日常的なかかわり	10
2.	子育てに特に影響する環境	11
3.	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	12
4.	子育てに関する相談相手の有無	15
5.	子育てについて得たい情報	18
6.	子育てに関する情報入手先	20
第3章	地域子育て支援事業について	22
1.	福岡市の子ども・子育て支援事業の認知と利用、今後の利用意向	22
2.	子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用について	31
第4章	保護者の就労状況	41
1.	母親の就労状況	41
2.	父親の就労状況	47
第5章	定期的な教育・保育事業と子育て支援サービスの利用状況	53
1.	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	53
2.	平日の定期的な教育・保育事業の利用意向	63
3.	土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	67
4.	平日の定期的な教育・保育事業利用者の病気の際の対応について	75
5.	不定期の教育・保育事業の利用について	84
6.	宿泊を伴う一時預かり等の利用について	89
7.	小学校就学後の放課後の過ごし方について	92
第6章	子どもの日ごろの生活や居場所	98
1.	子どもの日ごろの生活状況	98
2.	外で遊ぶ時間	102
3.	子どもの遊び場について感じていること	104
4.	外出する際に困ること・困ったこと	105
第7章	育児休業など両立支援制度	106
1.	育児休業制度の取得状況	106
2.	育児休業取得後の職場復帰について	108
3.	育児休業を利用しなかった理由	116
4.	継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境	117
第8章	子育てに関する意識とかかわり	118
1.	家事・育児時間	118
2.	「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度	119

3.	母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり	123
4.	理想的な子どもの数と実際に予定している子どもの数	130
第9章	行政への要望	134
1.	充実してほしい子育て支援	134
2.	自由意見	136

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

第1章	対象児童及び家庭の概況	139
1.	回答者の基本属性	139
2.	家庭の概況	140
第2章	保護者の就労状況	143
1.	母親の就労状況	143
2.	父親の就労状況	151
第3章	子育て支援サービスの利用状況とニーズ	157
1.	病気の際の対応について	157
2.	子どもの一時預かりについて	162
3.	ファミリー・サポート・センターの利用について	165
第4章	子育てに関する意識とかかわり	168
1.	家事・育児時間	168
2.	「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度	171
3.	子育てに関する情報	175
4.	母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり	179
5.	子どもとのかかわり	187
6.	理想的な子どもの数と実際に予定している子どもの数	192
第5章	子どもの日ごろの生活や居場所	195
1.	子どもの日ごろの生活	195
2.	留守家庭子ども会の利用状況	213
3.	放課後等の遊び場づくり事業の利用意向	217
4.	子育て支援サービスの認知と利用経験、今後の利用意向	220
5.	地域の子育て環境	226
6.	生活体験・自然体験	231
第6章	行政への要望	235
1.	充実してほしい子育て支援	235
2.	自由意見	237

Ⅳ 中学生・高校生等の保護者調査結果

第1章	対象児童及び家庭の概況	239
1.	回答者の基本属性	239
2.	家庭の概況	241
第2章	保護者の就労状況	243
1.	保護者の就労状況	243
第3章	子どもの家庭やしつけについて	246
1.	子どもとの関係と会話の程度	246
2.	しつけや教育についての悩みと相談相手	258
3.	携帯電話やスマートフォン、インターネットなどの使用について	267
4.	学習や学校生活について	277

第4章 地域とのかかわり	283
1. 地域の子どもとのかかわり	283
2. 地域の子育て環境で不満なこと	285
3. 子ども の健全育成に必要なこと	287
4. 過去1年間に子どもと利用した公共施設	294
V 監修を終えて	
1. 乳幼児の保護者に対する調査結果について	297
2. 小学生の保護者に対する調査結果について	298
3. 中学生・高校生等の保護者に対する調査結果について	299
VI 参考資料（使用した調査票）	
福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（乳幼児の保護者）	301
福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（小学生の保護者）	315
福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（中学生・高校生等の保護者）	324

I 調查概要

I 調査概要

1. 調査の目的

子育てに関する意識、教育・保育事業及び子ども・子育て支援事業の利用状況や利用希望などを把握し、「第5次福岡市子ども総合計画」（計画期間：令和2年度～令和6年度）を策定するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

2. 調査の項目

●乳幼児の保護者

- (1) 子どもと家族の状況について
- (2) 子育て環境について
- (3) 子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用状況について
- (4) 保護者の就労状況について
- (5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- (6) 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について
- (7) 子どもの病気の際の対応について
- (8) 不定期の教育・保育事業の利用について
- (9) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- (10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について
- (11) 育児休業など職場の両立支援制度について
- (12) 子育てについて
- (13) 子ども・子育て支援について

●小学生の保護者

- (1) 子どもと家族の状況について
- (2) 保護者の就労状況について
- (3) 留守家庭子ども会等の利用について
- (4) 子どもの病気の際の対応について
- (5) 子どもの一時預かりについて
- (6) ファミリー・サポート・センターの利用について
- (7) 子育て支援サービスの認知度・利用の意向について
- (8) 子育てに関する情報について
- (9) 子育てに関する悩みや相談について
- (10) 子育てについて
- (11) 子どもの日頃の生活について
- (12) 遊び場や地域の子育て環境について
- (13) 子どもの数について
- (14) 子ども・子育て支援について

●中学生・高校生等の保護者

- (1) 子どもと家族の状況について
- (2) 子どものことやしつけについて
- (3) 地域について
- (4) 保護者の就労状況について

I 調査概要

3. 調査の性格

	乳幼児の保護者用調査	小学生の保護者用調査
調査対象者	就学前児童（0～5歳児）の保護者	小学1年生～6年生の保護者
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布，郵送回収	郵送配布，郵送回収
配布数	10,000	4,000
有効回収数 (有効回収率)	5,876 (58.8%)	2,391 (59.8%)
調査期間	平成31年1月～2月	平成31年1月～2月

中学生・高校生等の保護者用調査				
調査対象者	中学生・高校生等の保護者			
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出			
調査方法	郵送配布，郵送回収			
配布数	2,000	内 訳	中学生の保護者 1,000	高校生等の保護者 1,000
有効回収数 (有効回収率)	1,203 (60.2%)	内 訳	中学生の保護者 622 (62.2%)	高校生等の保護者 566 (56.6%)
調査期間	平成31年1月～2月			

4. 調査主体

福岡市こども未来局こども部総務企画課

5. 調査の監修

福岡大学人文学部
准教授 添田祥史

6. 調査結果の見方

- 回答比率の合計は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。
- 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超えることがある。
- 数表、図表、文中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがある。
- 「問〇-〇」は、前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して、続けて行った質問である。
- 文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して文中に表記する場合は『』とした。
- 今回の調査は、次の資料と比較分析を行っている。
「平成25年度 子ども・子育てに関するニーズ調査」平成25年10月～11月実施
※本報告書においては、「前回調査」と記載している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「VI 参考資料（使用した調査票）」を参照のこと。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

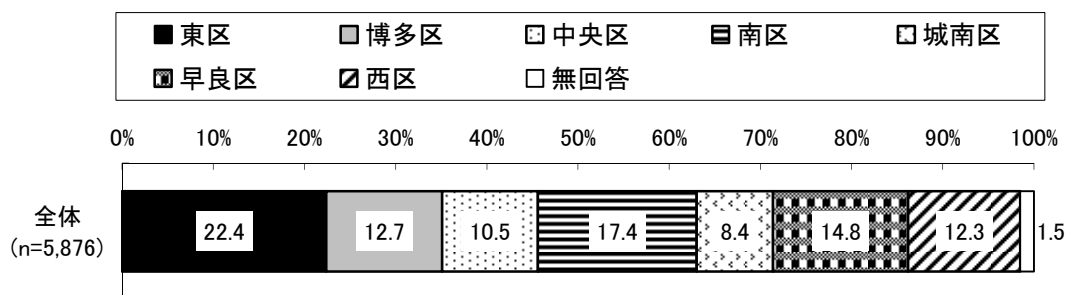
第1章 対象児童及び家庭の概況

1. 回答者の基本属性

(1) 居住区

問1 お住まいの区はどこですか。(〇は1つ)

図表-1 居住区



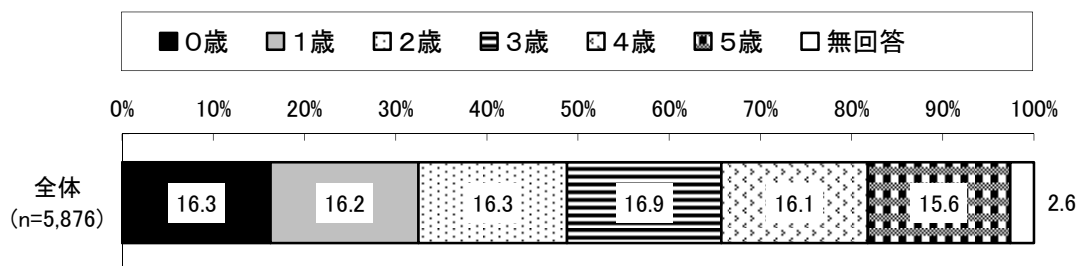
回答者の居住区は、最も多いのは「東区」(22.4%)、次いで多いのは「南区」(17.4%)で、以下「早良区」(14.8%)、「博多区」(12.7%)、「西区」(12.3%)、「中央区」(10.5%)、「城南区」(8.4%)の順となっている。

(2) 子どもの年齢

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

図表-2 子どもの年齢(平成30年4月1日時点)

※生年月より算出



子どもの年齢の内訳は、0歳児960名(16.3%)、1歳児954名(16.2%)、2歳児959名(16.3%)、3歳児991名(16.9%)、4歳児948名(16.1%)、5歳児914名(15.6%)となっている。

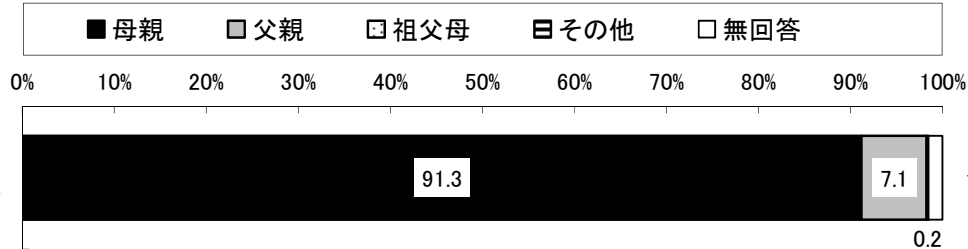
本報告書では、「子どもの年齢別」として分析する際には、「0歳」960名(16.3%)、『1～2歳』1,913名(32.5%)、『3～5歳』2,853名(48.6%)の3群に分けて集計したものをを用いる。

II 乳幼児の保護者調査結果

(3) 調査の回答者

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

図表-3 調査の回答者



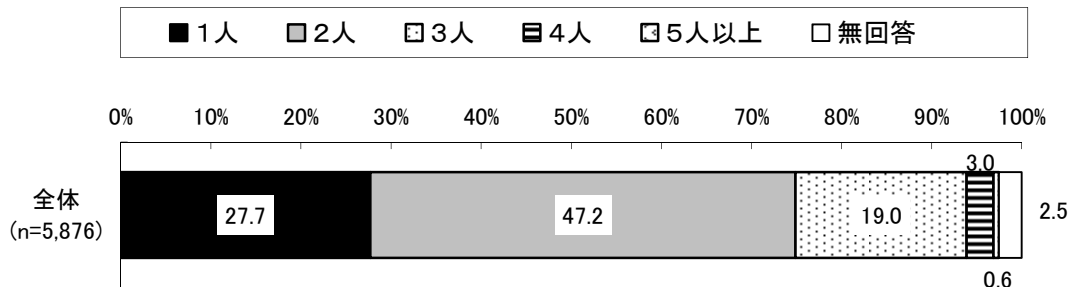
アンケート調査の回答者は、「母親」が91.3%とほとんどを占めており、「父親」は7.1%である。よって、本調査の結果は、「母親」の立場から見た子どもの生活状況や子育てに関する意識としてとらえられる。

2. 家庭の概況

(1) 子どもの人数・末子の年齢

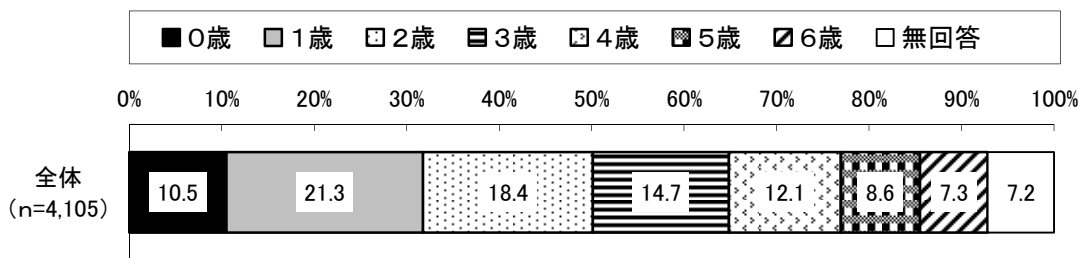
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(あて名のお子さんを含む)

図表-4 子どもの人数



問4 お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

図表-5 末子の年齢



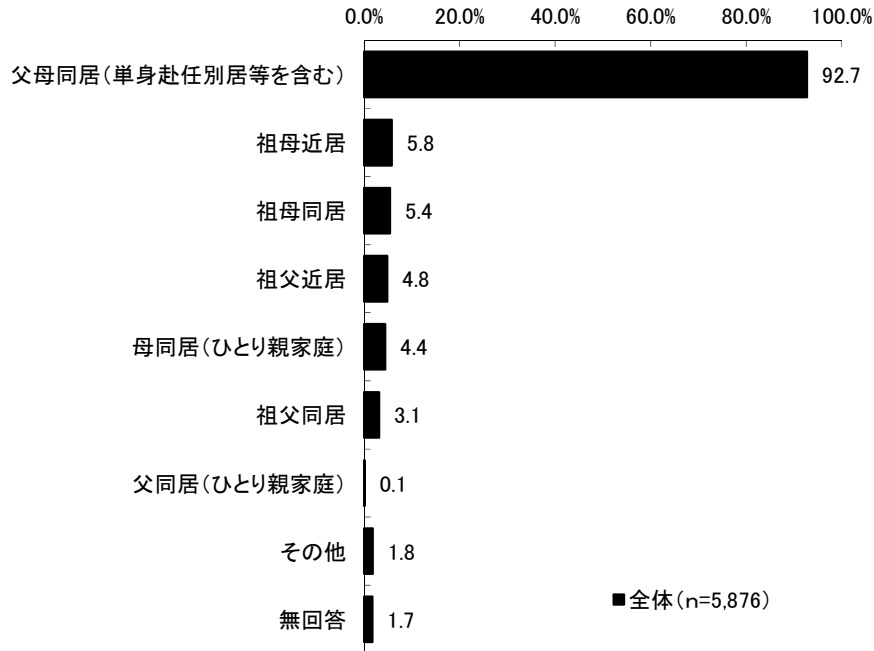
世帯の子どもの人数は、「2人」(47.2%)の割合が最も高く、次いで「1人」(27.7%)、「3人」(19.0%)、「4人」(3.0%)、「5人」(0.6%)となっており、7割程度がきょうだいのいる家庭となっている。

子どもが2人以上いる世帯の末子の年齢は、「1歳」(21.3%)の割合が最も高い。

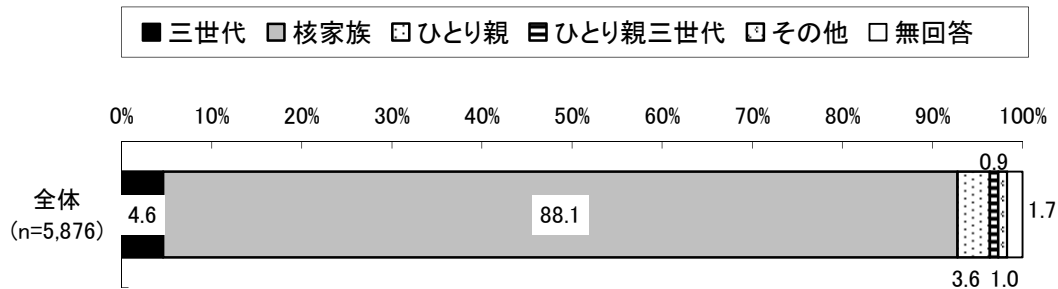
(2) 同居・近居状況

問5 あて名のお子さんとの同居の状況について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)
続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

図表-6 同居・近居状況



図表-7 世帯分類



子どもとの同居・近居状況は、「父母同居（単身赴任別居等を含む）」が92.7%と大部分を占めている。『ひとり親家庭』は「母同居（ひとり親家庭）」が4.4%、「父同居（ひとり親家庭）」が0.1%で、合わせて4.5%となっている。

祖父母等の同居・近居の状況は、「祖母近居」（5.8%）の割合が最も高く、「祖母同居」（5.4%）も同程度の割合となっている。

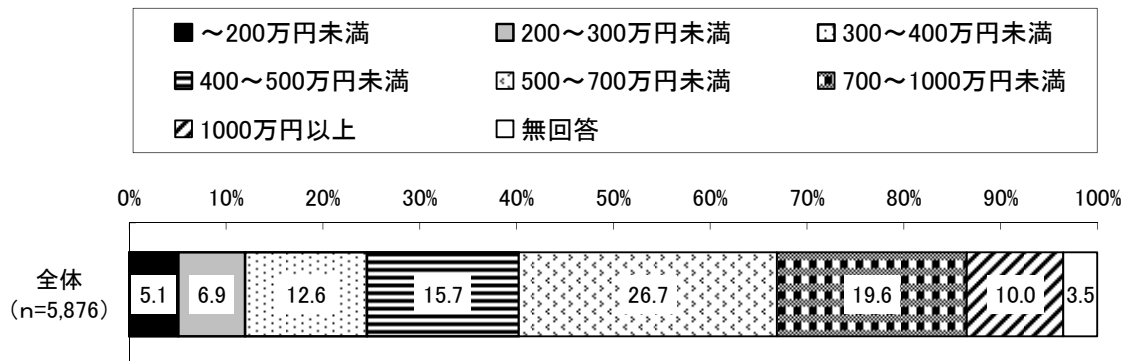
世帯分類は、「核家族」（88.1%）が全体の約9割を占めており、次いで「三世代」（4.6%）、「ひとり親」（3.6%）、「ひとり親三世代」（0.9%）となっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(3) 世帯年収

問7 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

図表-8 世帯年収

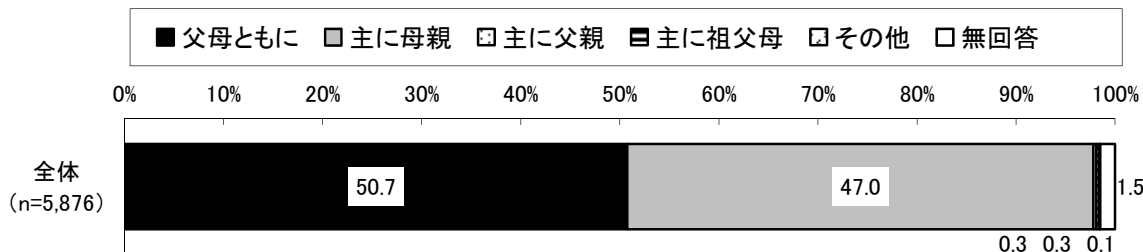


世帯の年収は、「500~700万円未満」(26.7%)の割合が最も高く、次いで「700~1000万円未満」(19.6%)、「400~500万円未満」(15.7%)、「300~400万円未満」(12.6%)となっている。

(4) 子育てを主に行っている人

問8 ご家庭において、あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

図表-9 子育てを主に行っている人



子育てを主に行っている人は、「父母ともに」(50.7%)の割合が最も高く、次いで「主に母親」(47.0%)となっている。

母親の就労状況別にみると、「父母ともに」の割合は、母親がフルタイム（59.4%）やパート・アルバイト等（51.3%）の場合に高くなっている。

図表－10 母親の就労状況別 主な保育者 （単位：%）

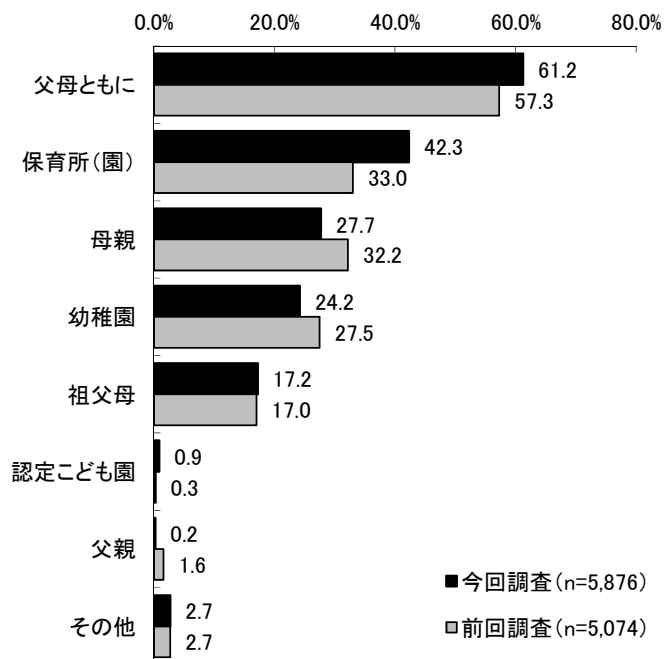
		標本数 (人)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全 体		5,876	50.7	47.0	0.3	0.3	0.1	1.5
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	2,013	59.4	38.5	0.2	0.3	0.1	1.5
	パート・アルバイト等で就労	1,659	51.3	46.5	0.2	0.2	0.1	1.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	41.6	56.5	0.5	0.2	-	1.3
	これまで就労したことがない	231	48.1	50.2	-	0.4	-	1.3
	無回答	150	45.3	50.0	-	0.7	1.3	2.7

第2章 子育て環境について

1. 子育て（教育を含む）への日常的なかかわり

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

図表－11 子育てに関わっている人（施設）



日常的に子育てに関わっている人（又は施設）は、「父母ともに」（61.2％）の割合が最も高く、次いで「保育所（園）」（42.3％）、「母親」（27.7％）、「幼稚園」（24.2％）、「祖父母」（17.2％）となっている。

前回調査と比較すると、「保育所（園）」は約9ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「幼稚園」の割合は3～5歳で約4割と高くなっている。

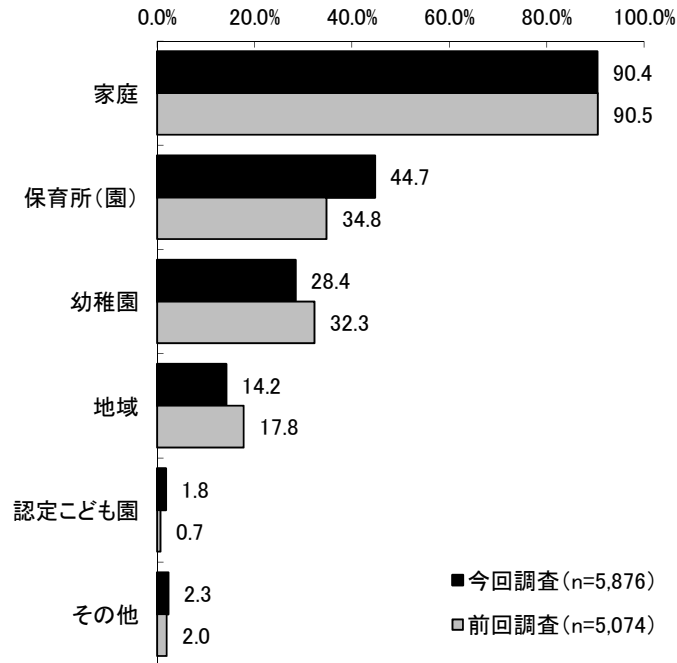
図表－12 子どもの年齢別 子育てに関わっている人（施設）（単位：％）

		標本数 (人)	父母 ともに	母親	父親	祖父 父母	幼 稚園	保 育所 (園)	認 定 こ ども 園	そ の 他	無 回 答
全体		5,876	61.2	27.7	0.2	17.2	24.2	42.3	0.9	2.7	0.8
子 ど も の 年 齢 別	0歳	960	59.0	35.6	-	17.3	1.3	31.8	0.4	3.4	0.2
	1～2歳	1,913	62.7	28.5	0.2	19.9	9.7	47.4	0.6	2.8	0.8
	3～5歳	2,853	60.8	24.4	0.2	14.7	41.7	42.6	1.2	2.4	0.9
	無回答	150	63.3	28.7	-	29.3	22.0	38.7	1.3	3.3	2.0

2. 子育てに特に影響する環境

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

図表－13 子育てに特に影響する環境



子育てに特に影響すると思われる環境は、「家庭」（90.4％）の割合が最も高く、次いで「保育園（所）」（44.7％）、「幼稚園」（28.4％）、「地域」（14.2％）となっている。

前回調査と比較すると、「保育所（園）」は約9ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「幼稚園」の割合は3～5歳で約4割と高くなっている。

図表－14 子どもの年齢別 子育てに特に影響する環境 （単位：％）

		標本数 (人)	家庭	地域	幼稚園	保育所 (園)	認定こども園	その他	無回答
全体		5,876	90.4	14.2	28.4	44.7	1.8	2.3	1.2
子どもの 年齢別	0歳	960	95.3	15.6	10.5	43.0	3.0	1.6	0.8
	1～2歳	1,913	91.0	13.4	17.0	48.1	1.3	1.9	1.2
	3～5歳	2,853	88.5	14.0	42.0	42.6	1.8	2.8	1.3
	無回答	150	84.7	17.3	31.3	52.0	3.3	2.7	2.0

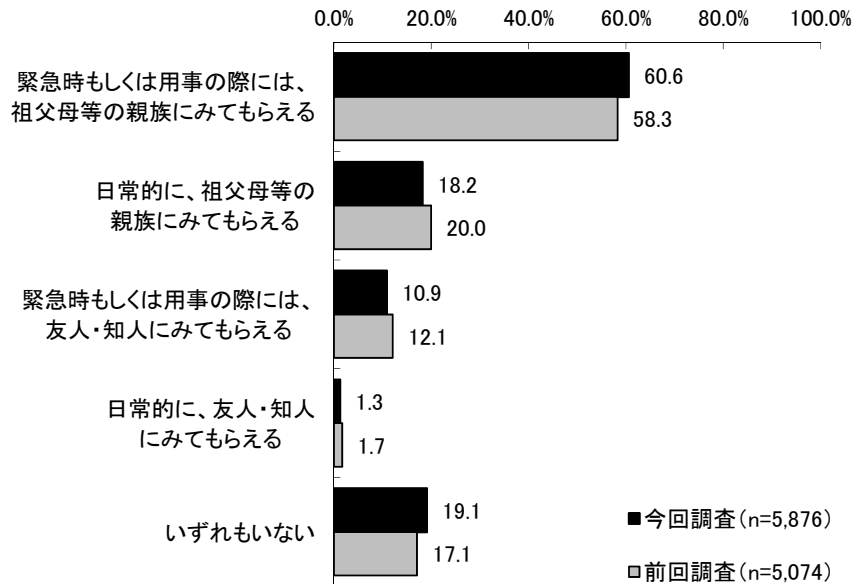
II 乳幼児の保護者調査結果

3. 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問11 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表－15 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(60.6%)の割合が最も高く、次いで「いずれもない」(19.1%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(18.2%)、「緊急時もしくは用事の際には友人・知人にみてもらえる」(10.9%)となっている。

前回調査と比較してもほぼ同様の結果となっている。

子どもの年齢別にみると、3～5歳では他の年齢に比べて、「緊急時もしくは用事の際には友人・知人にみてもらえる」(14.3%)の割合が高くなっている。

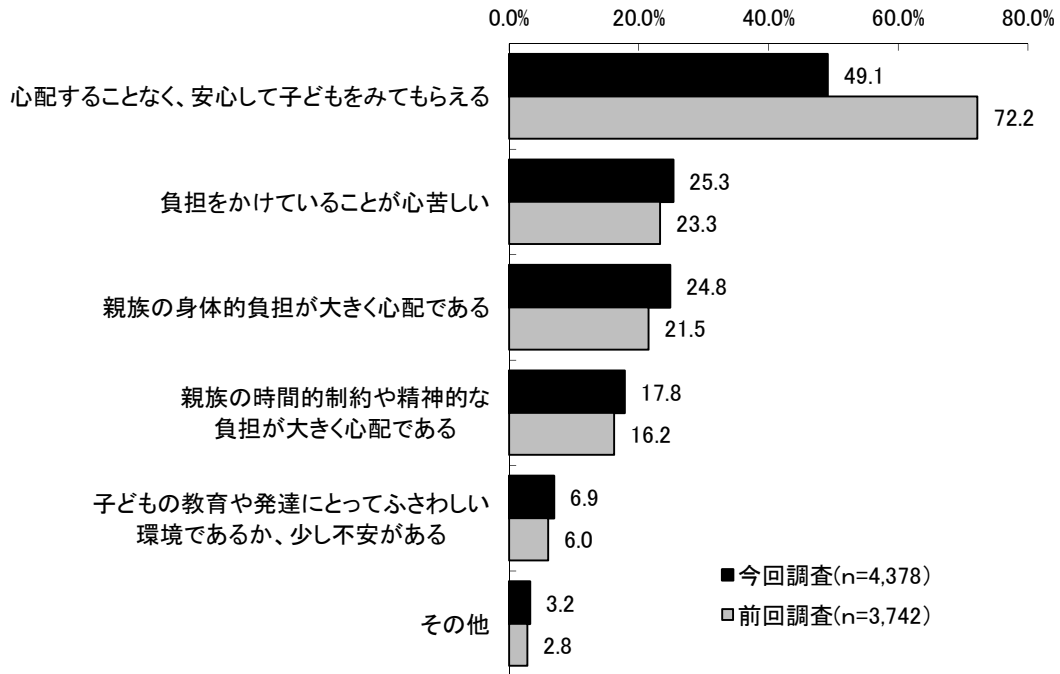
図表－16 子どもの年齢別 子どもをみてもらえる親族・知人の有無 (単位：%)

	標本数(人)	日常的に、祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時には、祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に、友人・知人にみてもらえる	緊急時には、友人・知人にみてもらえる	いずれもない	無回答	
全体	5,876	18.2	60.6	1.3	10.9	19.1	2.0	
子どもの年齢別	0歳	960	20.7	60.7	0.9	6.7	21.9	1.4
	1～2歳	1,913	19.8	61.0	1.0	8.0	18.8	1.7
	3～5歳	2,853	16.2	60.9	1.6	14.3	18.3	2.3
	無回答	150	22.0	48.7	2.0	10.0	20.7	4.0

(2) 親族に子どもをみてもらうときの気持ち

問11-1【問11で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。】親族にお子さんをみてもらうときの気持ちについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-17 親族に子どもをみてもらうときの気持ち



日常的、または緊急時に親族に子どもをみてもらうときの気持ちは、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(49.1%)の割合が最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」(25.3%)、「親族の身体的負担が大きく心配である」(24.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合は、約23ポイント減少している。

子どもの年齢別では、大きな違いはみられなかった。

図表-18 子どもの年齢別 親族に子どもをみてもらうときの気持ち (単位：%)

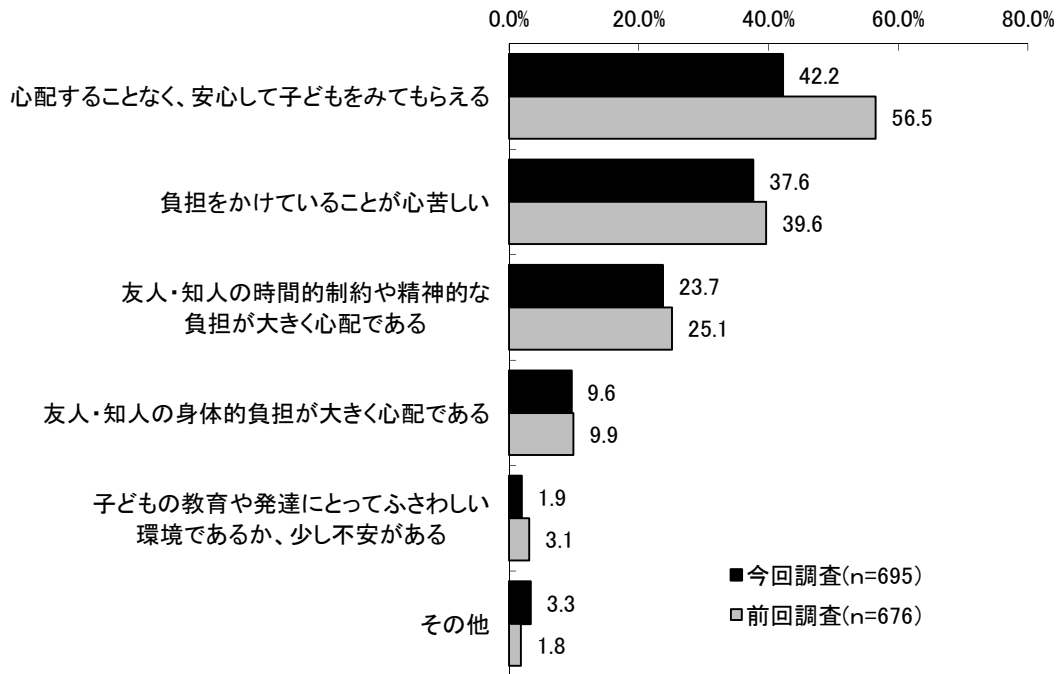
	標本数(人)	心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	親族の身体的負担が大きく心配である	親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達に不安がある	その他	無回答	
全体	4,378	49.1	24.8	17.8	25.3	6.9	3.2	0.7	
子どもの年齢別	0歳	719	50.6	24.8	17.7	22.5	6.3	4.5	1.1
	1~2歳	1,464	47.3	26.7	19.2	25.7	8.1	3.1	0.8
	3~5歳	2,093	49.6	23.6	17.0	26.5	6.4	2.7	0.5
	無回答	102	54.9	22.5	14.7	14.7	4.9	3.9	1.0

II 乳幼児の保護者調査結果

(3) 友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ち

問11-2【問11で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。】友人・知人にお子さんをみてもらうときの気持ちについて、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-19 友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ち



日常的、または緊急時に友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ちは、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(42.2%)の割合が最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」(37.6%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(23.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合は、約14ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、3~5歳では他の年齢に比べて、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(45.1%)の割合が高くなっている。

図表-20 子どもの年齢別 友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ち (単位: %)

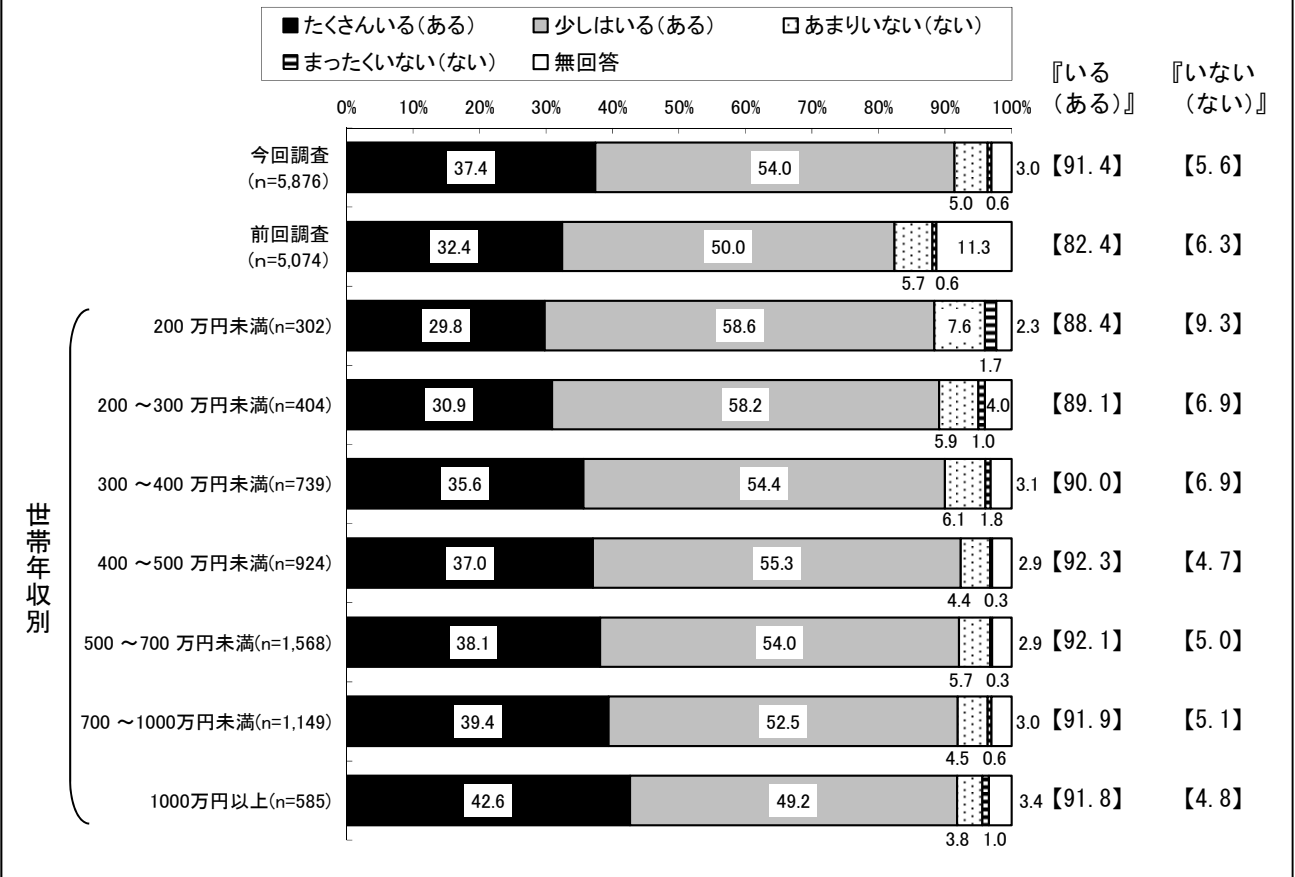
	標本数(人)	心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答	
全体	695	42.2	9.6	23.7	37.6	1.9	3.3	3.9	
子どもの年齢別	0歳	70	37.1	11.4	22.9	37.1	4.3	2.9	8.6
	1~2歳	169	38.5	12.4	23.1	36.7	3.0	4.7	4.7
	3~5歳	439	45.1	8.2	23.5	37.4	0.9	2.7	3.0
	無回答	17	23.5	11.8	41.2	52.9	5.9	5.9	-

4. 子育てに関する相談相手の有無

(1) 相談相手の有無

問12 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人、また、相談できる場所についてお答えください。(〇は1つ)

図表-21 相談相手の有無



相談相手の有無については、「少しはいる(ある)」(54.0%)の割合が最も高く、次いで「たくさんいる(ある)」(37.4%)、「あまりいない(ない)」(5.0%)、「まったくいない(ない)」(0.6%)となっている。

「たくさんいる(ある)」と「少しはいる(ある)」を合わせた『いる(ある)』は91.4%となっており、前回調査と比較すると9ポイント増加している。

世帯年収別にみると、年収が高い世帯ほど「たくさんいる(ある)」の割合も高い。

子どもの年齢別では、大きな違いはみられなかった。

図表-22 子どもの年齢別 相談相手の有無 (単位: %)

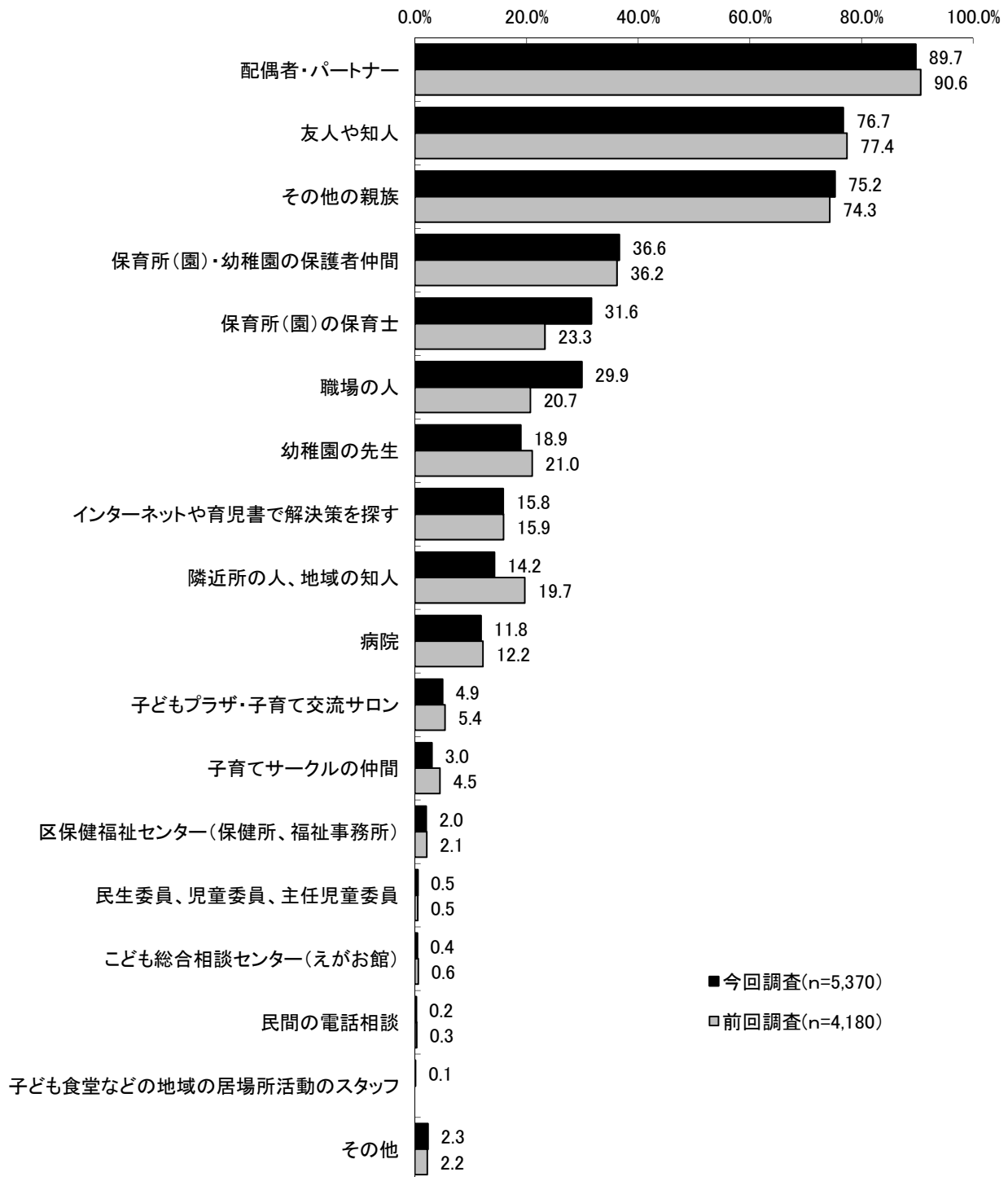
	標本数(人)	たくさんいる(ある)	少しはいる(ある)	あまりいない(ない)	まったくいない(ない)	無回答	『いる(ある)』	『いない(ない)』	
全体	5,876	37.4	54.0	5.0	0.6	3.0	91.4	5.6	
子どもの年齢別	0歳	960	37.6	54.5	4.6	0.6	2.7	92.1	5.2
	1~2歳	1,913	38.4	53.3	5.1	0.7	2.6	91.7	5.8
	3~5歳	2,853	36.8	54.3	4.9	0.6	3.4	91.1	5.5
	無回答	150	33.3	56.0	6.0	1.3	3.3	89.3	7.3

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(2) 気軽に相談できる相手

問12-1 【問12で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。】お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-23 気軽に相談できる相手



※「子ども食堂などの地域の居場所活動のスタッフ」は、今回調査で新規で追加された項目

子育てに関して気軽に相談できる先は、「配偶者・パートナー」（89.7％）の割合が最も高く、次いで「友人や知人」（76.7％）、「その他の親族」（75.2％）となっている。

前回調査と比較すると、「保育所（園）の保育士」「職場の人」は約8～9ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、3～5歳は「保育所（園）・幼稚園の保護者仲間」（46.9％）「幼稚園の先生」（29.0％）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合は「職場の人」や「保育所（園）の保育士」、現在就労していない場合は「幼稚園の先生」の割合が高い。

図表－24 子どもの年齢別・母親の就労状況別 気軽に相談できる相手 （単位：％）

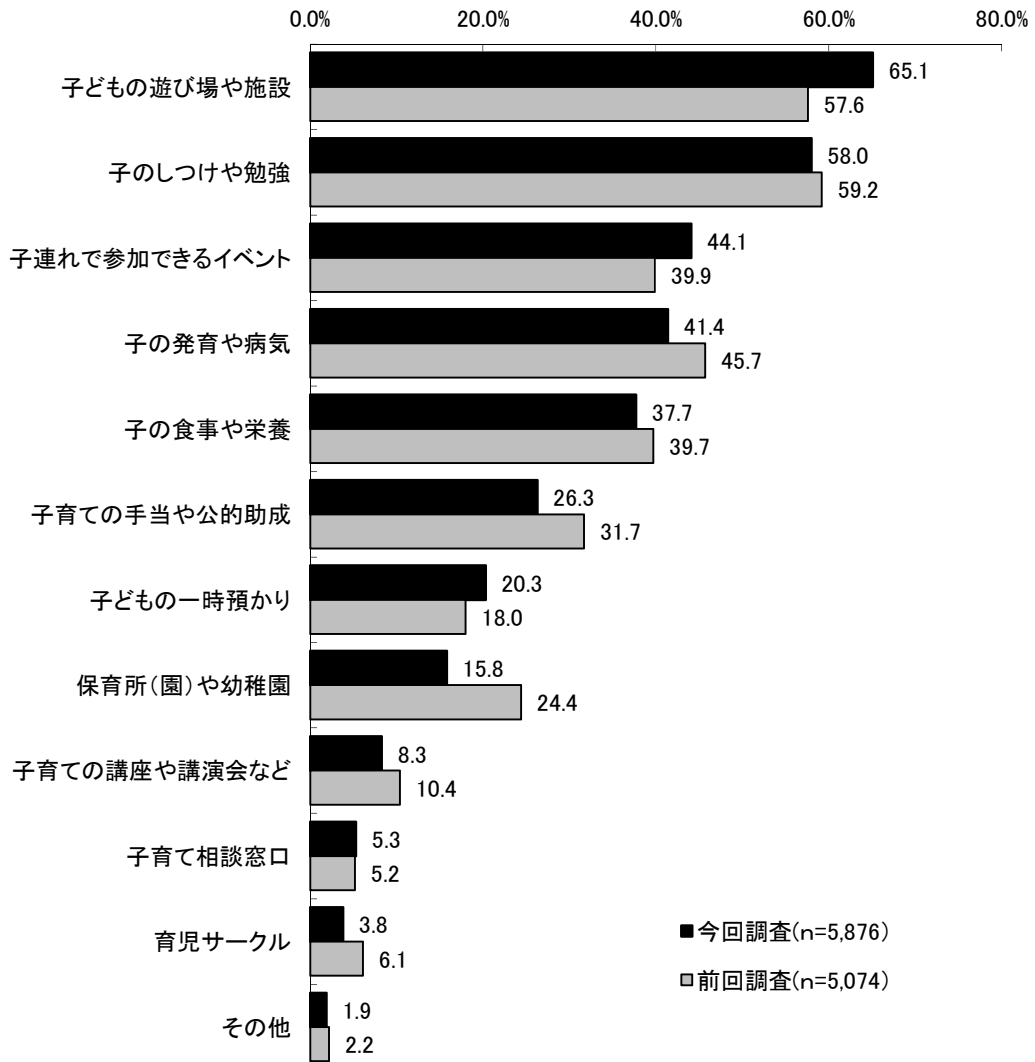
	標本数（人）	配偶者・パートナー	その他の親族	友人や知人	隣近所の人、地域の知人	職場の人	の保育所（園）・幼稚園の保護者仲間	子育てサークルの仲間	保育所（園）の保育士	幼稚園の先生	所（保健福祉センター）
全体	5,370	89.7	75.2	76.7	14.2	29.9	36.6	3.0	31.6	18.9	2.0
子どもの年齢別	0歳	884	92.0	80.7	78.4	12.9	26.5	19.9	4.0	27.7	3.8
	1～2歳	1,753	90.8	78.0	77.3	13.9	30.3	30.3	3.8	35.8	2.5
	3～5歳	2,599	88.5	71.5	75.8	15.1	30.9	46.9	2.0	30.4	1.3
	無回答	134	85.1	73.9	75.4	10.4	29.1	30.6	6.0	23.9	1.5
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,851	88.3	75.6	72.8	11.0	49.9	37.9	1.7	53.5	3.3
	パート・アルバイト等で就労	1,520	88.4	71.9	77.8	14.9	41.5	42.6	2.0	40.6	1.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,668	92.6	77.9	79.6	16.4	2.2	30.9	4.8	3.4	32.6
	これまで就労したことがない	202	91.6	75.7	79.7	18.3	1.5	29.7	5.0	3.0	38.1
	無回答	123	87.8	69.1	77.2	18.7	10.6	32.5	8.1	18.7	30.1

	標本数（人）	子どもプラザ・子育て交流サロン	病院	主任児童委員、児童委員	民生委員、児童委員	子どもの居場所活動などのスタッフ	子ども食堂などの地域ター（えがお館）	こども総合相談センター（えがお館）	民間の電話相談	書で解決策を探す	インターネットや育児	その他	無回答
全体	5,370	4.9	11.8	0.5	0.1	0.4	0.2	15.8	2.3	0.1			
子どもの年齢別	0歳	884	10.0	14.7	0.8	0.1	0.8	0.3	20.9	1.6			
	1～2歳	1,753	6.6	13.0	0.6	0.1	0.4	0.2	16.2	2.2			
	3～5歳	2,599	1.9	10.1	0.4	0.1	0.3	0.1	13.5	2.5			
	無回答	134	9.0	10.4	-	-	-	0.7	19.4	2.2			
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,851	3.7	11.6	0.2	0.1	0.2	0.2	16.4	1.6			
	パート・アルバイト等で就労	1,520	2.0	10.5	0.3	-	0.5	0.1	14.9	1.8			
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,668	8.8	13.2	1.1	0.1	0.6	0.2	16.2	3.1			
	これまで就労したことがない	202	5.9	10.9	-	0.5	0.5	-	14.9	3.0			
	無回答	123	5.7	13.8	0.8	-	1.6	0.8	12.2	4.9			

5. 子育てについて得たい情報

問13 いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-25 子育てについて得たい情報



子育てについて得たい情報は、「子どもの遊び場や施設」(65.1%)の割合が最も高く、次いで「子のしつけや勉強」(58.0%)、「子連れで参加できるイベント」(44.1%)、「子の発育や病気」(41.4%)、「子の食事や栄養」(37.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの遊び場や施設」の割合は約8ポイント増加し、「子育ての手当や公的助成」「保育所(園)や幼稚園」は約5~9ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べ「子の食事や栄養」（54.3%）、「保育所（園）や幼稚園」（32.5%）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合に比べて、現在就労していない場合は「子どもの一時預かり」の割合が高い。

世帯分類別にみると、ひとり親三世代はその他に比べて「子のしつけや勉強」（69.2%）、「子の発育や病気」（59.6%）、「子育ての手当や公的助成」（50.0%）の割合が高くなっている。

図表－26 子どもの年齢別・母親の就労状況別・世帯分類別

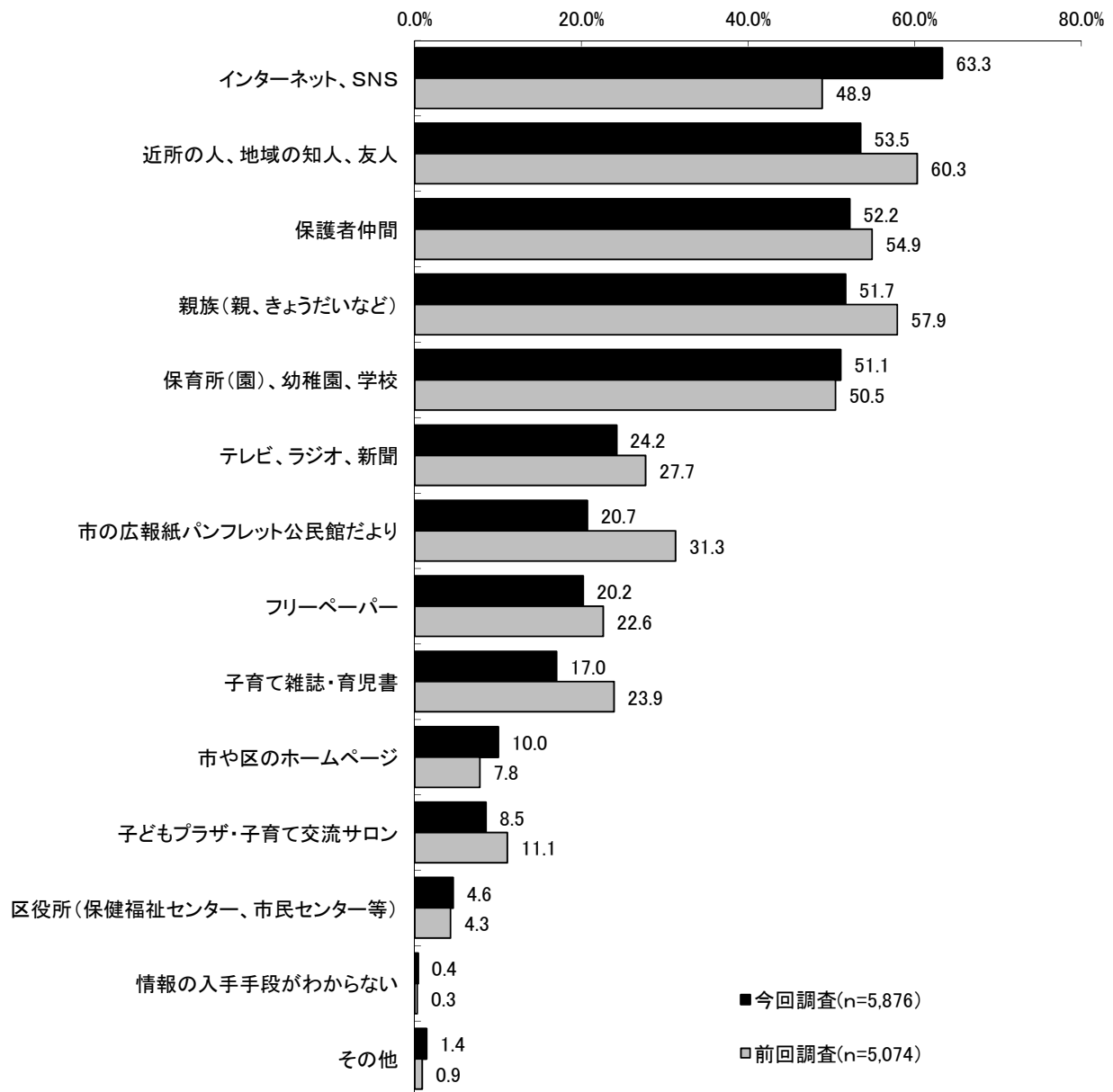
子育てについて得たい情報（単位：％）

	標本数（人）	子の発育や病気	子の食事や栄養	子のしつけや勉強	保育所（園）や幼稚園	子どもと一緒に参加できるイベント	子どもの遊び場や施設	子育て相談窓口	子育ての手当や公的助成	育児サークル	子育ての講座や講演会など	子どもの一時預かり	その他	無回答	
全体	5,876	41.4	37.7	58.0	15.8	44.1	65.1	5.3	26.3	3.8	8.3	20.3	1.9	2.4	
子どもの年齢別	0歳	960	49.7	54.3	55.1	32.5	50.3	69.8	5.9	30.3	6.8	9.2	24.2	1.4	1.0
	1～2歳	1,913	41.9	40.4	57.6	21.2	44.1	66.6	5.7	26.2	4.5	8.2	21.4	2.0	2.0
	3～5歳	2,853	38.1	29.9	59.5	6.4	41.7	62.6	4.8	25.1	2.2	7.9	18.2	2.0	3.0
	無回答	150	42.7	44.7	56.0	19.3	49.3	64.7	6.0	25.3	5.3	10.7	22.0	2.7	4.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	41.5	38.4	60.3	13.8	44.6	65.7	4.3	25.6	3.0	7.5	18.0	2.2	2.3
	パート・アルバイト等で就労	1,659	40.7	35.1	56.2	11.0	38.3	62.0	4.3	28.3	1.9	6.7	15.0	1.5	3.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	42.0	39.7	56.6	22.8	48.6	68.2	6.8	26.2	5.8	10.3	27.1	2.1	1.8
	これまで就労したことがない	231	39.8	34.6	58.0	13.0	44.2	61.0	7.8	20.3	6.9	10.4	24.2	0.9	2.6
	無回答	150	40.0	36.7	64.0	14.0	48.0	62.0	8.7	26.0	5.3	9.3	21.3	2.0	3.3
世帯分類別	三世代	272	44.9	36.8	62.5	15.4	45.2	68.0	3.7	31.6	2.6	8.8	16.5	1.5	2.2
	核家族	5,176	41.3	38.0	57.9	16.0	44.2	65.6	5.3	25.5	3.8	8.5	20.5	1.9	2.3
	ひとり親	213	35.7	31.0	50.2	7.5	38.5	52.6	5.6	32.4	1.9	3.3	21.1	1.9	3.3
	ひとり親三世代	52	59.6	34.6	69.2	19.2	42.3	61.5	9.6	50.0	1.9	3.8	21.2	3.8	-
	その他	61	44.3	39.3	67.2	18.0	45.9	50.8	14.8	37.7	4.9	6.6	18.0	-	4.9
	無回答	102	38.2	39.2	60.8	23.5	47.1	68.6	4.9	25.5	6.9	9.8	18.6	2.9	4.9

6. 子育てに関する情報入手先

問14 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-27 子育てに関する情報入手先



子育てに関する情報の入手先は、「インターネット、SNS」(63.3%)の割合が最も高く、次いで「近所の人、地域の知人、友人」(53.5%)、「保護者仲間」(52.2%)、「親族(親、きょうだいなど)」(51.7%)、「保育所(園)、幼稚園、学校」(51.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「インターネット、SNS」の割合は約15ポイント増加し、一方で「近所の人、地域の知人、友人」「親族(親、きょうだいなど)」「市の広報紙パンフレット公民館だより」「子育て雑誌・育児書」は、それぞれ約6~11ポイント減少している。

世帯分類別にみると、ひとり親三世代はその他に比べて「親族（親、きょうだいなど）」（65.4%）の割合が高くなっている。また、ひとり親とひとり親三世代は「保護者仲間」（ひとり親：38.5%、ひとり親三世代：26.9%）の割合が低くなっている。

図表－28 世帯分類別 子育てに関する情報入手先 （単位：%）

		標本数（人）	親族（親、きょうだいなど）	近所の人、友人、地域の知人	保護者仲間	子どもプラザ・子育て交流サロン	園、学校	区役所（保健福祉センター、市民センター等）	市の広報紙パンフレット 公民館だより	市や区のホームページ
全体		5,876	51.7	53.5	52.2	8.5	51.1	4.6	20.7	10.0
世帯分類別	三世代	272	53.3	48.5	53.7	7.4	55.5	5.9	19.1	7.7
	核家族	5,176	51.5	54.0	53.1	8.6	50.6	4.5	21.2	10.2
	ひとり親	213	50.7	48.8	38.5	3.3	61.0	5.2	13.6	8.9
	ひとり親三世代	52	65.4	53.8	26.9	-	57.7	11.5	15.4	9.6
	その他	61	55.7	54.1	49.2	9.8	44.3	-	13.1	11.5
	無回答	102	50.0	51.0	46.1	20.6	49.0	3.9	20.6	8.8

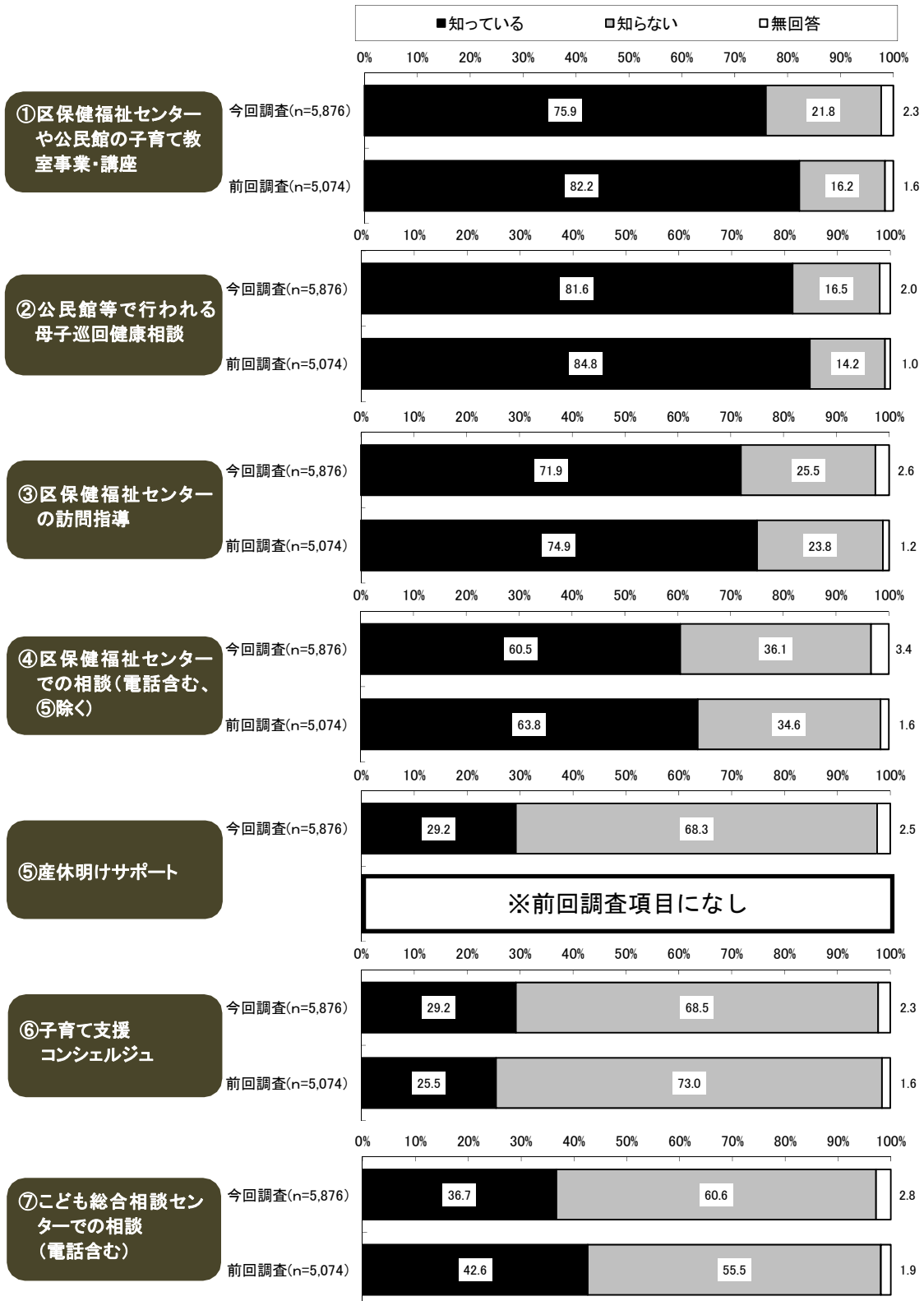
		標本数（人）	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	フリーペーパー	S インターネット、S N	情報の入手手段がわからない	その他	無回答
全体		5,876	24.2	17.0	20.2	63.3	0.4	1.4	1.0
世帯分類別	三世代	272	25.4	18.4	23.2	64.3	0.7	2.6	1.1
	核家族	5,176	24.1	17.3	20.3	63.5	0.3	1.3	0.9
	ひとり親	213	23.0	8.5	14.1	59.2	0.5	2.3	-
	ひとり親三世代	52	32.7	17.3	15.4	67.3	-	1.9	-
	その他	61	23.0	21.3	19.7	68.9	-	-	4.9
	無回答	102	25.5	12.7	19.6	56.9	-	3.9	2.0

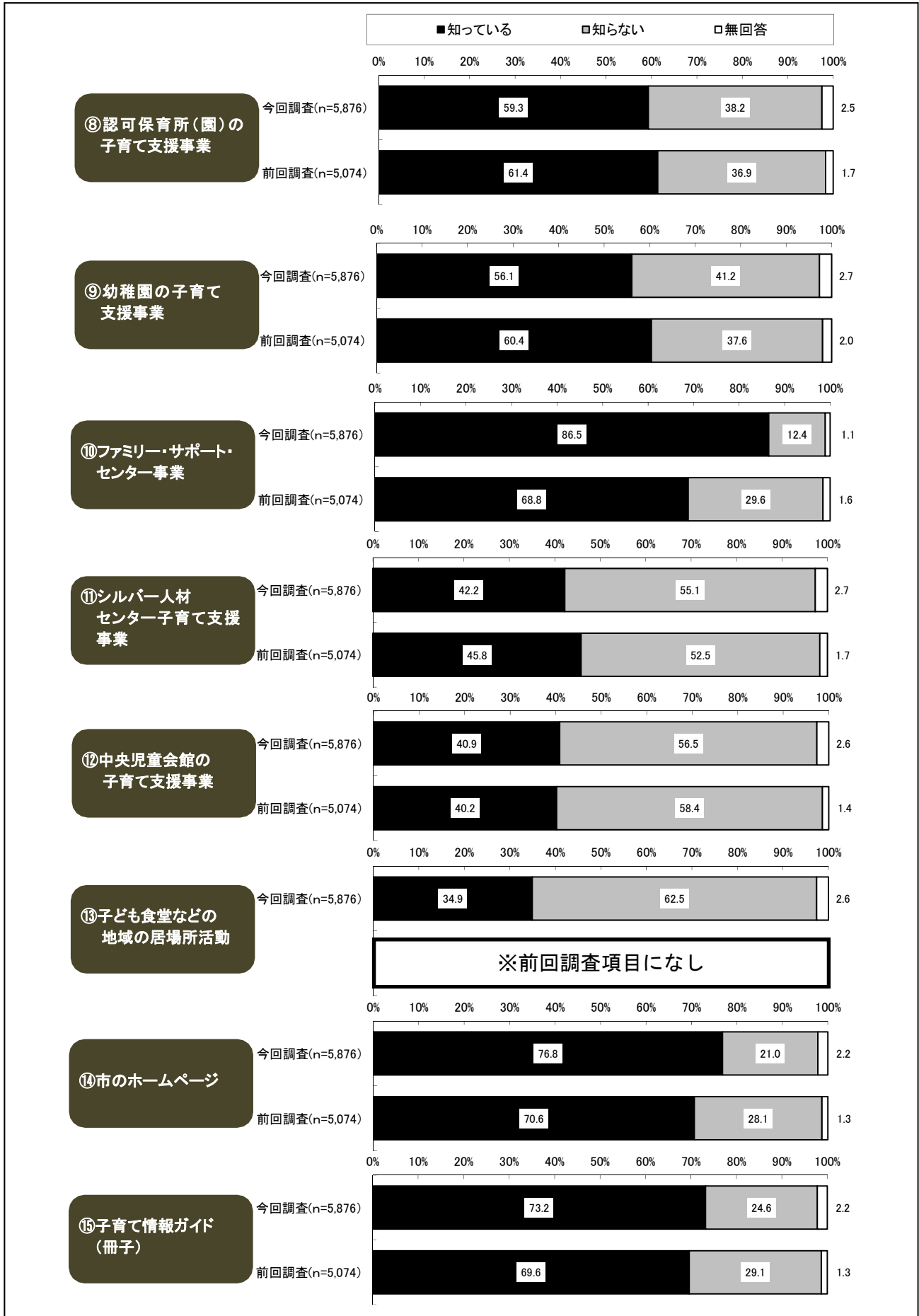
第3章 地域子育て支援事業について

1. 福岡市の子ども・子育て支援事業の認知と利用、今後の利用意向

問15 福岡市の事業等で知っているものや、利用したことがある、今後利用したいと思うものをお答えください。(①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

図表-29 子ども・子育て支援事業の認知





Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

福岡市における子ども・子育て支援に関する事業等の認知度（『事業を知っているか』で「はい」と答えた割合）は、「⑩ファミリー・サポート・センター事業」（86.5%）や「②公民館等で行われる母子巡回健康相談」（81.6%）で特に高く、8割以上の保護者に知られている。その他の事業も多くが5割以上の認知度となっているが、「⑤産休明けサポート」「⑥子育て支援コンシェルジュ」（ともに29.2%）や「⑬子ども食堂などの地域の居場所活動」（34.9%）、「⑦こども総合相談センターでの相談（電話含む）」（36.7%）は認知度が相対的に低くなっている。

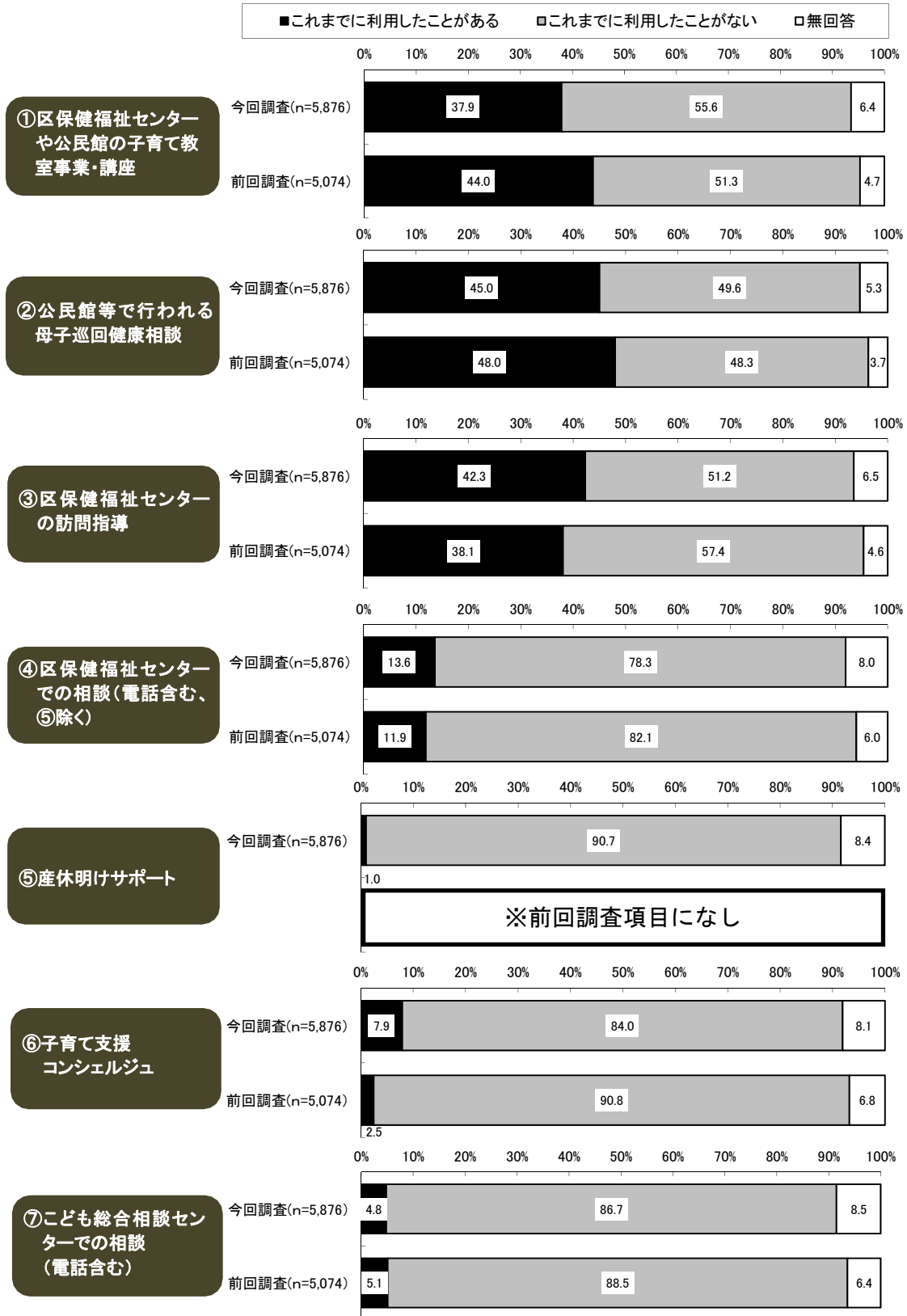
前回調査と比較すると、「⑩ファミリー・サポート・センター事業」は約18ポイント増加している。

世帯年収別にみると、200万円未満の世帯では他の世帯より、「①区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業講座」（64.2%）、「②公民館等で行われる母子巡回健康相談」（67.2%）、「⑨幼稚園の子育て支援事業」（41.1%）、「⑪シルバー人材センター子育て支援事業」（31.8%）、「⑫中央児童会館の子育て支援事業」（29.5%）、「⑦市のホームページ」（70.9%）などの割合が低くなっている。

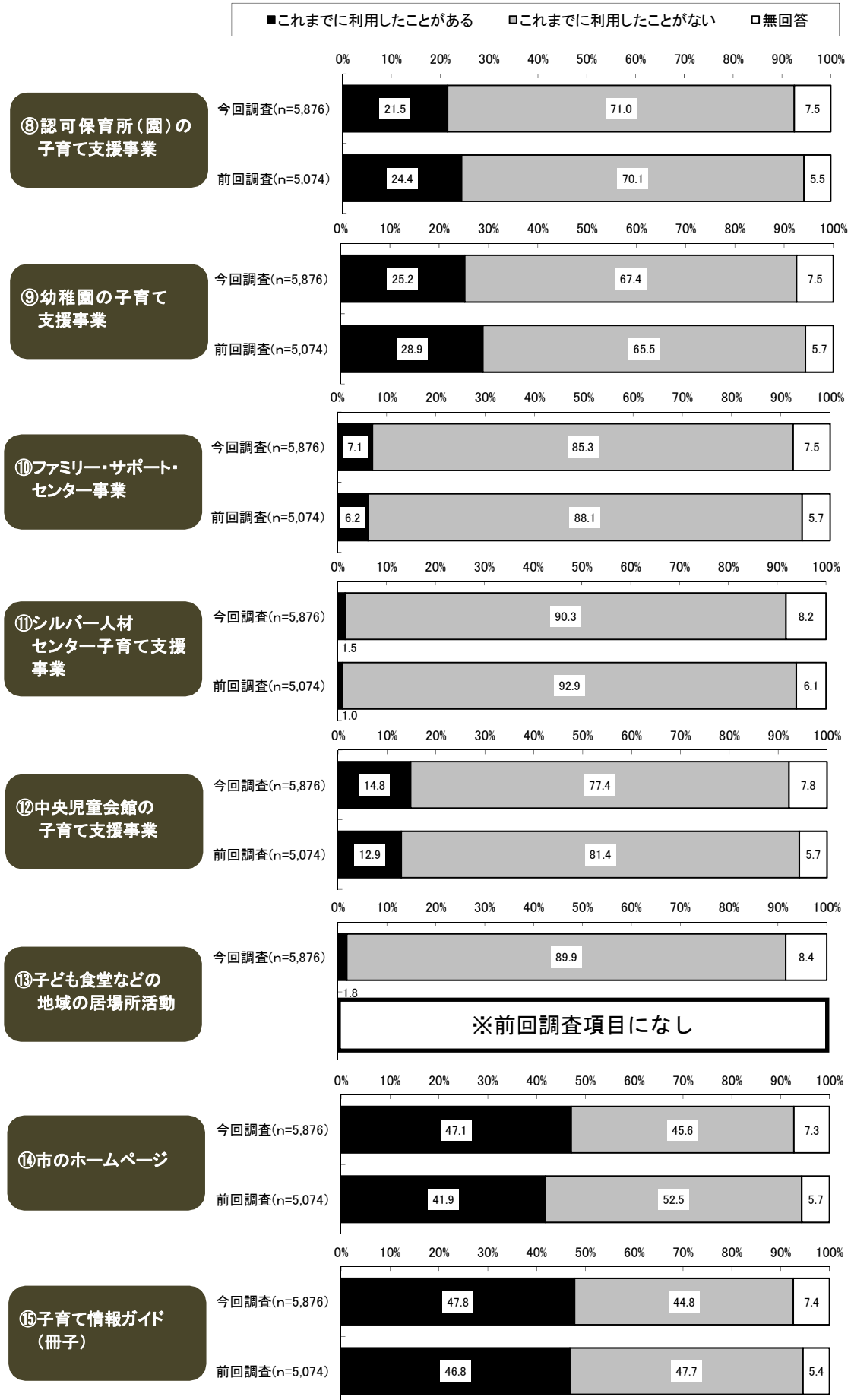
図表－30 世帯年収別 子ども・子育て支援事業を知っている人の割合（単位：%）

	標本数（人）	①区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座	②公民館等で行われる母子巡回健康相談	③区保健福祉センターの訪問指導	④区保健福祉センターでの相談（電話含む、⑤を除く）	⑤産休明けサポート	⑥子育て支援コンシェルジュ	⑦こども総合相談センターでの相談（電話含む）	⑧認可保育所（園）の子育て支援事業	
		全体	5,876	75.9	81.6	71.9	60.5	29.2	29.2	36.7
世帯年収別	200万円未満	302	64.2	67.2	63.2	61.6	25.2	27.2	39.1	53.6
	200～300万円未満	404	71.3	75.2	67.6	59.2	24.8	26.2	34.7	54.2
	300～400万円未満	739	75.8	83.5	73.7	61.6	28.1	29.9	37.6	62.7
	400～500万円未満	924	73.4	82.0	72.8	60.6	26.3	26.3	36.5	58.2
	500～700万円未満	1,568	78.1	84.4	73.3	61.5	30.2	29.4	37.6	60.5
	700～1000万円未満	1,149	78.0	82.7	72.5	60.9	32.6	31.9	35.5	60.7
	1000万円以上	585	77.1	78.6	71.6	57.6	32.1	31.8	35.9	59.7
無回答	205	80.5	86.8	68.8	55.1	27.3	24.9	35.6	53.7	
	標本数（人）	⑨幼稚園の子育て支援事業	⑩ファミリー・サポート・センター事業	⑪シルバー人材センター子育て支援事業	⑫中央児童会館の子育て支援事業	⑬子ども食堂などの地域の居場所活動	⑭市のホームページ	⑮子育て情報ガイド（冊）		
		全体	5,876	56.1	86.5	42.2	40.9	34.9	76.8	73.2
世帯年収別	200万円未満	302	41.1	77.5	31.8	29.5	28.8	70.9	66.9	
	200～300万円未満	404	46.8	80.7	37.6	37.9	30.7	73.0	69.6	
	300～400万円未満	739	55.5	83.1	38.0	35.6	34.6	73.7	72.7	
	400～500万円未満	924	56.0	85.5	40.4	36.5	34.0	74.9	71.5	
	500～700万円未満	1,568	60.5	87.4	42.9	42.3	34.1	79.2	76.0	
	700～1000万円未満	1,149	56.6	90.3	46.7	46.0	38.0	79.3	74.8	
	1000万円以上	585	59.8	91.5	51.3	49.7	39.5	78.5	71.6	
無回答	205	53.2	84.9	34.6	38.0	31.2	75.6	72.7		

図表-31 子ども・子育て支援事業の利用経験



II 乳幼児の保護者調査結果



福岡市における子ども・子育て支援に関する事業等の利用経験（『これまでに利用したことがあるか』で「はい」と答えた割合）は、「⑮子育て情報ガイド」（47.8%）や「⑭市のホームページ」（47.1%）、「②公民館等で行われる母子巡回健康相談」（45.0%）、「③区保健福祉センターの訪問指導」（42.3%）で4割を超えて高くなっている一方、「⑤産休明けサポート」（1.0%）、「⑪シルバー人材センター子育て支援事業・講座」（1.5%）や「⑬子ども食堂などの地域の居場所活動」（1.8%）、「⑩ファミリー・サポート・センター事業」（7.1%）、「⑥子育て支援コンシェルジュ」（7.9%）はいずれも1割未満となっている。

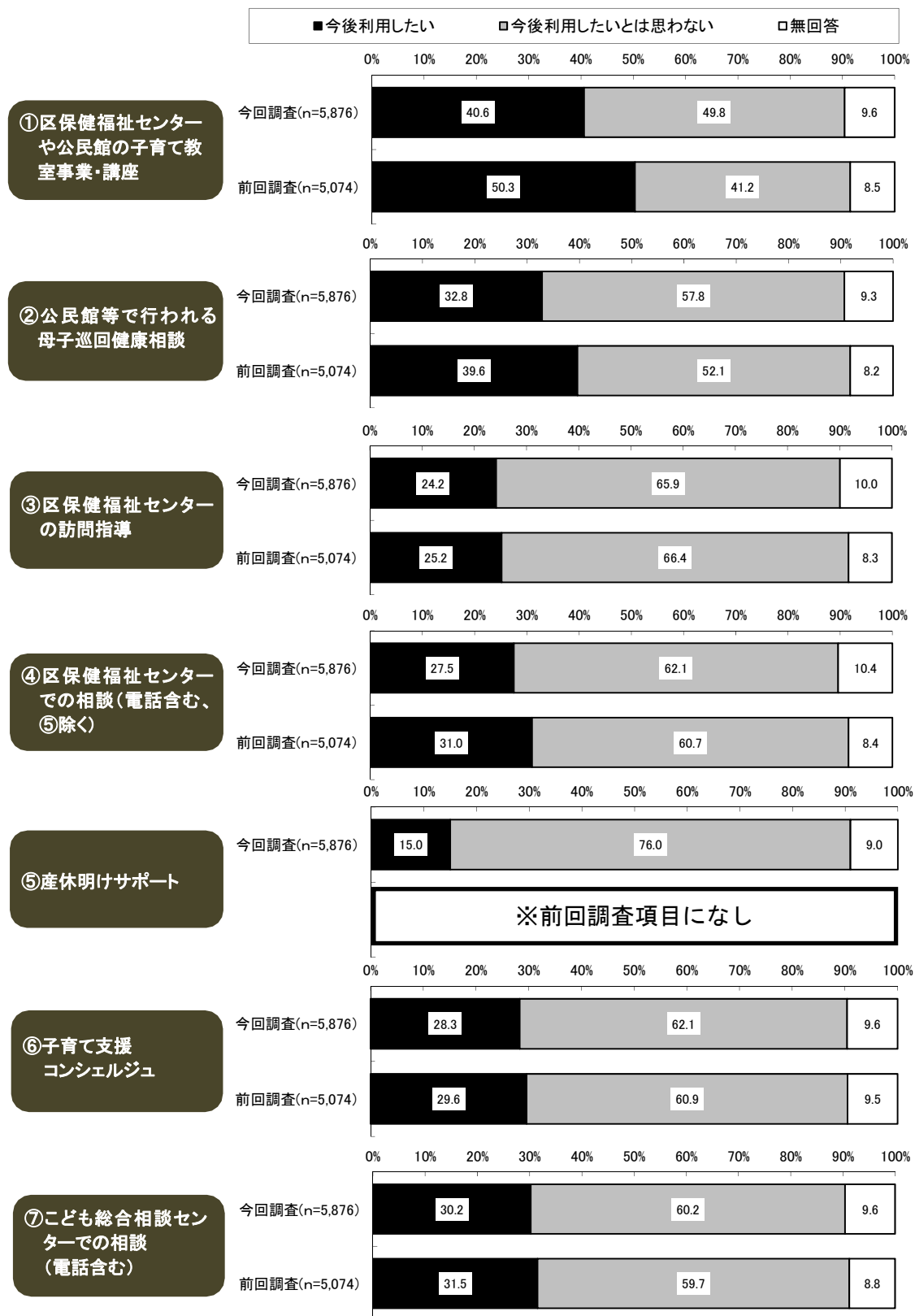
前回調査と比較すると、「⑥子育て支援コンシェルジュ」「⑭市のホームページ」は約5ポイント増加し、「①区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座」は約6ポイント減少している。

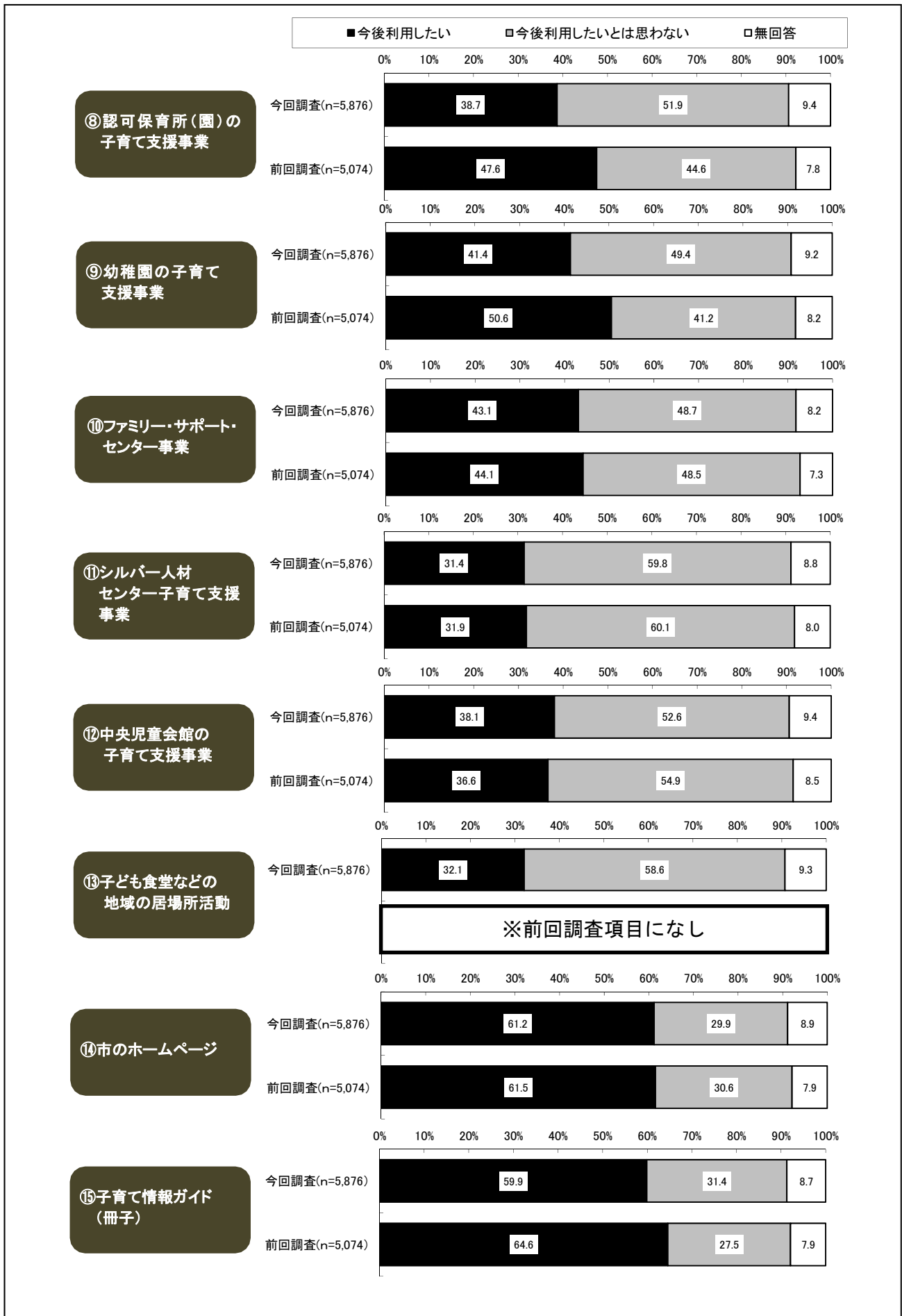
世帯年収別にみると、200万円未満の世帯では他の世帯より、「①区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業講座」（21.2%）、「②公民館等で行われる母子巡回健康相談」（25.8%）、「⑨幼稚園の子育て支援事業」（10.9%）、「⑭市のホームページ」（34.8%）の割合が低くなっている一方、「④区保健福祉センターでの相談（電話含む、⑤を除く）」（21.2%）の割合は高くなっている。

図表-32 世帯年収別 子ども・子育て支援事業を利用したことのある人の割合（単位：%）

	標本数（人）	①区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座	②公民館等で行われる母子巡回健康相談	③区保健福祉センターの訪問指導	④区保健福祉センターでの相談（電話含む、⑤を除く）	⑤産休明けサポート	⑥子育て支援コンシェルジュ	⑦子ども総合相談（電話含む）	⑧認可保育所（園）の子育て支援事業	
		全体	5,876	37.9	45.0	42.3	13.6	1.0	7.9	4.8
世帯年収別	200万円未満	302	21.2	25.8	35.8	21.2	1.3	4.6	5.3	16.6
	200～300万円未満	404	31.9	39.4	40.3	15.3	0.7	7.2	4.7	18.3
	300～400万円未満	739	35.0	42.1	41.8	14.2	0.7	7.3	5.3	24.2
	400～500万円未満	924	36.7	44.4	42.5	14.9	0.5	7.0	6.6	21.8
	500～700万円未満	1,568	40.2	50.6	44.6	14.5	1.0	7.8	3.8	22.6
	700～1000万円未満	1,149	41.6	47.0	43.5	11.5	1.0	9.4	4.7	21.4
	1000万円以上	585	42.2	42.6	39.7	8.4	2.1	9.6	3.9	21.0
	無回答	205	40.0	51.7	40.0	11.2	0.5	7.8	5.9	17.1
	標本数（人）	⑨幼稚園の子育て支援事業	⑩ファミリー・サポート・センター事業	⑪シルバー人材センター子育て支援事業	⑫中央児童会館の子育て支援事業	⑬子ども食堂などの地域の居場所活動	⑭市のホームページ	⑮子育て情報ガイド（冊）		
		全体	5,876	25.2	7.1	1.5	14.8	1.8	47.1	47.8
世帯年収別	200万円未満	302	10.9	4.6	1.0	9.6	3.0	34.8	40.1	
	200～300万円未満	404	16.1	4.0	2.0	14.4	2.0	40.1	44.6	
	300～400万円未満	739	23.4	4.3	1.1	12.6	2.3	43.0	45.5	
	400～500万円未満	924	24.8	4.0	1.3	13.3	1.3	46.8	46.1	
	500～700万円未満	1,568	29.7	7.8	1.3	14.7	1.8	50.2	50.9	
	700～1000万円未満	1,149	26.7	9.5	1.4	17.2	1.5	49.4	49.4	
	1000万円以上	585	26.8	13.0	3.4	18.8	1.7	49.9	47.4	
	無回答	205	23.4	6.3	0.5	14.1	1.0	49.3	49.8	

図表－３３ 子ども・子育て支援事業の利用意向





Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

福岡市における子ども・子育て支援に関する事業等の利用意向（『今後利用したいか』で「はい」と答えた割合）は、「⑭市のホームページ」（61.2%）や、「⑮子育て情報ガイド」（59.9%）、「①区保健福祉センターや公民館の子育て教室」（40.6%）で相対的に高くなっている一方、「⑤産休明けサポート」（15.0%）、「③区保健福祉センターの訪問指導」（24.2%）や「④区保健福祉センターでの相談」（27.5%）は利用意向が相対的に低くなっている。

前回調査と比較すると、「①区保健福祉センターや公民館の子育て教室」「②公民館等で行われる母子巡回健康相談」「⑧認可保育所（園）の子育て支援事業」「⑨幼稚園の子育て支援事業」は約7～10ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、各事業等の利用意向は年齢が低いほど高く、特に0歳の「①区保健福祉センターや公民館の子育て教室」「⑧認可保育所（園）の子育て支援事業」「⑨幼稚園の子育て支援事業」の利用意向は、それぞれ5割を超えている。

図表－34 子どもの年齢別 子ども・子育て支援事業を今後利用したい人の割合 （単位：%）

	標本数（人）	①区保健福祉センターや公民館の子育て教室	②公民館等で行われる母子巡回健康相談	③区保健福祉センターの訪問指導	④区保健福祉センターでの相談（電話含む、⑤を除く）	⑤産休明けサポート	⑥子育て支援コンシェルジュ	⑦子ども総合相談センターでの相談（電話含む）	⑧認可保育所（園）の子育て支援事業
全体	5,876	40.6	32.8	24.2	27.5	15.0	28.3	30.2	38.7
子どもの年齢別	0歳	960	51.9	49.3	37.1	37.5	20.4	39.1	57.4
	1～2歳	1,913	42.7	36.4	28.1	29.3	16.2	29.8	43.6
	3～5歳	2,853	35.2	24.9	17.0	22.9	12.3	23.7	29.2
	無回答	150	44.0	33.3	28.7	26.7	16.7	27.3	36.7

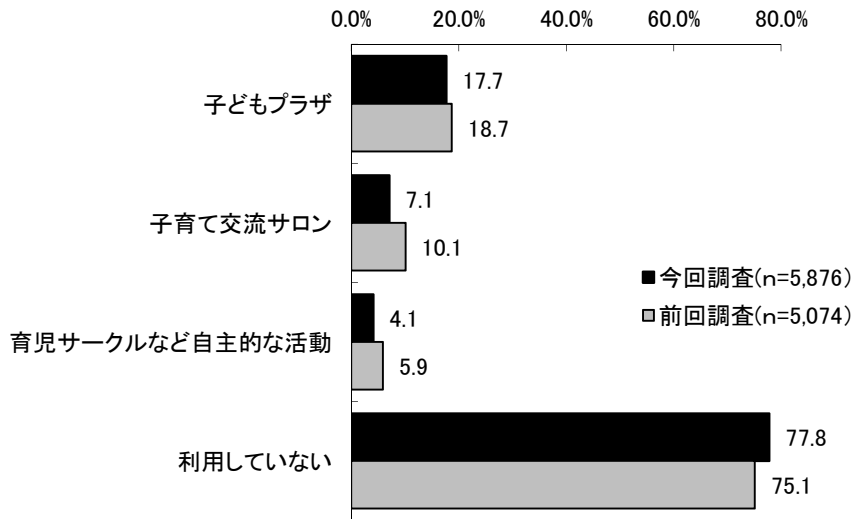
	標本数（人）	⑨幼稚園の子育て支援事業	⑩ファミリー・サポート・センター事業	⑪シルバー人材センターの子育て支援事業	⑫中央児童会館の子育て支援事業	⑬子ども食堂などの地域の居場所活動	⑭市のホームページ	⑮子育て情報ガイド（冊）
全体	5,876	41.4	43.1	31.4	38.1	32.1	61.2	59.9
子どもの年齢別	0歳	960	53.8	49.8	37.4	44.2	36.4	66.9
	1～2歳	1,913	47.1	46.3	33.2	42.0	33.6	61.9
	3～5歳	2,853	33.6	39.0	28.1	33.2	29.7	59.7
	無回答	150	37.3	40.0	32.0	42.7	34.7	61.3

2. 子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用について

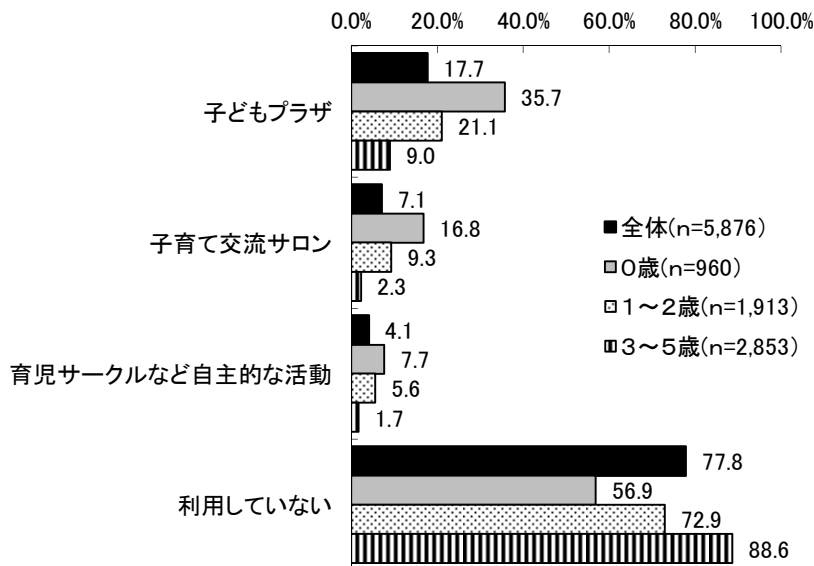
(1) 利用状況

問16 あて名のお子さんと、現在、子どもプラザや子育て交流サロン、育児サークルなどを利用していますか。(利用されているものすべてに○。枠内におおよその利用回数を記入)

図表-35 利用状況



図表-36 子どもの年齢別 利用状況



子どもプラザや子育て交流サロンなどの利用状況は、「利用していない」(77.8%)の割合が最も高く、次いで「子どもプラザ」(17.7%)、「子育て交流サロン」(7.1%)、「育児サークルなど自主的な活動」(4.1%)となっている。前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べ子どもプラザなどの利用率が高くなっており、逆に3~5歳は「利用していない」の割合が高く約9割となっている。

世帯年収別にみると、200万円未満では「利用していない」(86.4%)の割合が高くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

図表－37 世帯年収別 利用状況

		標本数（人）	子どもプラザ	子育て交流サロン	育児サークルなど自主的な活動	利用していない	無回答
全体		5,876	17.7	7.1	4.1	77.8	0.7
世帯年収別	200万円未満	302	9.6	4.0	1.3	86.4	1.7
	200～300万円未満	404	19.6	6.9	4.0	76.7	0.7
	300～400万円未満	739	19.8	9.2	3.4	75.0	0.5
	400～500万円未満	924	18.3	7.5	5.0	76.9	0.8
	500～700万円未満	1,568	16.8	7.1	3.8	78.3	0.6
	700～1000万円未満	1,149	18.7	7.6	5.2	77.0	0.6
	1000万円以上	585	15.9	4.3	2.7	81.0	0.3
無回答	205	22.0	8.8	5.4	72.2	2.9	

利用頻度は、「子どもプラザ」では「月1回以下」（56.6%）が半数以上を占めている。「子育て交流サロン」も「月1回以下」（64.1%）が半数以上となっている。「子育てサークルなど自主的な活動」でも、「月1回以下」（37.8%）の割合が最も高くなっている。

子どもの年齢別にみると、「子どもプラザ」「子育てサークルなど自主的な活動」は概ね年齢とともに利用頻度が低くなる傾向にある。「子育て交流サロン」の利用頻度は、子どもの年齢で大きな違いはみられなかった。

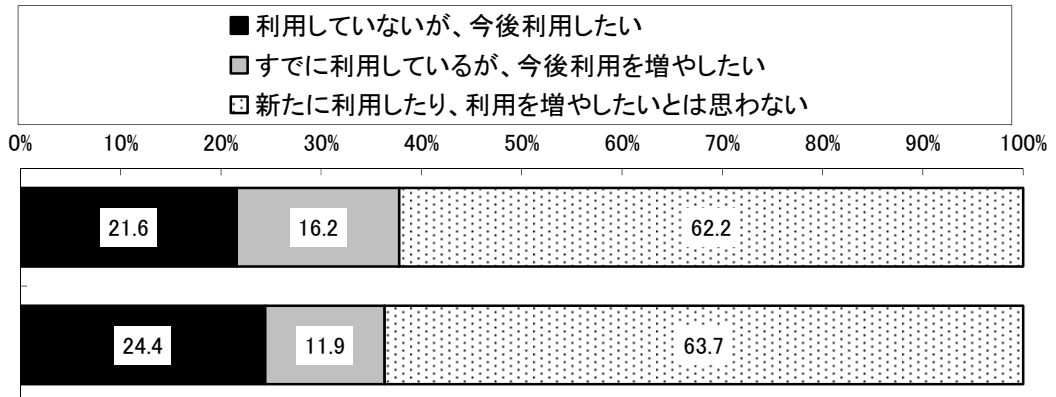
図表－38 子どもの年齢別
子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用頻度（単位：%）

	標本数（人）	子どもプラザ								標本数（人）	子育て交流サロン				
		週5日以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答		月4回以上	月2～3回	月1回以下	無回答	
全体	1,040	-	0.5	1.6	3.8	13.7	17.8	56.6	6.0	418	7.4	24.9	64.1	3.6	
子どもの年齢別	0歳	343	-	1.2	2.0	7.6	17.5	19.0	47.8	5.0	161	6.8	23.6	66.5	3.1
	1～2歳	404	-	0.2	2.2	2.2	14.1	18.3	56.9	5.9	177	7.3	27.7	62.7	2.3
	3～5歳	256	-	-	-	1.2	8.6	15.2	68.8	6.3	65	6.2	20.0	66.2	7.7
	無回答	37	-	-	2.7	5.4	8.1	18.9	51.4	13.5	15	20.0	26.7	46.7	6.7
			育児サークルなど自主的な活動												
	標本数（人）	週5日以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答						
全体	238	0.8	1.3	1.3	2.9	26.9	24.4	37.8	4.6						
子どもの年齢別	0歳	74	-	4.1	1.4	1.4	27.0	16.2	45.9	4.1					
	1～2歳	107	0.9	-	1.9	4.7	24.3	29.9	34.6	3.7					
	3～5歳	49	2.0	-	-	2.0	28.6	26.5	32.7	8.2					
	無回答	8	-	-	-	-	50.0	12.5	37.5	-					

(2) 子どもプラザの利用意向

問17 子どもプラザや子育て交流サロンについて、今は利用していないが今後利用したい、または、利用を増やしたいと思いますか。(それぞれ○は1つ。枠内におおよその利用回数を記入)

図表-39 子どもプラザの利用意向



※「無回答」を除いて集計している。

子どもプラザの利用意向は、「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」(62.2%)の割合が最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(21.6%)、「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」(16.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」の割合は約4ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べ「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」(31.1%)の割合が高く、3~5歳は「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」(73.9%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合に比べ、現在就労していない場合は「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」の割合が高くなっている。

図表-40 子どもの年齢別・母親の就労状況別 子どもプラザの利用意向 (単位: %)

	標本数(人)	後利用していないが、今	たがす、い、で、今に後利用して増やす	わ用新、なをたい、増に、や利用した、たり、は、思利	
全体	3,712	21.6	16.2	62.2	
子どもの年齢別	0歳	721	27.9	31.1	41.1
	1~2歳	1,263	22.6	18.1	59.3
	3~5歳	1,635	18.5	7.6	73.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,239	20.3	14.1	65.5
	パート・アルバイト等で就労	982	20.1	10.8	69.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,261	23.7	21.6	54.7
	これまで就労したことがない	140	20.7	17.1	62.1

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

今は利用していないが今後利用したいと答えた人が希望する利用回数は、「月1回以下」(55.2%)が半数以上を占めており、次に多いのが「週1回」(19.4%)となっている。すでに利用しているが今後利用を増やしたいと答えた人が希望する利用回数は、「週1回」(32.7%)と「月2～3回」(29.2%)がそれぞれおよそ3割を占めている。

子どもの年齢別にみると、今は利用していないが今後利用したいと答えた人が希望する利用回数は、いずれの年齢も「月1回以下」が5割以上を占めている。すでに利用しているが今後利用を増やしたいと答えた人が希望する利用回数は、年齢が低いほど多くなる傾向がある。

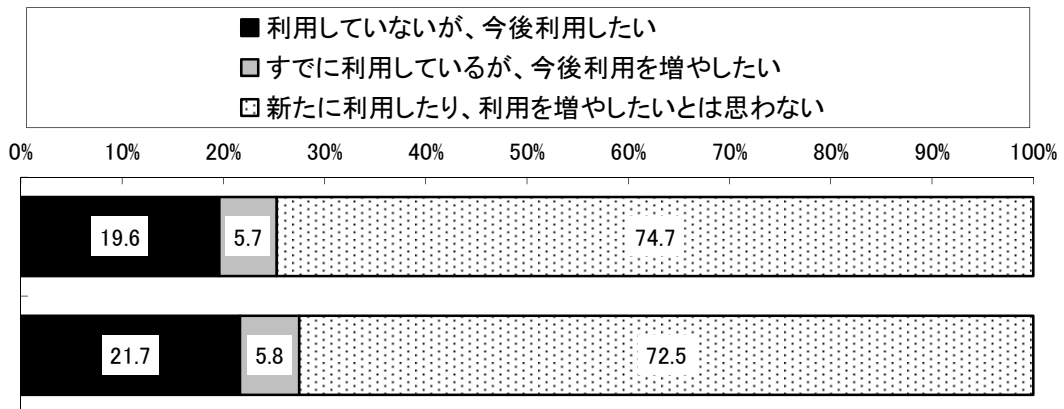
図表－41 子どもの年齢別 子どもプラザの希望する利用頻度 (単位：%)

	標本数(人)	子どもプラザ 今後利用したい回数								標本数(人)	子どもプラザ 今後利用を増やしたい回数								
		週5日以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答		週5日以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答	
全体	803	0.1	-	0.5	1.1	19.4	15.1	55.2	8.6	600	0.7	1.0	2.7	10.5	32.7	29.2	17.3	6.0	
子どもの年齢別	0歳	201	-	-	-	2.0	22.9	15.9	51.2	8.0	224	1.3	2.7	4.0	14.3	36.2	25.4	10.7	5.4
	1～2歳	285	-	-	1.1	0.7	20.0	17.2	53.3	7.7	229	0.4	-	2.6	9.2	33.2	28.4	19.7	6.6
	3～5歳	302	0.3	-	0.3	0.7	16.9	13.2	58.6	9.9	125	-	-	0.8	6.4	24.0	37.6	24.8	6.4
	無回答	15	-	-	-	6.7	13.3	-	73.3	6.7	22	-	-	-	9.1	40.9	27.3	18.2	4.5

(3) 子育て交流サロンの利用意向

問17 子どもプラザや子育て交流サロンについて、今は利用していないが今後利用したい、または、利用を増やしたいと思いませんか。(それぞれ○は1つ。枠内におおよその利用回数を記入)

図表－42 子育て交流サロンの利用意向



※「無回答」を除いて集計している。

子育て交流サロンの利用意向は、「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」(74.7%)の割合が最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(19.6%)、「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」(5.7%)となっている。

前回調査と比較しても、ほぼ同様の結果となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べ「利用していないが、今後利用したい」(30.3%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合に比べ、現在就労していない場合は「利用していないが、今後利用したい」の割合が高くなっている。

図表－43 子どもの年齢別・母親の就労状況別 子育て交流サロンの利用状況 (単位：%)

		標本数(人)	後利用していないが、今	たがす、で今に後利用を増やしている	わ用新をたい増にや利用したたり、思利
全体		3,687	19.6	5.7	74.7
子どもの年齢別	0歳	715	30.3	11.9	57.8
	1～2歳	1,260	20.6	6.7	72.6
	3～5歳	1,618	13.7	2.0	84.4
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,231	17.3	3.7	79.0
	パート・アルバイト等で就労	980	16.5	3.0	80.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,246	23.1	9.7	67.2
	これまで就労したことがない	140	22.9	5.0	72.1

今は利用していないが今後利用したいと答えた人が希望する利用回数は、「月1回以下」(57.6%)が半数以上を占めており、次に多いのが「週1回」(18.6%)となっている。すでに利用しているが今後利用を増やしたいと答えた人が希望する利用回数は、「週1回」(38.9%)と「月2～3回」(26.5%)がそれぞれ約3～4割を占めている。

子どもの年齢別にみると、今後利用したいと答えた人、今後利用を増やしたいと答えた人のいずれにおいても、概ね年齢とともに希望する回数が少なくなる傾向にある。

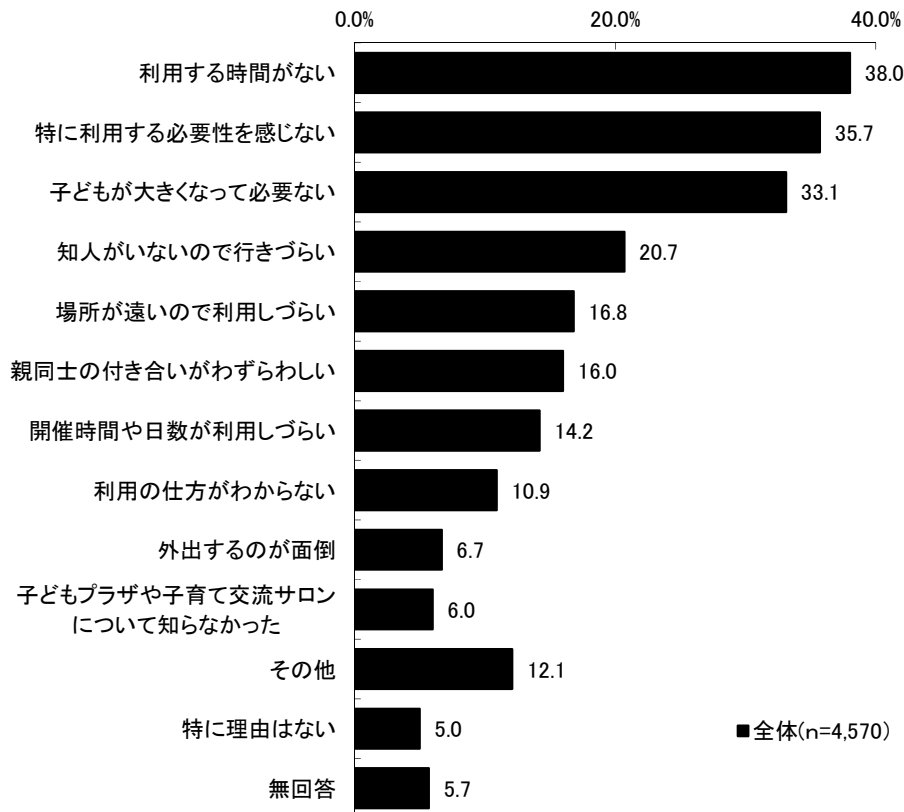
図表－44 子どもの年齢別 子どもプラザの希望する利用頻度 (単位：%)

	標本数(人)	子どもプラザ 今後利用したい回数								標本数(人)	子どもプラザ 今後利用を増やしたい回数								
		週5日以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答		週5日以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答	
全体	721	-	-	1.0	1.0	18.6	13.6	57.6	8.3	211	-	-	1.4	5.7	38.9	26.5	19.4	8.1	
子どもの年齢別	0歳	217	-	-	0.5	0.9	23.5	12.9	53.9	8.3	85	-	-	1.2	5.9	43.5	25.9	14.1	9.4
	1～2歳	260	-	-	1.5	0.8	17.7	14.6	58.1	7.3	85	-	-	1.2	5.9	32.9	29.4	22.4	8.2
	3～5歳	221	-	-	0.9	0.5	15.4	14.0	59.3	10.0	32	-	-	-	6.3	34.4	21.9	31.3	6.3
	無回答	23	-	-	-	8.7	13.0	4.3	69.6	4.3	9	-	-	11.1	-	66.7	22.2	-	-

(4) 子どもプラザを利用していない理由

問18 【問16で「4」と回答された方にうかがいます。】現在、子どもプラザや子育て交流サロンを利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表－45 子どもプラザを利用していない理由



子どもプラザを利用していない人にその理由をたずねたところ、「利用する時間がない」(38.0%)の割合が最も高く、次いで「特に利用する必要性を感じない」(35.7%)、「子どもが大きくなって必要ない」(33.1%)となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べ「知人がいないので行きづらい」(30.8%)の割合が高くなっている。一方で、3～5歳は他の年齢に比べ「子どもが大きくなって必要ない」(48.0%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は「利用する時間がない」(49.8%)の割合が高くなっている。

図表-46 子どもの年齢別・母親の就労状況別 子どもプラザを利用していない理由 (単位:%)

		標本数(人)	場所が遠いので利用しづらい	開催時間や日数が利用しづらい	特に利用する必要性を感じない	知人がいないので行きづらい	子どもプラザや子育て交流サロンについて知らない	利用する時間がない	利用の仕方がわからない
全体		4,570	16.8	14.2	35.7	20.7	6.0	38.0	10.9
子どもの年齢別	0歳	546	22.5	16.1	26.7	30.8	6.8	35.7	15.9
	1～2歳	1,395	17.1	16.1	34.1	23.7	6.7	40.8	10.5
	3～5歳	2,527	15.6	12.9	38.5	17.1	5.5	37.2	10.2
	無回答	102	13.7	10.8	34.3	15.7	6.9	31.4	8.8
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,642	13.2	17.3	36.7	19.7	6.0	49.8	11.4
	パート・アルバイト等で就労	1,426	15.7	14.2	37.5	20.8	6.9	39.1	10.9
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,218	22.7	10.5	32.7	21.7	4.7	23.9	10.2
	これまで就労したことがない	186	21.5	11.3	35.5	23.1	7.0	19.9	12.9
	無回答	92	12.0	14.1	30.4	20.7	6.5	33.7	8.7
		標本数(人)	親同士の付き合いがわずらわしい	外出するのが面倒	子どもが大きくなって必要ない	その他	特に理由はない	無回答	
全体		4,570	16.0	6.7	33.1	12.1	5.0	5.7	
子どもの年齢別	0歳	546	23.8	10.1	3.1	15.2	6.2	7.1	
	1～2歳	1,395	16.4	7.4	17.6	14.5	5.4	6.5	
	3～5歳	2,527	14.2	5.6	48.0	10.0	4.5	4.9	
	無回答	102	12.7	6.9	37.3	12.7	6.9	6.9	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,642	16.3	5.0	25.5	11.0	4.8	5.6	
	パート・アルバイト等で就労	1,426	14.8	5.3	36.9	11.6	4.9	6.9	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,218	17.7	10.2	38.8	14.2	4.8	4.5	
	これまで就労したことがない	186	14.5	10.2	37.1	10.2	8.1	5.9	
	無回答	92	9.8	6.5	29.3	13.0	7.6	5.4	

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(5) 子育て交流サロンを利用していない理由

問18 【問16で「4」と回答された方にうかがいます。】現在、子どもプラザや子育て交流サロンを利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表－４７ 子育て交流サロンを利用していない理由



子育て交流サロンを利用していない人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要性を感じない」(35.7%)の割合が最も高く、次いで「利用する時間がない」(35.6%)、「子どもが大きくなって必要ない」(31.5%)となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べ「知人がいないので行きづらい」(32.6%)の割合が高くなっている。一方で、3～5歳は他の年齢に比べ「子どもが大きくなって必要ない」(46.1%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は「利用する時間がない」(47.7%)の割合が高くなっている。

図表-48 子どもの年齢別・母親の就労状況別
子育て交流サロンを利用していない理由 (単位: %)

		標本数(人)	場所が遠いので利用し	開催時間や日数が利用	特に利用する必要性を	知人がいないので行き	子どももプランに子育て	利用する時間がない	利用の仕方がわからない
全体		4,570	9.6	17.3	35.7	22.1	7.5	35.6	11.7
子どもの年齢別	0歳	546	13.4	23.3	26.9	32.6	8.2	32.8	16.8
	1～2歳	1,395	9.3	19.3	34.0	26.3	8.3	38.9	11.5
	3～5歳	2,527	8.9	15.3	38.7	17.7	6.9	34.7	10.7
	無回答	102	7.8	9.8	31.4	15.7	7.8	28.4	10.8
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,642	7.6	21.0	37.5	21.3	7.5	47.7	12.9
	パート・アルバイト等で就労	1,426	9.3	15.8	36.7	21.9	8.8	36.5	11.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,218	12.2	14.9	33.3	23.2	5.8	21.1	10.2
	これまで就労したことがない	186	12.9	12.9	34.4	24.2	8.6	18.8	12.4
	無回答	92	6.5	14.1	23.9	17.4	7.6	30.4	9.8

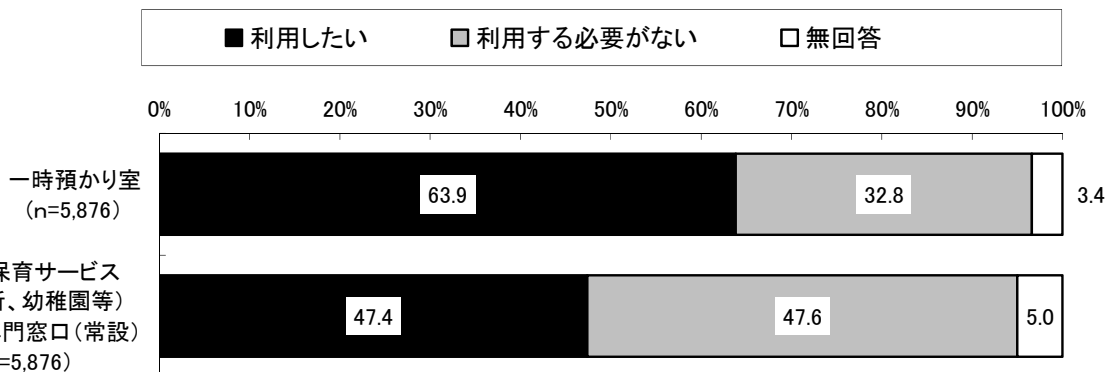
		標本数(人)	親同士の付き合いがわず	外出するのが面倒	子どもが大きくなって必	その他	特に理由はない	無回答
全体		4,570	17.5	6.1	31.5	10.0	5.3	8.6
子どもの年齢別	0歳	546	26.7	9.0	2.9	13.9	6.4	9.9
	1～2歳	1,395	18.3	6.6	15.8	12.3	5.4	8.7
	3～5歳	2,527	15.2	5.3	46.1	7.9	5.0	8.1
	無回答	102	13.7	6.9	34.3	11.8	6.9	11.8
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,642	17.8	4.9	23.0	9.4	5.0	8.0
	パート・アルバイト等で就労	1,426	15.8	5.0	34.9	10.0	5.3	9.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,218	19.8	8.9	38.2	11.2	5.2	7.9
	これまで就労したことがない	186	16.1	8.1	36.0	8.6	9.1	8.6
	無回答	92	9.8	5.4	30.4	9.8	7.6	14.1

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(6) 子どもプラザで利用したい機能

問19 子どもプラザに次の機能があったら利用したいですか。(それぞれ○は1つ)

図表-49 子どもプラザで利用したい機能



子どもプラザに一時預かり室、教育・保育サービス相談の専門窓口があった場合の利用意向は、一時預かり室については「利用したい」(63.9%)の割合が6割を超え、教育・保育サービス相談の専門窓口については、「利用したい」(47.4%)と「利用する必要がない」(47.6%)の割合が同程度であった。

子どもの年齢別にみると、一時預かり室、教育・保育サービス相談の専門窓口ともに「利用したい」の割合は、低い年齢ほど高くなっている。

図表-50 子どもの年齢別 子どもプラザで利用したい機能 (単位: %)

	標本数 (人)	一時預かり室			教育・保育サービス (保育所、幼稚園等) 相談の専門窓口(常設)			
		利用したい	利用する必要がない	無回答	利用したい	利用する必要がない	無回答	
全体	5,876	63.9	32.8	3.4	47.4	47.6	5.0	
子どもの年齢別	0歳	960	71.6	23.3	5.1	63.2	30.2	6.6
	1~2歳	1,913	66.5	30.2	3.3	52.8	42.8	4.4
	3~5歳	2,853	59.5	37.7	2.8	38.1	57.0	4.9
	無回答	150	64.0	32.0	4.0	52.7	42.0	5.3

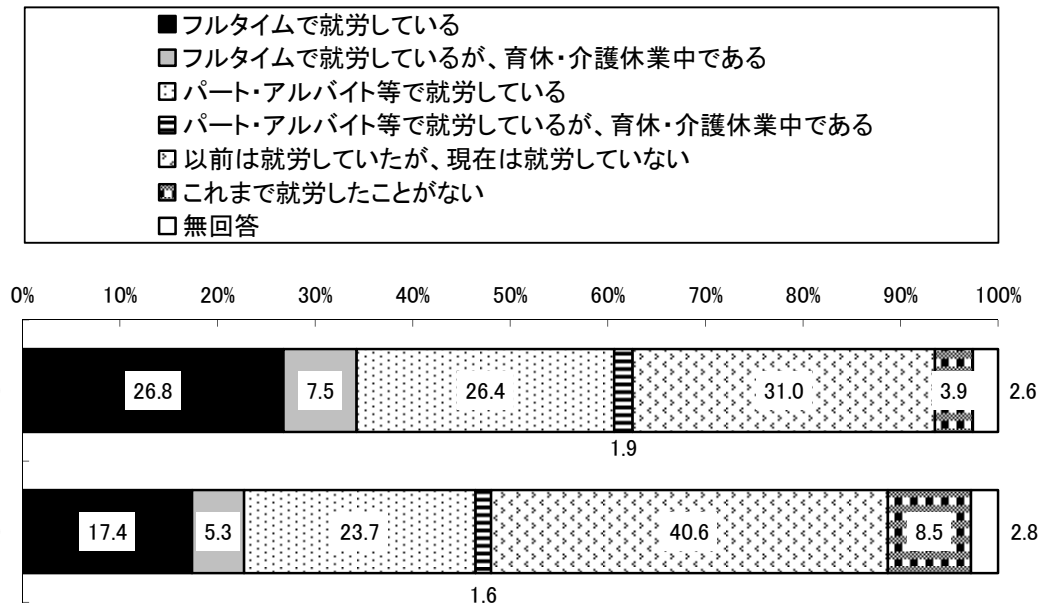
第4章 保護者の就労状況

1. 母親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問20 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。（○は1つ）

図表-51 母親の就労状況



母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（31.0％）の割合が最も高く、次いで「フルタイムで就労している」（26.8％）、「パート・アルバイト等で就労している」（26.4％）となっている。

育休中等も含めフルタイム及びパート・アルバイト等で就労している母親の割合は6割超となっており、前回調査と比較すると就労している母親の割合が約15ポイント増加している。

子どもの年齢別に母親の就労状況を見ると、0歳では「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」（19.7％）の割合が高くなっている。

図表-52 子どもの年齢別 母親の就労状況 （単位：％）

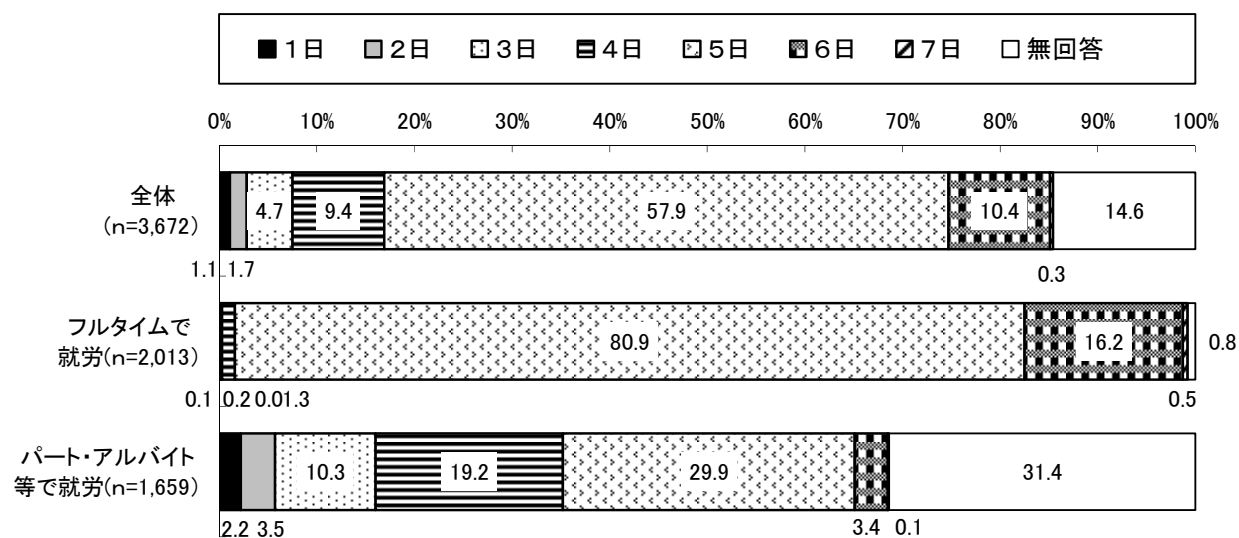
	標本数（人）	フルタイムで就労している	フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	
全体	5,870	26.8	7.5	26.4	1.9	31.0	3.9	2.6	
子どもの年齢別	0歳	960	22.1	19.7	16.4	2.1	34.2	3.0	2.6
	1～2歳	1,912	28.8	7.3	23.2	1.9	32.9	3.5	2.3
	3～5歳	2,848	26.9	3.6	31.9	1.7	28.6	4.6	2.7
	無回答	150	28.0	7.3	26.0	4.0	29.3	2.7	2.7

II 乳幼児の保護者調査結果

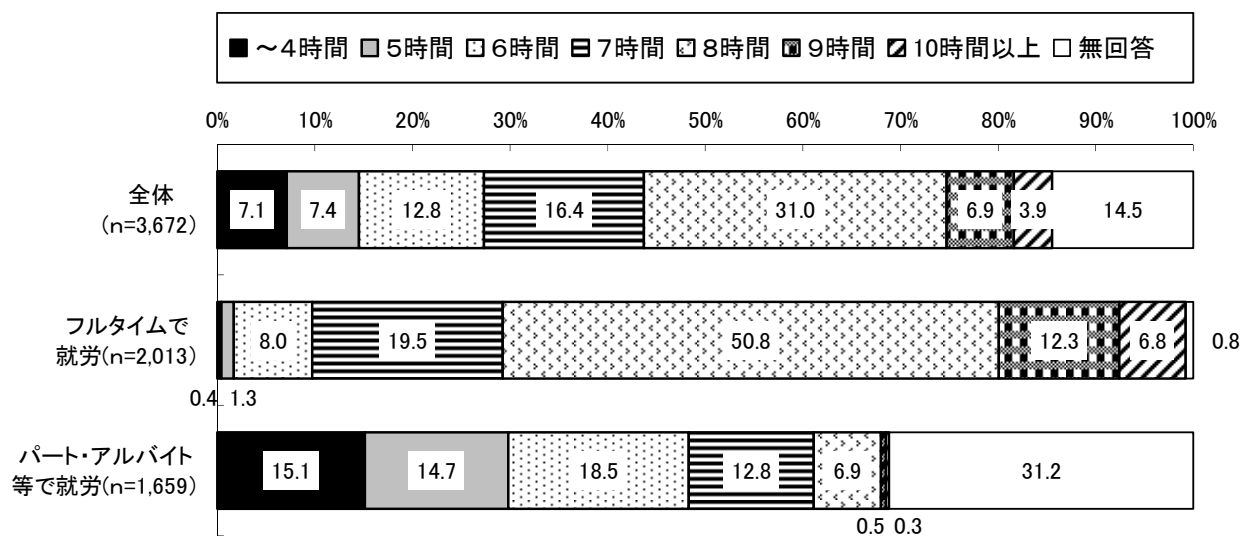
(2) 就労日数・就労時間（母親）

問20-1 【問20で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。】一週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。（枠内に数字を記入）

図表-53 週あたり就労日数（母親）



図表-54 一日あたり就労時間（母親）



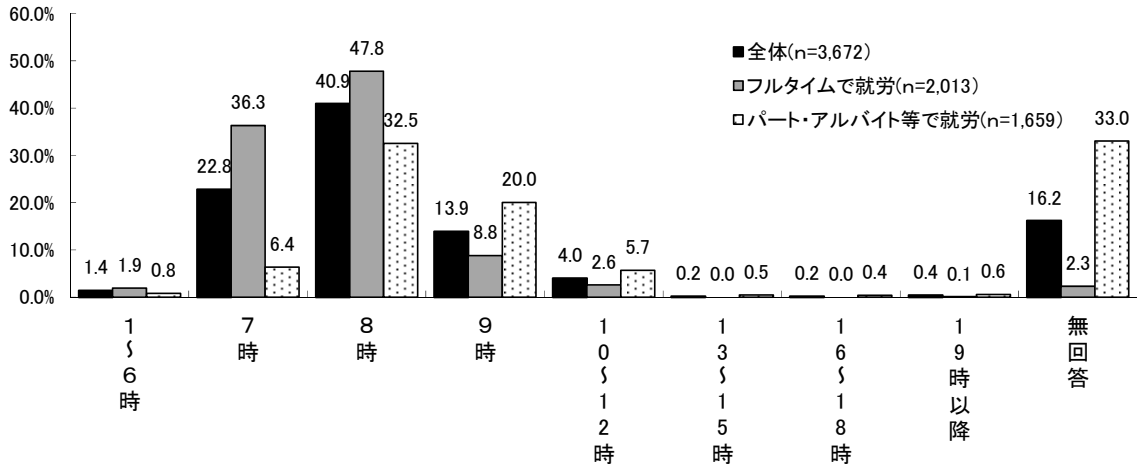
フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している母親に、就労日数と就労時間をたずねた。週あたりの就労日数は、「5日」（57.9%）の割合が最も高い。就労形態別にみると、フルタイムで就労の場合は「5日」（80.9%）が大半を占め、パート・アルバイト等で就労の場合は「5日」（29.9%）、「4日」（19.2%）、「3日」（10.3%）の順で割合が高くなっている。

一日あたりの就労時間は、「8時間」（31.0%）の割合が最も高い。就労形態別にみると、フルタイムで就労の場合は「8時間」（50.8%）が半数を占め、パート・アルバイト等で就労の場合は「～4時間」から「7時間」まで約1～2割で分散している。

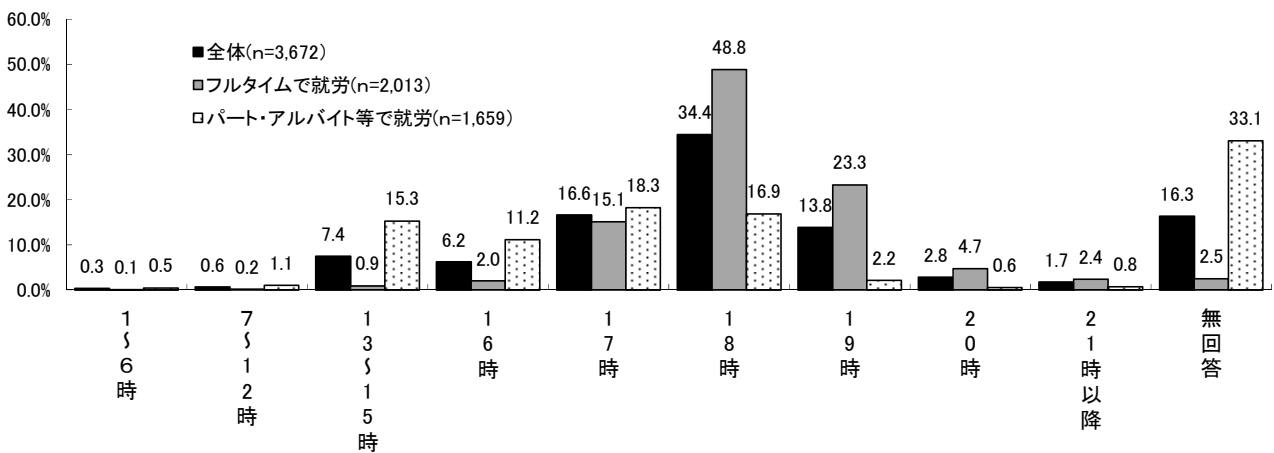
(3) 家を出る時間と帰宅時間（母親）

問20-2 【問20で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。】家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（枠内に時間を記入（例）18時）

図表-55 出勤時刻（母親）



図表-56 帰宅時刻（母親）



フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している母親に、出勤時刻・帰宅時刻をたずねた。出勤時刻は「8時」（40.9％）の割合が最も高い。就労形態別にみると、フルタイムで就労の場合は「8時」（47.8％）と「7時」（36.3％）、パート・アルバイト等で就労の場合は「8時」（32.5％）と「9時」（20.0％）の割合が高くなっている。

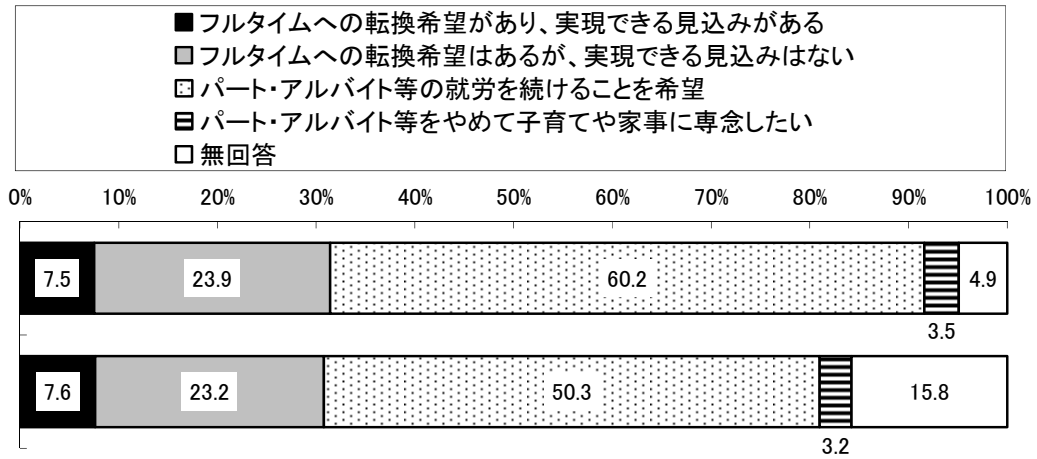
帰宅時刻は「18時」（34.4％）の割合が最も高く。就労形態別にみると、フルタイムで就労の場合は「18時」（48.8％）と「19時」（23.3％）、パート・アルバイト等で就労の場合は「17時」（18.3％）、「18時」（16.9％）の割合が高くなっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(4) フルタイムへの転換希望（母親）

問20-3 【問20で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。】フルタイムへの転換希望についてお答えください。（○は1つ）

図表-57 フルタイムへの転換希望（母親）



パート・アルバイト等で就労している母親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（60.2%）の割合が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（23.9%）となっている。

前回調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合は約10ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合は、0歳に比べて、1歳以上で高くなっている。

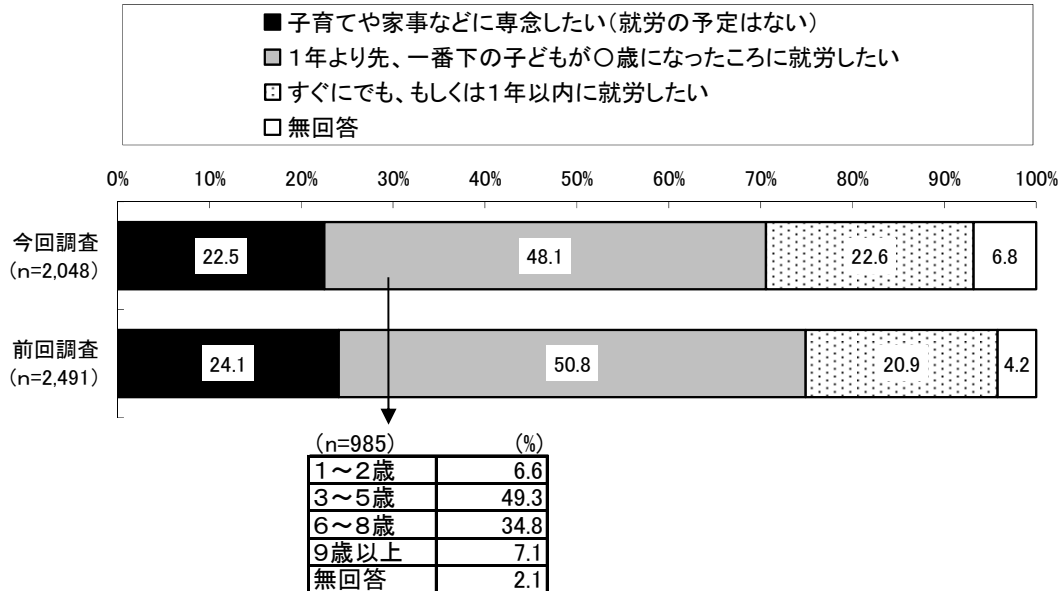
図表-58 子どもの年齢別 フルタイムへの転換希望（母親）（単位：%）

	標本数（人）	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答	
全体	1,659	7.5	23.9	60.2	3.5	4.9	
子どもの年齢別	0歳	177	7.9	26.0	55.4	6.2	4.5
	1～2歳	481	9.1	22.2	60.5	2.7	5.4
	3～5歳	956	6.8	24.1	61.0	3.5	4.7
	無回答	45	2.2	31.1	60.0	2.2	4.4

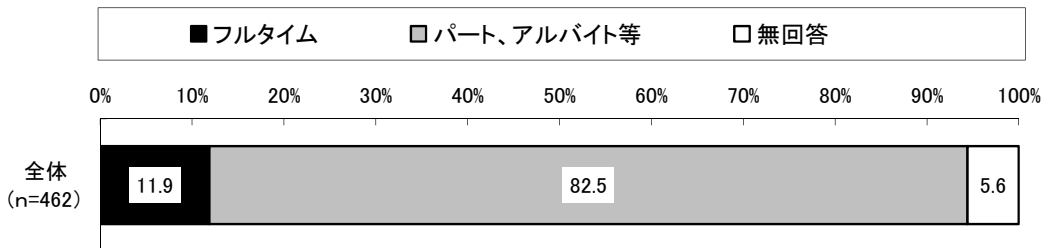
(5) 現在就労していない母親の就労希望

問20-4 【問20で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。】就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

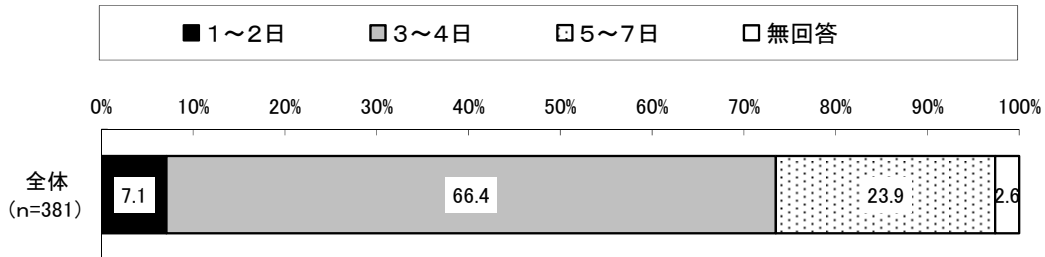
図表-59 現在就労していない母親の就労希望



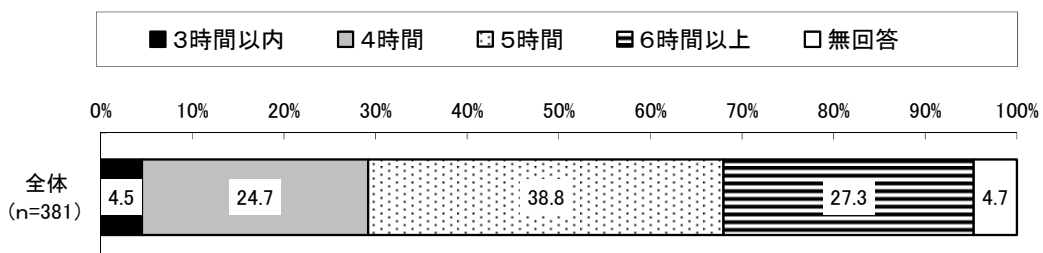
図表-60 現在就労していない母親が希望する就労形態



図表-61 パート・アルバイト等を希望する母親の週あたり就労希望日数



図表-62 パート・アルバイト等を希望する母親の一日あたり就労希望時間



Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

現在就労していない母親の今後の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」（48.1％）の割合が最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（22.6％）と「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」（22.5％）の割合が同程度となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」と回答した母親（985人）に、一番下の子どもが何歳になったところに働きたいかたずねたところ、「3～5歳」（49.3％）の割合が最も高く、次いで「6～8歳」（34.8％）となっている。

また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した母親（462人）が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」（82.5％）が8割を占めている。

パート・アルバイト等での就労を希望している母親（381人）が希望する就労日数・就労時間は、週あたり「3～4日」（66.4％）、1日あたり「5時間」（38.8％）の割合が最も高くなっている。

子どもの年齢別では、今後の就労希望に大きな違いはみられなかった。

図表－63 子どもの年齢別 現在就労していない母親の就労希望 （単位：％）

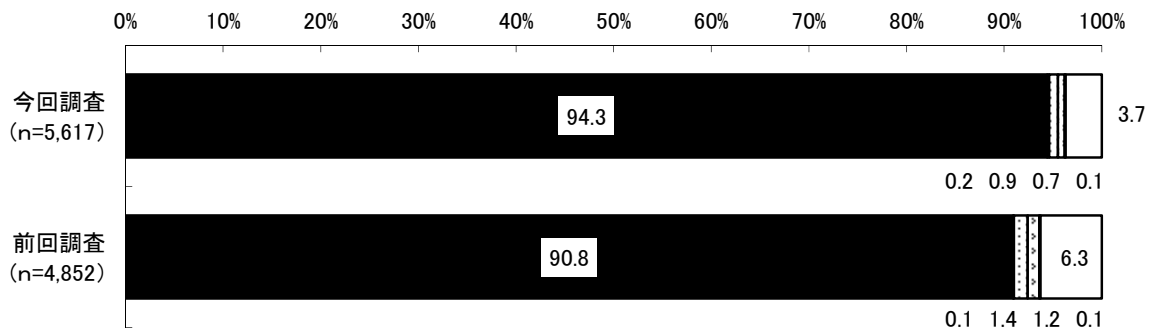
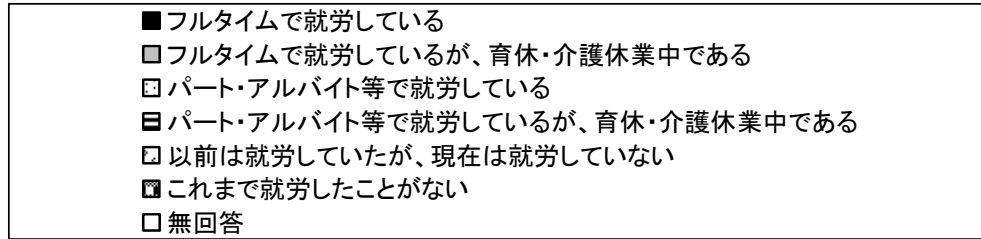
	標本数 (人)	予 定 は な い ～ (専 念 し て や 家 事 な ど に 専 念 す る 予 定 は な い)	た な の 1 年 以 上 に 先 に 〇 歳 一 番 下 の 子 ど も が な ら ば 就 労 希 望 す る こ と が あ る 。	た は す い 1 年 以 内 に も 就 労 希 望 す る こ と が あ る 。	無 回 答	
全 体	2,048	22.5	48.1	22.6	6.8	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	357	22.7	49.6	22.7	5.0
	1～2歳	697	21.4	47.6	24.1	6.9
	3～5歳	946	23.5	48.0	21.4	7.2
	無回答	48	18.8	45.8	22.9	12.5

2. 父親の就労状況

(1) 父親の就労状況

問21 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。（○は1つ）

図表－64 父親の就労状況



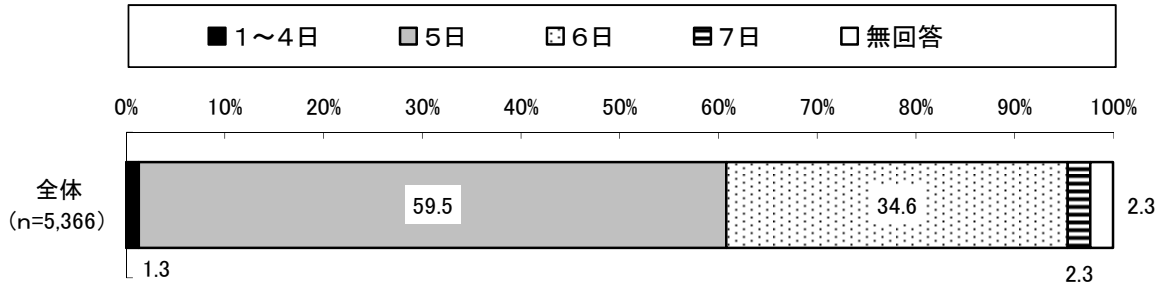
父親の就労状況は、前回調査と同様、「フルタイムで就労している」の割合が9割を超えている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

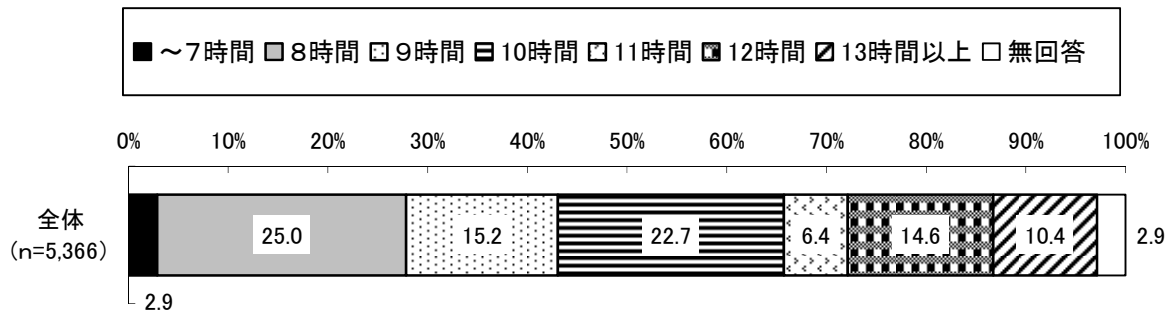
(2) 就労日数・就労時間（父親）

問21-1 【問21で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。】1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。（枠内に数字を記入）

図表-65 週あたり就労日数（父親）



図表-66 一日あたり就労時間（父親）



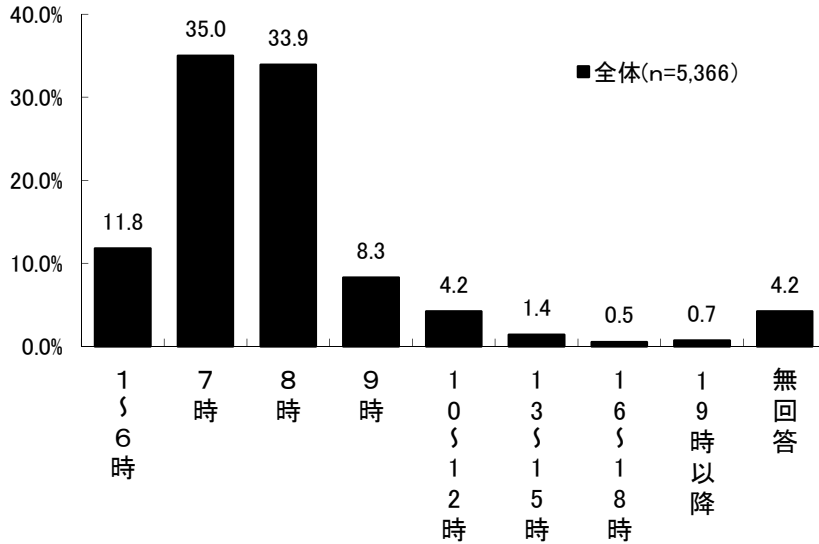
フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している父親に、就労日数と就労時間をたずねた。週あたりの就労日数は、「5日」（59.5%）の割合が最も高く、次いで「6日」（34.6%）となっている。

一日あたりの就労時間は、「8時間」（25.0%）の割合が最も高く、次いで「10時間」（22.7%）、「9時間」（15.2%）、「12時間」（14.6%）となっている。

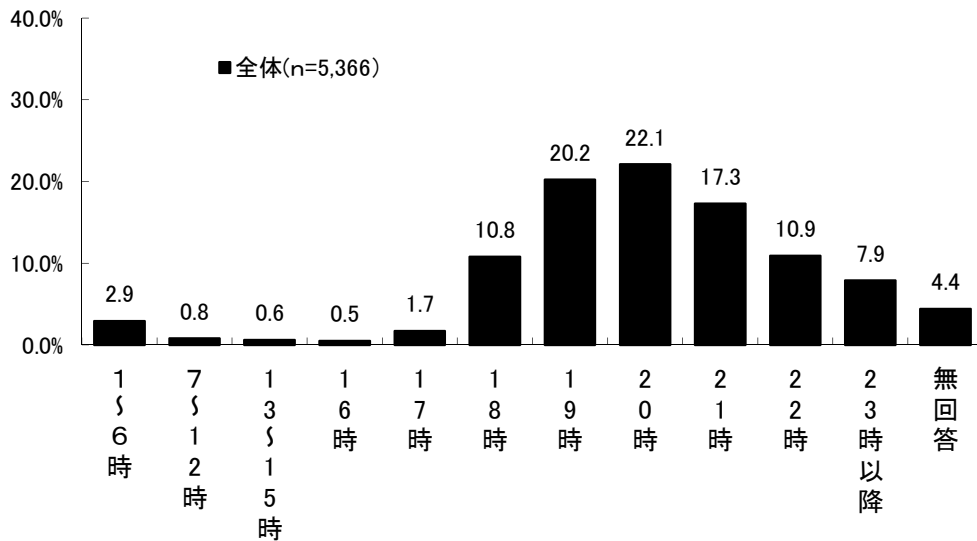
(3) 家を出る時間と帰宅時間（父親）

問21-2 【問21で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。】家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（枠内に時間を記入（例）18時）

図表-67 出勤時刻（父親）



図表-68 帰宅時刻（父親）



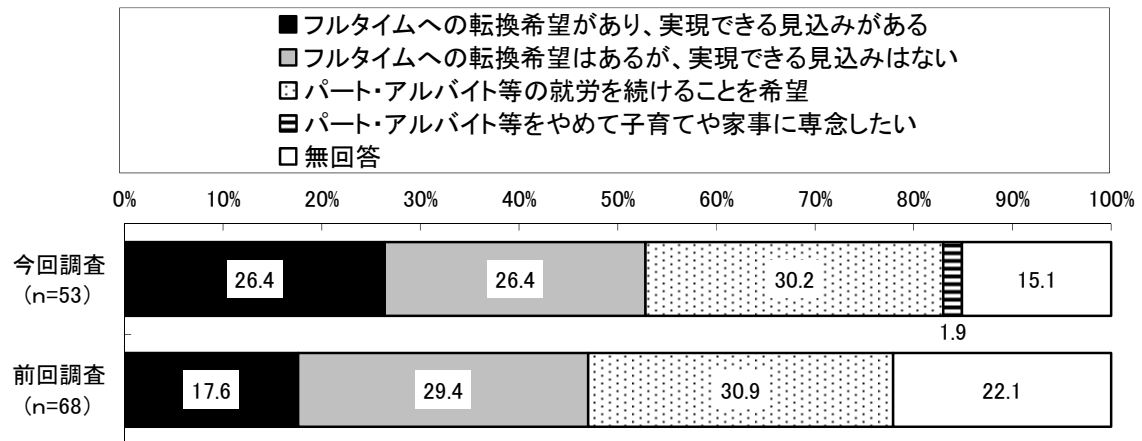
フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している父親に、出勤・帰宅の時刻をたずねた。出勤時刻は「7時」（35.0%）と「8時」（33.9%）の割合が高い。帰宅時刻は「20時」（22.1%）と「19時」（20.2%）、「21時」（17.3%）の割合が高くなっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(4) フルタイムへの転換希望（父親）

問21-3 【問21で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。】フルタイムへの転換希望についてお答えください。（○は1つ）

図表-69 フルタイムへの転換希望（父親）



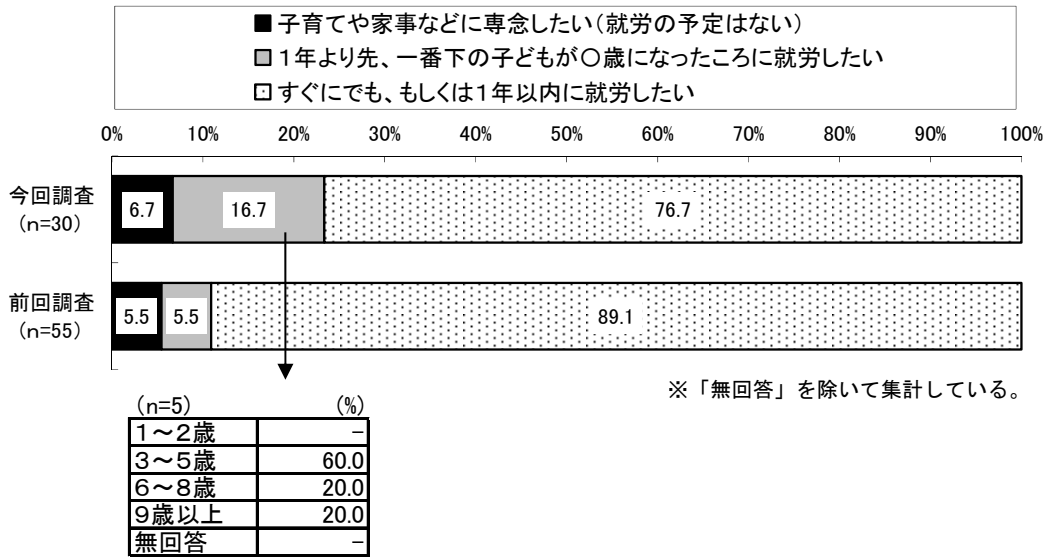
パート・アルバイト等で就労している父親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（30.2％）の割合が最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（ともに26.4％）となっている。

前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合は約9ポイント増加している。

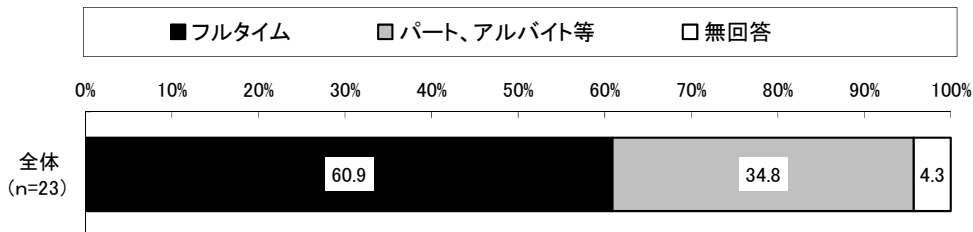
(5) 現在就労していない父親の就労希望

問21-4 【問21で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。】就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

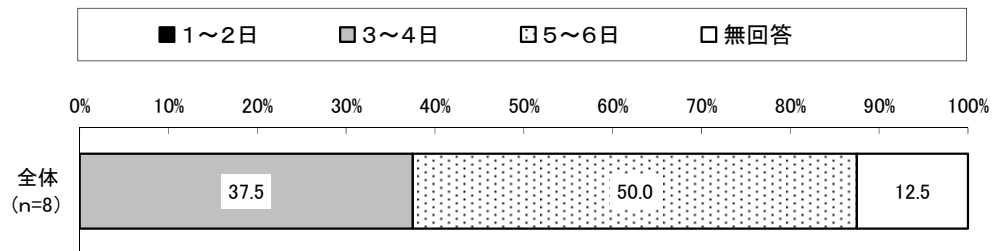
図表-70 現在就労していない父親の就労希望



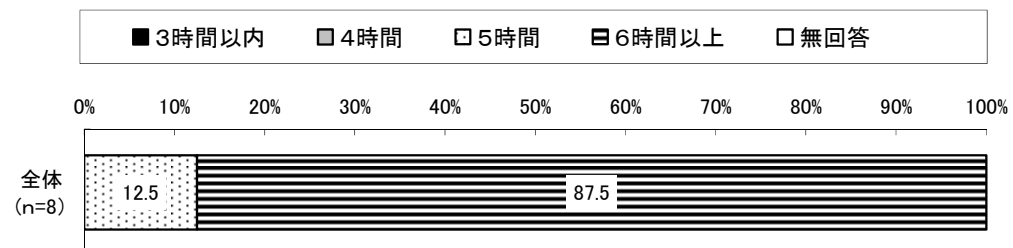
図表-71 現在就労していない父親の就労形態



図表-72 パート・アルバイト等を希望する父親の週あたり就労希望日数



図表-73 パート・アルバイト等を希望する父親の一日あたり就労希望時間



Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

現在就労していない父親の今後の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(76.7%)の割合が最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが0歳になったころに就労したい」(16.7%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(6.7%)となっており、前回調査と比較すると「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合は約12ポイント減少している。

「1年より先、一番下の子どもが0歳になったころに就労したい」と回答した父親(5人)に、一番下の子どもが何歳になったころに働きたいかたずねたところ、「3～5歳」(60.0%)の割合が最も高くなっている。

また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した父親(23人)が希望する就労形態は、「フルタイム」(60.9%)が6割を占めている。

パート・アルバイト等での就労を希望している父親(8人)が希望する就労日数・就労時間は、週あたり「5～6日」(50.0%)、1日あたり「6時間以上」(87.5%)の割合が最も高くなっている。

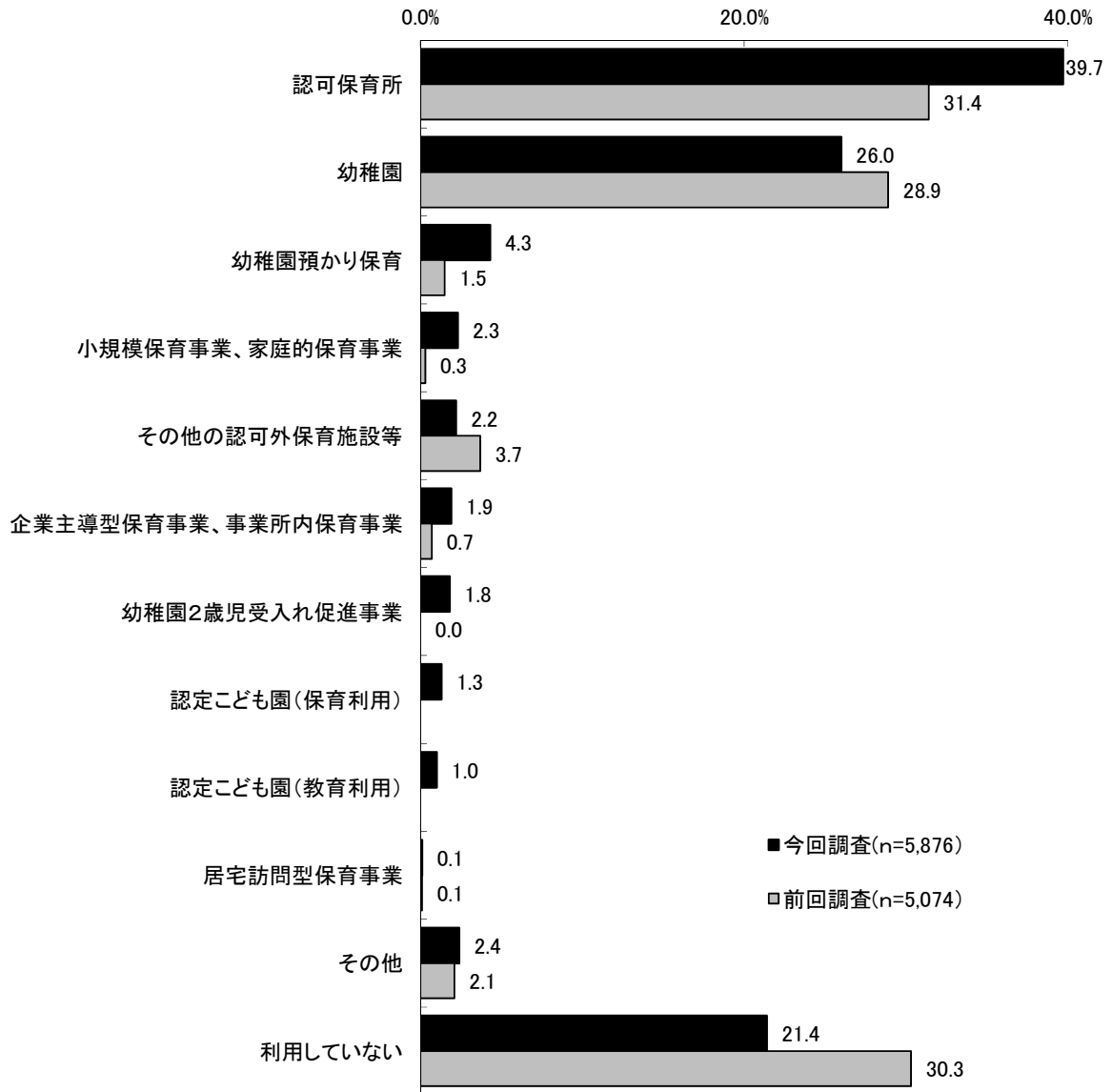
第5章 定期的な教育・保育事業と子育て支援サービスの利用状況

1. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問22 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-74 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況



※「認定子ども園(保育利用)」「認定こども園(教育利用)」は、今回調査で新規で追加した項目

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「認可保育所」(39.7%)の割合が最も高く、次いで「幼稚園」(26.0%)となっている。いずれの事業も「利用していない」(21.4%)は2割となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳では事業未利用者が63.1%を占めているが、以降、年齢とともに事業利用者の割合が高まり、3~5歳は事業利用者が9割以上となっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

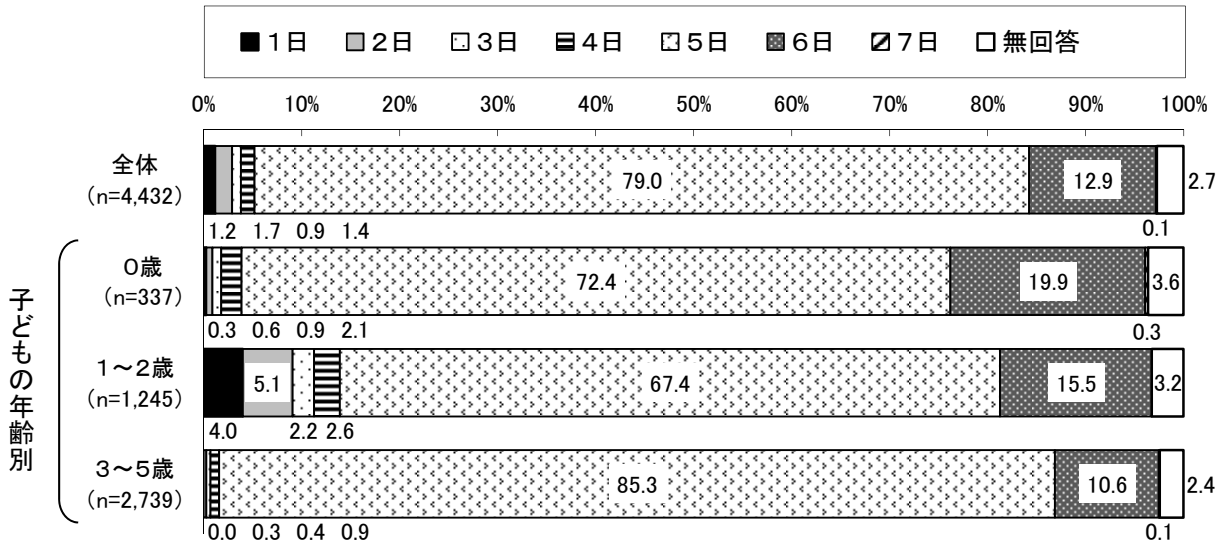
図表－７５ 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（単位：％）

		標本数（人）	幼稚園	認定こども園 （教育利用）	幼稚園預かり保育	幼稚園2歳児受入れ 促進事業	認可保育所	認定こども園 （保育利用）	小規模保育事業、 家庭的保育事業
全体		5,876	26.0	1.0	4.3	1.8	39.7	1.3	2.3
子どもの年齢別	0歳	960	0.1	0.5	-	-	25.9	0.6	2.6
	1～2歳	1,913	7.3	0.5	0.7	5.1	42.0	1.3	4.7
	3～5歳	2,853	47.2	1.4	8.2	0.1	42.9	1.7	0.7
	無回答	150	26.0	2.0	4.7	4.0	37.3	0.7	1.3
		標本数（人）	企業、事業主 事業、事業所内保育事業	居宅訪問型保育事業	その他の認可外 施設等	その他	利用していない	無回答	
全体		5,876	1.9	0.1	2.2	2.4	21.4	1.3	
子どもの年齢別	0歳	960	3.8	0.2	2.0	1.0	63.1	0.7	
	1～2歳	1,913	2.7	0.2	3.0	4.1	30.2	1.2	
	3～5歳	2,853	0.6	0.1	1.7	1.7	1.4	1.5	
	無回答	150	2.7	-	2.7	1.3	22.7	2.0	

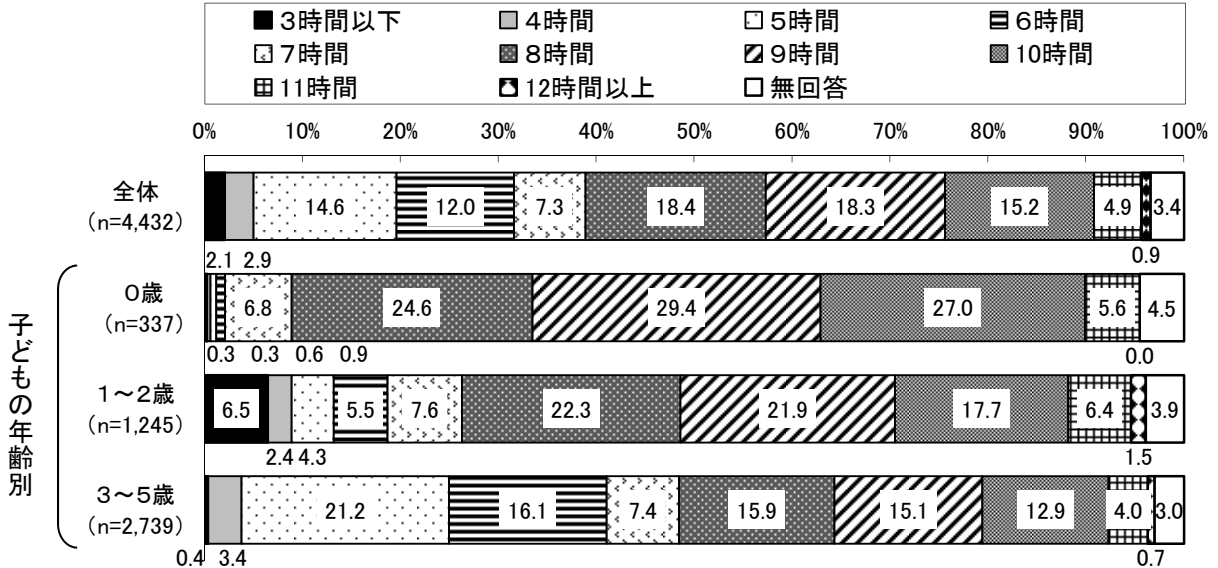
(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数と時間

問22-1 【問22で「1～10」に○をつけた方にうかがいます。】平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、全部あわせてどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか

図表-76 平日の定期的な教育・保育事業の週あたり利用日数



図表-77 平日の定期的な教育・保育事業の一日あたり利用時間



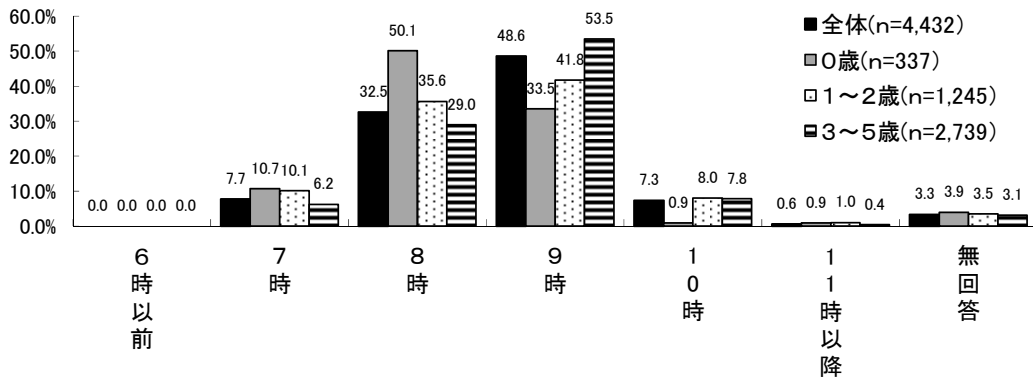
平日の定期的な教育・保育事業の利用者に、事業の利用日数と利用時間をたずねた。

現在の週あたり利用日数は、「5日」(79.0%)の割合が最も高く、次いで「6日」(12.9%)となっている。子どもの年齢別にみると、「6日」の利用は子どもの年齢が低いほど高い傾向がみられ、「0歳」では19.9%となっている。

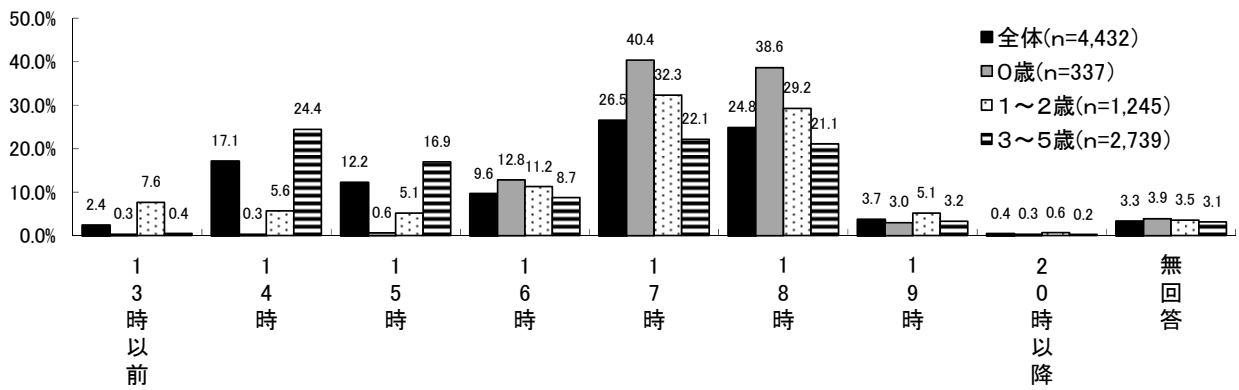
現在の一日あたり利用時間は、「8時間」(18.4%)と「9時間」(18.3%)の割合が高く、次いで「10時間」(15.2%)となっている。子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど利用時間は長い傾向がみられる。

図表－78 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始・終了時刻

<利用開始時刻>



<利用終了時刻>



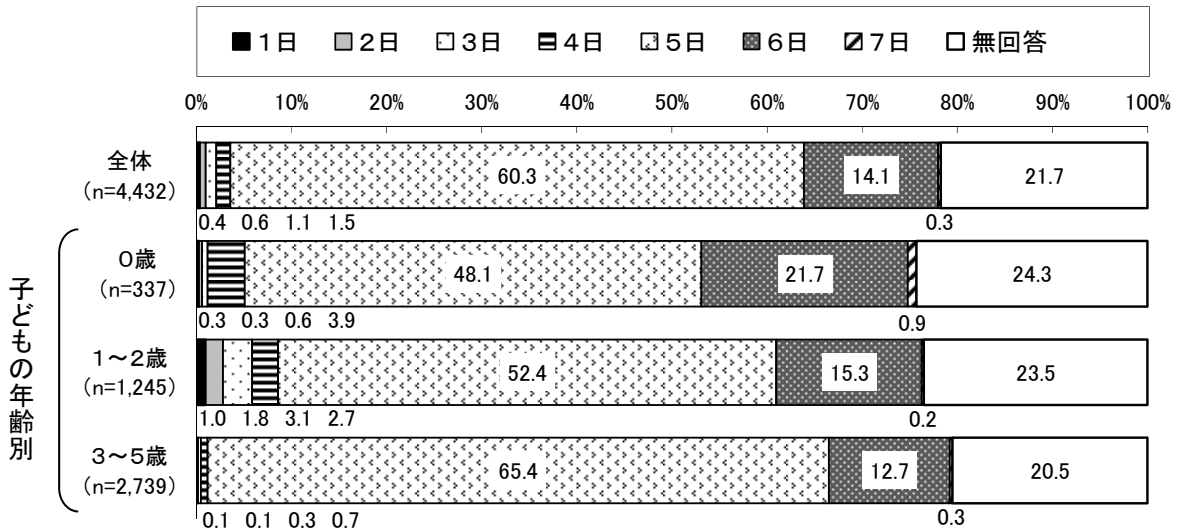
現在の利用開始時刻は「9時」(48.6%)の割合が最も高く、次いで「8時」(32.5%)となっている。子どもの年齢別にみると、0歳は「8時」(50.1%)の割合が高く、3～5歳は「9時」(53.5%)の割合が高くなっている。

現在の利用終了時刻は「17時」(26.5%)と「18時」(24.8%)の割合が高くなっている。子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低いと「17時」「18時」が、年齢が高いと「14時」の割合が高くなっている。

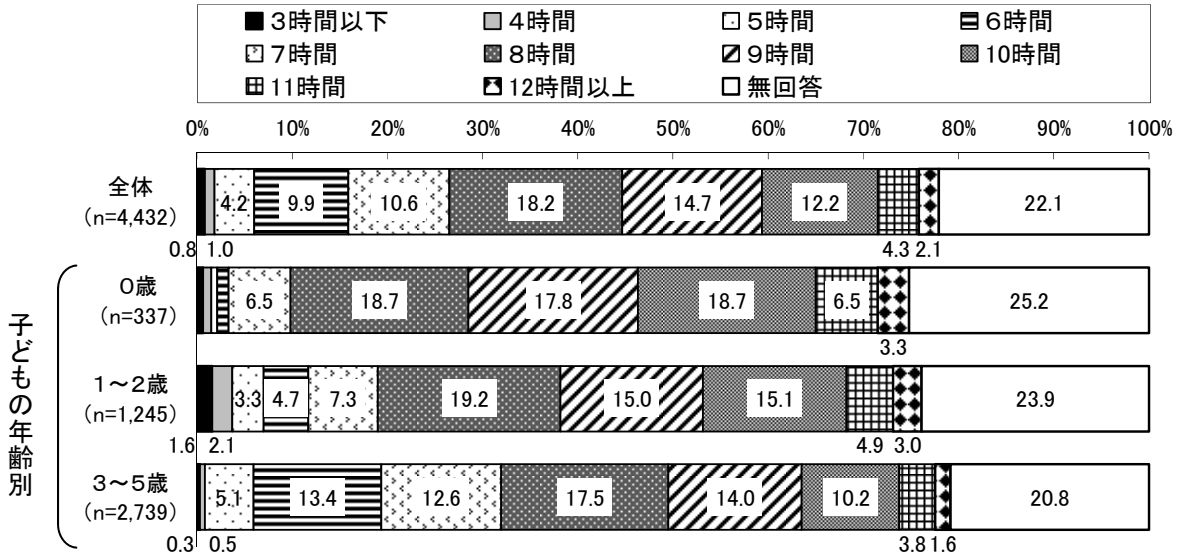
(3) 平日の定期的な教育・保育事業の希望日数と時間

問22-1 【問22で「1～10」に○をつけた方にうかがいます。】平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、全部あわせてどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか

図表-79 平日の定期的な教育・保育事業の週あたり希望日数



図表-80 平日の定期的な教育・保育事業の一日あたり希望時間



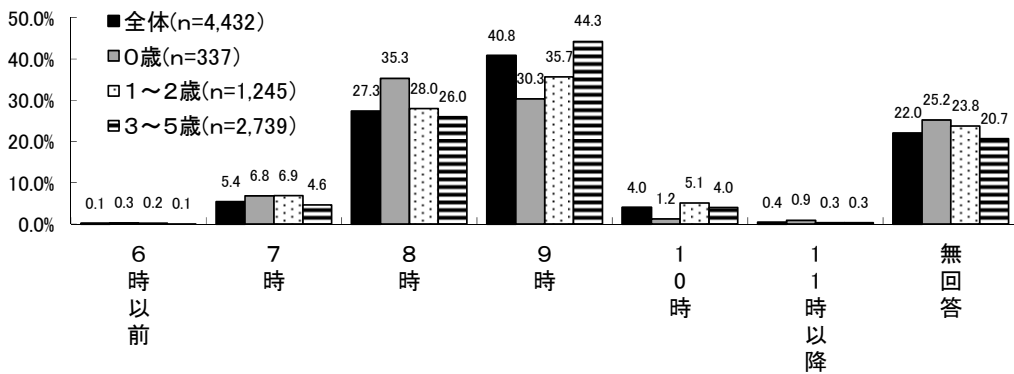
平日の定期的な教育・保育事業の利用者に、希望する利用日数と利用時間をたずねた。

希望の週あたり利用日数では、「5日」(60.3%)の割合が最も高く、次いで「6日」(14.1%)となっている。子どもの年齢別にみると、「6日」の利用希望は子どもの年齢が低いほど高くなる傾向がみられ、「0歳」では21.7%となっている。現在の利用状況と大きな違いはみられない。

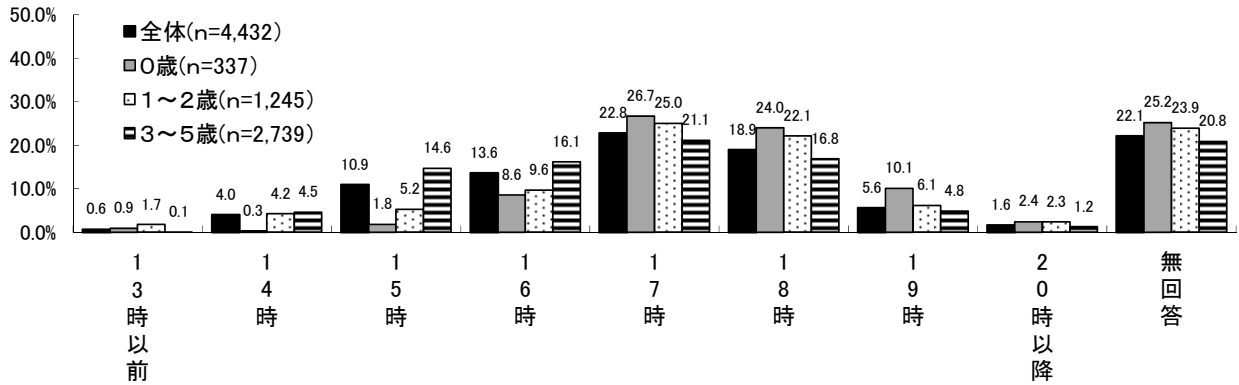
希望の一日あたり利用時間では、「8時間」(18.2%)の割合が最も高く、次いで「9時間」(14.7%)、「10時間」(12.2%)となっている。子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど希望利用時間は長くなる傾向がみられる。

図表－ 8 1 平日の定期的な教育・保育事業の希望利用開始・終了時刻

<希望開始時刻>



<希望終了時刻>



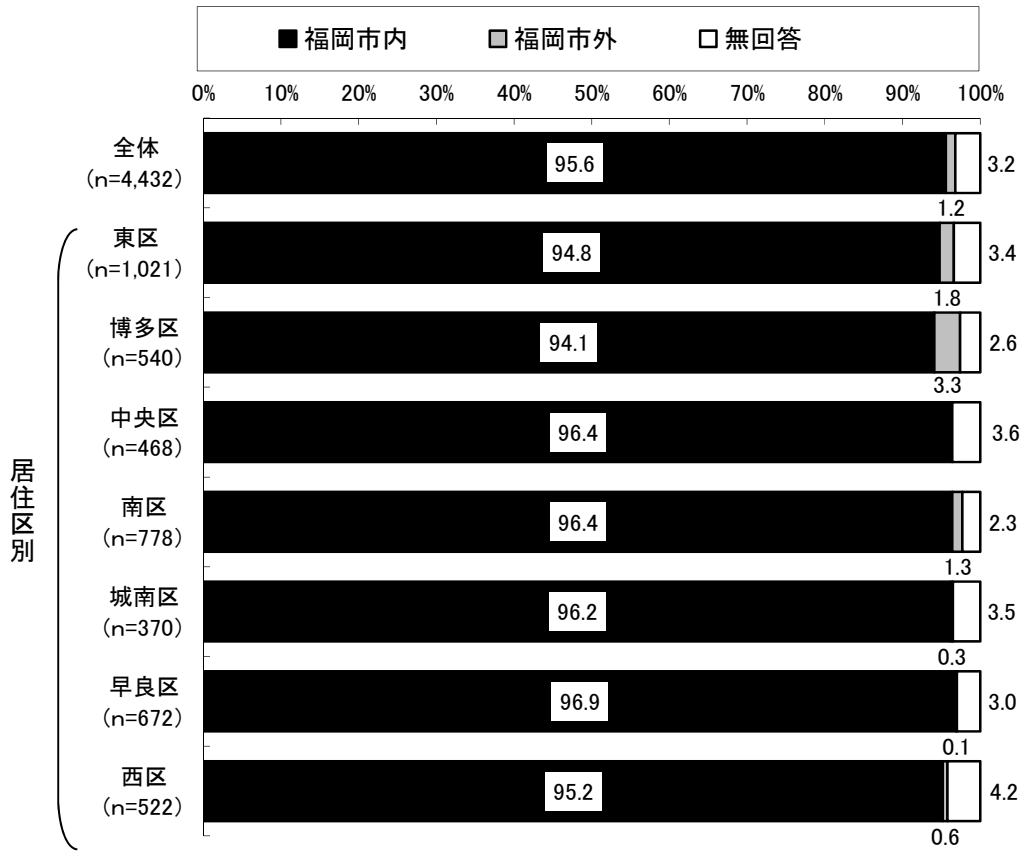
希望の利用開始時刻は「9時」(40.8%)の割合が最も高く、次いで「8時」(27.3%)となっている。子どもの年齢別にみると、0歳は「8時」(35.3%)の割合が高く、3～5歳は「9時」(44.3%)の割合が高くなっている。

希望の利用終了時刻は「17時」(22.8%)と「18時」(18.9%)の割合が高くなっている。子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低いと「17時」「18時」が、年齢が高いと「15時」「16時」の割合が高くなっている。

(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用場所

問22-2 現在、教育・保育事業を利用している場所はどこにありますか。(○は1つ)

図表-82 平日の定期的な教育・保育事業の実施場所



平日の定期的な教育・保育事業の利用場所をたずねたところ、「福岡市内」(95.6%)の割合が大半を占めており、「福岡市外」は1.2%であった。

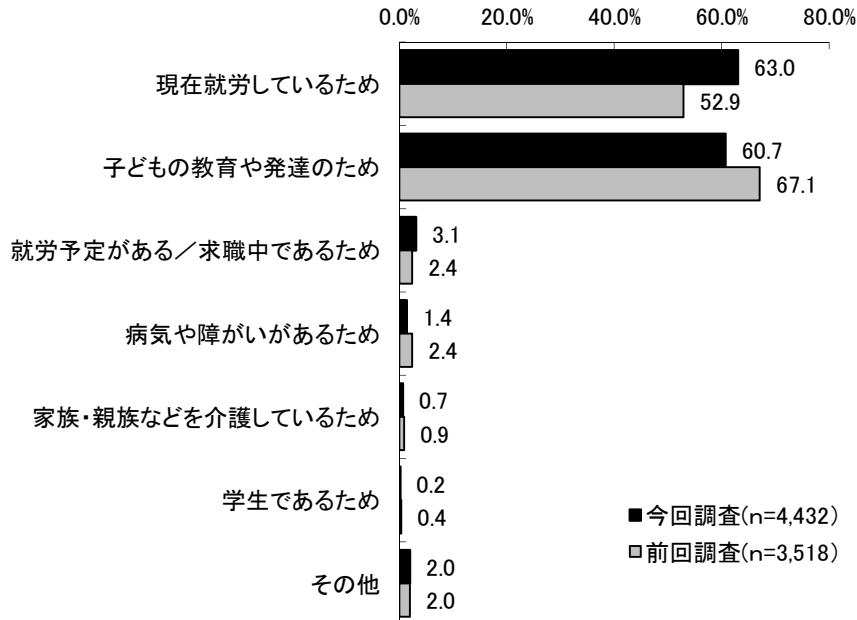
居住区別にみると、博多区(3.3%)で、「福岡市外」の割合が他区よりやや高くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

(5) 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由

問22-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-83 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由



平日の定期的な教育・保育事業の利用者が事業を利用している理由は、「現在就労しているため」(63.0%)と「子どもの教育や発達のため」(60.7%)の割合が6割を超えて高く、その他の理由はいずれも5%未満であった。

前回調査と比較すると、「現在就労しているため」の割合は約10ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「現在就労しているため」の割合は、0歳(91.4%)・1～2歳(74.5%)で他の年齢に比べて高くなっている。

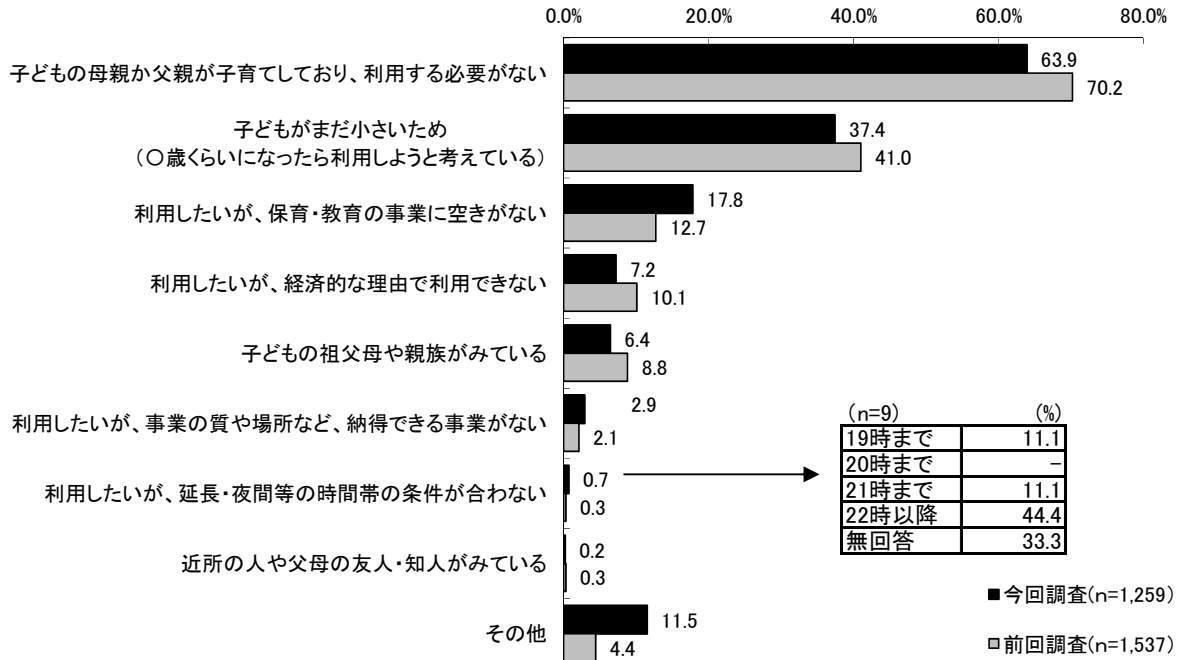
図表-84 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由 (単位：%)

	標本数(人)	子どもの教育や発達のため	現在就労しているため	就労予定がある／求職中であるため	家族・親族などを介護しているため	病気や障がいがあるため	学生であるため	その他	無回答	
全体	4,432	60.7	63.0	3.1	0.7	1.4	0.2	2.0	3.5	
子どもの年齢別	0歳	337	34.7	91.4	3.3	0.9	1.8	-	0.3	3.9
	1～2歳	1,245	49.6	74.5	3.8	0.6	1.3	0.5	4.2	3.7
	3～5歳	2,739	68.9	54.2	2.9	0.8	1.5	0.1	1.2	3.3
	無回答	111	61.3	64.0	0.9	-	0.9	-	1.8	5.4

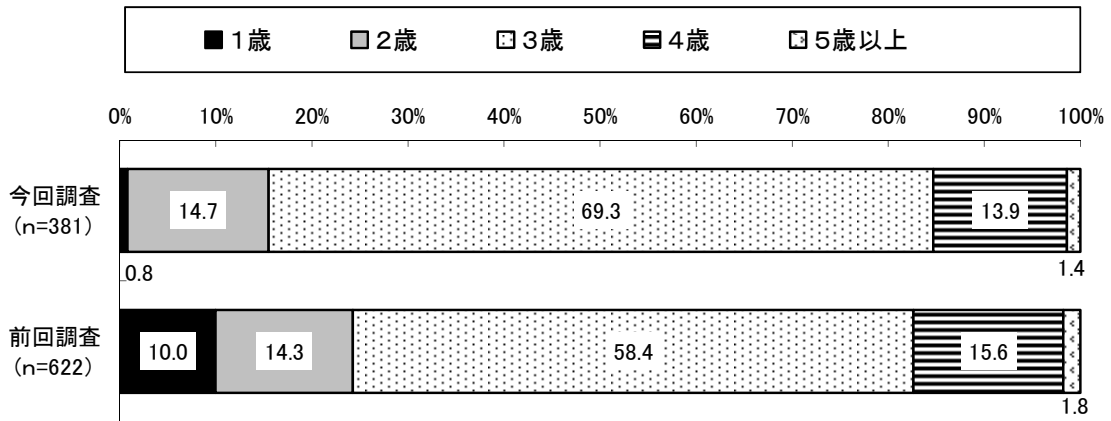
(6) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由

問22-4 【問22で「12. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-85 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由



図表-86 定期的な教育・保育事業の利用を考えている子どもの年齢



※「無回答」を除いて集計している

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない人に、その理由をたずねたところ、「子どもの母親か父親が子育てしており、利用する必要がないため」(63.9%)の割合が最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」(37.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの母親か父親が子育てしており、利用する必要がないため」の割合は約6ポイント減少、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」は約5ポイント増加している。

「子どもがまだ小さいため」と回答した人に、子どもが何歳くらいになったら事業を利用しようと考えているかたずねたところ、「3歳」(69.3%)の割合が最も高く、7割弱を占めている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べて、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」（23.9％）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」（34.8％）の割合が高く、パート・アルバイト等で就労している場合は「子どもの祖父母や親族がみている」（20.1％）の割合が高くなっている。

図表－８７ 子どもの年齢別・母親の就労状況別
平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由（単位：％）

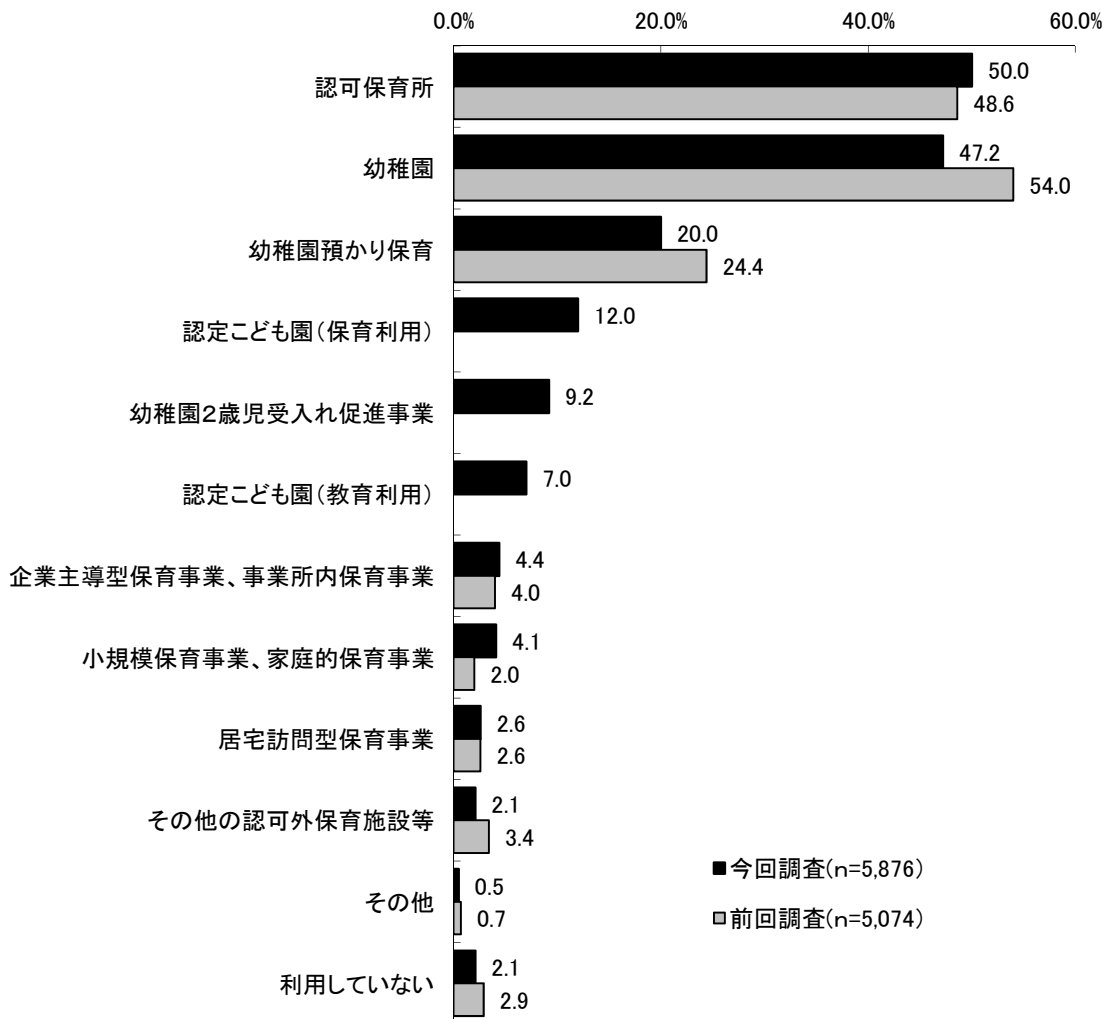
	標本数（人）	が子どものおり、親か利用するが子育て	子どもを祖父母や親族がみ	近所の人や友人・知	の利用したいが、保育・教育	由で利用できない経済的な理	い等の利用したいが、延長・夜間	が場所など、納める事業や	用（子どもがまだ小さいため利	その他	無回答	
全体	1,259	63.9	6.4	0.2	17.8	7.2	0.7	2.9	37.4	11.5	3.1	
子どもの年齢別	0歳	606	58.9	4.8	0.2	23.9	6.1	0.3	2.8	36.1	11.7	3.0
	1～2歳	578	70.2	8.0	-	11.2	8.0	0.9	2.9	40.3	10.4	2.8
	3～5歳	41	39.0	7.3	2.4	19.5	12.2	2.4	2.4	12.2	24.4	12.2
	無回答	34	76.5	8.8	-	17.6	8.8	2.9	2.9	41.2	11.8	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	244	48.4	6.6	0.4	34.8	1.2	0.8	0.8	21.7	23.4	2.0
	パート・アルバイト等で就労	134	51.5	20.1	-	23.1	13.4	1.5	6.0	34.3	12.7	5.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	763	69.3	4.6	0.1	13.2	8.5	0.7	3.1	42.7	7.6	2.6
	これまで就労したことがない	81	76.5	2.5	-	4.9	6.2	-	-	37.0	12.3	6.2
	無回答	37	73.0	2.7	-	8.1	-	-	5.4	43.2	8.1	5.4

2. 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問23 国は、2018年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2018」の中で、「幼児教育・保育の無償化」について、2019年10月からの実施を目指すとしています。次の質問は、「幼児教育・保育の無償化」が実施されていると仮定してお答えください。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、お答えください。（あてはまるものすべてに○）

図表－88 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向



※認定こども園（保育利用）・認定こども園（教育利用）・幼稚園2歳児受入れ促進事業は今回調査で新規に追加された選択肢

平日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「認可保育所」（50.0％）の割合が最も高く、次いで「幼稚園」（47.2％）、「幼稚園預かり保育」（20.0％）、「認定こども園（保育利用）」（12.0％）となっている。

前回調査と比較すると、「幼稚園」の割合は約7ポイント減少している。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、2歳以下では「認可保育所」の割合が高く、特に0歳（61.4%）では6割を超えている。0歳ではその他、「認定こども園（保育利用）」（19.2%）、「幼稚園2歳児受入れ促進事業」（15.5%）、「認定こども園（教育利用）」（12.1%）の割合も他の年齢に比べて高くなっている。

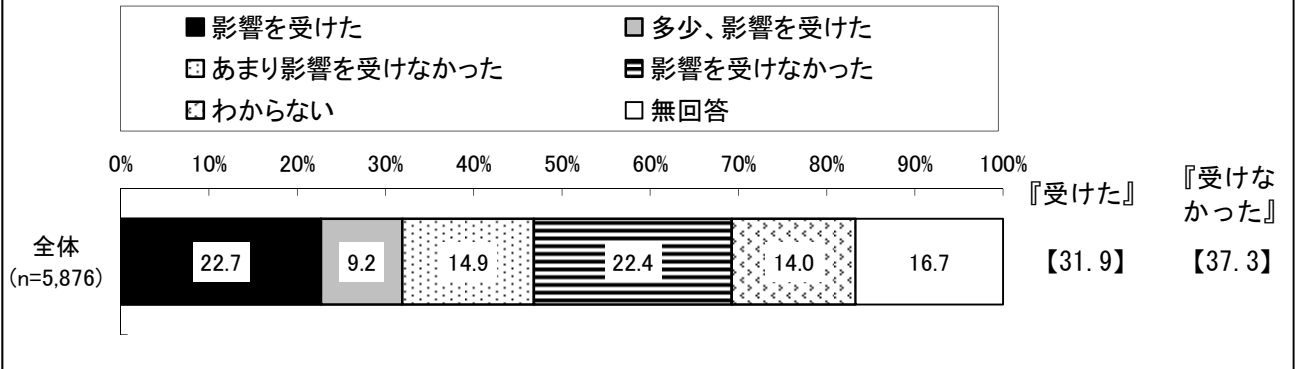
図表－89 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向（単位：%）

		標本数（人）	幼稚園	認定こども園 （教育利用）	幼稚園預かり保育	幼稚園2歳児受入れ促進事業	認可保育所	認定こども園 （保育利用）	小規模保育事業、 家庭的保育事業
全体		5,876	47.2	7.0	20.0	9.2	50.0	12.0	4.1
子どもの年齢別	0歳	960	40.4	12.1	17.2	15.5	61.4	19.2	8.6
	1～2歳	1,913	47.7	7.3	19.0	11.4	52.0	11.1	4.4
	3～5歳	2,853	49.2	5.3	21.5	5.7	44.8	10.1	2.3
	無回答	150	46.7	4.7	22.0	6.7	50.7	14.0	5.3
		標本数（人）	企業主導型保育事業、事業所内保育	居宅訪問型保育事業	その他の認可外保育施設等	その他	利用していない	無回答	
全体		5,876	4.4	2.6	2.1	0.5	2.1	2.9	
子どもの年齢別	0歳	960	8.9	3.2	3.0	-	3.1	1.7	
	1～2歳	1,913	5.0	3.1	1.8	0.4	1.3	2.7	
	3～5歳	2,853	2.6	2.2	1.9	0.7	2.4	3.4	
	無回答	150	4.0	2.0	2.7	0.7	0.7	4.7	

(2) 幼児教育・保育無償化の影響

問23-1 問23にご回答いただくにあたり、「幼児教育・保育の無償化」の影響はありましたか。(〇は1つ)

図表-90 幼児教育・保育無償化の影響



平日の定期的な教育・保育事業の利用意向を回答するにあたり、幼児教育・保育無償化の影響を受けたかどうかをたずねたところ、「影響を受けた」(22.7%)と「影響を受けなかった」(22.4%)の割合は同程度であった。

「影響を受けた」と「多少、影響を受けた」を合わせた『受けた』は31.9%、「あまり影響を受けなかった」と「影響を受けなかった」を合わせた『受けなかった』は37.3%で、『受けなかった』の割合がやや上回っている。

子どもの年齢別にみると、1～2歳は他の年齢に比べ『受けた』(36.6%)の割合がやや高い。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合に比べて、現在就労していない場合は『受けた』の割合が高くなっている。

図表-91 子どもの年齢別・母親の就労状況別

幼児教育・保育無償化の影響 (単位: %)

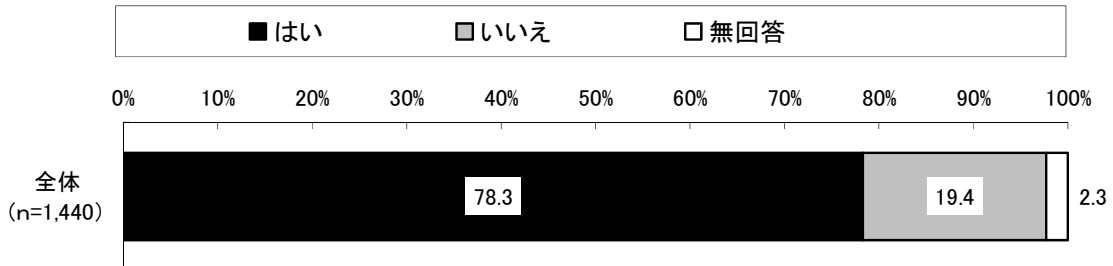
	標本数(人)	影響を受けた	多少、影響を受けた	あまり影響を受けなかった	影響を受けなかった	わからない	無回答	『受けた』	『受けなかった』	
全体	5,876	22.7	9.2	14.9	22.4	14.0	16.7	31.9	37.3	
子どもの年齢別	0歳	960	24.6	10.1	14.0	19.7	15.5	16.1	34.7	33.7
	1～2歳	1,913	26.4	10.2	15.6	19.4	13.2	15.2	36.6	35.0
	3～5歳	2,853	19.4	8.5	15.0	25.3	14.1	17.8	27.9	40.3
	無回答	150	26.0	6.0	8.7	25.3	14.0	20.0	32.0	34.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	19.8	8.1	15.2	28.4	13.8	14.8	27.9	43.6
	パート・アルバイト等で就労	1,659	22.7	8.9	13.9	21.8	15.9	16.8	31.6	35.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	25.6	10.8	15.6	17.5	12.7	17.7	36.4	33.1
	これまで就労したことがない	231	26.4	10.8	12.6	19.5	13.4	17.3	37.2	32.1
	無回答	150	20.7	6.7	14.7	14.0	14.0	30.0	27.4	28.7

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(3) 特に幼稚園の利用を強く希望するか

問23-2 【問23で「1か2」に○をつけ、かつ「3～10のいずれかに1つ以上」○をつけた方にうかがいます。】特に幼稚園（幼稚園の預かり保育含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

図表-92 特に幼稚園の利用を強く希望するか



平日の定期的な教育・保育事業で幼稚園利用を希望しており、かつその他の教育・保育事業も希望している人に、特に幼稚園の利用を強く希望するかをたずねたところ、「はい」は78.3%、「いいえ」が19.4%となっている。

子どもの年齢別にみると、「はい」の割合は、年齢とともに高くなる傾向にある。

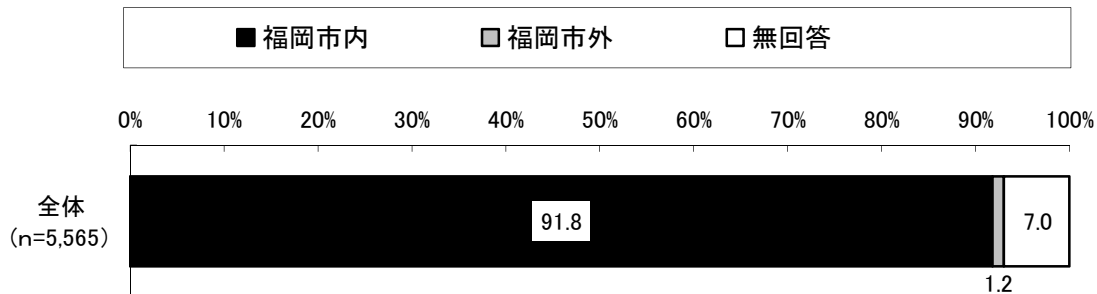
図表-93 子どもの年齢別 特に幼稚園の利用を強く希望するか（単位：%）

		標本数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,440	78.3	19.4	2.3
子どもの 年齢別	0歳	256	72.7	24.6	2.7
	1～2歳	484	78.9	20.0	1.0
	3～5歳	666	80.9	15.9	3.2
	無回答	34	61.8	38.2	-

(4) 平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所

問23-3 【問23で「1～10」に○をつけた方にうかがいます。】教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。（○は1つ）

図表-94 平日の定期的な教育・保育事業を利用したい場所



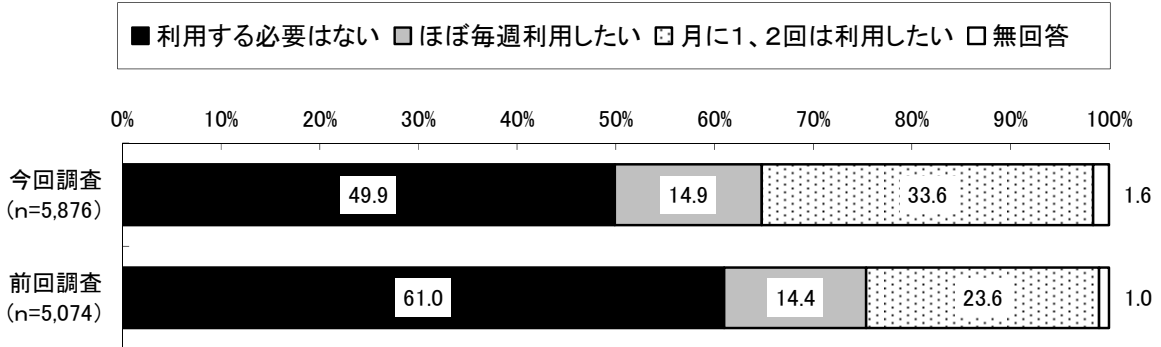
平日の定期的な教育・保育事業の利用希望者に、事業を利用したい場所についてたずねたところ、「福岡市内」（91.8%）の割合が大半を占めており、「福岡市外」は1.2%であった。

3. 土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

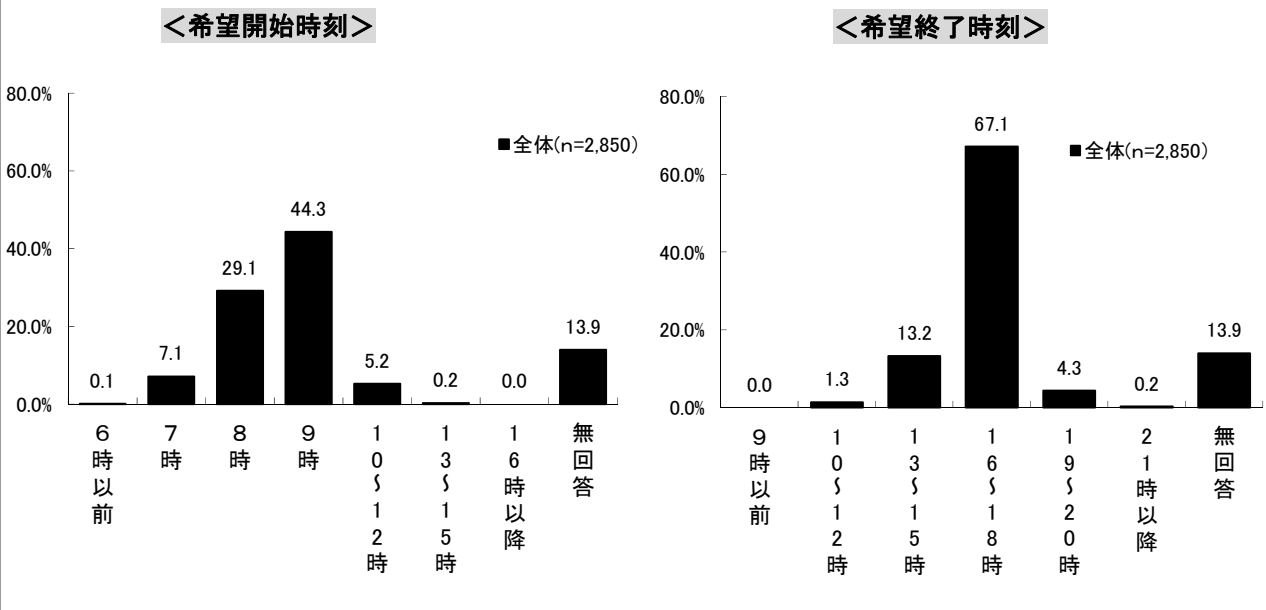
(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。(土曜・日祝日それぞれ〇は1つ。希望時間を枠内に記入。(例)9～18時)

図表－95 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向



図表－96 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始・終了時刻



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「利用する必要はない」(49.9%)の割合が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(33.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(14.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が約11ポイント減少し、「月に1～2回は利用したい」の割合が10ポイント増加している。

土曜日の利用希望者(「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した人)に、希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻では「9時」(44.3%)、希望終了時刻では「16～18時」(67.1%)の割合が高くなっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別では、大きな違いはみられなかった。

母親の就労状況別にみると、現在就労していない場合は「利用する必要はない」の割合が高くなっており、フルタイムで就労している場合は「ほぼ毎週利用したい」（24.6％）と「月に1、2回は利用したい」（43.0％）を合わせると、利用希望者は7割弱に達している。

図表－97 子どもの年齢別・母親の就労状況別

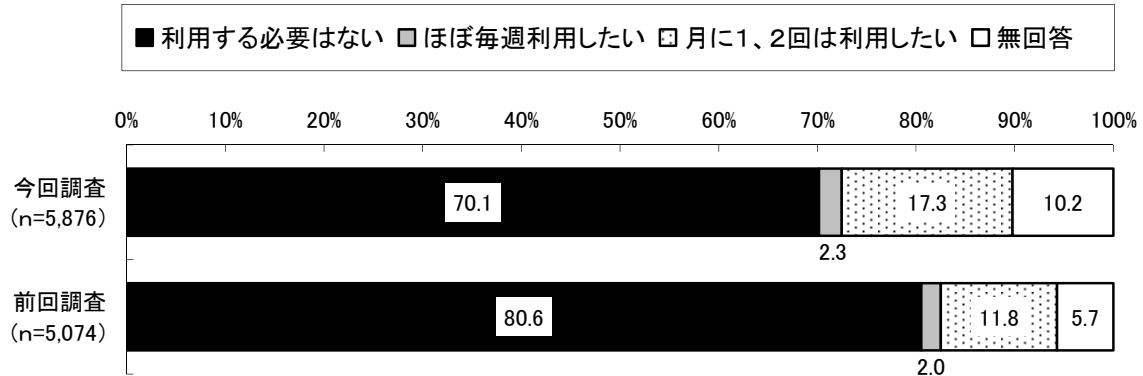
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向（単位：％）

		標本数 (人)	利用する 必要はない	ほぼ 毎週 利用したい	月に 1、 2 回は 利用し	無 回 答
全 体		5,876	49.9	14.9	33.6	1.6
子 ど も の 年 齢 別	0歳	960	50.9	16.6	31.5	1.0
	1～2歳	1,913	48.9	15.3	34.4	1.5
	3～5歳	2,853	50.6	13.8	33.6	1.9
	無回答	150	40.7	21.3	35.3	2.7
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	2,013	31.4	24.6	43.0	1.0
	パート・アルバイト等で就労	1,659	43.2	16.7	38.6	1.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	72.4	4.3	21.6	1.7
	これまで就労したことがない	231	77.9	4.3	15.6	2.2
	無回答	150	56.0	9.3	24.7	10.0

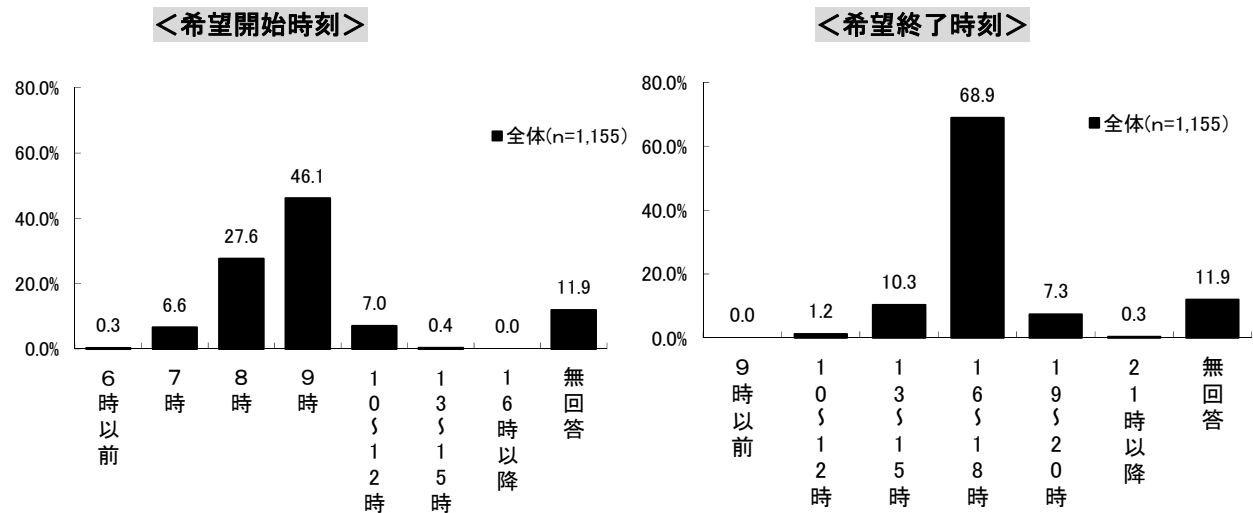
(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。(土曜・日祝日それぞれ〇は1つ。希望時間を枠内に記入。(例)9～18時)

図表－98 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向



図表－99 日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望開始・終了時刻



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「利用する必要はない」(70.1%)の割合が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(17.3%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が約10ポイント減少し、「月に1～2回は利用したい」の割合が約6ポイント増加している。

日曜日・祝日の利用希望者(「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した人)に、希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻では「9時」(46.1%)、希望終了時刻では「16～18時」(68.9%)の割合が高くなっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別では、大きな違いはみられなかった。

母親の就労状況別にみると、現在就労していない場合は「利用する必要はない」の割合が高くなっており、フルタイムで就労している場合は「ほぼ毎週利用したい」（4.4％）と「月に1、2回は利用したい」（23.9％）を合わせると、利用希望者は3割弱となっている。

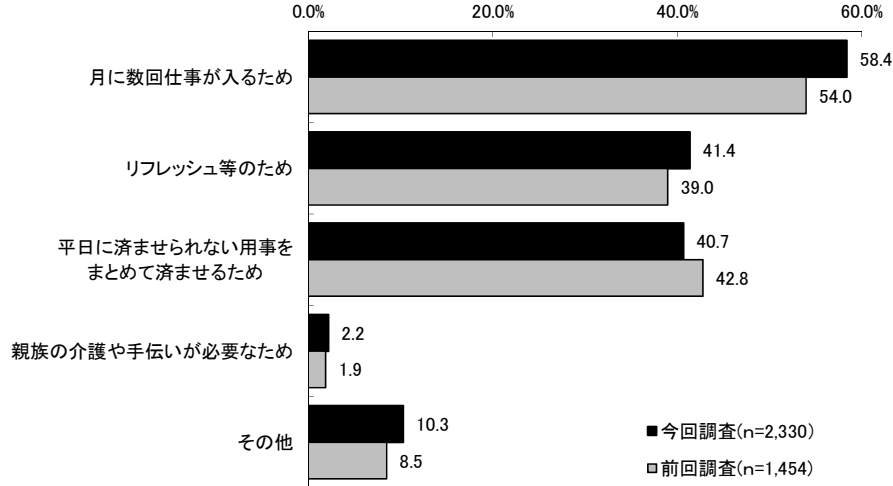
図表－100 子どもの年齢別・母親の就労状況別
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（単位：％）

		標本数 (人)	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用したい	月に1、 2回は利用し	無回答
全体		5,876	70.1	2.3	17.3	10.2
子どもの 年齢別	0歳	960	68.5	2.7	19.2	9.6
	1～2歳	1,913	69.7	2.9	17.3	10.1
	3～5歳	2,853	71.5	1.7	16.4	10.3
	無回答	150	59.3	4.7	23.3	12.7
母親の 就労状況別	フルタイムで就労	2,013	61.0	4.4	23.9	10.7
	パート・アルバイト等で就労	1,659	69.3	1.9	18.9	9.9
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	80.0	0.6	10.3	9.1
	これまで就労したことがない	231	84.0	0.4	7.8	7.8
	無回答	150	63.3	3.3	9.3	24.0

(3) 土曜日・日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問24-1 【問24で、「3」に○をつけた方にうかがいます。】毎週ではなく、月に1・2回だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表-101 土曜日・日祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由



土曜日・日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業を「月に1～2回は利用したい」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」(58.4%)の割合が最も高く、次いで「リフレッシュ等のため」(41.4%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(40.7%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの年齢別にみると、「月に数回仕事が入るため」の割合は、年齢が低いほど高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合は「月に数回仕事が入るため」の割合が高く、現在就労していない場合は「リフレッシュ等のため」の割合が高い。

図表-102 子どもの年齢別・母親の就労状況別

土曜日・日祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由 (単位: %)

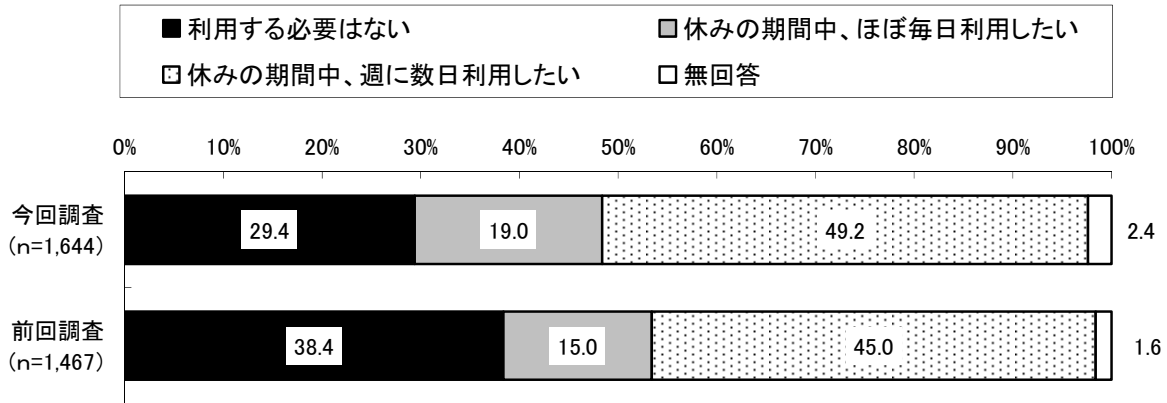
	標本数(人)	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	リフレッシュ等のため	その他	無回答	
全体	2,330	58.4	40.7	2.2	41.4	10.3	2.0	
子どもの年齢別	0歳	370	64.1	37.3	1.9	41.6	6.5	1.6
	1～2歳	779	59.1	44.0	0.9	42.2	10.3	2.1
	3～5歳	1,111	55.8	39.4	3.2	41.1	11.1	2.1
	無回答	70	61.4	41.4	2.9	34.3	17.1	1.4
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,074	70.6	43.5	1.1	33.8	7.4	1.5
	パート・アルバイト等で就労	747	67.9	34.8	2.5	36.7	10.4	2.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	425	17.9	44.2	4.2	65.6	17.2	1.4
	これまで就労したことがない	39	2.6	38.5	2.6	74.4	10.3	2.6
	無回答	41	39.0	36.6	-	39.0	12.2	7.3

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

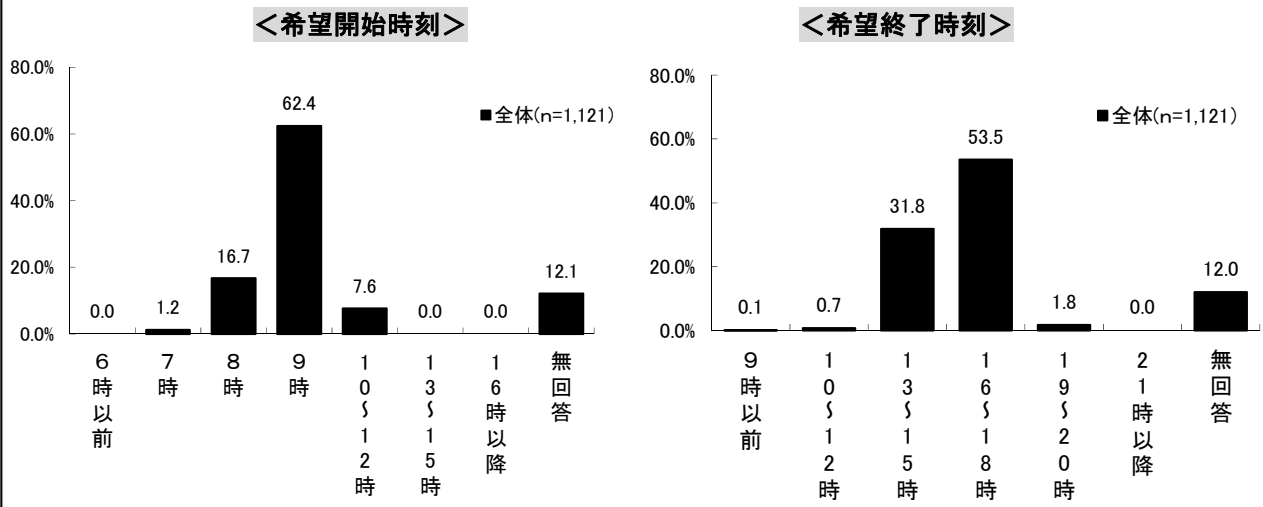
(4) 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向

問25 【「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。】あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(○は1つ。希望時間を枠内に記入。(例)9～18時)

図表－103 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向



図表－104 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の希望開始・終了時刻



幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「休みの期間中、週に数日利用したい」(49.2%)の割合が最も高く、次いで「利用する必要はない」(29.4%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(19.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が約9ポイント減少し、利用希望者(「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」と回答した人)の割合が増加している。

長期休暇中の利用希望者(「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人)が希望する利用開始・終了時刻は、希望開始時刻では「9時」(62.4%)、希望終了時刻では「16～18時」(53.5%)の割合が高くなっている。

子どもの年齢別にみると、3～5歳は他の年齢に比べて「利用する必要はない」（30.6％）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、現在就労していない場合は、就労している場合に比べて「利用する必要はない」の割合が高くなっており、就労している場合は「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が高くなっている。

図表－105 子どもの年齢別・母親の就労状況別
幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向（単位：％）

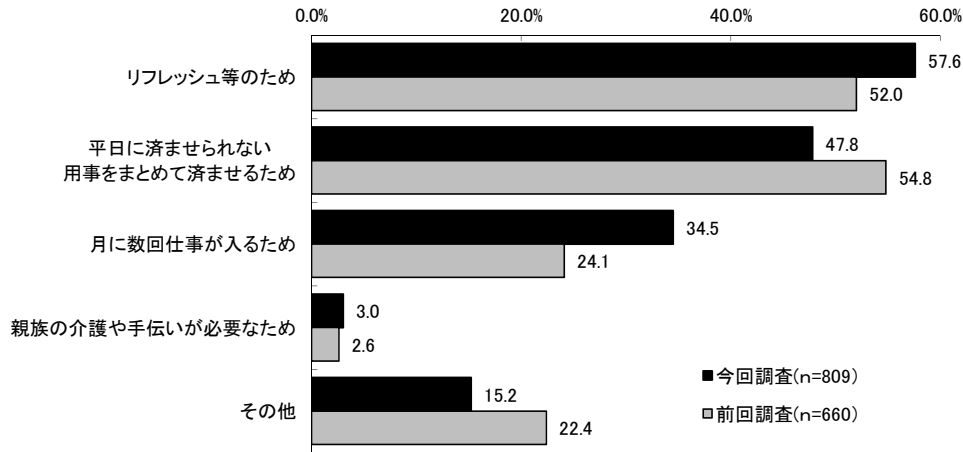
		標本数 (人)	利用する 必要はない	日休 みの期 間中、 ほぼ毎	日休 みの期 間中、 週に数	無回 答
全 体		1,644	29.4	19.0	49.2	2.4
子 ど も の 年 齢 別	0歳	1	-	-	100.0	-
	1～2歳	231	23.8	20.3	51.9	3.9
	3～5歳	1,368	30.6	18.5	48.9	2.0
	無回答	44	22.7	27.3	43.2	6.8
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	117	18.8	55.6	22.2	3.4
	パート・アルバイト等で就労	498	14.5	31.3	52.6	1.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	845	36.8	9.7	50.7	2.8
	これまで就労したことがな い	135	43.7	5.2	50.4	0.7
	無回答	47	42.6	4.3	48.9	4.3

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(5) 幼稚園利用者が長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問25-1 【問25で「3」に○をつけた方にうかがいます。】毎日ではなく、週に数日だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表-106 幼稚園利用者が長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由



幼稚園利用者で長期休暇中に定期的な教育・保育事業を「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「リフレッシュ等のため」(57.6%)の割合が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(47.8%)、「月に数回仕事が入るため」(34.5%)となっている。

子どもの年齢別にみると、3～5歳は他の年齢に比べ「月に数回仕事が入るため」の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合は「月に数回仕事が入るため」の割合が高く、現在就労していない場合は「リフレッシュ等のため」の割合が高くなっている。

図表-107 子どもの年齢別・母親の就労状況別

幼稚園利用者が長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由(単位:%)

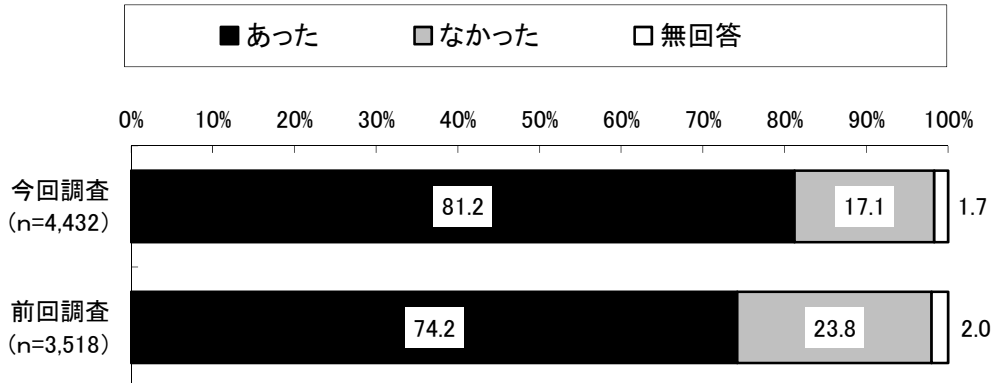
	標本数(人)	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませないため	親族の介護や手伝いが必要なため	リフレッシュ等のため	その他	無回答	
全体	809	34.5	47.8	3.0	57.6	15.2	1.0	
子どもの年齢別	0歳	-	100.0	-	100.0	-	-	
	1～2歳	120	21.7	56.7	2.5	60.8	17.5	2.5
	3～5歳	669	36.8	45.7	3.0	57.5	15.1	0.6
	無回答	19	36.8	63.2	5.3	36.8	5.3	5.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	26	46.2	38.5	3.8	46.2	15.4	3.8
	パート・アルバイト等で就労	262	79.4	27.9	2.7	27.1	9.9	0.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	428	9.8	57.2	3.5	73.8	17.5	1.4
	これまで就労したことがない	68	14.7	69.1	-	79.4	16.2	-
	無回答	23	26.1	47.8	-	52.2	26.1	-

4. 平日の定期的な教育・保育事業利用者の病気の際の対応について

(1) 過去1年間に病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験

問26 【平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方（問22で1～10に○をつけた方）にうかがいます】この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

図表－108 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験



平日の定期的な教育・保育事業利用者に、この1年間に子どもの病気等のために定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験についてたずねたところ、「あった」の割合が81.2%となっている。前回調査と比較すると、「あった」の割合は7ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「あった」の割合が高くなる傾向にある。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合は、現在就労していない場合に比べて、「あった」の割合が高くなっている。

図表－109 子どもの年齢別・母親の就労状況別

子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験（単位：%）

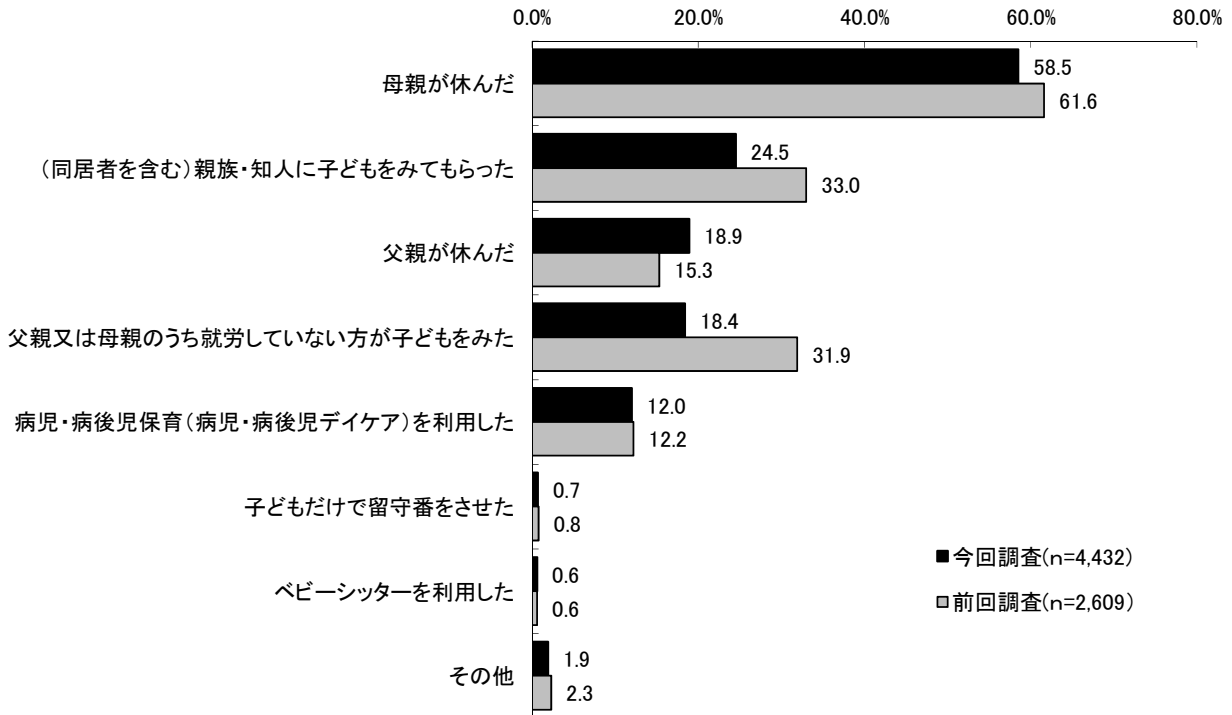
		(人標本数)	あった	なかった	無回答
全体		4,432	81.2	17.1	1.7
子どもの年齢別	0歳	337	89.3	9.2	1.5
	1～2歳	1,245	85.1	12.9	2.0
	3～5歳	2,739	78.6	19.8	1.6
	無回答	111	74.8	23.4	1.8
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,751	90.1	9.5	0.3
	パート・アルバイト等で就労	1,486	82.4	15.5	2.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	961	66.8	30.2	3.0
	これまで就労したことがない	143	65.0	30.1	4.9
	無回答	85	64.7	31.8	3.5

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(2) 過去1年間に病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処

問26-1 【問26で「1」に○をつけた方にうかがいます。】あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(あてはまるものすべてに○。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度の場合も1日とカウント。)

図表-110 利用できなかった場合の対処方法



利用できなかった場合の対処方法では「母親が休んだ」(58.5%)の割合が最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」(24.5%)、「父親が休んだ」(18.9%)、「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した」(12.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「親族・知人に子どもをみてもらった」は約9ポイント、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は約14ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳は他の年齢に比べて、「母親が休んだ」(84.6%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(35.0%)、「父親が休んだ」(32.3%)、「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した」(22.0%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は他に比べて、「母親が休んだ」(77.3%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(39.1%)、「父親が休んだ」(32.8%)、「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した」(21.7%)の割合が高くなっている。現在就労していない場合は、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっている。

図表-111 子どもの年齢別・母親の就労状況別
利用できなかった場合の対処方法(単位:%)

	標本数(人)	父親が休んだ	母親が休んだ	て族(同居者を含む)を親み	もをみた	父親又は母親のうち就	を児病利用した	病児・病後児保育(病	したベビーシッターを利用	させた子どもだけで留守番を	その他	無回答
全体	4,432	18.9	58.5	24.5	18.4	12.0	0.6	0.7	1.9	18.7		
子どもの年齢別	0歳	337	32.3	84.6	35.0	4.5	22.0	0.3	-	2.1	10.4	
	1~2歳	1,245	24.7	68.9	31.9	12.9	14.6	0.8	0.4	2.0	14.8	
	3~5歳	2,739	14.5	50.6	19.9	23.0	9.7	0.5	0.9	1.8	21.3	
	無回答	111	19.8	58.6	20.7	11.7	11.7	0.9	-	1.8	24.3	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,751	32.8	77.3	39.1	5.8	21.7	0.9	0.6	2.9	9.3	
	パート・アルバイト等で就労	1,486	13.5	74.6	22.9	7.0	9.0	0.6	1.0	1.5	16.7	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	961	4.8	9.6	4.1	54.9	1.4	-	0.4	0.6	33.7	
	これまで就労したことがない	143	5.6	-	4.2	49.7	-	0.7	-	2.1	42.7	
	無回答	85	5.9	47.1	12.9	15.3	8.2	-	-	-	36.5	

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

利用できなかった場合の対処方法別の日数は、「父親が休んだ」は「1日」(24.7%)、「母親が休んだ」は「6～10日」(24.8%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」は「6～10日」(18.5%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は「6～10日」(26.7%)、「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した」は「1日」(18.7%)、「ベビーシッターを利用した」は「1日」「2日」「6～10日」(ともに20.0%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は「1日」(41.4%)が、それぞれ最も多くなっている。

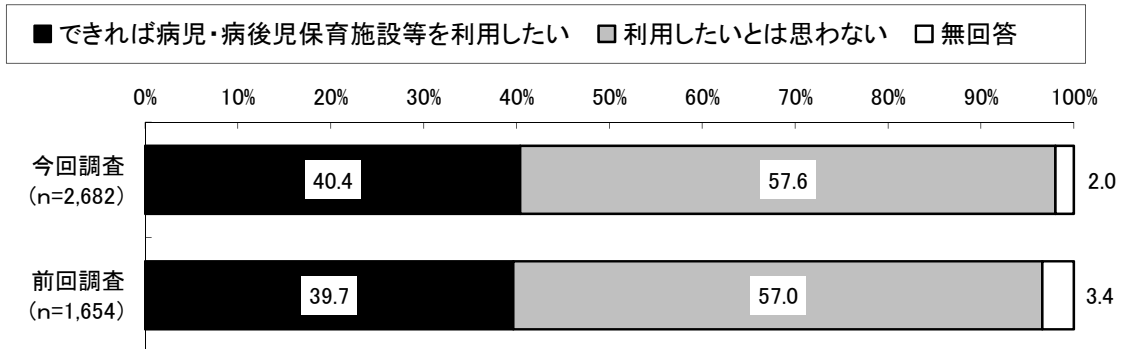
図表－112 利用できなかった場合の対処方法別日数(単位：%)

	(人標本数)	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11日以上	無回答	間平均日数(年)
父親が休んだ	837	24.7	20.5	17.4	3.3	12.4	11.1	2.2	8.2	3.7
母親が休んだ	2,593	7.3	10.3	12.6	4.4	13.2	24.8	15.4	12.0	8.4
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	1,084	10.9	16.7	15.5	4.3	14.4	18.5	9.3	10.4	6.1
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	817	7.7	9.3	10.4	5.0	16.8	26.7	14.6	9.5	7.9
病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した	534	18.7	16.9	15.7	5.8	13.1	16.5	8.4	4.9	5.3
ベビーシッターを利用した	25	20.0	20.0	12.0	-	12.0	20.0	8.0	8.0	5.0
子どもだけで留守番をさせた	29	41.4	10.3	10.3	-	10.3	10.3	-	17.2	2.8
その他	82	7.3	7.3	14.6	7.3	12.2	20.7	7.3	23.2	6.5

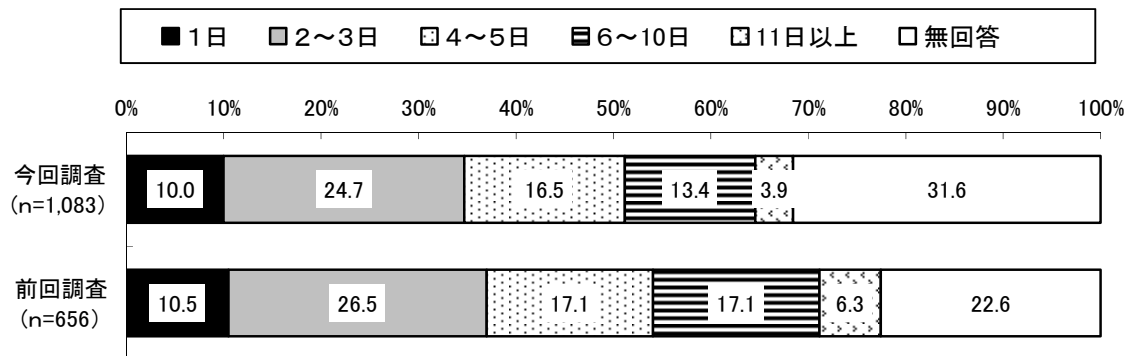
(3) 病児・病後児保育の利用意向、希望する事業形態

問26-2 【問26-1で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。】その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ。枠内に日数を記入)

図表-113 病児・病後児保育の利用意向

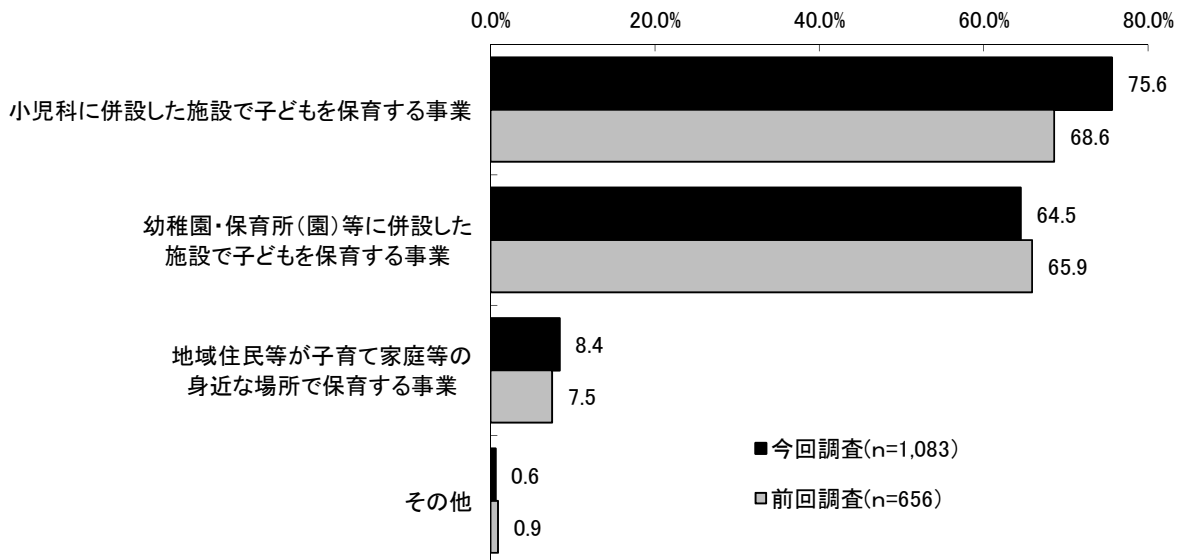


図表-114 病児・病後児保育の利用希望日数



問26-3 【問26-2で「1」に○をつけた方にうかがいます。】その場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-115 希望する病児・病後児保育の事業形態



II 乳幼児の保護者調査結果

平日の定期的な教育・保育事業利用者で、この1年間に子どもの病気等のために定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験がある人に、病児・病後児保育の利用意向をたずねたところ、利用希望者（「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人）は40.4%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

利用希望者の利用希望日数では「年間2～3日」（24.7%）・「年間4～5日」（16.5%）の割合が高くなっている。

利用希望者が望ましいと思う事業形態は「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（75.6%）の割合が最も高く、次いで「幼稚園・保育所（園）等に併設した施設で子どもを保育する事業」（64.5%）となっている。前回調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が約7ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合は、年齢が低いほど高い傾向にある。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合は、現在就労していない場合に比べて、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっている。

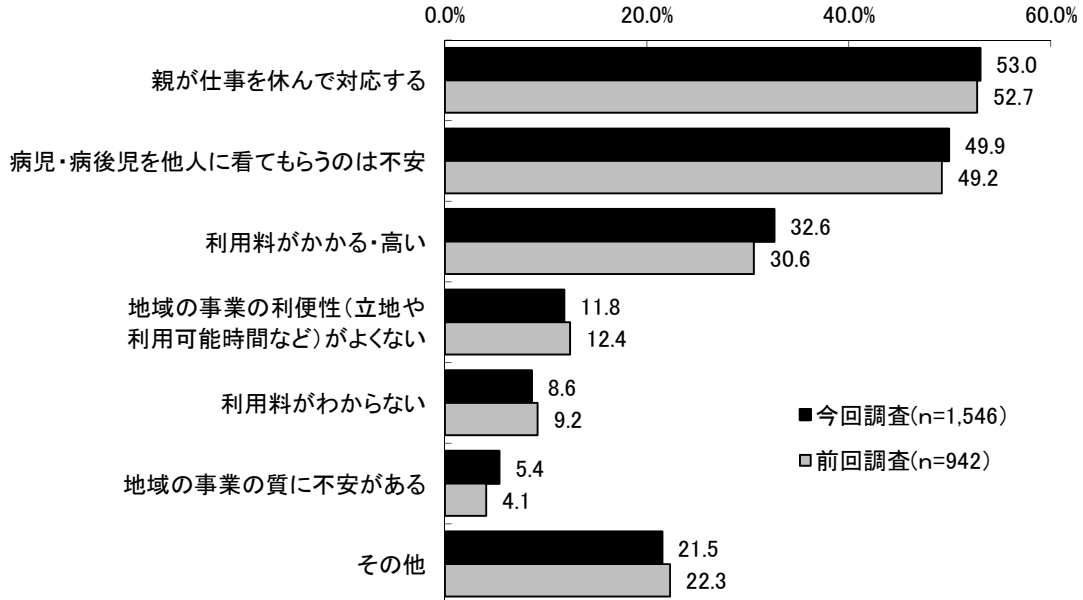
図表－116 子どもの年齢別・母親の就労状況別 病児・病後児保育の利用意向（単位：%）

		標本数（人）	い保でき 育られ 施設ば 等病児 を利・ 用病後 した児	い利用 した いと は思 わな	無 回 答
全体		2,682	40.4	57.6	2.0
子どもの 年齢別	0歳	288	47.6	51.7	0.7
	1～2歳	881	41.4	56.4	2.2
	3～5歳	1,446	38.2	59.5	2.2
	無回答	67	41.8	58.2	-
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	1,385	48.0	49.7	2.3
	パート・アルバイト等で就労	1,121	32.6	65.8	1.5
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	123	26.8	71.5	1.6
	これまで就労したことがない	8	12.5	87.5	-
	無回答	43	37.2	58.1	4.7

(4) 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由

問26-4 【問26-2で「2」に○をつけた方にうかがいます。】そう思われる理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-117 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由



平日の定期的な教育・保育事業利用者で、この1年間に子どもの病気等のために定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験がある人のうち、病児保育を利用したいとは思わないと回答した人に、その理由をたずねたところ、「親が仕事を休んで対応する」(53.0%)の割合が最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(49.9%)、「利用料がかかる・高い」(32.6%)となっている。なお、前回調査と比較してもほぼ同様の結果となっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合は、現在就労していない場合に比べて、「親が仕事を休んで対応する」の割合が高くなっている。

図表-118 母親の就労状況別 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由 (単位: %)

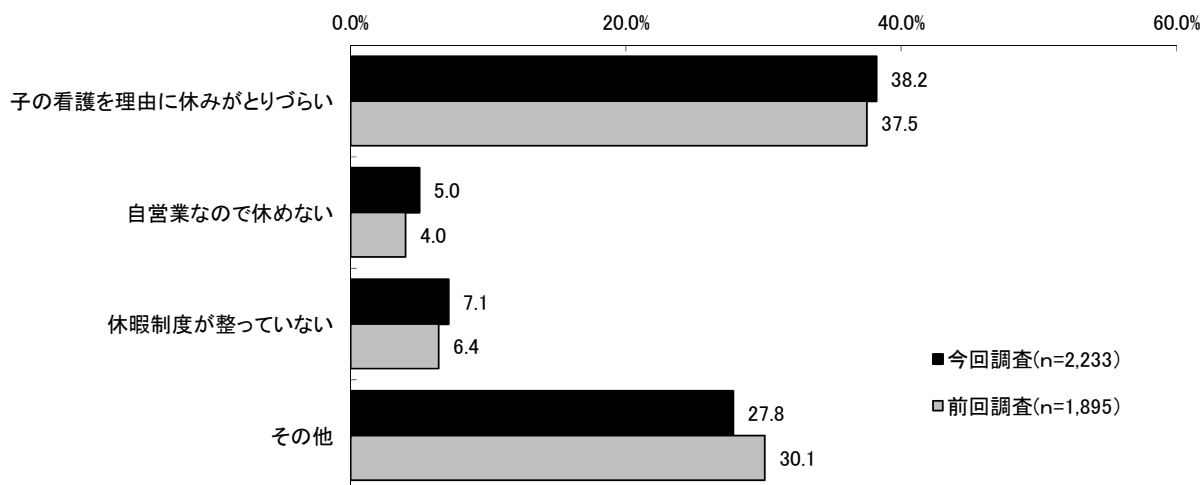
	標本数(人)	看病でもら病う後のはを不安に	が地域の事業の質に不安	な(地)立(地)の事業の利便性時間	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	親が仕事を休んで対応	その他	無回答	
全体	1,546	49.9	5.4	11.8	32.6	8.6	53.0	21.5	1.6	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	688	48.8	5.8	15.1	27.6	6.0	50.3	27.9	1.7
	パート・アルバイト等で就労	738	49.7	4.5	9.1	36.7	10.4	58.3	16.5	1.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	88	56.8	8.0	11.4	36.4	11.4	34.1	18.2	2.3
	これまで就労したことがない	7	85.7	14.3	-	14.3	42.9	28.6	14.3	-
	無回答	25	48.0	8.0	4.0	40.0	8.0	48.0	8.0	4.0

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(5) 子どもの病気やけがで保護者が休めなかった理由

問26-5 【問26-1で「3」～「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。】休めなかった理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-119 子どもの病気やけがで保護者が休めなかった理由



子どもが病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合に、保護者が仕事を休むことができなかった理由は、「子の看護を理由に休みがとりづらい」(38.2%)が最も高くなっており、0歳(52.3%)では5割を超えている。

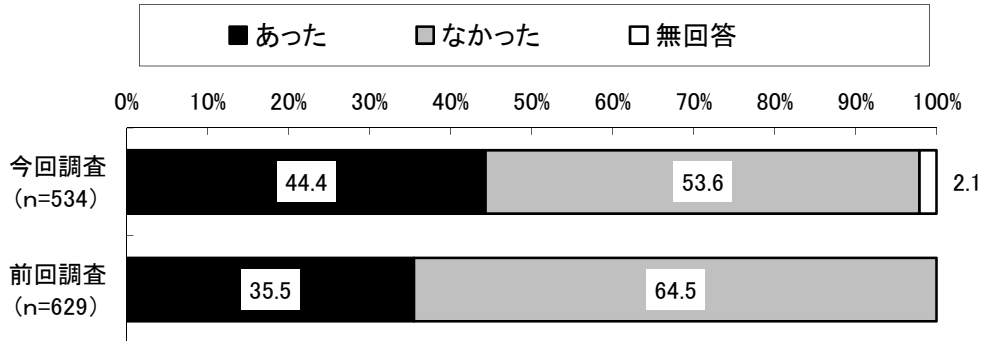
図表-120 子どもの年齢別 子どもの病気やけがで保護者が休めなかった理由 (単位: %)

		標本数(人)	が子の看護を理由に休み	自営業なので休めない	い休暇制度が整っていない	その他	無回答
全体		2,233	38.2	5.0	7.1	27.8	33.0
子どもの年齢別	0歳	172	52.3	2.9	7.0	25.6	27.3
	1~2歳	662	38.8	5.9	7.4	31.3	28.4
	3~5歳	1,357	36.4	4.8	6.9	26.5	35.9
	無回答	42	31.0	7.1	9.5	26.2	35.7

(6) 病児・病後児保育の利用を断られた経験

問27 【病児・病後児保育（病児・病後児デイケア）を利用した（利用しようとした）方にうかがいます。】利用申し込みをした際に、施設の定員の都合を理由に断られたことがありますか。（○は1つ）

図表－121 病児・病後児保育の利用を断られた経験



病児・病後児保育施設等を利用しようとした際に、施設の定員の都合を理由に断られた経験は、「あった」が44.4%となっている。

前回調査と比較すると、「あった」の割合は約9ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、1～2歳で「あった」（47.3%）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合は、現在就労していない場合に比べて、「あった」の割合が高くなっている。

図表－122 子どもの年齢別・母親の就労状況別
病児・病後児保育の利用を断られた経験（単位：%）

		標本数 (人)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
全 体		534	44.4	53.6	2.1
子 ど も の 年 齢 別	0歳	74	39.2	55.4	5.4
	1～2歳	182	47.3	52.2	0.5
	3～5歳	265	43.0	54.7	2.3
	無回答	13	61.5	38.5	-
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	380	44.5	53.7	1.8
	パート・アルバイト等で就労	134	44.8	53.0	2.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	13	38.5	61.5	-
	これまで就労したことがない	-	-	-	-
	無回答	7	42.9	42.9	14.3

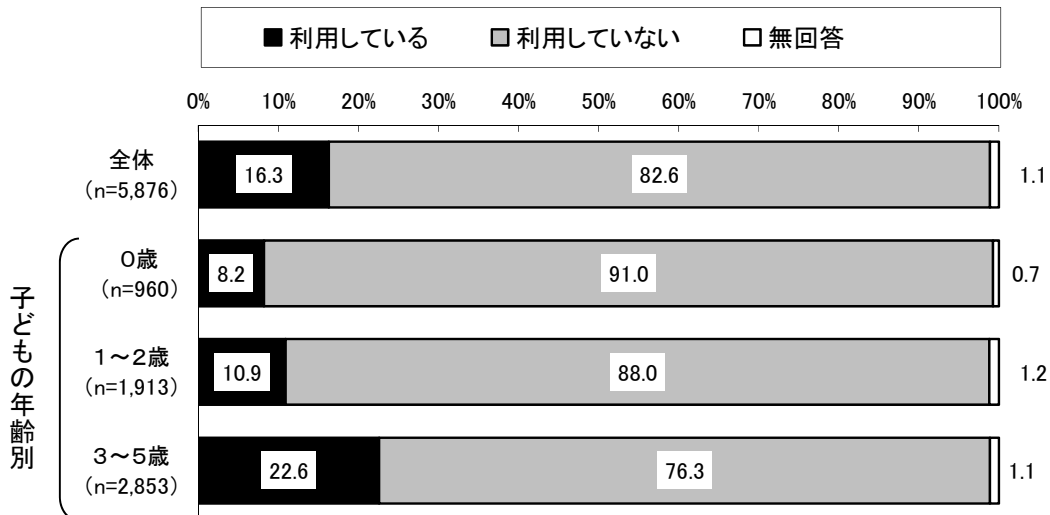
II 乳幼児の保護者調査結果

5. 不特定の教育・保育事業の利用について

(1) 不特定の教育・保育事業の利用状況

問28 現在、あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(○は1つ)

図表－123 この1年間の不特定の教育・保育事業の利用状況

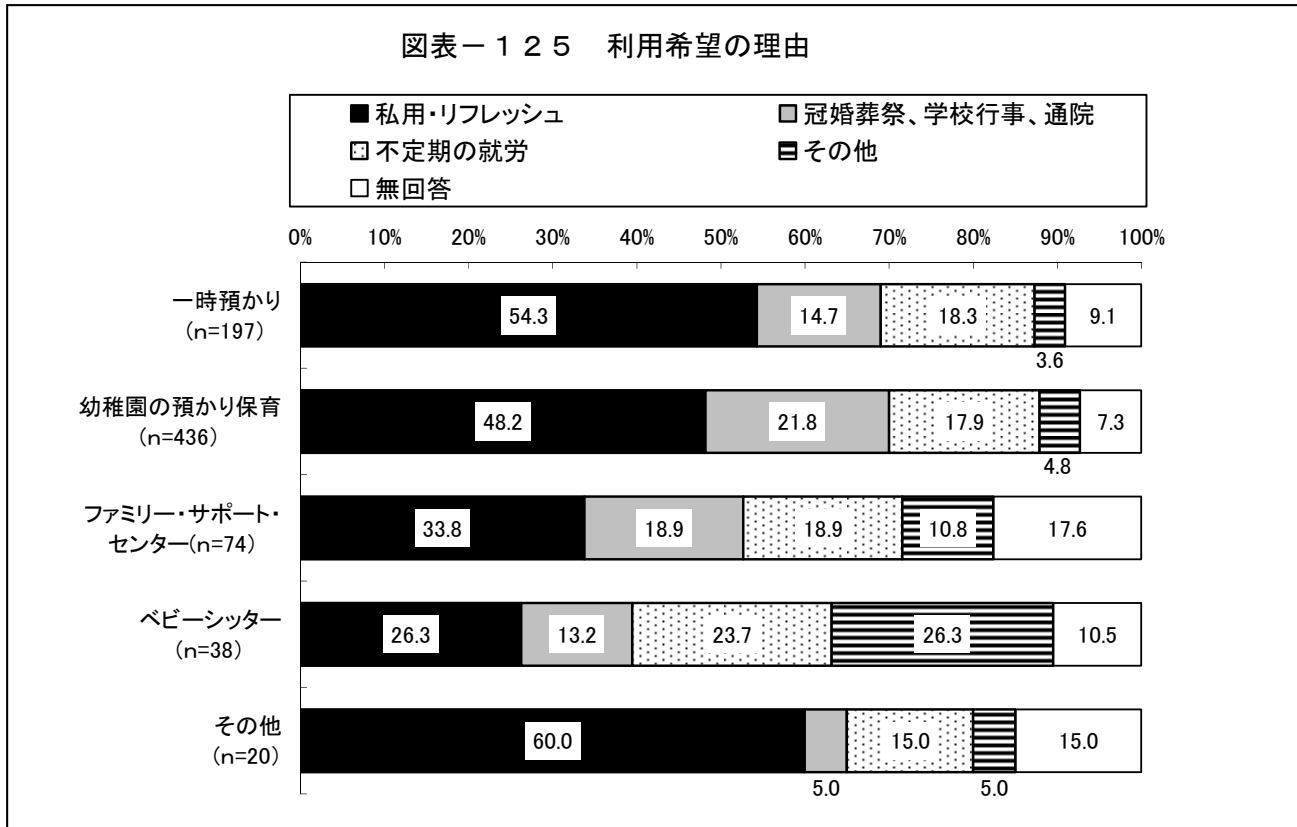


問28-1 【問28で「1」に○をつけた方にうかがいます。】利用している事業に〔現在の利用日数〕を記入してください。また、今後利用したい事業（現在利用している事業を含む）に〔今後の利用希望日数〕を記入し、〔利用希望の理由〕をア～エから1つ選んで○をしてください。

図表－124 不特定の教育・保育事業の現在の利用日数・今後の利用希望日数（単位：％）

		標本数（人）	現在の利用日数				無回答	平均日数（年間）
			10日以内	11～50日	51～100日	101日以上		
現在の利用日数（年間）	一時預かり	959	21.3	5.4	1.0	1.0	71.2	17.2
	幼稚園の預かり保育	959	31.8	19.2	3.9	3.2	41.9	27.3
	ファミリー・サポート・センター	959	6.5	1.1	0.3	-	92.1	9.7
	ベビーシッター	959	3.2	1.0	0.1	0.2	95.4	20.5
	その他	959	1.6	0.7	-	0.2	97.5	21.4
今後の利用希望日数（年間）	一時預かり	959	10.2	8.0	1.1	1.1	79.5	25.8
	幼稚園の預かり保育	959	19.1	18.9	4.0	3.5	54.5	36.0
	ファミリー・サポート・センター	959	4.9	2.6	0.1	0.1	92.3	15.4
	ベビーシッター	959	2.6	0.8	0.4	0.1	96.0	22.1
	その他	959	1.0	0.9	-	0.1	97.9	19.9

図表－125 利用希望の理由



この1年間の不定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用していない」(82.6%)の割合が8割強となっている。子どもの年齢別にみると、年齢が高いほど利用率も高くなる傾向にある。

現在の利用日数及び今後の利用希望日数は、いずれの事業も「10日以内」の割合が最も高くなっている。

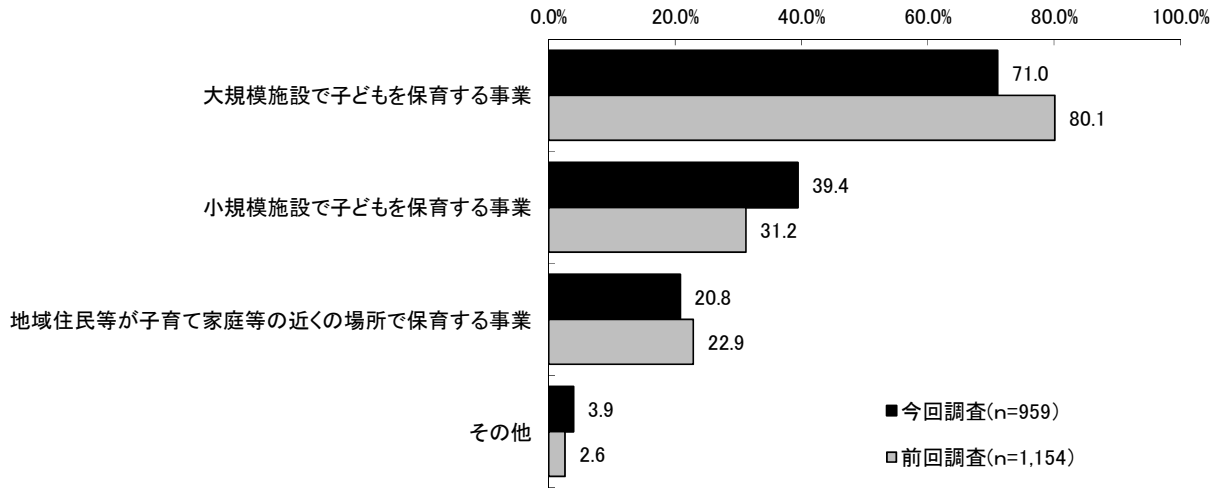
それぞれの事業を利用したい理由は、いずれの事業も「私用・リフレッシュ」の割合が最も高くなっている。ベビーシッターについては「その他」の割合も同率で最も高くなっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(2) 不定期の教育・保育事業の希望する事業形態

問28-2 【問28で「1」に○をつけた方にうかがいます】一時的にお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-126 不定期の教育・保育事業の希望する事業形態



一時的に預ける場合に希望する事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」(71.0%)の割合が最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」(39.4%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(20.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合は約9ポイント減少し、「小規模施設で子どもを保育する事業」は約8ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合は、年齢が低いほど高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は他に比べて、「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が高くなっている。

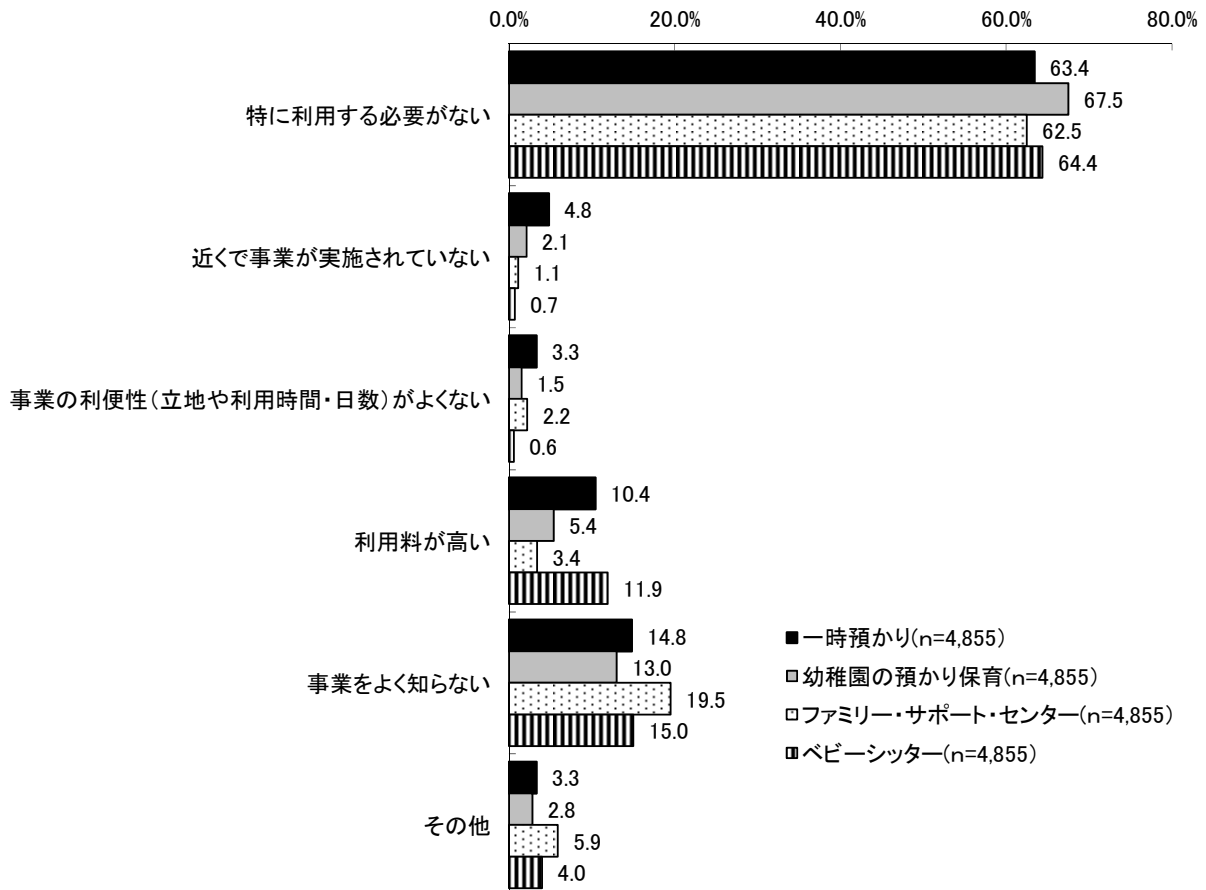
図表-127 子どもの年齢別・母親の就労状況別
不定期の教育・保育事業の希望する事業形態 (単位: %)

		標本数(人)	大規模施設で子どもを保育する事業	小規模施設で子どもを保育する事業	地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業	その他	無回答
全体		959	71.0	39.4	20.8	3.9	10.0
子どもの年齢別	0歳	79	49.4	73.4	20.3	6.3	7.6
	1~2歳	208	58.2	61.5	25.0	6.7	6.7
	3~5歳	644	77.3	28.1	18.8	2.5	11.6
	無回答	28	82.1	39.3	35.7	7.1	3.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	160	61.9	50.0	25.6	7.5	9.4
	パート・アルバイト等で就労	307	75.6	33.2	19.2	2.6	11.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	410	72.2	40.7	21.0	3.2	8.5
	これまで就労したことがない	48	75.0	33.3	10.4	4.2	10.4
	無回答	32	53.1	40.6	25.0	6.3	15.6

(3) 不特定の教育・保育事業を利用していない理由、今後の利用希望日数、利用希望の理由

問28-3 【問28で「2」に○をつけた方にうかがいます。】現在利用していない理由は何ですか。
 (事業ごとに、あてはまるものすべてに○)また、今後利用したい事業があれば、[今後の利用希望日数]を記入し、[利用希望の理由]をア～エから1つ選んで○をしてください。

図表-128 不特定の教育・保育事業を利用していない理由

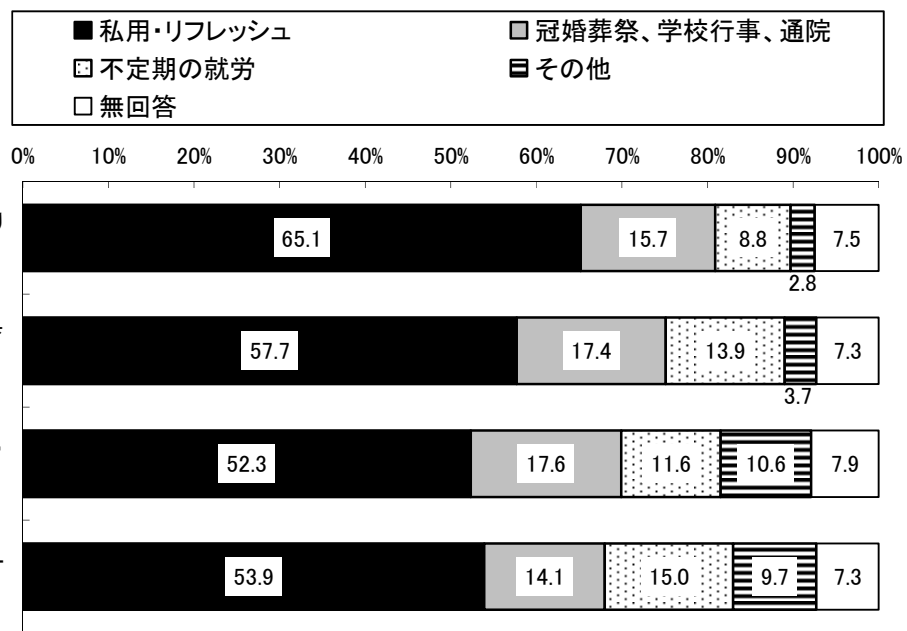


図表-129 今後の利用希望日数 (単位: %)

	標本数(人)	10日以内	15日	51日	101日以上	無回答	平均日数(年間)
一時預かり	4,855	11.4	5.1	0.2	0.2	83.0	13.1
幼稚園の預かり保育	4,855	5.6	3.0	0.2	0.5	90.6	23.3
ファミリー・サポート・センター	4,855	4.9	1.8	0.0	0.1	93.2	12.5
ベビーシッター	4,855	3.1	1.0	0.0	0.1	95.8	11.9

II 乳幼児の保護者調査結果

図表－130 利用希望の理由



不特定の教育・保育事業を利用していない理由は、いずれの事業も「特に利用する必要がない」が最も高く、6割以上を占めており、次いで「事業をよく知らない」が1～2割となっている。

今後の利用希望日数は、いずれの事業も「10日以内」の割合が最も高くなっている。

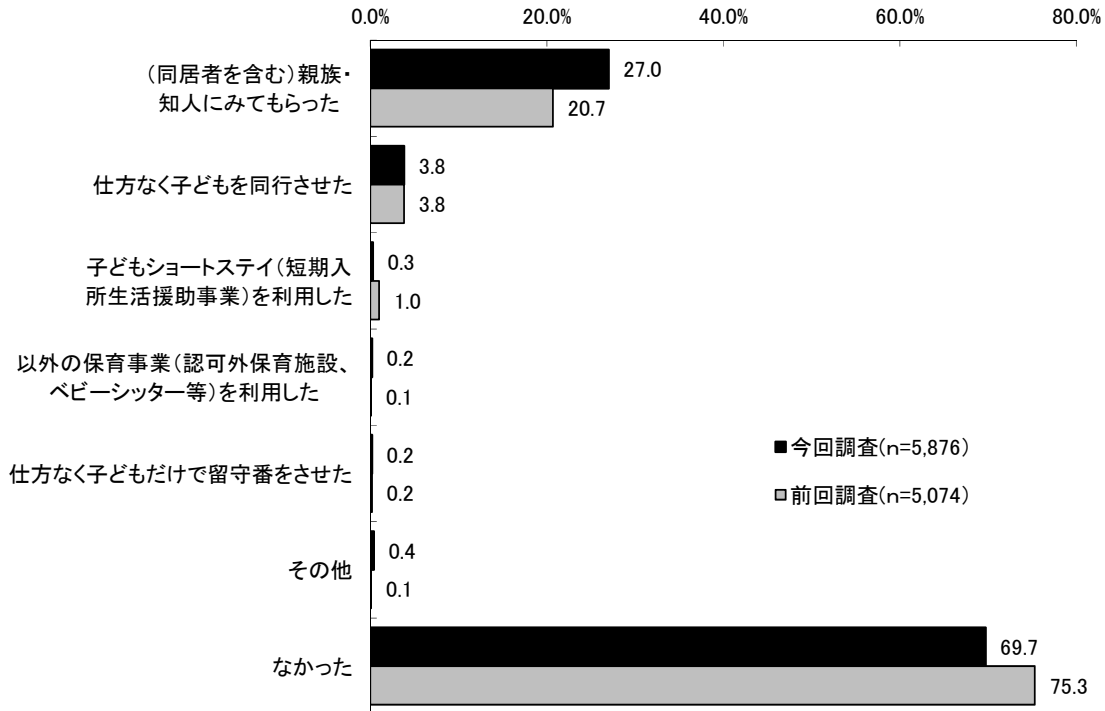
それぞれの事業を利用したい理由は、いずれの事業も「私用・リフレッシュ」の割合が最も高くなっている。

6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 宿泊を伴う一時預かりの対処方法

問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった（預け先が見つからなかった場合も含む）場合の対処方法についてお答えください。（あてはまるものすべてに○。それぞれ枠内に日数を記入）

図表－131 宿泊を伴う一時預かりの対処方法



泊まりがけで預けなければならなかったときの対処方法では、「(泊まりがけで預けなければならなかった場合) なかった」(69.7%)の割合が最も高く、次いで「親族・知人にみてもらった」(27.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「親族・知人にみてもらった」の割合は約6ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、0歳に比べて1歳以上で「親族・知人にみてもらった」の割合が高くなっている。

母親の就労状況別では、大きな違いはみられない。

この1年間の利用日数は、「親族・知人にみてもらった」では「2～3日」(20.3%)が最も高いが、「1日」から「6～10日」まで分散している。「仕方なく子どもを同行させた」では、「2～3日」(23.5%)と「1日」(18.6%)が高く、比較的日数は少ない。

希望する利用日数は、「親族・知人にみてもらった」は「6～10日」(8.8%)の割合が最も高いが、「1日」から「11～30日」まで分散している。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

図表－１３２ 子どもの年齢別・母親の就労状況別
宿泊を伴う一時預かりの対処方法（単位：％）

	標本数（人）	知（同居者を含む）親族・	子どもショートステイ（短期入所生活援助事業）を利用した	以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	なかった	無回答	
全体	5,876	27.0	0.3	0.2	3.8	0.2	0.4	69.7	0.6	
子どもの年齢別	0歳	960	19.5	0.3	-	4.6	-	0.3	75.7	0.6
	1～2歳	1,913	28.7	0.4	0.2	3.5	0.1	0.3	68.0	0.9
	3～5歳	2,853	28.4	0.2	0.2	3.5	0.3	0.5	68.8	0.4
	無回答	150	25.3	0.7	-	6.7	-	-	70.7	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	28.8	0.2	0.3	4.2	0.1	0.6	67.2	0.7
	パート・アルバイト等で就労	1,659	26.2	0.4	-	3.6	0.1	0.4	70.5	0.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	25.0	0.3	0.2	3.4	0.3	0.2	72.4	0.4
	これまで就労したことがない	231	28.1	0.4	-	3.5	0.9	-	68.8	-
	無回答	150	31.3	-	-	4.0	-	-	64.7	-

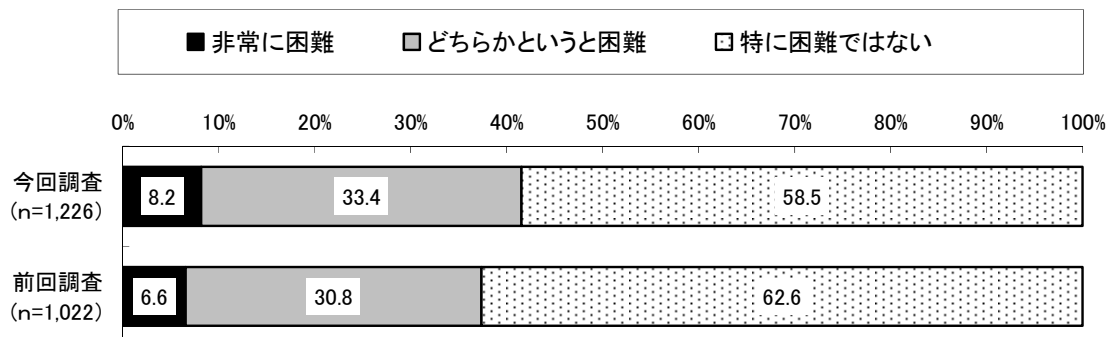
図表－１３３ 対処方法別利用日数・今後の利用希望日数（単位：％）

	標本数（人）	1日	2～3日	4～5日	6～10日	11～30日	31～50日	51日以上	無回答	平均泊数（年間）	
この1年間の利用日数	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	1,584	15.2	20.3	10.9	14.7	5.1	1.0	1.1	31.7	7.0
	子どもショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した	17	17.6	11.8	5.9	-	5.9	-	-	58.8	6.1
	以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	9	-	11.1	11.1	-	-	-	-	77.8	3.5
	仕方なく子どもを同行させた	221	18.6	23.5	9.0	8.6	4.1	0.5	-	35.7	4.7
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	30.0	20.0	10.0	-	-	-	-	40.0	2.0
	その他	23	17.4	8.7	8.7	8.7	4.3	-	4.3	47.8	12.0
今後の利用希望日数	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	1,584	5.6	7.4	5.5	8.8	3.8	0.5	0.3	68.1	8.0
	子どもショートステイ(短期入所生活援助事業)を利用した	17	-	29.4	5.9	5.9	5.9	-	-	52.9	5.3
	以外の保育事業を利用した(認可外保育施設、ベビーシッター等)	9	22.2	22.2	11.1	-	-	-	-	44.4	2.4
	仕方なく子どもを同行させた	221	2.3	5.0	4.5	2.7	0.9	-	-	84.6	5.1
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	その他	23	4.3	8.7	-	4.3	4.3	-	-	78.3	7.0

(2) 泊まりがけで子どもを親族・知人にみてもらう場合の困難度

問29-1 【問29で「1. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。】その場合の困難度はどの程度でしたか。(〇は1つ)

図表-134 泊まりがけで子どもを親族・知人にみてもらう場合の困難度



※「無回答」を除いて集計している。

この1年間に泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった人のうち「親族・知人にみてもらった」と回答した人に、その際の困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」(58.5%)の割合が最も高い一方、「どちらかという困難」(33.4%)と「非常に困難」(8.2%)を合わせた『困難』な割合は4割強となる。

前回調査と比較すると、『困難』な割合は、約4ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど『困難』な割合は高くなる傾向にある。

図表-135 子どもの年齢別
泊まりがけで子どもを親族・知人にみてもらう場合の困難度 (単位：%)

		標本数 (人)	非常に 困難	ど ち ら か と い う と 困 難	特 に 困 難 で は な い
全 体		1,226	8.2	33.4	58.5
子 ど も の 年 齢 別	0歳	119	10.9	35.3	53.8
	1～2歳	431	9.0	34.6	56.4
	3～5歳	647	6.6	32.5	60.9

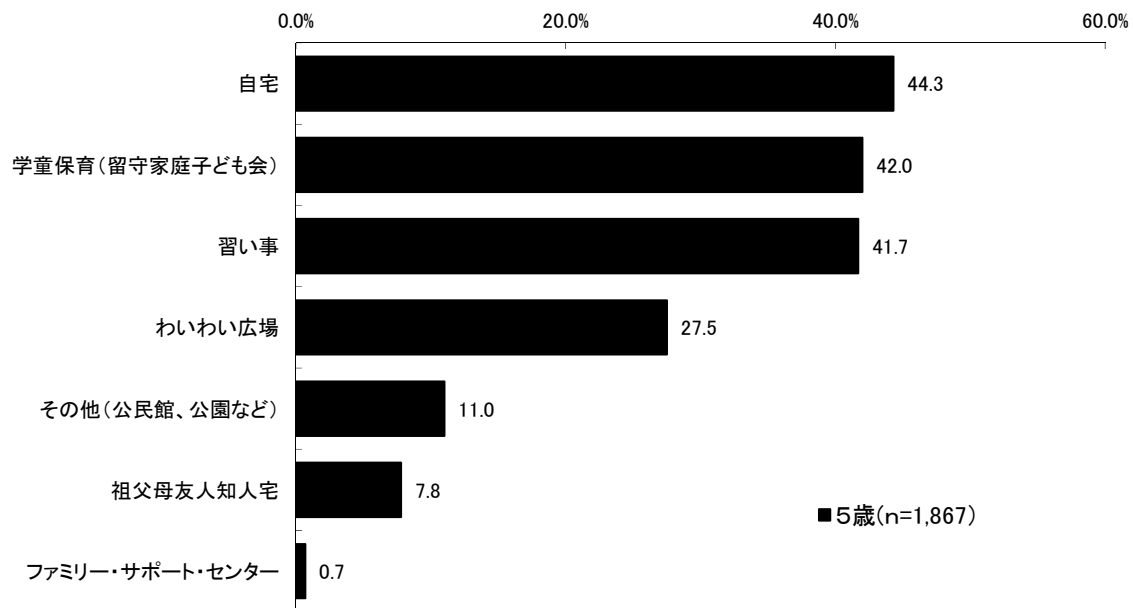
II 乳幼児の保護者調査結果

7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

問30 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○。それぞれ枠内に日数を記入）また、学童保育（留守家庭子ども会）の場合には、希望時間もお答えください。（枠内に日数を記入。
（例）18時）

図表－136 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望



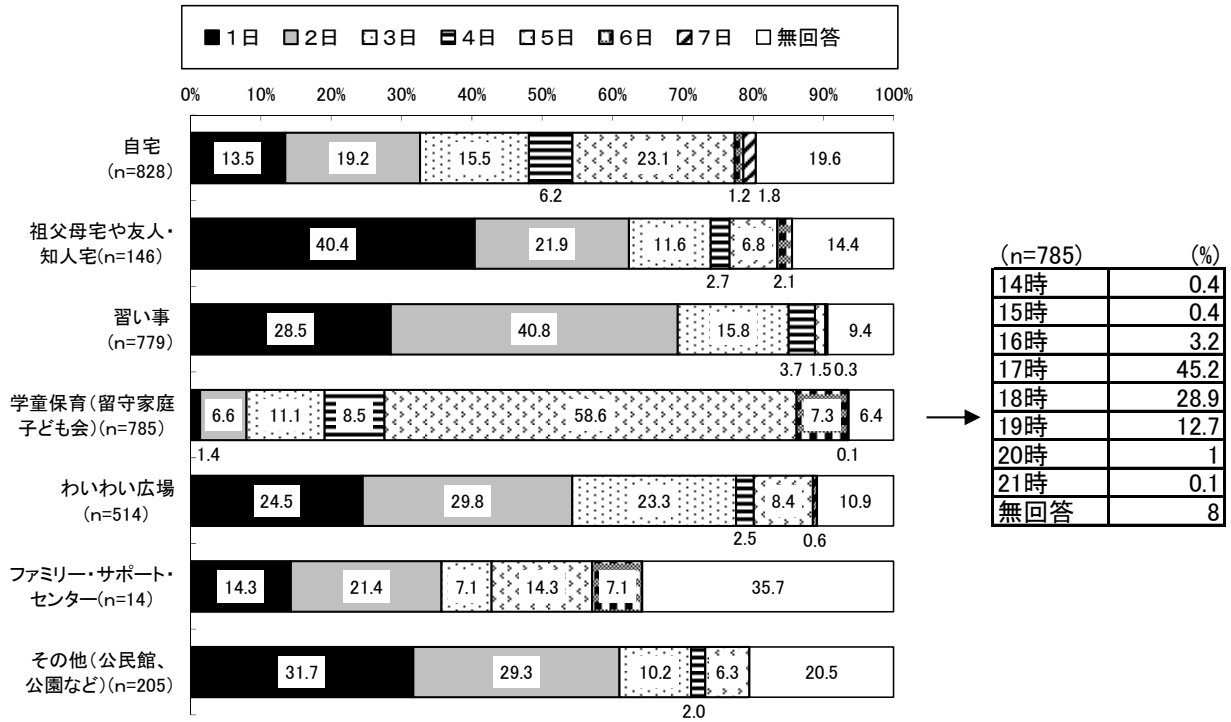
5歳以上の子どもの保護者に、小学校入学後の放課後の過ごし方についての意向をたずねた結果、「自宅」（44.3%）と「学童保育（留守家庭子ども会）」（42.0%）、「習い事」（41.7%）が4割以上で高くなっている。

母親の就労状況別にみると、就労している場合は、「学童保育（留守家庭子ども会）」の割合が高く、就労していない場合では「自宅」「習い事」の割合が高くなっている。

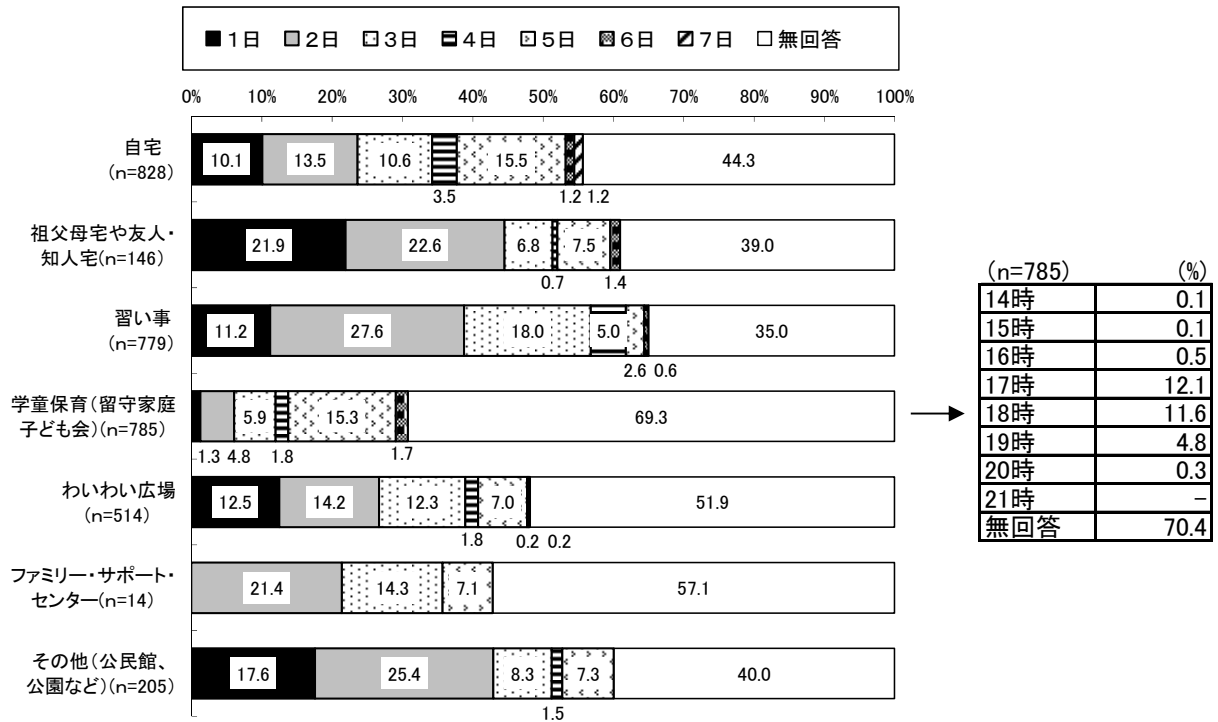
図表－137 母親の就労状況別 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（単位：%）

	標本数(人)	自宅	祖父母友人知人宅	習い事	学童保育(留守家庭子ども会)	わいわい広場	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答	
全体	1,867	44.3	7.8	41.7	42.0	27.5	0.7	11.0	22.0	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	29.2	11.1	35.3	67.7	21.9	1.1	5.2	19.9
	パート・アルバイト等で就労	1,659	40.3	5.4	32.7	47.2	23.0	0.2	7.6	22.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	64.0	8.0	58.3	14.7	39.4	1.3	21.1	22.5
	これまで就労したことがない	231	58.9	6.7	50.0	7.8	26.7	-	15.6	30.0
	無回答	150	33.3	-	42.9	33.3	26.2	-	4.8	23.8

図表－138 放課後に過ごさせたい場所別日数（小学校1～3年生）



図表－139 放課後に過ごさせたい場所別日数（小学校4～6年生）



Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

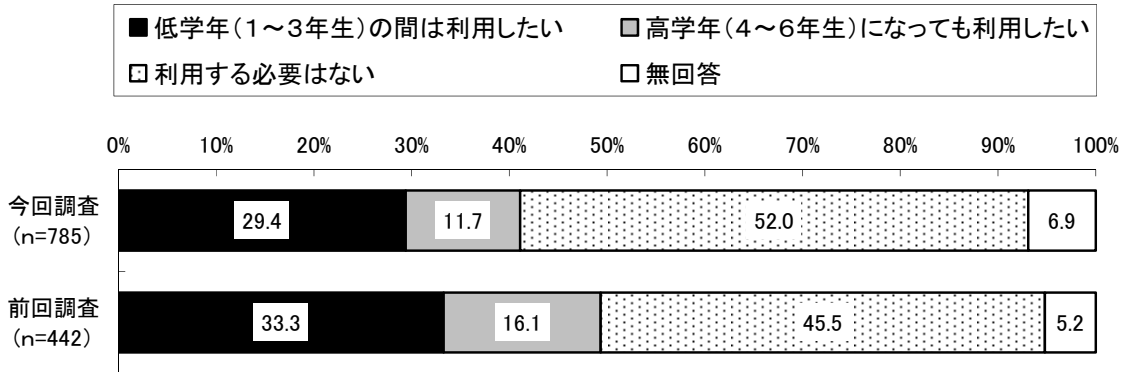
小学校1～3年生の子どもを放課後に過ごさせたい場所別の週あたり利用希望日数は、「自宅」は「5日」(23.1%)の割合が最も高いが、「1日」～「3日」もそれぞれ1～2割を占めている。「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」(40.4%)の割合が最も高く、「習い事」は「2日」(40.8%)の割合が最も高い。「学童保育(留守家庭子ども会)」は「5日」(58.6%)の割合が最も高く、利用希望時間は「17時まで」(45.2%)の割合が最も高い。「わいわい広場」「ファミリー・サポート・センター」は「2日」の割合が高くなっている。

小学校4～6年生の子どもを放課後に過ごさせたい場所別の週あたり利用希望日数は、「自宅」は「5日」(15.5%)の割合が高いが、「1日」～「3日」もそれぞれ1割程度を占めている。「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」(21.9%)と「2日」(22.6%)の割合が高く、「習い事」は「2日」(27.6%)の割合が高い。「学童保育(留守家庭子ども会)」は「5日」(15.3%)の割合が高く、利用希望時間は「17時まで」(12.1%)と「18時まで」(11.6%)の割合が高い。「わいわい広場」「ファミリー・サポート・センター」は「2日」の割合が高くなっている。

(2) 留守家庭子ども会の利用意向（土曜日）

問30-1 【問30で「4」に○をつけた方にうかがいます。】あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）に、留守家庭子ども会の利用希望はありますか。（○は1つ。枠内に時間帯を記入。（例）9時～18時）

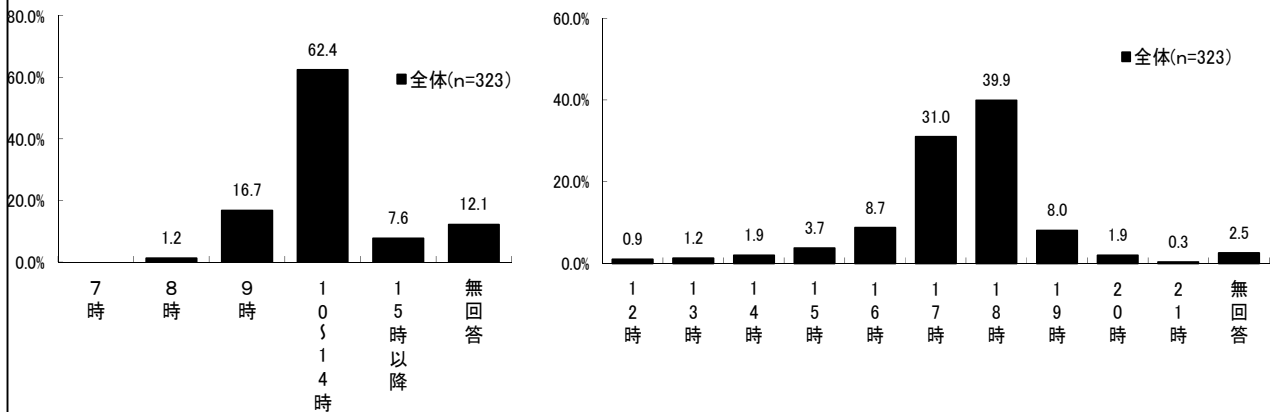
図表-140 留守家庭子ども会の利用意向（土曜日）



図表-141 留守家庭子ども会の利用希望時刻（土曜日）

<希望開始時刻>

<希望終了時刻>



留守家庭子ども会利用希望者の土曜日の利用意向は、「利用する必要はない」（52.0％）の割合が最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（29.4％）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（11.7％）となっている。

前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が約7ポイント増加している。

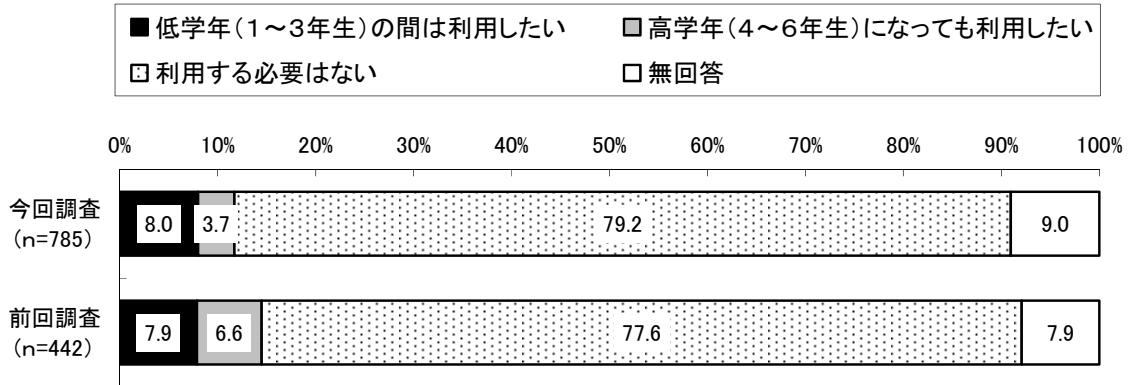
希望開始時刻は「10～14時」（62.4％）の割合が大半を占めており、希望終了時刻は「18時」（39.9％）と「17時」（31.0％）の割合が高くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

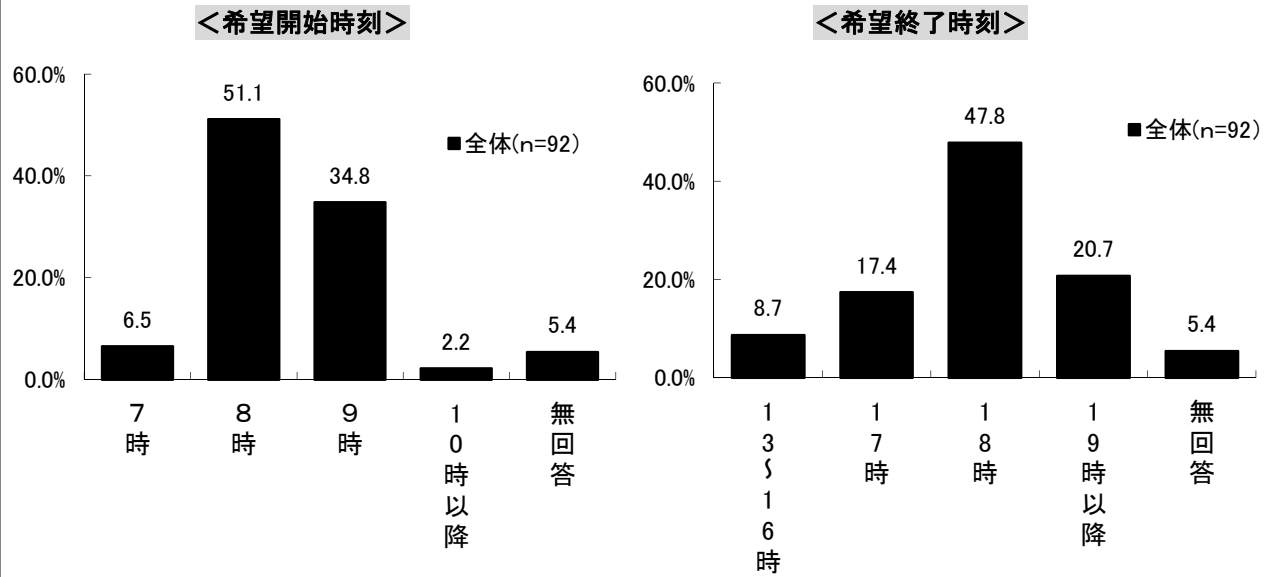
(3) 留守家庭子ども会の利用意向（日曜日・祝日）

問30-1 【問30で「4」に○をつけた方にうかがいます。】あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）に、留守家庭子ども会の利用希望はありますか。（○は1つ。枠内に時間帯を記入。（例）9時～18時）

図表-142 留守家庭子ども会の利用意向（日・祝日）



図表-143 留守家庭子ども会の利用希望時刻（日曜日・祝日）



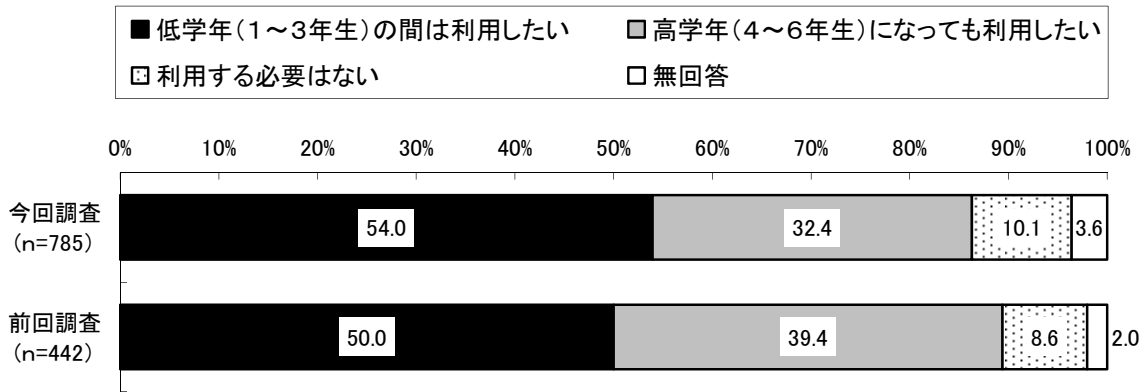
留守家庭子ども会利用希望者の日曜日・祝日の利用意向は、「利用する必要はない」（79.2%）の割合が最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（8.0%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（3.7%）となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

希望開始時刻は「8時」（51.1%）と「9時」（34.8%）の割合が高く、希望終了時刻は「18時」（47.8%）の割合が高くなっている。

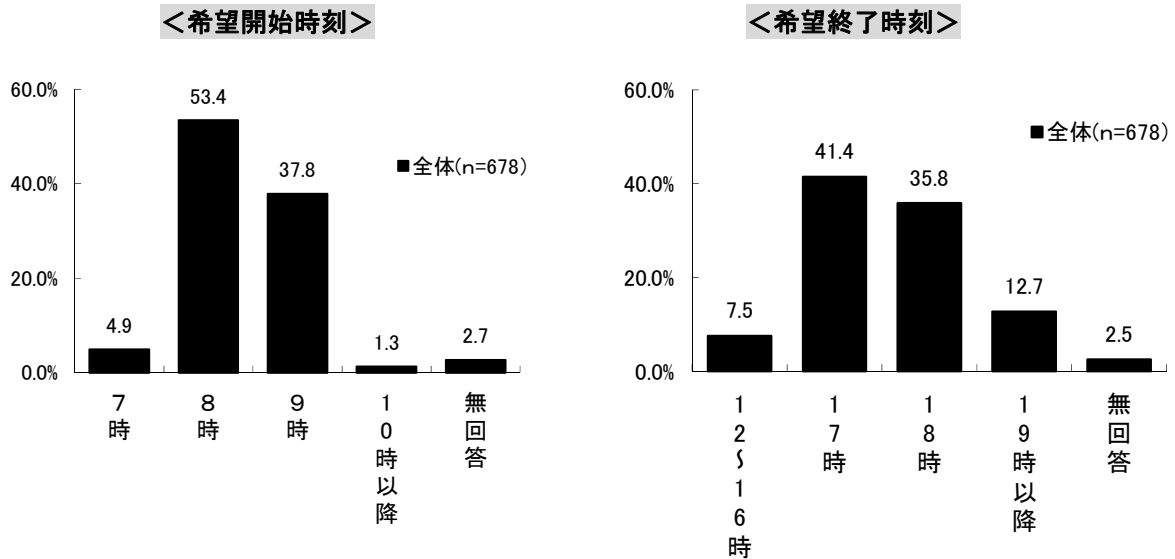
(4) 留守家庭子ども会の利用意向（長期休業中）

問30-1 【問30で「4」に○をつけた方にうかがいます。】あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）に、留守家庭子ども会の利用希望はありますか。（○は1つ。枠内に時間帯を記入。（例）9時～18時）

図表-144 留守家庭子ども会の利用意向（長期休業中）



図表-145 留守家庭子ども会の利用希望時刻（長期休業中）



留守家庭子ども会利用希望者の長期休業中の利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」(54.0%)の割合が最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」(32.4%)、「利用する必要はない」（10.1%）となっている。

前回調査と比較すると、利用希望者はやや減少している。

希望開始時刻は「8時」（53.4%）と「9時」（37.8%）の割合が高く、希望終了時刻は「17時」（41.4%）と「18時」（35.8%）の割合が高くなっている。

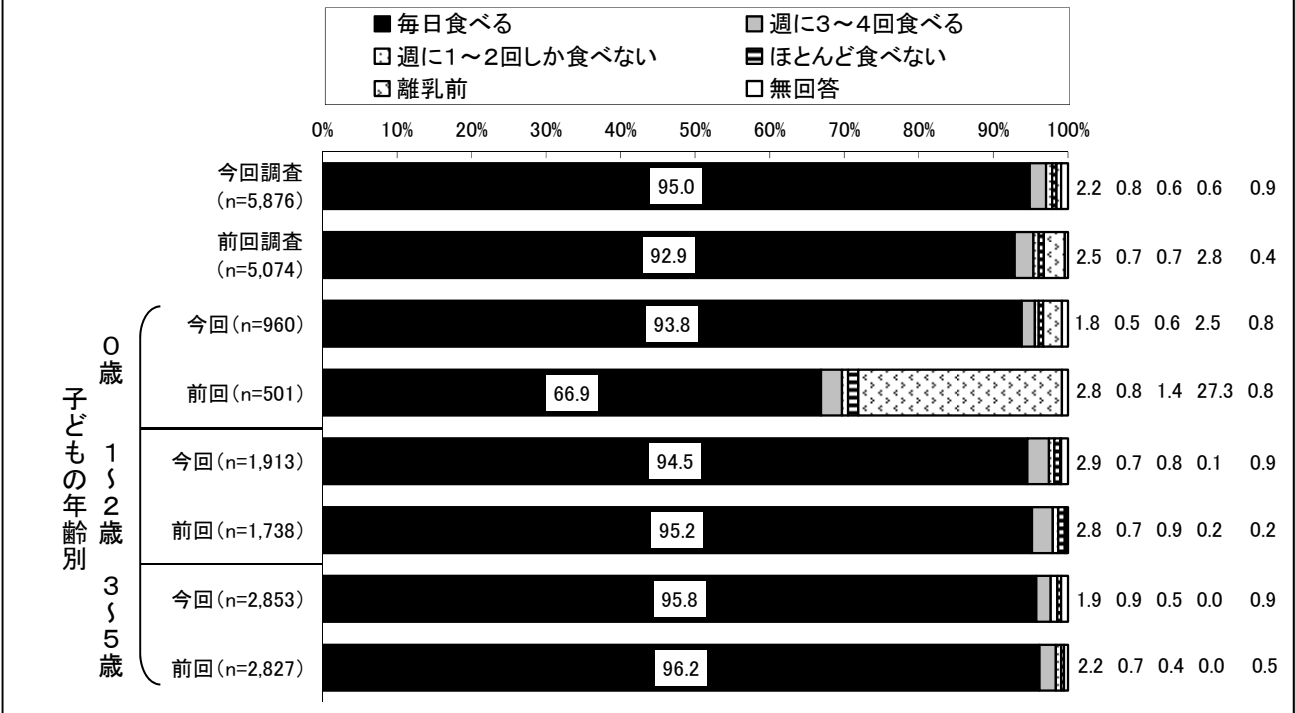
第6章 子どもの日ごろの生活や居場所

1. 子どもの日ごろの生活状況

(1) 朝食の状況

問33 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

図表－146 朝食の状況



朝食の状況は、「毎日食べる」(95.0%)が大半を占めており、子どもの年齢別でも大きな違いは見られない。前回調査の0歳(調査年度4月1日時点)で「離乳前」の割合が高いのは、前回調査(10~11月実施)が今回調査(1~2月)より早い時期の実施であったためと考えられる。

世帯年収別にみると、年収が高いほど「毎日食べる」の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代は他の世帯に比べて、「毎日食べる」(ひとり親：87.3%、ひとり親三世代：88.5%)の割合がやや低くなっている。

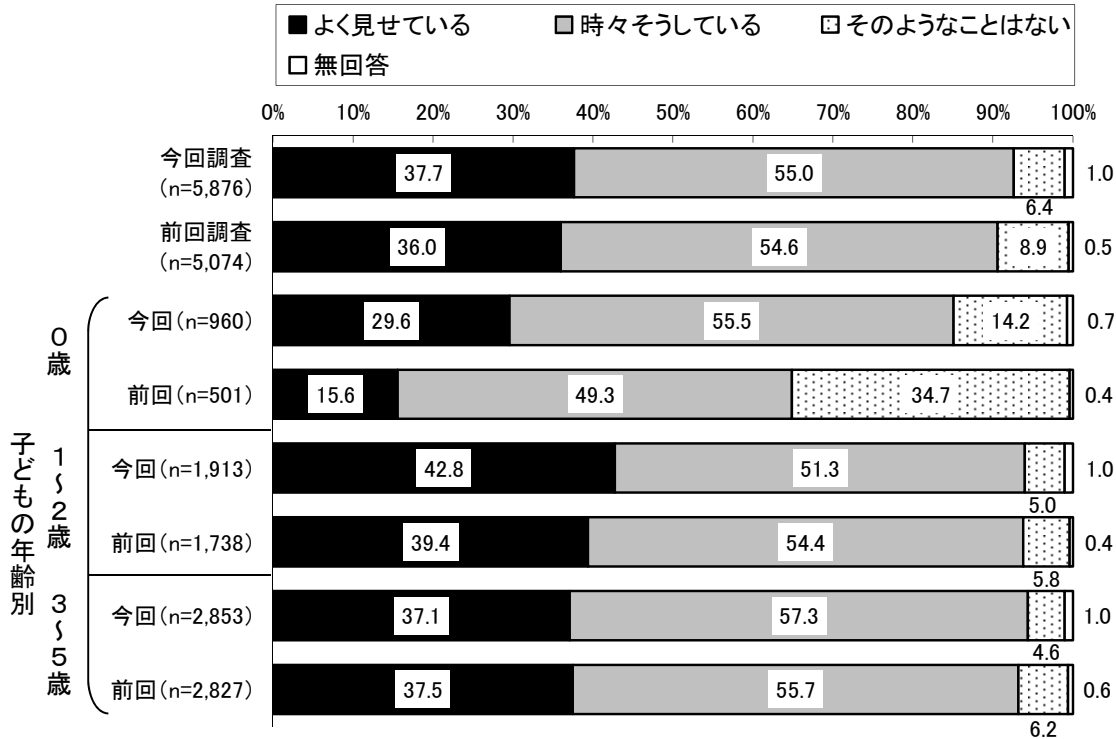
図表－147 世帯年収・世帯分類別 朝食の状況

	標本数(人)	毎日食べる	週に3~4回食べる	週に1~2回しか食べない	ほとんど食べない	離乳前	無回答	
全体	5,876	95.0	2.2	0.8	0.6	0.6	0.9	
世帯年収別	200万円未満	302	85.4	5.0	2.3	3.0	1.0	3.3
	200~300万円未満	404	92.1	3.5	1.0	1.2	1.0	1.2
	300~400万円未満	739	93.8	2.8	1.4	0.7	0.5	0.8
	400~500万円未満	924	95.6	2.1	0.5	0.3	0.8	0.8
	500~700万円未満	1,568	95.9	1.9	0.6	0.3	0.6	0.8
	700~1000万円未満	1,149	96.7	1.6	0.7	0.3	0.2	0.5
	1000万円以上	585	97.4	1.0	0.3	0.3	0.3	0.5
	無回答	205	92.7	3.4	0.5	1.0	1.0	1.5
世帯分類別	三世代	272	96.3	-	0.7	0.7	1.1	1.1
	核家族	5,176	95.4	2.2	0.7	0.5	0.5	0.8
	ひとり親	213	87.3	6.6	2.3	1.4	0.5	1.9
	ひとり親三世代	52	88.5	-	3.8	5.8	1.9	-
	その他	61	88.5	-	1.6	1.6	3.3	4.9
無回答	102	93.1	2.9	-	-	1.0	2.9	

(2) テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せておくこと

問34 忙しいときなど、何らかの理由で子どもにテレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことがありますか。ゲームをさせておくことも含みます。(○は1つ)

図表-148 テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せておくこと



子どもにテレビやビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことについては、「時々そうしている」(55.0%)の割合が最も高く、次いで「よく見せている」(37.7%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

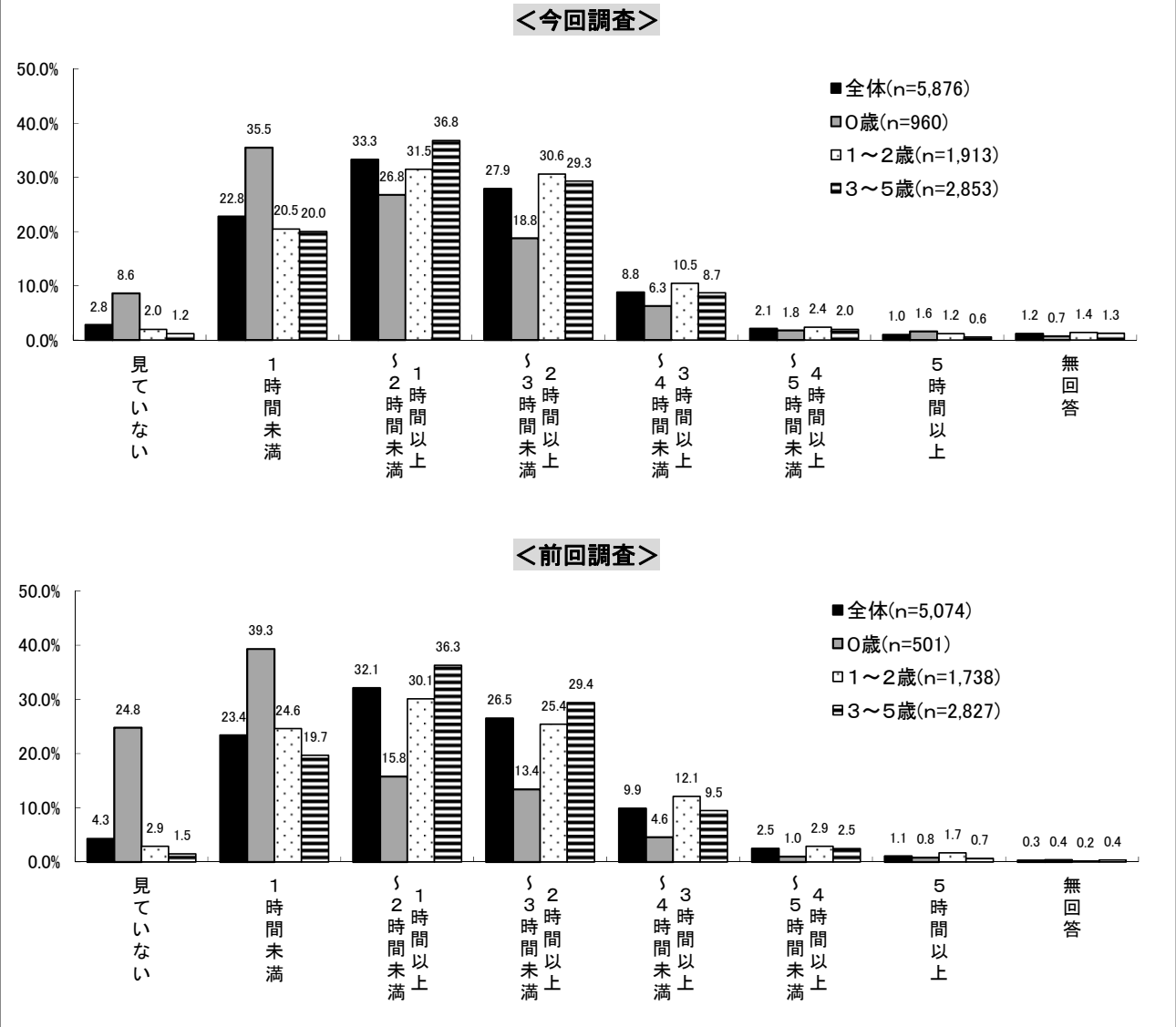
子どもの年齢別にみると、0歳では「よく見せている」の割合が14ポイント増加しているが、今回調査(1~2月)が前回調査(10~11月)より遅い時期の実施であり、今回調査のほうが月齢の高い0歳児の割合が高かったことによる影響も考えられる。1~2歳・3~5歳については、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(3) テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている時間

問35 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見ていますか。ゲームをしている時間も含まれます。(○は1つ)

図表-149 テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている時間



子どもが1日にテレビやビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットに費やす時間は「1時間以上～2時間未満」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「2時間以上～3時間未満」(27.9%)、「1時間未満」(22.8%)の順となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳では「1時間未満」(35.5%)の割合が高く、1歳以上では「1時間以上～2時間未満」と「2時間以上～3時間未満」の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合は「1時間未満」や「1時間以上～2時間未満」の割合が高く、現在就労していない場合は「2時間以上～3時間未満」や「3時間以上～4時間未満」の割合が高くなっている。

図表－150 母親の就労状況別
テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている時間（単位：％）

		標本数 (人)	見ていない	1時間未満	1時間2時間以上未満	2時間3時間以上未満	3時間4時間以上未満	4時間5時間以上未満	5時間以上	無回答
全体		5,876	2.8	22.8	33.3	27.9	8.8	2.1	1.0	1.2
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	2,013	3.5	28.6	35.0	24.9	5.6	1.1	0.2	1.0
	パート・アルバイト等で就労	1,659	1.9	22.2	35.7	28.3	8.3	2.0	0.4	1.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	2.9	17.8	29.9	30.8	12.3	2.9	2.1	1.2
	これまで就労したことがない	231	3.5	19.9	27.3	29.4	12.1	4.3	2.2	1.3
	無回答	150	2.0	16.0	34.0	27.3	10.7	4.0	1.3	4.7

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

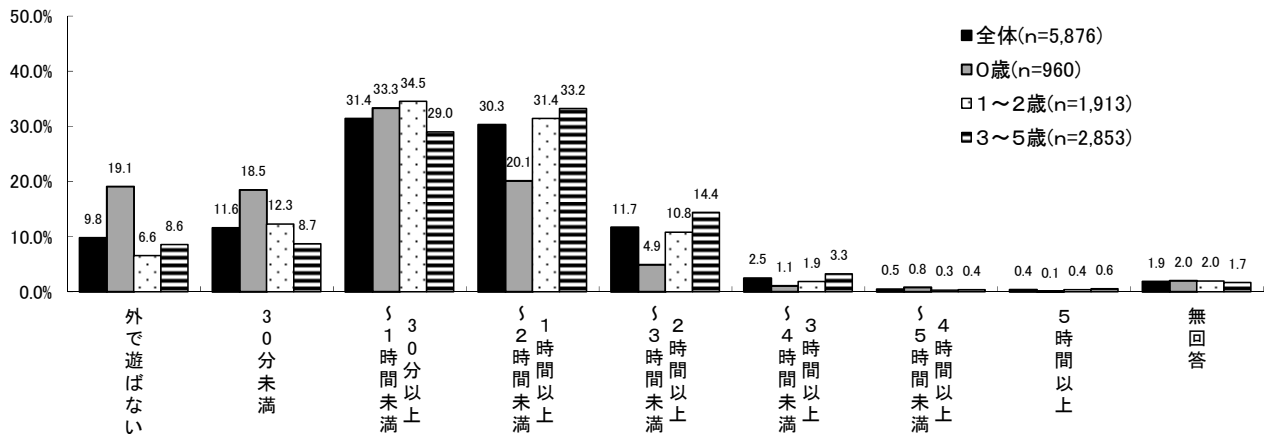
2. 外で遊ぶ時間

(1) 平日に外で遊ぶ時間

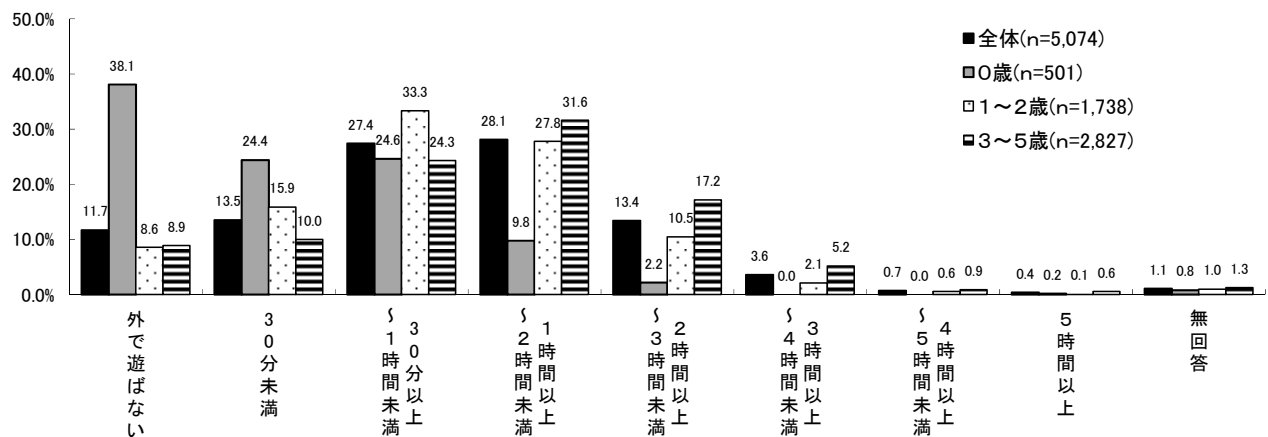
問36 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。(平日・休日それぞれ○は1つ)

図表-151 平日に外で遊ぶ時間

<今回調査>



<前回調査>



平日に外で遊ぶ時間は、「30分以上~1時間未満」(31.4%)と「1時間以上~2時間未満」(30.3%)の割合が高くなっている。

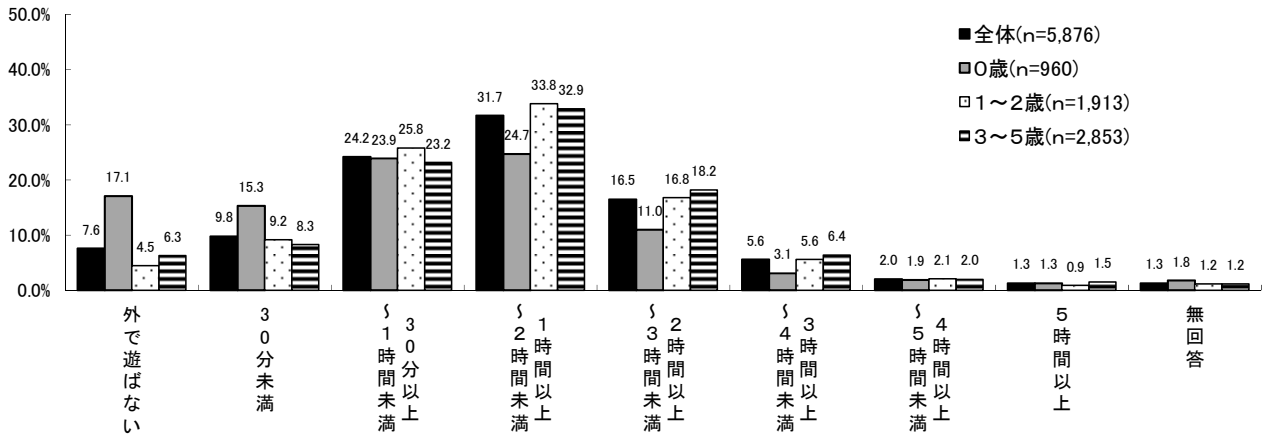
前回調査と比較すると、0歳で「外で遊ばない」が19ポイント減少し、「30分以上~1時間未満」「1時間以上~2時間未満」の割合がそれぞれ約9~10ポイント増加しているが、今回調査(1~2月)が前回調査(10~11月)より遅い時期の実施であり、今回調査のほうが月齢の高い0歳児の割合が高かったことによる影響も考えられる。

(2) 休日に外で遊ぶ時間

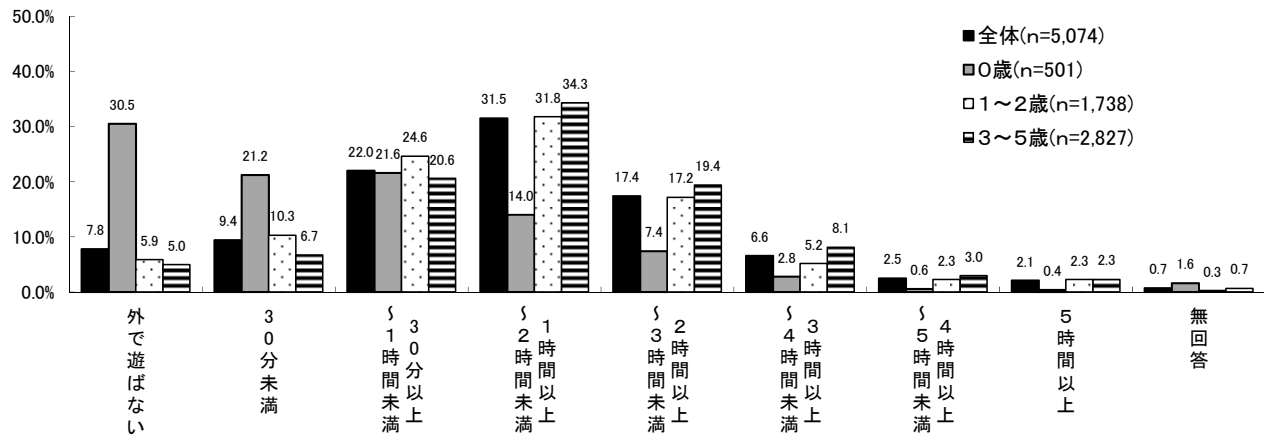
問36 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。(平日・休日それぞれ○は1つ)

図表-152 休日に外で遊ぶ時間

<今回調査>



<前回調査>



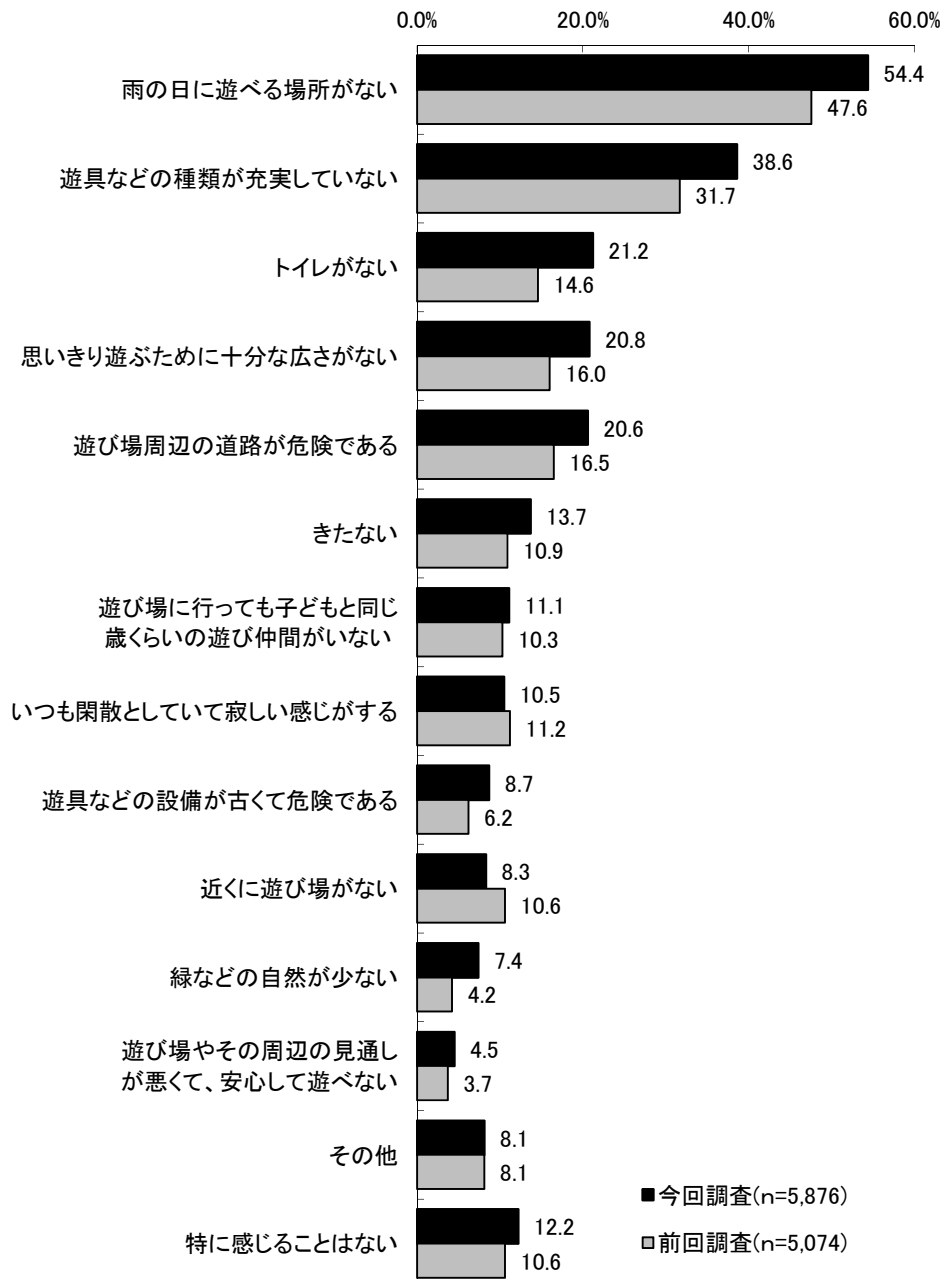
休日に外で遊ぶ時間は、「1時間以上～2時間未満」(31.7%)と「30分以上～1時間未満」(24.2%)の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、0歳で「外で遊ばない」が13ポイント減少し、「1時間以上～2時間未満」の割合が約11ポイント増加している。

3. 子どもの遊び場について感じていること

問37 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(○は3つまで)

図表-153 子どもの遊び場について感じていること



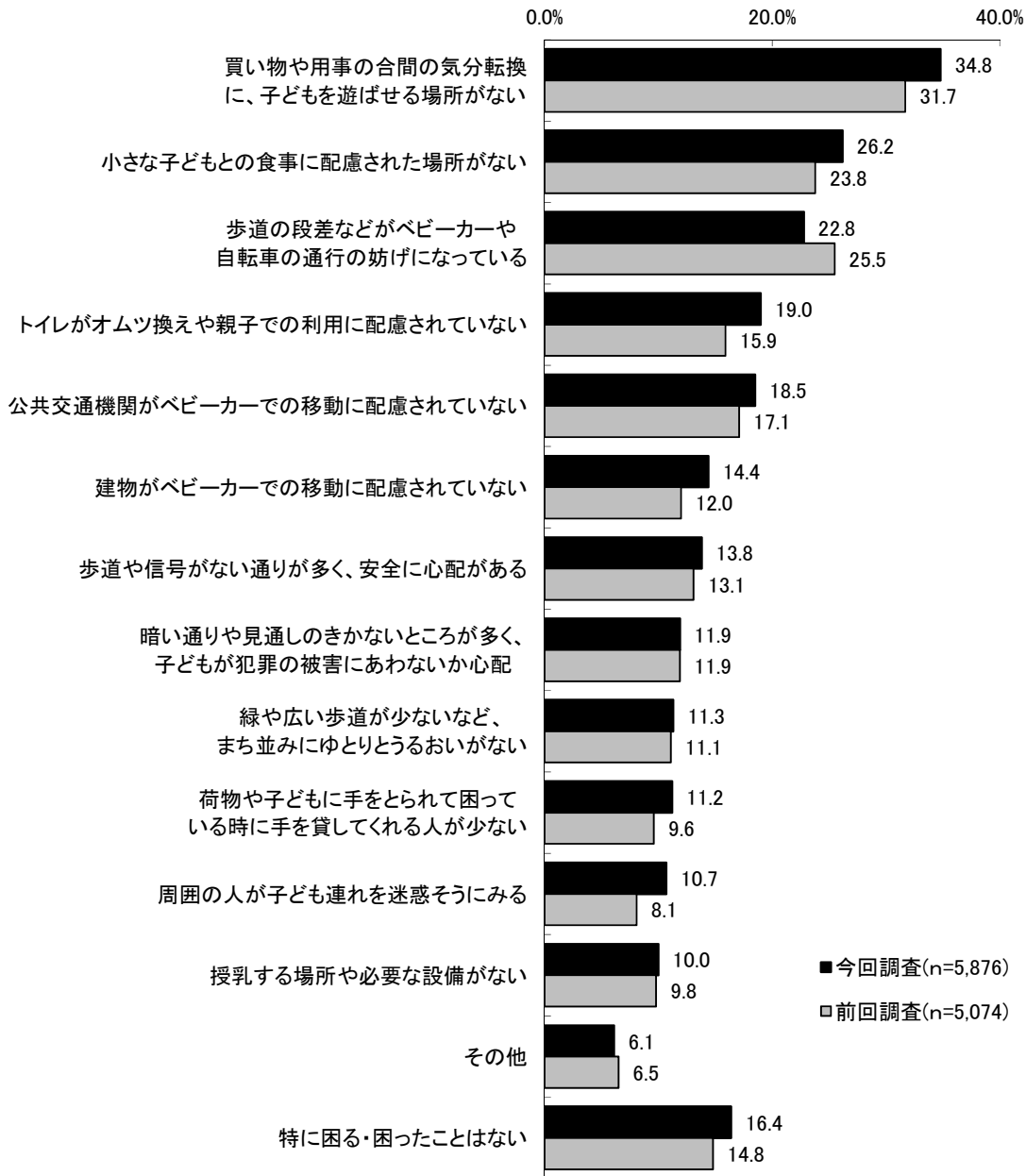
子どもの遊び場について感じていることは、「雨の日に遊べる場所がない」(54.4%)の割合が最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」(38.6%)、「トイレがない」(21.2%)、「思いきり遊ぶために十分な広さがない」(20.8%)、「遊び場周辺の道路が危険である」(20.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「雨の日に遊べる場所がない」「遊具などの種類が充実していない」「トイレがない」「思いきり遊ぶために十分な広さがない」「遊び場周辺の道路が危険である」の割合は、それぞれ約5~7ポイント増加している。

4. 外出する際に困ること・困ったこと

問38 市内においてお子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。(〇は3つまで)

図表-154 外出する際に困ること・困ったこと



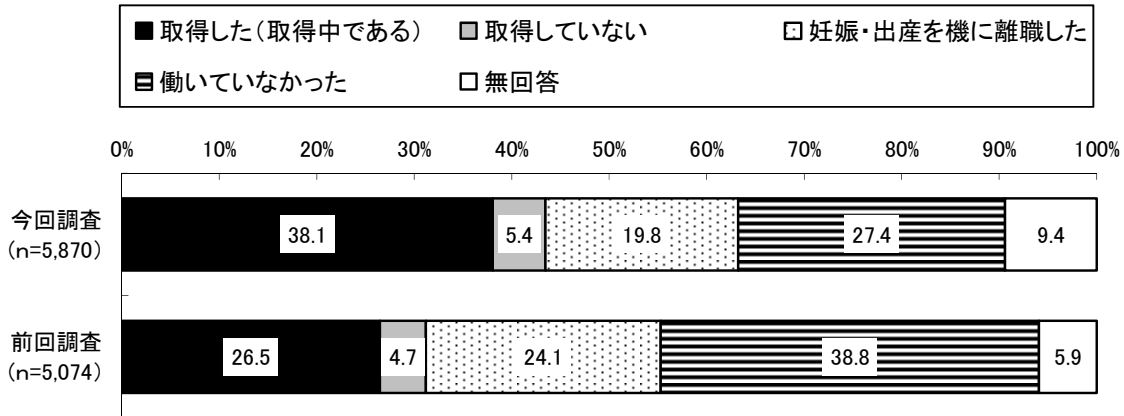
外出する際に困ること・困ったことは、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」(34.8%)の割合が最も高く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」(26.2%)、「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」(22.8%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

第7章 育児休業など両立支援制度

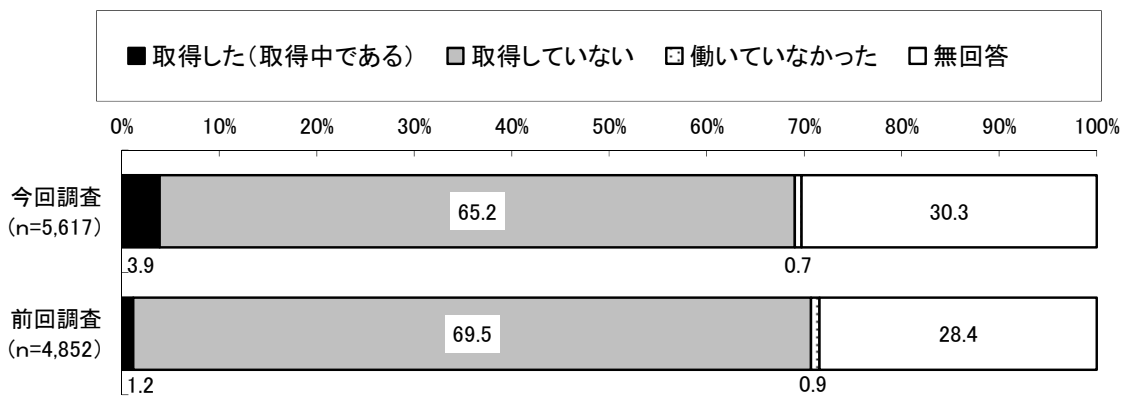
1. 育児休業制度の取得状況

問32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ○は1つ)

図表－155 育児休業の取得状況（母親）



図表－156 育児休業の取得状況（父親）



母親の育児休業の取得率（「取得した（取得中である）」の割合）は38.1%となっており、前回調査と比較すると、約12ポイント増加している。

父親の育児休業の取得率（「取得した（取得中である）」の割合）は3.9%となっており、前回調査と比較すると、やや増加している。

母親の育児休業の取得状況を就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は取得率（「取得した（取得中である）」の割合）が79.0%と8割を占めている。

図表－157 母親の就労状況別 母親の育児休業制度の取得状況（単位：%）

		標本数（人）	取得した（取得中である）	取得していない	妊娠・出産を機に職を離れた	働いていなかった	無回答
全体		5,870	38.1	5.4	19.8	27.4	9.4
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	79.0	5.9	7.0	5.1	3.1
	パート・アルバイト等で就労	1,659	29.1	8.5	26.7	28.3	7.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	7.4	2.6	30.8	46.6	12.6
	これまで就労したことがない	231	-	-	-	58.4	41.6
	無回答	150	18.7	6.0	13.3	35.3	26.7

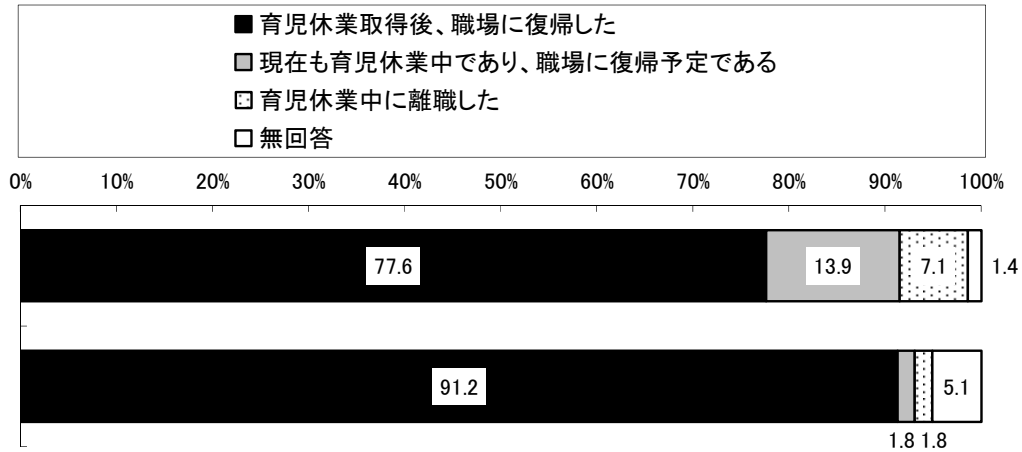
Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

2. 育児休業取得後の職場復帰について

(1) 育児休業取得後の職場復帰の状況

問32-1 【問32で「1. 取得した」と回答した方にうかがいます。】育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ○は1つ)

図表-158 育児休業取得後の職場復帰の状況



育児休業取得者の職場復帰の状況は、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が7割以上（母親：77.6%、父親：91.2%）となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳では「現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である」母親の割合が4割を超えている。

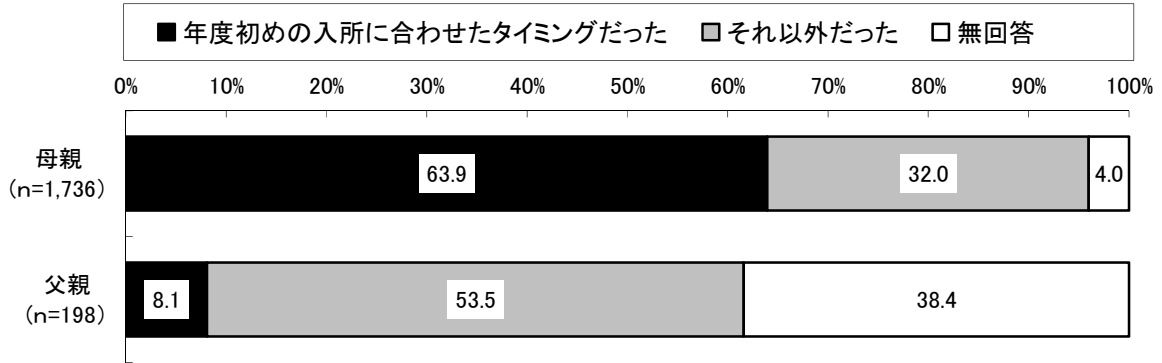
図表-159 子どもの年齢別 育児休業取得後の職場復帰の状況（単位：％）

	標本数（人）	母親				標本数（人）	父親				
		た育児休業取得後、職場に復帰し	に現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である	育児休業中に離職した	無回答		た育児休業取得後、職場に復帰し	に現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である	育児休業中に離職した	無回答	
全体	2,236	77.6	13.9	7.1	1.4	217	91.2	1.8	1.8	5.1	
子どもの年齢別	0歳	457	50.8	42.7	3.7	2.8	37	89.2	2.7	-	8.1
	1～2歳	764	81.7	9.0	8.6	0.7	79	92.4	2.5	1.3	3.8
	3～5歳	958	87.3	3.7	7.8	1.3	91	90.1	1.1	3.3	5.5
	無回答	57	77.2	19.3	1.8	1.8	10	100.0	-	-	-

(2) 復帰したタイミング

問32-2 【問32-1で「1. 復帰した」と回答した方にうかがいます。】育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(それぞれ〇は1つ)

図表-160 復帰したタイミング



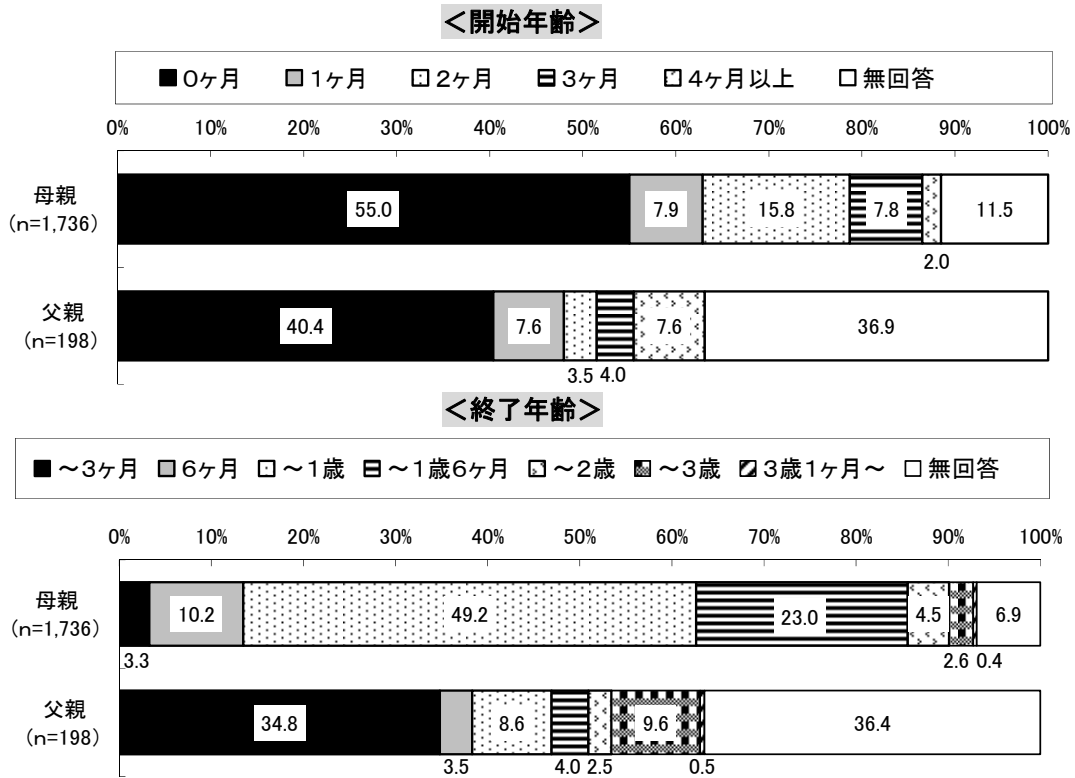
育児休業取得者に職場復帰したタイミングをたずねたところ、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(63.9%)の割合が最も高く、父親は「それ以外だった」(53.5%)の割合が最も高い。

II 乳幼児の保護者調査結果

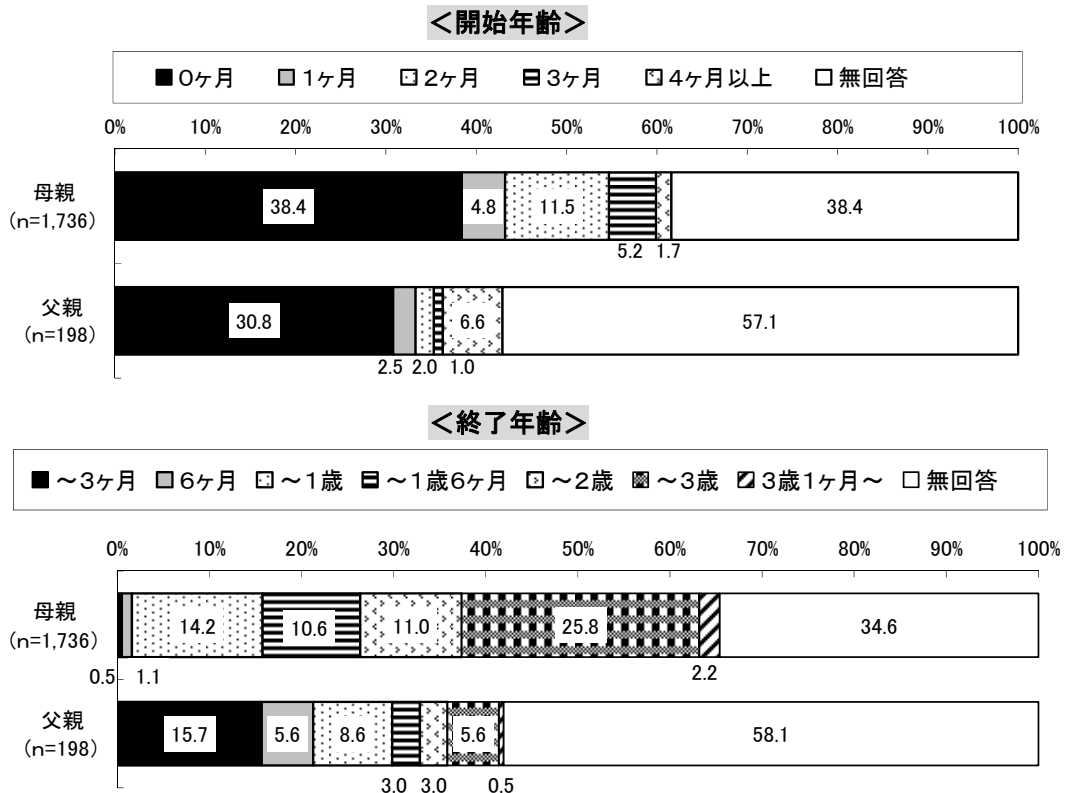
(3) 実際の取得期間と希望する取得期間

問32-3 育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月から何歳何ヶ月の間、取得されましたか。また、お勤め先の育児休業の制度が3歳までであった場合、何歳何ヶ月から何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(枠内に数字を記入)

図表-161 実際の取得期間



図表-162 3歳まで制度があった場合の希望取得期間



育児休業を実際に取得開始した年齢は、母親、父親ともに子どもの月齢が「0ヶ月」(母親55.0%、父親40.4%)からが最も多くなっている。終了時期は、母親では子どもの年齢が「～1歳」(49.2%)が最も多く、父親では無回答を除くと「～3ヶ月」(34.8%)が最も多くなっている。

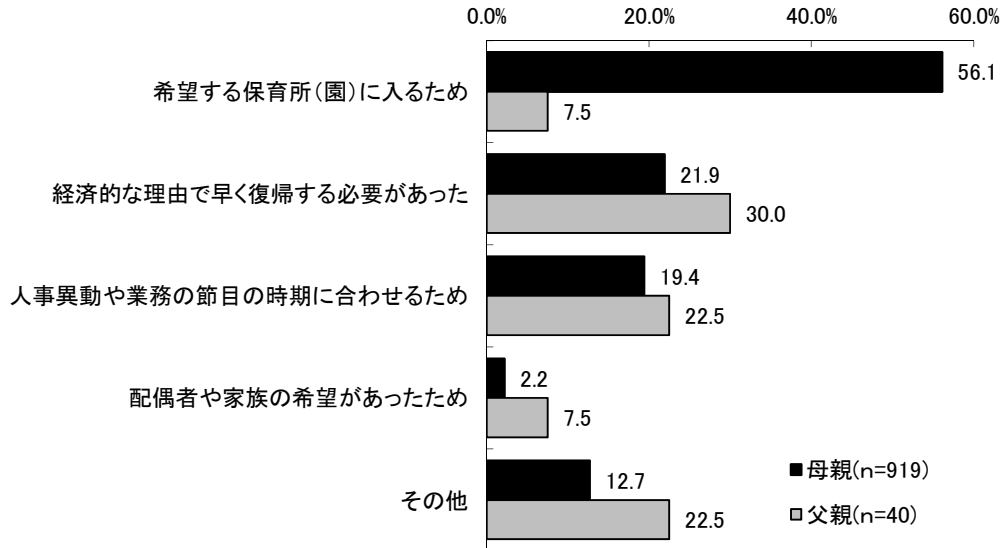
3歳までの育児休業制度があった場合に希望する終了時期は、無回答を除くと、母親では「～3歳」(25.8%)、父親では「～3ヶ月」(15.7%)が最も多くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

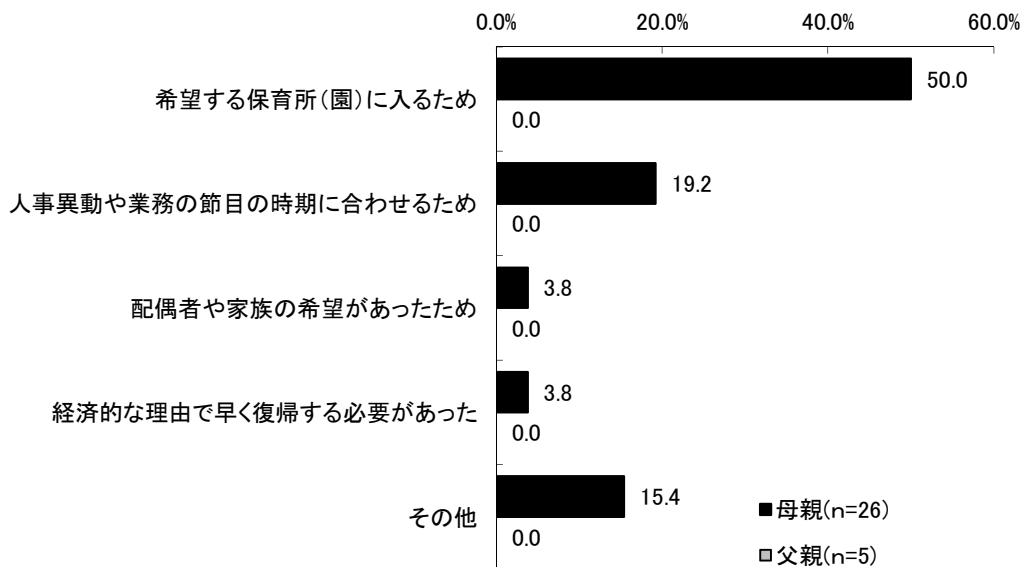
(4) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問32-4 【問32-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます】希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

図表-163 希望時期より早く復帰した理由



図表-164 希望時期より遅く復帰した理由



育児休業取得後に職場復帰した人のうち、職場復帰時期の『実際』と『希望』が異なる人に対して、その理由をたずねた。

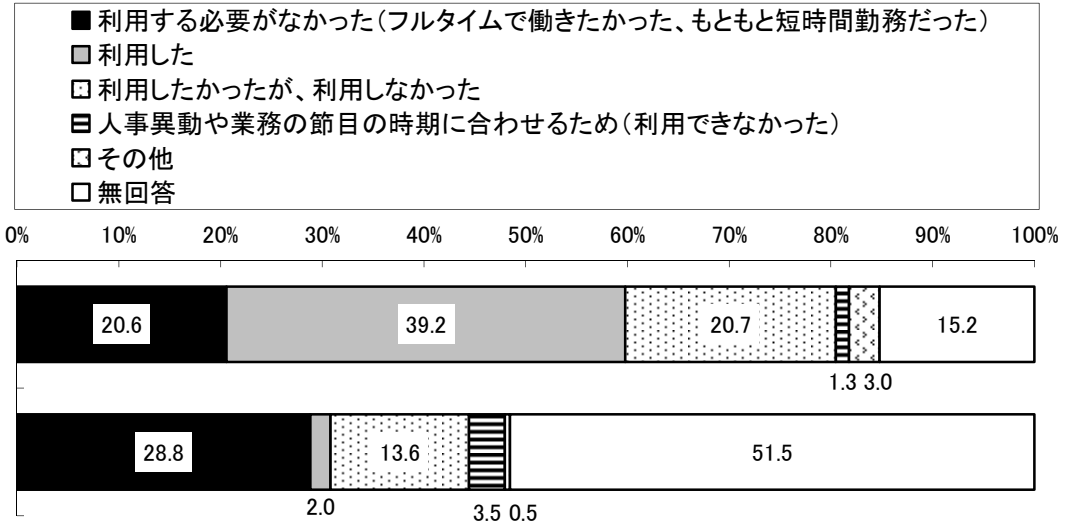
希望時期より早く復帰した母親(919人)では、「希望する保育所(園)に入るため」(56.1%)の割合が最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(21.9%)となっており、父親(40人)では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(30.0%)の割合が最も高くなっている。

希望時期より遅く復帰した母親(26人)では、「希望する保育所(園)に入るため」(50.0%)の割合が最も高く、父親(5人)は無回答であった。

(5) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問32-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ〇は1つ)

図表-165 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況



育児休業取得後に職場復帰した人に、復帰時の短時間勤務制度の利用状況をたずねたところ、母親は「利用した」(39.2%)の割合が最も高く、父親は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」(28.8%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で就労している場合は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」(32.4%)の割合が高くなっている。

図表-166 母親の就労状況別 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況 (単位: %)

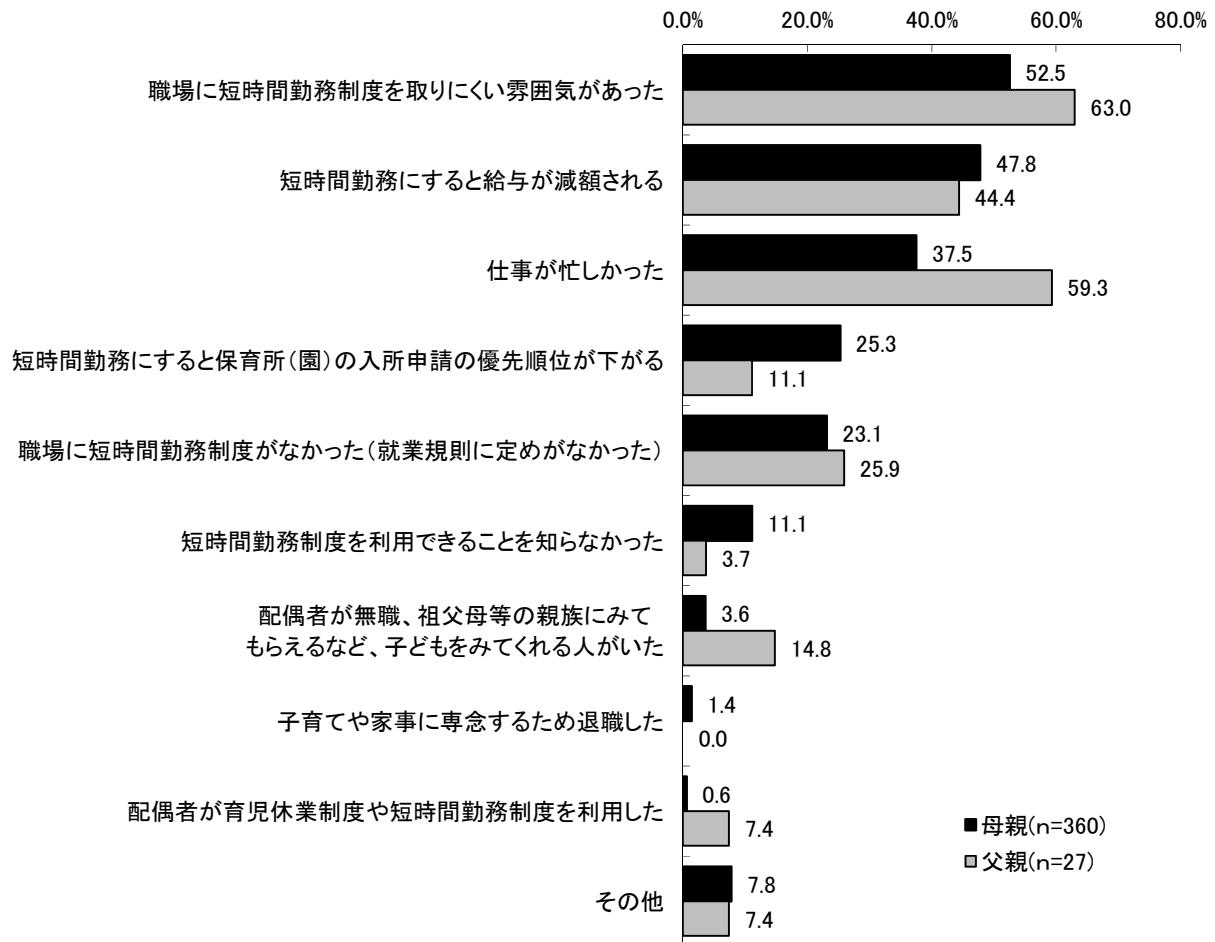
	標本数(人)	母親						標本数(人)	父親						
		か(フルタイムで働きたかった)	利用する必要がなかった	利用した	し(フルタイムで働きたかったが、利用しなかった)	用(フルタイムで働きたかったが、利用しなかった)	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため(利用できなかった)		その他	無回答	か(フルタイムで働きたかった)	利用する必要がなかった	利用した	し(フルタイムで働きたかったが、利用しなかった)	用(フルタイムで働きたかったが、利用しなかった)
全体	1,736	20.6	39.2	20.7	1.3	3.0	15.2	198	28.8	2.0	13.6	3.5	0.5	51.5	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,267	17.3	42.2	23.6	1.5	2.6	12.8	94	28.7	3.2	17.0	4.3	-	46.8
	パート・アルバイト等で就労	392	32.4	28.3	11.2	0.5	4.1	23.5	48	22.9	-	6.3	4.2	-	66.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	51	9.8	37.3	27.5	2.0	5.9	17.6	46	32.6	-	10.9	2.2	2.2	52.2
	これまで就労したことがない	-	-	-	-	-	-	-	6	66.7	-	16.7	-	-	16.7
	無回答	26	23.1	57.7	11.5	3.8	-	3.8	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(6) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問32-6 【問32-5で「3」と回答した方にうかがいます。】短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなぜですか。（枠内にあてはまるものすべてを記入）

図表-167 短時間勤務制度を利用しなかった理由



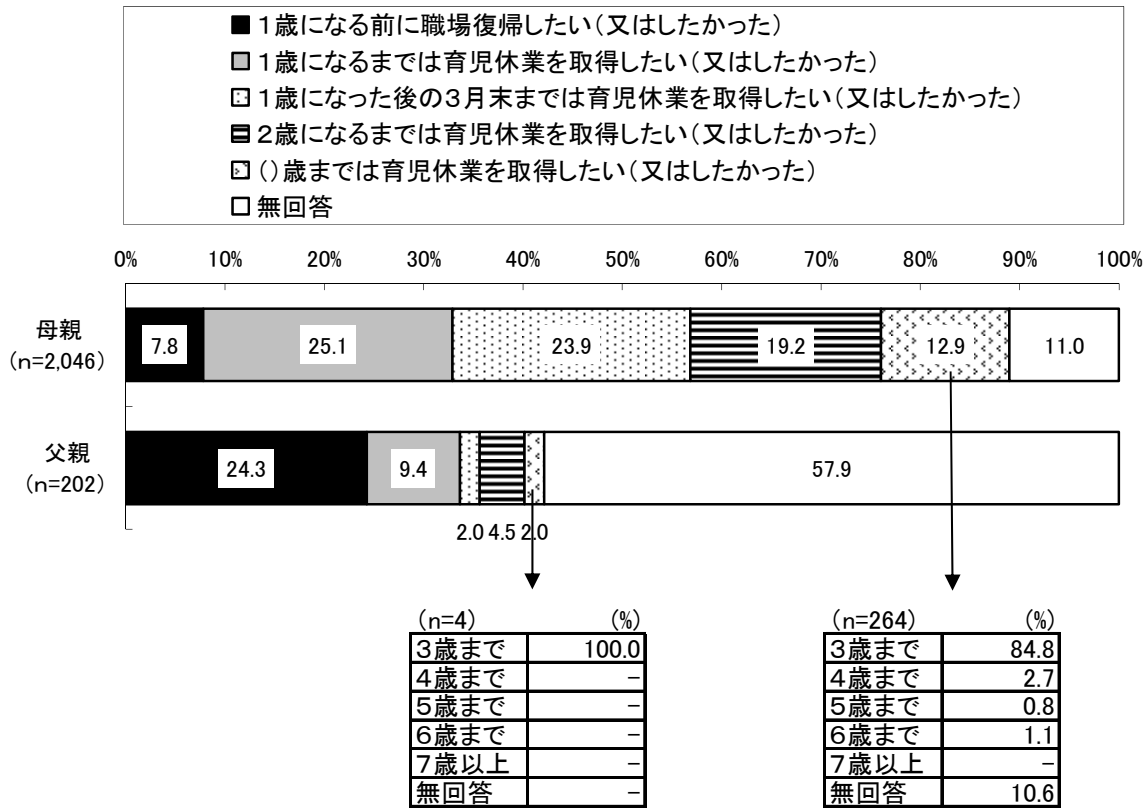
短時間勤務制度を利用しなかった人に、その理由をたずねたところ、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(52.5%)の割合が最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」(47.8%)、「仕事が忙しかった」(37.5%)となっている。

父親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(63.0%)の割合が最も高く、次いで「仕事が忙しかった」(59.3%)、「短時間勤務にすると給与が減額される」(44.4%)となっている。

(7) 生後3か月以降に必ず預けられる教育・保育事業がある場合の育児休業の取得意向

問32-7 【問32-1で「1」（育児休業取得後、職場復帰した）または「2」（現在も育児休業中）と回答した方にうかがいます。】あて名のお子さんを生後3か月以降に必ず預けられる教育・保育事業がある（又はあった）としたら、いつまで育児休業を取得したい（又はしたかった）ですか。（それぞれ○は1つ）

図表-168 生後3か月以降に必ず預けられる教育・保育事業がある場合の育児休業の取得意向

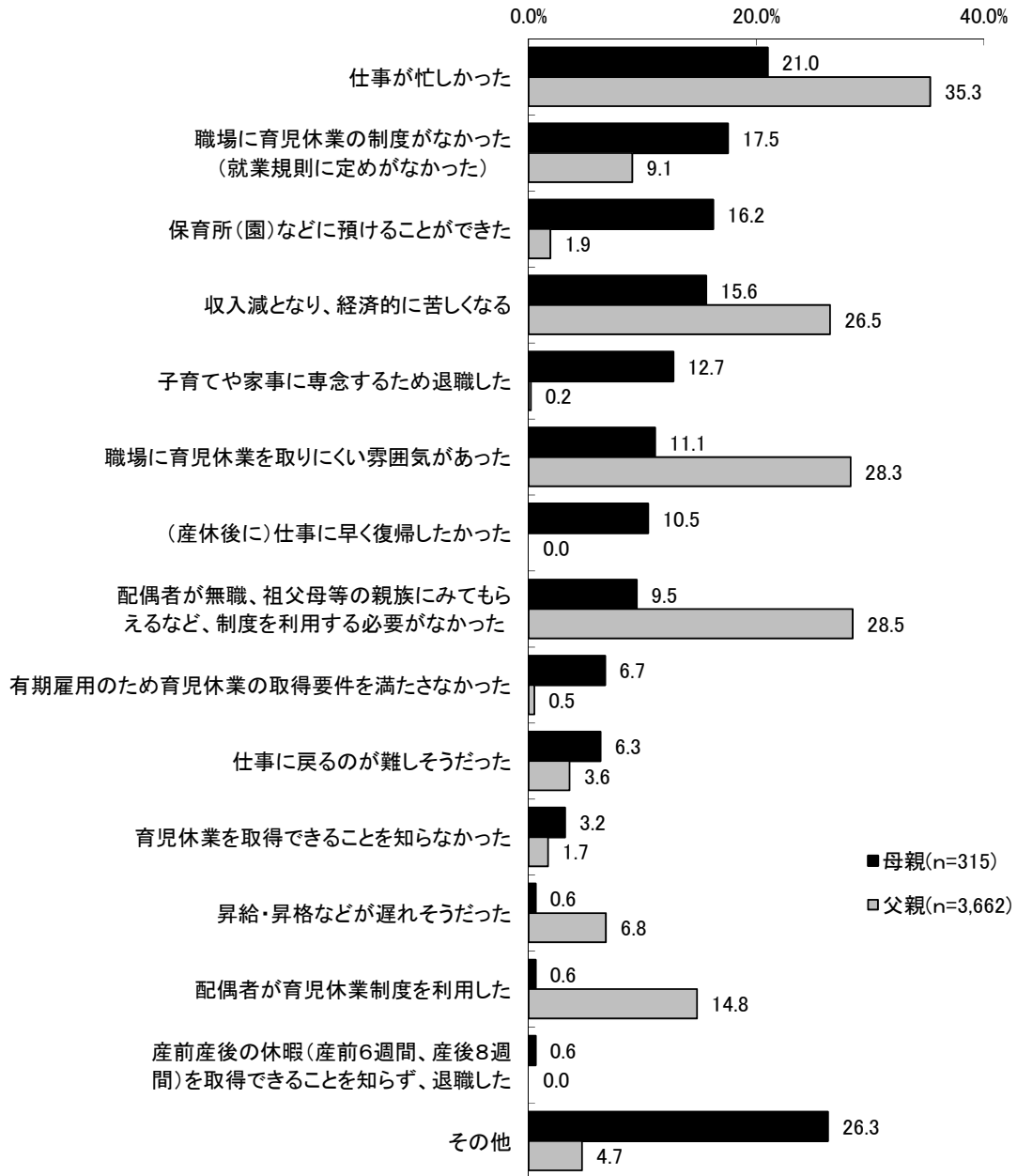


育児休業取得後に職場復帰した、あるいは育児休業中である人に、生後3か月以降に必ず預けられる教育・保育事業がある場合の育児休業の取得意向をたずねたところ、母親では「1歳になるまでは育児休業を取得したい（又はしたかった）」(25.1%)と「1歳になった後の3月末までは育児休業を取得したい（又はしたかった）」(23.9%)の割合が高く、次いで「2歳になるまでは育児休業を取得したい（又はしたかった）」(19.2%)となっており、父親では、無回答を除くと、「1歳になる前に職場復帰したい（又はしたかった）」(24.3%)の割合が最も高くなっている。

3. 育児休業を利用しなかった理由

問32-8 【問32で「2. 取得していない」と回答した方にうかがいます。】育児休業を取得されなかった理由はなぜですか。(枠内にあてはまるものすべてを記入)

図表-169 育児休業を利用しなかった理由



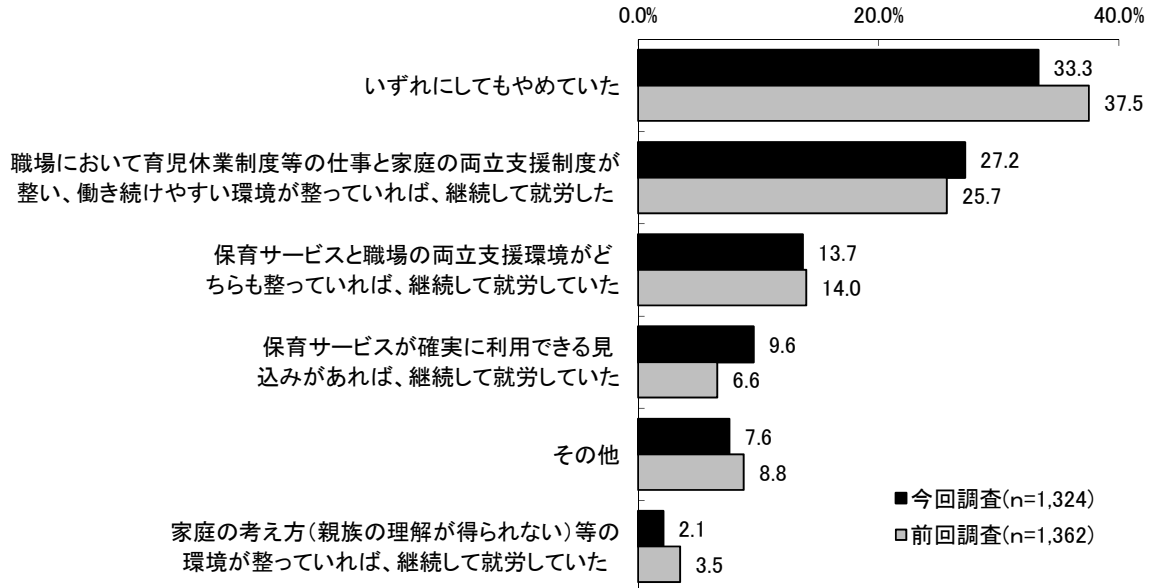
育児休業を利用しなかった人に、その理由をたずねたところ、母親では「仕事が忙しかった」(21.0%)の割合が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」(17.5%)、「保育所(園)などに預けることができた」(16.2%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(15.6%)となっている。

父親では、「仕事が忙しかった」(35.3%)の割合が最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(28.5%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(28.3%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(26.5%)となっている。

4. 継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境

問32-9 【問32で「3. 妊娠・出産を機に離職した」と回答した方および、問32-1で「3. 育児休業中に離職した」と回答した方にうかがいます。】仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(○は1つ)

図表-170 継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境



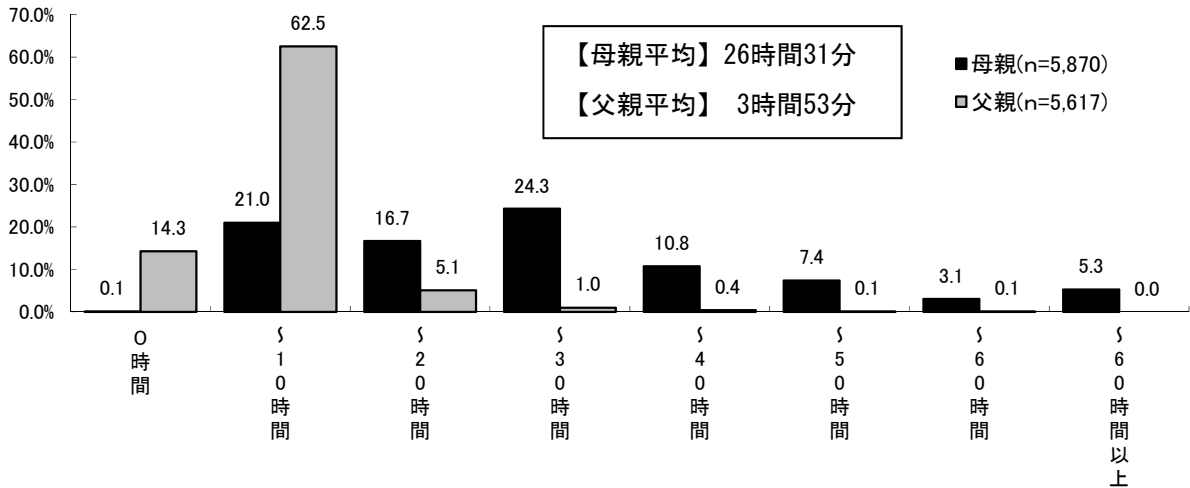
妊娠・出産を機に離職した又は育児休業中に離職した人に、仕事と家庭の両立を支援するサービスや環境が整っていたら就労を継続したかをたずねたところ、「いずれにしてもやめていた」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労した」(27.2%)、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」(13.7%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

第8章 子育てに関する意識とかかわり

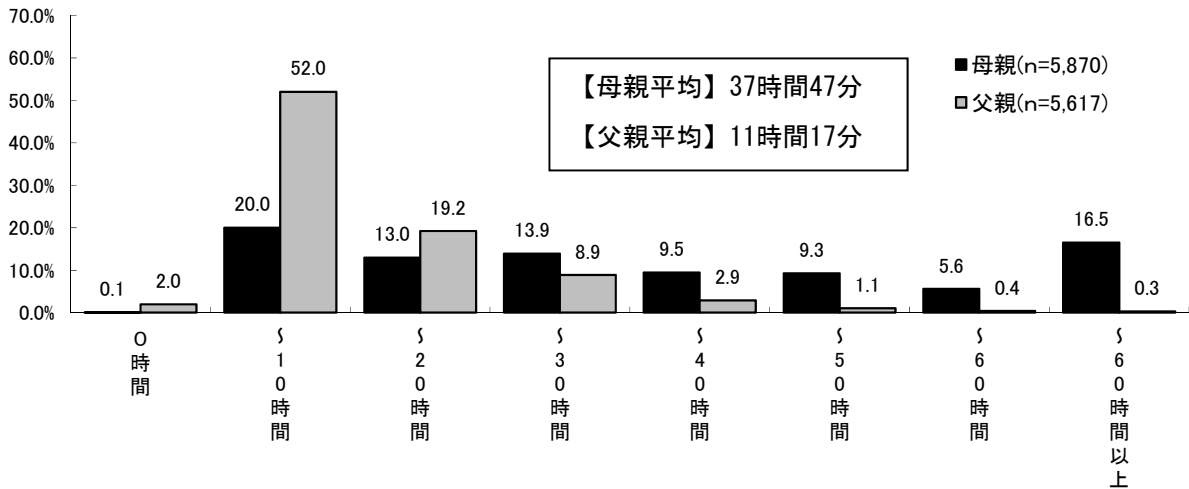
1. 家事・育児時間

問40 あて名のお子さんの母親・父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。(1週間の時間を合計して枠内に記入)

図表-171 家事時間



図表-172 育児時間



母親・父親の1週間の家事時間は、母親は、「～30時間」(24.3%)が最も高く、「～10時間」(21.0%)、「～20時間」(16.7%)、「～40時間」(10.8%)も1割を超えているのに対し、父親は「～10時間」(62.5%)が約6割、「0時間」が14.3%となっている。平均時間は母親が26時間31分、父親が3時間53分である。

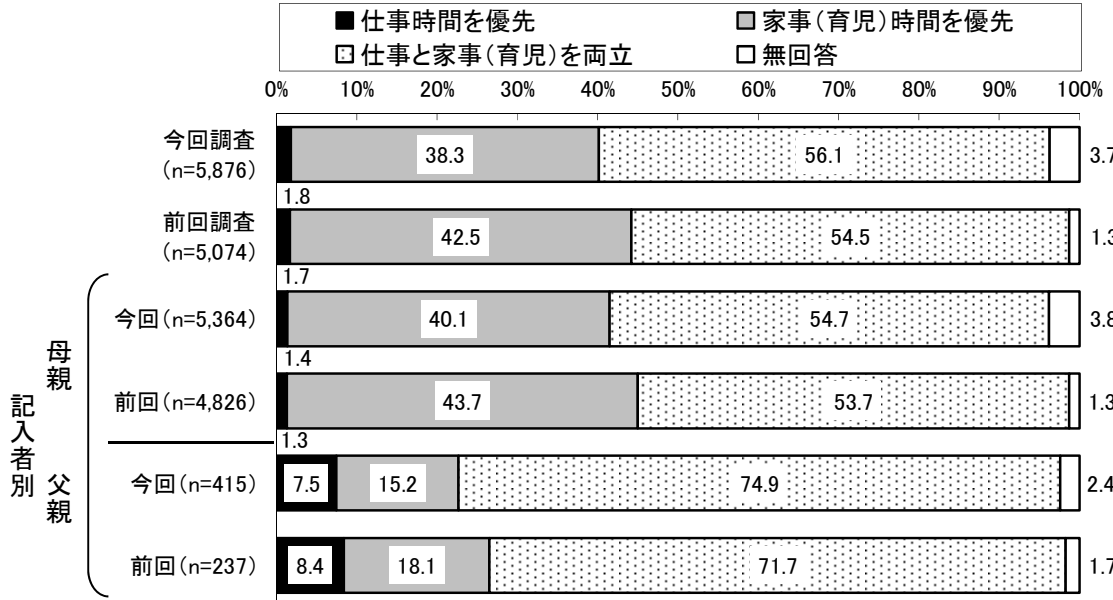
母親・父親の1週間の育児時間は、母親は「～10時間」(20.0%)が最も高く、「～30時間」(13.9%)、「～20時間」(13.0%)も1割を超えているが、父親は「～10時間」(52.0%)、「～20時間」(19.2%)となっており、平均時間は母親37時間47分、父親11時間17分である。

2. 「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度

(1) 希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度

問31 あなたの生活の中での「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度についてお答えください。（それぞれ○は1つ）

図表－173 希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度



「仕事時間」と「家事（育児）時間」について希望する優先度は、「仕事と家事（育児）を両立」（56.1％）の割合が最も高く、次いで「家事（育児）時間を優先」（38.3％）、「仕事時間を優先」（1.8％）となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

記入者別にみると、母親、父親とも「仕事と家事（育児）を両立」が最も高いが、その割合は母親が54.7％、父親が74.9％と約20ポイントの差がある。「家事（育児）時間を優先」することを希望する割合は、母親が40.1％、父親が15.2％と約25ポイントの差がある。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「仕事と家事（育児）を両立」することを希望する割合がやや増加している。

母親の就労状況別にみると、就労している場合に「仕事と家事（育児）を両立」の割合が高くなっており、特にフルタイムで就労している場合は「仕事と家事（育児）を両立」の割合が68.6%と7割弱となっている。

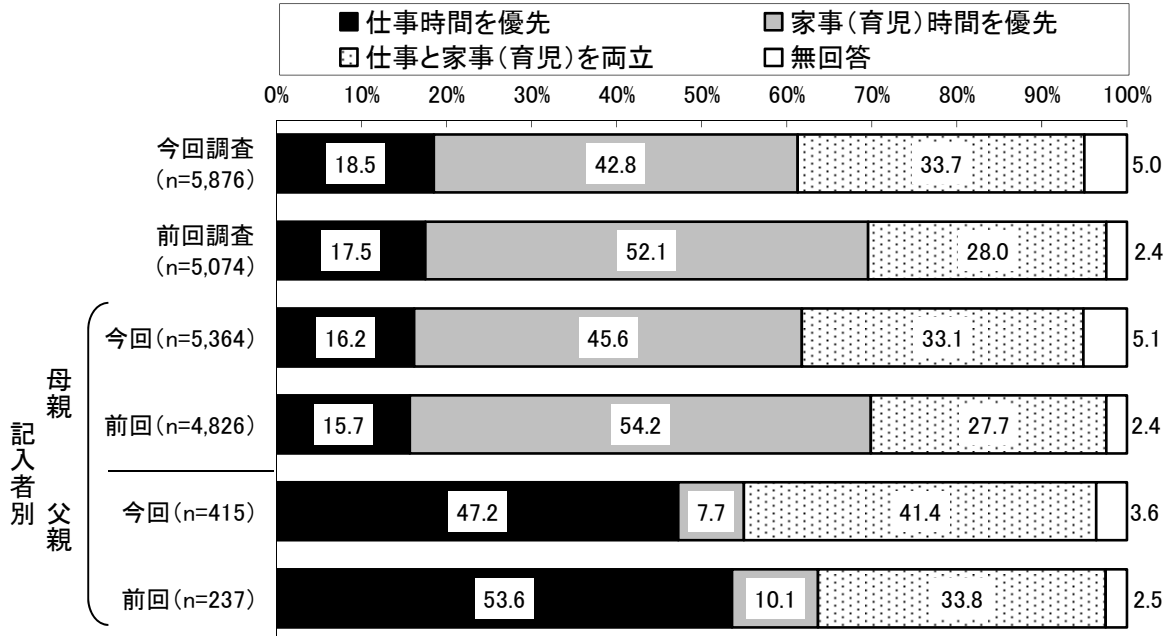
図表－174 子どもの年齢別・母親の就労状況別
希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度（単位：％）

	標本数 (人)	仕事時間 を優先	家事（育児） 時間を優先	仕事と家事 （育児）を 両立	無回答	
全体	5,876	1.8	38.3	56.1	3.7	
子どもの 年齢別	0歳	960	2.1	42.7	51.0	4.2
	1～2歳	1,913	1.3	38.4	54.9	5.4
	3～5歳	2,853	2.1	36.9	58.4	2.6
	無回答	150	3.3	34.7	60.7	1.3
母親の 就労 状況別	フルタイムで就労	2,013	1.9	28.5	68.6	1.0
	パート・アルバイト等で就労	1,659	2.5	31.6	64.1	1.9
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	1.3	52.4	39.6	6.7
	これまで就労したことがない	231	0.9	61.5	26.4	11.3
	無回答	150	2.0	38.7	46.0	13.3

(2) 現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度

問31 あなたの生活の中での「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度についてお答えください。（それぞれ○は1つ）

図表－175 現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度



現実の優先度は、「家事（育児）時間を優先」（42.8％）の割合が最も高く、次いで「仕事と家事（育児）を両立」（33.7％）、「仕事時間を優先」（18.5％）の順となっており、希望よりも家事（育児）優先になっている人が多い。

前回調査と比較すると、「仕事と家事（育児）を両立」が、母親では約5ポイント増加、父親では約8ポイント増加し、父親では「仕事時間を優先」が約6ポイント減少している。

記入者別にみると、母親は「家事（育児）時間を優先」（45.6％）、父親は「仕事時間を優先」（47.2％）がともに4割を超えて最も高くなっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「家事（育児）時間を優先」の割合がやや高くなっており、0歳では48.9%と5割弱を占めている。一方、年齢が高いほど「仕事と家事（育児）を両立」の割合がやや高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は、「家事（育児）時間を優先」が14.8%と低くなっている。

図表－176 子どもの年齢別・母親の就労状況別
現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度（単位：％）

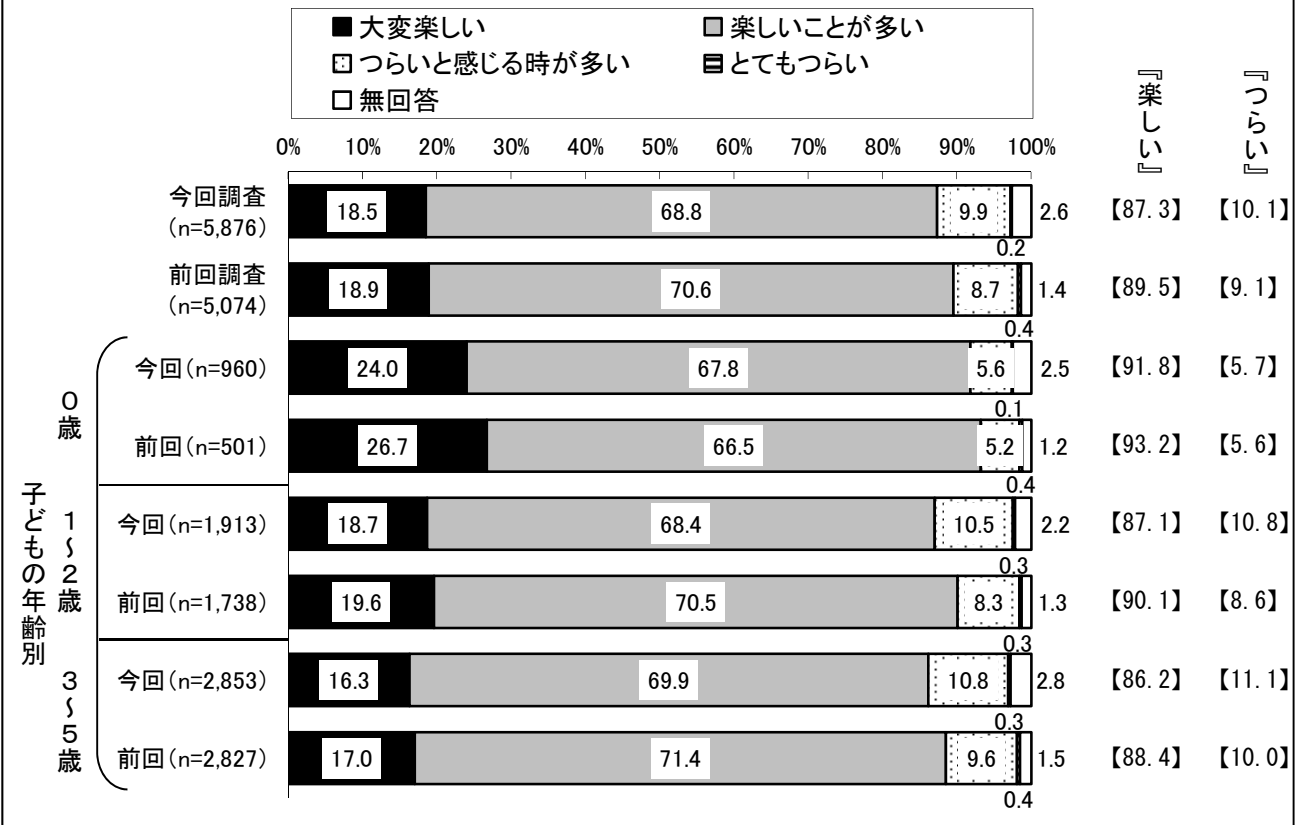
		標本数 (人)	仕事時間 を優先	家事 (育児) を優先	仕事と家事 (育児) を両立	無 回 答
全 体		5,876	18.5	42.8	33.7	5.0
子 ど も の 年 齢 別	0歳	960	15.3	48.9	29.8	6.0
	1～2歳	1,913	18.5	42.8	32.3	6.4
	3～5歳	2,853	19.4	40.9	36.0	3.7
	無回答	150	22.0	40.7	32.7	4.7
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	2,013	33.3	14.8	49.2	2.6
	パート・アルバイト等で就労	1,659	18.0	30.1	49.4	2.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	5.4	80.5	6.1	8.0
	これまで就労したことがな い	231	3.0	77.9	6.5	12.6
	無回答	150	8.0	50.7	26.7	14.7

3. 母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり

(1) 子育てを楽しんでいる割合

問42 あなたは、子育てが楽しいですか。(○は1つ)

図表-177 子育てを楽しんでいる割合



子育てについて「楽しいことが多い」(68.8%)の割合が最も高く、「大変楽しい」(18.5%)を合わせた『楽しい』と回答した人は87.3%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

一方で、『つらい』(「つらいと感じることが多い」と「とてもつらい」の合計)と回答した人も10.1%存在している。

子どもの年齢別でみると、子どもの年齢が高くなるほど『楽しい』の割合はやや減少し、『つらい』の割合はやや増加している。0歳では「大変楽しい」が24.0%と他の年齢層に比べて高い割合になっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は『楽しい』（89.0%）の割合が他の就労状況の人よりやや高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では『つらい』が16.9%で他の世帯より高くなっている。

父親の子育ての程度別にみると、十分にやっている場合は「大変楽しい」割合が高く、全くやっていない場合は「つらいと感じる時が多い」割合が高くなっている。

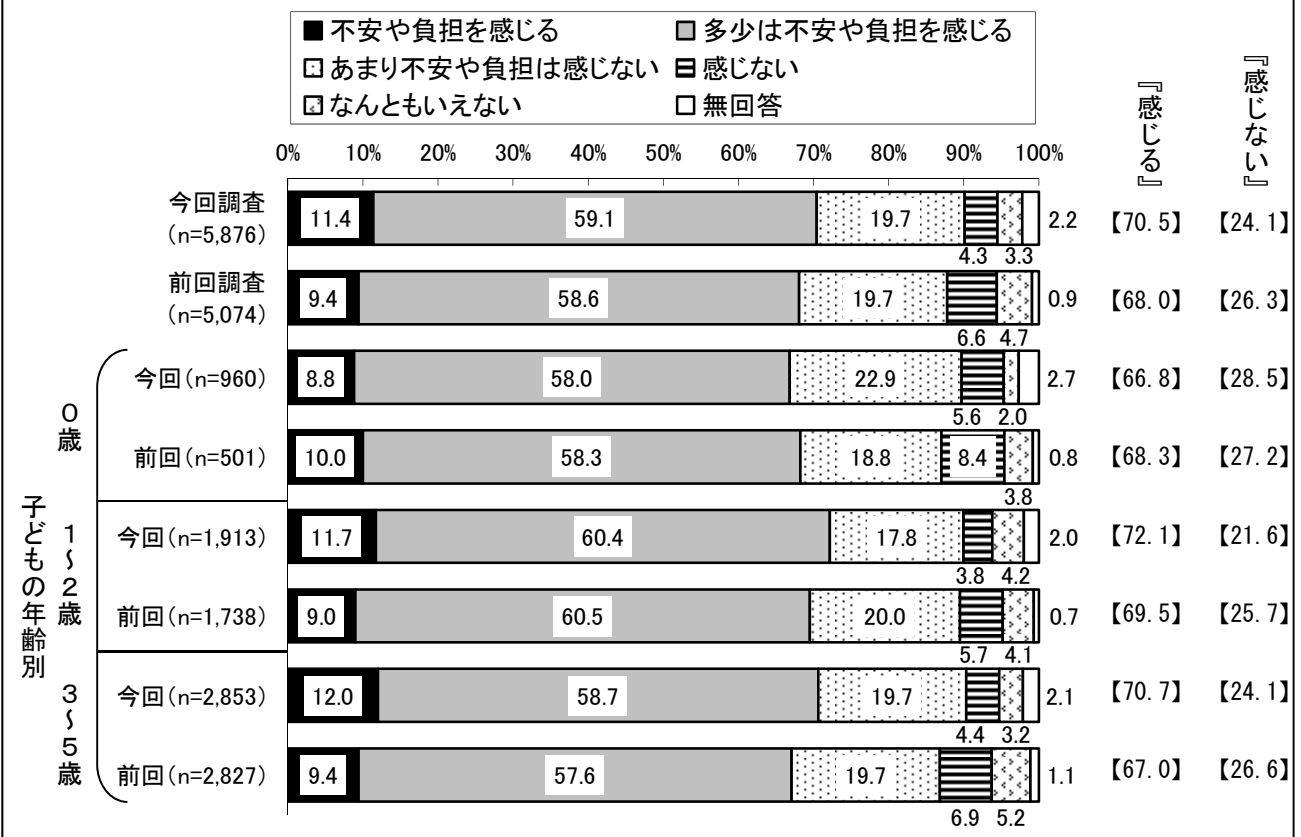
図表－178 母親の就労状況別・世帯分類別・父親の子育ての程度別
子育てを楽しんでいる割合（単位：％）

		標本数（人）	大変楽しい	楽しいことが多い	がつらいと感じる時が多い	とてもつらい	無回答	『楽しい』	『つらい』
全体		5,876	18.5	68.8	9.9	0.2	2.6	87.3	10.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	21.4	67.6	8.6	—	2.4	89.0	8.6
	パート・アルバイト等で就労	1,659	16.6	69.9	10.9	0.2	2.5	86.5	11.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	16.6	70.7	9.8	0.6	2.4	87.3	10.4
	これまで就労したことがない	231	20.8	63.6	11.7	0.4	3.5	84.4	12.1
	無回答	150	19.3	58.0	15.3	—	7.3	77.3	15.3
世帯分類別	三世帯	272	19.1	71.7	7.4	—	1.8	90.8	7.4
	核家族	5,176	18.5	69.1	9.7	0.3	2.5	87.6	10.0
	ひとり親	213	17.4	63.8	16.9	—	1.9	81.2	16.9
	ひとり親三世帯	52	19.2	59.6	13.5	—	7.7	78.8	13.5
	その他	61	14.8	72.1	6.6	—	6.6	86.9	6.6
無回答	102	20.6	55.9	16.7	—	6.9	76.5	16.7	
父親の子育ての程度別	十分にやっている	1,712	28.7	64.1	6.1	0.2	0.9	92.8	6.3
	十分とはいえないが、まあやっている	2,809	14.9	74.9	9.0	0.2	1.0	89.8	9.2
	かなり不足している	784	12.8	67.0	19.0	0.3	1.0	79.8	19.3
	全くやっていない	144	13.9	61.8	22.2	0.7	1.4	75.7	22.9
	無回答	168	4.8	36.9	3.6	—	54.8	41.7	3.6

(2) 子育てへの不安感

問43 子育てに関して不安や負担などはお感じですか。(○は1つ)

図表-179 子育てへの不安感



子育てに関する不安については「多少は不安や負担を感じる」(59.1%)の割合が最も高く、約6割を占めており、次いで「あまり不安や負担などは感じない」(19.7%)、「不安や負担を感じる」(11.4%)、「感じない」(4.3%)となっており、不安や負担を『感じる』(「不安や負担を感じる」と「多少は不安や負担を感じる」の合計)が70.5%と約7割を占めている。

子どもの年齢別では、他の年齢に比べて0歳で、不安や負担を『感じる』割合がやや低く、『感じない』割合がやや高くなっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

世帯年収別にみると、200万円未満では他の世帯に比べて「不安や負担を感じる」（17.2％）の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では他の世帯に比べて「不安や負担を感じる」（ひとり親：20.2％、ひとり親三世代：17.3％）の割合が高くなっている。

父親の子育ての程度別にみると、父親が子育てをする程度が低いほど「不安や負担を感じる」割合が高くなっている。父親が子育てを「全くやっていない」場合には、不安や負担を『感じる』（81.9％）が約8割と非常に高くなっている。

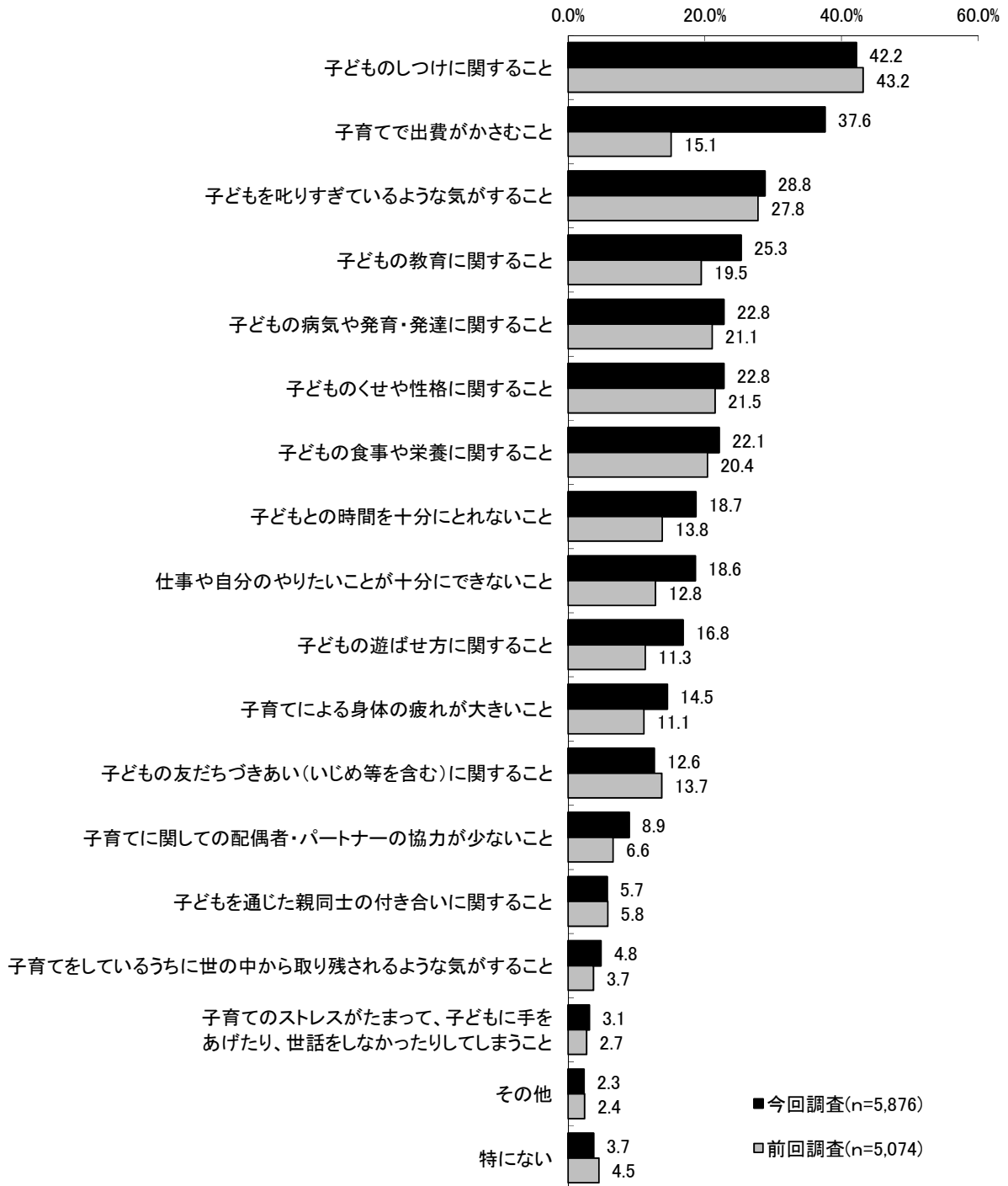
図表－180 世帯年収別・世帯分類別・父親の子育ての程度別 子育てへの不安感（単位：％）

	標本数（人）	不安や負担を感じる	多少は不安や負担を感じる	あまり不安や負担を感じない	感じない	なんともいえない	無回答	『感じる』	『感じない』	
全体	5,876	11.4	59.1	19.7	4.4	3.3	2.2	70.5	24.1	
世帯年収別	200万円未満	302	17.2	53.3	16.2	4.3	5.0	4.0	70.5	20.5
	200～300万円未満	404	12.9	57.9	16.6	5.9	3.2	3.5	70.8	22.5
	300～400万円未満	739	11.1	59.9	17.2	5.3	5.0	1.5	71.0	22.5
	400～500万円未満	924	11.6	60.4	18.8	3.1	4.0	2.1	72.0	21.9
	500～700万円未満	1,568	11.5	59.9	19.2	4.5	3.2	1.7	71.4	23.7
	700～1000万円未満	1,149	10.9	58.2	21.7	4.3	2.6	2.3	69.1	26.0
	1000万円以上	585	7.5	59.1	26.0	4.1	1.0	2.2	66.6	30.1
	無回答	205	12.2	59.0	18.0	4.9	3.9	2.0	71.2	22.9
世帯分類別	三世代	272	9.9	61.0	18.8	6.6	2.2	1.5	70.9	25.4
	核家族	5,176	11.1	59.5	19.9	4.3	3.3	2.0	70.6	24.2
	ひとり親	213	20.2	52.1	14.6	5.6	3.8	3.8	72.3	20.2
	ひとり親三世代	52	17.3	57.7	13.5	3.8	1.9	5.8	75.0	17.3
	その他	61	8.2	52.5	19.7	4.9	6.6	8.2	60.7	24.6
無回答	102	11.8	50.0	23.5	2.9	5.9	5.9	61.8	26.4	
父親の子育ての程度別	十分にやっている	1,712	7.8	57.4	24.0	7.3	3.0	0.4	65.2	31.3
	十分とはいえないが、まあやっている	2,809	10.6	62.3	19.9	3.3	3.5	0.4	72.9	23.2
	かなり不足している	784	18.4	60.2	14.5	2.7	3.7	0.5	78.6	17.2
	全くやっていない	144	23.6	58.3	11.8	3.5	2.1	0.7	81.9	15.3
	無回答	168	6.0	26.2	9.5	0.6	2.4	55.4	32.2	10.1

(3) 子育てに関して悩んでいること

問44 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(○は3つまで)

図表-181 子育てに関して悩んでいる事



子育てに関して悩んでいることは、「子どものしつけに関する事」(42.2%)の割合が最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」(37.6%)、「子どもを叱りすぎているような気がする事」(28.8%)、「子どもの教育に関する事」(25.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「子育てで出費がかさむこと」の割合は約13ポイント増加し、「子どもの教育に関する事」「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」は約6ポイント増加している。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、「子どもの病気や発育・発達に関すること」「子どもの食事や栄養に関すること」「子どもの遊ばせ方に関すること」の割合は、年齢が低いほど高くなっている。一方、「子どものくせや性格に関すること」「子どもの教育に関すること」の割合は年齢が高いほど高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では「子育てで出費がかさむこと」「子どもとの時間を充分にとれないこと」の割合が高くなっている。また、ひとり親は他の世帯に比べて「子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと」(6.6%)の割合がやや高くなっている。

子育ての不安感・負担感別にみると、不安や負担を感じる人は「子どもを叱りすぎている気がする」「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっている。

図表－182 子どもの年齢別・世帯分類別・子育ての不安感別
子育てに関して悩んでいる事（単位：％）

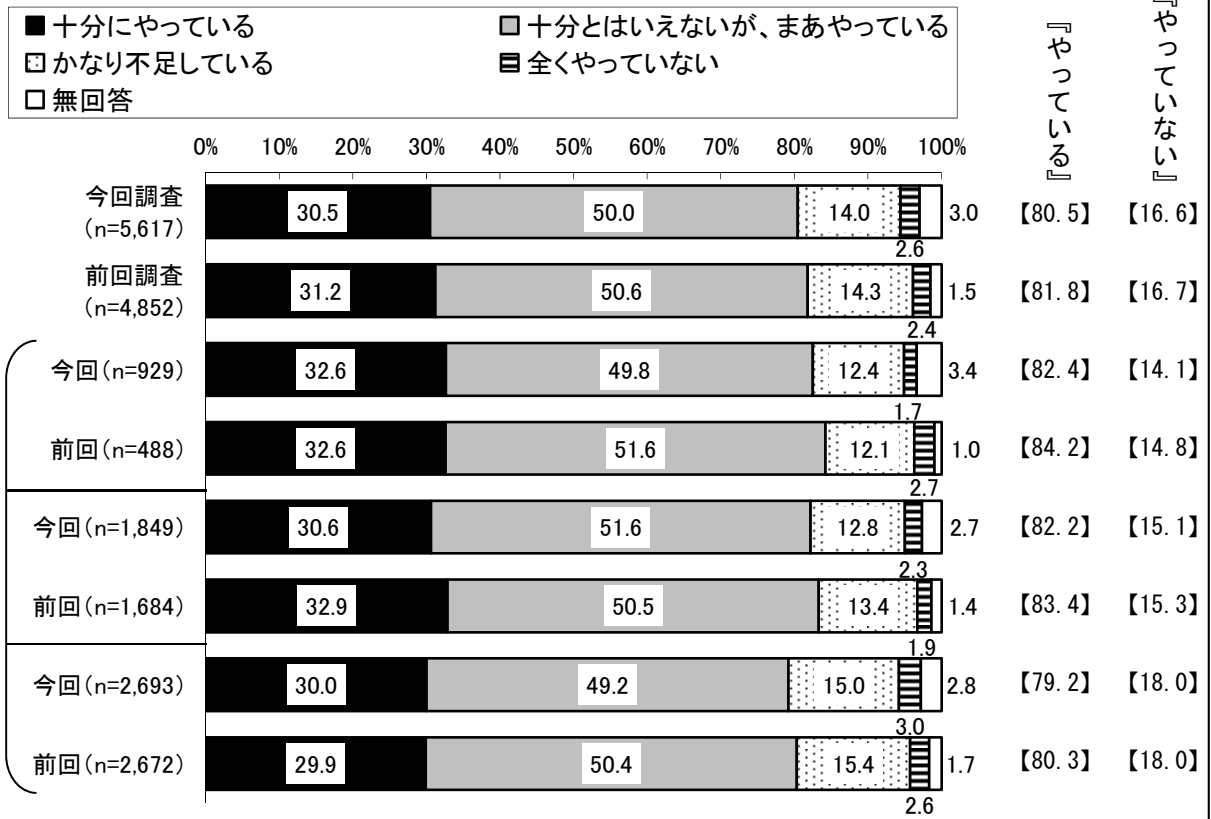
	標本数（人）	子育てで出費がかさむこと	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもの食事や栄養に関すること	子どもの遊ばせ方に関すること	子どものくせや性格に関すること	子どもの教育に関すること	子どもとの時間を充分にとれないこと	子どもを叱りすぎている気がする	子どもを友だちづきあいに（いじめ等を含む）	子育てに関する協力者が少ないこと
		37.6	22.8	22.1	16.8	42.2	22.8	18.7	25.3	12.6	8.9
全体	5,876	37.6	22.8	22.1	16.8	42.2	22.8	18.7	25.3	12.6	8.9
子どもの年齢別	0歳	960	32.0	27.7	32.0	20.3	40.6	16.0	19.7	7.2	7.6
	1～2歳	1,913	36.5	22.5	24.1	17.5	45.5	20.8	18.6	22.7	8.8
	3～5歳	2,853	40.3	21.3	17.5	15.2	40.9	26.6	19.9	28.9	17.1
	無回答	150	37.3	22.0	21.3	16.0	37.3	18.0	12.7	26.0	9.3
世帯分類別	三世代	272	35.7	22.8	23.5	18.8	46.3	23.5	20.6	30.5	12.5
	核家族	5,176	37.2	22.5	22.2	16.7	42.3	22.9	18.2	25.3	12.7
	ひとり親	213	45.5	25.8	17.8	12.2	38.5	25.4	31.5	16.0	12.7
	ひとり親三世代	52	65.4	32.7	23.1	17.3	44.2	19.2	26.9	25.0	13.5
	その他	61	39.3	23.0	27.9	24.6	39.3	13.1	18.0	24.6	11.5
無回答	102	31.4	23.5	18.6	19.6	38.2	14.7	11.8	32.4	5.9	
子育ての不安感・負担感別	不安や負担を感じる	668	43.6	30.5	20.8	17.8	43.9	25.1	22.0	24.0	13.2
	多少は不安や負担を感じる	3,471	40.2	24.6	22.4	18.2	46.8	24.4	19.5	27.0	13.3
	あまり不安や負担は感じない	1,156	31.2	17.9	24.2	15.8	35.6	21.3	17.0	26.0	12.8
	感じない	258	26.4	10.9	20.5	9.7	26.4	12.0	17.4	16.7	8.5
	なんともいえない	196	41.3	19.4	22.4	12.2	36.7	20.9	14.3	18.4	9.2
	無回答	127	11.0	4.7	5.5	3.9	11.0	3.9	5.5	7.9	0.8

	標本数（人）	仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	子育てをしながら残さずやる	子どもを叱りすぎている	子育てのストレスがたまる	子育てによる身体の疲れ	子どもを通じた親同士の付き合い	その他	特になし	無回答
		18.6	4.8	28.8	3.1	14.5	5.7	2.3	3.7	1.9
全体	5,876	18.6	4.8	28.8	3.1	14.5	5.7	2.3	3.7	1.9
子どもの年齢別	0歳	960	23.3	6.8	19.4	1.9	16.8	6.3	2.9	2.3
	1～2歳	1,913	19.3	4.9	30.1	3.4	16.1	4.8	2.4	1.7
	3～5歳	2,853	16.5	4.0	31.1	3.4	12.5	6.2	2.1	1.9
	無回答	150	16.7	6.0	29.3	1.3	16.0	4.7	1.3	6.7
世帯分類別	三世代	272	15.8	3.3	25.7	2.9	12.9	6.3	2.9	1.1
	核家族	5,176	18.8	5.0	29.2	3.0	14.6	5.8	2.2	1.8
	ひとり親	213	16.4	1.9	25.4	6.6	15.0	5.6	1.9	3.3
	ひとり親三世代	52	21.2	3.8	21.2	3.8	13.5	7.7	3.8	-
	その他	61	13.1	3.3	27.9	4.9	9.8	-	8.2	1.6
無回答	102	21.6	5.9	27.5	2.0	13.7	3.9	2.0	3.9	
子育ての不安感・負担感別	不安や負担を感じる	668	28.6	7.3	40.6	10.3	28.6	7.5	4.8	-
	多少は不安や負担を感じる	3,471	20.5	5.4	32.6	2.7	15.7	5.9	2.3	1.2
	あまり不安や負担は感じない	1,156	11.2	2.8	16.4	0.7	6.2	4.8	1.1	8.9
	感じない	258	7.4	1.2	10.5	-	5.4	5.8	1.2	21.7
	なんともいえない	196	14.3	4.6	34.2	4.1	12.2	5.1	3.1	7.7
	無回答	127	8.7	1.6	6.3	3.1	3.9	0.8	0.8	0.8

(4) 父親の子育ての評価

問41 あなたのご家庭では父親はどの程度子育てをしていますか。(○は1つ)

図表-183 父親の子育ての評価



父親の子育てについては、「十分とはいえないが、まあやっている」(50.0%)の割合が最も高く、次ぐ「十分にやっている」(30.5%)と合計した『やっている』(「十分にやっている」と「十分とはいえないが、まあやっている」の合計)は約8割(80.5%)となっている一方、『やっていない』(「かなり不足している」と「まったくやっていない」の合計)は2割弱(16.6%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの年齢別では、大きな違いはみられない。

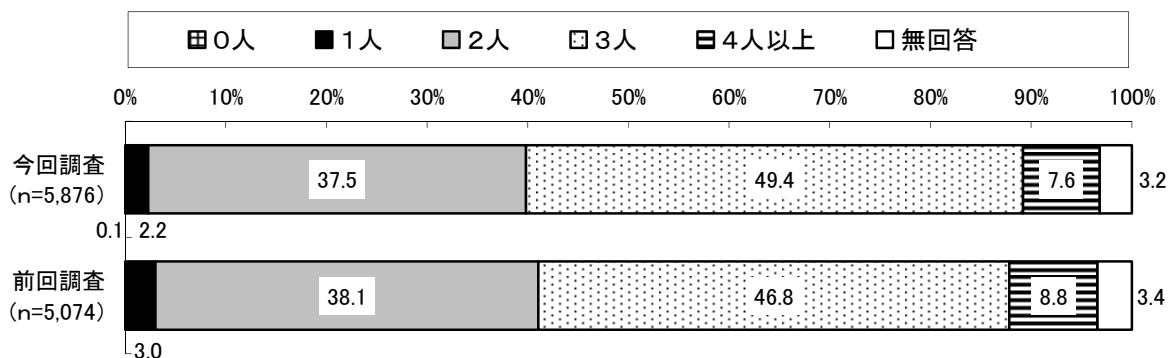
Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

4. 理想的な子どもの数と実際に予定している子どもの数

(1) 理想的な子どもの数

問39 あなたにとって、理想的な子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図表－184 理想的な子どもの数



理想的な子どもの数は「3人」(49.4%)の割合が最も高く約半数を占め、次いで「2人」(37.5%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

母親の就労状況別にみると、これまで就労したことがない場合に「4人以上」が10.8%と他の就労状況よりやや高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親三世代では「2人」(59.6%)が他の世帯より高くなっている。

図表－185 母親の就労状況別・世帯分類別

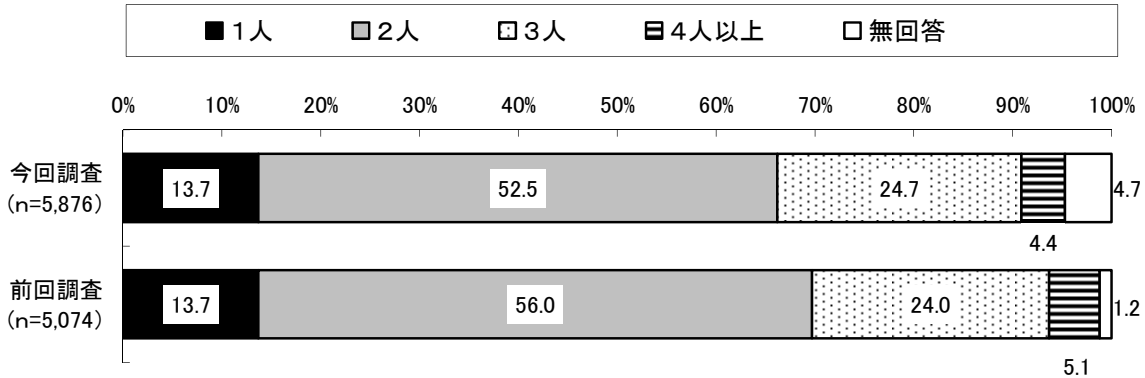
ほしい子どもの数 (単位: %)

		(人 標 本 数)	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人 以上	無 回 答
全 体		5,876	0.1	2.2	37.5	49.4	7.6	3.2
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	2,013	0.0	1.7	37.0	51.6	6.7	2.9
	パート・アルバイト等で就労	1,659	0.1	2.5	35.6	49.5	8.4	4.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	0.1	2.6	39.8	47.8	7.6	2.2
	これまで就労したことがない	231	-	1.3	36.8	47.2	10.8	3.9
	無回答	150	-	3.3	38.0	41.3	8.0	9.3
世 帯 分 類 別	三世代	272	-	2.6	36.0	44.1	14.7	2.6
	核家族	5,176	0.1	2.0	37.3	50.5	7.4	2.8
	ひとり親	213	-	7.5	35.7	40.4	6.6	9.9
	ひとり親三世代	52	-	7.7	59.6	23.1	1.9	7.7
	その他	61	-	3.3	44.3	31.1	11.5	9.8
	無回答	102	-	1.0	39.2	47.1	5.9	6.9

(2) 実際に予定している子どもの数

問39 あなたにとって、理想的な子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図表－186 実際に予定している子どもの数



実際に予定している子どもの数は「2人」(52.5%)が半数を超え、次いで「3人」(24.7%)となっており、理想的な子どもの数より少なくなっている。

母親の就労状況別にみると、「1人」の割合は、就労している場合には15%前後、就労していない場合には10%強となっている。これまでに就労したことがない場合は、「3人」や「4人以上」の割合が他の就労状況よりやや高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では「1人」の割合が他の世帯より高い。

図表－187 母親の就労状況別・世帯分類別

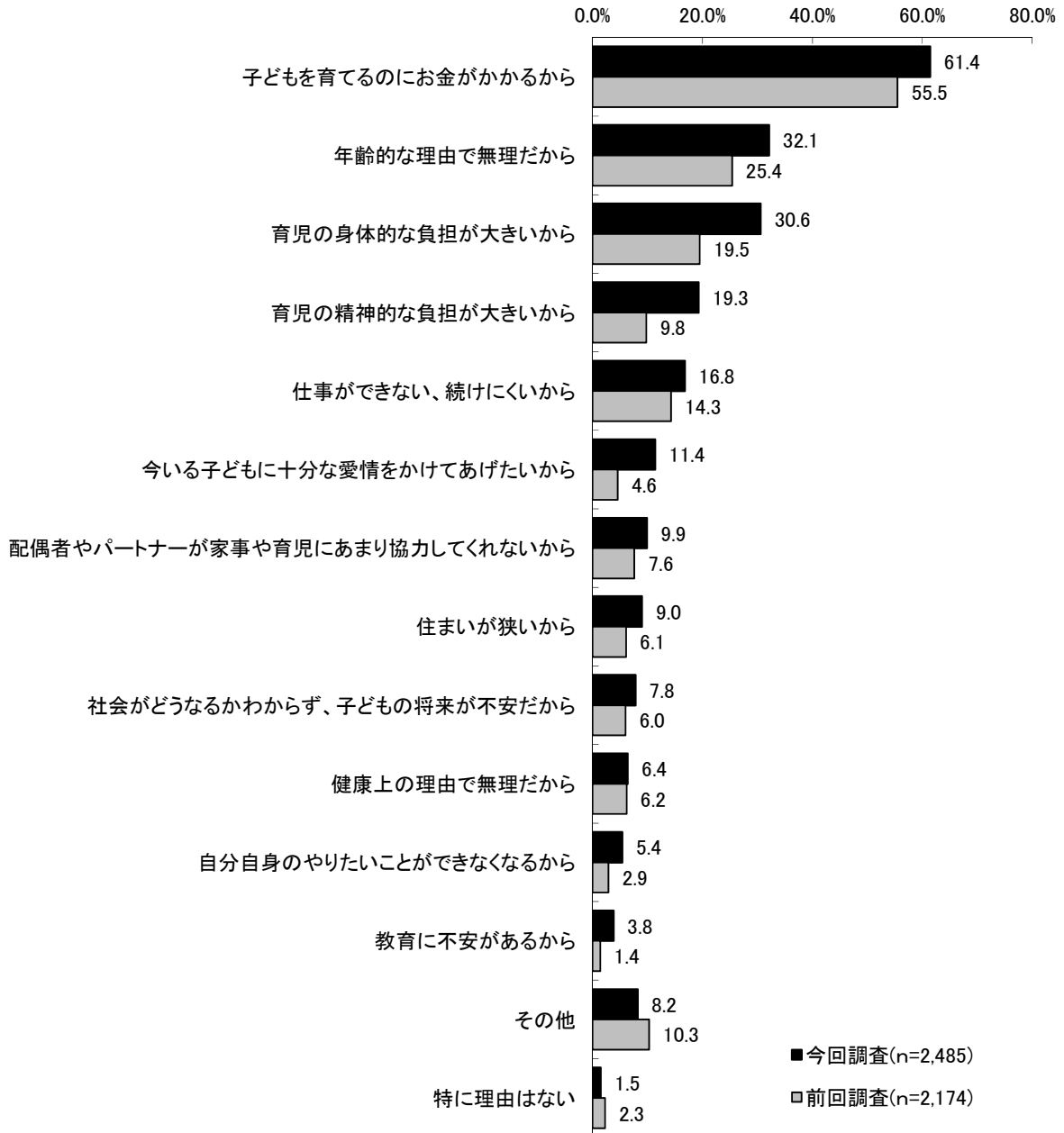
実際に予定している子どもの数 (単位: %)

		(人 標 本 数)	1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	無 回 答
全体		5,876	13.7	52.5	24.8	4.3	4.7
母親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	2,013	15.6	53.0	23.4	3.4	4.6
	パート・アルバイト等で就労	1,659	13.4	50.7	25.0	5.2	5.7
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,817	12.1	55.0	25.3	4.3	3.3
	これまで就労したことがない	231	10.8	45.9	31.2	6.1	6.1
	無回答	150	14.7	46.0	24.7	4.0	10.7
世帯 分 類 別	三世代	272	12.9	43.0	29.4	8.8	5.9
	核家族	5,176	12.6	54.5	25.1	4.1	3.7
	ひとり親	213	30.5	28.6	16.4	5.6	18.8
	ひとり親三世代	52	30.8	34.6	7.7	1.9	25.0
	その他	61	19.7	37.7	21.3	6.6	14.8
	無回答	102	21.6	44.1	22.5	1.0	10.8

(3) 理想より実際の子ども数が少ない理由

問39-1 【問39で、ほしいと思っている子どもの数よりも、実際に予定している子どもの数が少ない方にうかがいます】その理由はどのようなことですか。(〇は2つまで)

図表-188 理想より実際の子ども数が少ない理由



理想の子どもの数より実際に予定している子どもの数が少ない人に、その理由をたずねたところ、「子どもを育てるのにお金がかかるから」(61.4%)が6割強を占めている。次いで「年齢的な理由で無理だから」(32.1%)、「育児の身体的な負担が大きいから」(30.6%)、「育児の精神的な負担が大きいから」(19.3%)の順になっている。

前回調査と比べると、ほとんどの項目で割合は前回調査より高くなっている。

子どもの年齢別にみると、「子どもを育てるのにお金がかかるから」は、0歳で7割弱と高くなっている。

母親の就労状況別にみると、就労している場合は他の就労状況に比べて「仕事ができない・続けにくいから」（2割前後）の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、三世代と核家族では他の世帯に比べて「子どもを育てるのにお金がかかるから」（6割前後）の割合が高くなっている。

図表－189 子どもの年齢別・母親の就労状況別・世帯分類別
理想より実際の子どもの数が少ない理由（単位：％）

		標本数（人）	大きいから 育児の身体的な負担が	大きいから 育児の精神的な負担が	家事や育児にあまり協力が 取れないから	年齢的な理由で無理だ	健康上の理由で無理だ	自分自身のやりたから と自分自身でなくなるから	住まいが狭いから	子どもを育てるのに お金がかかるから
全体		2,485	30.6	19.3	9.9	32.1	6.4	5.4	9.0	61.4
子どもの 年齢別	0歳	418	29.9	17.5	7.9	26.3	3.8	4.8	11.5	67.9
	1～2歳	833	34.1	21.5	9.1	28.7	4.8	5.4	8.3	63.4
	3～5歳	1,172	28.8	18.6	10.5	36.5	8.3	5.9	8.7	57.8
	無回答	62	22.6	14.5	21.0	32.3	8.1	1.6	8.1	59.7
母親の 就労状況別	フルタイムで就労	941	32.3	17.3	9.7	34.1	4.9	4.8	9.5	59.5
	パート・アルバイト等で就労	697	28.1	18.1	10.9	27.8	7.6	6.7	9.6	63.3
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	719	29.8	22.5	9.7	33.2	6.1	4.6	7.8	62.7
	これまで就労したことがない	77	37.7	24.7	6.5	39.0	13.0	7.8	7.8	59.7
	無回答	49	34.7	14.3	6.1	24.5	10.2	6.1	10.2	53.1
世帯分類別	三世代	102	22.5	7.8	8.8	43.1	7.8	5.9	6.9	55.9
	核家族	2,211	31.8	20.0	9.8	32.2	6.4	5.5	9.3	62.3
	ひとり親	90	15.6	15.6	8.9	21.1	5.6	4.4	5.6	50.0
	ひとり親三世代	16	37.5	12.5	12.5	37.5	-	6.3	6.3	43.8
	その他	22	27.3	31.8	13.6	18.2	9.1	13.6	4.5	50.0
	無回答	44	20.5	13.6	15.9	25.0	4.5	-	9.1	65.9

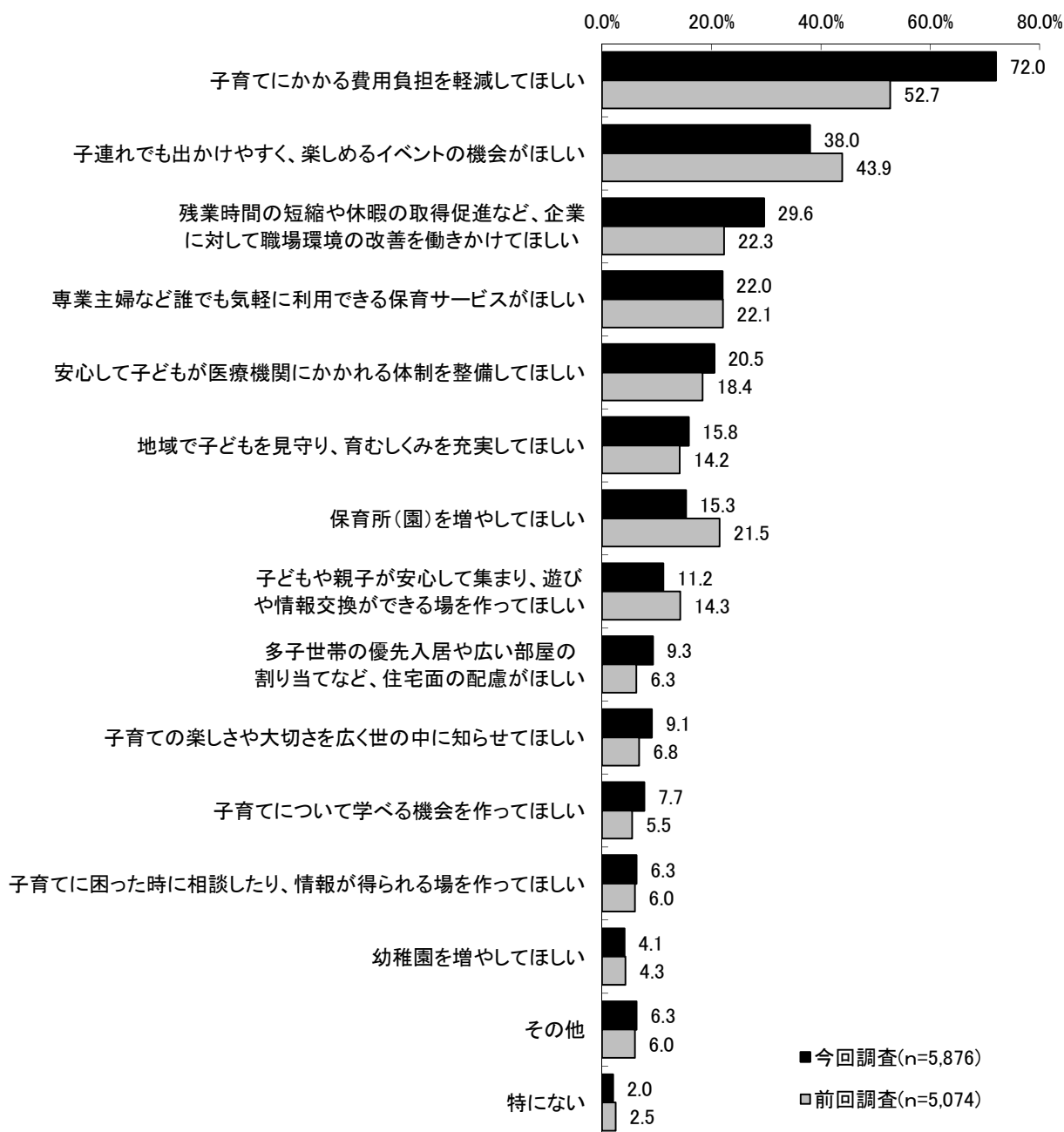
		標本数（人）	く仕事から できない、続けに	教育に不安があるから	だ社 から ず会 が ど う な る か わ か ら な い こ ろ が あ る こ ろ	情今 を か け て あ げ た い 分 な ら 愛	そ 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体		5,876	16.8	3.8	7.8	11.4	8.2	1.5	1.0
子どもの 年齢別	0歳	960	17.7	3.6	8.6	12.7	9.8	2.6	1.4
	1～2歳	1,913	17.0	2.9	7.3	11.8	6.5	1.4	0.5
	3～5歳	2,853	16.2	4.4	7.8	10.8	8.9	1.3	1.3
	無回答	150	19.4	4.8	11.3	9.7	6.5	-	-
母親の 就労状況別	フルタイムで就労	941	21.3	4.8	7.8	11.4	8.1	1.7	1.1
	パート・アルバイト等で就労	697	19.5	3.9	8.5	12.1	8.3	1.7	1.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	719	9.5	2.4	7.4	10.4	8.5	1.0	0.8
	これまで就労したことがない	77	13.0	5.2	9.1	18.2	6.5	1.3	1.3
	無回答	49	8.2	2.0	4.1	8.2	6.1	4.1	2.0
世帯分類別	三世代	102	19.6	2.9	6.9	5.9	3.9	2.0	1.0
	核家族	2,211	16.4	3.8	7.9	11.5	7.2	1.5	0.9
	ひとり親	90	21.1	4.4	5.6	16.7	30.0	1.1	3.3
	ひとり親三世代	16	6.3	-	12.5	6.3	31.3	6.3	-
	その他	22	22.7	4.5	18.2	13.6	13.6	-	-
	無回答	44	22.7	2.3	6.8	11.4	9.1	-	2.3

第9章 行政への要望

1. 充実してほしい子育て支援

問45 あなたは、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(〇は3つまで)

図表-190 充実してほしい子育て支援



充実してほしい子育て支援は、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」(72.0%)の割合が最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(38.0%)、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(29.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」の割合は約19ポイント、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」の割合は約7ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、0歳では他の年齢より「保育所（園）を増やしてほしい」（26.3%）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、就労していない場合は「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」（約4割）、フルタイムで就労している場合は「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」（42.4%）の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親は他の世帯に比べて「多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい」（18.3%）、「子育ての楽しさや大切さを広く世の中に知らせてほしい」（13.1%）がやや高くなっている。ひとり親三世帯では他の世帯に比べて「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」（30.8%）の割合が高くなっている。

図表－191 子どもの年齢別・母親の就労状況別・世帯分類別
充実してほしい子育て支援（単位：%）

	標本数（人）	担子育	て交て子	のく子	しり地	れ談子	て保育	い幼	サ軽専
		育を軽減にかかるとる費用負担	て交て子ほほ集まがまりやいでき遊ばや情作っ	のく子機、連れがほめる出かイベント	しり地域で子どもを見守りほむしいくみ充実	れ談子育るたりに困った時相	て保育所（園）を増やし	い幼稚園を増やしてほし	サ軽専サービスがほしい
全体	5,876	72.0	11.2	38.0	15.8	6.3	15.3	4.1	22.0
子どもの年齢別	0歳	960	73.0	14.4	41.1	12.1	6.0	7.3	24.0
	1～2歳	1,913	70.4	11.9	39.5	16.0	6.0	5.4	24.4
	3～5歳	2,853	72.9	9.7	36.0	17.0	6.7	2.1	19.6
	無回答	150	68.7	9.3	39.3	14.0	5.3	4.7	26.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	69.3	11.2	37.2	17.0	5.9	2.1	6.2
	パート・アルバイト等で就労	1,659	76.9	9.7	36.6	17.1	5.7	3.0	15.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	71.8	12.1	40.2	13.4	6.9	7.3	42.4
	これまで就労したことがない	231	62.3	12.6	37.7	14.7	5.6	4.8	45.0
	無回答	150	71.3	13.3	38.7	16.0	13.3	7.3	31.3
世帯分類別	三世帯	272	72.1	8.8	42.3	13.2	3.3	2.9	21.7
	核家族	5,176	72.0	11.4	38.1	16.2	6.4	4.1	22.7
	ひとり親	213	74.6	8.0	33.3	12.7	8.9	3.3	8.0
	ひとり親三世帯	52	78.8	13.5	36.5	13.5	5.8	9.6	5.8
	その他	61	67.2	13.1	34.4	11.5	8.2	4.9	26.2
無回答	102	65.7	8.8	37.3	12.7	6.9	3.9	26.5	
	標本数（人）	し関安	住い多	きし取	ほを子	会子	そ	特	無
		てに心	宅部子	かて得	し広育	を育	他	に	回
		ほかして	面屋世	かて得	し広育	を育		な	答
		いれる子	の割の優	かて得	し広育	を育			
		る子ども	慮が当先	かて得	し広育	を育			
		が体制を	入居や	かて得	し広育	を育			
		医療機	、広	かて得	し広育	を育			
		備		かて得	し広育	を育			
全体	5,876	20.5	9.3	29.6	9.1	7.7	6.3	2.0	1.7
子どもの年齢別	0歳	960	15.0	9.1	32.4	8.3	8.4	0.9	1.4
	1～2歳	1,913	19.8	9.1	30.1	8.3	7.6	1.9	1.7
	3～5歳	2,853	22.7	9.6	28.8	9.8	7.5	2.3	1.7
	無回答	150	22.7	6.7	21.3	11.3	8.7	2.0	2.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	2,013	20.9	8.6	42.4	8.7	6.8	1.8	1.7
	パート・アルバイト等で就労	1,659	22.9	12.8	25.4	10.4	8.4	2.1	1.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,817	18.3	7.3	22.0	8.1	8.1	1.8	1.3
	これまで就労したことがない	231	19.9	7.4	17.7	8.7	6.5	3.5	3.0
	無回答	150	15.3	4.0	14.7	11.3	9.3	2.7	5.3
世帯分類別	三世帯	272	25.7	9.6	30.5	8.1	7.7	1.8	0.7
	核家族	5,176	20.4	8.8	29.9	9.1	7.7	1.9	1.5
	ひとり親	213	18.8	18.3	26.8	13.1	7.0	4.2	2.3
	ひとり親三世帯	52	30.8	13.5	36.5	7.7	7.7	3.8	-
	その他	61	14.8	11.5	23.0	4.9	9.8	1.6	8.2
無回答	102	13.7	7.8	19.6	6.9	6.9	7.8	1.0	5.9

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

2. 自由意見

教育・保育環境の充実や子育て支援など、福岡市の子ども施策に関する取り組みに関して福岡市へのご意見がございましたら、自由にご記入ください。

回答者1,991人から、3,432件の意見が挙げられている。主な項目を整理すると、以下のとおりである。

図表－192 自由意見

分類	件数
◆保育園について	589
保育士の増員、待遇の充実	114
保育園の増設・待機児童の解消	96
保育園入園・継続条件の緩和	78
保育料の軽減・補助	36
保育内容の充実	29
保育園の施設の整備、環境の充実	28
保育園の定員を増やしてほしい	24
土曜・日曜、長期休暇に預かってほしい	23
受け入れ時間の延長	16
一時預かりを充実させてほしい	16
保育士について（資質、教育など）	14
入所の決定が遅い、手続きをもっと簡単に	12
年度途中に入園できるようにしてほしい	10
相談窓口の充実	3
その他	90
◆幼稚園について	116
受け入れ時間の延長、土曜・日曜・長期休暇に預かってほしい	20
教員について（人数と待遇の充実、教員の教育など）	14
保育料の軽減・補助	12
認定こども園について（幼稚園と保育園を一体化した施設がほしい）	10
幼稚園の増設	9
入園の困難さ、入園枠の拡張	8
1・2歳児の受け入れ制度について	6
保育内容の充実（英語教育に力をいれる、保育レベルの統一など）	4
市立幼稚園の存続	3
施設の整備（駐車場など）	2
保育期間の拡充	1
その他	27
◆幼児教育・保育の無償化などについて	155
幼児教育・保育の無償化について	114
幼児教育以外の教育無償化について	27
その他	14

分類	件数
◆学校・教育・放課後等について	194
学童保育について（利用時間の延長、利用条件の緩和など）	63
保護者の負担解消（PTA、育成会など）	23
教育内容の充実	10
校区割の見直し	9
放課後等の遊び場づくり事業の充実（教室・校庭の利用など）	5
環境の整備	5
施設の整備（校舎、エアコン、トイレなど）	4
学校側の対応について	4
低料金で利用できる習い事教室がほしい	3
給食の充実	3
土曜日授業を開始してほしい	2
その他	63
◆病児保育、一時預かりについて	198
病児・病後児保育の充実、受け入れ体制の充実	71
気軽に預けられる場所の設置（親のリフレッシュなど）	56
利用しやすい料金設定	24
緊急時の預かり場所の設置	14
土曜日・日曜日の預かり場所の設置	11
ベビーシッターの充実（時間など）	6
その他	16
◆児童会館、子どもプラザについて	258
雨天時にも遊べる屋内の施設がほしい	69
児童会館や子どもプラザの増設	52
利用者の声、子どもプラザへの意見	45
施設の充実（遊具や広さ、対象年齢が低すぎるなど）	38
駐車場の整備	23
利用日や時間の拡張	10
子ども向けの体験学習や講座を開いてほしい	3
その他	18
◆公園、公的施設について	253
公園の管理・整備（トイレや遊具の充実、清掃、安全など）	121
公園の増設	53
公民館（子育てサロン、サークルなど）	26
公的施設について	24
図書館の充実	13
その他	16
◆住環境・安全面について	183
道路・歩道の整備	49
公共交通機関でのベビーカーや子ども連れへの配慮	36
エレベーターがないなどベビーカーでの移動に不便	24
自動車・自転車のマナーが悪い	9
その他	65

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

分類	件数
◆医療費助成など経済的支援について	402
子どもの医療費助成制度の拡充	140
子育て世帯・ひとり親・多児家庭への助成	108
予防接種費用の助成・無料化	32
教育費負担の軽減・無料化	32
第3子優遇制度について（拡充を希望）	18
不妊治療への助成	4
第3子優遇制度について（助かっている）	3
申請・給付手続きの簡素化	2
その他	63
◆保健・医療について	143
夜間・休日・緊急対応	34
療育の充実	27
健診について	24
小児科等の増設	12
市立こども病院について	2
病院・医院の時間延長	2
その他	42
◆仕事と子育ての両立支援について	242
仕事と子育ての両立ができる職場の環境整備、企業への働きかけ	127
雇用、働き方について	51
育児休業制度・時間短縮制度をとりやすくする	30
緊急時に有給休暇をとりやすい環境に	5
その他	29
◆情報・交流・相談について	188
子育てに関する情報の提供	67
イベントの充実、交流	62
育児相談窓口の充実・母子巡回	35
その他	24
◆ファミリー・サポート・センター事業について	35
もっと利用しやすくしてほしい	12
料金が高い	6
緊急時に利用できない	2
サポート会員（提供会員）が少ない	2
土日でも登録できるようにしてほしい	1
その他（情報を提供してほしい等）	12
◆その他	476
市の施策・事業に対する意見	122
アンケートについて	104
社会環境・地域	57
市の職員の対応	39
民間施設・店舗などについて	37
親に対して	20
住宅について	16
自然環境について	3
その他	78

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

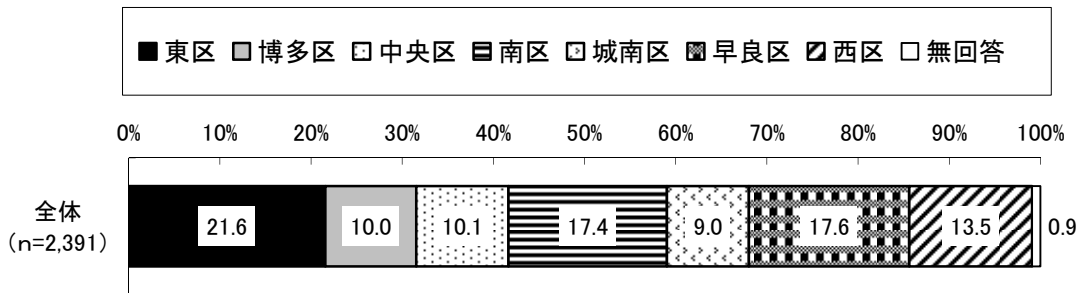
第1章 対象児童及び家庭の概況

1. 回答者の基本属性

(1) 居住区

問1 お住まいの区はどこですか。(〇は1つ)

図表-193 居住区

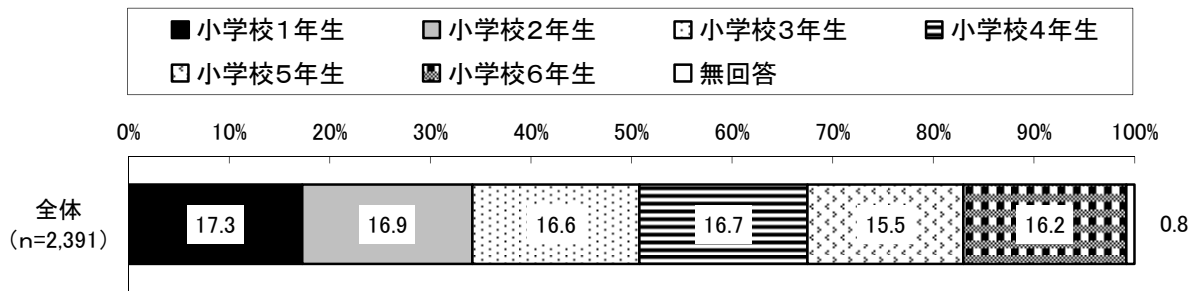


回答者の居住区は、最も多いのは「東区」(21.6%)、次いで多いのは「早良区」(17.6%)で、以下「南区」(17.4%)、「西区」(13.5%)、「中央区」(10.1%)、「博多区」(10.0%)、「城南区」(9.0%)の順となっている。

(2) 子どもの学年

問2 あて名のお子さんは何年生ですか。(〇は1つ)

図表-194 子どもの学年



子どもの学年の内訳は、1年生413名(17.3%)、2年生404名(16.9%)、3年生397名(16.6%)、4年生399名(16.7%)、5年生371名(15.5%)、6年生387名(16.2%)となっている。

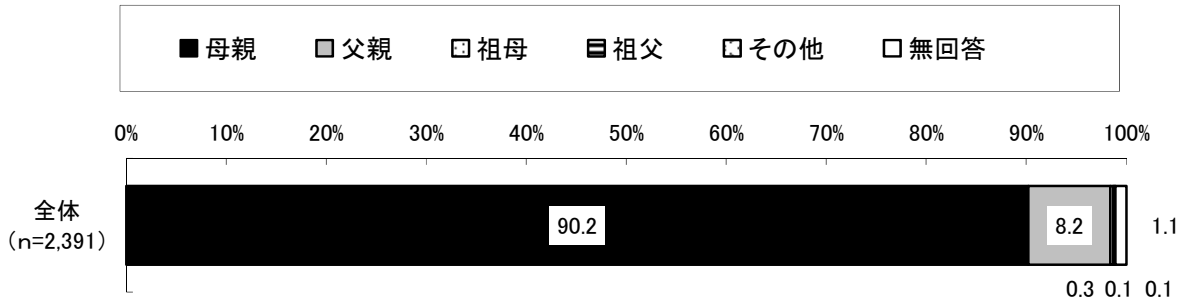
本報告書では、「子どもの学年別」として分析する際には、『1～3年生』1,214名(50.8%)、『4～6年生』1,157名(48.4%)の2群に分けて集計したものを用いる。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(3) 調査の回答者

問5 このアンケート調査の記入者はどなたですか。(○は1つ)

図表－195 調査の回答者



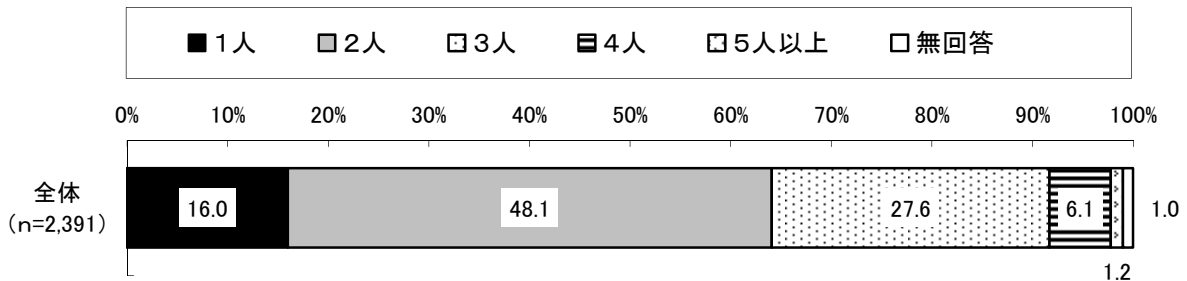
アンケート調査の回答者は、「母親」が90.2%とほとんどを占めており、「父親」はわずか8.2%である。よって、本調査の結果は、「母親」の立場から見た子どもの生活状況や子育てに関する意識としてとらえられる。

2. 家庭の概況

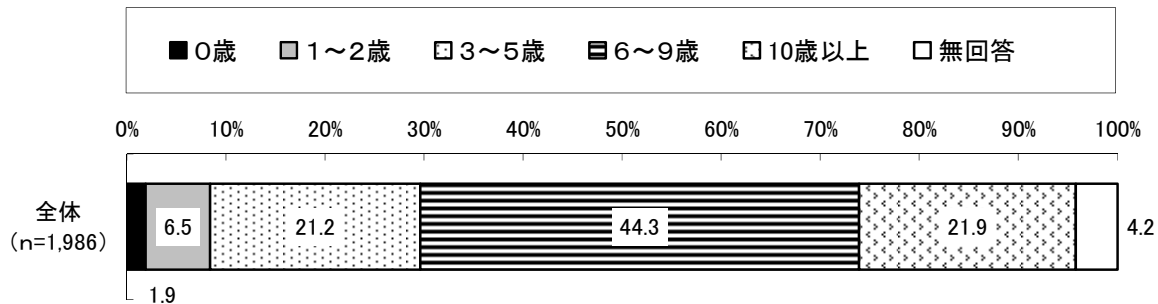
(1) 子どもの人数・末子の年齢

問3 あて名のお子さんを含め、お子さん（年齢は問いません）は何人いらっしゃいますか。また、お子さんが2人以上いる場合には、末子の生年月月をご記入ください。

図表－196 子どもの人数



図表－197 末子の年齢



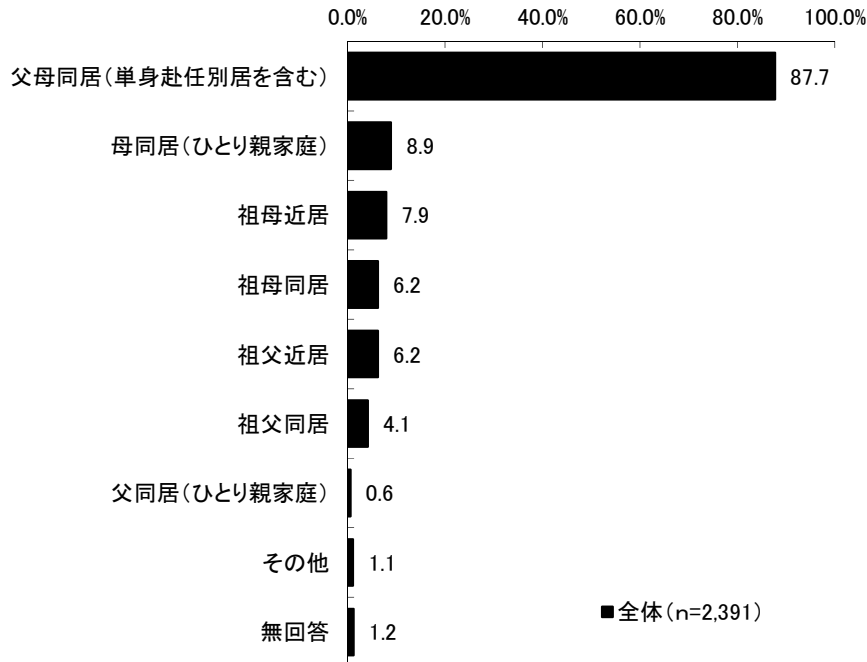
世帯の子どもの人数は、「2人」(48.1%)の割合が最も高く、次いで「3人」(27.6%)、「1人」(16.0%)、「4人」(6.1%)、「5人」(1.2%)となっており、8割程度がきょうだいのいる家庭となっている。

子どもが2人以上いる世帯の末子の年齢は、「6～9歳」(44.3%)の割合が最も高い。

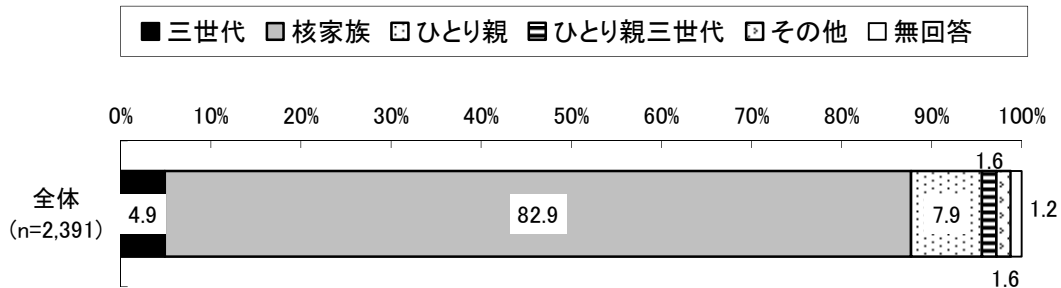
(2) 同居・近居状況

問7 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について、選んでください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。(あてはまるものすべてに○)

図表-198 同居・近居状況



図表-199 世帯分類



子どもとの同居・近居状況は、「父母同居（単身赴任別居等を含む）」が87.7%と大部分を占めている。『ひとり親家庭』は「母同居（ひとり親家庭）」が8.9%、「父同居（ひとり親家庭）」が0.6%で、合わせて9.5%となっている。

祖父母等の同居・近居の状況は、「祖母近居」（7.9%）の割合が最も高く、次いで「祖母同居」「祖父近居」（ともに6.2%）となっている。

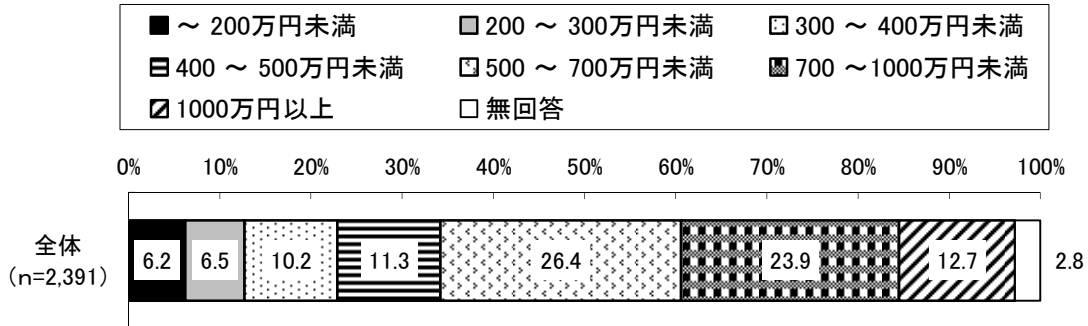
世帯分類は、「核家族」（82.9%）が全体の約8割を占めており、次いで「ひとり親」（7.9%）、「三世帯」（4.9%）、「ひとり親三世帯」（1.6%）となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(3) 世帯年収

問6 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

図表-200 世帯年収

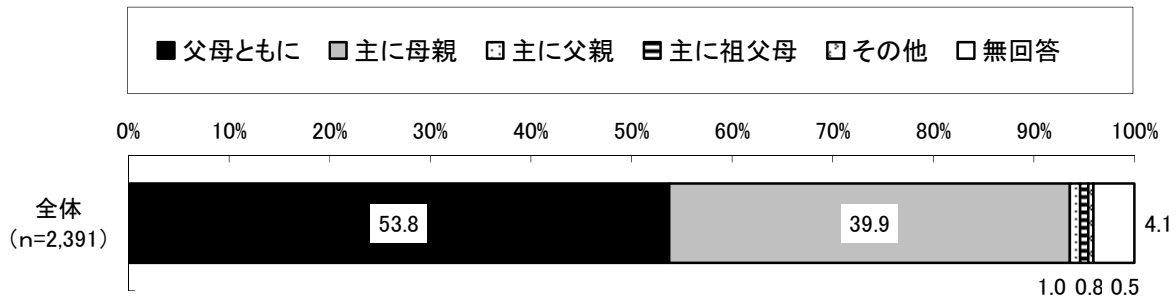


世帯の年収は、「500～700万円未満」(26.4%)の割合が最も高く、次いで「700～1000万円未満」(23.9%)、「1000万円以上」(12.7%)、「400～500万円未満」(11.3%)、「300～400万円未満」(10.2%)となっている。

(4) 子育てを主に行っている人

問4 あて名のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。(○は1つ)

図表-201 子育てを主に行っている人



子育てを主に行っている人は、「父母ともに」(53.8%)の割合が最も高く、次いで「主に母親」(39.9%)となっている。

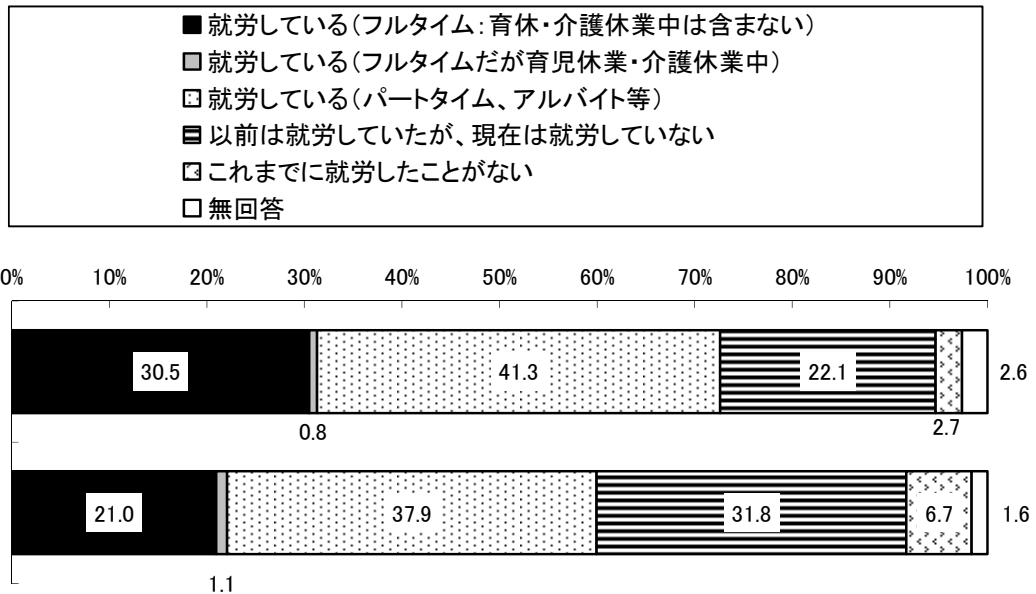
第2章 保護者の就労状況

1. 母親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表-202 母親の就労状況



母親の就労状況は、「就労している（パート・アルバイト等）」（41.3%）の割合が最も高く、次いで「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」（30.5%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（22.1%）となっている。

育休中等も含めフルタイム及びパート・アルバイト等で就労している母親の割合は7割超となっており、前回調査と比較すると就労している母親の割合が約13ポイント増加している。

子どもの学年別に母親の就労状況をみると、4～6年生では1～3年生に比べて、「就労している（パート・アルバイト等）」（43.5%）の割合が高くなっている。

図表-203 子どもの学年別 母親の就労状況 （単位：%）

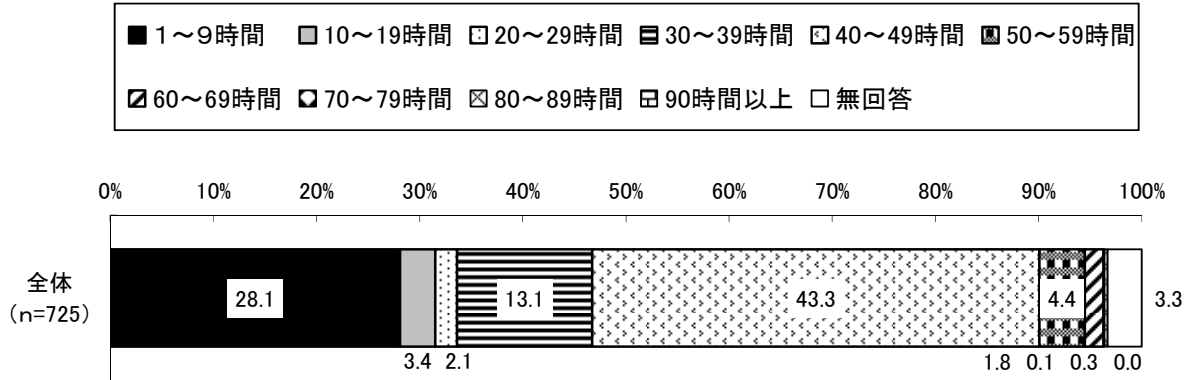
	標本数（人）	就労している(フルタイム:育休・介護休業中は含まない)	就労している(フルタイムだが育児休業・介護休業中)	就労している(パートタイム、アルバイト等)	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	無回答	
全体	2,377	30.5	0.8	41.3	22.1	2.7	2.6	
子どもの学年別	1～3年生	1,208	30.1	1.4	39.3	24.0	2.5	2.6
	4～6年生	1,149	30.5	0.3	43.5	20.5	2.9	2.3
	無回答	20	50.0	-	30.0	5.0	-	15.0

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

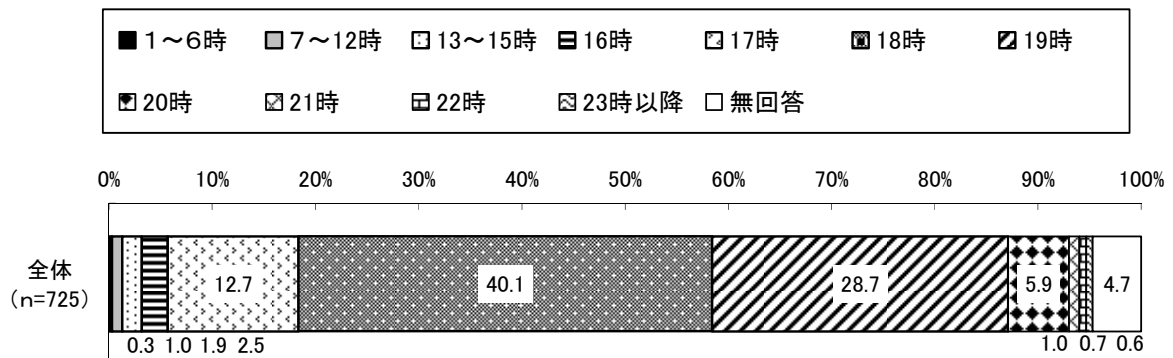
(2) フルタイムの母親の就労時間と帰宅時間

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表－204 週あたり就労時間（フルタイムの母親）



図表－205 帰宅時刻（フルタイムの母親）

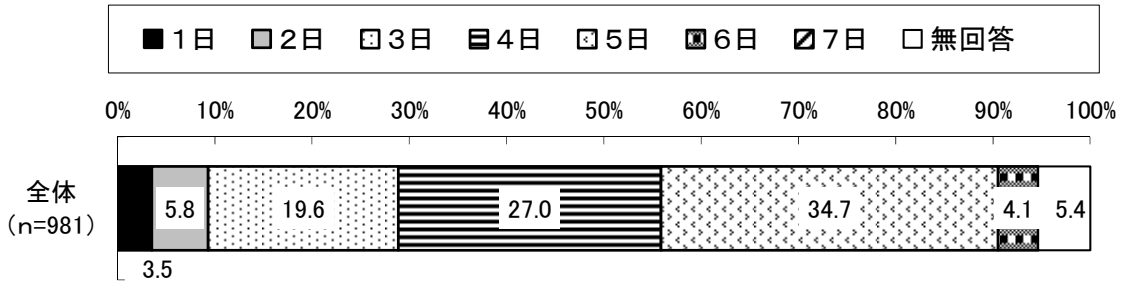


フルタイムで就労している母親に、週あたりの就労時間と帰宅時間をたずねた。週あたりの就労時間は、「40～49時間」（43.3%）の割合が最も高く、次いで「1～9時間」（28.1%）、「30～39時間」（13.1%）となっている。帰宅時間は、「18時」（40.1%）の割合が最も高く、次いで「19時」（28.7%）、「17時」（12.7%）となっている。

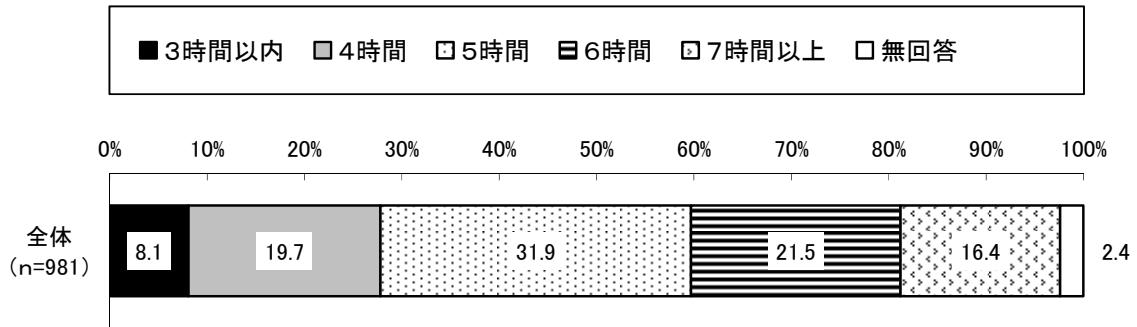
(3) パート・アルバイト等の母親の就労日数と就労時間

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表-206 週あたり就労日数（パート・アルバイト等の母親）



図表-207 一日あたり就労時間（パート・アルバイト等の母親）



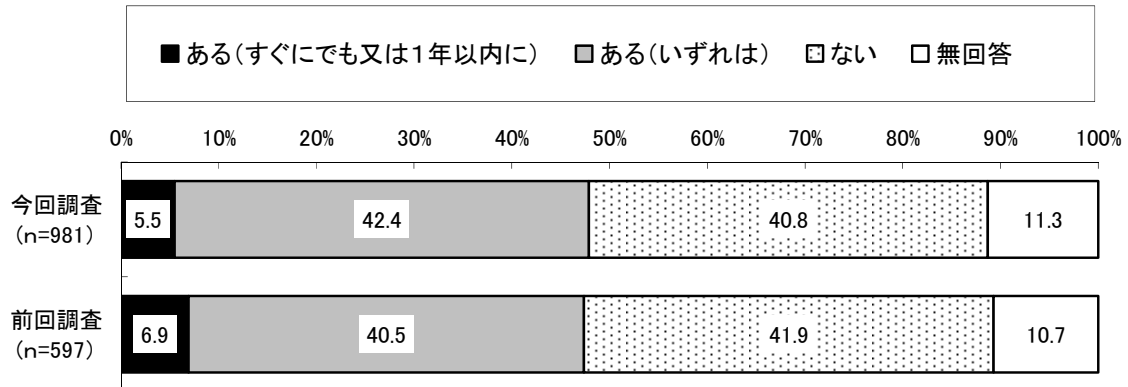
パート・アルバイト等で就労している母親に、週あたりの就労日数と就労時間をたずねた。週あたりの就労日数は、「5日」（34.7%）の割合が最も高く、次いで「4日」（27.0%）、「3日」（19.6%）となっている。一日あたりの就労時間は、「5時間」（31.9%）の割合が最も高く、次いで「6時間」（21.5%）、「4時間」（19.7%）となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(4) フルタイムへの転換希望（母親）

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表－208 フルタイムへの転換希望（母親）



パート・アルバイト等で就労している母親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、「ある（いずれは）」（42.4％）と「ない」（40.8％）の割合が4割で同程度となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では他の世帯に比べて「ある（いずれは）」（61.7％）の割合が高くなっている。

子どもの学年別にみると、1～3年生は4～6年生に比べて「ある（いずれは）」（48.2％）の割合が高くなっている。

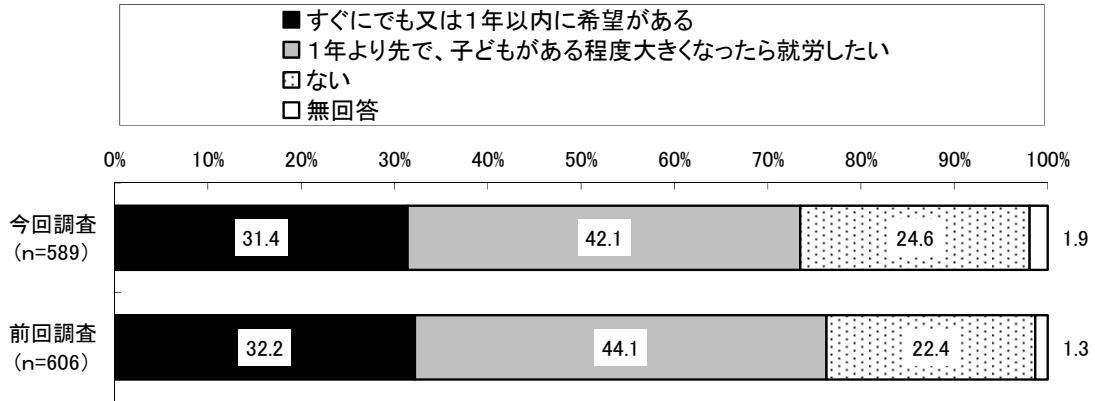
図表－209 世帯分類別・子どもの学年別 フルタイムへの転換希望（母親）（単位：％）

		標本数（人）	は ある 1 年 以 内 に に も 又	ある （ い ず れ は ）	ない	無 回 答
全 体		981	5.5	42.4	40.8	11.3
世帯 分 類 別	三世代	40	5.0	40.0	45.0	10.0
	核家族	865	5.3	41.8	42.0	10.9
	ひとり親	47	8.5	61.7	12.8	17.0
	ひとり親三世代	7	28.6	57.1	14.3	-
	その他	12	-	33.3	41.7	25.0
	無回答	10	-	10.0	70.0	20.0
子 ど も の 学 年 別	1～3年生	475	3.6	48.2	36.4	11.8
	4～6年生	500	7.4	37.0	44.8	10.8
	無回答	6	-	33.3	50.0	16.7

(5) 現在就労していない母親の就労希望

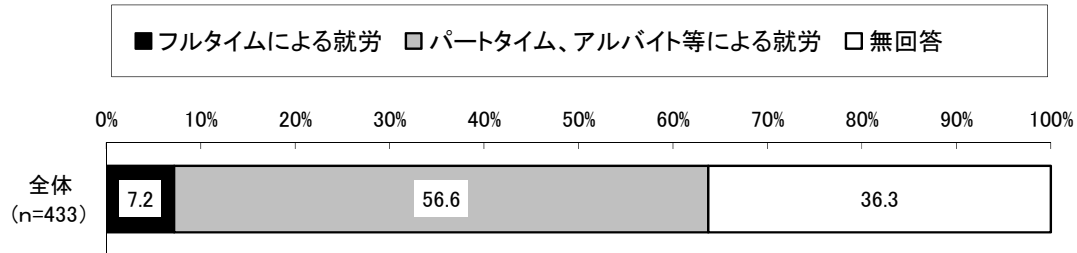
問9-1 【問9で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。】母親の就労希望はありますか。(〇は1つ)

図表-210 現在就労していない母親の就労希望

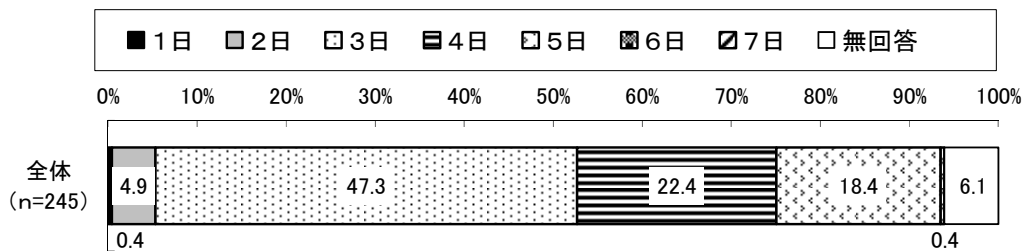


問9-2 【問9-1で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】就労希望の形態はどのようなものですか。(〇は1つ。枠内に数字を記入)

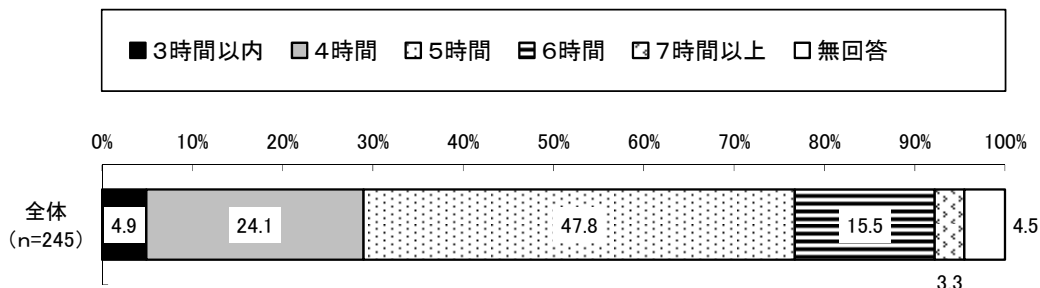
図表-211 現在就労していない母親が希望する就労形態



図表-212 パート・アルバイト等を希望する母親の週あたり就労希望日数



図表-213 パート・アルバイト等を希望する母親の一日あたり就労希望時間



Ⅲ 小学生の保護者調査結果

現在就労していない母親の今後の就労希望は、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」(42.1%)の割合が最も高く、次いで「すぐにでも又は1年以内に希望がある」(31.4%)、「ない」(24.6%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

就労希望のある母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」(56.6%)が過半数を占めている。

パート・アルバイト等での就労を希望している母親が希望する就労日数・就労時間は、週あたり「3日」(47.3%)、1日あたり「5時間」(47.8%)の割合が最も高くなっている。

今後の就労希望を子どもの学年別にみると、1～3年生が4～6年生に比べて「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」(47.2%)の割合が高い。

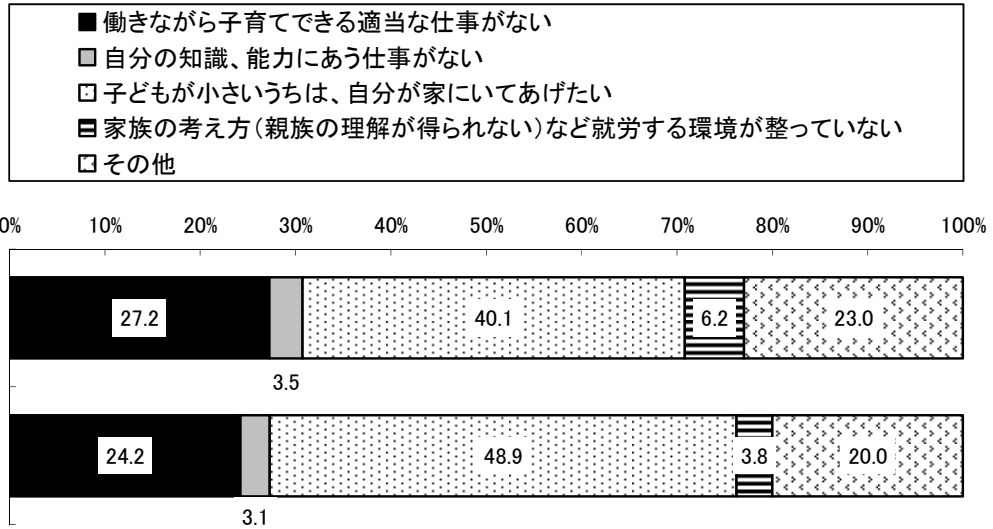
図表－214 子どもの学年別 現在就労していない母親の就労希望 (単位：%)

	標本数 (人)	以内に 希望も 又は 1年	なも1 つが年 たあ より 就程 度で し大 き子 いく ど	ない	無 回 答	
全体	589	31.4	42.1	24.6	1.9	
子 学 年 別 の	1～3年生	320	30.9	47.2	20.3	1.6
	4～6年生	268	32.1	35.8	29.9	2.2
	無回答	1	-	100.0	-	-

(6) 就労希望がありながら働いていない理由（母親）

問9-3 【問9-1で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表-215 就労希望がありながら働いていない理由（母親）



※「無回答」を除いて集計している。

就労希望がある母親に、現在働いていない理由をたずねたところ、「子どもが小さいうちは、自分が家にいてあげたい」（40.1％）の割合が最も高く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がない」（27.2％）となっている。

前回調査と比較すると、「子どもが小さいうちは、自分が家にいてあげたい」の割合は約9ポイント減少、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」の割合は3ポイント増加している。

子どもの学年別にみると、1～3年生は4～6年生に比べて「子どもが小さいうちは、自分が家にいてあげたい」（43.0％）の割合が高くなっている。

図表-216 子どもの学年別 就労希望がありながらは足りていない理由（母親）（単位：％）

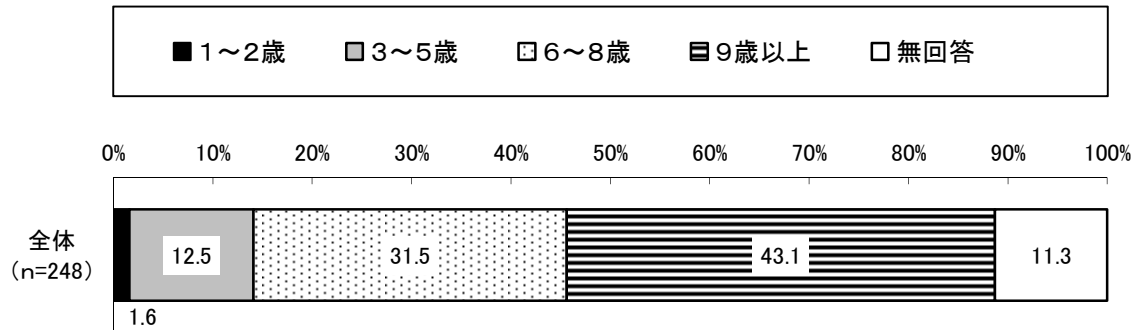
	標本数（人）	働きながら子育てできる適当な仕事がない	自分の知識、能力にあう仕事がない	子どもが小さいうちは、自分が家にいてあげたい	家族の考え方(親族の理解が得られない)など就労する環境が整っていない	その他	
全体	257	27.2	3.5	40.1	6.2	23.0	
子どもの学年別	1～3年生	151	26.5	4.6	43.0	6.6	19.2
	4～6年生	105	27.6	1.9	36.2	5.7	28.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(7) 下の子どもが何歳の時に就労を希望するか（母親）

問9-4 【問9-1で「2」を選んだ方にうかがいます。】あて名のお子さんも含めて一番年齢の低い子が何歳になったときに就労を希望されますか。（枠内に数字を記入）

図表-217 下の子どもが何歳の時に就労を希望するか（母親）



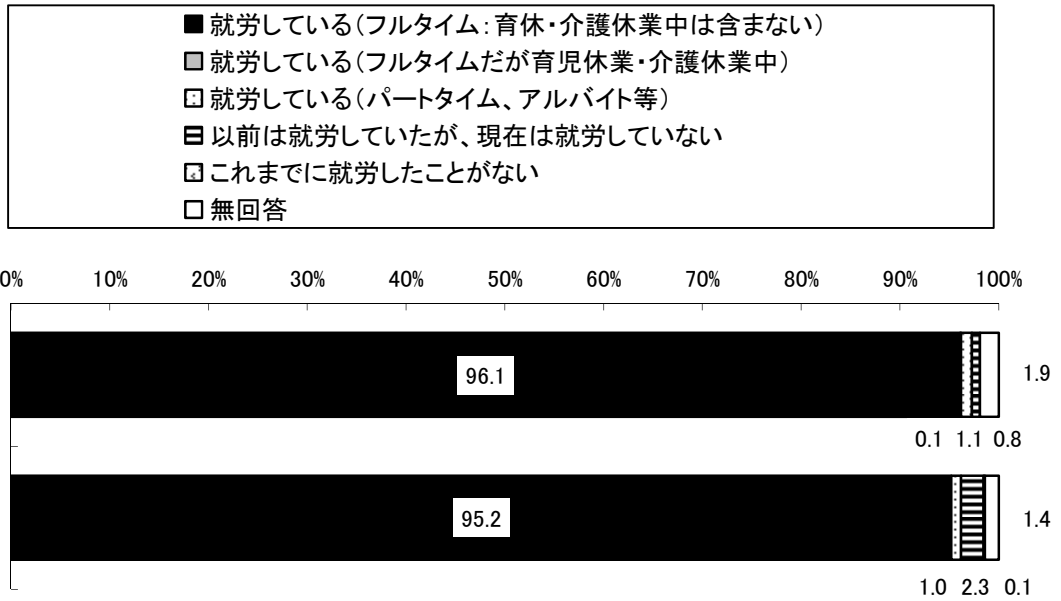
就労希望がある母親のうち、「1年より先で子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した母親に、下の子どもが何歳の時に就労を希望するかたずねたところ、「9歳以上」（43.1％）の割合が最も高く、次いで「6～8歳」（31.5％）、「3～5歳」（12.5％）となっている。

2. 父親の就労状況

(1) 父親の就労状況

問8 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表－218 父親の就労状況



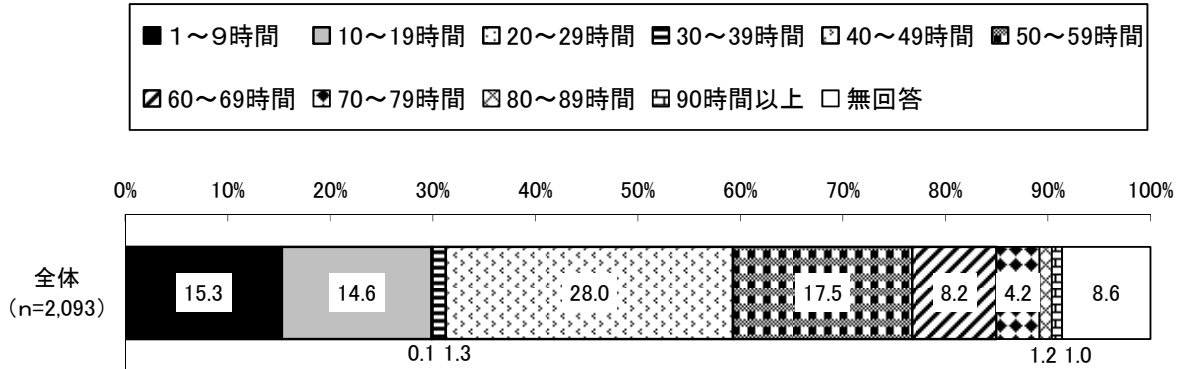
父親の就労状況は、前回調査と同様、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」の割合が9割を超えている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

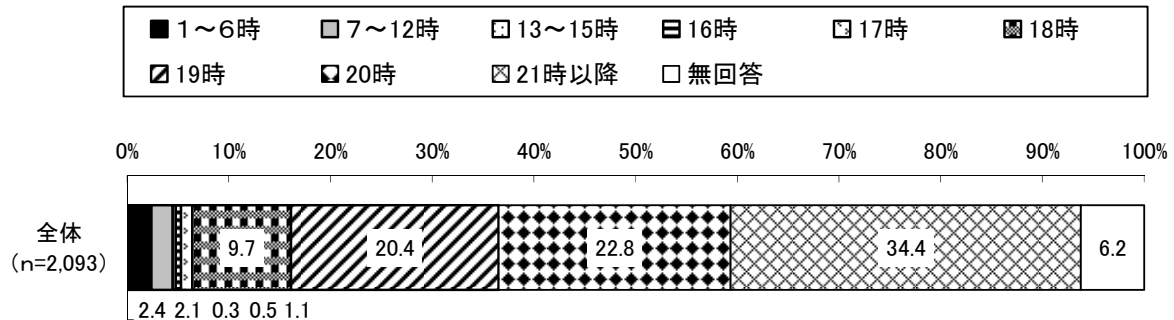
(2) フルタイムの父親の就労時間と帰宅時間

問8 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表－219 週あたり就労時間



図表－220 帰宅時刻

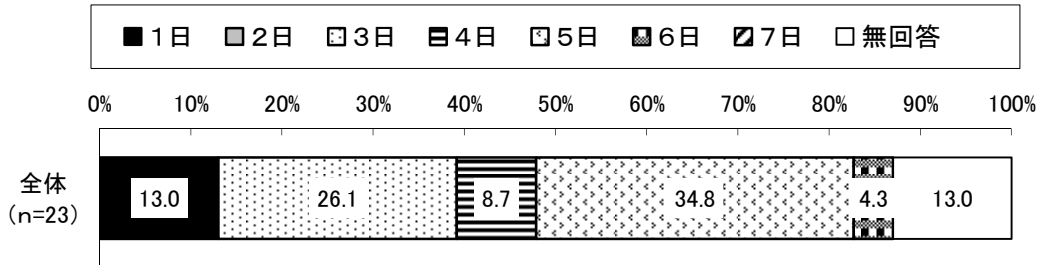


フルタイムで就労している父親に、就労時間と帰宅時間をたずねた。
 週あたりの就労時間は、「40～49時間」（28.0％）の割合が最も高く、次いで「50～59時間」（17.5％）となっている。
 帰宅時間は、「21時以降」（34.4％）の割合が最も高く、次いで「20時」（22.8％）、「19時」（20.4％）となっている。

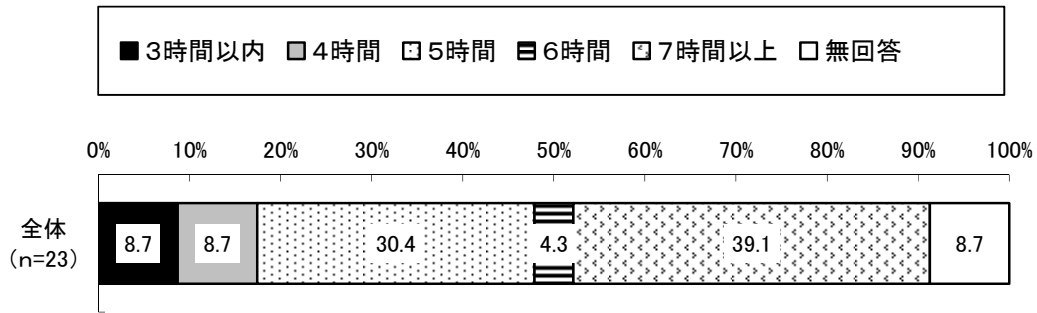
(3) パート・アルバイト等の父親の就労日数と就労時間

問8 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表－221 週あたり就労日数



図表－222 1日あたり就労時間



パート・アルバイト等で就労している父親に、就労日数と就労時間をたずねた。

週あたりの就労日数は、「5日」（34.8％）の割合が最も高く、次いで「3日」（26.1％）、「1日」（13.0％）となっている。

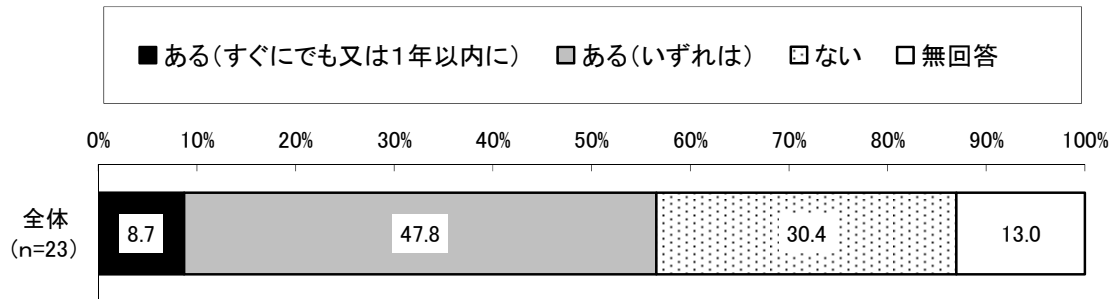
1日あたりの就労時間は、「7時間以上」（39.1％）の割合が最も高く、次いで「5時間」（30.4％）となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(4) フルタイムへの転換希望（父親）

問8 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表－223 フルタイムへの転換希望（父親）

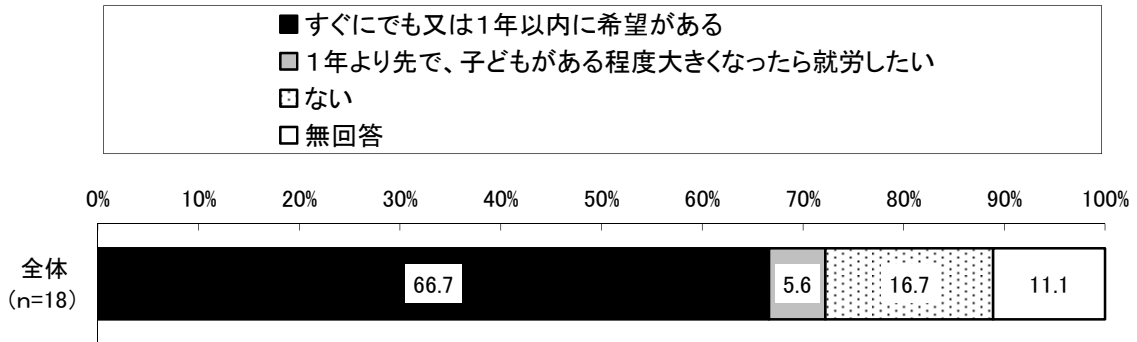


パート・アルバイト等で就労している父親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、「ある(いずれは)」(47.8%)の割合が最も高く、次いで「ない」(30.4%)となっている。

(5) 現在就労していない父親の就労希望

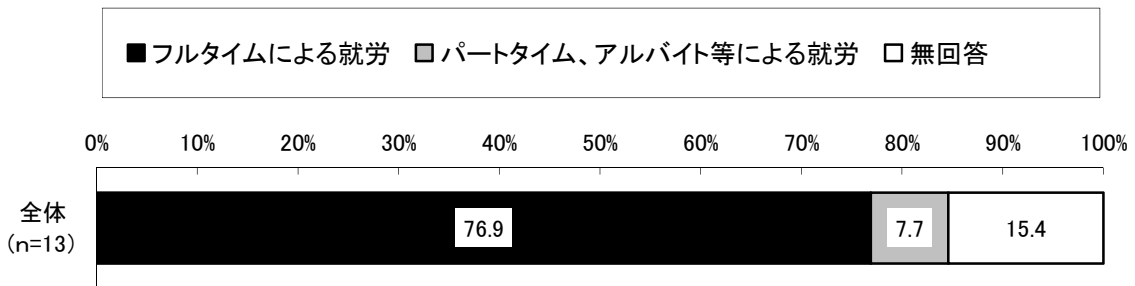
問8-1 【問8で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。】父親の就労希望はありますか。
(○は1つ)

図表-224 現在就労していない父親の就労希望



問8-2 【問8-1で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】就労希望の形態はどのようなものですか。(○は1つ。枠内に数字を記入)

図表-225 現在就労していない父親の就労形態



現在就労していない父親の今後の就労希望は、「すぐにでも又は1年以内に希望がある」(66.7%)の割合が最も高く、次いで「ない」(16.7%)、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」(5.6%)となっている。

就労希望のある父親に、希望する就労形態などについてたずねたところ、「フルタイムによる就労」(76.9%)が大半を占めている。

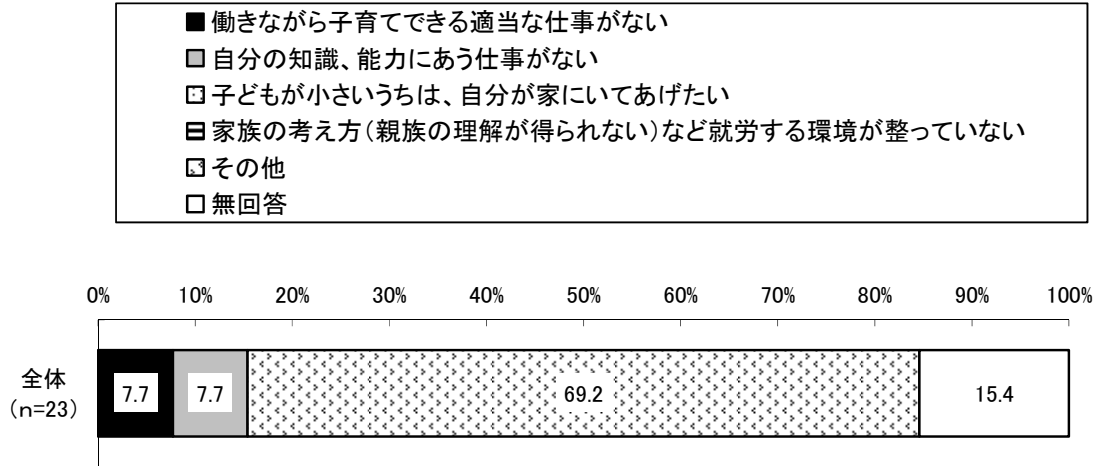
パート・アルバイト等での就労を希望している父親は1人であり、希望する1週あたりの就労日数は3日、1日あたりの就労時間は3時間であった。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(6) 就労希望がありながら働いていない理由（父親）

問8-3 【問8-1で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（○は1つ。枠内に数字を記入）

図表-226 就労希望がありながら働いていない理由（父親）



就労希望がある父親に、現在働いていない理由をたずねたところ、「働しながら子育てできる適当な仕事がない」と「自分の知識、能力にあう仕事がない」がそれぞれ7.7%であった。

(7) 下の子どもが何歳で就労を希望するか（父親）

問8-4 【問8-1で「2」を選んだ方にうかがいます。】あて名のお子さんも含めて一番年齢の低い子が何歳になったときに就労を希望されますか。（枠内に数字を記入）

就労希望がある父親のうち、「1年より先で子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した父親（1人）に、下の子どもが何歳で就労を希望するかたずねたところ、「9歳以上」という回答であった。

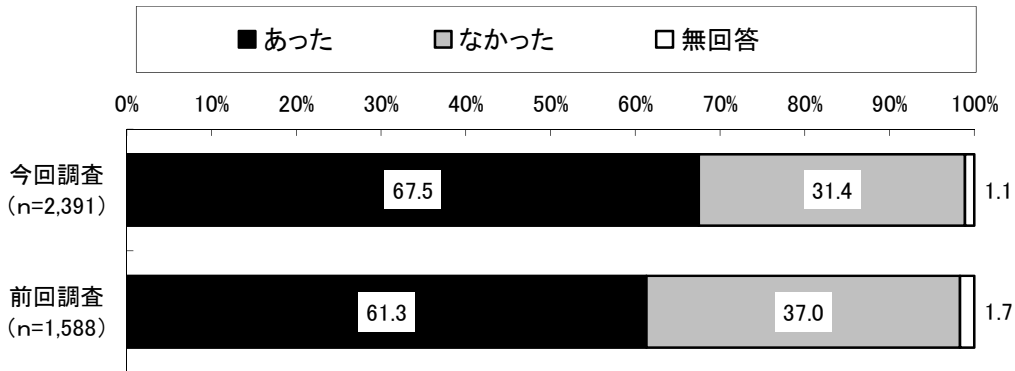
第3章 子育て支援サービスの利用状況とニーズ

1. 病気の際の対応について

(1) 病気で休んだことの有無

問12 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければなかったことはありますか。
(○は1つ)

図表-227 病気で休んだことの有無



この1年間に子どもが病気で学校を休んだことの有無についてたずねたところ、「あった」の割合が67.5%となっている。前回調査と比較すると、「あった」の割合は6ポイント増加している。子どもの学年別にみると、年齢が低いほど「あった」の割合が高くなっている。母親の就労状況別では、大きな違いはみられなかった。

図表-228 子どもの学年別 病気で休んだことの有無 (単位: %)

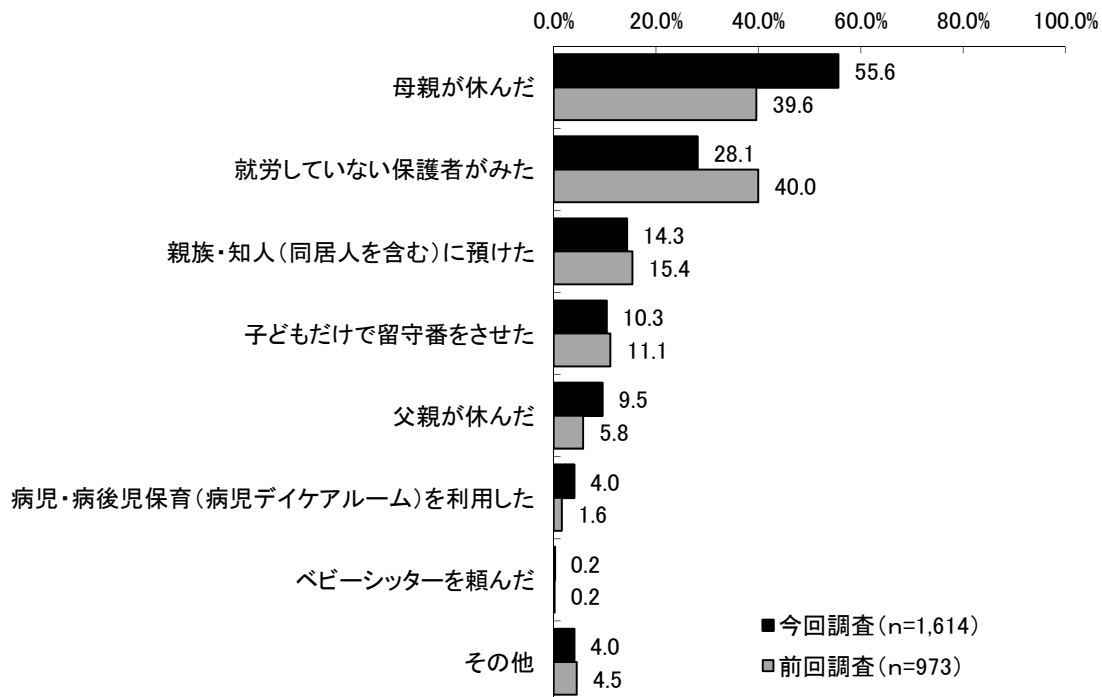
	標本数 (人)	あった (%)	なかった (%)	無回答 (%)	
全体	2,391	67.5	31.4	1.1	
子どもの学年別	1~3年生	1,214	68.5	30.1	1.4
	4~6年生	1,157	66.6	32.8	0.6
	無回答	20	55.0	30.0	15.0

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(2) 病気で休んだ場合の対処

問12-1 【問12で「1」を選んだ方にうかがいます。】この1年間の対処はどのようにされましたか。(あてはまるものすべてに○。枠内に数字を記入。半日程度についても1日としてカウント)

図表-229 病気で休んだ場合の対処



子どもが病気で学校を休んだ際の対処方法は「母親が休んだ」(55.6%)の割合が最も高く、次いで「就労していない保護者がみた」(28.1%)、「親族・知人に預けた」(14.3%)となっている。「病児・病後児保育(病児デイケアルーム)を利用した」の割合は4.0%であった。

前回調査と比較すると、「母親が休んだ」は16ポイント増加し、「就労していない保護者がみた」は約12ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、4～6年生は1～3年生に比べて、「子どもだけで留守番をさせた」(13.9%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合は他に比べて、「母親が休んだ」「親族・知人に預けた」の割合が高くなっている。現在就労していない場合は、「就労していない保護者がみた」の割合が高くなっている。

図表－230 子どもの学年別・母親の就労状況別
病気で休んだ場合の対処(単位：%)

	標本数(人)	父親が休んだ	母親が休んだ	含親族・知人(同居人を預けた)	が就労していない保護者がみた	利用していた児童デイケア(後見人・保護者)を病	だべーシッターを頼んだ	子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答	
全体	1,614	9.5	55.6	14.3	28.1	4.0	0.2	10.3	4.0	1.5	
子どもの学年別	1～3年生	832	10.3	56.9	16.0	29.3	5.8	0.4	6.9	3.2	1.2
	4～6年生	771	8.6	54.1	12.3	27.0	2.2	0.1	13.9	4.8	1.9
	無回答	11	18.2	63.6	27.3	9.1	-	-	27.3	9.1	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	487	18.3	69.4	26.9	5.1	9.0	0.2	13.3	4.7	0.6
	パート・アルバイト等で就労	667	8.1	77.1	12.3	7.6	2.8	0.3	13.5	4.6	1.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	375	1.3	8.8	2.9	86.7	0.3	0.3	1.9	1.9	2.1
	これまで就労したことがない	41	-	-	-	90.2	-	-	-	2.4	7.3
	無回答	34	5.9	32.4	14.7	44.1	-	-	2.9	8.8	2.9

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもが病気で学校を休んだ場合の対処方法別の日数（1年あたり）は、「父親が休んだ」は「1日」（44.8%）、「母親が休んだ」は「1日」（25.0%）、「親族・知人に預けた」は「1日」（29.0%）、「就労していない保護者がみた」は「5日」（15.9%）、「病児・病後児保育（病児デイケアルーム）を利用した」は「1日」（32.3%）、「ベビーシッターを利用した」は「1日」「3日」「6～10日」（ともに25.0%）、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は「1日」（42.5%）が、それぞれ最も多くなっている。

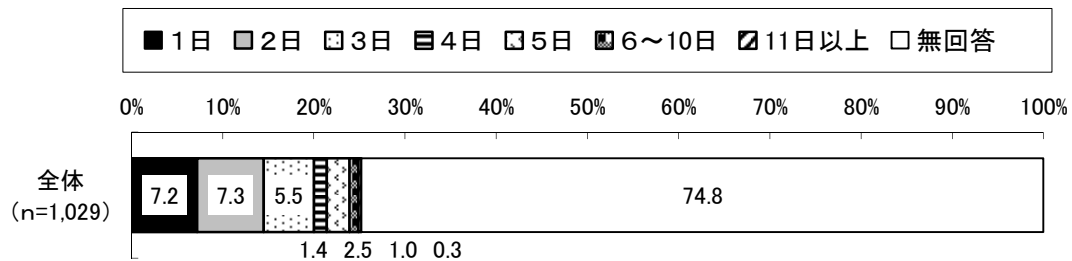
図表－231 病気で休んだ場合の対処方法別日数（1年あたり）（単位：％）

	（人 標 本 数）	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 日 以 上	無 回 答	間 （ 平 均 日 数 （ 年
父親が休んだ	154	44.8	26.0	7.8	1.9	5.8	3.9	2.6	7.1	2.5
母親が休んだ	897	25.0	21.3	15.5	4.9	10.5	7.2	2.1	13.5	3.4
親族・知人（同居人を含む）に預けた	231	29.0	26.8	12.1	4.8	10.4	3.9	0.9	12.1	2.7
就労していない保護者がみた	453	13.9	10.6	11.5	3.8	15.9	13.0	2.9	28.5	4.5
病児・病後児保育（病児デイケアルーム）を利用した	65	32.3	24.6	10.8	7.7	7.7	6.2	－	10.8	2.6
ベビーシッターを頼んだ	4	25.0	－	25.0	－	－	25.0	－	25.0	3.3
子どもだけで留守番をさせた	167	42.5	20.4	7.2	3.6	3.6	5.4	1.2	16.2	2.4
その他	65	29.2	12.3	12.3	3.1	6.2	4.6	－	32.3	2.6

(3) 病児デイケアルーム等の利用日数

問12-2 【問12-1で「1」～「3」を選んだ方にうかがいます。】その際、できれば病児デイケアルーム等に預けたいと思った日数はどれくらいありますか。(枠内に日数を記入)

図表-232 病児デイケアルーム等の利用日数



病児デイケアルームに預けたいと思った日数は、「1日」(7.2%)と「2日」(7.3%)が同程度であり、次いで「3日」(5.5%)となっている。

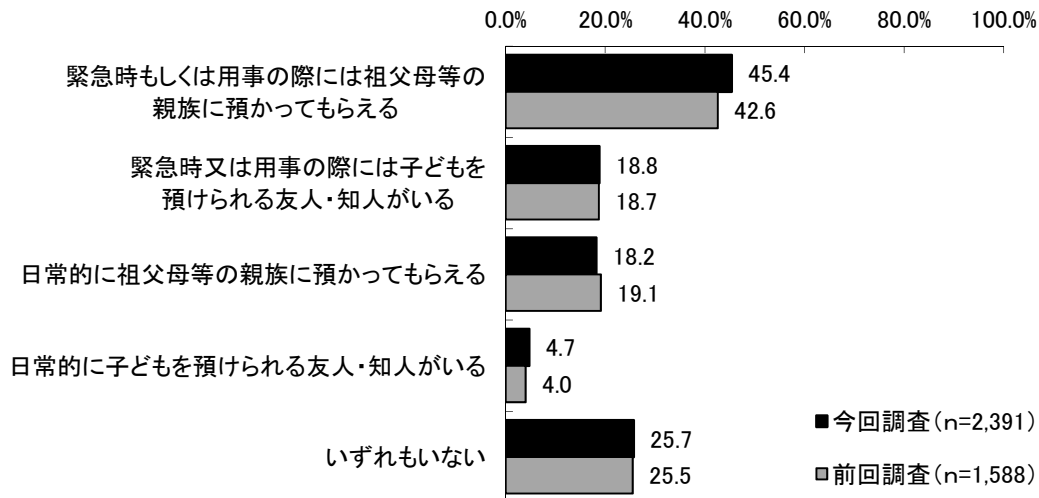
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

2. 子どもの一時預かりについて

(1) 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

問13 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

図表－233 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無



子どもを預かってもらえる人の有無についてたずねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(45.4%)の割合が最も高く、次いで「いずれもない」(25.7%)、「緊急時又は用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」(18.8%)「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(18.2%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの学年別では、大きな違いはみられなかった。

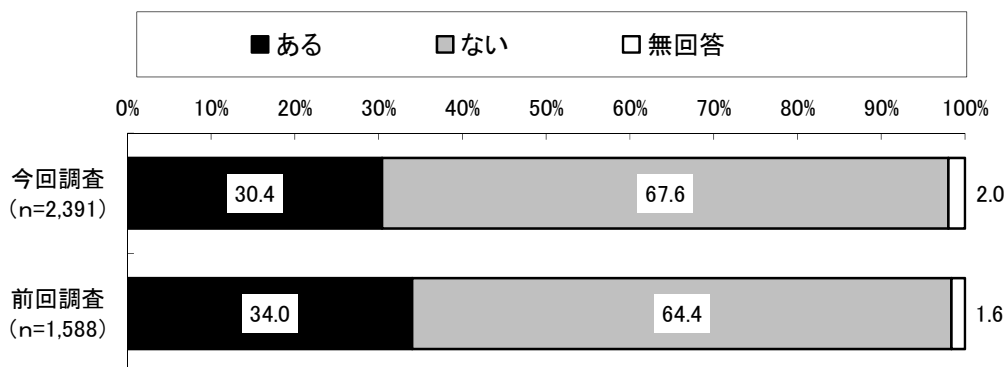
図表－234 子どもの学年別 子どもをみてもらえる親族・知人の有無 (単位：%)

	標本数 (人)	日常的に祖父母等の親族に預かる	緊急時または用事の際に祖父母等の親族に預かる	日常的に友人・子どもを預ける	緊急時または用事の際に友人・子どもを預ける	いずれもない	無回答	
全体	2,391	18.2	45.4	4.7	18.8	25.7	3.8	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	18.6	46.9	4.6	19.7	23.8	3.9
	4～6年生	1,157	17.7	43.7	4.9	18.0	27.8	3.6
	無回答	20	15.0	50.0	-	15.0	20.0	15.0

(2) 家族以外に子どもを預けたことの有無と日数

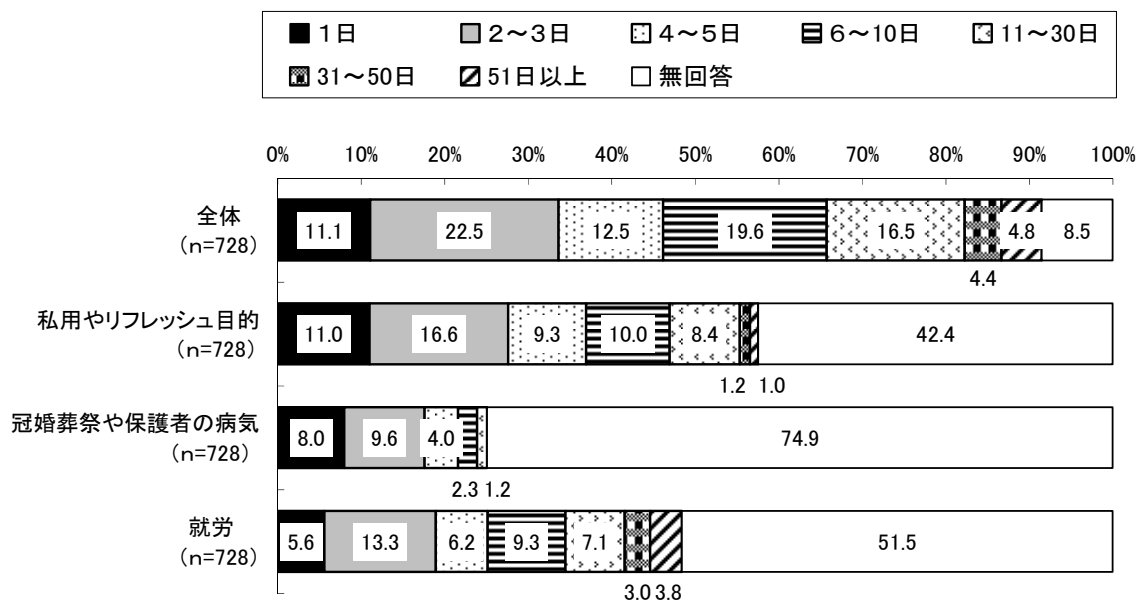
問14 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ、冠婚葬祭、保護者の病気、就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください。）

図表-235 家族以外に子どもを預けたことの有無



問14-1 【問14で「1」を選んだ方にうかがいます。】預けた日数を目的別に枠内に数字をご記入ください。

図表-236 家族以外に子どもを預けた日数



この1年間に家族以外に子どもを預けたことの有無は、「ある」の割合が30.4%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

預けた日数は、全体で「2~3日」(22.5%)の割合が最も高く、次いで「6~10日」(19.6%)、「11~30日」(16.5%)となっている。

目的別に預けた日数をみると、「私用やリフレッシュ目的」では「2~3日」(16.6%)の割合が最も高く、「冠婚葬祭や保護者の病気」でも「2~3日」(9.6%)、「就労」でも「2~3日」(13.3%)の割合が最も高い。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて、1～3年生では、この1年間に家族以外に子どもを預けたことが「ある」(34.8%)の割合が高い。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している母親は、就労していない母親に比べて「ある」の割合が高くなっている。

図表－237 子どもの学年別・母親の就労状況別
家族以外に子どもを預けたことの有無(単位：%)

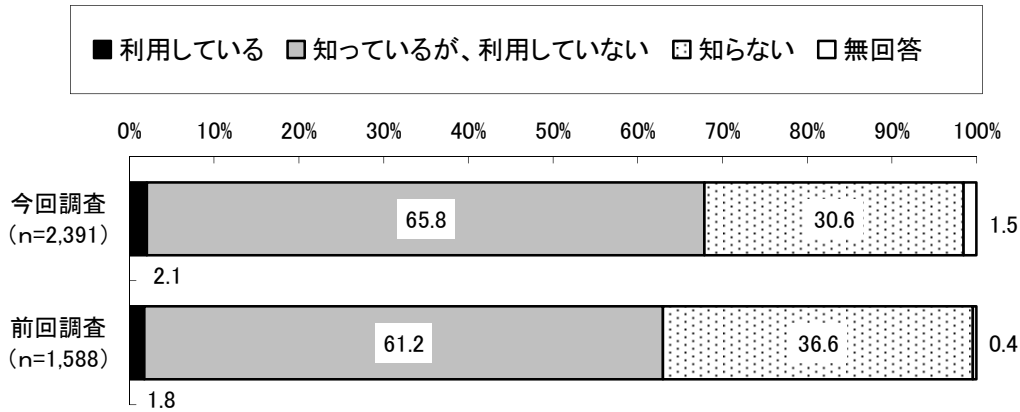
		(人 標 本 数)	あ る	な い	無 回 答
全 体		2,391	30.4	67.6	2.0
子 ど も の 学 年 別	1～3年生	1,214	34.8	63.3	1.9
	4～6年生	1,157	25.7	72.4	1.9
	無回答	20	45.0	45.0	10.0
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	745	32.6	65.9	1.5
	パート・アルバイト等で就労	981	30.7	67.0	2.3
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	526	27.0	71.7	1.3
	これまで就労したことがな い	63	28.6	69.8	1.6
	無回答	62	30.6	61.3	8.1

3. ファミリー・サポート・センターの利用について

(1) ファミリー・サポート・センターの利用状況

問15 ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(○は1つ)

図表-238 ファミリー・サポート・センターの利用状況



ファミリー・サポート・センターの利用状況は、「知っているが、利用していない」(65.8%)の割合が最も高く、次いで「知らない」(30.6%)となっており、「利用している」の割合は2.1%に留まっている。

前回調査と比較すると、「知らない」の割合は6ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて、1～3年生では「知らない」の割合が低い。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合に比べて、就労していない場合は「知らない」の割合が高くなっている。

図表-239 子どもの学年別・母親の就労状況別
ファミリー・サポート・センターの利用状況 (単位: %)

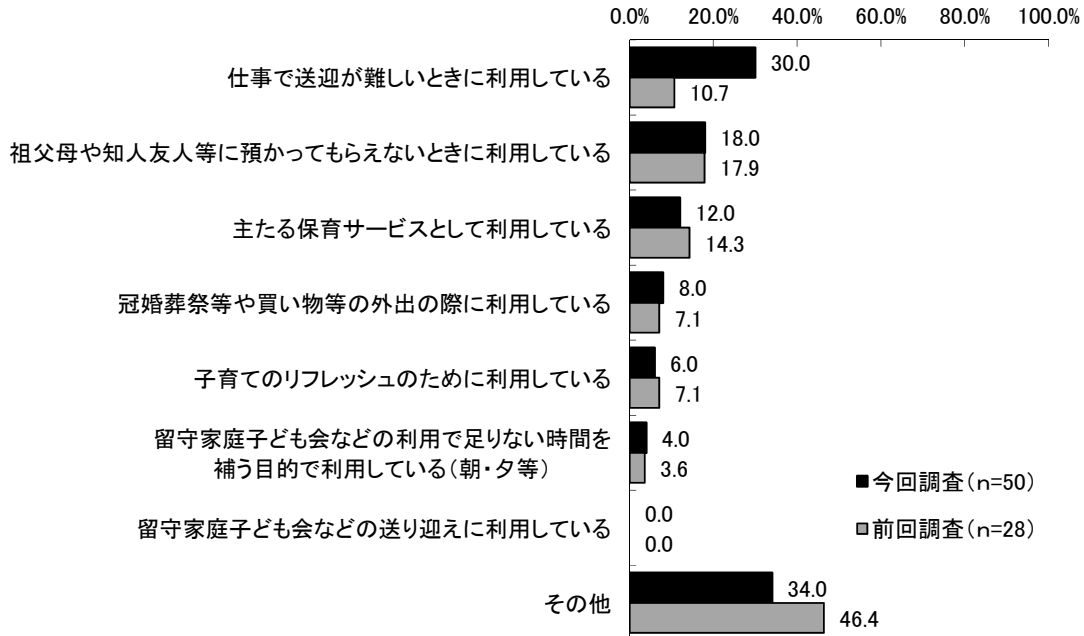
		標本数 (人)	利用 して いる	用知 して て い い な る が 、 利	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,391	2.1	65.8	30.6	1.5
子 ど も の 学 年 別	1～3年生	1,214	2.5	67.5	28.5	1.6
	4～6年生	1,157	1.6	64.5	32.6	1.3
	無回答	20	5.0	45.0	40.0	10.0
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	745	3.8	70.2	24.4	1.6
	パート・アルバイト等で就労	981	1.8	66.4	30.4	1.4
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	526	0.8	62.7	35.7	0.8
	これまで就労したことが ない	63	-	54.0	44.4	1.6
	無回答	62	-	50.0	41.9	8.1

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

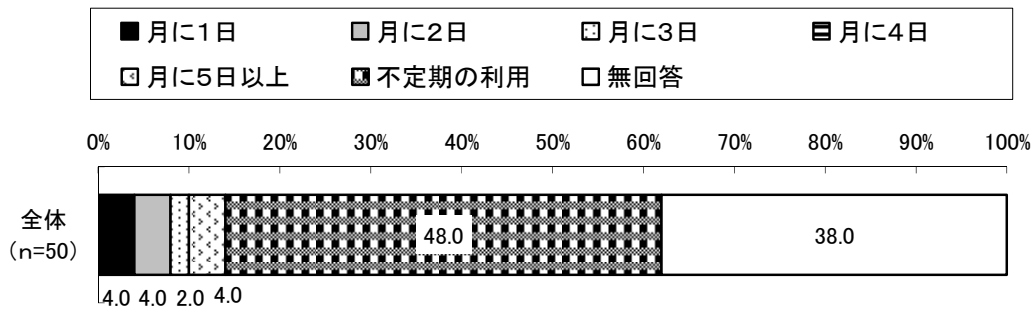
(2) ファミリー・サポート・センターの利用目的、利用頻度

問15-1 【問15で「1」を選んだ方にうかがいます。】どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

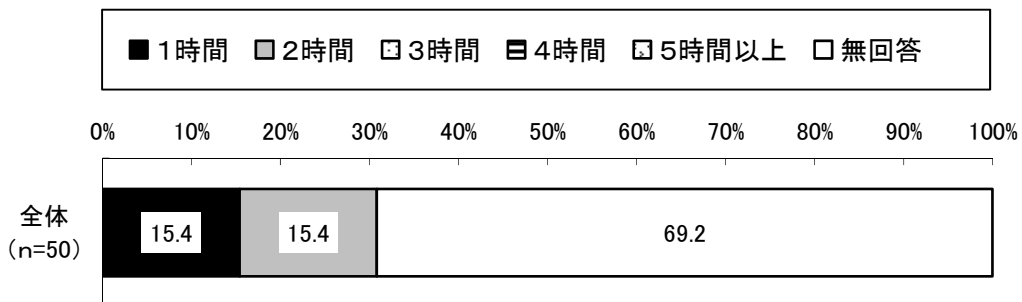
図表-240 ファミリー・サポート・センターの利用目的



図表-241 ファミリー・サポート・センターの利用頻度



図表-242 ファミリー・サポート・センターの1回あたり利用時間



ファミリー・サポート・センターの利用目的は、「仕事で送迎が難しいときに利用している」(30.0%)の割合が最も高く、次いで「祖父母や知人友人等に預かってもらえないときに利用している」(18.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「仕事で送迎が難しいときに利用している」の割合は約19ポイント増加している。

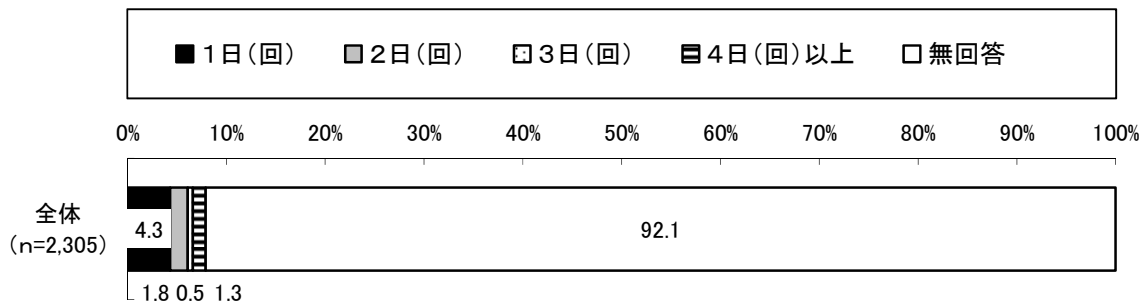
利用者の利用頻度は「不規則の利用」(48.0%)が半数近くを占めている。

1回あたりの利用時間は「1時間」「2時間」(ともに15.4%)となっている。

(3) ファミリー・サポート・センターを今後利用したい回数(月あたり)

問15-3 【問15で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます。】今後利用したいと思いますか。(希望がある場合のみ、枠内に数字を記入)
 ※月に何日(回)か。1日に2回以上利用する場合も1日とカウントしてください。

図表-243 ファミリー・サポート・センターを今後利用したい回数(月あたり)



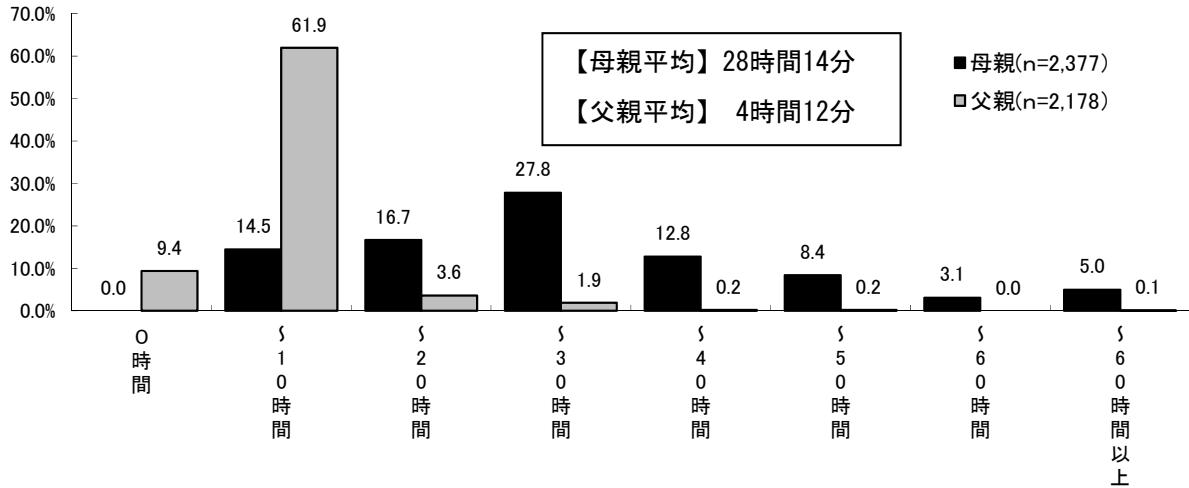
ファミリー・サポート・センターを利用したことがない人に、今後利用したい回数をたずねたところ、月に「1日(回)」(4.3%、98人)となっている。

第4章 子育てに関する意識とかかわり

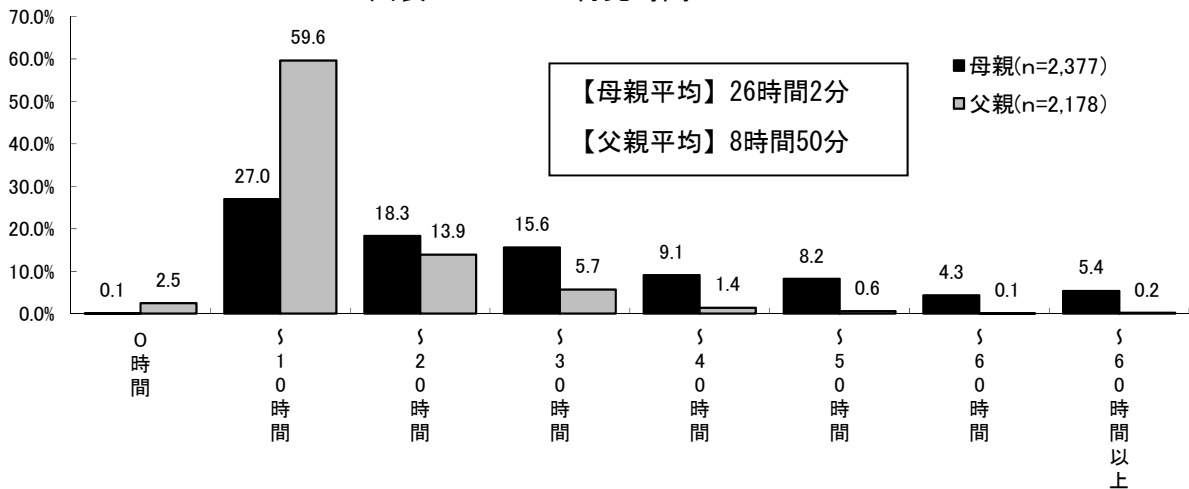
1. 家事・育児時間

問22 母親と父親の1週間の家事・子育ての時間はどれくらいですか。1週間の時間を合計して枠内にご記入ください

図表-244 家事時間



図表-245 育児時間



母親・父親の1週間の家事時間は、母親は、「～30時間」(27.8%)が最も高く、「～20時間」(16.7%)、「～10時間」(14.5%)、「～40時間」(12.8%)も1割を超えているのに対し、父親は「～10時間」(61.9%)が約6割、「0時間」が9.4%となっている。平均時間は母親が28時間14分、父親が4時間12分である。

母親・父親の1週間の育児時間は、母親は「～10時間」(27.0%)が最も高く、「～20時間」(18.3%)、「～30時間」(15.6%)も1割を超えているが、父親は「～10時間」(59.6%)、「～20時間」(13.9%)となっており、平均時間は母親26時間2分、父親8時間50分である。

母親の家事時間を母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合に比べて、現在就労していない場合では「～40時間」「～50時間」など長い時間の割合が高くなっている。

父親の家事時間を母親の就労状況別にみると、いずれも「～10時間」の割合が最も高い。母親が就労していない場合は、「0時間」の割合が1割を超えている。

図表－246 母親の就労状況別 家事時間（単位：％）

		標本数 (人)	0時間	～10時間	～20時間	～30時間	～40時間	～50時間	～60時間	～60時間以上	無回答
【母親】家事時間	全体	2,377	-	14.5	16.7	27.8	12.8	8.4	3.1	5.0	11.7
	母親の就労状況別										
	フルタイムで就労	745	-	20.4	25.4	27.7	9.4	4.4	1.1	0.8	10.9
	パート・アルバイト等で就労	981	-	13.6	14.9	30.5	13.4	9.6	3.3	5.1	9.8
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	-	9.1	9.5	25.9	16.7	11.4	5.1	9.9	12.4
	これまで就労したことがない	63	-	7.9	9.5	15.9	19.0	14.3	4.8	11.1	17.5
無回答	62	-	9.7	9.7	16.1	6.5	6.5	4.8	6.5	40.3	
【父親】家事時間	全体	2,178	9.4	61.9	3.6	1.9	0.2	0.2	-	0.1	22.6
	母親の就労状況別										
	フルタイムで就労	619	6.6	63.8	6.6	2.9	0.6	0.2	-	-	19.2
	パート・アルバイト等で就労	927	9.9	64.3	2.3	1.4	-	-	-	-	22.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	502	11.2	61.4	2.2	1.8	0.2	0.2	-	0.4	22.7
	これまで就労したことがない	61	11.5	41.0	3.3	-	-	-	-	-	44.3
無回答	55	16.4	32.7	3.6	-	-	-	-	-	47.3	

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の育児時間を母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合に比べて、現在就労していない場合では「～50時間」「～60時間」など長い時間の割合が高くなっている。

父親の育児時間を母親の就労状況別にみると、いずれも「～10時間」の割合が最も高い。

図表－247 母親の就労状況別 育児時間（単位：％）

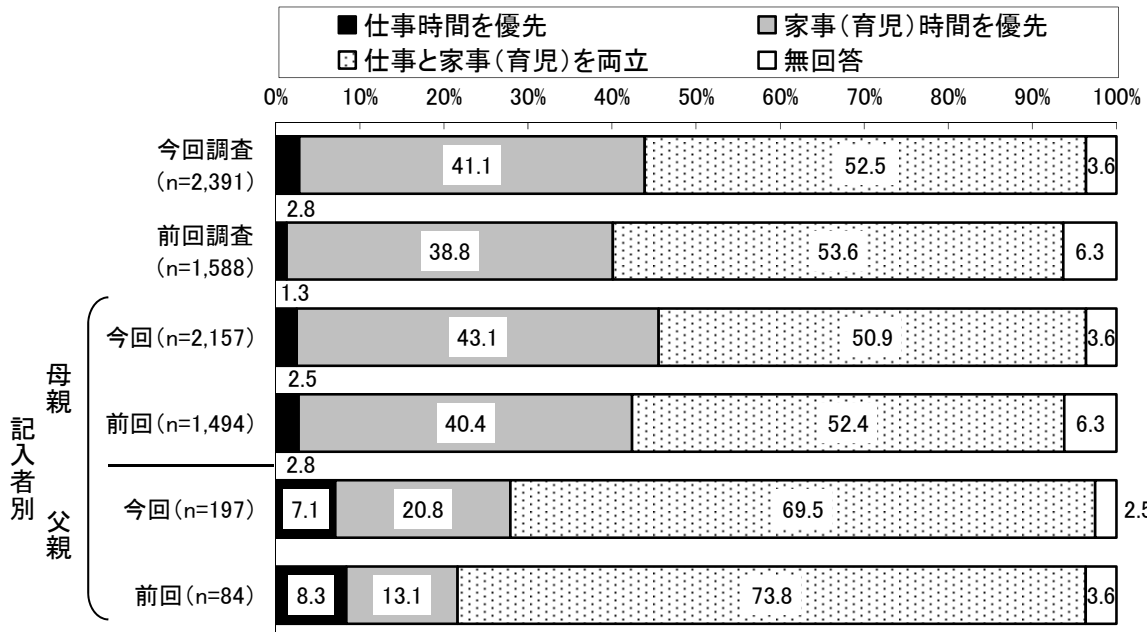
		標本数 (人)	0時間	10時間	20時間	30時間	40時間	50時間	60時間	60時間以上	無回答
【母親】 育児時間	全体	2,377	0.1	27.0	18.3	15.6	9.1	8.2	4.3	5.4	12.0
	母親の就労状況別										
	フルタイムで就労	745	0.1	35.8	20.1	15.3	7.8	5.5	1.9	1.5	11.9
	パート・アルバイト等で就労	981	0.1	29.1	18.3	17.0	9.8	6.6	4.3	4.9	9.9
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	-	12.5	16.9	15.0	10.6	14.1	7.6	11.0	12.2
	これまで就労したことがない	63	-	17.5	12.7	11.1	7.9	14.3	6.3	11.1	19.0
無回答	62	-	19.4	11.3	8.1	3.2	8.1	3.2	8.1	38.7	
【父親】 育児時間	全体	2,178	2.5	59.6	13.9	5.7	1.4	0.6	0.1	0.2	16.1
	母親の就労状況別										
	フルタイムで就労	619	2.6	58.8	14.2	5.3	2.4	0.5	0.3	0.2	15.7
	パート・アルバイト等で就労	927	2.7	63.5	12.9	4.9	0.9	0.3	-	0.1	14.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	502	2.2	57.8	15.7	7.2	1.0	0.6	0.2	0.4	14.9
	これまで就労したことがない	61	1.6	47.5	13.1	8.2	1.6	1.6	-	-	26.2
無回答	55	3.6	36.4	10.9	5.5	-	-	-	-	43.6	

2. 「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度

(1) 希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度

問24 あなたの生活の中で「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度はどうですか。（希望と現実それぞれに○は1つずつ）

図表-248 希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度



「仕事時間」と「家事（育児）時間」について希望する優先度は、「仕事と家事（育児）を両立」（52.5%）の割合が最も高く、次いで「家事（育児）時間を優先」（41.1%）、「仕事時間を優先」（2.8%）となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

記入者別にみると、母親、父親とも「仕事と家事（育児）を両立」が最も高いが、その割合は母親が50.9%、父親が69.5%と約19ポイントの差がある。「家事（育児）時間を優先」することを希望する割合は、母親が43.1%、父親が20.8%と約22ポイントの差がある。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、就労していない場合に「家事（育児）時間を優先」の割合が高くなっており、これまで就労したことがない場合は「家事（育児）時間を優先」の割合が71.4%と7割強となっている。

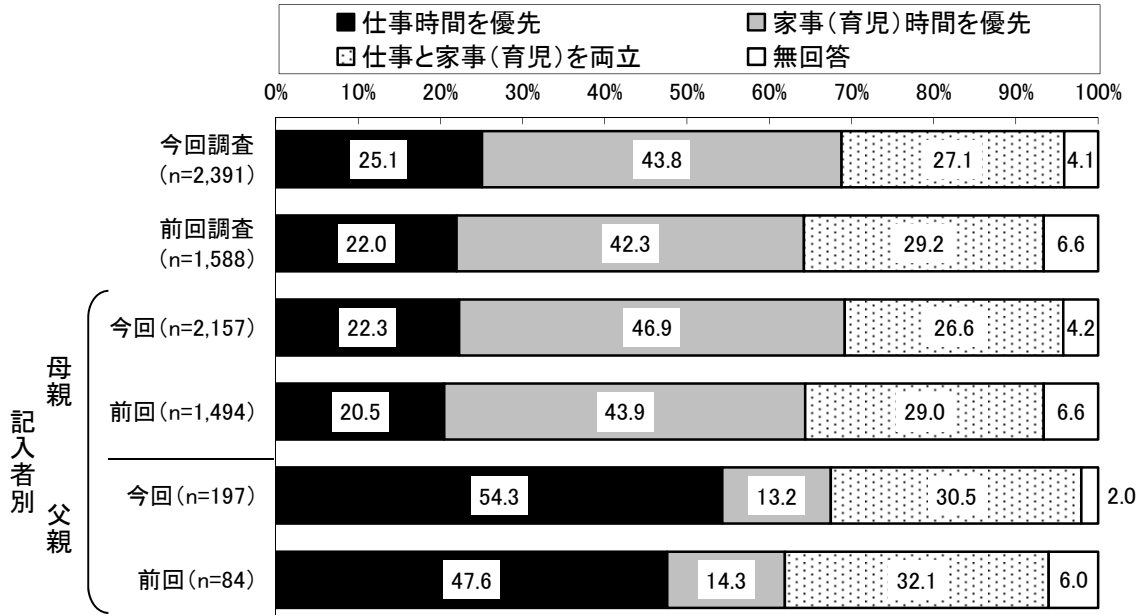
図表－２４９ 母親の就労状況別
希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度（単位：％）

		標本数 (人)	仕事時間 を優先	家事（育 児）時 間を優 先	仕事と家 事（育 児）を 両立	無回 答
全 体		2,391	2.8	41.1	52.5	3.6
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	745	3.4	31.5	62.4	2.7
	パート・アルバイト等で就労	981	3.6	40.3	52.8	3.4
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	526	1.0	53.6	41.1	4.4
	これまで就労したことがな い	63	-	71.4	25.4	3.2
	無回答	62	1.6	35.5	50.0	12.9

(2) 現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度

問24 あなたの生活の中で「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度はどうですか。（希望と現実それぞれに○は1つずつ）

図表－250 現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度



現実の優先度は、「家事（育児）時間を優先」（43.8％）の割合が最も高く、次いで「仕事と家事（育児）を両立」（27.1％）、「仕事時間を優先」（25.1％）の順となっており、希望よりも家事（育児）優先になっている人が多い。

前回調査と比較すると、母親は「家事（育児）時間を優先」がやや増加し、父親は「仕事時間を優先」が約7ポイント増加している。

記入者別にみると、母親は「家事（育児）時間を優先」（46.9％）、父親は「仕事時間を優先」（54.3％）がともに半数近くで最も高くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は、「家事（育児）時間を優先」が12.8%と低くなっている。

図表－251 母親の就労状況別
現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度（単位：％）

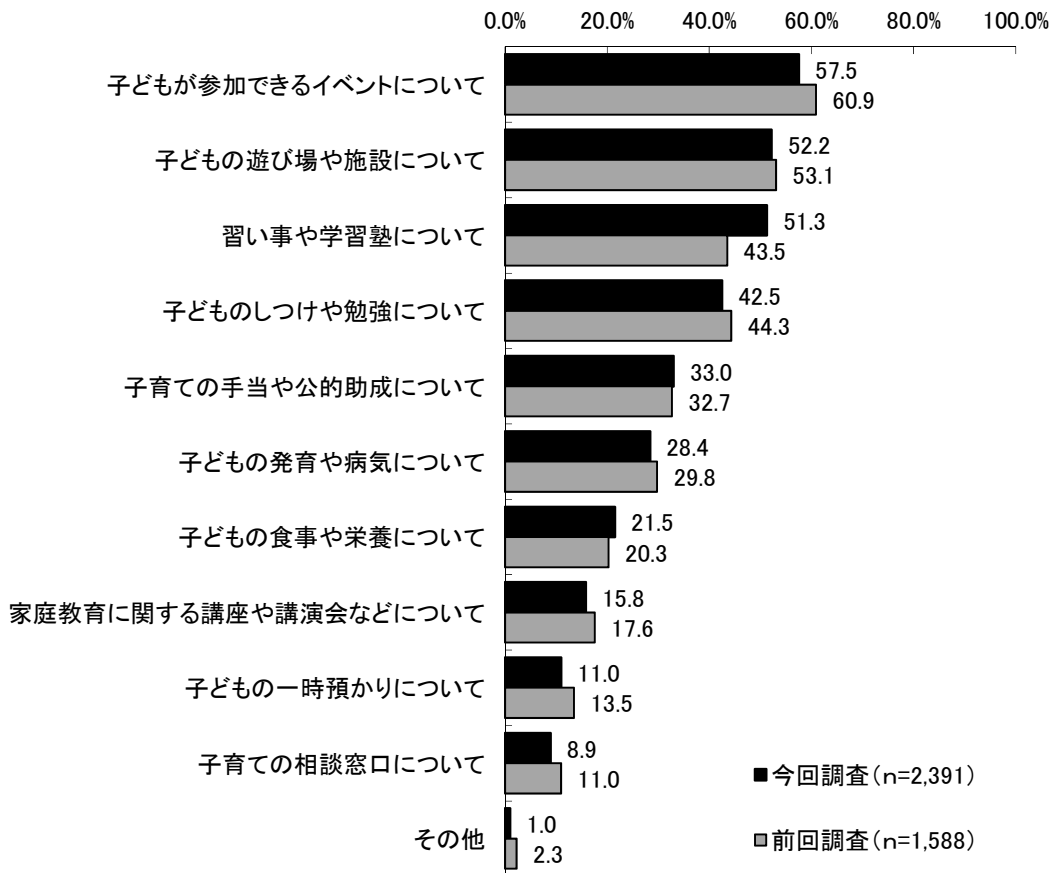
		標 本 数 （ 人 ）	仕 事 時 間 を 優 先	家 事 （ 育 児 ） 時 間 を 優 先	仕 事 と 家 事 （ 育 児 ） を 両 立	無 回 答
全 体		2,391	25.1	43.8	27.1	4.1
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	745	49.0	12.8	35.3	3.0
	パート・アルバイト等で就労	981	17.5	45.9	33.0	3.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	526	8.9	77.4	8.0	5.7
	これまで就労したことがない	63	4.8	90.5	1.6	3.2
	無回答	62	14.5	56.5	16.1	12.9

3. 子育てに関する情報

(1) 子育てについて得たい情報

問17 あなたは、いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-252 子育てについて得たい情報



子育てについて得たい情報は、「子連れで参加できるイベントについて」(57.5%)の割合が最も高く、次いで「子どもの遊び場や施設について」(52.2%)、「習い事や学習塾について」(51.3%)、「子どものしつけや勉強について」(42.5%)、「子育ての手当や公的助成について」(33.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「習い事や学習塾について」の割合は約8ポイント増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて1～3年生では「子どもの遊び場や施設について」(62.4%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で現在就労している場合は、現在就労していない場合に比べて、「子育ての手当や公的助成」の割合がやや高い。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代は、他の世帯に比べて「子育ての手当や公的助成」の割合が高くなっている。

図表－253 子どもの学年別・母親の就労状況別・世帯分類別

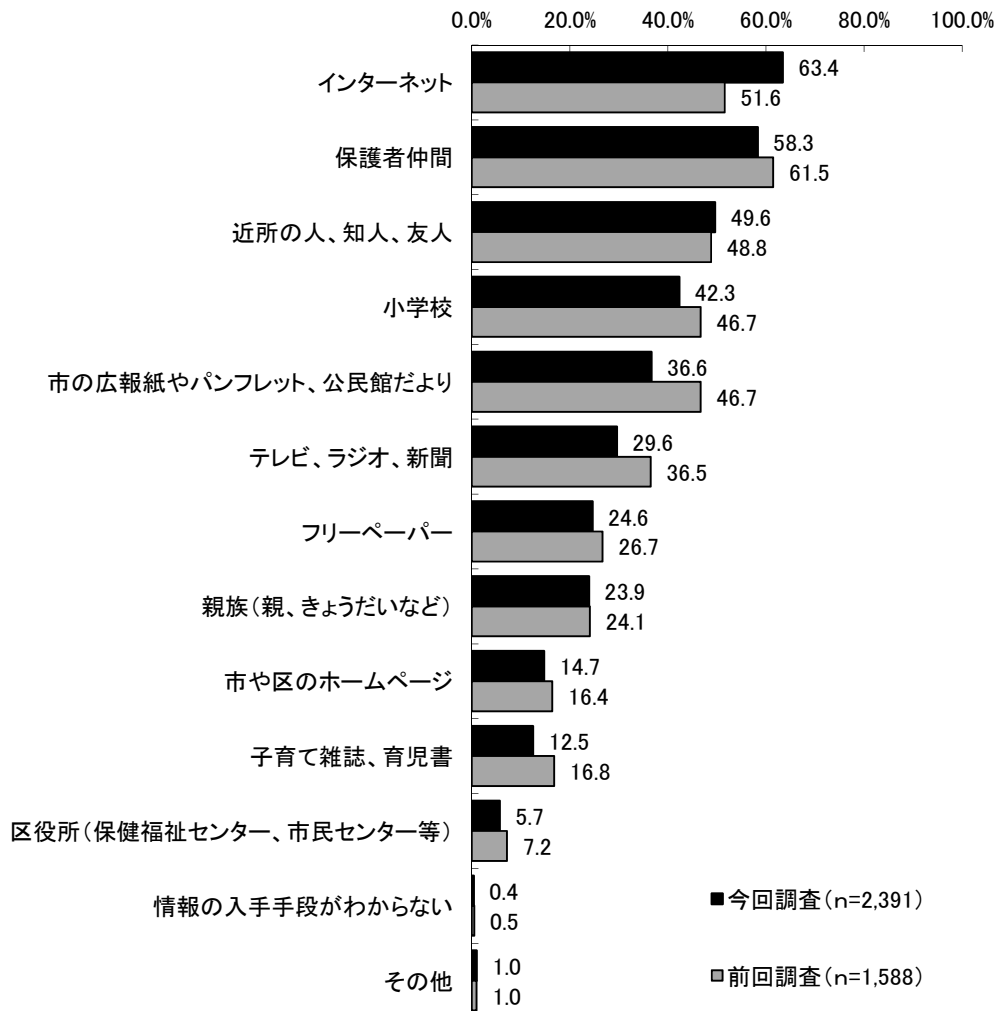
子育てについて得たい情報 (単位：%)

	標本数(人)	子どもの発育や病気に	子どもの食事や栄養に	子どものしつけや勉強	て習い事や学習塾につい	子どもが参加できるイ	子どもが遊び場や施設	子育ての相談窓口につ	成に育つての	や講演教育に関する講座	子どもの一時預かりに	その他	無回答	
全体	2,391	28.4	21.5	42.5	51.3	57.5	52.2	8.9	33.0	15.8	11.0	1.0	3.7	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	30.2	22.2	45.2	53.6	63.7	62.4	9.5	32.6	16.1	14.7	1.1	2.8
	4～6年生	1,157	26.5	20.7	39.7	48.8	50.9	41.1	8.2	33.5	15.4	7.3	0.9	4.7
	無回答	20	20.0	20.0	35.0	50.0	65.0	70.0	15.0	20.0	15.0	5.0	-	5.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	26.4	21.5	41.6	50.2	54.1	48.5	9.9	34.5	15.4	11.9	1.6	4.6
	パート・アルバイト等で就労	981	29.0	19.5	42.8	51.2	58.6	51.6	8.2	34.5	15.4	10.5	0.7	3.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	30.6	25.7	43.0	54.8	62.2	59.5	9.9	29.3	17.3	11.2	0.8	3.2
	これまで就労したことがない	63	23.8	20.6	39.7	42.9	47.6	52.4	4.8	23.8	11.1	11.1	-	1.6
無回答	62	27.4	21.0	45.2	50.0	53.2	48.4	6.5	32.3	21.0	6.5	-	8.1	
世帯分類別	三世代	117	23.9	23.1	40.2	42.7	52.1	43.6	4.3	32.5	14.5	3.4	2.6	6.0
	核家族	1,981	29.3	22.2	43.0	53.0	59.3	54.1	9.3	31.5	16.8	11.4	0.8	2.9
	ひとり親	189	21.7	14.8	40.7	38.6	44.4	40.2	7.9	46.6	9.5	12.7	2.1	9.0
	ひとり親三世代	38	34.2	15.8	34.2	57.9	65.8	50.0	10.5	52.6	5.3	15.8	-	2.6
	その他	38	31.6	18.4	47.4	55.3	34.2	36.8	5.3	31.6	10.5	7.9	2.6	7.9
無回答	28	14.3	17.9	28.6	39.3	60.7	53.6	10.7	17.9	10.7	3.6	-	14.3	

(2) 子育てに関する情報入手先

問18 あなたは、その知りたい情報を何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表－254 子育てに関する情報入手先



子育てに関する情報の入手先は、「インターネット」(63.4%)の割合が最も高く、次いで「保護者仲間」(58.3%)、「近所の人、知人、友人」(49.6%)、「小学校」(42.3%)、「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」(36.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「インターネット」の割合は約12ポイント増加し、一方で「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」「テレビ、ラジオ、新聞」は、それぞれ約7~10ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて1～3年生では「親族（親、きょうだいなど）」「近所の人、知人、友人」「小学校」の割合が5ポイント以上高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労する場合は他の就労状況に比べて「保護者仲間」（51.5％）の割合が低くなっている。

図表－255 子どもの学年別・母親の就労状況別
子育てに関する情報の入手先 （単位：％）

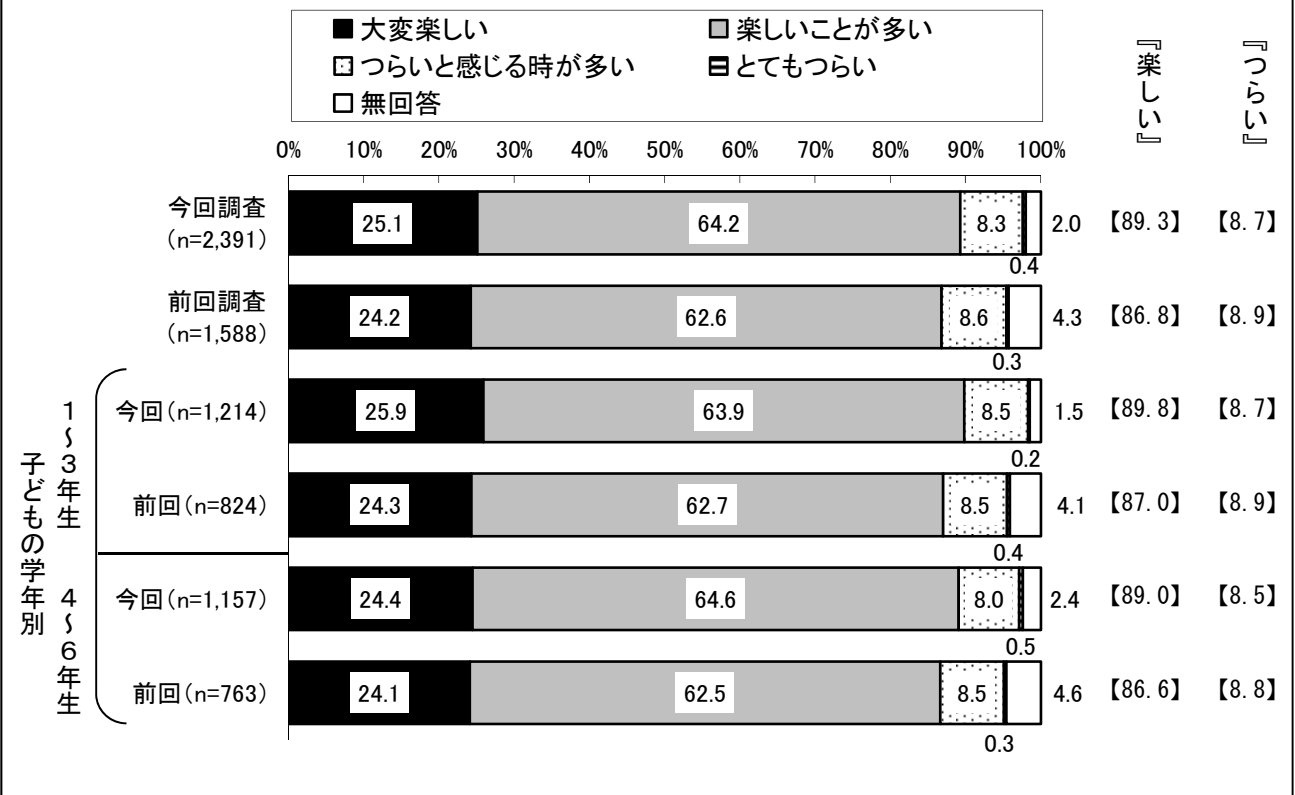
	標本数（人）	親族（親、きょうだいなど）	近所の人、知人、友人	保護者仲間	小学校	区役所（保健福祉センター、市民センター等）	市の広報紙やパンフレット、公民館だより	市や区のホームページ	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌、育児書	フリーペーパー	インターネット	情報の入手手段がわからない	その他	無回答	
全体	2,391	23.9	49.6	58.3	42.3	5.7	36.6	14.7	29.6	12.5	24.6	63.4	0.4	1.0	2.4	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	26.9	52.5	58.7	46.0	5.9	37.6	15.2	30.1	14.4	25.9	65.2	0.2	1.0	2.1
	4～6年生	1,157	20.7	46.8	58.1	38.2	5.4	35.4	14.2	28.9	10.3	23.3	61.6	0.6	1.0	2.7
	無回答	20	30.0	35.0	50.0	50.0	10.0	40.0	10.0	40.0	20.0	15.0	65.0	-	-	5.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	21.7	43.5	51.5	40.4	6.2	35.4	15.4	26.3	10.7	22.0	63.4	0.8	1.3	2.4
	パート・アルバイト等で就労	981	22.7	54.0	62.6	42.3	5.3	36.5	14.1	28.8	13.9	25.2	61.2	0.4	0.8	2.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	29.1	52.3	60.5	45.2	6.1	38.6	15.0	35.7	12.7	27.4	69.4	-	0.8	1.9
	これまで就労したことがない	63	19.0	42.9	63.5	42.9	3.2	33.3	12.7	27.0	4.8	27.0	61.9	-	1.6	-
	無回答	62	30.6	43.5	59.7	40.3	4.8	38.7	16.1	33.9	19.4	24.2	51.6	-	-	8.1

4. 母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり

(1) 子育てを楽しんでいる割合

問21 あなたは、あて名のお子さんの子育てが楽しいですか。(○は1つ)

図表-256 子育てを楽しんでいる割合



子育てについて「楽しいことが多い」(64.2%)の割合が最も高く、「大変楽しい」(25.1%)を合わせた『楽しい』と回答した人は89.3%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

一方で、『つらい』(「つらいと感じる時が多い」と「とてもつらい」の合計)と回答した人も8.7%存在している。

子どもの学年別では大きな違いはみられない。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、これまで就労したことがない場合は『つらい』（12.7%）の割合が他の就労状況の人よりやや高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では『つらい』の割合が1割を超えており、他の世帯より高くなっている。

父親の子育ての程度別にみると、父親が子育てをやっているほど『楽しい』の割合が高く、やっていないほど『つらい』の割合が低くなっている。

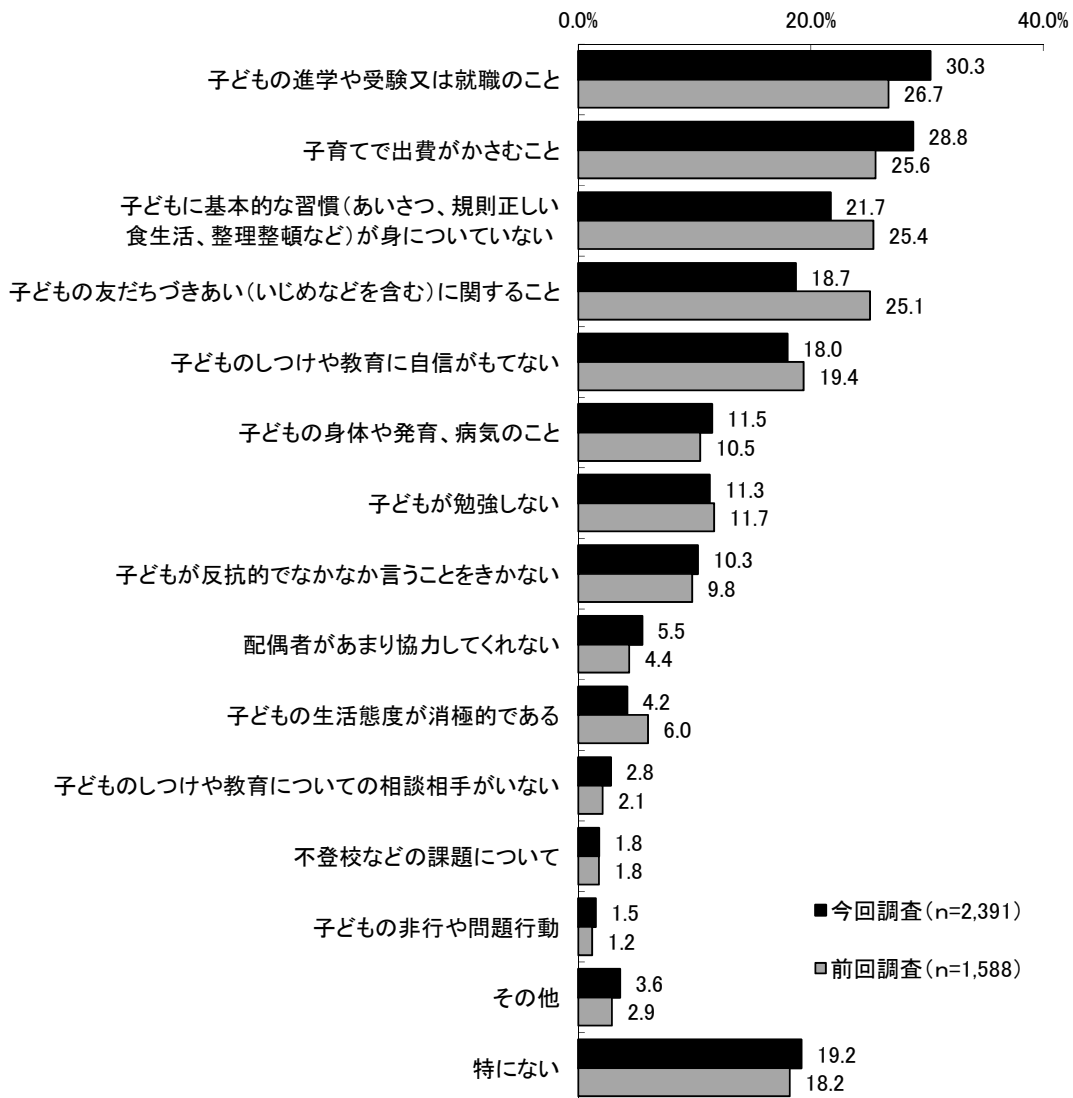
図表－２５７ 母親の就労状況別・世帯分類別・父親の子育ての程度別
子育てが楽しいと感じる割合（単位：％）

		標本数（人）	大変楽しい	楽しいことが多い	がつらいと感じる時が多い	とてもつらい	無回答	『楽しい』	『つらい』
全体		2,931	25.1	64.2	8.3	0.4	2.0	89.3	8.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	28.5	60.3	8.9	0.3	2.1	88.8	9.2
	パート・アルバイト等で就労	981	24.2	65.7	7.7	0.5	1.8	89.9	8.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	24.5	66.5	7.2	0.2	1.5	91.0	7.4
	これまで就労したことがない	63	15.9	68.3	12.7	—	3.2	84.2	12.7
	無回答	62	16.1	62.9	17.7	—	3.2	79.0	17.7
世帯分類別	三世代	117	35.0	57.3	4.3	—	3.4	92.3	4.3
	核家族	1,981	24.9	64.8	8.2	0.3	1.8	89.7	8.5
	ひとり親	189	20.6	65.6	9.5	2.1	2.1	86.2	11.6
	ひとり親三世代	38	31.6	52.6	13.2	—	2.6	84.2	13.2
	その他	38	21.1	60.5	13.2	—	5.3	81.6	13.2
無回答	28	25.0	60.7	10.7	—	3.6	85.7	10.7	
父親の子育ての程度別	十分にやっている	567	40.9	54.3	4.2	0.2	0.4	95.2	4.4
	十分とはいえないが、まあやっている	1,025	21.4	68.9	8.3	—	1.5	90.3	8.3
	かなり不足している	382	14.7	72.0	11.3	0.5	1.6	86.7	11.8
	全くやっていない	102	24.5	55.9	14.7	2.0	2.9	80.4	16.7
	無回答	102	20.6	52.9	8.8	1.0	16.7	73.5	9.8

(2) 子育てに関して悩んでいること

問19 あなたが子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。(〇は3つまで)

図表-258 子育ての悩み



子育てに関して悩んでいることは、「子どもの進学や受験又は就職のこと」(30.3%)の割合が最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」(28.8%)、「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」(21.7%)、「子どもの友だちづきあい(いじめなどを含む)に関すること」(18.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの進学や受験又は就職のこと」の割合は約4ポイント増加し、「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」は約4ポイント減少、「子どもの友だちづきあい(いじめなどを含む)に関すること」は約6ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて1～3年生では、「子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない」（23.7%）、「子どものしつけや教育に自信がもてない」（20.3%）、「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関する」（20.2%）の割合が高く、4～6年生では「子どもの進学や受験又は就職のこと」（37.4%）の割合が高くなっている。

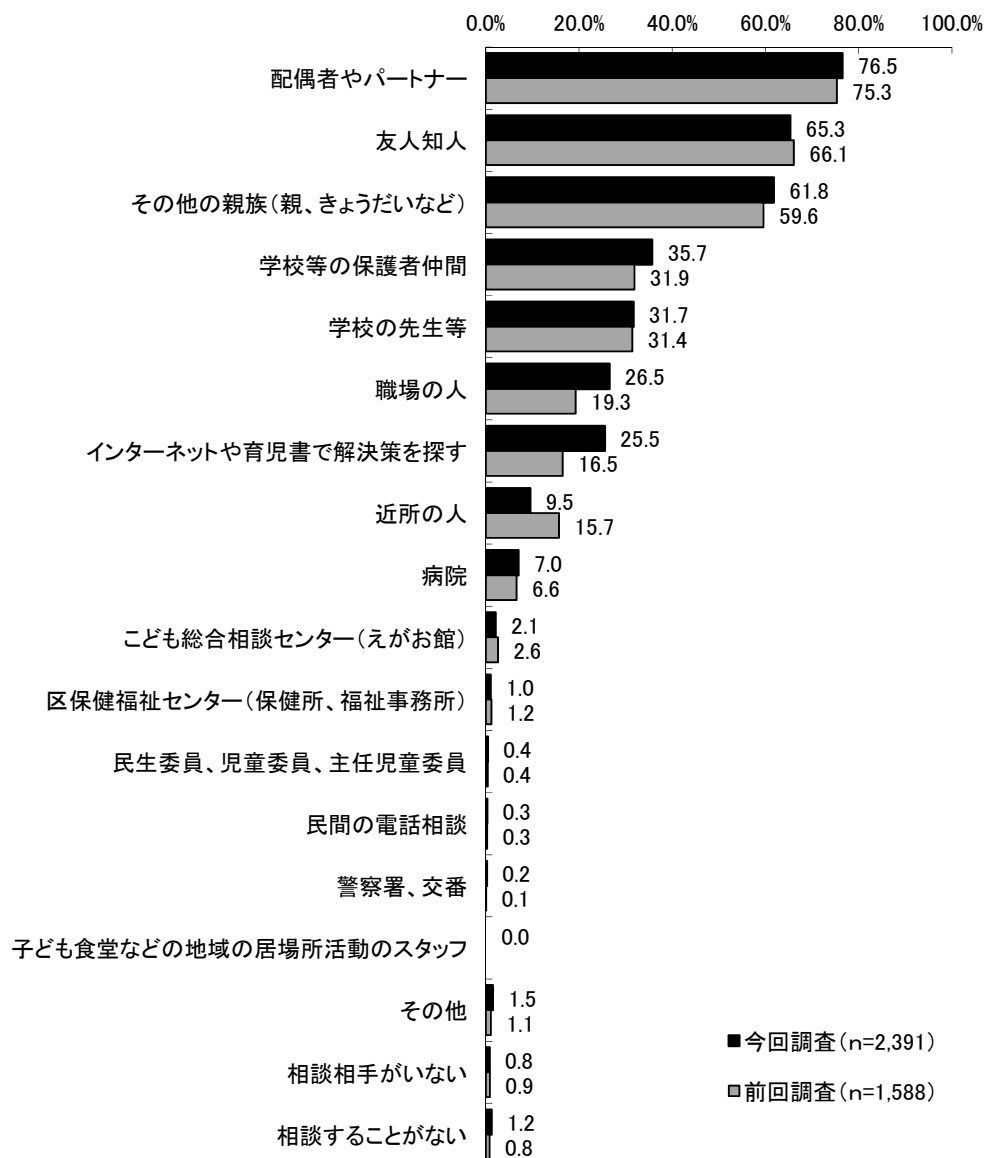
図表－259 子どもの学年別 子育ての悩み （単位：％）

		標本数（人）	が食（子 身生あど についさも てい整つ基 ない整規則 など正し い）慣	自子 信ど がも もし のし つけ や 教 育に	いつ子 てど のの 相し 談つ 相け 手が が教 育に	く配 れ偶 ない者 があ まり 協 力し て	子 ども が 勉 強 し ない	就子 職ど のも の進 学 や 受 験 又 は	か子 言ど うも が 反 抗 的 で な か な	的 子 ど も の 生 活 態 度 が 消 極
全	体	2,391	21.7	18.0	2.8	5.5	11.3	30.3	10.3	4.2
子 ど も の 学 年 別	1～3年生	1,214	23.7	20.3	3.3	6.3	10.0	23.9	10.9	4.7
	4～6年生	1,157	19.7	15.5	2.2	4.7	12.7	37.4	9.5	3.8
	無回答	20	10.0	25.0	10.0	-	5.0	10.0	20.0	-
		標本数（人）	関（子 するいど ことじめ めな どを 含む ）に	て不 登校 など の課 題に つ い	気子 のど も の 身 体 や 発 育 、 病	子 ど も の 非 行 や 問 題 行 動	と子 育 て で 出 費 が か さ む こ	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全	体	2,391	18.7	1.8	11.5	1.5	28.8	3.6	19.2	2.9
子 ど も の 学 年 別	1～3年生	1,214	20.2	1.7	12.2	1.6	28.6	4.0	18.7	3.1
	4～6年生	1,157	16.9	2.0	10.8	1.5	29.0	3.1	19.7	2.6
	無回答	20	30.0	-	10.0	-	30.0	10.0	20.0	10.0

(3) 相談相手

問20 あなたが子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、誰（どこ）に相談されますか。（あてはまるものすべてに○）

図表－260 相談相手



※「子ども食堂などの地域の居場所活動のスタッフ」は、今回調査で新規で追加した選択肢

子育てについて不安に思ったり困ったりした場合の相談相手は、「配偶者やパートナー」(76.5%)の割合が最も高く、次いで「友人知人」(65.3%)、「その他の親族(親、きょうだいなど)」(61.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「職場の人」は約7ポイント、「インターネットや育児書で解決策を探す」は9ポイント増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて1～3年生では、「配偶者やパートナー」(78.8%)、「その他の親族(親、きょうだいなど)」(64.2%)、「インターネットや育児書で解決策を探す」(27.8%)の割合が高い。

母親の就労状況別にみると、フルタイムの場合は他の就労状況に比べて「職場の人」(38.7%)の割合が高い。

世帯分類別にみると、ひとり親三世帯は他の世帯に比べ、「その他の親族(親、きょうだいなど)」(81.6%)や「職場の人」(36.8%)の割合が高い。

図表－261 子どもの学年別・母親の就労状況別・世帯分類別 相談相手 (単位：%)

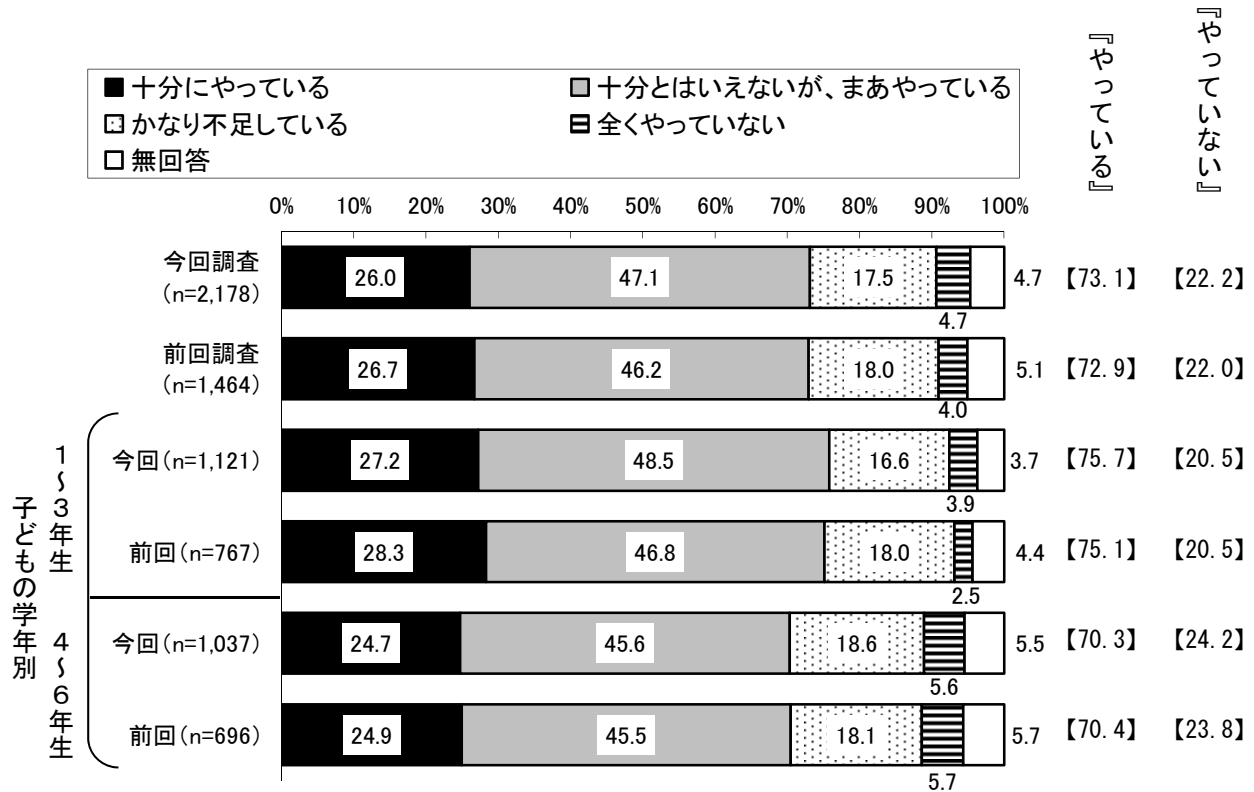
	標本数(人)	配偶者やパートナー	その他の親族(親、きょうだいなど)	友人知人	近所の人	職場の人	学校等の保護者仲間	学校の先生等	区保健福祉センター(保健福祉事務所)	病院	警察署、交番	
全体	2,391	76.5	61.8	65.3	9.5	26.5	35.7	31.7	1.0	7.0	0.2	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	78.8	64.2	66.8	10.4	27.1	35.5	1.2	7.5	0.2	
	4～6年生	1,157	74.0	59.3	63.9	8.6	25.7	35.9	0.9	6.5	0.3	
	無回答	20	80.0	60.0	55.0	10.0	35.0	35.0	-	5.0	-	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	69.8	60.4	58.5	7.4	38.7	29.8	0.7	5.5	0.3	
	パート・アルバイト等で就労	981	79.5	62.8	68.2	10.4	32.8	38.1	0.9	7.1	0.2	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	83.3	64.3	70.9	11.0	3.2	38.6	1.5	8.6	0.2	
	これまで就労したことがない	63	82.5	54.0	61.9	7.9	1.6	34.9	3.2	9.5	-	
	無回答	62	62.9	54.8	59.7	9.7	4.8	48.4	33.9	-	8.1	-
世帯分類別	三世帯	117	84.6	74.4	62.4	7.7	29.9	35.0	29.1	1.7	4.3	-
	核家族	1981	84.0	60.9	66.3	9.9	25.8	36.6	31.9	0.8	7.0	0.3
	ひとり親	189	9.5	59.8	61.9	5.8	28.0	28.0	27.5	3.2	7.9	-
	ひとり親三世帯	38	5.3	81.6	47.4	13.2	36.8	34.2	39.5	-	15.8	-
	その他	38	63.2	57.9	65.8	13.2	34.2	36.8	36.8	-	5.3	-
	無回答	28	75.0	60.7	50.0	3.6	21.4	25.0	39.3	-	3.6	-

	標本数(人)	民生委員、児童委員、主任児童委員	子ども食堂などの地域の居場所活動のスタッフ	(子ども総合相談センター(えがお館))	民間の電話相談	インターネットや育児書で解決策を探す	その他	相談相手がいない	相談することがない	無回答	
全体	2,391	0.4	0.0	2.1	0.3	25.5	1.5	0.8	1.2	0.9	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	0.5	0.1	2.0	0.2	27.8	1.5	0.5	1.2	0.7
	4～6年生	1,157	0.3	-	2.2	0.3	23.4	1.5	1.1	1.3	1.0
	無回答	20	-	-	5.0	-	5.0	5.0	-	-	5.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	0.8	0.1	1.3	0.3	23.6	1.5	0.9	2.3	1.2
	パート・アルバイト等で就労	981	-	-	1.8	0.4	25.2	1.6	0.5	0.6	0.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	0.4	-	3.4	0.2	30.0	1.1	0.6	0.8	0.6
	これまで就労したことがない	63	1.6	-	6.3	-	25.4	-	-	-	1.6
	無回答	62	-	-	1.6	-	16.1	3.2	3.2	1.6	4.8
世帯分類別	三世帯	117	-	-	0.9	-	17.1	1.7	-	-	2.6
	核家族	1981	0.3	-	2.0	0.3	26.5	1.2	0.6	1.0	0.5
	ひとり親	189	0.5	0.5	4.8	0.5	25.4	4.8	3.2	3.2	2.1
	ひとり親三世帯	38	2.6	-	2.6	-	15.8	2.6	2.6	5.3	2.6
	その他	38	2.6	-	-	-	23.7	-	-	-	5.3
	無回答	28	-	-	3.6	-	7.1	3.6	-	7.1	3.6

(4) 父親の子育ての評価

問23 あなたのご家庭では、父親はどの程度子育てをしていますか。(○は1つ)

図表-262 父親の子育ての評価



父親の子育てについては、「十分とはいえないが、まあやっている」(47.1%)の割合が最も高く、次ぐ「十分にやっている」(26.0%)と合計した『やっている』(「十分にやっている」と「十分とはいえないが、まあやっている」の合計)は7割強(73.1%)となっている一方、『やっていない』(「かなり不足している」と「まったくやっていない」の合計)は2割強(22.2%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの学年別では、大きな違いはみられない。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労の場合、父親が子育てを「十分にやっている」(31.5%)の割合が他の就労状況と比べて高く、これまで就労したことがない場合、「十分にやっている」(14.8%)の割合が低くなっている。

図表－２６３ 母親の就労状況別 父親の子育ての評価 (単位：%)

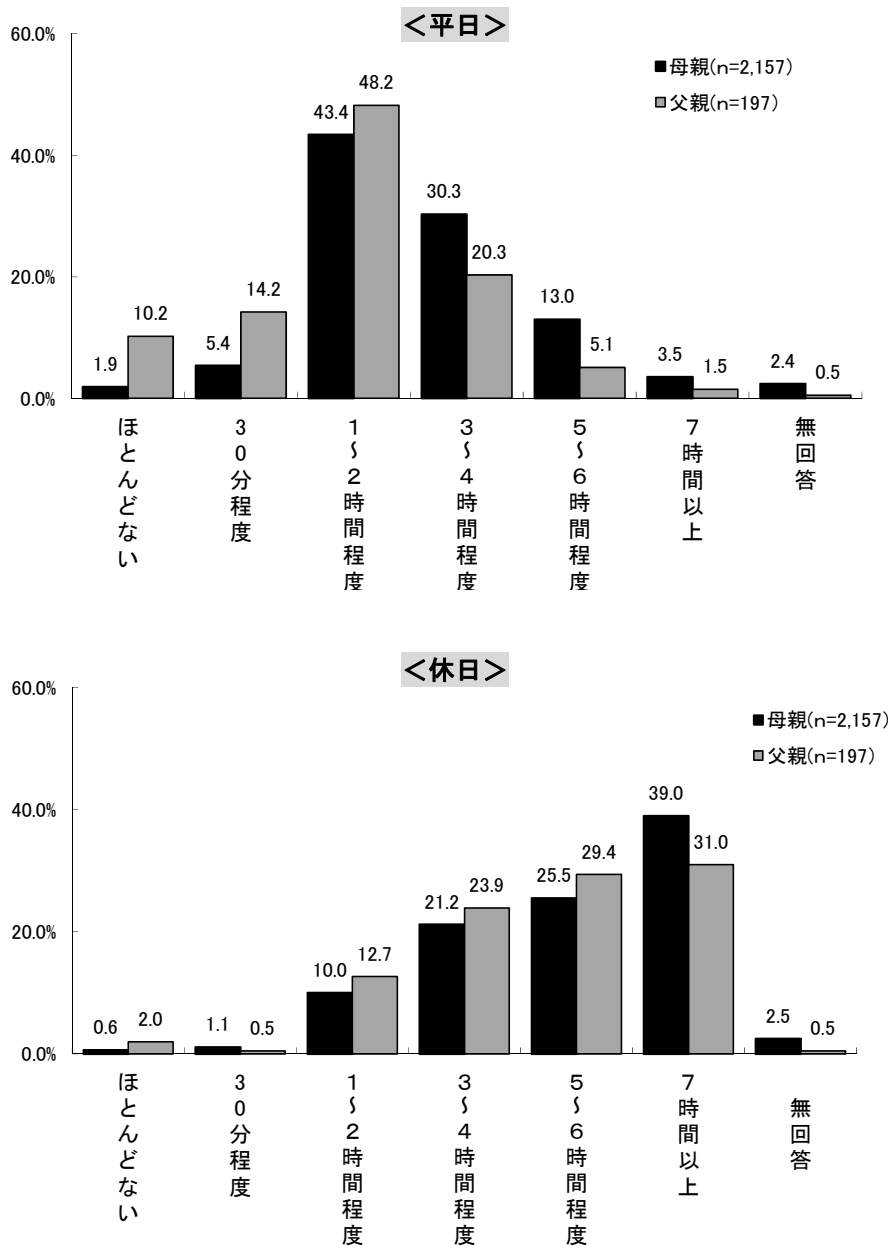
		標本数 (人)	十分に やっている	が十分 とまあ はいえ ない いる	かなり 不足 している	全く やって いない	無 回 答	『や っ て い る 』	『や っ て い な い 』
全 体		2,178	26.0	47.1	17.5	4.7	4.7	73.1	22.2
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	619	31.5	43.8	15.3	5.2	4.2	75.3	20.5
	パート・アルバイト等で就労	927	22.5	49.4	18.7	5.0	4.4	71.9	23.7
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	502	26.5	47.8	18.1	3.6	4.0	74.3	21.7
	これまで就労したことがない	61	14.8	52.5	23.0	4.9	4.9	67.3	27.9
	無回答	55	23.6	38.2	16.4	5.5	16.4	61.8	21.9

5. 子どもとのかかわり

(1) 子どもと過ごす時間

問25 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか。食事時間を含みます。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図表-264 記入者別 子どもと過ごす時間



平日に子どもと過ごす時間は、母親、父親ともに「1~2時間程度」の割合が4割台で最も高い。父親は「30分程度」(14.2%)や「ほとんどない」(10.2%)が母親に比べて高くなっている。休日に子どもと過ごす時間は、母親、父親ともに「7時間以上」が3~4割で最も高い。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、平日に子どもと過ごす時間は、就労している場合に比べて、就労していない場合に時間が長い傾向にある。休日に子どもと過ごす時間は、いずれの就業状況も「7時間以上」の割合が最も高いものの、就労していない場合の方が、就労している場合に比べて割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、平日に子どもと過ごす時間は、ひとり親三世代では他の世帯に比べて「5～6時間」（21.1％）の割合が高い。休日に子どもと過ごす時間は、ひとり親三世代では他の世帯に比べて「7時間以上」（50.0％）の割合が高い。

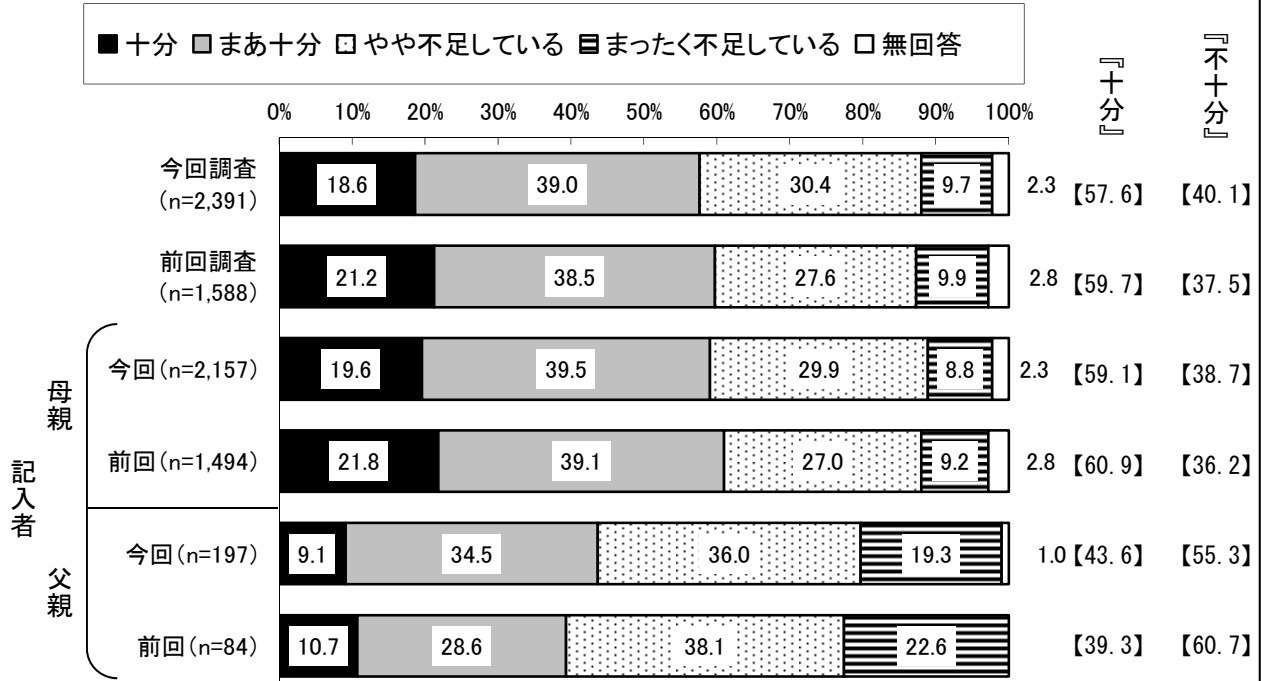
図表－265 母親の就労状況別・世帯分類別 子どもと過ごす時間（単位：％）

	標本数（人）	平日							休日							
		ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答	ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答	
全体	2,391	2.6	6.1	43.9	29.2	12.4	3.3	2.4	0.7	1.0	10.2	21.5	26.1	38.0	2.5	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	4.4	9.1	54.2	24.0	4.7	1.3	2.1	0.9	1.3	10.5	23.9	25.6	35.2	2.6
	パート・アルバイト等で就労	981	1.8	4.6	43.1	32.1	13.6	2.1	2.7	0.7	0.9	10.3	20.4	27.3	37.6	2.8
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	1.1	4.8	35.9	31.6	18.4	6.8	1.3	0.2	0.8	9.9	21.7	26.2	40.1	1.1
	これまで就労したことがない	63	1.6	7.9	19.0	33.3	23.8	12.7	1.6	-	1.6	9.5	12.7	20.6	54.0	1.6
	無回答	62	4.8	4.8	29.0	22.6	21.0	8.1	9.7	-	1.6	6.5	22.6	17.7	41.9	9.7
世帯分類別	三世代	117	2.6	10.3	45.3	29.9	7.7	4.3	-	-	-	14.5	24.8	21.4	38.5	0.9
	核家族	1,981	2.3	5.7	43.9	29.5	12.8	3.4	2.4	0.6	1.3	10.1	21.5	26.4	37.8	2.5
	ひとり親	189	6.9	9.0	42.3	27.0	10.1	3.2	1.6	2.6	-	10.6	19.0	24.9	40.7	2.1
	ひとり親三世代	38	2.6	7.9	42.1	21.1	21.1	2.6	2.6	-	-	2.6	23.7	21.1	50.0	2.6
	その他	38	-	5.3	50.0	26.3	10.5	2.6	5.3	-	-	10.5	18.4	34.2	31.6	5.3
無回答	28	-	3.6	42.9	32.1	10.7	-	10.7	-	-	3.6	28.6	28.6	28.6	10.7	

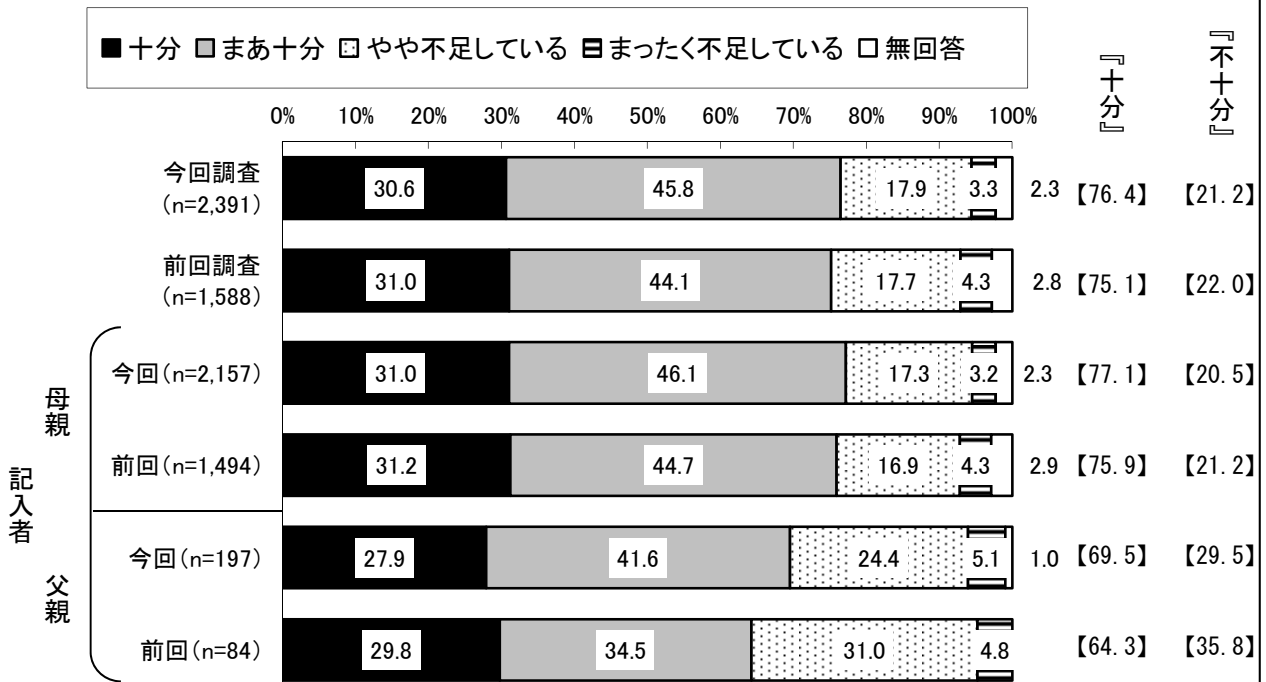
(2) 子どもと過ごす時間の評価

問26 あなたは、ご自分があて名のお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。
(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図表-266 子どもと過ごす時間の評価 (平日)



図表-267 子どもと過ごす時間の評価 (休日)



Ⅲ 小学生の保護者調査結果

平日に子どもと一緒に過ごす時間に対する評価は「まあ十分」(39.0%)の割合が最も高く、次いで「やや不足している」(30.4%)、「十分」(18.6%)となっており、『十分』(「十分」と「まあ十分」の合計)は57.6%となっている。

前回調査と比較すると、『十分』の割合はやや減少している。

記入者別にみると、父親の『十分』は母親の『十分』に比べて約16ポイント低くなっている。

世帯年収別にみると、200万円未満では他の世帯に比べて『不十分』(51.0%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合、『不十分』(「やや不足している」と「まったく不足している」の合計)の割合が63.8%となっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では『不十分』(ひとり親：60.9%、ひとり三世代：57.9%)の割合が高くなっている。

休日に子どもと一緒に過ごす時間に対する評価は「まあ十分」(45.8%)の割合が最も高く、次いで「十分」(30.6%)となっており、『十分』は76.4%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

記入者別にみると、父親の『十分』は母親の『十分』に比べて約8ポイント低くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は他の就労状況に比べて、『不十分』の割合(28.8%)が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では他の世帯に比べて『不十分』(33.4%)の割合が高くなっている。

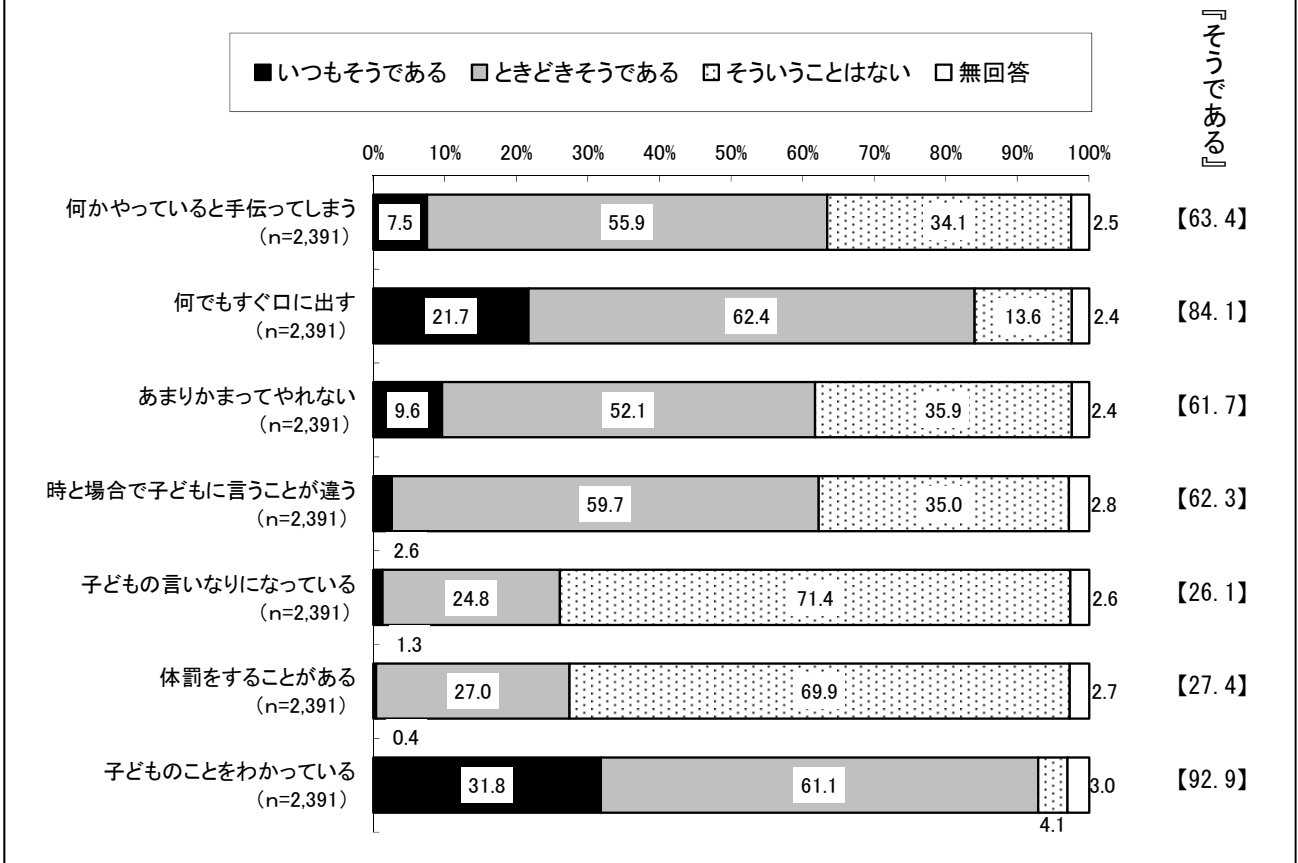
図表－268 世帯年収別・母親の就労状況別・世帯分類別 子どもと過ごす時間の評価(単位：%)

	標本数(人)	平日							休日							
		十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不十分』	十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不十分』	
全体	2,391	18.6	39.0	30.4	9.7	2.3	57.6	40.1	30.6	45.8	17.9	3.3	2.3	76.4	21.2	
世帯年収別	200万円未満	149	19.5	26.8	40.9	10.1	2.7	46.3	51.0	28.2	45.6	18.8	4.7	2.7	73.8	23.5
	200～300万円未満	155	12.3	37.4	31.6	16.1	2.6	49.7	47.7	23.2	46.5	21.3	6.5	2.6	69.7	27.8
	300～400万円未満	244	18.0	34.8	31.6	13.5	2.0	52.8	45.1	27.9	44.7	20.9	4.5	2.0	72.6	25.4
	400～500万円未満	269	14.9	41.6	32.0	8.9	2.6	56.5	40.9	26.8	48.0	20.4	2.2	2.6	74.8	22.6
	500～700万円未満	631	18.5	40.6	30.6	7.4	2.9	59.1	38.0	30.6	46.6	16.6	3.3	2.9	77.2	19.9
	700～1000万円未満	572	20.3	40.2	26.6	11.0	1.9	60.5	37.6	33.9	44.4	16.4	3.3	1.9	78.3	19.7
	1000万円以上	303	22.1	41.6	28.7	6.3	1.3	63.7	35.0	36.6	44.2	16.2	1.7	1.3	80.8	17.9
無回答	68	17.6	38.2	33.8	7.4	2.9	55.8	41.2	22.1	52.9	20.6	1.5	2.9	75.0	22.1	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	7.1	26.8	43.8	20.0	2.3	33.9	63.8	21.7	47.1	22.4	6.4	2.3	68.8	28.8
	パート・アルバイト等で就労	981	17.7	47.3	27.1	5.3	2.5	65.0	32.4	29.7	48.8	17.1	1.8	2.5	78.5	18.9
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	31.7	42.8	20.5	4.0	1.0	74.5	24.5	40.9	41.8	14.3	2.1	1.0	82.7	16.4
	これまで就労したことがない	63	47.6	28.6	19.0	3.2	1.6	76.2	22.2	54.0	30.2	12.7	1.6	1.6	84.2	14.3
	無回答	62	27.4	35.5	19.4	8.1	9.7	62.9	27.5	41.9	30.6	14.5	3.2	9.7	72.5	17.7
世帯分類別	三世代	117	21.4	31.6	38.5	8.5	-	53.0	47.0	32.5	41.9	21.4	4.3	-	74.4	25.7
	核家族	1,981	19.3	41.0	28.6	8.6	2.4	60.3	37.2	32.1	45.5	16.9	3.1	2.4	77.6	20.0
	ひとり親	189	14.3	23.3	41.3	19.6	1.6	37.6	60.9	21.2	43.9	26.5	6.9	1.6	65.1	33.4
	ひとり親三世代	38	5.3	34.2	34.2	23.7	2.6	39.5	57.9	15.8	60.5	21.1	-	2.6	76.3	21.1
	その他	38	13.2	42.1	34.2	5.3	5.3	55.3	39.5	21.1	60.5	13.2	-	5.3	81.6	13.2
	無回答	28	7.1	35.7	42.9	7.1	7.1	42.8	50.0	10.7	57.1	25.0	-	7.1	67.8	25.0

(3) 日ごろのしつけ（態度）

問27 お子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ（態度）はどのようにされていますか。（①～⑦について、それぞれに○は1つずつ）

図表－269 日ごろのしつけ（態度）



子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について、「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた『そうである』の割合が最も高いのは、「子どものことをわかっている」で9割を超えている。次いで、「何でもすぐ口に出す」(84.1%)、「何かやっていると手伝ってしまう」(63.4%)、「時と場合で子どもに言うことが違う」(62.3%)、「あまりかまってやれない」(61.7%)となっている。

学年別にみると、1～3年生では、「体罰をすることがある」について『そうである』割合が4～6年生に比べてやや高くなっている。

図表－270 子どもの学年別 日ごろのしつけ（態度）（『そうである』の割合）

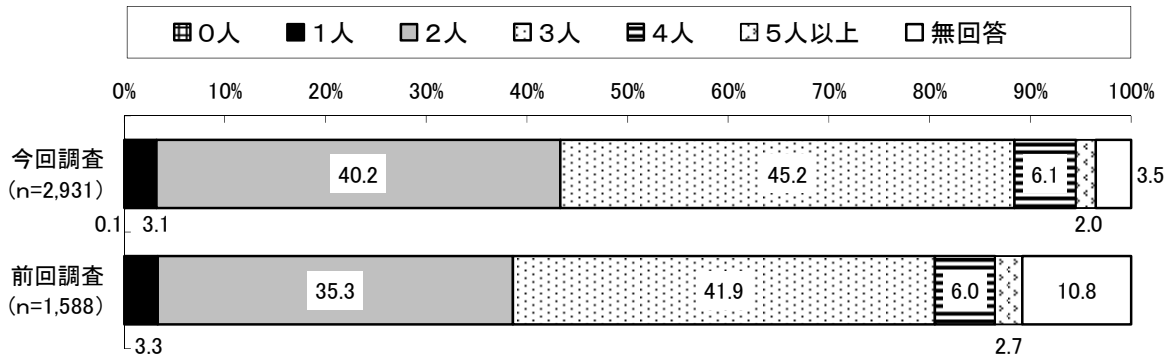
学年別	標本数 (人)	何かやっていると手伝ってしまう (%)	何でもすぐ口に出す (%)	あまりかまってやれない (%)	時と場合で子どもに言う (%)	子どもの言いなりになっている (%)	体罰をすることがある (%)	子どものことをわかっている (%)
全体	2,391	63.4	84.1	61.7	62.3	26.1	27.4	92.9
1～3年生	1,214	64.4	84.7	62.8	62.0	25.3	29.3	93.3
4～6年生	1,157	62.4	83.4	60.4	62.6	27.0	25.3	92.8
無回答	20	65.0	80.0	65.0	55.0	15.0	35.0	80.0

6. 理想的な子どもの数と実際に予定している子どもの数

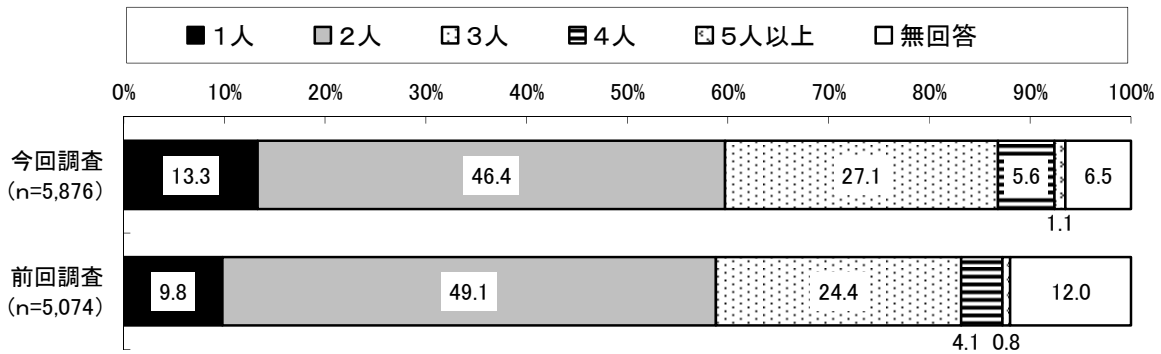
(1) 理想的な子どもの数と実際に予定している子どもの数

問44 あなたにとって、理想的な子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図表－271 理想的な子どもの数



図表－272 実際に予定している子どもの数



理想的な子どもの数は「3人」(45.2%)の割合が最も高く約半数を占め、次いで「2人」(40.2%)となっている。

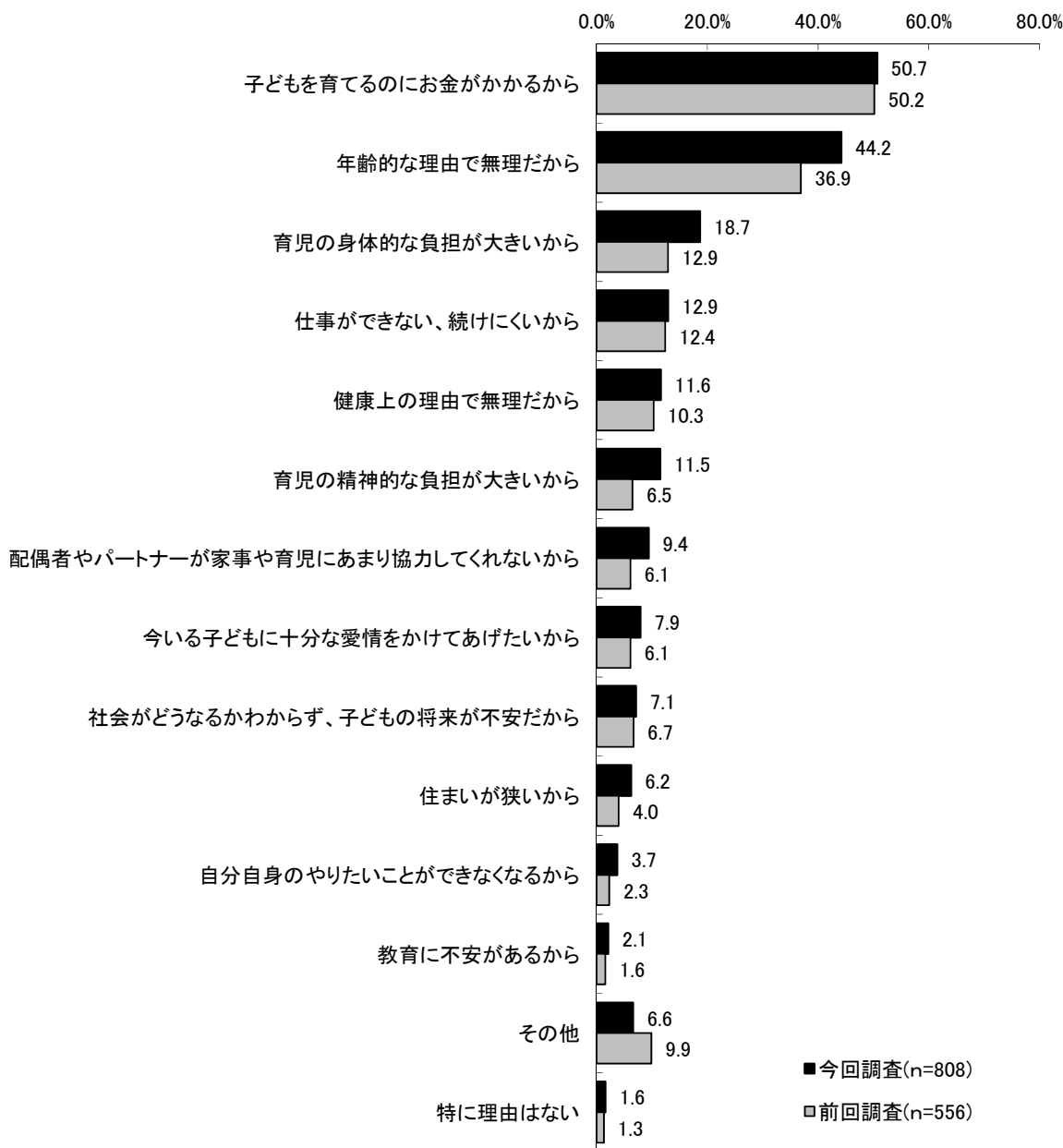
前回調査と比較すると、「2人」の割合が約5ポイント増加している。

実際に予定している子どもの数は「2人」(46.4%)が約半数を占め、次いで「3人」(27.1%)となっており、ほしいと思っている子どもの数より少なくなっている。

(2) 理想より実際の子ども数が少ない理由

問44-1 【問44で、理想的な子どもの数よりも実際に予定している子どもの数が少ない方にうかがいます。】その理由は何ですか。(〇は2つまで)

図表-273 理想より実際の子ども数が少ない理由



理想の子どもの数より実際に予定している子どもの数が少ない人に、その理由をたずねたところ、「子どもを育てるのにお金がかかるから」(50.7%)の割合が半数を占めている。次いで「年齢的な理由で無理だから」(44.2%)、「育児の身体的な負担が大きいから」(18.7%)、「仕事ができない、続けにくいから」(12.9%)の順になっている。

前回調査と比べると、「年齢的な理由で無理だから」の割合が約7ポイント増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて1～3年生では、「育児の身体的な負担が大きいから」（21.5％）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、就労している場合は、就労していない場合に比べて「子どもを育てるのにお金がかかるから」の割合が高い。フルタイムで就労している場合は、他の就労状況に比べて、「仕事ができない、続けにくいから」（24.0％）の割合が高くなっている。

図表－２７４ 子どもの学年別・母親の就労状況別
理想より実際に予定している子どもの数が少ない理由（単位：％）

		標本数（人）	大きいから 育児の身体的な負担が	大きいから 育児の精神的な負担が	力配偶者やパートナー協 してや育児にあまり協	か年 から 年齢的な理由で無理だ	か健康 上の理由で無理だ	と自分 自身 のやり たいこ	住まい が狭い から	金 子ども を育て るのに お
全体		808	18.7	11.5	9.4	44.2	11.6	3.7	6.2	50.7
子どもの 学年別	1～3年生	433	21.5	12.9	10.2	44.1	10.6	4.2	4.8	52.0
	4～6年生	368	15.5	10.1	8.7	44.3	13.0	3.3	7.6	48.9
	無回答	7	14.3	-	-	42.9	-	-	14.3	71.4
母親の 就労 状況別	フルタイムで就労	267	18.7	13.9	9.0	40.4	11.6	2.6	6.0	47.9
	パート・アルバイト等で就労	328	17.7	8.5	9.1	45.4	8.5	4.9	8.5	58.8
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	171	22.2	15.2	10.5	49.1	17.5	4.1	2.3	40.4
	これまで就労したことがない	17	5.9	11.8	-	52.9	17.6	-	-	23.5
	無回答	17	17.6	-	11.8	41.2	11.8	-	5.9	70.6
		標本数（人）	く仕事 ができ ない、 続け に	教育 に不安 がある から	だ社 から会 がど うな るか わら 不安	情今 をい る子 ども にあ げたい 十分 な愛	そ の 他	特 に理 由は ない	無 回 答	
全体		808	12.9	2.1	7.1	7.9	6.6	1.6	1.1	
子どもの 学年別	1～3年生	433	13.6	2.1	8.1	8.3	5.5	1.4	1.2	
	4～6年生	368	11.7	2.2	5.7	7.6	7.9	1.9	1.1	
	無回答	7	28.6	-	14.3	-	-	-	-	
母親の 就労 状況別	フルタイムで就労	267	24.0	1.5	8.2	6.7	9.0	1.1	0.7	
	パート・アルバイト等で就労	328	9.8	3.0	6.4	9.1	4.3	1.5	1.2	
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	171	4.1	1.8	6.4	7.6	6.4	1.8	1.2	
	これまで就労したことがない	17	5.9	-	5.9	5.9	17.6	5.9	-	
	無回答	17	-	-	5.9	11.8	-	-	-	

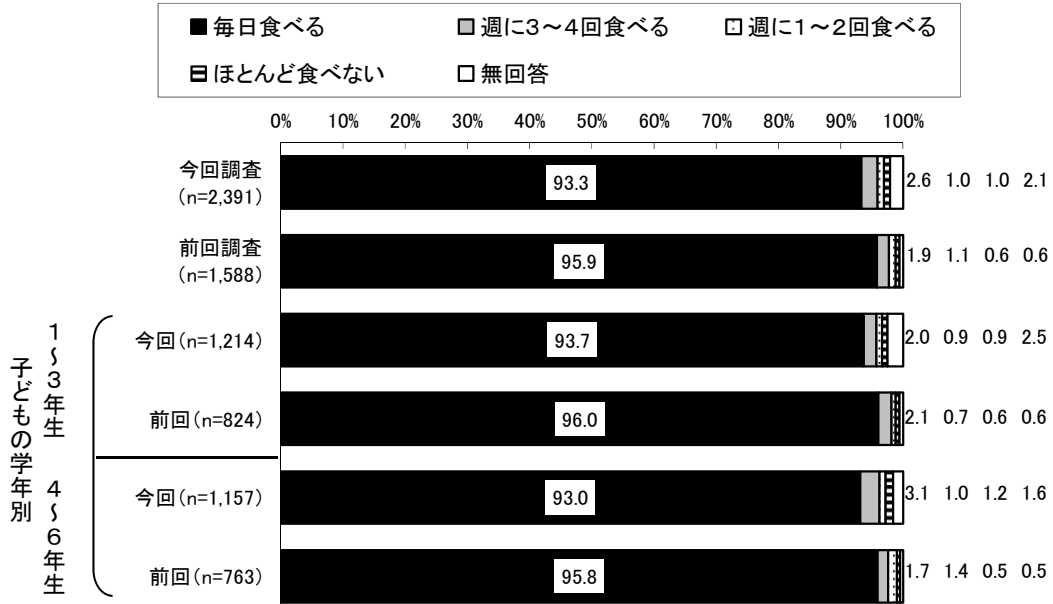
第5章 子どもの日ごろの生活や居場所

1. 子どもの日ごろの生活

(1) 朝食の状況

問28 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

図表-275 朝食の状況



朝食の状況については、「毎日食べる」(93.3%)が大半を占めている。子どもの学年別でも違いはみられない。

世帯年収別にみると、200万円未満では他の世帯に比べて「毎日食べる」(200万円未満:85.9% 200〜300万円未満:89.7%)の割合がやや低くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べて「毎日食べる」(87.8%)の割合がやや低くなっている。

図表-276 世帯分類別 朝食の状況 (単位: %)

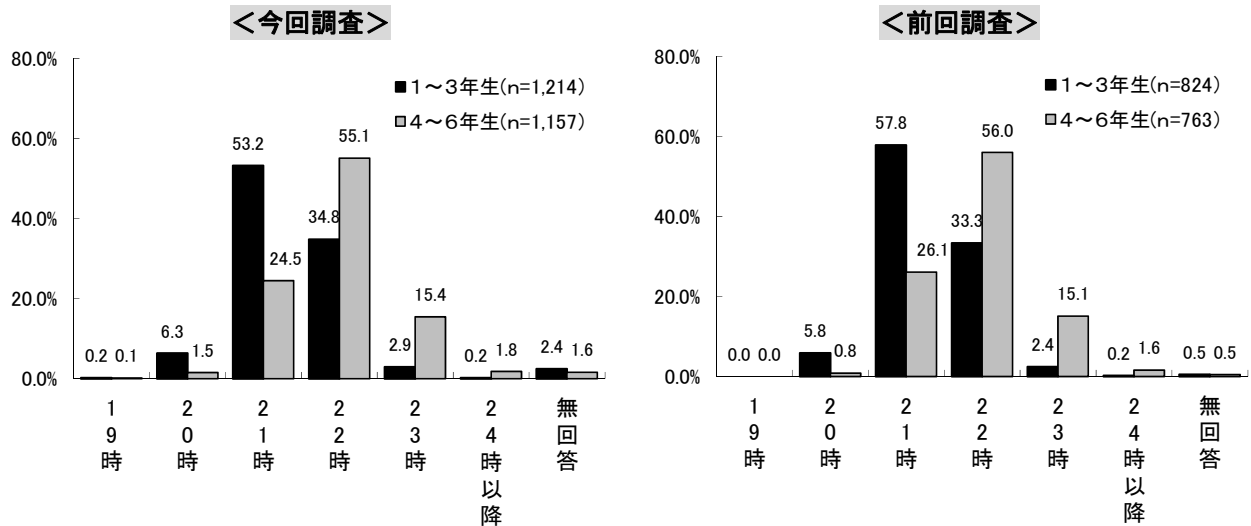
	標本数(人)	毎日食べる	週に3〜4回食べる	週に1〜2回食べる	ほとんど食べない	無回答	
全体	2,391	93.3	2.6	1.0	1.0	2.1	
世帯年収別	200万円未満	149	85.9	6.0	2.0	3.4	2.7
	200〜300万円未満	155	89.7	3.2	1.9	2.6	2.6
	300〜400万円未満	244	91.8	4.5	1.6	0.4	1.6
	400〜500万円未満	269	91.1	3.7	0.7	1.9	2.6
	500〜700万円未満	631	94.0	1.9	0.6	0.6	2.9
	700〜1000万円未満	572	96.5	0.7	0.9	0.3	1.6
	1000万円以上	303	94.7	2.6	0.7	1.0	1.0
	無回答	68	92.6	2.9	-	1.5	2.9
世帯分類別	三世帯	117	92.3	1.7	4.3	0.9	0.9
	核家族	1,981	94.1	2.1	0.7	1.0	2.1
	ひとり親	189	87.8	6.9	1.6	2.1	1.6
	ひとり親三世帯	38	94.7	-	2.6	-	2.6
	その他	38	84.2	5.3	2.6	2.6	5.3
無回答	28	85.7	7.1	-	-	7.1	

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

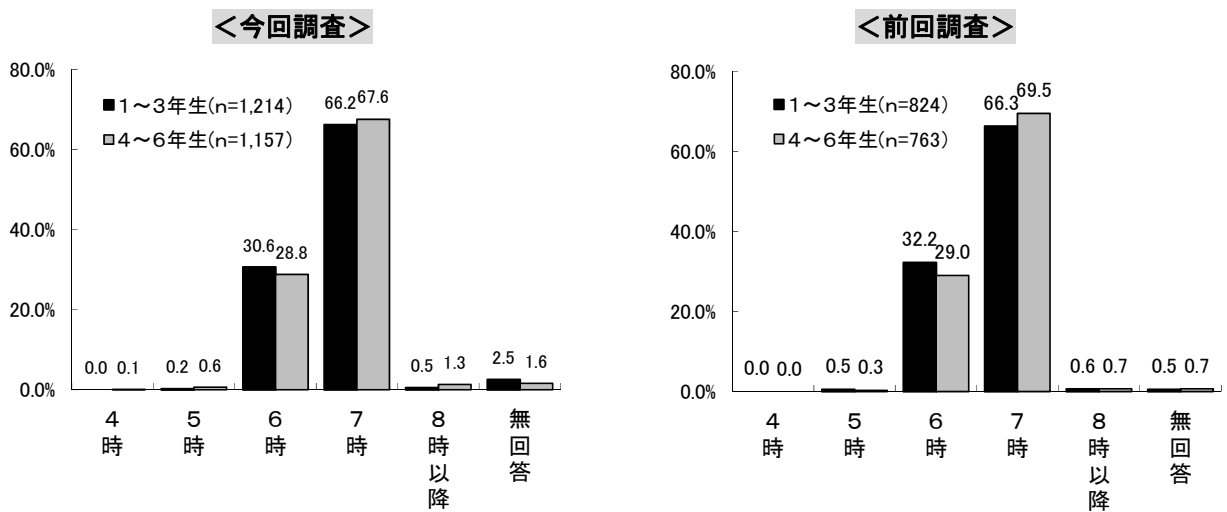
(2) 子どもの就寝時刻と起床時刻

問29 ふつう、あて名のお子さんが寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。(枠内に数字を記入)

図表－ 2 7 7 就寝時刻



図表－ 2 7 8 起床時刻



子どもの就寝時刻は、1～3年生では「21時」(53.2%)の割合が最も高く、次いで「22時」(34.8%)、4～6年生では「22時」(55.1%)の割合が最も高く、次いで「21時」(24.5%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

起床時刻については、1～3年生では「7時」(66.2%)の割合が最も高く、次いで「6時」(30.6%)、4～6年生では「7時」(67.6%)の割合が最も高く、次いで「6時」(28.8%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

母親の就労状況別にみると、就寝時間については母親がフルタイムで就労している場合に22時以降の割合がやや高くなっている。起床時間については、母親の就労状況別で大きな違いはみられなかった。

図表－279 母親の就労状況別 就寝時間・起床時間（単位：％）

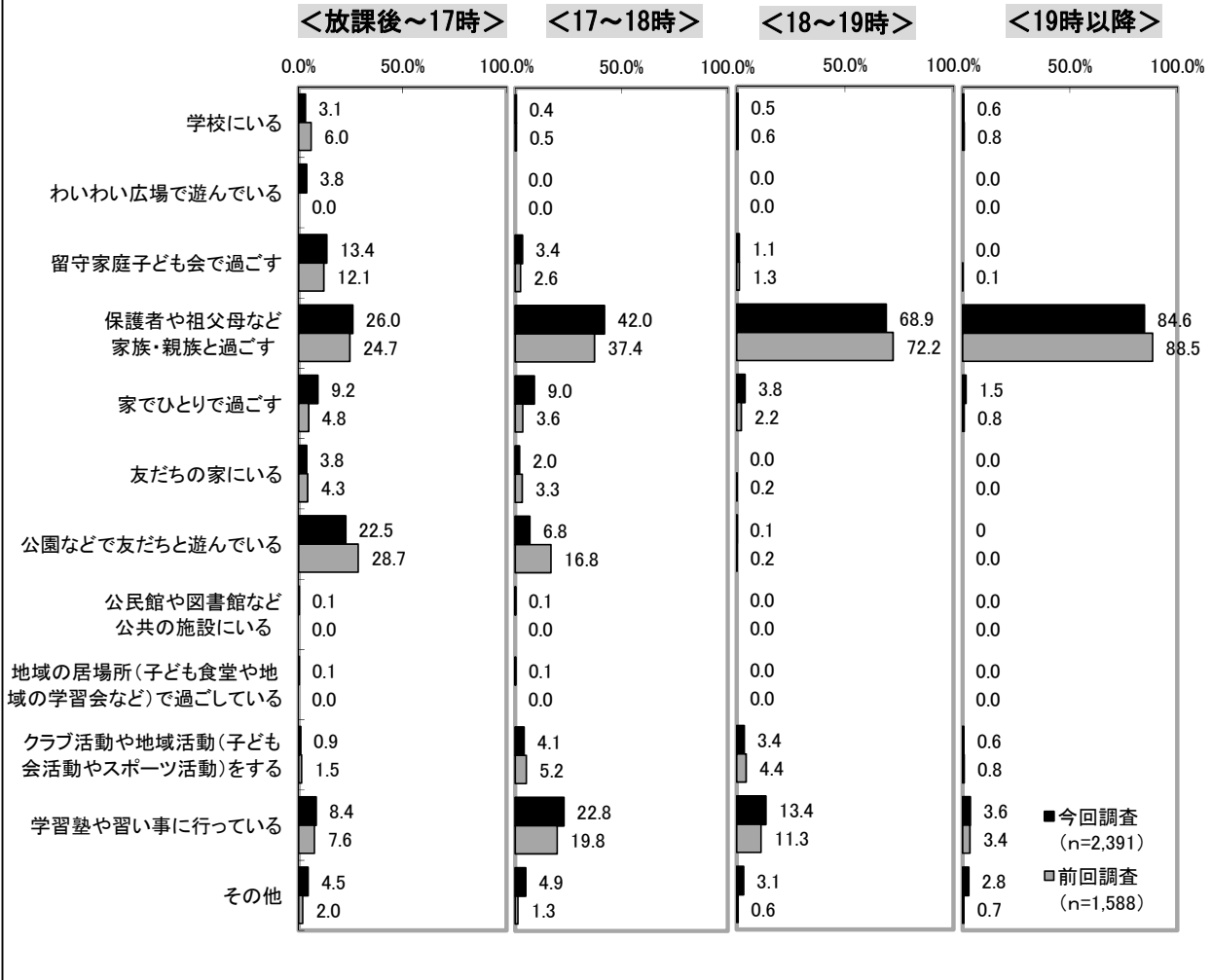
	標本数 (人)	就寝時間							起床時間						
		19時	20時	21時	22時	23時	24時以降	無回答	4時	5時	6時	7時	8時以降	無回答	
全体	2,391	0.1	4.1	39.1	44.6	9.0	1.0	2.1	0.004	0.4	29.7	66.8	0.9	2.1	
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	745	0.1	2.8	32.9	50.5	9.8	1.5	2.4	0.1	0.4	28.6	67.8	0.7	2.4
	パート・アルバイト等で就労	981	0.2	3.6	40.6	44.0	9.0	0.6	2.0	-	0.4	29.4	67.3	0.9	2.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	526	-	6.7	45.2	38.8	8.0	0.6	0.8	-	0.4	32.9	64.8	1.0	1.0
	これまで就労したことがない	63	-	4.8	44.4	38.1	6.3	3.2	3.2	-	-	23.8	71.4	1.6	3.2
	無回答	62	-	3.2	37.1	38.7	9.7	3.2	8.1	-	-	32.3	58.1	1.6	8.1

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(3) 平日の放課後の過ごし方

問30 平日の放課後、あて名のお子さんは、主にどのように過ごされていますか。(時間帯ごとに、最も多いものをそれぞれ1つずつ選び、下の表に番号を記入)

図表-280 平日の放課後の過ごし方



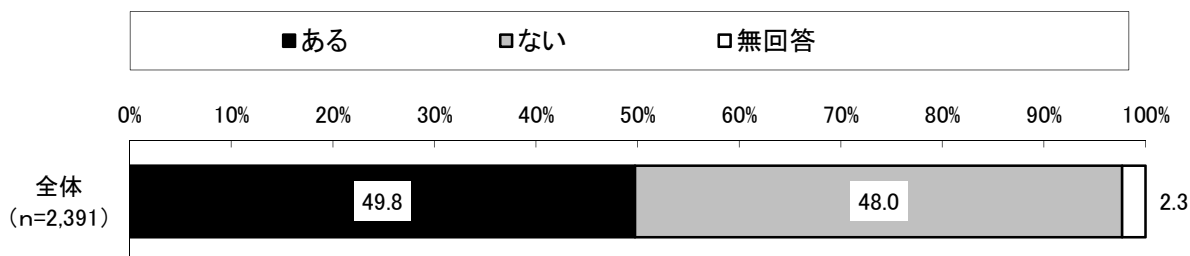
平日の放課後の過ごし方は、いずれの時間帯も「保護者や祖父母など家族・親族と過ごす」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「公園などで友だちと遊んでいる」の割合が、放課後～17時では約6ポイント減少、17～18時では10ポイント減少している。

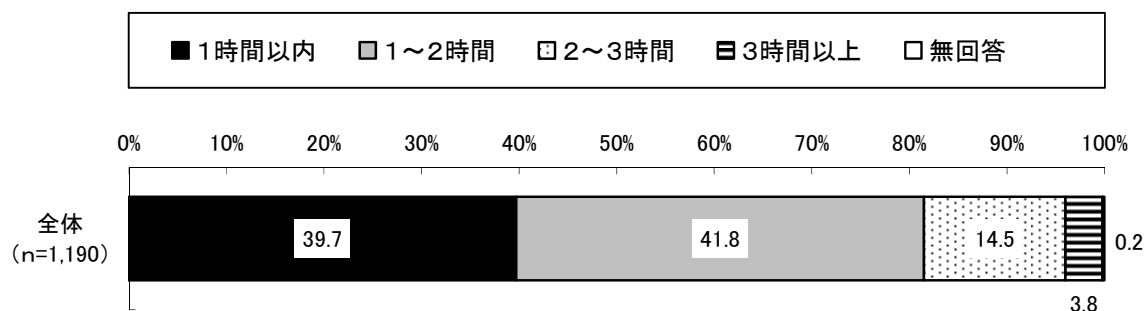
(4) 放課後の留守番状況

問31 お子さんは、通常、放課後に子どもだけ（きょうだい含む）で留守番をすることがありますか。（○は1つ）

図表-281 放課後に子どもだけで留守番をすることの有無



図表-282 子どもだけで留守番をする時間



放課後に子どもだけで留守番をすることが「ある」と回答した人の割合は49.8%であった。留守番をする時間は「1～2時間」（41.8%）の割合が最も多く、次いで「1時間」（39.7%）、「2～3時間」（14.5%）となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、1～3年生に比べて4～6年生では、子どもだけで留守番をすることが「ある」(58.1%)の割合が高く、留守番時間も長い傾向にある。

世帯年収別にみると、200万円未満では、留守番時間が1時間以上である割合(71.8%)が7割を超えており、他の世帯に比べて長い傾向にある。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は他の就労状況に比べて、子どもだけで留守番をしたことが「ある」(62.3%)の割合が高く、留守番の時間も長い傾向にある。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べて、子どもだけで留守番をしたことが「ある」(65.1%)の割合が高く、留守番の時間も長い傾向にある。

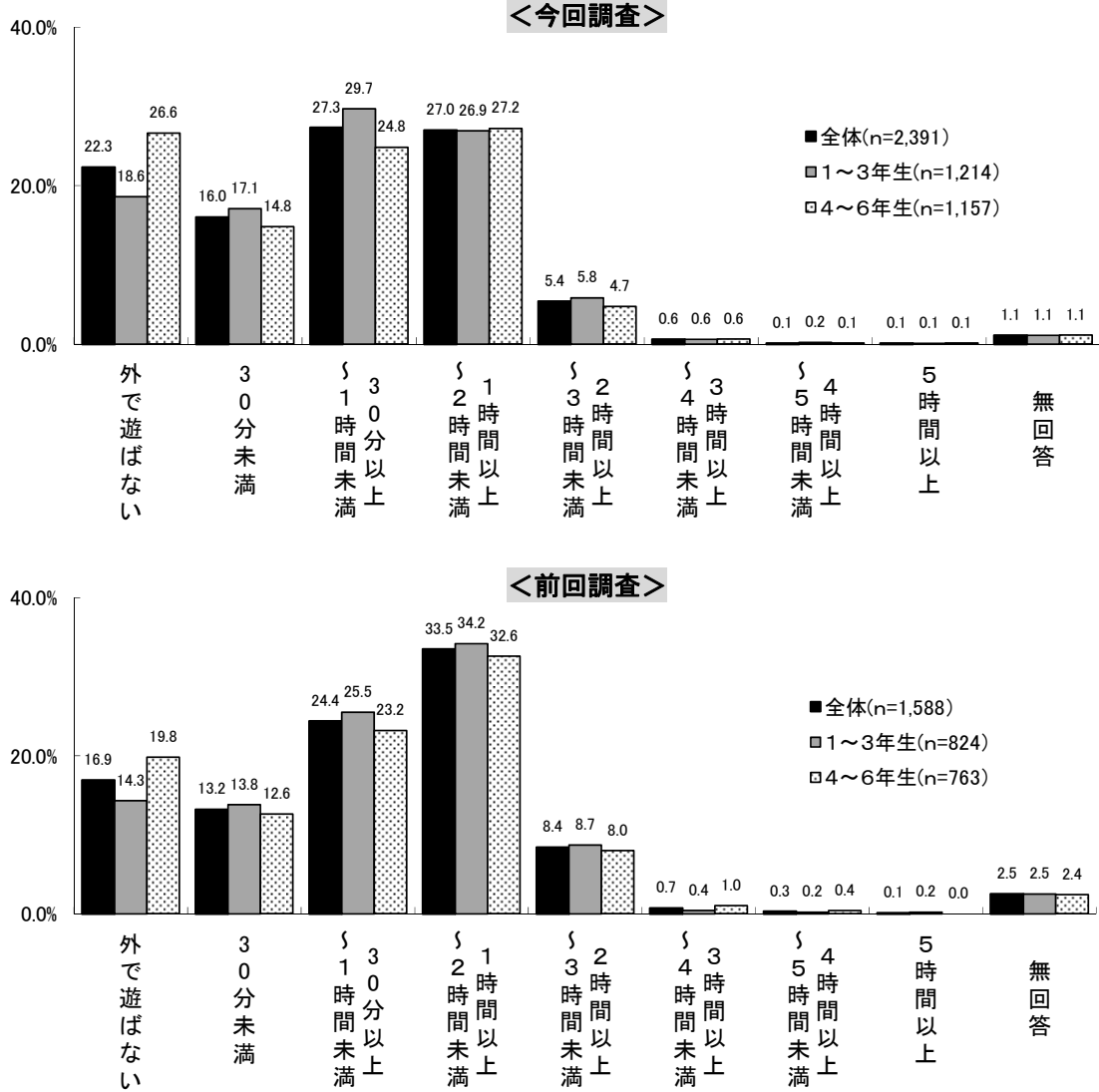
図表－２８３ 子どもの学年別・母親の就労状況別・世帯分類別
子どもだけで留守番をすることの有無・時間(単位：%)

	標本数(人)	留守番の有無			標本数(人)	留守番の時間					
		ある	ない	無回答		1時間以内	1～2時間	2～3時間	3時間以上	無回答	
全体	2,391	49.8	48.0	2.3	1,190	39.7	41.8	14.5	3.8	0.2	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	41.7	55.8	2.6	506	48.4	37.5	10.9	3.2	-
	4～6年生	1,157	58.1	40.1	1.8	672	33.3	45.1	17.3	4.0	0.3
	無回答	20	60.0	30.0	10.0	12	33.3	41.7	8.3	16.7	-
世帯年収別	200万円未満	149	52.3	44.3	3.4	78	28.2	48.7	15.4	7.7	-
	200～300万円未満	155	54.8	42.6	2.6	85	34.1	36.5	24.7	4.7	-
	300～400万円未満	244	46.7	50.8	2.5	114	36.8	39.5	16.7	6.1	0.9
	400～500万円未満	269	52.8	45.0	2.2	142	44.4	38.0	14.1	3.5	-
	500～700万円未満	631	49.9	47.2	2.9	315	41.3	42.2	15.2	1.3	-
	700～1000万円未満	572	50.0	48.4	1.6	286	39.9	45.5	11.2	3.5	-
	1000万円以上	303	46.2	52.8	1.0	140	45.7	37.1	11.4	5.0	0.7
無回答	68	44.1	51.5	4.4	30	30.0	50.0	13.3	6.7	-	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	62.3	35.0	2.7	464	19.8	47.4	26.1	6.7	-
	パート・アルバイト等で就労	981	55.4	42.3	2.3	543	49.5	40.0	8.3	1.8	0.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	27.9	71.3	0.8	147	65.3	32.0	2.0	0.7	-
	これまで就労したことがない	63	14.3	84.1	1.6	9	44.4	55.6	-	-	-
	無回答	62	32.3	59.7	8.1	20	50.0	35.0	5.0	10.0	-
世帯分類別	三世帯	117	22.2	76.9	0.9	26	34.6	50.0	11.5	3.8	-
	核家族	1,981	50.9	46.9	2.2	1,008	42.0	42.1	12.8	3.0	0.2
	ひとり親	189	65.1	33.3	1.6	123	21.1	41.5	28.5	8.9	-
	ひとり親三世帯	38	15.8	81.6	2.6	6	66.7	16.7	-	16.7	-
	その他	38	26.3	65.8	7.9	10	50.0	30.0	20.0	-	-
	無回答	28	60.7	32.1	7.1	17	35.3	35.3	17.6	11.8	-

(5) 平日に外で遊ぶ時間

問32 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、外で遊びますか。(平日・休日それぞれに○は1つつつ)

図表-284 平日に外で遊ぶ時間



平日に外で遊ぶ時間は、「30分以上～1時間未満」(27.3%)と「1時間以上～2時間未満」(27.0%)の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「外で遊ばない」の割合がいずれの学年でもやや増加している。

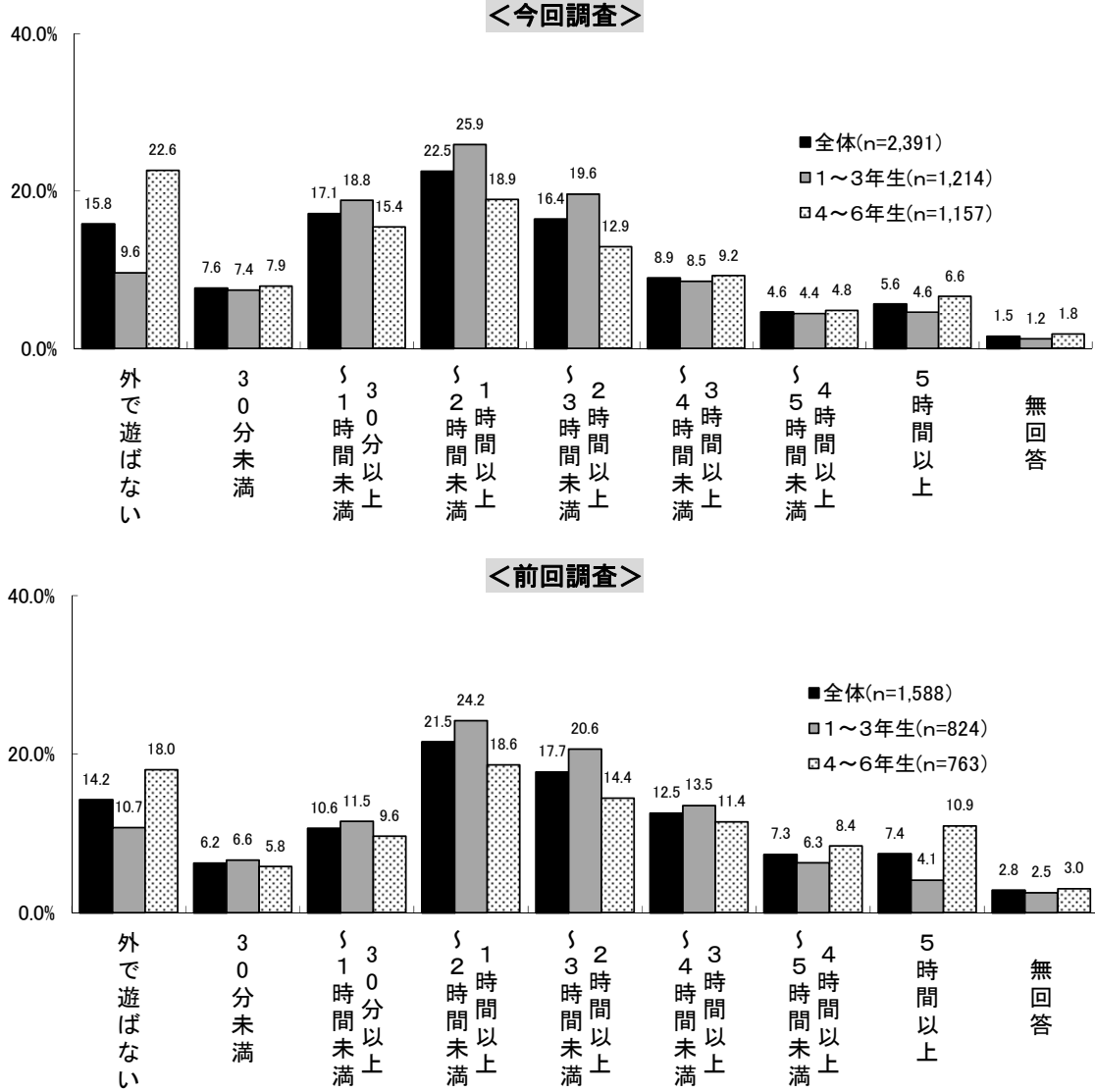
子どもの学年別にみると、1～3年生は「30分以上～1時間未満」(29.7%)の割合が最も高く、4～6年生は「1時間以上～2時間未満」(27.2%)と「外で遊ばない」(26.6%)が同程度となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(6) 休日に外で遊ぶ時間

問32 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、外で遊びますか。(平日・休日それぞれに○は1つつ)

図表-285 休日に外で遊ぶ時間



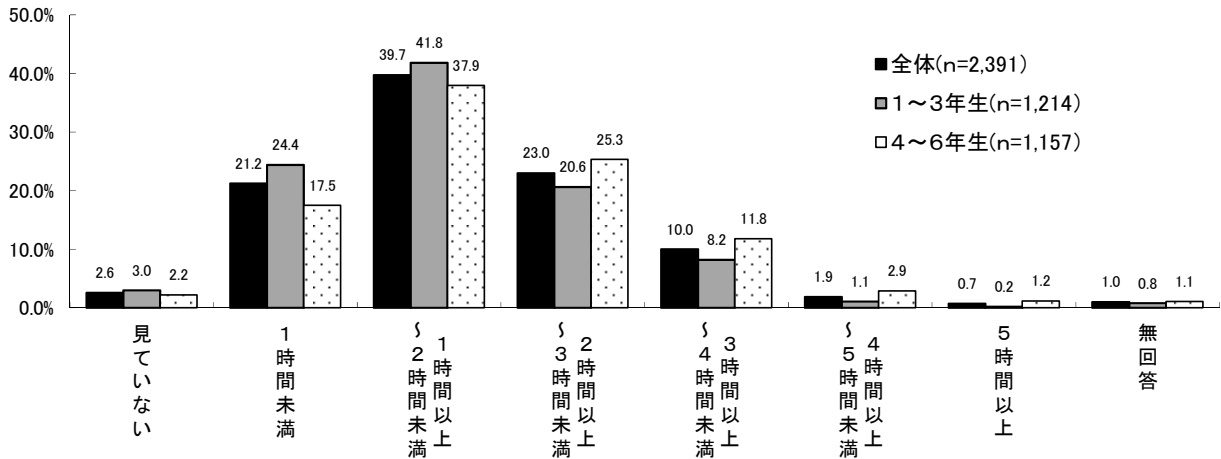
休日に外で遊ぶ時間は、「1時間以上～2時間未満」(22.5%)の割合が高くなっている。前回調査と比較すると、4～6年生の「外で遊ばない」の割合が約5ポイント増加している。子どもの学年別にみると、1～3年生では「1時間以上～2時間未満」(25.9%)の割合が最も高く、4～6年生では「外で遊ばない」(22.6%)の割合が最も高い。

(7) 平日にテレビ等を見る時間

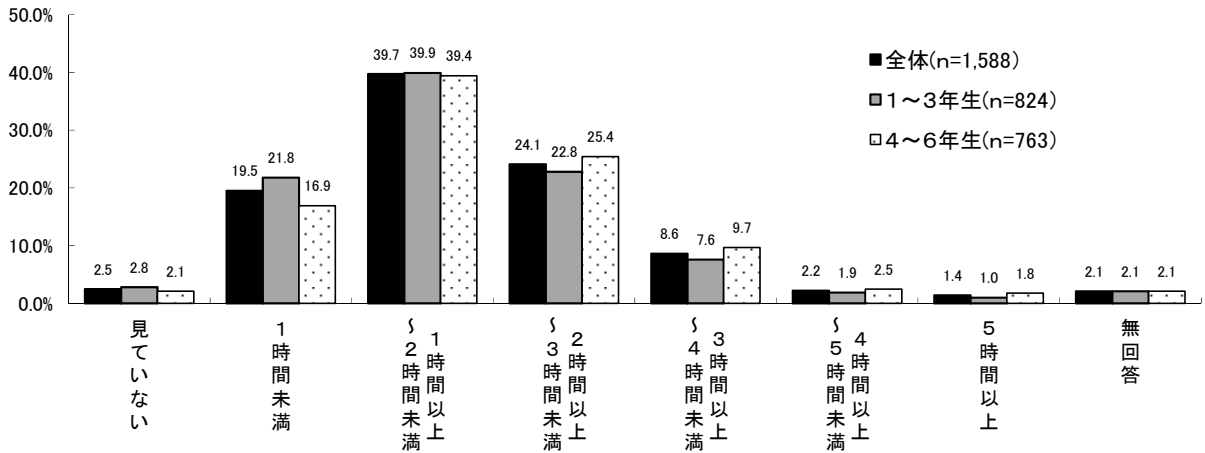
問36 お子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビやDVD、動画などを見ていますか。スマホやタブレットを見たりゲームをしている時間も含まれます。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図表-286 平日にテレビ等を見る時間

<今回調査>



<前回調査>



平日にテレビ等を見る時間は、「1時間以上～2時間未満」(39.7%)の割合が高く、次いで「2時間以上～3時間未満」(23.0%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの学年別にみると、1～3年生では「1時間以上～2時間未満」(41.8%)と「1時間未満」(24.4%)の割合が高く、4～6年生では「1時間以上～2時間未満」(37.9%)と「2時間以上～3時間未満」(25.3%)の割合が高くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、母親が就労していない場合は就労している場合より「1時間未満」の割合がやや高く、就労している場合は就労していない場合より「2時間以上～3時間未満」の割合がやや高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べて「3時間以上～4時間未満」(14.3%)の割合がやや高くなっている。

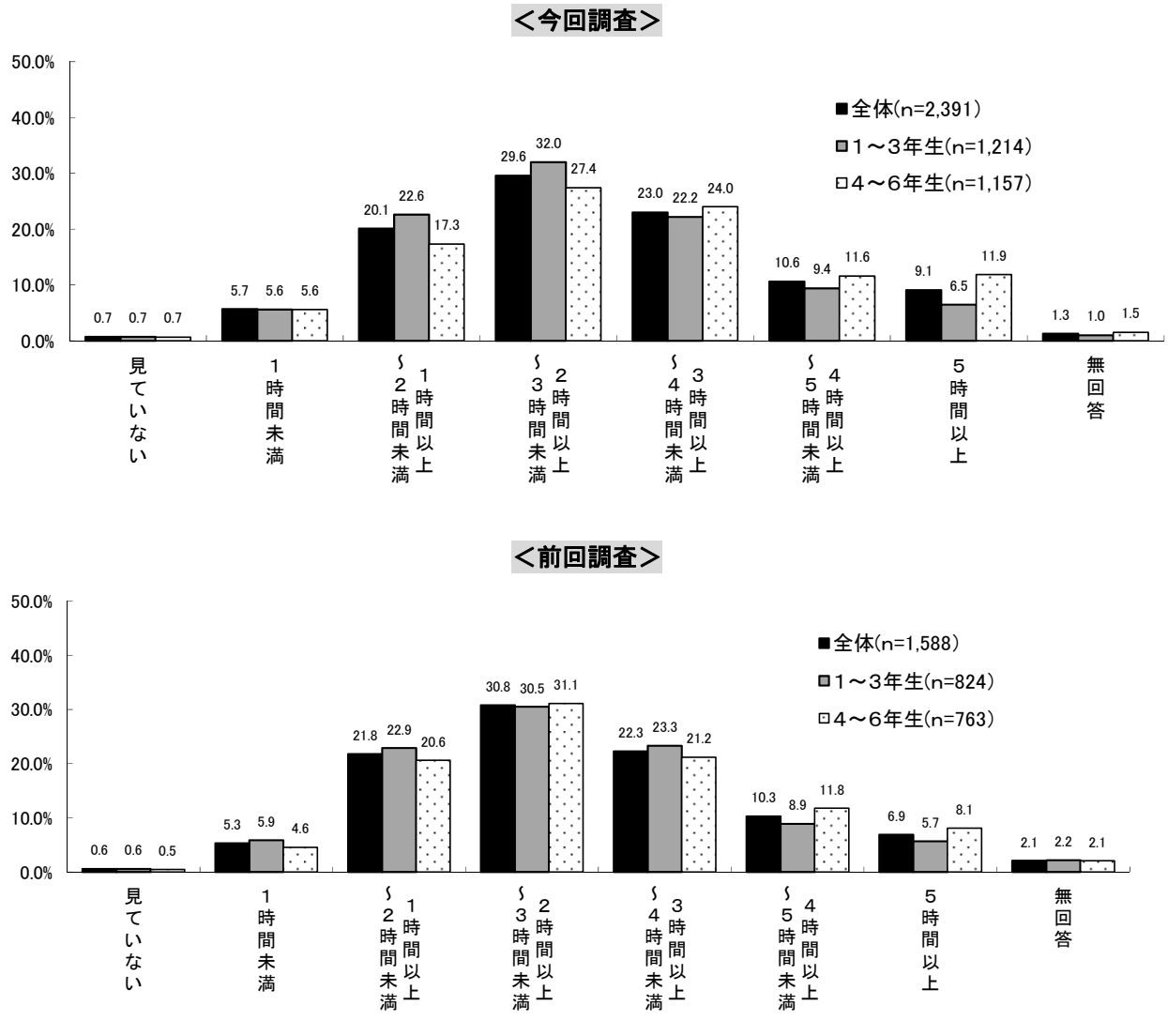
図表－２８７ 母親の就労状況別・世帯分類別 平日にテレビ等を見る時間（単位：％）

		標本数 (人)	見ていない	1時間未満	1時間2時間以上未満	2時間3時間以上未満	3時間4時間以上未満	4時間5時間以上未満	5時間以上	無回答
全体		2,391	2.6	21.2	39.7	23.0	10.0	1.9	0.7	1.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	2.3	18.1	39.7	26.2	9.8	2.1	0.9	0.8
	パート・アルバイト等で就労	981	2.5	20.0	40.4	23.2	10.6	1.9	0.3	1.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	3.2	27.9	38.2	19.2	8.9	1.5	0.6	0.4
	これまで就労したことがない	63	1.6	23.8	38.1	17.5	9.5	4.8	1.6	3.2
	無回答	62	3.2	17.7	43.5	19.4	8.1	-	3.2	4.8
世帯分類別	三世代	117	0.9	18.8	42.7	26.5	7.7	3.4	-	-
	核家族	1,981	2.5	22.1	40.4	22.4	9.5	1.6	0.6	0.9
	ひとり親	189	4.2	13.2	34.9	24.9	14.3	3.7	2.6	2.1
	ひとり親三世代	38	2.6	13.2	42.1	26.3	10.5	5.3	-	-
	その他	38	2.6	18.4	34.2	23.7	15.8	2.6	-	2.6
	無回答	28	3.6	32.1	17.9	32.1	10.7	-	-	3.6

(8) 休日にテレビ等を見る時間

問36 お子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビやDVD、動画などを見ていますか。スマホやタブレットを見たりゲームをしている時間も含まれます。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図表-288 休日にテレビ等を見る時間



休日にテレビ等を見る時間は、「2時間以上～3時間未満」(29.6%)の割合が高く、次いで「3時間以上～4時間未満」(23.0%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

子どもの学年別にみると、1～3年生では「2時間以上～3時間未満」(32.0%)と「1時間以上～2時間未満」(22.6%)の割合が高く、4～6年生では「2時間以上～3時間未満」(27.4%)と「3時間以上～4時間未満」(24.0%)の割合が高くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、就労している場合は2時間以上の割合が7割を超えており、就労していない場合より視聴時間がやや長くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯及びひとり親三世帯では他の世帯に比べて、視聴時間が2時間以上の割合がやや高くなっている。

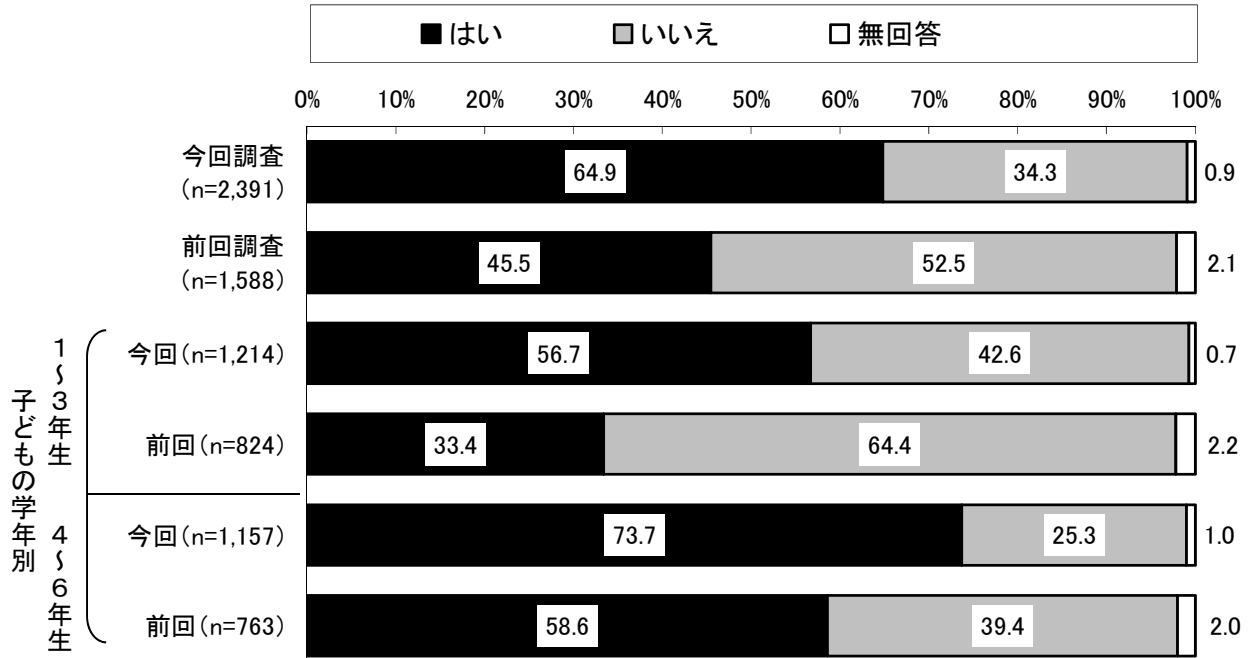
図表－２８９ 母親の就労状況別・世帯分類別 休日にテレビ等を見る時間（単位：％）

		標本数（人）	見ていない	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上5時間未満	5時間以上	無回答
全体		2,391	0.7	5.7	20.1	29.6	23.0	10.6	9.1	1.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	0.8	3.2	18.7	31.1	22.8	11.1	11.0	1.2
	パート・アルバイト等で就労	981	0.5	6.2	19.0	29.7	23.4	11.6	8.2	1.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	0.8	7.8	24.3	28.9	20.7	8.6	8.6	0.4
	これまで就労したことがない	63	－	3.2	25.4	15.9	33.3	6.3	12.7	3.2
	無回答	62	3.2	11.3	14.5	29.0	22.6	12.9	1.6	4.8
世帯分類別	三世帯	117	－	4.3	22.2	31.6	17.9	10.3	12.8	0.9
	核家族	1,981	0.8	5.8	20.3	30.0	23.5	10.1	8.4	1.1
	ひとり親	189	－	4.8	16.4	27.5	21.7	15.9	12.2	1.6
	ひとり親三世帯	38	－	5.3	10.5	31.6	28.9	5.3	15.8	2.6
	その他	38	5.3	2.6	23.7	18.4	23.7	5.3	15.8	5.3
	無回答	28	－	14.3	25.0	17.9	7.1	28.6	3.6	3.6

(9) 子どものインターネットの利用状況

問37 あて名のお子さんは、ご家庭でパソコンや携帯電話、スマートフォン、タブレットなどでインターネットを使っていますか。(○は1つ)

図表-290 子どものインターネットの利用状況



子どもがインターネットを利用しているかについては、「はい」の割合が64.9%となっており、前回調査より約20ポイント増加している。

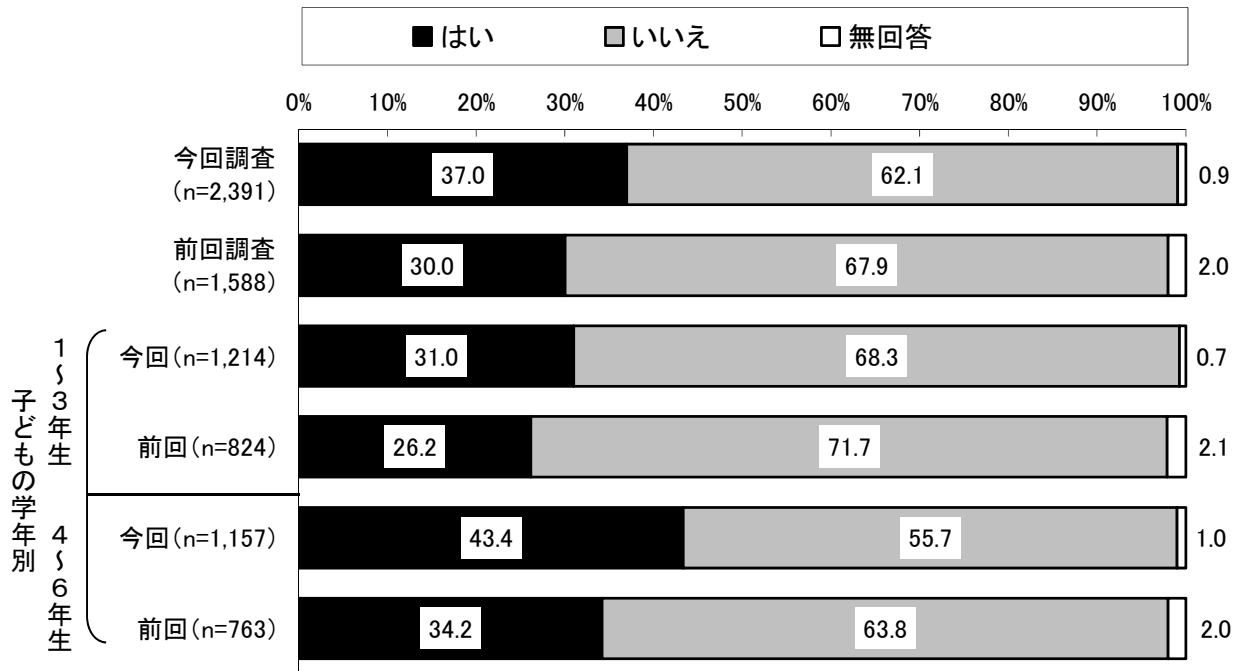
子どもの学年別にみると、いずれの学年でも利用率は大きく増加しており、特に1～3年生では約23ポイント増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(10) 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの通信端末の所有状況

問38 あて名のお子さん自身は、携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの通信端末を持っていますか。(○は1つ)

図表-291 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの通信端末の所有状況



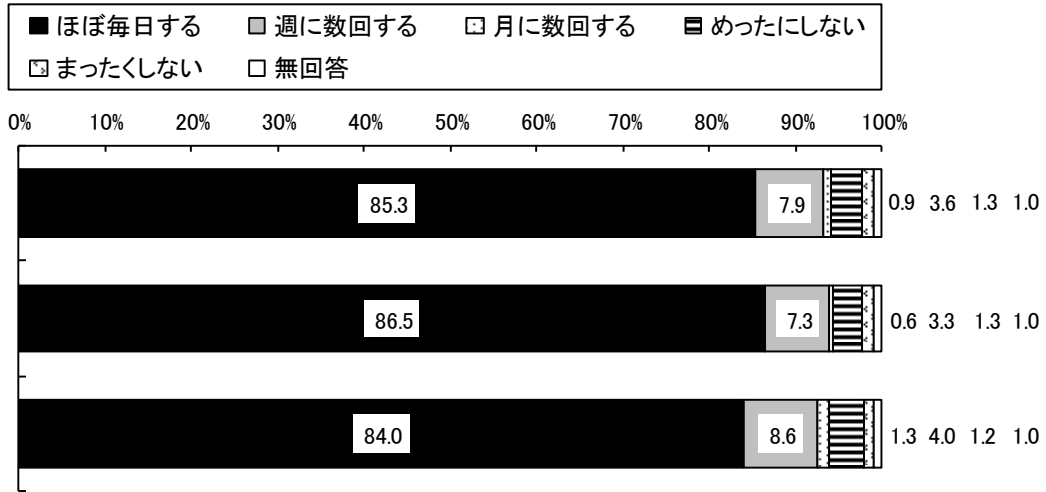
通信端末を所有しているかについては、「はい」の割合が37.0%となっており、前回調査より約7ポイント増加している。

子どもの学年別にみると、いずれの学年でも所有率は増加しており、特に4～6年生では約9ポイント増加している。

(11) 自宅での学習状況

問33 お子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

図表-292 自宅での学習状況



自宅での学習は、「ほぼ毎日する」(85.3%)が大半を占め、次いで「週に数回する」(7.9%)となっている。

世帯年収別にみると、400万円未満では、「月に数回する」「めったにしない」「まったくしない」の合計が1割を超え、他の世帯に比べてやや高くなっている。

子どもの学年別では、大きな違いはみられなかった。

図表-293 世帯年収別 学習の状況 (単位: %)

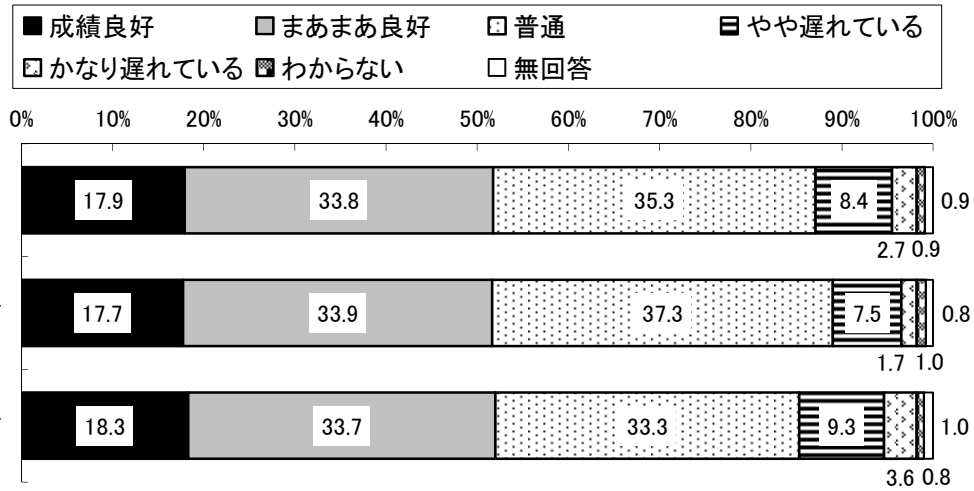
	標本数(人)	ほぼ毎日する	週に数回する	月に数回する	めったにしない	まったくしない	無回答	
全体	2,391	85.3	7.9	0.9	3.6	1.3	1.0	
世帯年収別	200万円未満	149	83.2	5.4	2.0	4.0	4.0	1.3
	200~300万円未満	155	76.1	13.5	1.3	6.5	2.6	-
	300~400万円未満	244	77.5	9.4	2.5	8.2	0.8	1.6
	400~500万円未満	269	84.8	7.4	0.4	3.7	2.6	1.1
	500~700万円未満	631	86.8	7.0	1.1	3.5	0.5	1.1
	700~1000万円未満	572	88.6	7.9	0.5	1.6	0.7	0.7
	1000万円以上	303	88.4	7.3	-	2.6	1.0	0.7
	無回答	68	83.8	8.8	-	1.5	2.9	2.9

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(12) 勉強の成績

問34 お子さんの学校等での勉強の成績はいかがですか。(○は1つ)

図表－294 勉強の成績



勉強の成績は「普通」(35.3%)と「まあまあ良好」(33.8%)の割合が高くなっている。世帯年収別にみると、700～1000万円未満と1000万円以上では他の世帯に比べて「成績良好」の割合が高くなっている。子どもの学年別では、大きな違いはみられなかった。

図表－295 世帯年収別 勉強の成績 (単位: %)

	標本数 (人)	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	無回答	
全体	2,391	17.9	33.8	35.3	8.4	2.7	0.9	0.9	
世帯年収別	200万円未満	149	10.7	28.2	45.0	8.7	5.4	1.3	0.7
	200～300万円未満	155	14.2	24.5	38.1	14.8	7.1	1.3	-
	300～400万円未満	244	14.3	23.8	42.2	15.2	2.5	1.2	0.8
	400～500万円未満	269	11.9	34.9	38.7	8.9	3.0	1.5	1.1
	500～700万円未満	631	16.8	33.9	36.1	8.2	2.5	1.1	1.3
	700～1000万円未満	572	22.9	37.9	30.1	6.5	1.2	0.5	0.9
	1000万円以上	303	25.7	41.3	27.1	3.3	2.0	-	0.7
	無回答	68	13.2	30.9	44.1	5.9	4.4	-	1.5

(13) 不登校、ひきこもりの経験

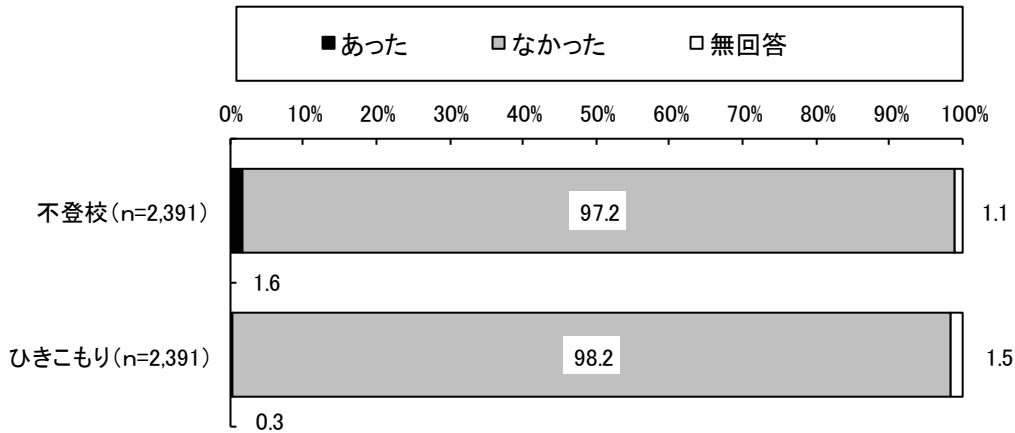
問35 お子さんは次の経験がありますか。(それぞれについて、「あった」「なかった」のいずれかに○)

不登校：病気やケガ以外の理由でおおむね年間30日以上学校を欠席したこと

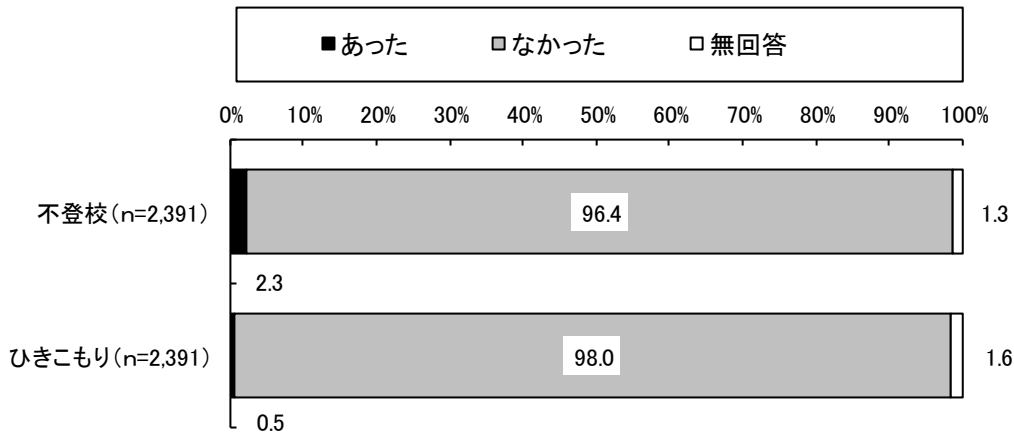
ひきこもり：おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

図表-296 不登校、ひきこもりの経験

<最近1年間>



<小学校入学以降>



不登校、ひきこもりの経験については、いずれについても、最近1年間や小学校入学以降にかかわらず、「なかった」が9割超で大半を占めている。最近1年間に不登校の経験があった割合は1.6%、ひきこもりの経験があった割合は0.3%となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

世帯年収別にみると、最近1年間・小学校入学以降のいずれにおいても、200万円未満では他の世帯に比べて「不登校」（最近1年間：5.4%、小学校入学以降：8.7%）の経験があった割合が高くなっている。

図表－297 世帯年収別 不登校、ひきこもりの経験があった割合（単位：％）

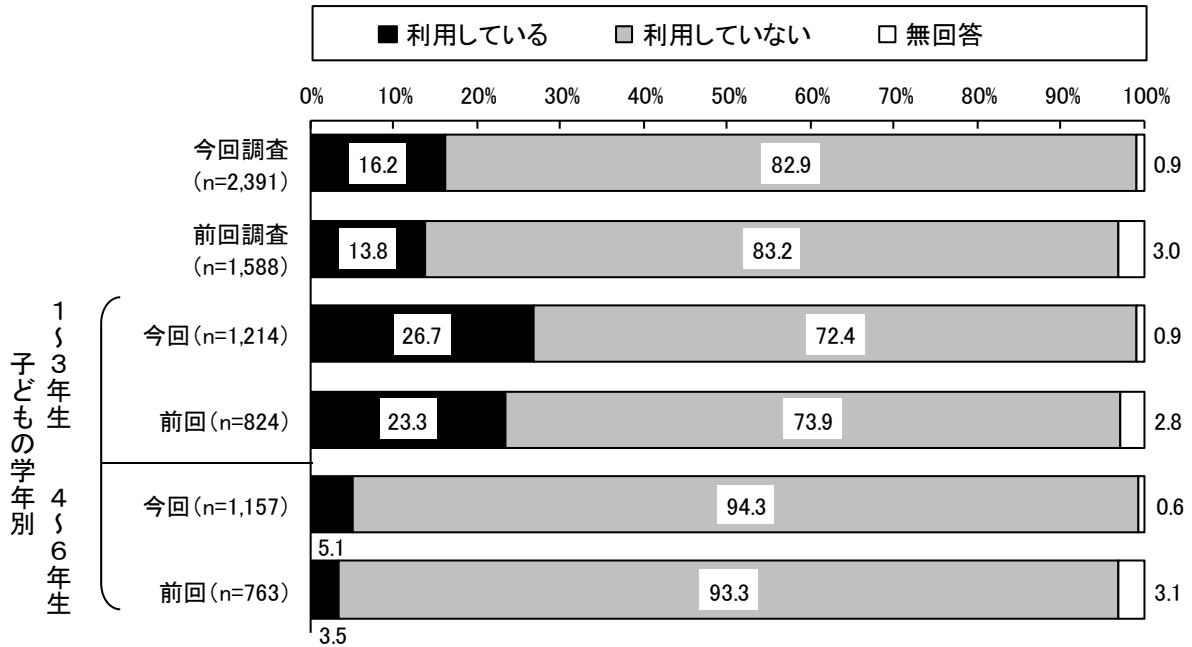
	標本数 (人)	最近1年間		小学校入学以降		
		不登校	ひきこもり	不登校	ひきこもり	
全体	2,391	1.6	0.3	2.3	0.5	
世帯 年 収 別	200万円未満	149	5.4	1.3	8.7	1.3
	200～300万円未満	155	1.3	-	3.9	0.6
	300～400万円未満	244	1.2	0.8	2.0	0.8
	400～500万円未満	269	2.6	1.1	3.0	1.1
	500～700万円未満	631	1.7	-	2.1	0.2
	700～1000万円未満	572	0.9	-	1.0	0.3
	1000万円以上	303	1.0	-	1.3	-
	無回答	68	-	-	-	-

2. 留守家庭子ども会の利用状況

(1) 利用状況

問10 あて名のお子さんについて、現在、留守家庭子ども会を利用していますか。(○は1つ)

図表-298 留守家庭子ども会の利用状況



留守家庭子ども会については、「利用していない」(82.9%)の割合が大半を占めているが、利用率は前回調査よりやや増加している。

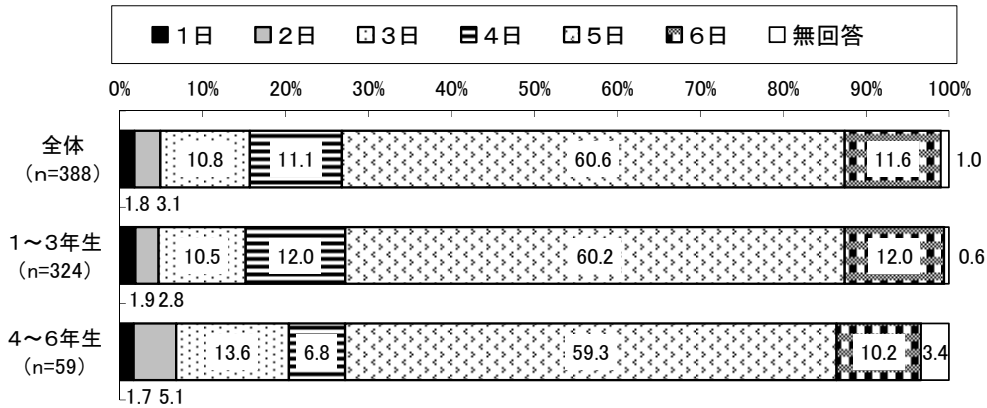
子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて、1～3年生では利用率が高く3割弱となっており、利用率は前回調査よりやや増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

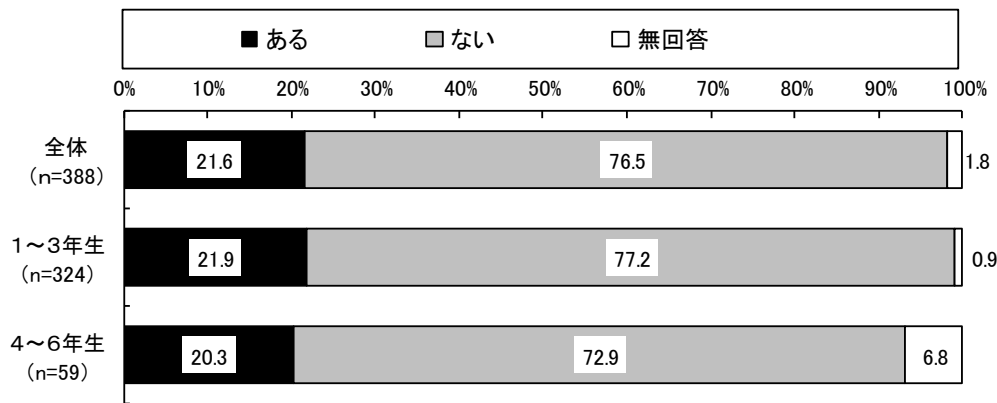
(2) 利用日数、利用している理由

問10-1① 【問10で「1」を選んだ方にうかがいます。】留守家庭子ども会の利用日数はどれくらいですか。(枠内に数字を記入)

図表-299 留守家庭子ども会の利用日数

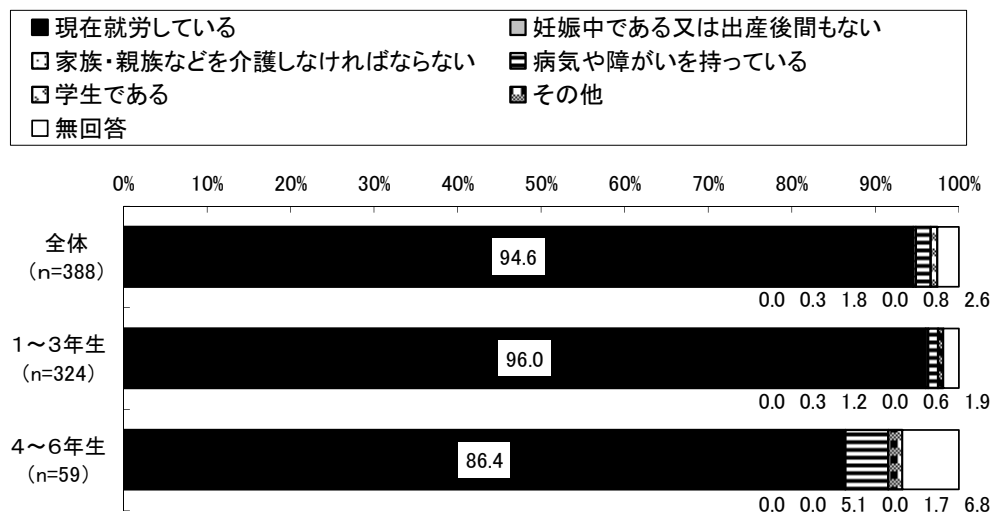


図表-300 留守家庭子ども会の土曜日の利用状況



問10-1② 【問10で「1」を選んだ方にうかがいます。】どういう理由で利用していますか。(〇は1つ)

図表-301 留守家庭子ども会を利用している理由



留守家庭子ども会の利用日数は、「5日」(60.6%)の割合が最も高く、次いで「6日」「4日」「3日」がそれぞれ1割となっている。学年別にみると、1～3年生に比べて、4～6年生では『3日以下』の割合が高くなっている。

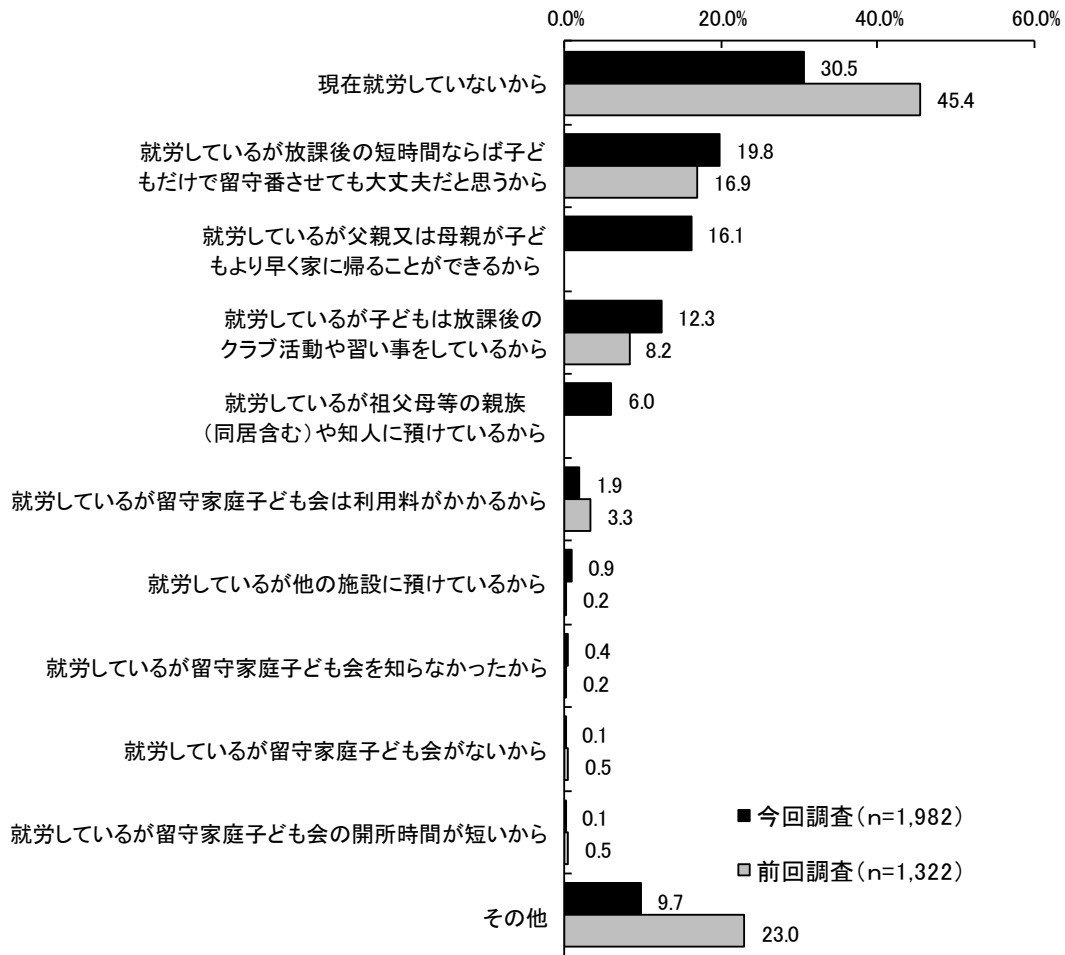
留守家庭子ども会の利用者のうち、土曜日の利用者の割合は21.6%となっている。学年別では、大きな違いはみられなかった。

留守家庭子ども会を利用している理由は、「現在就労している」の割合が9割超と大半を占めている。

(3) 利用していない理由

問10-2 【問10で「2」を選んだ方にうかがいます。】利用していない理由はなぜですか。(〇は1つ)

図表-302 留守家庭子ども会を利用していない理由



※「就労しているが父親又は母親が子どもより早く家に帰ることができるから」「就労しているが祖父母等の親族(同居含む)や知人に預けているから」は今回調査で新規に追加された選択肢

留守家庭子ども会を利用していない理由は、「現在就労していないから」(30.5%)の割合が最も高く、次いで「就労しているが放課後の短時間ならば子どもだけで留守番させても大丈夫だと思うから」(19.8%)、「就労しているが父親又は母親が子どもより早く家に帰ることができるから」(16.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「現在就労していないから」が15ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて、1～3年生では「現在就労していないから」（38.1％）の割合が高く、一方で、4～6年生では「就労しているが放課後の短時間ならば子どもだけで留守番させても大丈夫だと思うから」（24.7％）、「就労しているが子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしているから」（14.3％）の割合が高くなっている。

図表－303 子どもの学年別 留守家庭子ども会を利用していない理由（単位：％）

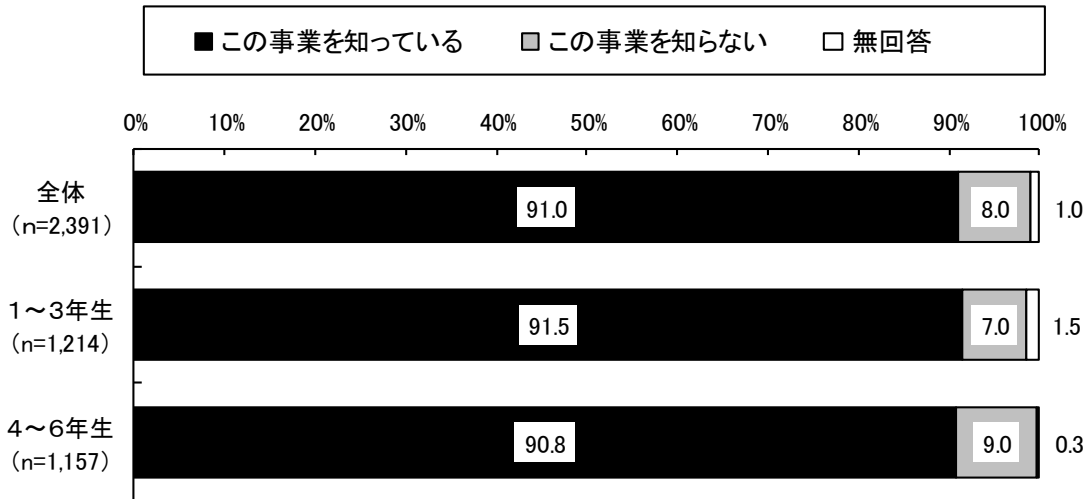
	標本数（人）	現在就労していないから	子ども会を知りなかつたから	子ども会がないから	子ども会が開く時間が短いから	子ども会は利用料がかかるから	放課後のクラブ活動や習いは	就労しているが子どもだけで留守番させても大丈夫だから	短時間ならば子どもだけで留守番させても大丈夫だから	就労しているが他の施設に預けているから	就労しているが祖父母等に預けているから	母親が子どもより早く家から帰ることができないから	その他	無回答
全体	1,982	30.5	0.4	0.1	0.1	1.9	12.3	19.8	0.9	6.0	16.1	9.7	2.3	
子どもの学年別	1～3年生	879	38.1	0.5	0.2	-	1.7	9.8	13.5	1.1	6.5	16.2	10.5	1.9
	4～6年生	1,091	24.5	0.3	-	0.2	2.1	14.3	24.7	0.7	5.5	16.2	9.0	2.6
	無回答	12	16.7	-	-	-	-	16.7	33.3	-	16.7	-	16.7	-

3. 放課後等の遊び場づくり事業の利用意向

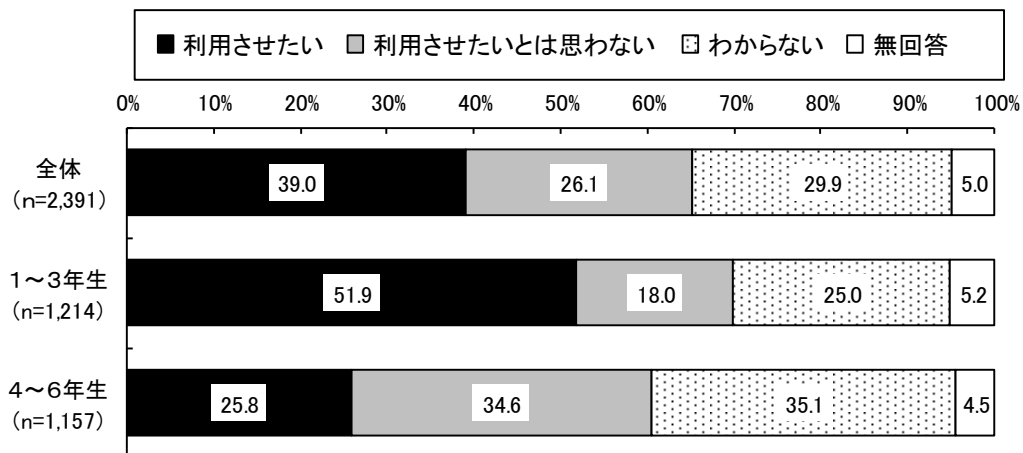
(1) わいわい広場の認知度、利用意向

問11 福岡市では、全児童が利用できる平日の放課後に実施している「わいわい広場」、土日など学校が休みの時に実施している「昼間校庭開放事業」がありますが、その利用意向はありますか。(それぞれについて○は1つ。意向がある場合は、わいわい広場については希望日数も記入。)

図表-304 わいわい広場の認知度

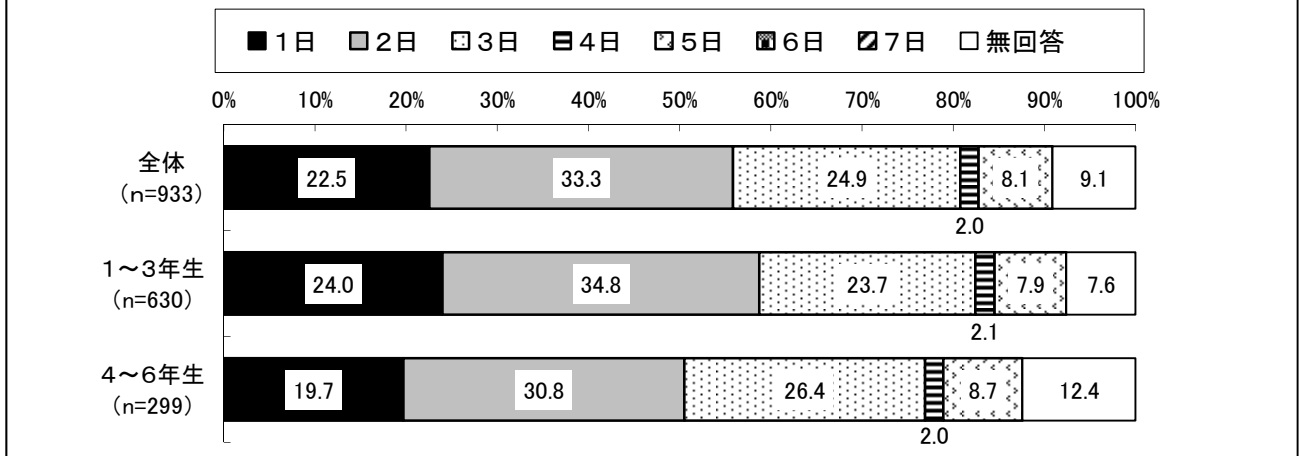


図表-305 わいわい広場の利用意向



Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表－306 わいわい広場の利用希望日数



わいわい広場の認知度は91.0%と高い。

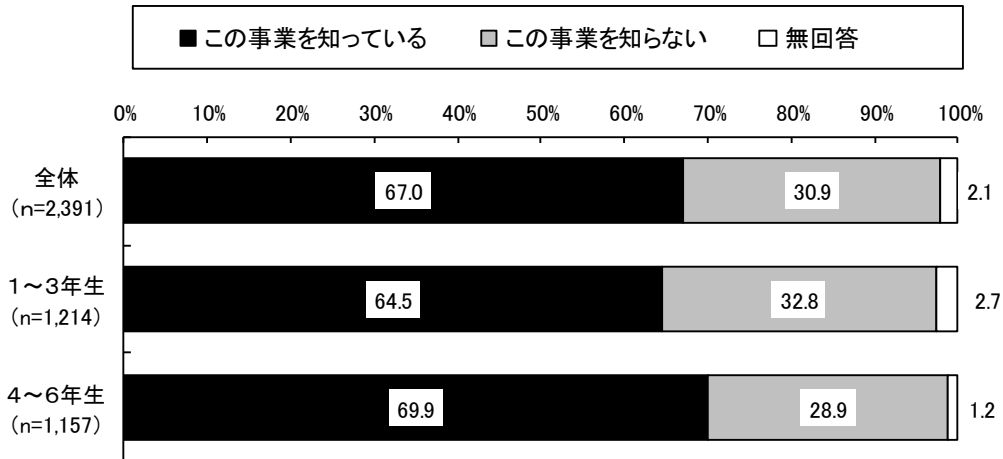
利用意向は、「利用させたい」が全体で39.0%となっており、子どもの学年別にみると、1～3年生で利用意向が高く51.9%となっている。

利用希望者の利用希望日数は、「2日」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「3日」(24.9%)、「1日」(22.5%)となっている。

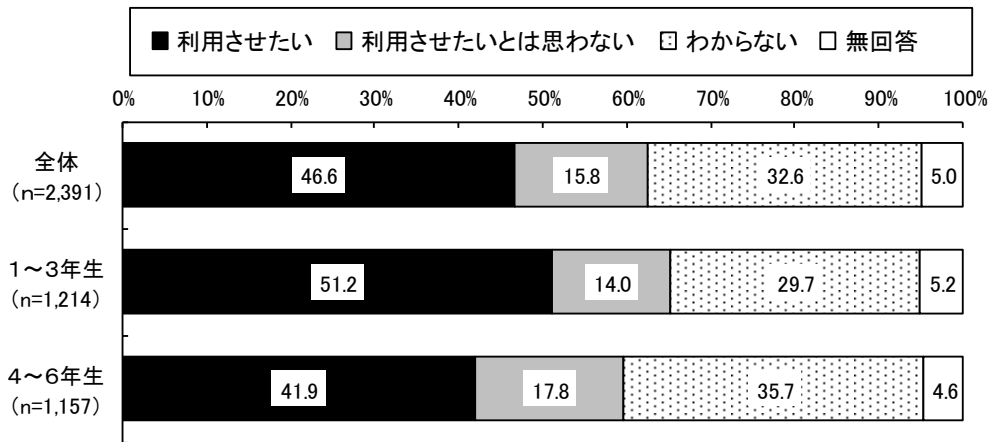
(2) 昼間校庭開放事業の認知度、利用意向

問11 福岡市では、全児童が利用できる平日の放課後に実施している「わいわい広場」、土日など学校が休みの時に実施している「昼間校庭開放事業」がありますが、その利用意向はありますか。(それぞれについて○は1つ。意向がある場合は、わいわい広場については希望日数も記入。)

図表－307 昼間校庭開放事業の認知度



図表－308 昼間校庭開放事業の利用意向



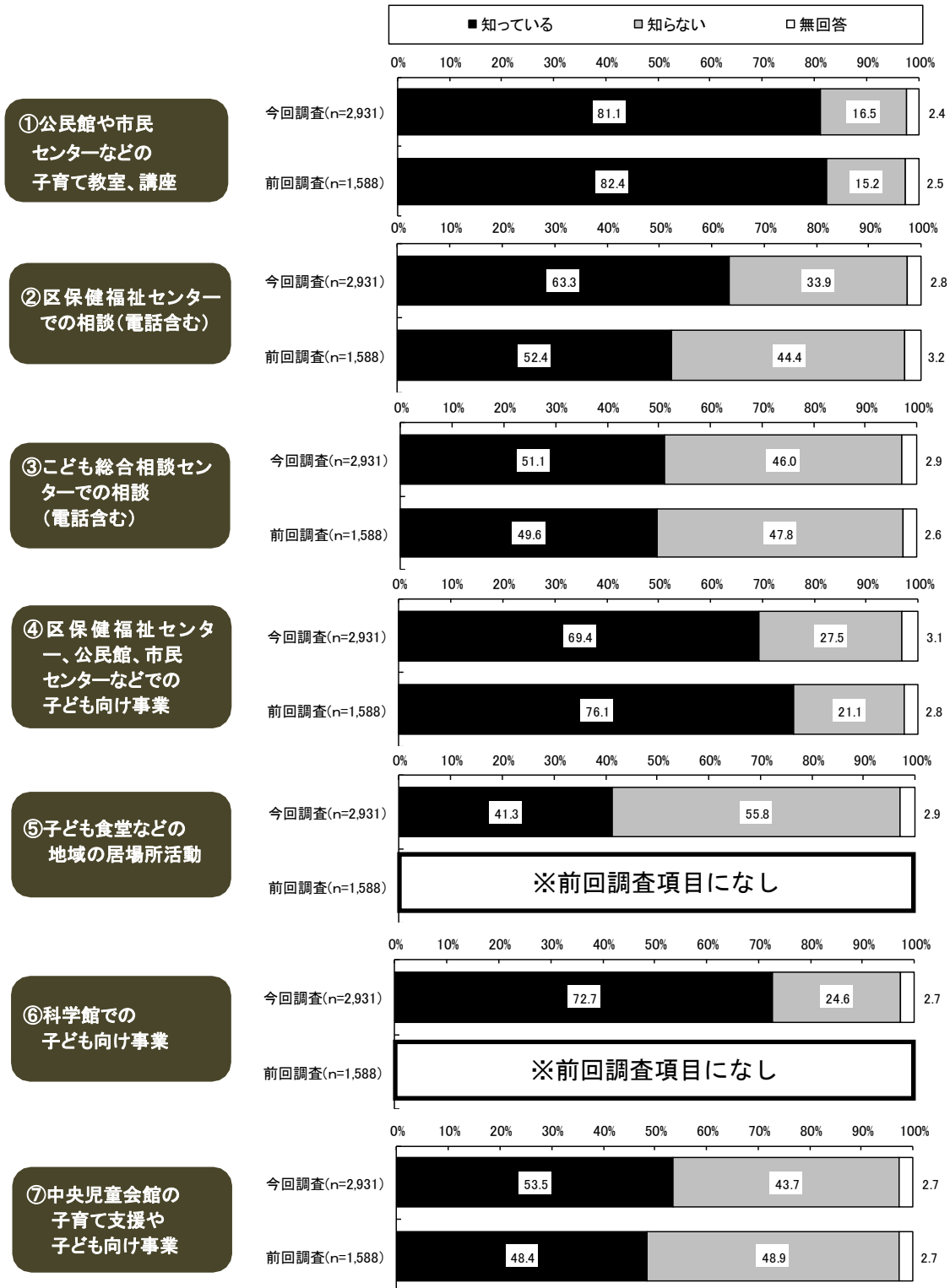
昼間校庭開放事業の認知度は67.0%と高い。

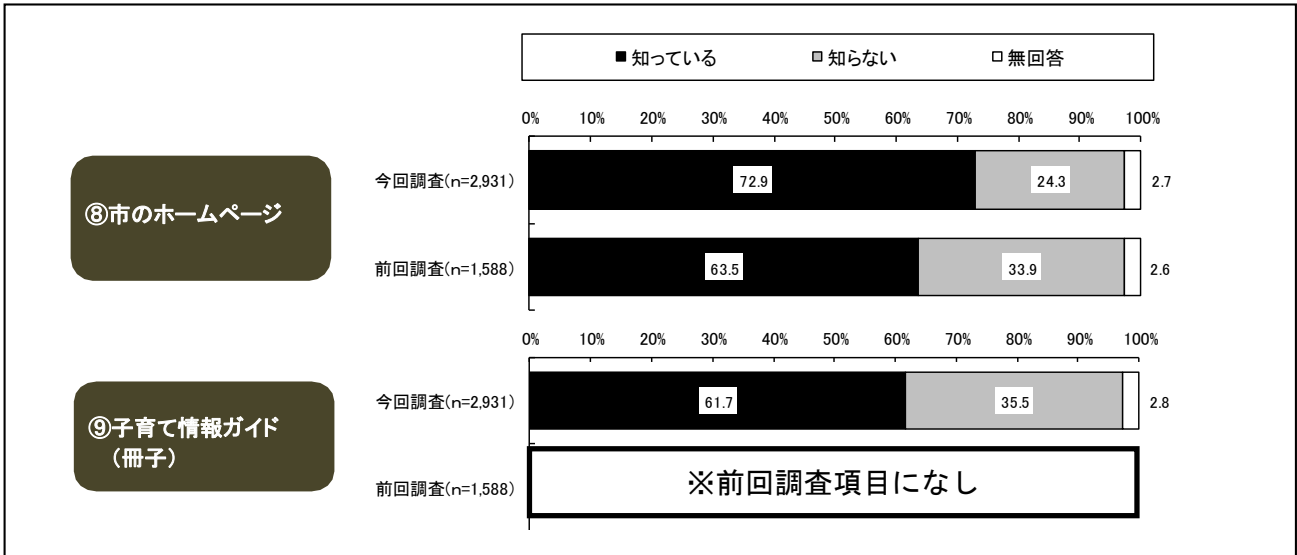
利用意向は、「利用させたい」が全体で46.6%となっており、子どもの学年別にみると、1～3年生で利用意向がやや高く51.2%となっている。

4. 子育て支援サービスの認知と利用経験、今後の利用意向

問16 福岡市の子育て支援サービスを知っていますか。また、これまでに利用したことはありますか。今後利用したいと思いますか。

図表-309 子育て支援サービスの認知





福岡市における子育て支援サービスの認知度（『事業を知っているか』で「はい」と答えた割合）は、「①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」（81.1%）や「⑧市のホームページ」（72.9%）、「⑥科学館での子ども向け事業」（72.7%）で特に高く、7割以上の保護者に知られており、その他の事業は多くが5割以上の認知度となっている。

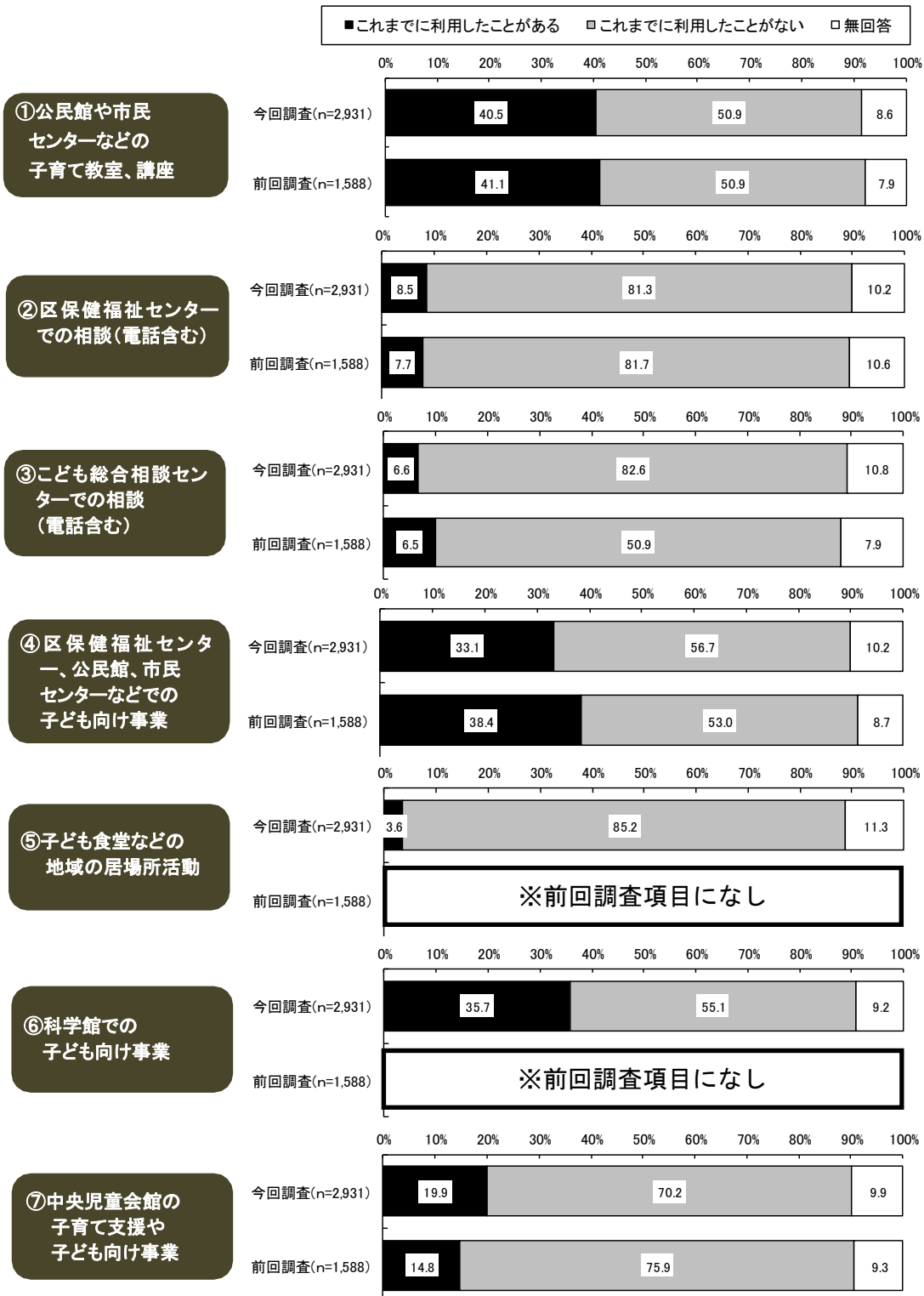
前回調査と比較すると、「②区保健福祉センターでの相談（電話含む）」は約11ポイント、「⑦中央児童会館の子育て支援事業」は約5ポイント、「⑧市のホームページ」は約9ポイント増加している。

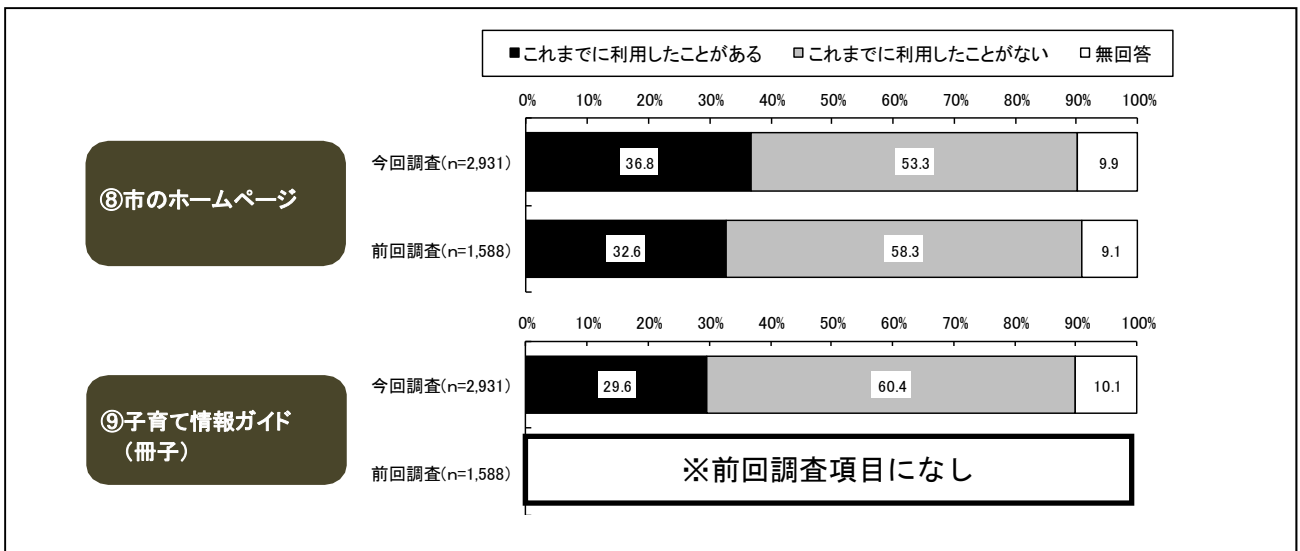
世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べて、全体的に子育て支援サービスの認知度が低くなっている。

図表-310 世帯分類別 子育て支援サービスを認知している人の割合 (単位: %)

	標本数(人)	①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座	②区保健福祉センター(電話含む)	③子ども総合相談センター(電話含む)	④区保健福祉センター、市民センターなどの子ども向け事業	⑤子ども居場所食堂などの地域活動	⑥科学館での子ども向け事業	⑦中央児童会館子ども向け子育て支援	⑧市のホームページ	⑨子育て情報ガイド(冊子)	
全体	2,391	81.1	63.3	51.1	69.4	41.3	72.7	53.5	72.9	61.7	
世帯分類別	三世代	117	83.8	61.5	44.4	68.4	39.3	66.7	46.2	65.8	53.8
	核家族	1,981	83.5	64.8	52.7	71.7	42.8	74.9	55.9	74.8	63.7
	ひとり親	189	62.4	49.7	40.2	50.8	29.6	56.1	36.5	59.8	50.8
	ひとり親三世代	38	63.2	71.1	50.0	57.9	34.2	68.4	42.1	76.3	50.0
	その他	38	73.7	65.8	44.7	65.8	36.8	65.8	52.6	65.8	60.5
無回答	28	60.7	46.4	46.4	60.7	39.3	71.4	46.4	64.3	46.4	

図表－3 1 1 子育て支援サービスの利用経験





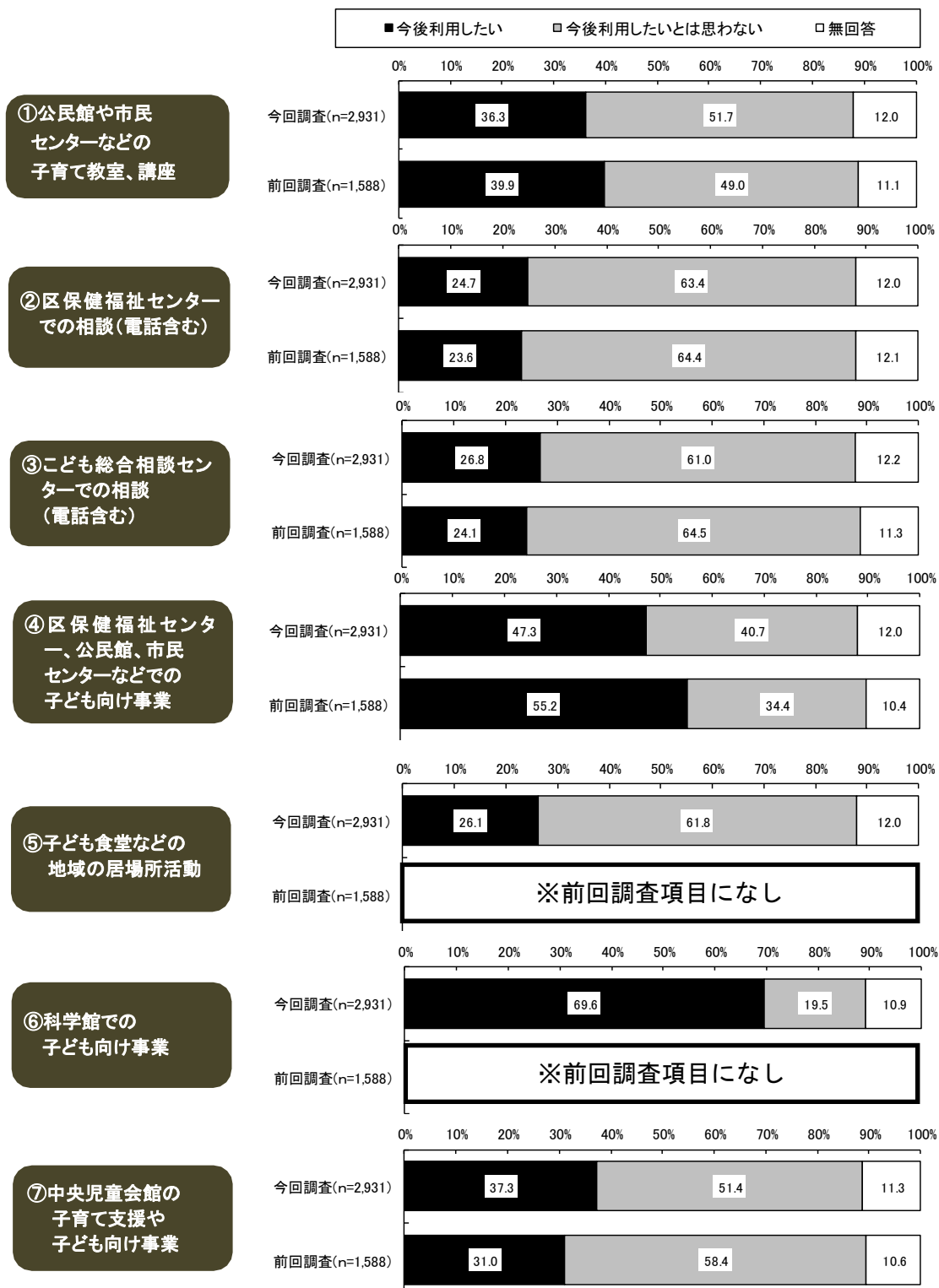
福岡市における子育て支援サービスの利用経験(『これまでに利用したことがあるか』で「はい」と答えた割合)は、「①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」(40.5%)や「⑧市のホームページ」(36.8%)、「⑥科学館の子ども向け事業」(35.7%)、「④公民館や市民センターの子ども向け事業」(33.1%)で高くなっている。「③こども総合相談センターでの相談(電話含む)」(6.6%)、「②区保健福祉センターでの相談(電話含む)」(8.5%)などは1割未満となっている。前回調査と比較すると、「⑦中央児童会館の子育て支援事業」は約5ポイント増加し、「⑧市のホームページ」は約4ポイント増加している。

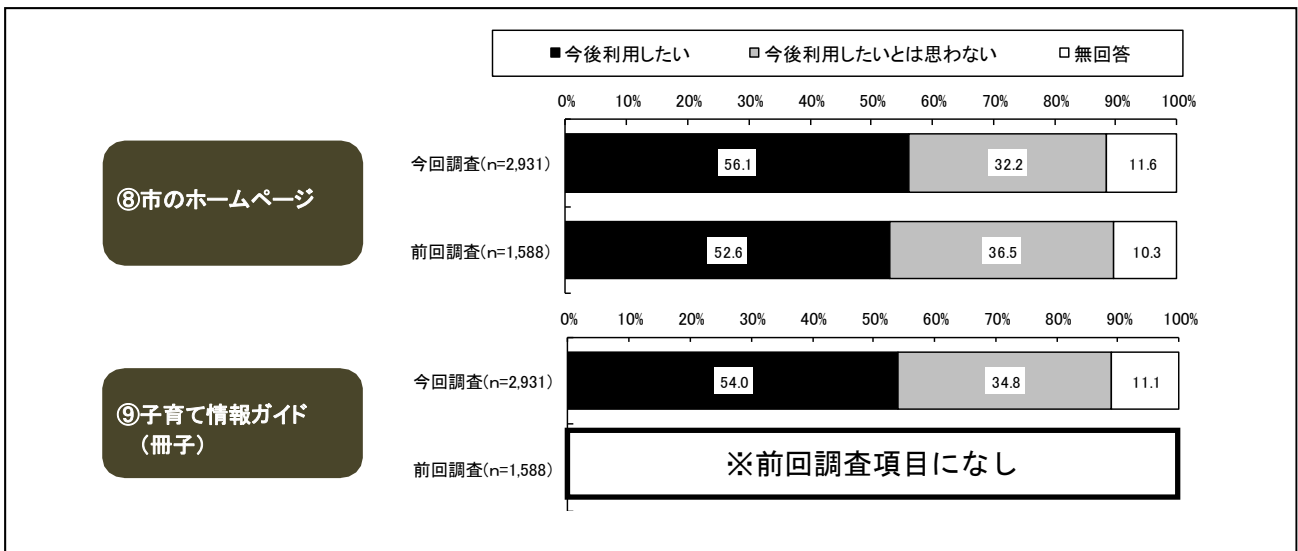
世帯年収別にみると、200万円未満では他の世帯に比べて、「①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」(24.8%)、「④公民館や市民センターの子ども向け事業」(19.5%)、「⑥科学館での子ども向け事業」(22.1%)、「⑧市のホームページ」(26.2%)の割合が低くなっている。1000万円以上では他の世帯に比べ「⑥科学館での子ども向け事業」(45.9%)、「⑦中央児童会館の子育て支援事業」(31.7%)の割合が高くなっている。

図表-312 世帯年収別 子育て支援サービスを利用したことがある人の割合 (単位: %)

	標本数(人)	①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座	②区保健福祉センターでの相談(電話含む)	③子ども総合相談センターでの相談(電話含む)	④区保健福祉センター、公民館、市民センターなどの子ども向け事業	⑤子ども食堂などの地域の居場所活動	⑥科学館での子ども向け事業	⑦中央児童会館の子ども向け子育て支援事業	⑧市のホームページ	⑨子育て情報ガイド(冊子)	
全体	2,391	40.5	8.5	6.6	33.1	3.6	35.7	19.9	36.8	29.6	
世帯年収別	200万円未満	149	24.8	8.1	10.1	19.5	4.7	22.1	11.4	26.2	24.8
	200～300万円未満	155	32.3	13.5	9.7	23.9	7.1	26.5	16.1	34.2	31.6
	300～400万円未満	244	38.5	11.9	7.4	34.4	3.7	27.9	17.6	29.5	28.7
	400～500万円未満	269	42.8	8.9	6.3	33.5	4.1	35.3	18.2	32.3	27.1
	500～700万円未満	631	42.6	7.6	6.7	34.5	3.6	36.1	16.2	38.7	29.5
	700～1000万円未満	572	43.4	7.5	6.1	36.0	2.3	39.2	22.9	40.7	32.0
	1000万円以上	303	43.9	7.3	4.0	34.7	2.0	45.9	31.7	41.9	29.4
	無回答	68	32.4	7.4	7.4	32.4	7.4	38.2	19.1	35.3	29.4

図表－313 子育て支援サービスの利用意向





福岡市における子育て支援サービスの利用意向（『今後利用したいか』で「はい」と答えた割合）は、「⑥科学館での子ども向け事業」（69.6%）、「⑧市のホームページ」（56.1%）、「⑨子育て情報ガイド」（54.0%）で相対的に高くなっている。「②区保健福祉センターでの相談（電話含む）」（24.7%）、「③こども総合相談センターでの相談（電話含む）」（26.8%）などは相対的に低くなっている。

前回調査と比較すると、「⑦中央児童会館の子育て支援事業」は約6ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、利用意向は全体的に4～6年生に比べて1～3年生で高く、特に「①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」「⑦中央児童会館の子育て支援事業」の利用意向は、それぞれ11ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べ「⑤子ども食堂などの地域の居場所活動」（34.4%）の利用意向の割合が高くなっている。

図表－314 子どもの学年別・世帯分類別
子育て支援サービスを今後利用したい人の割合 (単位：%)

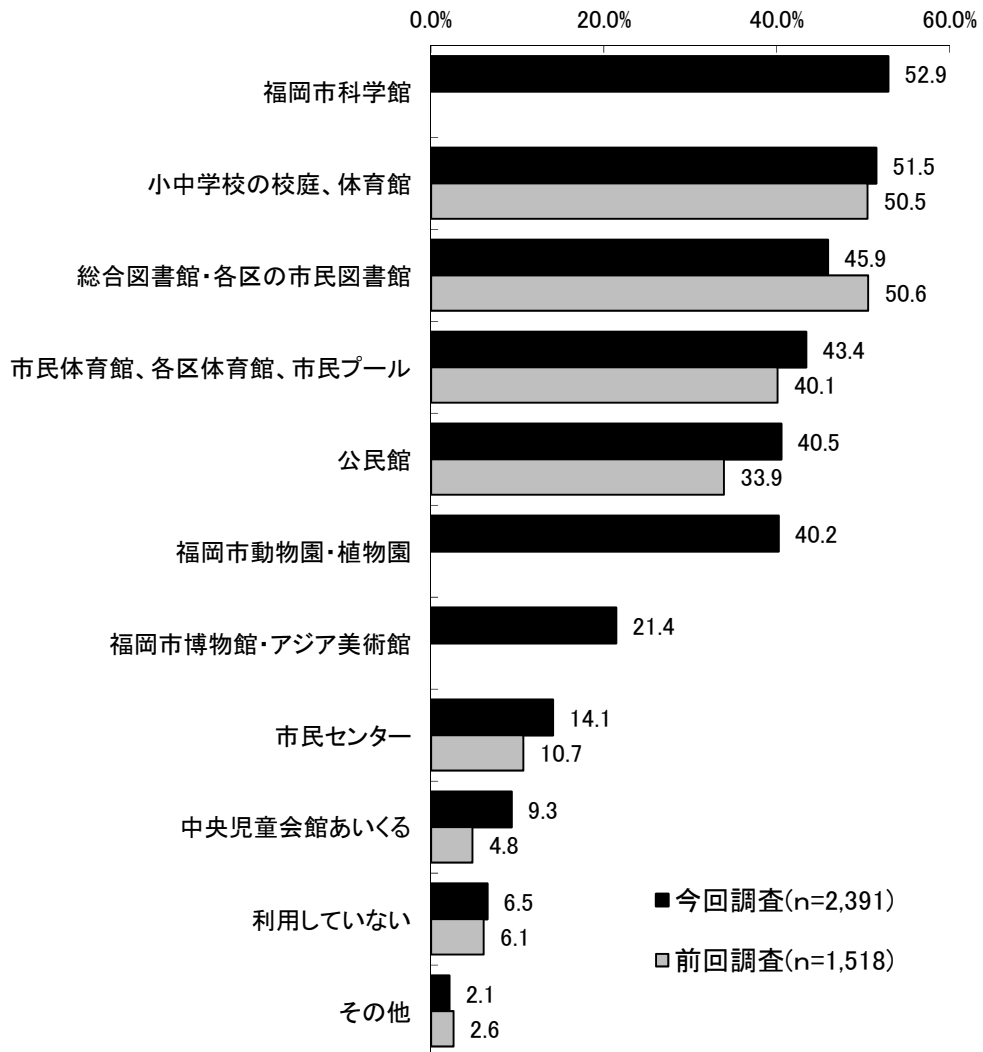
	標本数(人)	①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座	②区保健福祉センターでの相談(電話含む)	③子ども総合相談センターでの相談(電話含む)	④区保健福祉センター、市民センター	⑤子ども食堂などの地域の居場所活動	⑥科学館での子ども向け事業	⑦中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業	⑧市のホームページ	⑨子育て情報ガイド(冊子)
全体	2,391	36.3	24.7	26.8	47.3	26.1	69.6	37.3	56.1	54.0
子どもの学年別	1～3年生	1,214	41.4	25.7	28.2	50.7	26.9	73.1	58.0	57.2
	4～6年生	1,157	30.7	23.6	25.3	43.6	25.1	65.9	53.9	50.8
	無回答	20	50.0	25.0	30.0	55.0	40.0	70.0	70.0	45.0
世帯分類別	三世帯	117	31.6	23.1	25.6	47.9	19.7	64.1	52.1	50.4
	核家族	1,981	37.2	25.0	27.3	48.2	25.8	71.1	57.3	55.0
	ひとり親	189	28.6	22.8	23.8	38.6	34.4	60.8	49.7	50.3
	ひとり親三世帯	38	34.2	23.7	21.1	39.5	28.9	63.2	47.4	44.7
	その他	38	42.1	28.9	28.9	50.0	15.8	63.2	50.0	57.9
無回答	28	39.3	17.9	21.4	42.9	28.6	64.3	28.6	53.6	35.7

5. 地域の子育て環境

(1) 利用した公共施設

問43 過去1年間にあて名のお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

図表－315 利用した公共施設



※「福岡市科学館」「福岡市動物園・植物園」「福岡市博物館・アジア美術館」は今回調査で新規で追加された項目

過去1年間に子どもとともに利用した公共施設としては、「福岡市科学館」(52.9%)の割合が最も高く、次いで「小中学校の校庭、体育館」(51.5%)、「総合図書館・各区の市民図書館」(45.9%)、「市民体育館、各区体育館、市民プール」(43.4%)、「公民館」(40.5%)、「福岡市動物園・植物園」(40.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「公民館」の割合が約7ポイント増加し、「総合図書館・各区の市民図書館」の割合は約5ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて、1～3年生では「総合図書館・各区の市民図書館」(47.9%)、「小中学校の校庭、体育館」(56.5%)、「福岡市動物園・植物園」(50.0%)、「福岡市科学館」(55.0%)の割合がやや高くなっている。

世帯年収別にみると、年収が高い世帯ほど「総合図書館・各区の市民図書館」の割合は高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べて「公民館」(29.6%)や「総合図書館・各区の市民図書館」(28.6%)の割合が低くなっている。

図表-316 子どもの学年別・世帯年収別・世帯分類別 利用した公共施設 (単位：%)

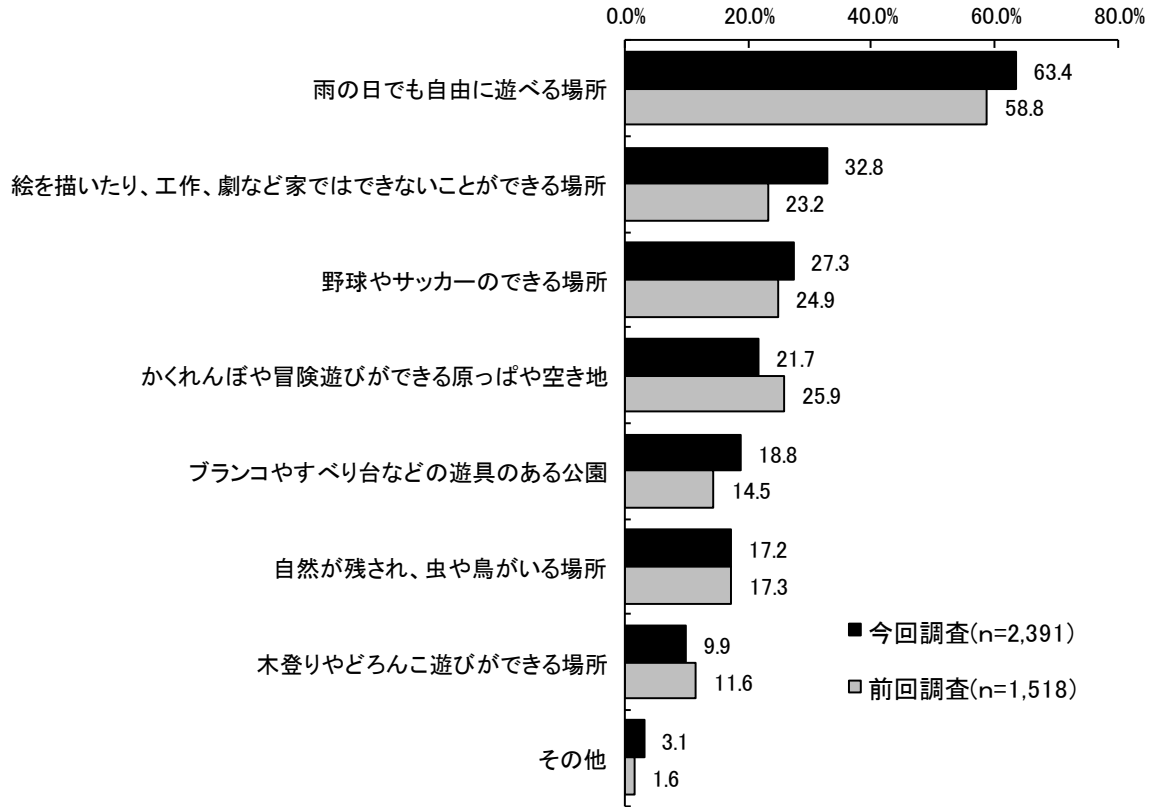
		標本数(人)	公民館	市民センター	総合図書館・各区の市民図書館	市民体育館、各区体育館、市民プール	小中学校の校庭、体育	福岡市動物園・植物園
全体		2,391	40.5	14.1	45.9	43.4	51.5	40.2
子どもの学年別	1～3年生	1,214	41.9	14.3	47.9	43.1	56.5	50.0
	4～6年生	1,157	38.6	13.9	43.6	43.6	46.1	29.6
	無回答	20	60.0	20.0	55.0	50.0	60.0	55.0
世帯年収別	200万円未満	149	30.2	8.7	31.5	38.9	44.3	40.9
	200～300万円未満	155	42.6	13.5	32.3	34.8	43.9	37.4
	300～400万円未満	244	38.1	11.5	35.2	33.2	49.6	38.5
	400～500万円未満	269	41.3	14.5	44.2	47.6	50.9	43.1
	500～700万円未満	631	43.6	15.7	48.3	44.8	52.0	39.6
	700～1000万円未満	572	39.5	16.1	50.5	45.6	54.5	39.2
	1000万円以上	303	41.3	12.2	57.1	47.2	54.1	41.6
	無回答	68	39.7	13.2	42.6	44.1	51.5	45.6
世帯分類別	三世代核家族	1,981	41.6	14.5	48.2	44.5	52.5	40.8
	ひとり親	189	29.6	8.5	28.6	34.9	43.9	38.6
	ひとり親三世代	38	50.0	15.8	47.4	39.5	50.0	44.7
	その他	38	23.7	13.2	39.5	47.4	47.4	28.9
	無回答	28	46.4	10.7	53.6	42.9	60.7	46.4
	無回答	28	46.4	10.7	53.6	42.9	60.7	46.4

		標本数(人)	福岡市博物館・アジア美術館	中央児童会館あいくる	福岡市科学館	その他	利用していない	無回答
全体		2,391	21.4	9.3	52.9	2.1	6.5	1.0
子どもの学年別	1～3年生	1,214	22.0	12.2	55.0	2.5	5.1	0.6
	4～6年生	1,157	20.6	6.3	50.5	1.7	8.1	1.3
	無回答	20	35.0	5.0	65.0	5.0	-	5.0
世帯年収別	200万円未満	149	20.1	8.7	42.3	4.0	10.7	3.4
	200～300万円未満	155	16.1	4.5	44.5	1.9	11.0	-
	300～400万円未満	244	15.6	9.8	38.9	1.6	11.5	1.6
	400～500万円未満	269	18.6	6.7	47.6	1.5	8.6	0.4
	500～700万円未満	631	18.5	8.2	53.9	2.9	4.3	0.8
	700～1000万円未満	572	24.5	10.8	58.6	1.6	5.2	0.5
	1000万円以上	303	32.7	13.9	65.7	2.0	4.3	1.0
	無回答	68	19.1	5.9	52.9	1.5	2.9	2.9
世帯分類別	三世代核家族	1,981	22.1	9.9	54.2	2.1	5.5	0.9
	ひとり親	189	19.6	7.9	43.4	4.2	12.7	1.6
	ひとり親三世代	38	18.4	-	52.6	-	2.6	-
	その他	38	10.5	2.6	50.0	-	15.8	-
	無回答	28	21.4	7.1	50.0	-	3.6	7.1
	無回答	28	21.4	7.1	50.0	-	3.6	7.1

(2) 近所にあったらよいと思う遊び場

問39 あて名のお子さんが遊ぶ場所として、近所にあったらよいと思うものは何ですか。(〇は2つまで)

図表－317 近所にあったらよいと思う遊び場



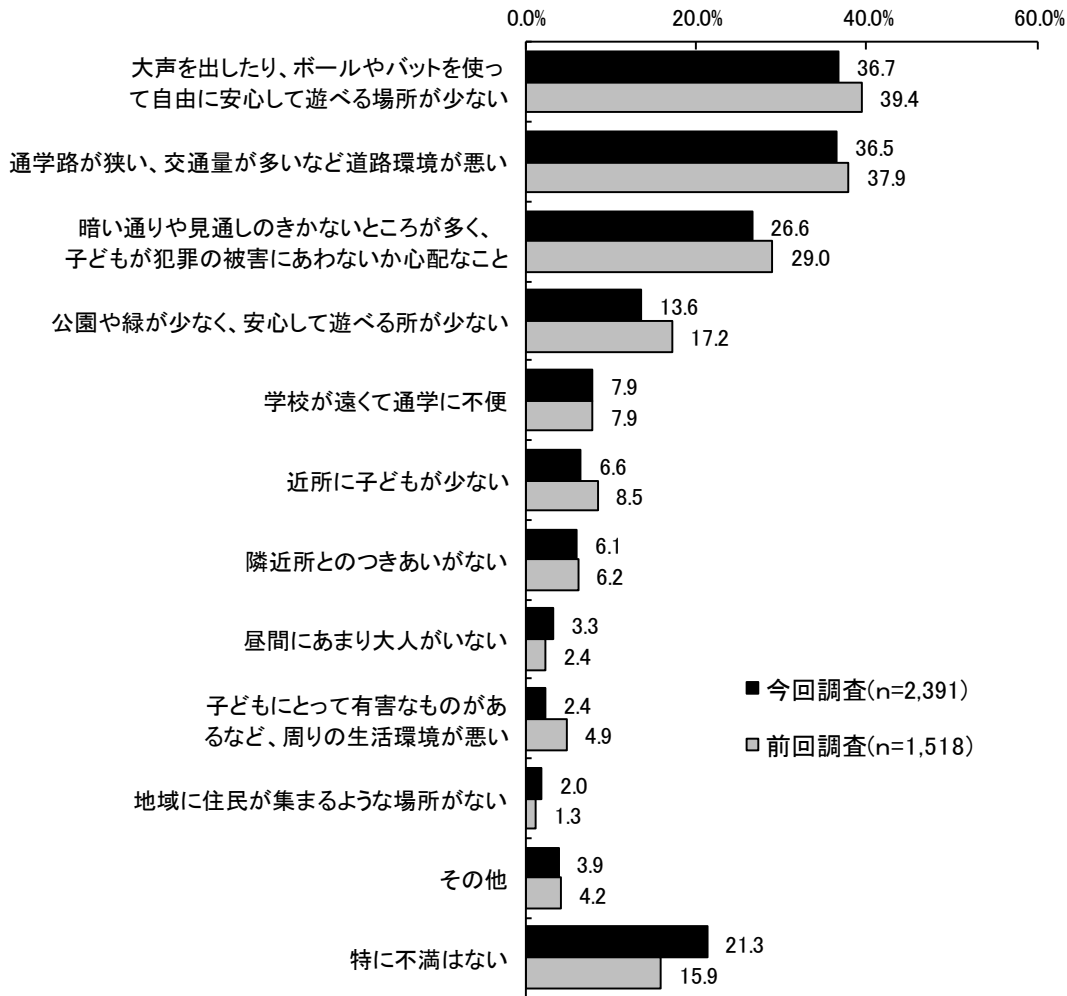
近所にあったらよいと思う遊び場は、「雨の日でも自由に遊べる場所」(63.4%)の割合が最も高く、次いで「絵を描いたり、工作、劇など家ではできないことができる場所」(32.8%)、「野球やサッカーのできる場所」(27.3%)、「かくれんぼや冒険遊びができる原っぱや空き地」(21.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「雨の日でも自由に遊べる場所」は約5ポイント増加、「絵を描いたり、工作、劇など家ではできないことができる場所」は約10ポイント増加している。

(3) 居住地域の子育て環境で不満なこと

問40 お住まいの地域の子育て環境で不満なことは何ですか。(〇は3つまで)

図表-318 居住地区の子育て環境で不満なこと



居住地区の子育て環境で不満なことは、「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」(36.7%)の割合が最も高く、次いで「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」(36.5%)、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」(26.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「特に不満はない」の割合は約5ポイント増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて、1～3年生では「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」（38.7％）の割合が高く、4～6年生では「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」（40.6％）の割合が高い。

居住区別にみると、博多区では他の区に比べて「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」（47.9％）の割合が高くなっている。

図表－319 子どもの学年別・居住区別 居住地域の子育て環境で不満なこと（単位：％）

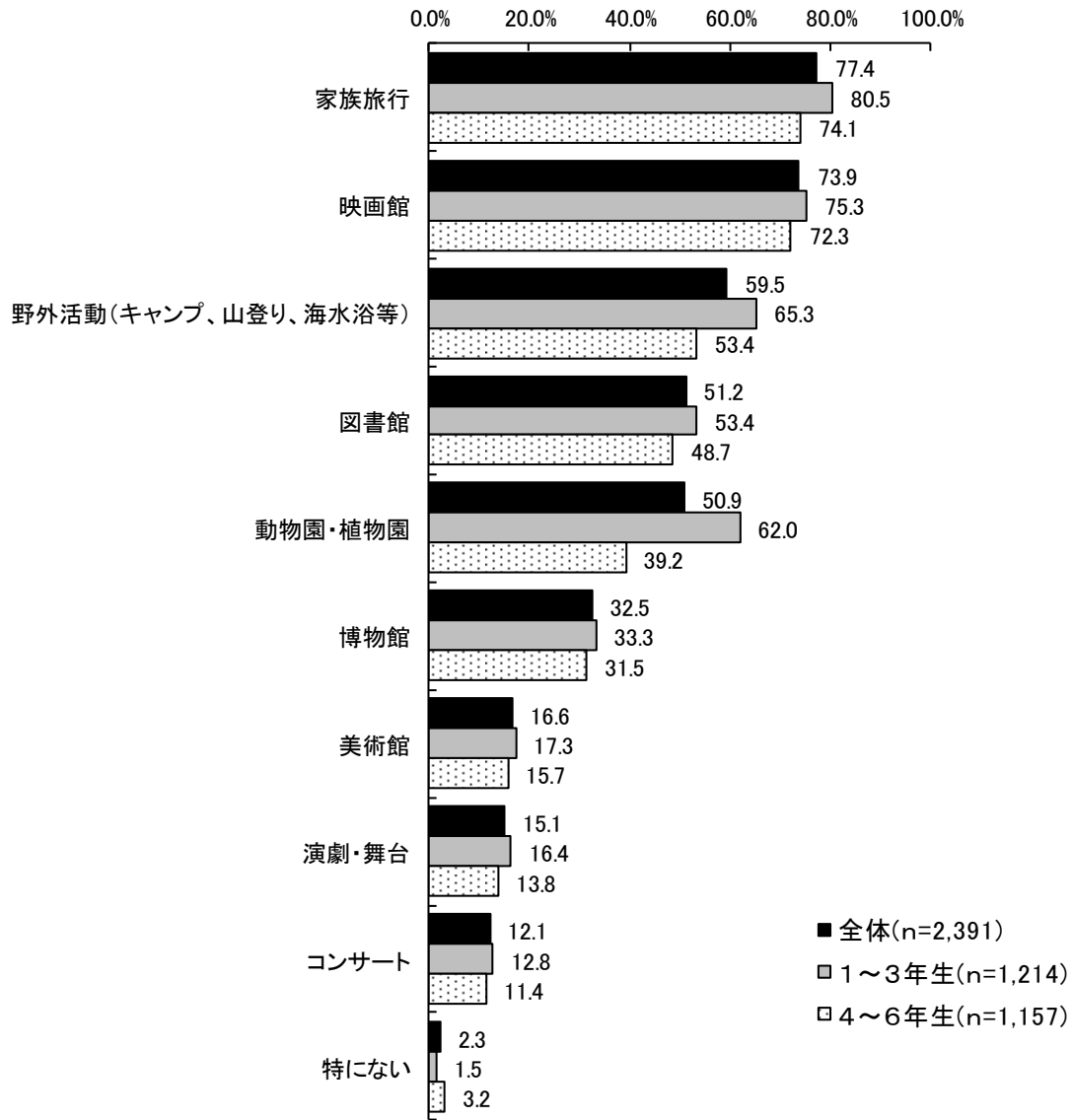
	標準数（人）	子どもの生活環境が悪い	通学路が狭い、交通量が多い	暗い通りや見通しのきかない	公園や緑が少なく、安心して遊べる場所が少ない	大声を出したり、ボールやバットを使って遊ぶ場所が少ない	学校が遠くて通学に不便	屋間にあまり大人がいない	
									近所に子どもが少ない
全体	2,391	2.4	36.5	26.6	13.6	36.7	7.9	3.3	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	2.4	38.7	26.2	13.9	32.9	8.1	3.6
	4～6年生	1,157	2.4	34.1	27.1	13.1	40.6	7.4	3.1
	無回答	20	-	35.0	30.0	20.0	35.0	30.0	-
居住区別	東区	516	2.1	33.1	26.9	12.2	35.9	8.5	4.5
	博多区	238	4.2	47.9	29.0	16.8	31.5	7.1	4.2
	中央区	242	2.1	40.9	21.9	19.4	42.6	5.8	0.4
	南区	416	1.9	39.7	28.4	11.8	36.8	7.5	3.4
	城南区	215	0.9	40.0	31.6	14.0	43.7	7.0	2.3
	早良区	420	2.6	33.1	26.0	14.3	39.5	5.0	3.1
	西区	323	3.1	27.6	22.9	9.9	29.1	13.0	4.3
	無回答	21	-	42.9	33.3	19.0	33.3	28.6	-
全体	2,391	6.6	2.0	6.1	3.9	21.3	2.0		
子どもの学年別	1～3年生	1,214	7.6	2.9	6.0	3.6	22.4	1.6	
	4～6年生	1,157	5.6	1.2	6.2	4.2	20.4	2.4	
	無回答	20	10.0	-	10.0	-	10.0	5.0	
居住区別	東区	516	9.5	2.3	5.4	3.9	23.6	2.9	
	博多区	238	5.9	2.9	5.9	3.4	18.9	0.8	
	中央区	242	5.4	4.5	7.4	2.9	19.8	0.4	
	南区	416	6.5	1.0	5.0	3.1	18.8	1.9	
	城南区	215	4.2	1.4	5.6	2.8	15.3	2.8	
	早良区	420	6.0	1.2	6.0	5.7	22.1	2.4	
	西区	323	6.2	2.2	8.4	4.6	27.6	1.9	
	無回答	21	9.5	-	9.5	-	9.5	4.8	

6. 生活体験・自然体験

(1) 子どもと保護者の体験

問41 過去1年間に、お子さんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-320 子どもと保護者の体験



この1年間に子どもと保護者がいっしょに体験したことは、「家族旅行」(77.4%)の割合が最も高く、次いで「映画館」(73.9%)、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」(59.5%)、「図書館」(51.2%)となっている。

子どもの学年別にみると、いずれの項目も4～6年生より1～3年生では割合が高くなっており、「動物園・植物園」は約23ポイントの差がある。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

世帯年収別にみると、400万円未満では他の世帯に比べて「家族旅行」や「図書館」の割合が低くなっている。1000万円以上では「家族旅行」(89.8%)、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」(63.7%)、「図書館」(28.4%)、「映画館」(71.3%)、「美術館」(81.8%)の割合が高くなっている。

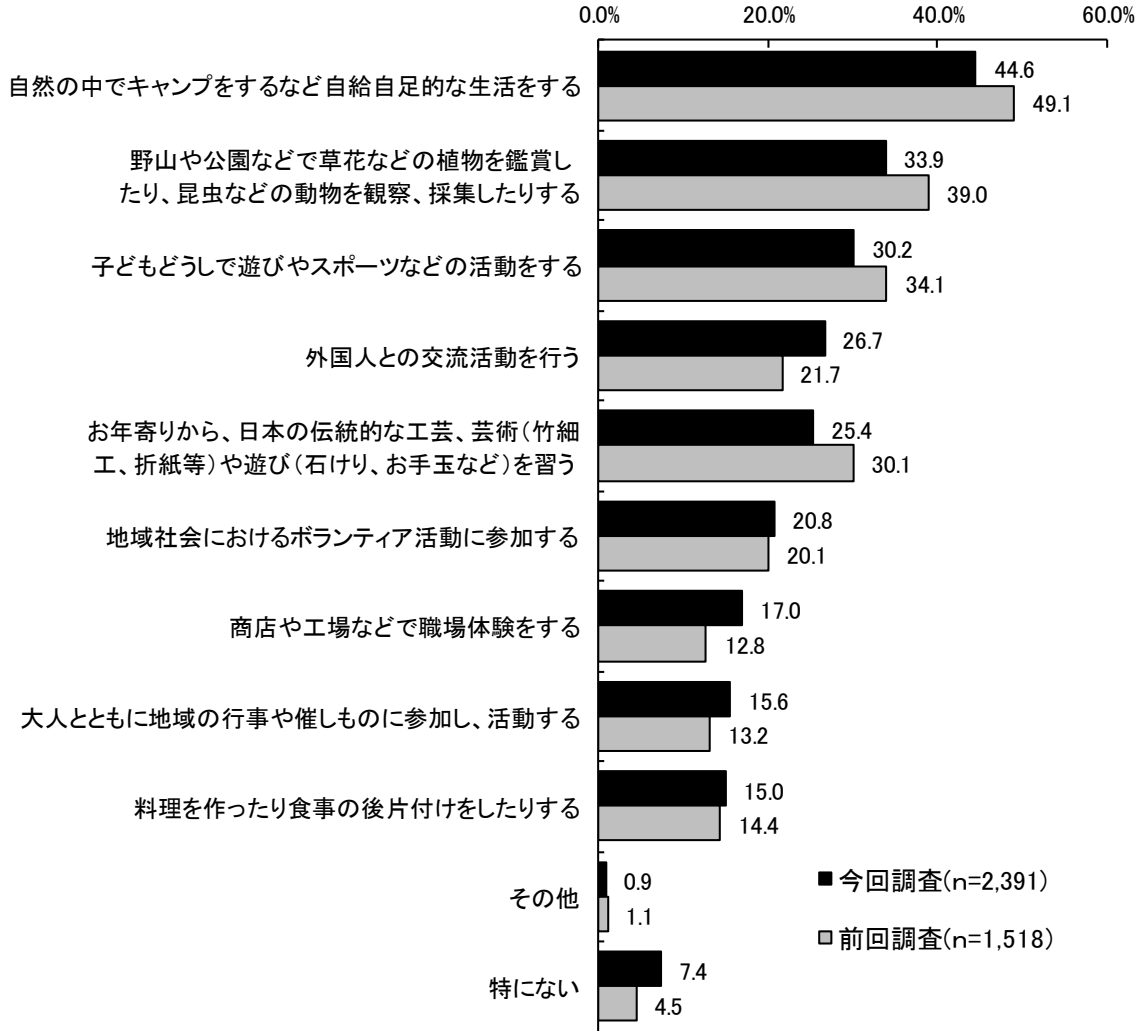
図表－321 世帯年収別 子どもと保護者の体験(単位:%)

	標本数 (人)	家族旅行	映画館	山野外活動 (キャンプ、 山登り、 海水浴等)	図書館	動物園・ 植物園	博物館	美術館	演劇・ 舞台	コンサート	特 に な い	無 回 答	
全 体	2,391	77.4	59.5	51.2	16.6	32.5	50.9	73.9	15.1	12.1	2.3	0.7	
世帯 年 収 別	200万円未満	149	59.7	59.1	37.6	15.4	28.2	52.3	75.2	14.8	11.4	3.4	1.3
	200～300万円未満	155	59.4	45.8	35.5	12.3	22.6	47.7	63.9	10.3	10.3	7.1	-
	300～400万円未満	244	65.6	52.0	40.2	11.9	26.2	44.7	70.5	8.2	11.1	3.3	0.8
	400～500万円未満	269	70.6	61.7	49.4	12.6	25.3	51.3	71.7	16.4	10.4	1.1	1.1
	500～700万円未満	631	81.6	60.4	53.6	14.1	32.5	49.6	74.2	15.1	9.5	2.5	0.6
	700～1000万円未満	572	84.6	58.6	55.6	18.7	37.2	53.3	74.5	15.7	12.6	1.6	0.2
	1000万円以上	303	89.8	71.3	63.7	28.4	45.2	54.8	81.8	22.8	20.5	0.3	1.0
	無回答	68	70.6	57.4	48.5	16.2	19.1	51.5	73.5	8.8	10.3	2.9	2.9

(2) 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験

問42 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(〇は3つまで)

図表-322 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験



最近の子どもに不足していると思う生活体験としては、「自然の中でキャンプをするなど自給自足的な生活をする」(44.6%)の割合が最も高く、次いで「野山や公園などで草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」(33.9%)、「子どもどうして遊びやスポーツなどの活動をする」(30.2%)、「外国人との交流活動を行う」(26.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「外国人との交流活動を行う」の割合は5ポイント増加しており、一方、「自然の中でキャンプをするなど自給自足的な生活をする」「野山や公園などで草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」「子どもどうして遊びやスポーツなどの活動をする」「お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術(竹細工、折紙等)や遊び(石けり、お手玉など)を習う」はそれぞれ4~5ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、1～3年生に比べて、4～6年生では「料理を作ったり食事の後片付けをしたりする」（17.1％）の割合がやや高くなっている。

図表－323 子どもの学年別 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験（単位：％）

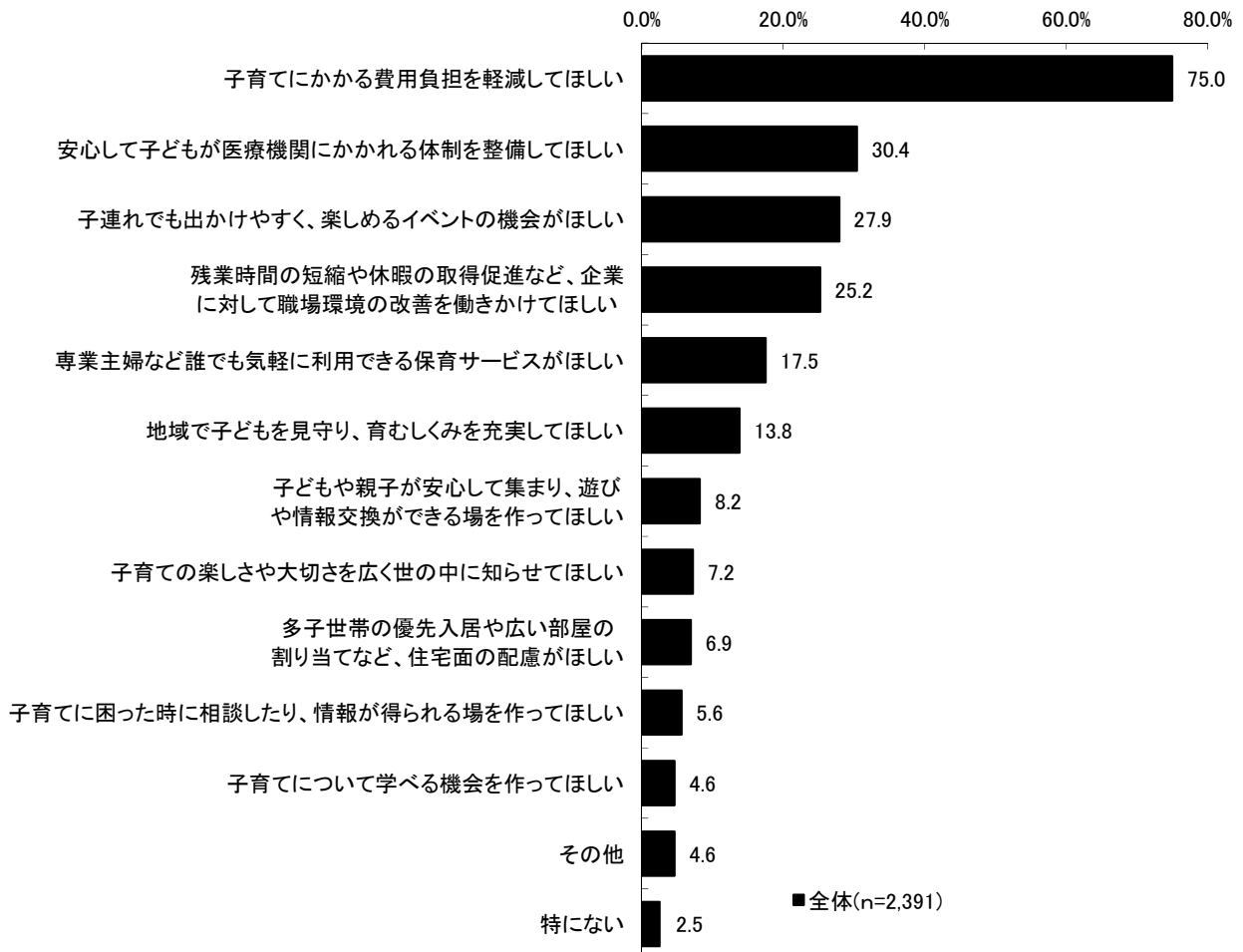
		標本数（人）	料理を作ったり食事の後片付けをしたりする	子どもどうしの遊びをする	大人とともに地域の行事や活動に参加する	（竹細工、折紙、お手玉など）を習う	伝統的な工芸、芸術	お年寄りから、日本の生活をする	自然の中でキャンプをする	観察、採集などの動物を観る	野山や公園などで草花などの植物を鑑賞した
全体		2,391	15.0	30.2	15.6	25.4	44.6	33.9			
子どもの学年別	1～3年生	1,214	13.2	31.7	16.7	25.1	45.1	34.3			
	4～6年生	1,157	17.1	28.9	14.4	25.7	44.0	33.4			
	無回答	20	5.0	20.0	10.0	25.0	50.0	35.0			
		標本数（人）	地域社会におけるボランティア活動に参加する	商店や工場などで職場体験をする	外国人との交流活動を行う	その他	特になし	無回答			
全体		2,391	20.8	17.0	26.7	0.9	7.4	1.3			
子どもの学年別	1～3年生	1,214	19.1	18.2	27.7	0.6	7.4	1.1			
	4～6年生	1,157	22.5	15.8	25.9	1.1	7.4	1.6			
	無回答	20	30.0	15.0	10.0	5.0	5.0	5.0			

第6章 行政への要望

1. 充実してほしい子育て支援

問45 あなたは、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(〇は3つまで)

図表-324 充実してほしい子育て支援



充実してほしい子育て支援は、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」(75.0%)の割合が最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」(30.4%)、「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(27.9%)となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、4～6年生に比べて、1～3年生では「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(33.0%)の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、就労していない場合は「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」(34.6%)、フルタイムで就労している場合は「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(35.7%)の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では他の世帯より、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(21.2%)の割合が低く、「多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい」(18.0%)の割合が高くなっている。ひとり親三世代では他の世帯より、「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(47.4%)の割合が高くなっている。

図表－325 子どもの学年別・母親の就労状況別・世帯分類別
充実してほしい子育て支援 (単位：%)

	標本数(人)	子育てに軽減してかかる費用がほしい	子どもが遊びや活動を安心してできる場所を作りたい	子どもが楽しめるイベントの機会がほしい	子連れでも出かけやすい場所を見守りしてほしい	地域で子どもを育てたい場所を作りたい	子育てに困った時に相談できる人がほしい	軽業主など誰でも利用できる保育サービスがほしい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
全体	2,391	75.0	8.2	27.9	13.8	5.6	17.5	30.4	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	74.3	9.1	33.0	14.4	4.5	27.4	
	4～6年生	1,157	75.8	7.3	22.5	13.1	6.7	33.7	
	無回答	20	75.0	-	25.0	20.0	5.0	25.0	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	72.5	6.0	27.2	15.7	4.8	30.1	
	パート・アルバイト等で就労	981	79.2	8.2	27.4	13.0	5.6	33.2	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	72.8	10.8	30.8	13.9	5.7	26.2	
	これまで就労したことがない	63	58.7	7.9	17.5	9.5	11.1	39.7	
	無回答	62	77.4	14.5	27.4	6.5	8.1	21.0	
世帯分類別	三世代	117	72.6	10.3	28.2	14.5	3.4	31.6	
	核家族	1,981	75.4	8.3	27.6	13.9	5.6	31.3	
	ひとり親	189	76.2	8.5	26.5	13.8	5.8	21.2	
	ひとり親三世代	38	71.1	2.6	47.4	7.9	7.9	26.3	
	その他	38	68.4	5.3	31.6	7.9	5.3	36.8	
無回答	28	64.3	3.6	25.0	17.9	7.1	21.4		
	標本数(人)	住い多宅部子面屋のの配割の優が当先入居や、広い	き取残し得業時て場進間の短縮や休業をに暇働対の	ほを子ほを子会を子そ特無	を育てにつていて学べる機	他	にない	回答	
全体	2,391	6.9	25.2	7.2	4.6	4.6	2.5	2.2	
子どもの学年別	1～3年生	1,214	6.9	25.9	7.1	4.8	4.4	2.1	2.1
	4～6年生	1,157	7.0	24.5	7.4	4.3	4.6	3.0	2.2
	無回答	20	5.0	30.0	-	10.0	15.0	-	5.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	745	8.2	35.7	8.7	4.4	6.0	2.4	2.1
	パート・アルバイト等で就労	981	6.6	21.7	6.0	4.9	4.1	2.0	2.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	526	5.5	20.9	7.4	4.4	3.8	2.5	2.1
	これまで就労したことがない	63	12.7	9.5	7.9	6.3	-	6.3	4.8
	無回答	62	4.8	9.7	6.5	3.2	4.8	4.8	3.2
世帯分類別	三世代	117	5.1	19.7	11.1	3.4	4.3	3.4	0.9
	核家族	1,981	6.0	25.1	6.9	4.6	4.3	2.2	2.2
	ひとり親	189	18.0	29.1	7.9	4.8	6.9	4.8	1.1
	ひとり親三世代	38	10.5	34.2	2.6	-	2.6	2.6	2.6
	その他	38	2.6	18.4	10.5	2.6	2.6	5.3	5.3
無回答	28	10.7	25.0	7.1	14.3	14.3	3.6	7.1	

2. 自由意見

教育・保育環境の充実や子育て支援など、福岡市の子ども施策に関する取り組みに関して福岡市へのご意見がございましたら、自由にご記入ください

回答者1,991人から、3,432件の意見が挙げられている。主な項目を整理すると、以下のとおりである。

図表－326 自由意見

分類	件数
◆小学校について	102
教育内容の充実	35
教員、学校側の対応、教育委員会	21
施設の整備（エアコンの設置、トイレ、図書室の充実等）	9
給食の充実	5
学区割の見直し	5
校庭や図書室を開放してほしい	4
その他	23
◆学童保育について	36
利用条件の緩和	13
内容の充実	12
利用時間の充実（時間の延長、土曜日・日曜日・長期休暇時の実施等）	11
◆放課後等の遊び場づくり事業	13
わいわい広場（全ての小学校で実施してほしい、内容の充実等）	11
その他	2
◆公園や公共施設について	76
公園の管理・整備（安全の確保、遊具の充実等）	36
公園の増設	13
公民館の充実	9
図書館の充実	3
その他（市民体育館は利用しづらい等）	15
◆児童会館など子どもの遊び場	36
児童会館の増設	11
子どもだけでも安心安全に過ごせる場所	10
雨天時にも遊べる屋内の施設がほしい	7
近所に気軽に利用できるスペースがほしい	5
その他	3
◆保育所（園）について	29
増設、待機児童の解消、利用条件の緩和等	13
その他（利用時間の延長、保育内容の充実等）	16

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

分類	件数
◆幼稚園について	5
幼稚園の増設	2
市立幼稚園の存続	1
その他（利用時間の充実等）	2
◆医療費助成など経済的支援について	226
子育て世帯、ひとり親、多児家庭への助成・税金優遇	106
医療費負担の軽減・無料化等	104
予防接種費用の助成・無料化	9
その他	7
◆交通、移動、安全	25
道路・歩道の整備（通学路の安全確保）	16
公共交通機関（バス料金を安く、交通アクセスを便利に）	9
◆保健、医療	35
病児保育（施設や利用時間の充実、利用条件の緩和等）	14
夜間・休日・緊急対応	7
小児科等の増設	2
その他（こども病院移転等）	12
◆相談、交流、情報	81
イベントの充実、交流	38
育児相談、親のサポート	24
情報の提供	16
その他	3
◆ファミリー・サポート・センター事業	1
気軽に利用できない	1
◆幼児教育の無償化などについて	23
幼児教育無償化の対象児について	7
その他（幼児教育以外の教育無償化等）	16
◆その他	318
市への要望、市職員の対応	106
社会環境、地域	48
仕事と子育ての両立支援	47
保護者の負担軽減（PTA、子ども育成会等）	31
アンケートについて	27
一時預かりの実施	18
住宅について	5
民間施設・店舗について	2
その他	34

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

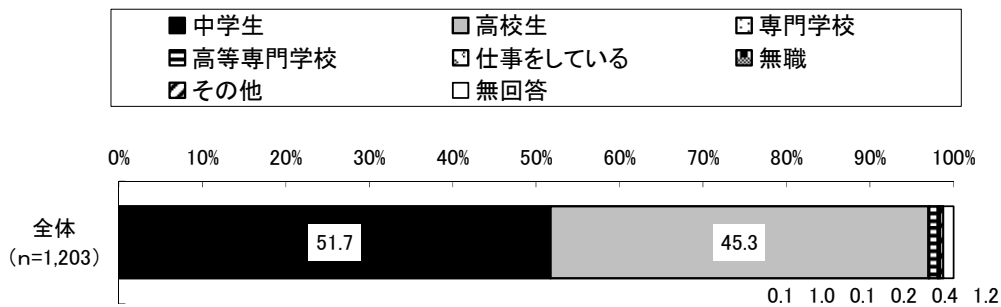
第1章 対象児童及び家庭の概況

1. 回答者の基本属性

(1) 子どもの学年

問2 あて名のお子さんの所属と性別について、選んでください。(○は1つ)

図表-327 子どもの学年



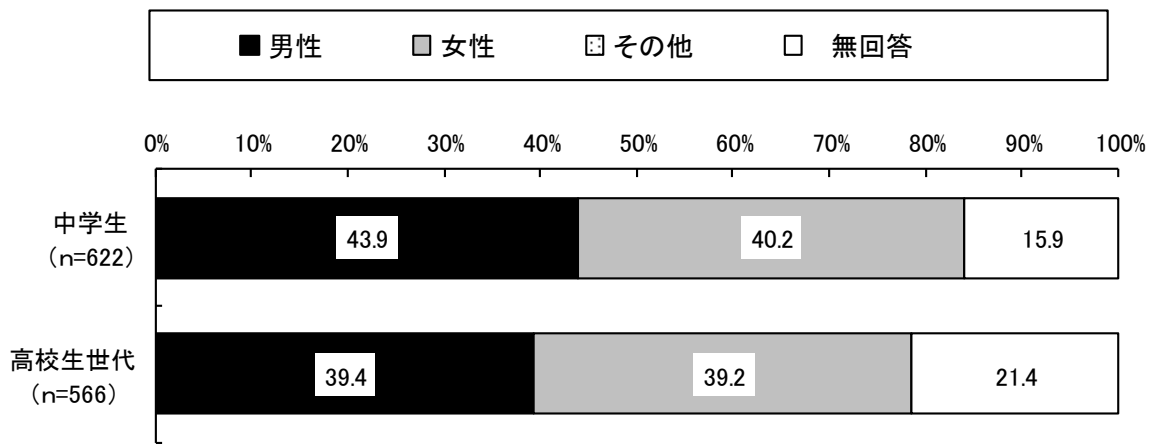
子どもの学年の内訳は、中学生51.7%、高校生45.3%、高等専門学校生1.0%、無職0.2%、専門学校生0.1%、仕事をしている人0.1%、その他0.4%となっている。

本報告書では、「世代別」として分析する際には、『中学生』622名(51.7%)、『高校生世代』566名(47.0%)の2群に分けて集計したものをを用いる。

(2) 子どもの性別

問2 あて名のお子さんの所属と性別について、選んでください。(○は1つ)

図表-328 子どもの性別



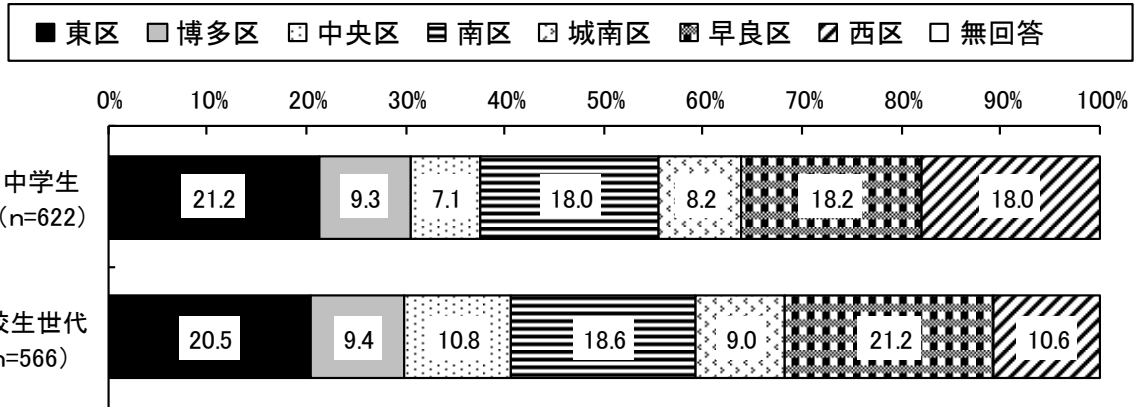
子どもの性別の内訳は、中学生が男性43.9%、女性40.2%、高校生世代が男性39.4%、女性39.2%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

(3) 居住区

問1 お住まいの区はどこですか。(〇は1つ)

図表-329 居住区



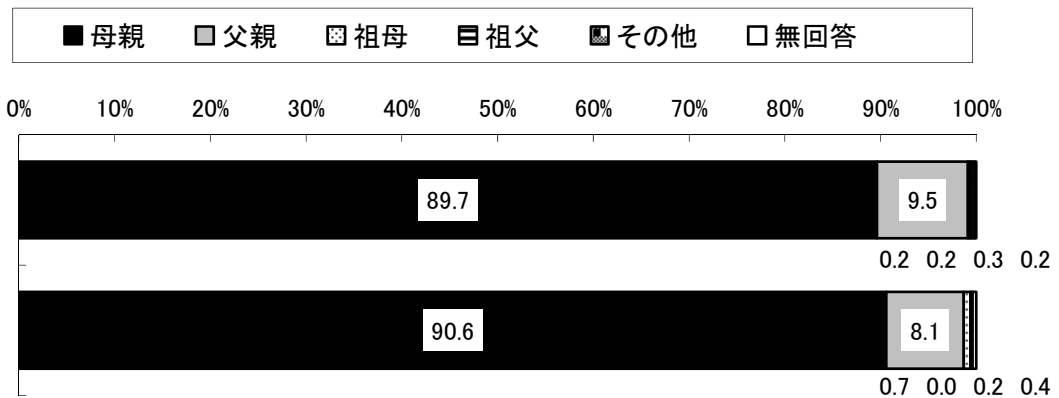
回答者の居住区は、中学生では、最も多いのは「東区」(21.2%)となっており、次いで「早良区」(18.2%)、「南区」「西区」(ともに18.0%)、「博多区」(9.3%)、「城南区」(8.2%)、「中央区」(7.1%)の順となっている。

高校生世代では、最も多いのは「早良区」(21.2%)となっており、次いで「東区」(20.5%)、「南区」(18.6%)、「中央区」(10.8%)、「西区」(10.6%)、「博多区」(9.4%)、「城南区」(9.0%)の順となっている。

(4) 調査の回答者

問5 このアンケート調査の記入者はどなたですか。(〇は1つ)

図表-330 調査の回答者



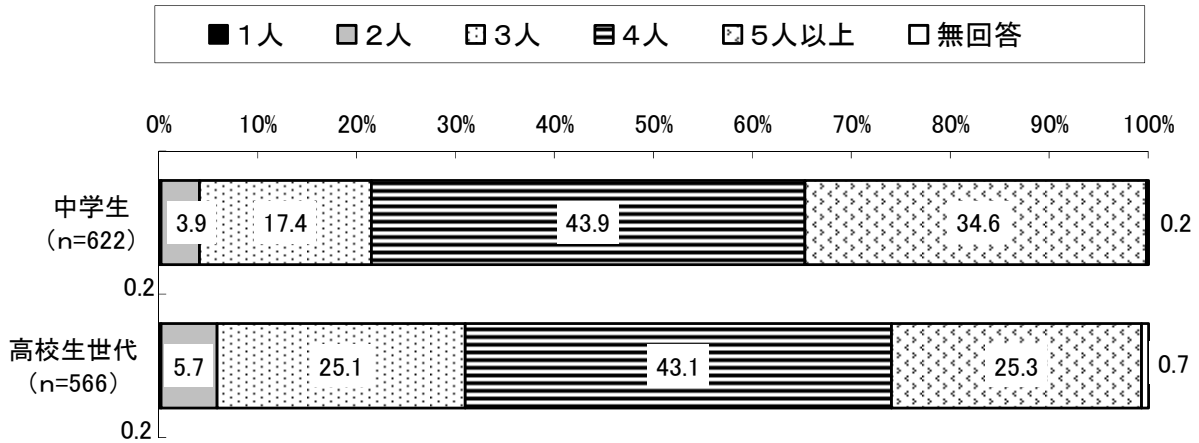
アンケート調査の回答者は、中学生・高校生世代ともに「母親」が約9割とほとんどを占めており、「父親」はわずか1割弱である。よって、本調査の結果は、「母親」の立場から見た子どもの生活状況や子育てに関する意識としてとらえられる。

2. 家庭の概況

(1) 同居家族数

問3 あて名のお子さんからみた同居の家族の人数は。(枠内に数字を記入)

図表-331 同居家族数



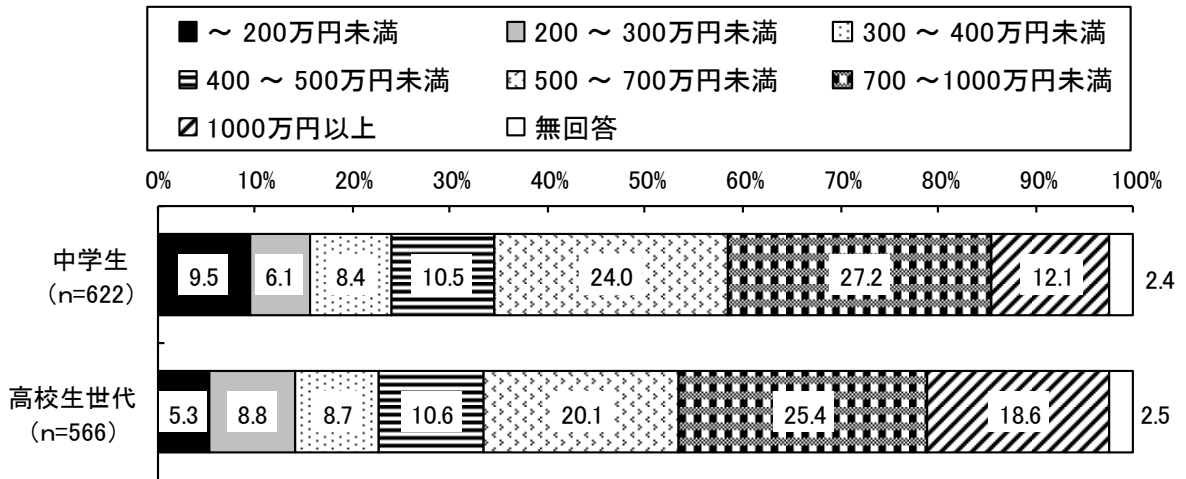
同居家族の人数は、中学生では「4人」(43.9%)の割合が最も高く、次いで「5人以上」(34.6%)、「3人」(17.4%)、「2人」(3.9%)、「1人」(0.2%)となっている。

高校生世代でも、「4人」(43.1%)の割合が最も高く、次いで「5人以上」(25.3%)、「3人」(25.1%)、「2人」(5.7%)、「1人」(0.2%)となっている。

(2) 世帯年収

問6 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

図表-332 世帯年収



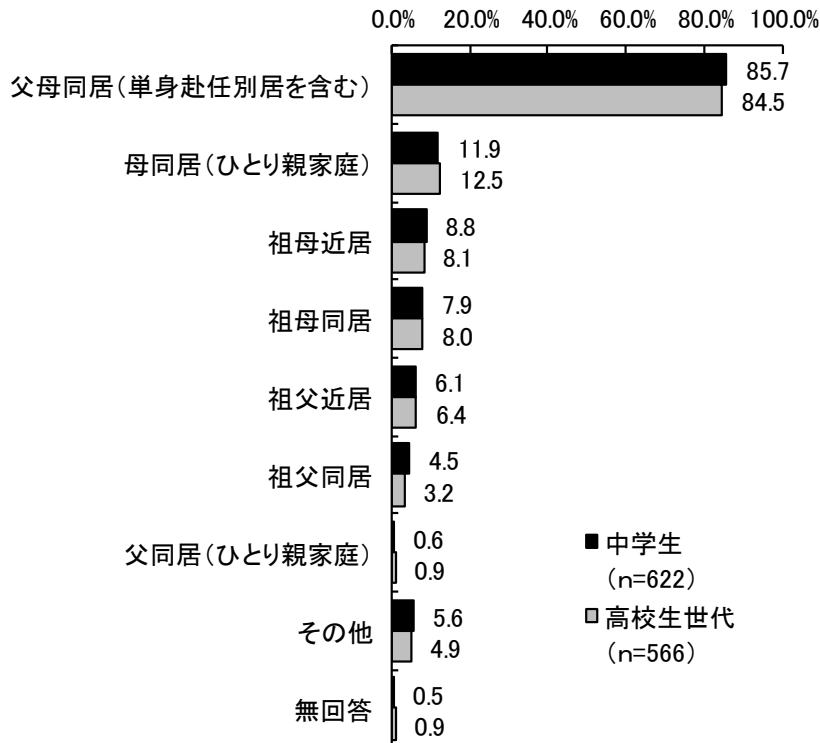
世帯の年収は、中学生では、「700~1000万円未満」(27.2%)の割合が最も高く、次いで「500~700万円未満」(24.0%)などとなっている。

高校生世代でも、「700~1000万円未満」(25.4%)の割合が最も高く、次いで「500~700万円未満」(20.1%)、「1000万以上」(18.6%)などとなっている。

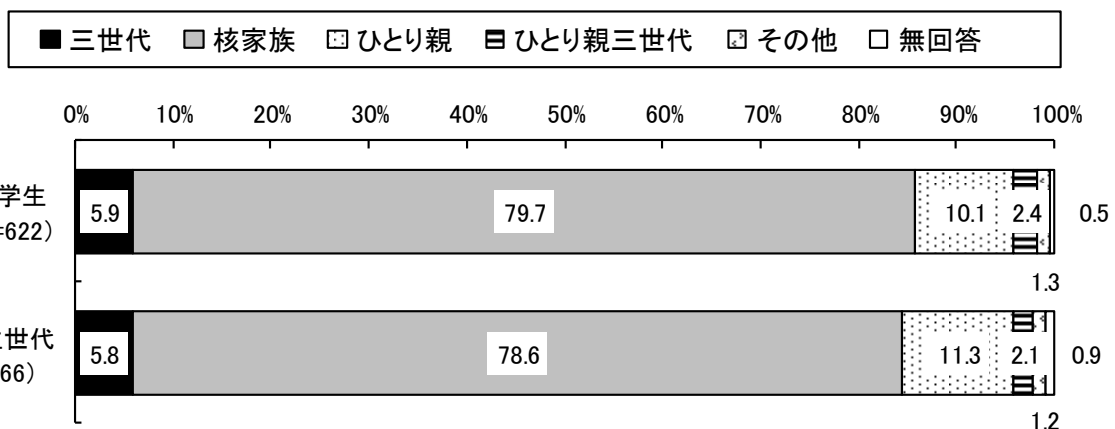
(3) 同居・近居状況

問4 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について選んでください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。(あてはまるものすべてに○)

図表-333 同居家族数



図表-334 世帯分類



子どもとの同居・近居状況は、中学生・高校生世代ともに「父母同居(単身赴任別居等を含む)」が8割以上と大部分を占めている。『ひとり親家庭』は「母同居(ひとり親家庭)」が1割強、「父同居(ひとり親家庭)」が0.5~1.0%で、合わせて12~13%となっている。

世帯分類をみると、中学生・高校生世代ともに「核家族」が全体の約8割を占めており、次いで「ひとり親」、「三世代」、「ひとり親三世代」の順となっている。

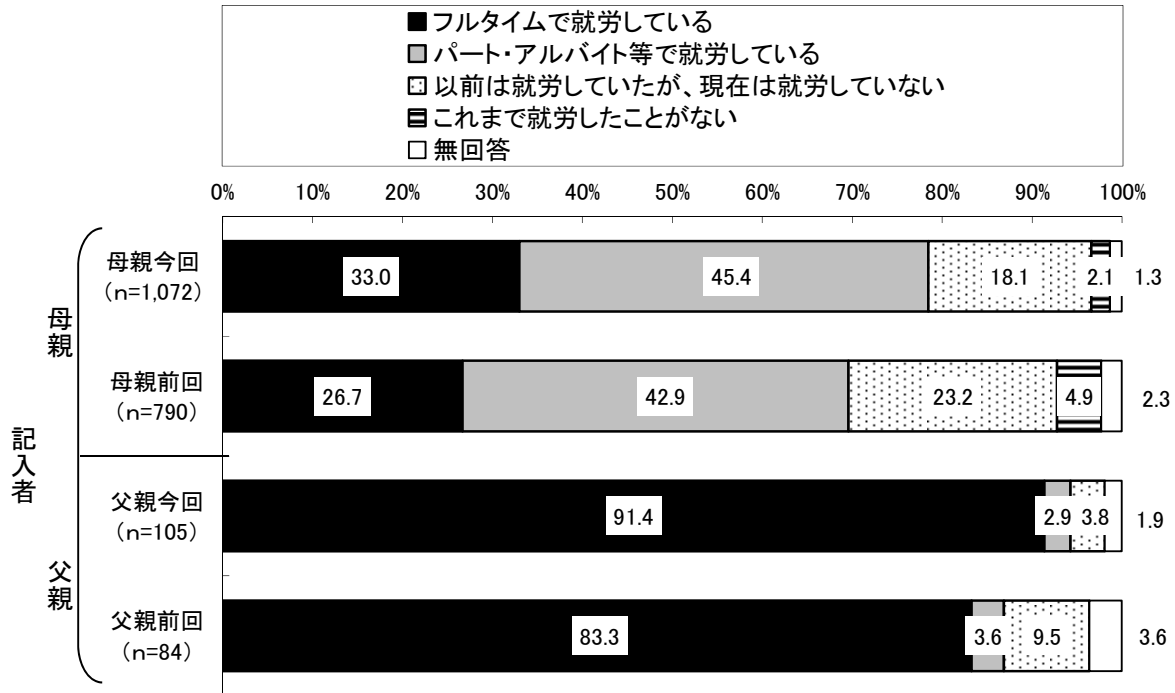
第2章 保護者の就労状況

1. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

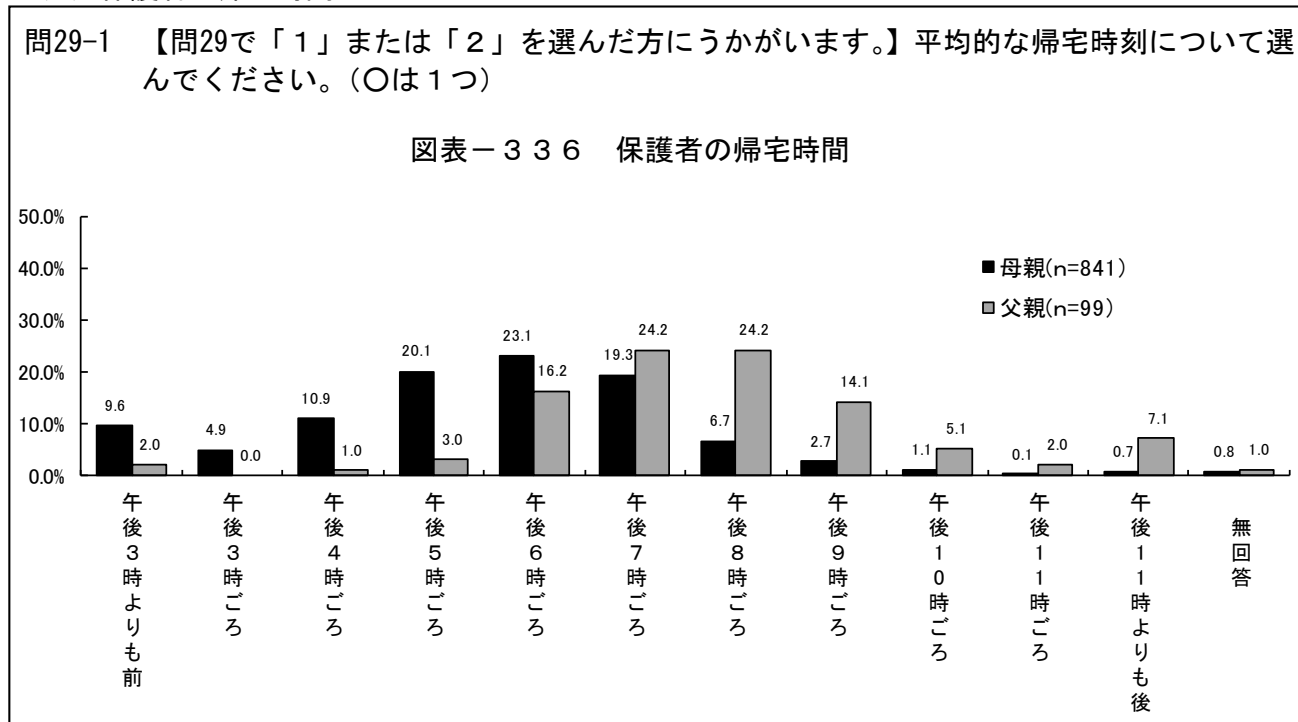
問29 あなたの就労状況について選んでください。(○は1つ)

図表-335 保護者の就労状況



保護者の就労状況は、母親は「パート・アルバイト等で就労している」(45.4%)の割合が最も高く、次いで「フルタイムで就労している」(33.0%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(18.1%)となっており、就労者の割合は前回調査から約9ポイント増加している。父親については「フルタイムで就労している」の割合が9割を超えている。

(2) 保護者の帰宅時間



就労している保護者の帰宅時間は、母親では「午後6時ごろ」(23.1%)の割合が最も高く、次いで「午後5時ごろ」(20.1%)、「午後7時ごろ」(19.3%)となっている。

父親では「午後7時ごろ」「午後8時ごろ」(ともに24.2%)の割合が最も高く、次いで「午後6時ごろ」(16.2%)となっている。

世代別にみると、高校生世代は中学生に比べて「午後7時ごろ」（22.0%）、「午後8時ごろ」（10.5%）の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、母親がフルタイムで就労している場合は午後6時以降の割合が高く、パート・アルバイトで就労している場合は、午後5時以前の割合が高い。

図表－337 世代別・母親の就労状況別 保護者の帰宅時間（単位：%）

		標本数（人）	午後3時より前	午後3時ごろ	午後4時ごろ	午後5時ごろ	午後6時ごろ	午後7時ごろ
全体		962	8.8	4.5	10.0	18.2	22.2	19.9
世代別	中学生	489	9.8	5.7	10.8	19.2	22.1	17.6
	高校生世代	459	7.8	3.3	9.2	17.0	22.4	22.0
	無回答	14	7.1	-	7.1	21.4	21.4	28.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	462	1.1	0.6	2.2	7.6	26.2	32.3
	パート・アルバイト等で就労	500	16.0	8.0	17.2	28.0	18.6	8.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	-	-	-	-	-	-	-
	これまで就労したことがない	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

		標本数（人）	午後8時ごろ	午後9時ごろ	午後10時ごろ	午後11時ごろ	午後11時より後	無回答
全体		962	8.5	3.8	1.5	0.4	1.4	0.8
世代別	中学生	489	6.7	3.5	2.2	0.2	1.4	0.6
	高校生世代	459	10.5	4.4	0.7	0.4	1.3	1.1
	無回答	14	7.1	-	-	7.1	-	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	462	16.0	7.6	2.6	0.6	2.6	0.6
	パート・アルバイト等で就労	500	1.6	0.4	0.4	0.2	0.2	1.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	-	-	-	-	-	-	-
	これまで就労したことがない	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

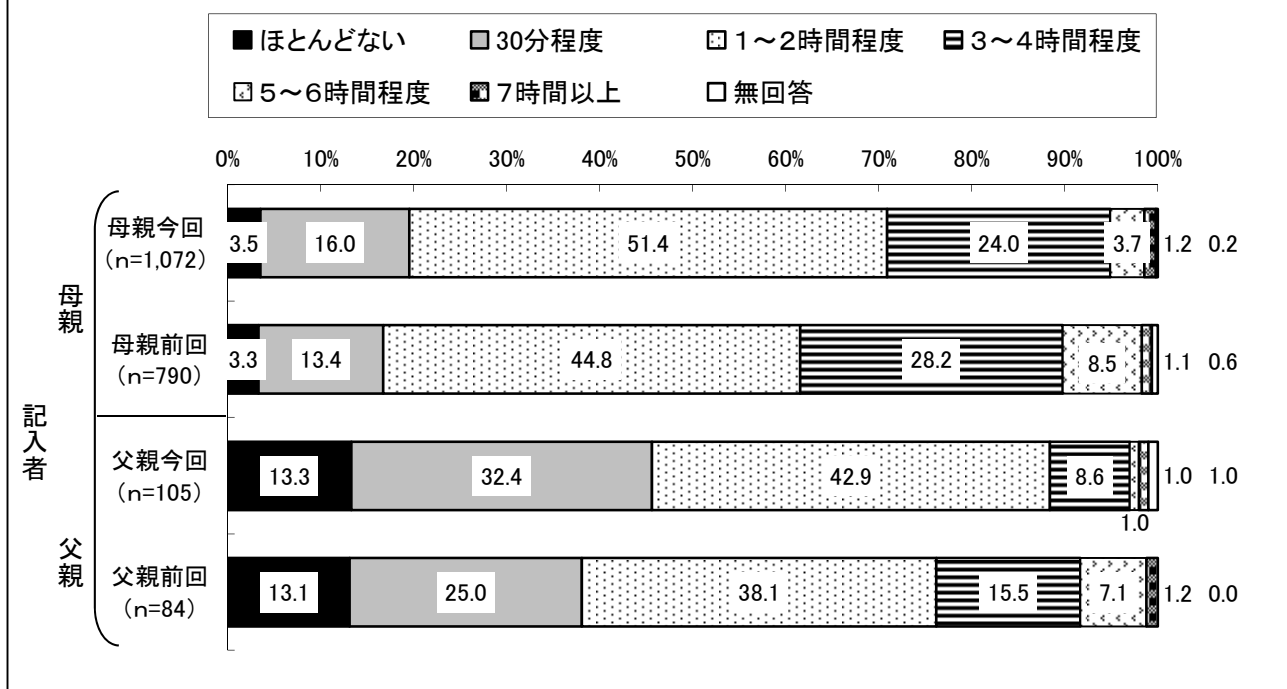
第3章 子どもの家庭やしつけについて

1. 子どもとの関係と会話の程度

(1) 平日に子どもと過ごす時間

問7 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか（食事時間を含みます）。（平日・休日のそれぞれ〇は1つつつ）

図表-338 平日に子どもと過ごす時間



平日に子どもと過ごす時間は、母親は「1~2時間程度」(51.4%)の割合が最も高く、次いで「3~4時間程度」(24.0%)、「30分程度」(16.0%)となっている。前回調査と比較すると、「3~4時間程度」は約4ポイント減少し、「1~2時間程度」は約7ポイント増加している。

父親は「1~2時間程度」(42.9%)の割合が最も高く、次いで「30分程度」(32.4%)、「ほとんどない」(13.3%)となっており、母親と比べると短い傾向にある。

世代別にみると、高校生世代は中学生に比べ「ほとんどない～2時間程度」の割合が高く、子どもと過ごす時間が短い傾向にある。

保護者の就労状況別にみると、保護者がフルタイムで就労している場合は他の就労状況に比べて、「ほとんどない～2時間程度」の割合が高く、子どもと過ごす時間が短い傾向にある。

子どもの性別にみると、いずれの世代も子どもが男性である場合、子どもと過ごす時間が短い傾向にある。

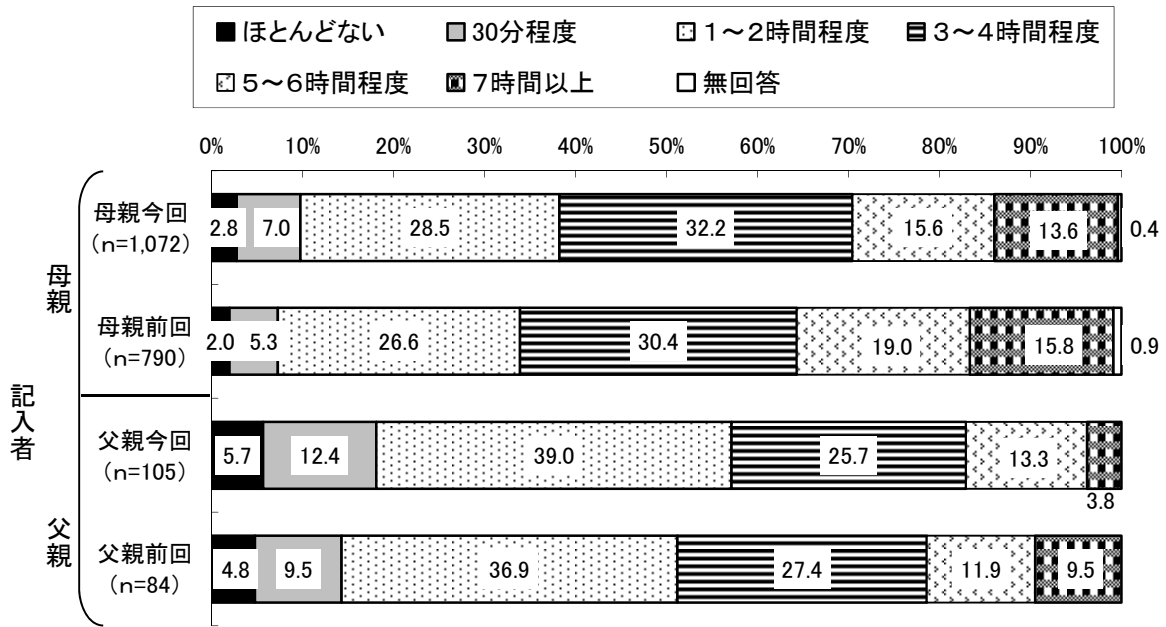
図表－339 世代別・保護者の就労状況別・子どもの性別 平日に子どもと過ごす時間(単位:%)

		標本数(人)	ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答
全体		1,203	4.4	17.2	50.1	22.2	3.5	1.2	1.4
世代別	中学生	622	2.7	16.9	49.2	24.9	4.3	1.6	0.3
	高校生世代	566	6.4	17.8	52.5	19.8	2.7	0.7	0.2
	無回答	15	-	6.7	-	-	-	-	93.3
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	462	6.7	20.8	51.3	16.9	1.9	-	2.4
	パート・アルバイト等で就労	500	2.6	15.6	49.6	25.4	4.4	1.6	0.8
	以前は就労していたが、現在は就労していない	201	3.0	12.4	49.8	26.9	5.5	2.0	0.5
	これまで就労したことがない	23	-	17.4	56.5	17.4	-	8.7	-
	無回答	17	17.6	23.5	29.4	23.5	-	-	5.9
子どもの性別別	中学生:男性	273	3.3	19.0	50.9	21.6	3.3	1.5	0.4
	中学生:女性	250	2.0	15.6	48.0	25.6	6.4	2.0	0.4
	高校生世代:男性	223	8.5	23.3	53.8	11.7	1.8	0.9	-
	高校生世代:女性	222	3.6	11.3	52.7	28.4	2.7	0.9	0.5
	無回答	235	5.1	16.6	45.5	23.4	3.0	0.4	6.0

(2) 休日に子どもと過ごす時間

問7 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしていたりしている時間が1日にどのくらいありますか（食事時間を含みます）。（平日・休日のそれぞれ〇は1つつ）

図表-340 休日に子どもと過ごす時間



休日に子どもと過ごす時間は、母親は「3～4時間程度」(32.2%)の割合が最も高く、次いで「1～2時間程度」(28.5%)、「5～6時間程度」(15.6%)、「7時間以上」(13.6%)となっている。前回調査と比較すると、「5～6時間程度」「7時間以上」の割合はやや減少している。

父親は「1～2時間程度」(39.0%)の割合が最も高く、次いで「3～4時間程度」(25.7%)、「5～6時間程度」(13.3%)、「30分程度」(12.4%)となっており、母親と比べると短い傾向にある。

世代別にみると、高校生世代では、中学生に比べて「ほとんどない～2時間程度」の割合が高く、子どもと過ごす時間が短い傾向にある。

保護者の就労状況別にみると、保護者が就労している場合は他の就労状況に比べて、「30分程度」の割合がやや高く、子どもと過ごす時間が短い傾向にある。

子どもの性別では、いずれの世代も子どもが男性である場合、子どもと過ごす時間が短い傾向にある。

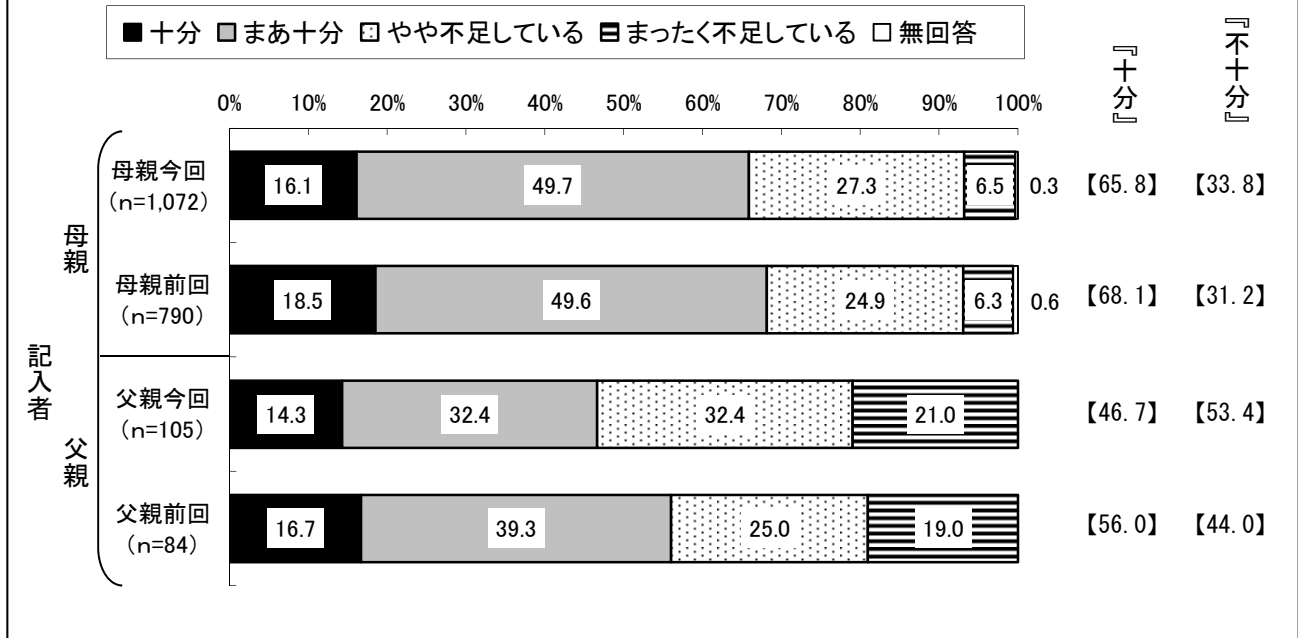
図表－341 世代別・保護者の就労状況別・子どもの性別 休日に子どもと過ごす時間(単位:%)

		標本数 (人)	ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答
全体		1,203	3.1	7.3	29.3	31.2	15.0	12.5	1.6
世代別	中学生	622	2.3	6.3	26.4	28.9	18.0	17.8	0.3
	高校生世代	566	4.1	8.5	33.4	34.5	12.2	6.9	0.5
	無回答	15	-	6.7	-	-	-	-	93.3
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	462	3.5	8.7	31.6	29.4	13.4	11.3	2.2
	パート・アルバイト等で就労	500	2.0	8.2	27.0	33.8	16.0	11.4	1.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	201	4.0	3.5	29.4	28.9	17.4	16.9	-
	これまで就労したことがない	23	-	-	43.5	21.7	13.0	21.7	-
	無回答	17	17.6	-	17.6	41.2	5.9	11.8	5.9
子どもの性別別	中学生:男性	273	3.7	8.4	33.0	24.9	15.8	13.9	0.4
	中学生:女性	250	0.4	3.6	21.2	32.8	20.4	21.2	0.4
	高校生世代:男性	223	5.8	9.0	43.0	30.9	6.7	4.5	-
	高校生世代:女性	222	3.2	3.6	25.7	38.3	18.0	9.9	1.4
	無回答	235	2.6	11.9	24.3	30.2	13.6	11.5	6.0

(3) 平日に子どもと過ごす時間の評価

問8 あなたは、ご自分がお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。(平日・休日・全体的にそれぞれ○は1つつ)

図表-342 平日に子どもと過ごす時間の評価



平日に子どもと過ごす時間の評価をたずねたところ、母親は、「まあ十分」(49.7%)の割合が最も高く、次いで「やや不足している」(27.3%)、「十分」(16.1%)、「まったく不足している」(6.5%)となっており、『十分』(「十分」と「まあ十分」の合計)は65.8%となっている。

前回調査と比較すると、『十分』の割合はやや減少している。

父親は、「まあ十分」と「やや不足している」がともに32.4%となっており、次いで「まったく不足している」(21.0%)、「十分」(14.3%)となっており、『十分』(「十分」と「まあ十分」の合計)は46.7%となっている。

前回調査と比較すると、『十分』の割合は約9ポイント減少している。

保護者の就労状況別にみると、保護者がフルタイムで就労している場合は他の就労状況に比べて、『不十分』（49.7%）の割合が高く、保護者が就労していない場合は『十分』の割合が8割弱～9割強を占めている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯及びひとり親三世帯世帯では、他の世帯に比べて『不十分』の割合が高くなっている。

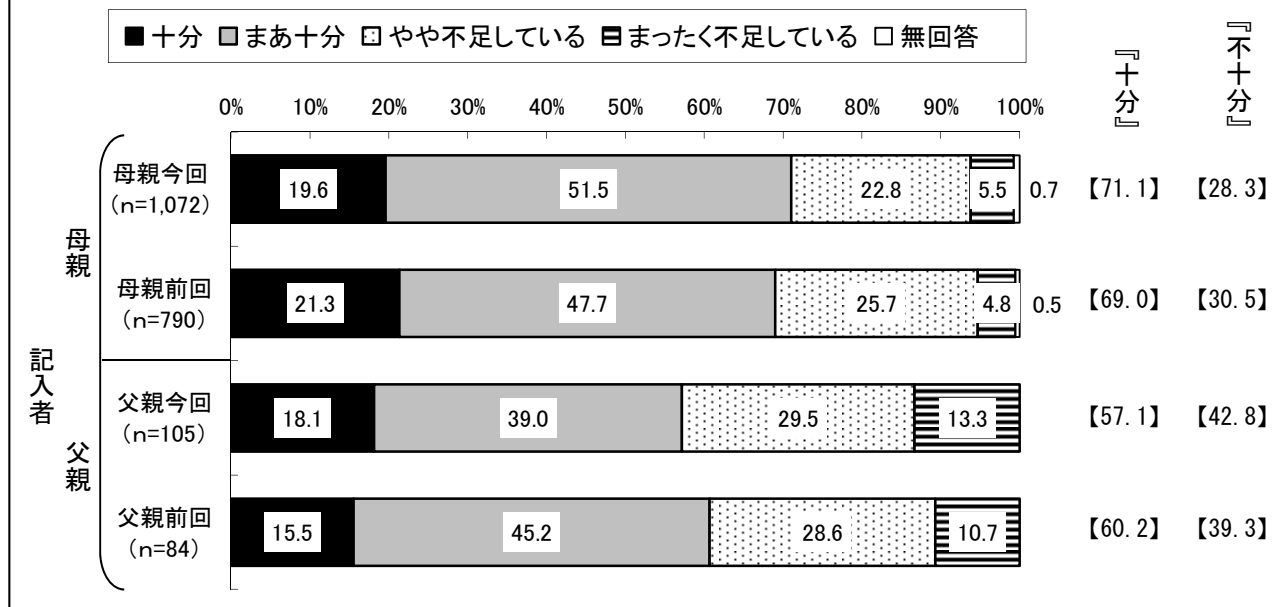
図表－343 保護者の就労状況別・世帯分類別 平日に子どもと過ごす時間の評価（単位：%）

		標本数 (人)	十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不十分』
全体		1,203	15.9	47.5	27.4	7.8	1.4	63.4	35.2
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	462	9.7	38.5	36.1	13.6	1.9	48.2	49.7
	パート・アルバイト等で就労	500	18.2	52.4	25.0	3.4	1.0	70.6	28.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	201	21.4	56.7	16.4	5.0	0.5	78.1	21.4
	これまで就労したことがない	23	39.1	52.2	4.3	4.3	-	91.3	8.6
	無回答	17	17.6	29.4	23.5	17.6	11.8	47.0	41.1
世帯分類別	三世帯	70	11.4	57.1	24.3	7.1	-	68.5	31.4
	核家族	942	17.3	49.4	26.2	7.0	0.1	66.7	33.2
	ひとり親	127	11.0	44.1	33.1	11.8	-	55.1	44.9
	ひとり親三世帯	27	14.8	11.1	55.6	18.5	-	25.9	74.1
	その他	15	13.3	33.3	33.3	13.3	6.7	46.6	46.6
	無回答	22	-	9.1	18.2	4.5	68.2	9.1	22.7

(4) 休日に子どもと過ごす時間の評価

問8 あなたは、ご自分がお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。(平日・休日・全体的にそれぞれ○は1つずつ)

図表-344 休日に子どもと過ごす時間の評価



休日に子どもと過ごす時間が十分だと思うかたずねたところ、母親は、「まあ十分」(51.5%)の割合が最も高く、次いで「やや不足している」(22.8%)、「十分」(19.6%)、「まったく不足している」(5.5%)となっており、『十分』(「十分」と「まあ十分」の合計)は71.1%となっている。

前回調査と比較すると、『十分』の割合はやや増加している。

父親は、「まあ十分」(39.0%)の割合が最も高く、次いで「やや不足している」(29.5%)、「十分」(18.1%)、「まったく不足している」(13.3%)となっており、『十分』(「十分」と「まあ十分」の合計)は57.1%となっている。

前回調査と比較すると、『十分』の割合はやや低下している。

保護者の就労状況別にみると、保護者がフルタイムで就労している場合は他の就労状況に比べて、『不十分』(38.6%)の割合が高く、一方で保護者がこれまで就労したことがない場合は『不十分』の割合は1割強に留まっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯及びひとり親三世帯世帯では、他の世帯に比べて『不十分』の割合が高くなっている。

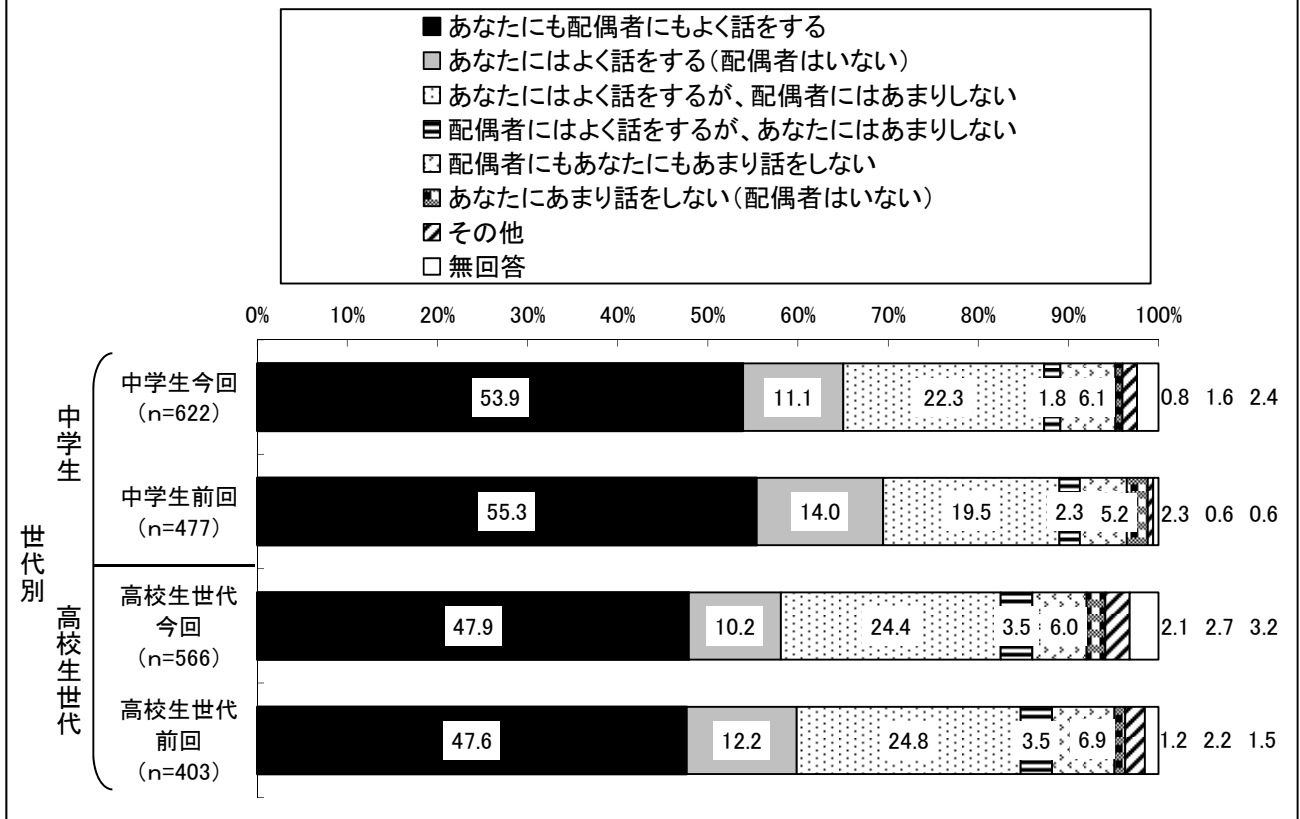
図表－345 保護者の就労状況別・世帯分類別 休日に子どもと過ごす時間の評価 (単位：%)

		標本数 (人)	十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不十分』
全体		1,203	19.3	49.8	22.9	6.2	1.8	69.1	29.1
保護者の 就労 状況 別	フルタイムで就労	462	14.7	44.6	28.6	10.0	2.2	59.3	38.6
	パート・アルバイト等で就労	500	18.6	56.6	20.2	3.0	1.6	75.2	23.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	201	27.4	49.3	18.4	4.5	0.5	76.7	22.9
	これまで就労したことがない	23	47.8	39.1	8.7	4.3	-	86.9	13.0
	無回答	17	29.4	11.8	23.5	17.6	17.6	41.2	41.1
世帯 分類 別	三世帯	70	12.9	55.7	24.3	7.1	-	68.6	31.4
	核家族	942	20.7	50.6	22.7	5.4	0.5	71.3	28.1
	ひとり親	127	16.5	49.6	25.2	8.7	-	66.1	33.9
	ひとり親三世帯	27	18.5	37.0	22.2	18.5	3.7	55.5	40.7
	その他	15	13.3	33.3	40.0	6.7	6.7	46.6	46.7
	無回答	22	-	22.7	4.5	4.5	68.2	22.7	9.0

(5) 子どもとの会話の程度

問9 あて名のお子さんは、あなたやあなたの配偶者と日ごろよく話をしますか。(○は1つ)

図表-346 子どもとの会話の程度



子どもとの会話の程度は、中学生では、「あなたにも配偶者にもよく話をする」(53.9%)の割合が最も高く、次いで「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」(22.3%)、「あなたにはよく話をする(配偶者はいない)」(11.1%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

高校生世代でも、「あなたにも配偶者にもよく話をする」(47.9%)の割合が最も高く、次いで「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」(24.4%)、「あなたにはよく話をする(配偶者はいない)」(10.2%)となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

記入者別にみると、母親では「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」(25.6%)の割合が高く、父親では「配偶者にはよく話をするが、あなたにはあまりしない」(19.0%)の割合が高くなっている。

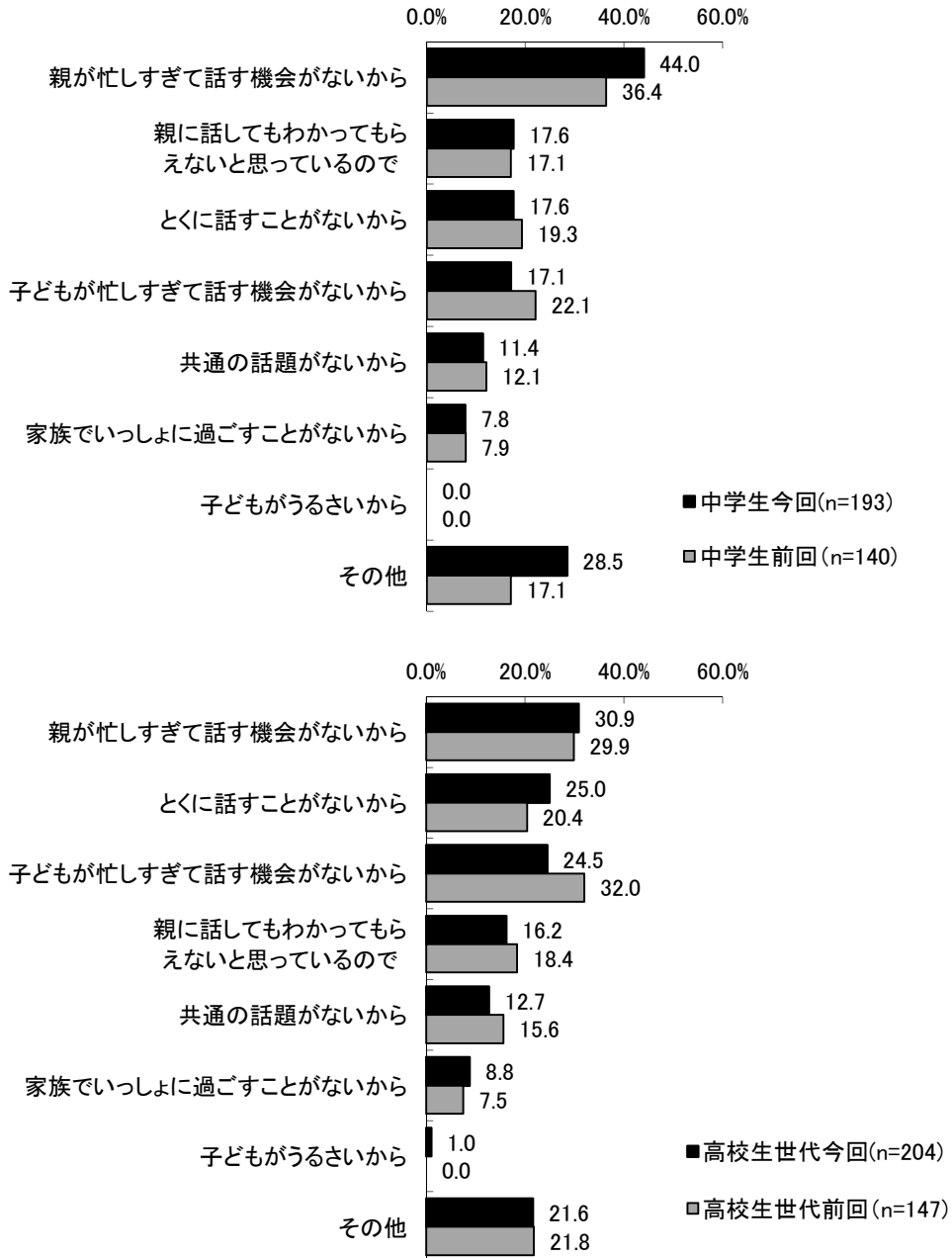
図表-347 記入者別 子どもとの会話の程度 (単位: %)

	標本数 (人)	あなたに よく話を する者	あなたに あまり 話さない 者	あなたに よく話を するが、 配偶者に はあまり 話さない 者	あなたに あまり 話さない が、 配偶者に はよく 話をする 者	配偶者に よく話を するが、 あなたに はあまり 話さない 者	配偶者に あまり 話さない が、 あなたに はよく 話をする 者	あなたに よく話を するが、 配偶者に はあまり 話さない が、 あなたに はよく 話をする 者	その他	無回答
全体	1,203	50.5	10.6	23.0	2.6	6.0	1.4	2.1	3.9	
記入者別	母親	1,072	49.8	11.0	25.6	1.0	6.2	1.5	2.2	2.7
	父親	105	65.7	5.7	1.0	19.0	4.8	1.0	-	2.9
	祖母	5	20.0	60.0	-	-	-	-	20.0	-
	祖父	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	その他	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
	無回答	17	5.9	-	5.9	-	5.9	-	-	82.4

(6) 話をしない理由

問9-1 【問9で「3」～「6」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。】お子さんが、あなたや配偶者の方とあまり話をしない理由は何ですか。(○は2つまで)

図表-348 話をしない理由



子どもと話をしない理由は、中学生では、「親が忙しすぎて話す機会がないから」(44.0%)の割合が最も高く、次いで「親に話してもわかってもらえないと思っているので」「とくに話すことがないから」(ともに17.6%)、「子どもが忙しすぎて話す機会がないから」(17.1%)となっている。前回調査と比較すると、「親が忙しすぎて話す機会がないから」の割合は約8ポイント増加している。

高校生世代でも、「親が忙しすぎて話す機会がないから」(30.9%)の割合が最も高く、次いで「とくに話すことがないから」(25.0%)、「子どもが忙しすぎて話す機会がないから」(24.5%)となっている。前回調査と比較すると、「子どもが忙しすぎて話す機会がないから」の割合は約8ポイント減少している。

記入者別にみると、父親は母親に比べて「親が忙しすぎて話す機会がないから」(48.1%)の割合が高くなっている。

図表－349 記入者別 話をしない理由 (単位：%)

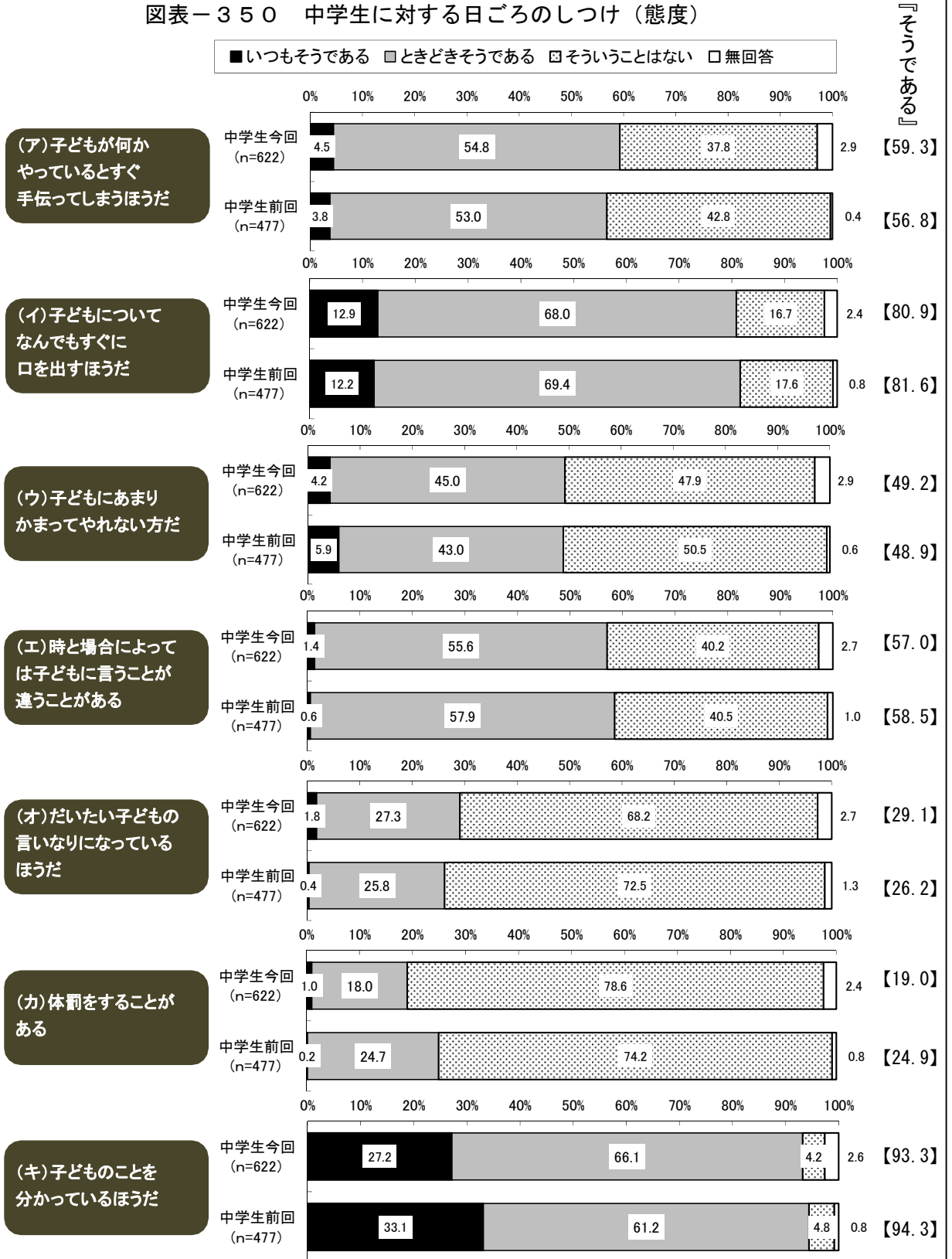
	標本数(人)	親が忙しすぎて話 す機会がないから	子どもが忙しすぎ か話す機会がない	共通の話題がない か	子どもがうるさい か	親に話してもわい か思っているのな	なとくに話すことが ないから	家族でいつしよ か過ごすことがない	その他	無回答	
全体	397	37.3	20.9	12.1	0.5	16.9	21.4	8.3	24.9	1.0	
記入者別	母親	367	36.5	21.0	12.5	0.3	16.1	22.6	8.4	25.3	0.8
	父親	27	48.1	18.5	3.7	3.7	25.9	7.4	7.4	22.2	-
	祖母	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	祖父	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	無回答	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0

2. しつけや教育についての悩みと相談相手

(1) 日ごろのしつけ（態度）

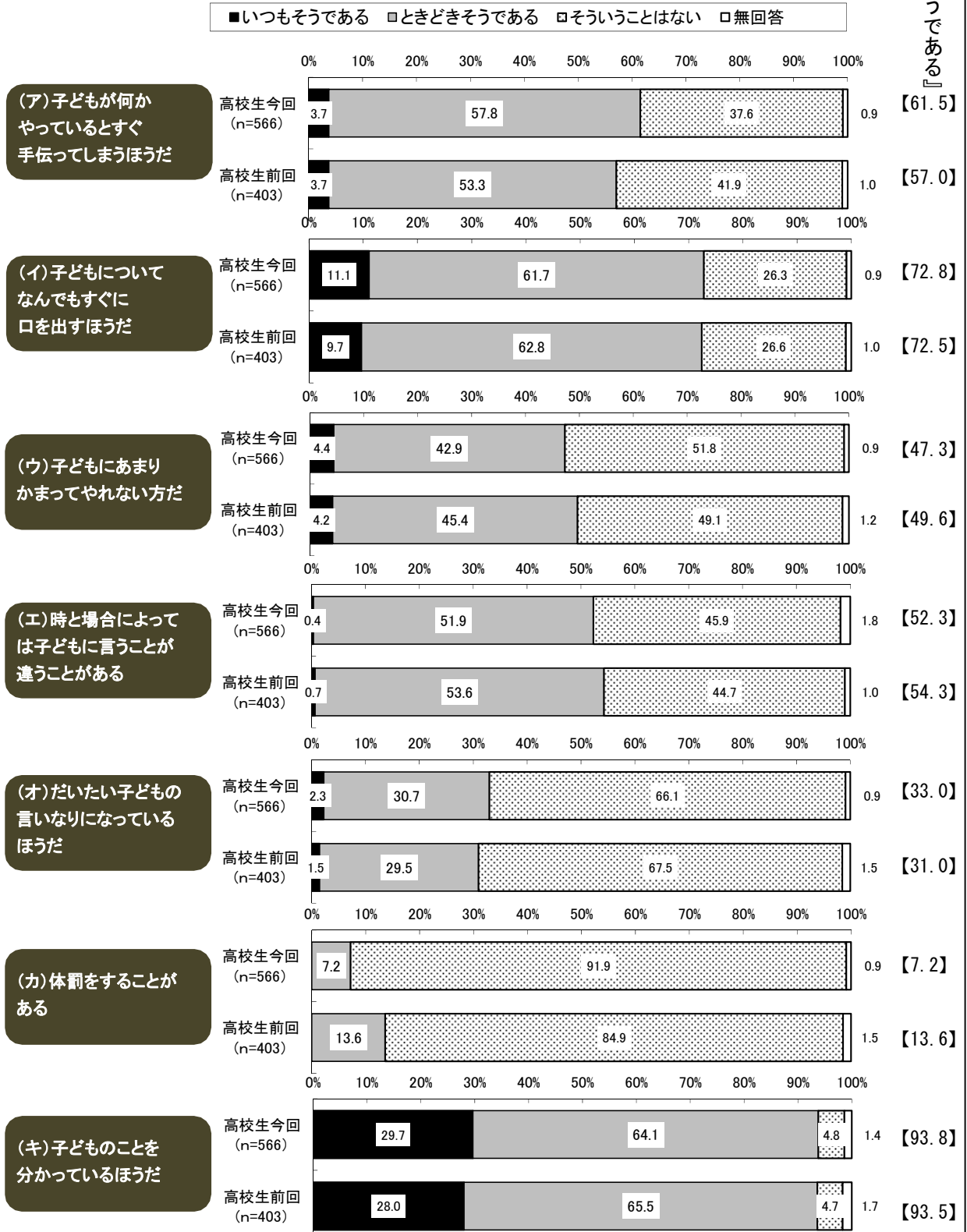
問10 あて名のお子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ（態度）はどのようにされていますか。（ア）～（キ）について、それぞれ〇は1つずつ

図表-350 中学生に対する日ごろのしつけ（態度）



中学生に対する日ごろのしつけ（態度）について、「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた『そうである』の割合が最も高いのは、「子どものことを分かっている」で9割を超えている。次いで、「何でもすぐに口に出す」（80.9%）、「何かやっているときすぐ手伝ってしまう」（59.3%）、「時と場合によっては子どもに言うことが違う」（57.0%）、「あまりかまってもやれない」（49.2%）となっている。前回調査と比較すると、「体罰をすることがある」の割合は約6ポイント減少している。

図表-351 高校生世代に対する日ごろのしつけ（態度）



IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

高校生世代に対する日ごろのしつけ（態度）について、「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた『そうである』の割合が最も高いのは、「子どものことを分かっている」で9割を超えている。次いで、「何でもすぐに口に出す」（72.8%）、「何かやっているとすぐ手伝ってしまう」（61.5%）、「時と場合によっては子どもに言うことが違う」（52.3%）、「あまりかまってやれない」（47.3%）となっている。前回調査と比較すると、「体罰をすることがある」の割合は約6ポイント減少している。

記入者別にみると、父親は母親に比べて「子どもにあまりかまってやれない方だ」の『そうである』（59.0%）の割合が高くなっている。

保護者の就労状況別にみると、保護者がフルタイムで就労している場合は他の就労状況に比べて「子どもにあまりかまってやれない方だ」の『そうである』（63.4%）の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯及びひとり親三世帯世帯では、三世帯世帯及び核家族世帯に比べて、「子どものあまりかまってやれない方だ」の『そうである』の割合が高くなっている。

子どもの性別にみると、いずれの世代でも男性の方が「子どもについて何でもすぐに口を出す方だ」の『そうである』の割合が高くなっている。

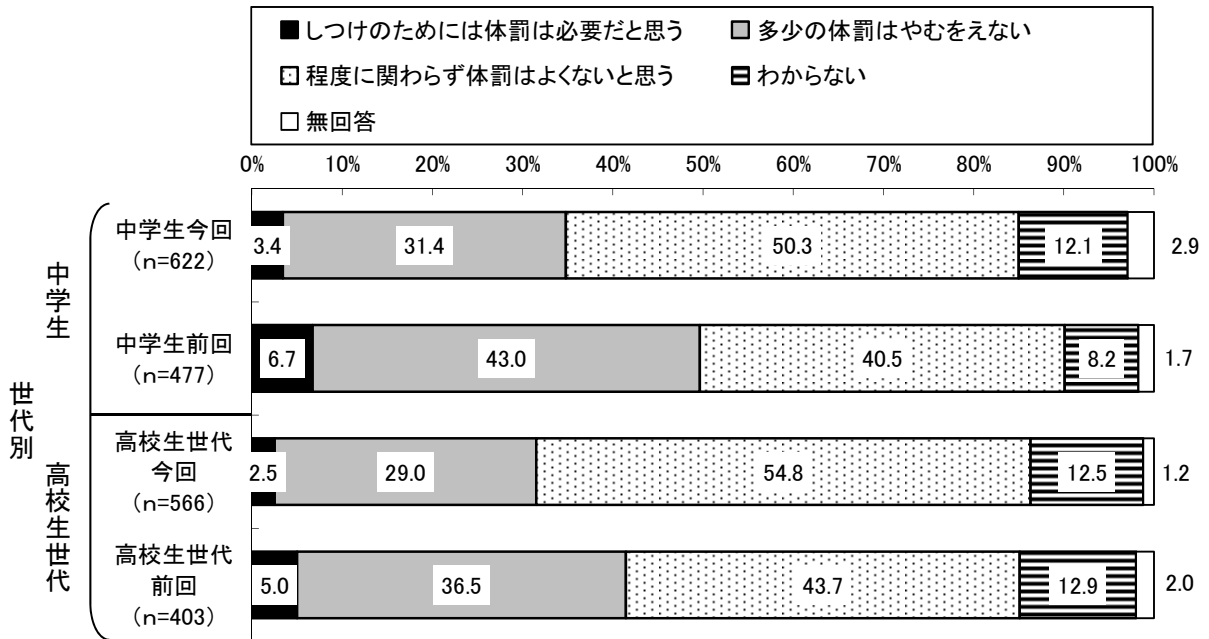
図表－352 記入者別・保護者の就労状況別・世帯分類別・子どもの性別
日ごろのしつけ（態度）（『そうである』の割合）

	標本数（人）	方ぐか（ア） だ手やア 伝つて子 っているも まとうす何	口い（イ） をて何 出す子ども だすも ぐにつ	なま（ウ） いり子 方かま だも てや れあ	こによ（エ） と言っは時 がうてと あこは場 るとが違 るど合 うもに	など（オ） っもい の言 だいい たい だり子	こ（カ） が体 ある罰 をする	方と（キ） だを分 か子 つど も い るこ
全体	1,203	60.1	77.2	48.6	54.8	30.8	13.5	93.6
記入者別	母親	1,072	61.2	78.0	47.2	56.2	31.6	93.8
	父親	105	53.4	69.5	59.0	41.0	26.7	90.5
	祖母	5	20.0	20.0	40.0	40.0	-	100.0
	祖父	1	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0
	その他	3	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	100.0
	無回答	17	41.2	88.3	76.5	58.8	17.7	94.2
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	462	52.8	75.3	63.4	54.3	33.4	92.9
	パート・アルバイト等で就労	500	64.2	78.2	42.0	58.0	28.4	94.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	201	68.7	77.6	32.3	49.3	30.4	93.1
	これまで就労したことがない	23	52.2	73.9	34.8	52.1	34.8	95.6
	無回答	17	47.1	94.1	53.0	47.1	35.3	94.1
分類別	三世帯	70	62.9	74.3	45.7	45.7	32.9	92.9
	核家族	942	61.9	78.1	46.4	56.3	30.5	93.8
	ひとり親	127	51.1	74.0	58.3	51.2	33.1	91.4
	ひとり親三世帯	27	44.4	70.4	55.5	48.1	37.0	92.6
	その他	15	53.3	53.3	73.4	60.0	26.7	100.0
無回答	22	50.0	86.3	72.7	50.0	22.7	95.5	
子どもの性別別	中学生：男性	273	63.0	82.1	49.5	56.8	29.7	92.3
	中学生：女性	250	55.6	80.8	46.8	58.4	26.4	96.4
	高校生世代：男性	223	57.8	74.4	44.9	50.2	29.1	93.8
	高校生世代：女性	222	63.1	68.9	47.7	53.6	36.9	94.1
	無回答	235	60.8	77.9	54.0	54.4	32.8	91.5

(2) 体罰についての考え方

問11 家庭でのお子さんへの体罰について、あてはまる考えを選んでください。(○は1つ)

図表-353 体罰についての考え方



家庭での子どもへの体罰についての考えをたずねたところ、中学生の保護者では、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」(50.3%)の割合が最も高く、次いで「多少の体罰はやむをえない」(31.4%)、「わからない」(12.1%)、「しつけのためには体罰は必要だと思う」(3.4%)となっている。前回調査と比較すると、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」の割合は約10ポイント増加している。

高校生世代の保護者では、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」(54.8%)の割合が最も高く、次いで「多少の体罰はやむをえない」(29.0%)、「わからない」(12.5%)、「しつけのためには体罰は必要だと思う」(2.5%)となっている。前回調査と比較すると、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」の割合は約11ポイント増加している。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

記入者別にみると、父親は母親に比べて、「しつけのためには体罰は必要だと思う」(6.7%)の割合がやや高くなっている。

世帯分類別にみると、三世帯世帯では他の世帯に比べて「しつけのためには体罰は必要だと思う」(7.1%)の割合がやや高くなっている。

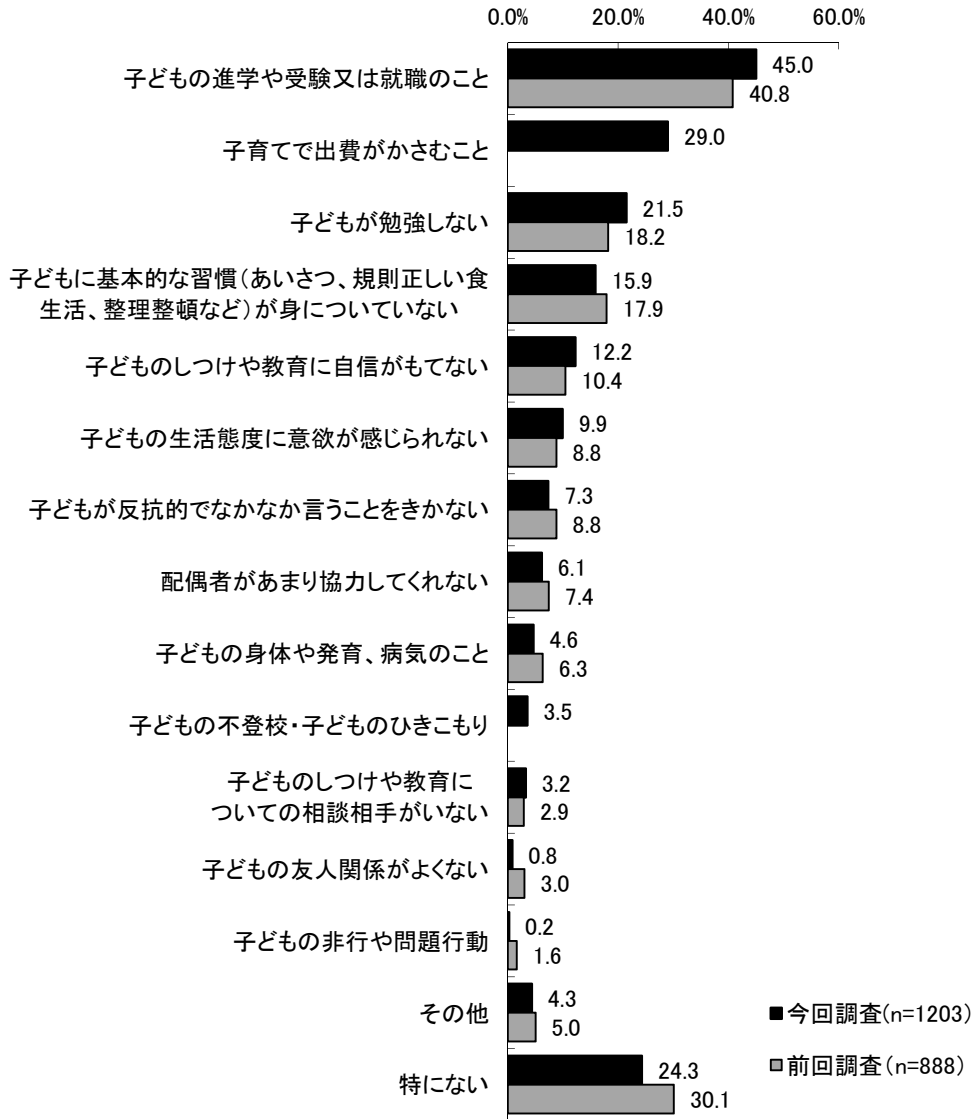
図表－354 記入者別・世帯分類別 体罰についての考え方 (単位：%)

		標本数(人)	しつけのためには必要だと思う	多少の体罰はやむをえない	程度はよく関わらず体罰はよくないと思	わからない	無回答
全体		1,203	3.1	30.3	52.5	12.1	2.1
記入者別	母親	1,072	2.6	29.9	52.4	12.7	2.3
	父親	105	6.7	33.3	53.3	6.7	-
	祖母	5	-	20.0	60.0	20.0	-
	祖父	1	-	100.0	-	-	-
	その他	3	-	-	100.0	-	-
	無回答	17	11.8	35.3	41.2	11.8	-
世帯分類別	三世帯	70	7.1	30.0	47.1	11.4	4.3
	核家族	942	2.5	30.0	53.0	12.4	2.0
	ひとり親	127	3.9	30.7	51.2	12.6	1.6
	ひとり親三世帯	27	3.7	22.2	63.0	7.4	3.7
	その他	15	-	33.3	60.0	6.7	-
	無回答	22	9.1	45.5	36.4	9.1	-

(3) しつけや教育についての悩み

問17 あなたはあて名のお子さんのしつけや教育について、何か悩みや心配ごとはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表-355 しつけや教育についての悩み



※「子育てで出費がかさむこと」「子どもの不登校・子どものひきこもり」は、今回調査で新規で追加した選択肢

しつけや教育についての悩みは、「子どもの進学や受験又は就職のこと」(45.0%)の割合が最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」(29.0%)、「子どもが勉強しない」(21.5%)、「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」(15.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの進学や受験又は就職のこと」の割合は約4ポイント増加している。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

世代別にみると、中学生では高校生世代に比べて「子どもが勉強しない」(23.8%)、「子どものしつけや教育に自信がもてない」(14.6%)、「子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない」(9.5%)の割合が高く、高校生世代では「子どもの進学や受験又は就職のこと」(46.6%)の割合が高くなっている。

子どもの性別にみると、いずれの世代でも男性の方が「子どものしつけや教育に自信がもてない」の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べて「子育てで出費がかさむこと」(43.3%)、ひとり親三世帯世帯では他の世帯に比べて「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」(33.3%)の割合が高くなっている。

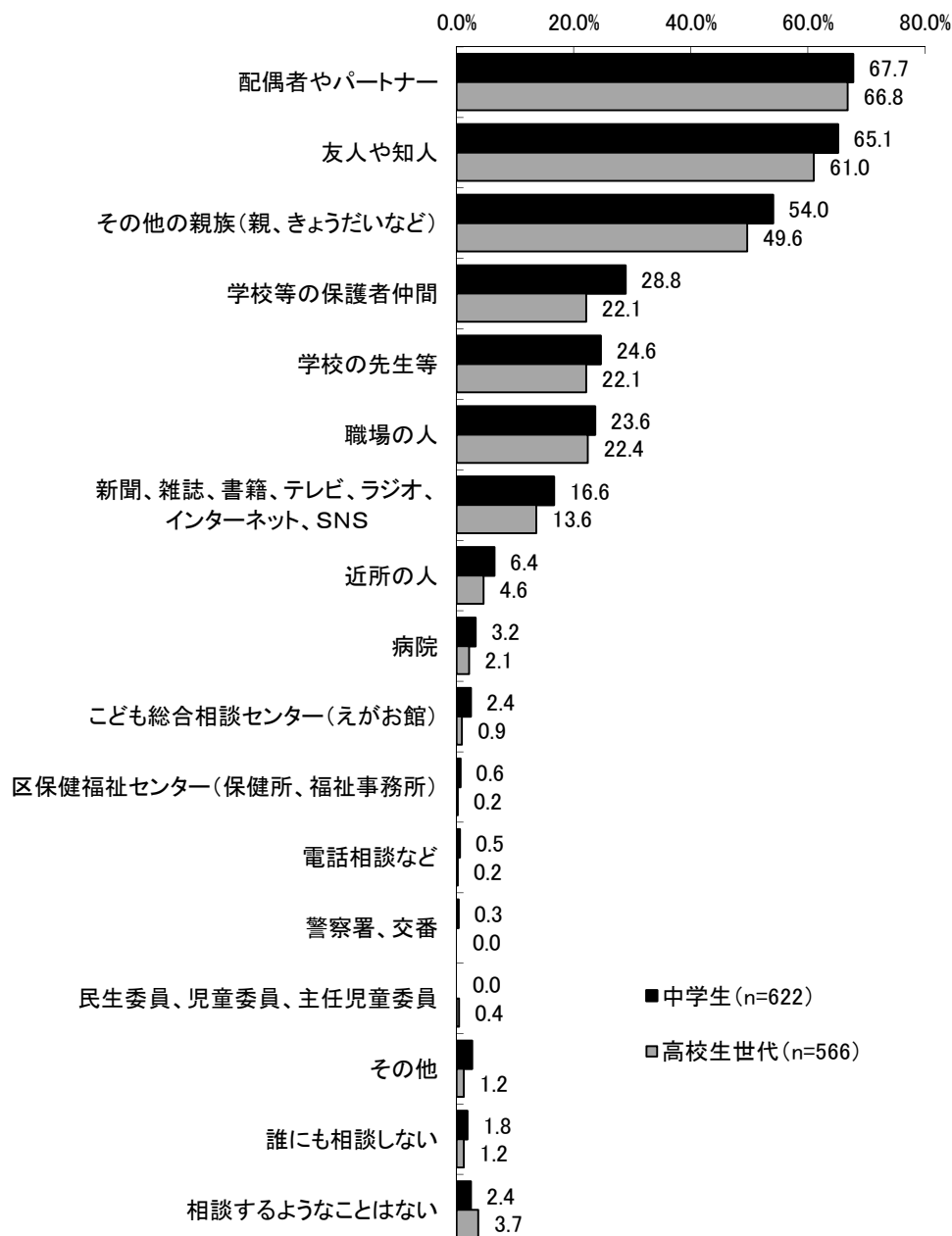
図表－356 世代別・子どもの性別・世帯分類別 しつけや教育についての悩み(単位：%)

分類別	世代別	子どもの性別	世帯分類別	標本数(人)	が食(子どもに基本的な習慣)	自信(子どものしつけや教育に)	いつ(子どもの相談相手や教育に)	く配(偶者があまり協力して)	子どもが勉強しない	子どもの進学や受験又は就職のこと	か(子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない)	が(子どもの生活態度に意欲)
					が身に生活について整頓など)	子どもがもてない	子どもの相談相手や教育に	偶者があまり協力して	子どもが勉強しない	子どもの進学や受験又は就職のこと	子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない	子どもの生活態度に意欲
全体				1,203	15.9	12.2	3.2	6.1	21.5	45.0	7.3	9.9
世代別	中学生			622	16.9	14.6	3.2	5.3	23.8	43.2	9.5	9.3
	高校生世代			566	14.5	9.4	3.2	6.9	19.1	46.6	4.9	10.8
	無回答			15	26.7	20.0	-	6.7	20.0	53.3	6.7	-
子どもの性別	中学生:男性	男性		273	19.8	16.5	3.3	4.8	33.3	46.9	11.0	13.2
	中学生:女性	女性		250	14.0	12.8	2.8	5.2	12.0	38.0	8.4	5.2
	高校生世代:男性	男性		223	14.8	11.2	2.2	7.2	21.5	51.1	6.3	10.8
	高校生世代:女性	女性		222	12.6	8.1	4.1	5.9	15.8	41.0	3.6	10.4
	無回答			235	17.4	11.5	3.4	7.7	23.4	48.1	6.4	9.8
世帯分類別	三世帯			70	11.4	14.3	-	5.7	25.7	35.7	12.9	11.4
	核家族			942	15.5	12.0	3.1	7.2	21.0	46.1	5.9	9.8
	ひとり親			127	16.5	12.6	5.5	-	20.5	45.7	11.0	12.6
	ひとり親三世帯			27	33.3	18.5	7.4	-	29.6	33.3	22.2	11.1
	その他			15	20.0	-	-	-	26.7	33.3	6.7	-
無回答			22	18.2	13.6	-	4.5	22.7	45.5	9.1	-	
全体				1,203	0.8	3.5	4.6	0.2	29.0	4.3	24.3	1.6
世代別	中学生			622	0.8	4.0	5.3	-	27.7	4.0	24.1	1.6
	高校生世代			566	0.7	2.7	3.9	0.5	30.2	4.8	24.9	1.4
	無回答			15	6.7	13.3	-	-	40.0	-	6.7	6.7
子どもの性別	中学生:男性	男性		273	0.4	3.7	6.6	-	27.1	4.8	16.5	1.5
	中学生:女性	女性		250	1.6	3.6	2.4	-	27.6	2.8	32.8	1.6
	高校生世代:男性	男性		223	0.9	1.8	3.6	0.4	24.2	4.0	24.2	1.3
	高校生世代:女性	女性		222	0.5	3.2	3.6	0.5	32.0	5.0	28.4	2.3
	無回答			235	0.9	5.1	6.4	0.4	34.5	5.1	20.4	1.3
世帯分類別	三世帯			70	1.4	7.1	7.1	1.4	24.3	7.1	25.7	2.9
	核家族			942	0.7	2.2	4.4	0.2	27.4	4.4	24.6	1.4
	ひとり親			127	-	7.1	4.7	-	43.3	2.4	21.3	2.4
	ひとり親三世帯			27	-	18.5	11.1	-	25.9	3.7	29.6	-
	その他			15	6.7	-	-	-	26.7	6.7	26.7	-
無回答			22	4.5	9.1	-	-	36.4	4.5	13.6	4.5	

(4) しつけや教育についての相談相手

問18 あなたがあて名のお子さんのしつけや教育について、悩みや心配ごとを相談したり、参考にしたりしているものは誰（何）ですか。（あてはまるものすべてに○）

図表-357 しつけや教育についての相談相手



しつけや教育についての相談相手は、中学生の保護者では、「配偶者やパートナー」(67.7%)の割合が最も高く、次いで「友人や知人」(65.1%)、「その他の親族(親、きょうだいなど)」(54.0%)、「学校等の保護者仲間」(28.8%)、「学校の先生等」(24.6%)、「職場の人」(23.6%)となっている。

高校生世代の保護者では、「配偶者やパートナー」(66.8%)の割合が最も高く、次いで「友人や知人」(61.0%)、「その他の親族(親、きょうだいなど)」(49.6%)、「職場の人」(22.4%)、「学校等の保護者仲間」「学校等の先生等」(ともに22.1%)となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

記入者別にみると、父親は母親に比べて「その他の親族（親、きょうだいなど）」（30.5%）、「友人や知人」（29.5%）、「学校等の保護者仲間」（8.6%）の割合が低くなっている。

図表－358 記入者別 しつけや教育についての相談相手（単位：％）

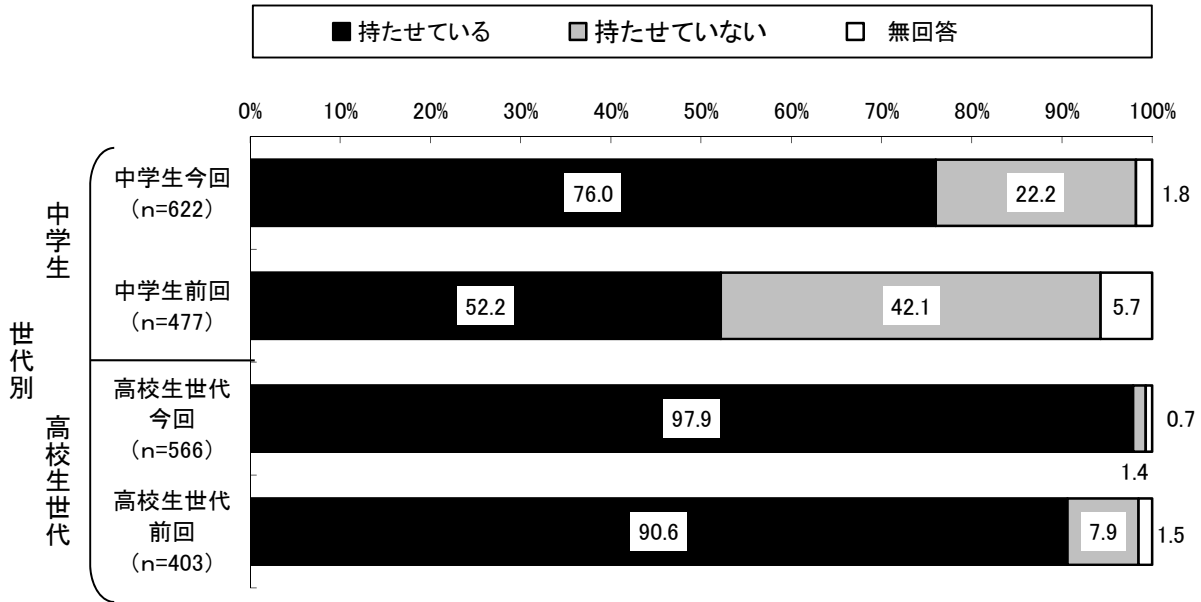
		標本数（人）	配偶者やパートナー	その他の親族（親、きょうだいなど）	友人や知人	近所の人	職場の人	学校等の保護者仲間	学校の先生等	区保健福祉センター（保健所、福祉事務所）	病院
全体		1,203	67.0	51.9	63.0	5.6	23.4	25.6	23.4	0.5	2.7
記入者別	母親	1,072	67.6	54.3	67.0	5.9	24.0	27.5	23.6	0.4	2.8
	父親	105	67.6	30.5	29.5	2.9	17.1	8.6	21.0	-	1.0
	祖母	5	-	60.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0
	祖父	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-
	その他	3	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-
	無回答	17	41.2	41.2	41.2	5.9	41.2	23.5	23.5	5.9	5.9
		標本数（人）	警察署、交番	民生委員、児童委員、主任児童委員	こども総合相談センター（えがお館）	電話相談など	新聞、雑誌、書籍、テレビ、ラジオ、インターネット、SNS	その他	誰にも相談しない	相談するようなことはない	無回答
全体		1,203	0.2	0.2	1.7	0.3	15.0	1.9	1.6	3.0	0.4
記入者別	母親	1,072	0.2	0.2	1.5	0.4	15.0	2.1	1.4	2.1	0.3
	父親	105	-	-	1.0	-	17.1	1.0	2.9	10.5	1.9
	祖母	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-
	祖父	1	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-
	その他	3	-	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	17	-	5.9	-	-	5.9	-	5.9	-	-

3. 携帯電話やスマートフォン、インターネットなどの使用について

(1) 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの通信端末の所有状況

問12 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末を持たせていますか。(〇は1つ)

図表-359 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの通信端末の所有状況



通信端末を所有しているかについては、中学生では所持率が76.0%、高校生世代では97.9%となっている。前回調査と比較すると、中学生では所持率が約24ポイント、高校生世代では約7ポイント増加している。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもの性別にみると、中学生では男性に比べて女性の方が所持率が81.2%と高くなっている。保護者の就労状況別では、大きな違いはみられなかった。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯及びひとり親三世代世帯では、他の世帯に比べて所持率がやや高くなっている。

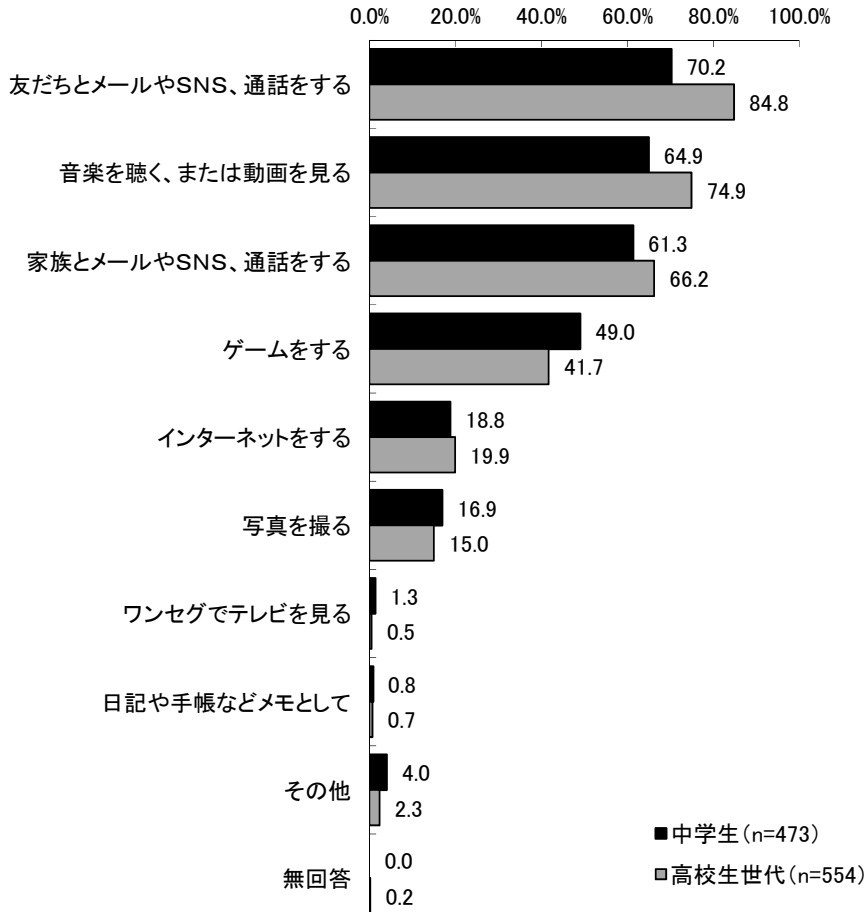
図表－360 子どもの性別・保護者の就労状況別・世帯分類別
携帯電話・スマートフォンなどの所有状況（単位：％）

		標本数 (人)	持たせている	持たせていない	無回答
全体		1,203	86.3	12.5	1.2
子どもの性別	中学生:男性	273	69.2	28.2	2.6
	中学生:女性	250	81.2	18.0	0.8
	高校生世代:男性	223	97.8	1.8	0.4
	高校生世代:女性	222	98.2	1.4	0.5
	無回答	235	89.4	8.9	1.7
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	462	87.7	11.3	1.1
	パート・アルバイト等で就労	500	86.6	12.0	1.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	201	83.6	14.9	1.5
	これまで就労したことがない	23	82.6	17.4	—
	無回答	17	76.5	23.5	—
世帯分類別	三世代	70	82.9	14.3	2.9
	核家族	942	85.8	13.1	1.2
	ひとり親	127	93.7	5.5	0.8
	ひとり親三世代	27	92.6	3.7	3.7
	その他	15	86.7	13.3	—
	無回答	22	68.2	31.8	—

(2) 携帯電話・スマートフォンなどの使用目的

問12-1 【問12で「1」を選んだ方にうかがいます。】あて名のお子さんは、携帯電話やスマートフォンやパソコンなどをどのような目的で使うことが多いですか。ご存知の範囲でお答えください。(〇は3つまで)

図表-361 携帯電話・スマートフォンなどの使用目的



携帯電話・スマートフォンなどの使用目的は、中学生では「友だちとメールやSNS、通話をする」(70.2%)の割合が最も高く、次いで「音楽を聴く、または動画を見る」(64.9%)、「家族とメールやSNS、通話をする」(61.3%)、「ゲームをする」(49.0%)となっている。

高校生世代でも、「友だちとメールやSNS、通話をする」(84.8%)の割合が最も高く、次いで「音楽を聴く、または動画を見る」(74.9%)、「家族とメールやSNS、通話をする」(66.2%)、「ゲームをする」(41.7%)となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では他の世帯に比べて「家族とメールやSNS、通話をする」(73.9%)の割合が高くなっている。

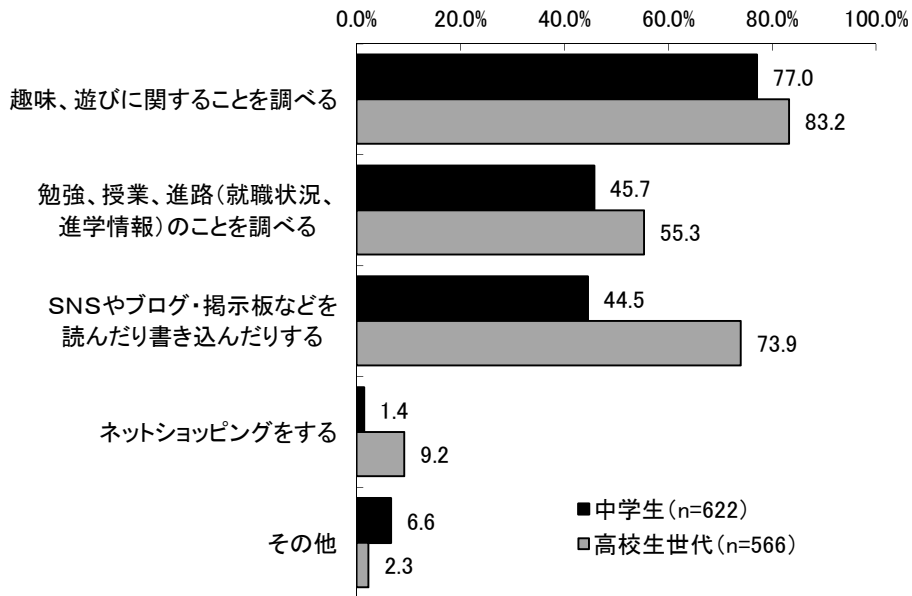
図表－362 世帯分類別 携帯電話・スマートフォンなどの使用目的 (単位：%)

	標本数(人)	N家族とメールやSNS	るSNS、通話をする	ゲームをする	は音楽を聴く、また動画を見る	インターネットをする	写真を撮る	日記や手帳などメモとして	ワンセグでテレビを見る	その他	無回答	
全体	1,038	63.8	78.1	45.3	70.2	19.3	15.9	0.8	0.9	3.1	0.1	
世帯分類別	三世代	58	65.5	86.2	36.2	65.5	17.2	19.0	-	1.7	1.7	-
	核家族	808	63.0	77.4	45.4	70.5	20.4	16.3	0.9	0.6	3.3	0.1
	ひとり親	119	73.9	79.0	45.4	68.1	16.0	13.4	0.8	-	2.5	-
	ひとり親三世代	25	40.0	80.0	52.0	80.0	8.0	16.0	-	8.0	-	-
	その他	13	69.2	84.6	53.8	92.3	7.7	-	-	7.7	-	-
無回答	15	53.3	73.3	53.3	53.3	20.0	13.3	-	-	6.7	-	

(3) インターネットの使用目的

問13 あて名のお子さんは、インターネットを主にどのような目的で使うことが多いですか。ご存知の範囲でお答えください。(〇は3つまで)

図表-363 インターネットの使用目的



インターネットの使用目的は、中学生では「趣味、遊びに関することを調べる」(77.0%)の割合が最も高く、次いで「勉強、授業、進路(就職状況、進学情報)のことを調べる」(45.7%)、「SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする」(44.5%)となっている。

高校生世代では「趣味、遊びに関することを調べる」(83.2%)の割合が最も高く、次いで「SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする」(73.9%)、「勉強、授業、進路(就職状況、進学情報)のことを調べる」(55.3%)となっている。

子どもの性別にみると、高校生世代の女性では「勉強、授業、進路(就職状況、進学情報)のことを調べる」(64.0%)、「SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする」(82.4%)の割合が高くなっている。

図表-364 子どもの性別 インターネットの使用目的 (単位: %)

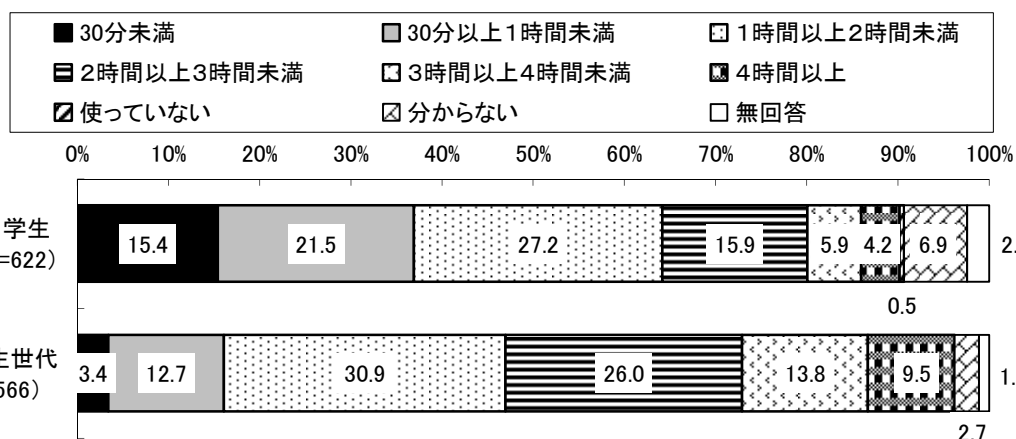
	標本数(人)	情報(勉強、就職状況、進学)	趣味、遊びに関する	ネットショッピング	SNSやブログ・掲示板などを读んだり書き込んだりする	その他	無回答	
全体	1,203	50.3	79.9	5.1	58.4	4.7	2.3	
子どもの性別	中学生:男性	273	35.2	76.2	0.7	34.8	10.3	5.5
	中学生:女性	250	55.6	78.4	2.0	56.4	3.2	1.6
	高校生世代:男性	223	49.3	81.2	8.1	67.7	3.1	0.9
	高校生世代:女性	222	64.0	85.6	8.1	82.4	2.3	0.5
	無回答	235	50.2	79.1	7.7	56.2	3.4	2.6

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

(4) インターネットや SNS の使用時間

問14① あて名のお子さんは、平日1日あたりどれくらいインターネットや SNS (LINE、Facebook、twitter など) を使用していますか。ご存知の範囲でお答えください。(○は1つ)

図表-365 インターネットや SNS の使用時間



インターネットや SNS の使用時間は、中学生では「1時間以上2時間未満」(27.2%)の割合が最も高く、次いで「30分以上1時間未満」(21.5%)、「2時間以上3時間未満」(15.9%)、「30分未満」(15.4%)となっている。

高校生世代では「1時間以上2時間未満」(30.9%)の割合が最も高く、次いで「2時間未満3時間以上」(26.0%)、「3時間以上4時間未満」(13.8%)となっており、中学生と比べると時間が長い傾向にある。

子どもの性別にみると、高校生世代の男性は他に比べて「4時間以上」(11.2%)の割合がやや高くなっている。

図表-366 子どもの性別 インターネットや SNS の使用時間 (単位: %)

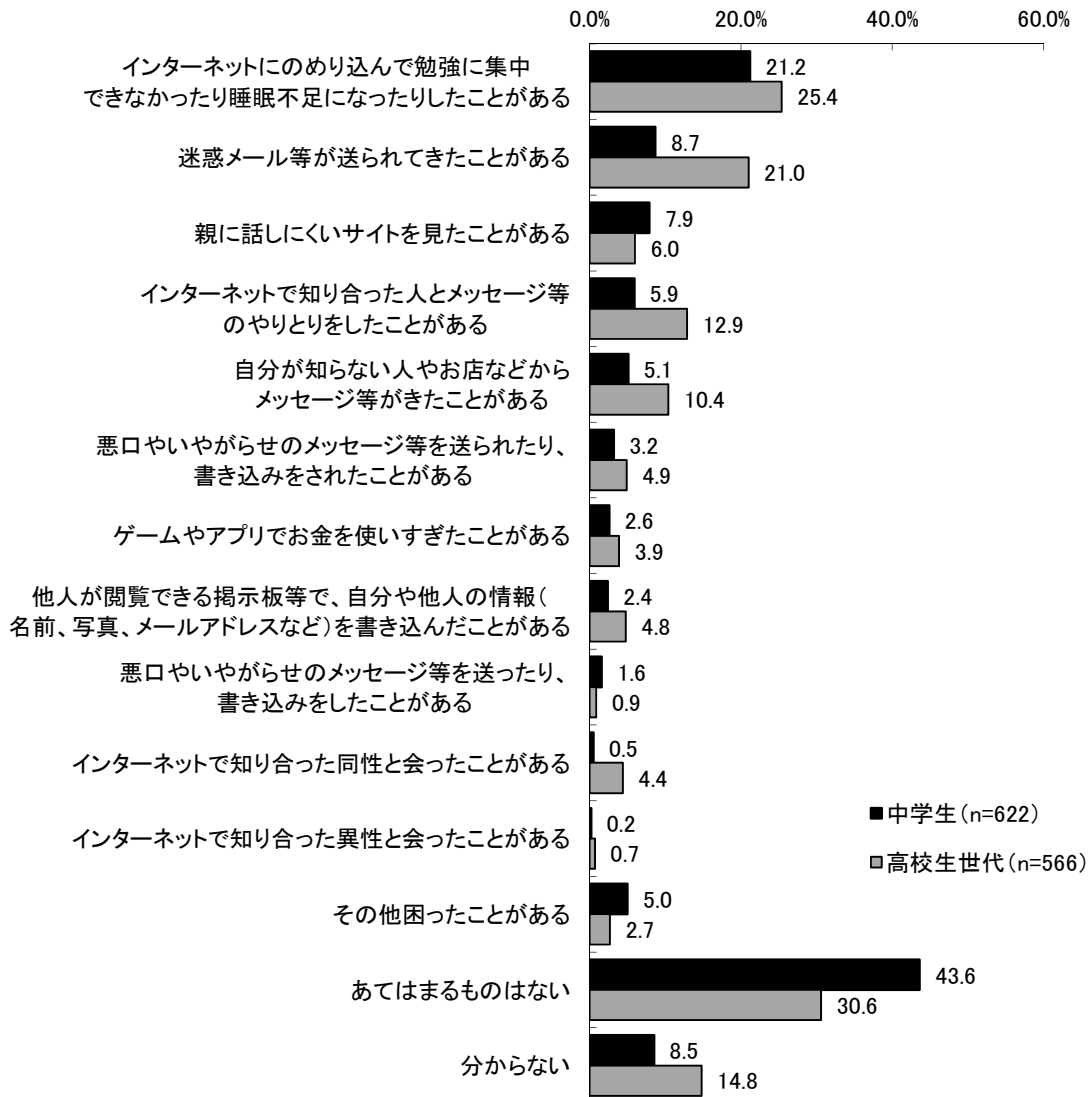
		標本数(人)	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満
全体		1,203	9.6	17.5	28.8	20.7	9.6
子どもの性別	中学生:男性	273	15.0	21.2	24.2	15.0	6.6
	中学生:女性	250	18.8	22.0	27.6	15.6	5.6
	高校生世代:男性	223	5.4	13.9	27.4	23.3	13.5
	高校生世代:女性	222	2.3	11.3	33.3	27.5	16.2
	無回答	235	4.7	17.4	32.3	23.8	7.7

		標本数(人)	4時間以上	使っていない	分からない	無回答
全体		1,203	6.7	0.2	5.1	1.7
子どもの性別	中学生:男性	273	5.5	0.7	8.4	3.3
	中学生:女性	250	2.4	-	6.4	1.6
	高校生世代:男性	223	11.2	-	4.5	0.9
	高校生世代:女性	222	7.2	-	1.8	0.5
	無回答	235	8.1	0.4	3.4	2.1

(5) 子どものインターネットや SNS 上での経験

問14② あて名のお子さんは、インターネットや SNS (LINE、Facebook、twitter など) を使っていて以下のようなことを経験したことはありますか。ご存知の範囲でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表-367 子どものインターネットや SNS 上での経験



子どものインターネットや SNS 上での経験をたずねたところ、中学生・高校生世代いずれも「あてはまるものはない」(中学生：43.6% 高校生世代：30.6%)の割合が最も高い。

具体的な経験の中では、中学生では「インターネットにのめり込んで勉強に集中できなかつたり睡眠不足になつたりしたことがある」(21.2%)の割合が最も高く、次いで「迷惑メール等が送られてきたことがある」(8.7%)となっている。

高校生世代でも、「インターネットにのめり込んで勉強に集中できなかつたり睡眠不足になつたりしたことがある」(25.4%)の割合が最も高く、次いで「迷惑メール等が送られてきたことがある」(21.0%)となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもの性別にみると、高校生世代の女性では他に比べて「迷惑メール等が送られてきたことがある」(29.3%)の割合が高くなっている。

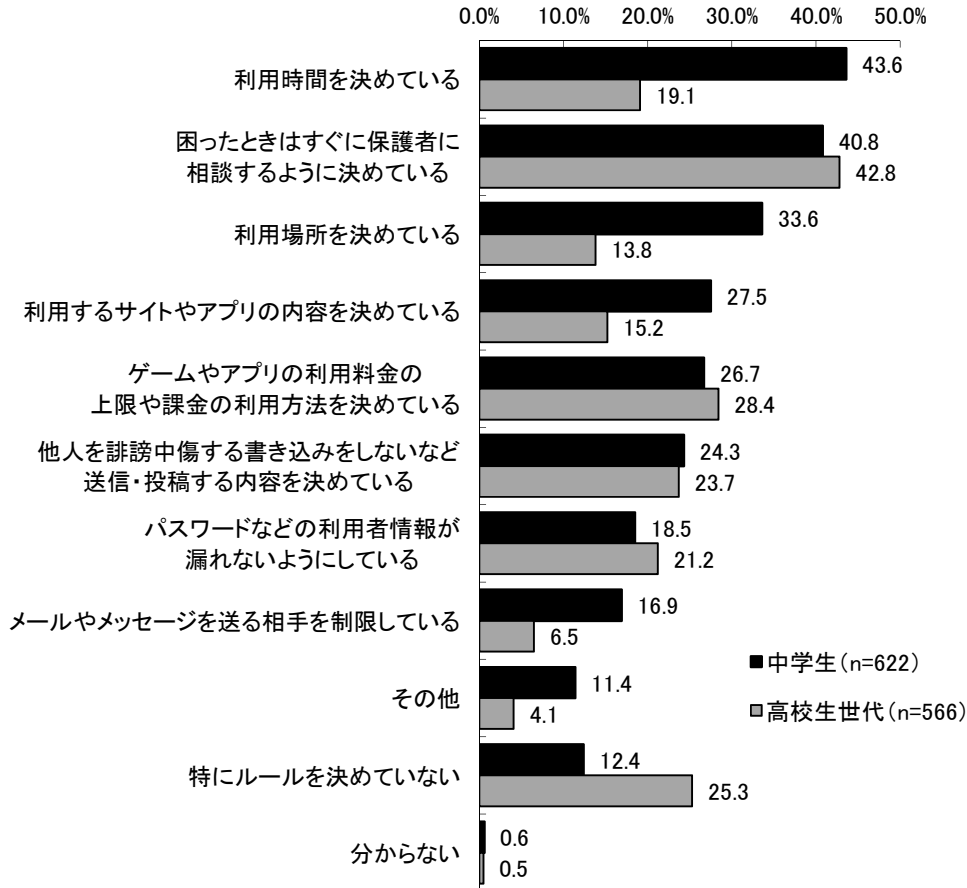
図表－368 子どもの性別 子どものインターネットやSNS上での経験(単位：%)

		標本数(人)	悪口やいやがらせのメッセージを送られたことがある	悪口やいやがらせのメッセージを送ったり、書き込みをしたことがある	前、写真、メールアドレスなどを書き込んだことがある	他人が閲覧できる掲示板等で、自分や他人の情報(名など)を、写真、メールアドレスなど)を書き込んだことがある	親に話にくいサイトを見たことがある	ゲームやアプリでお金を使いすぎたことがある	自分から知らない人やお店などからメッセージ等がきたことがある	迷惑メール等が送られてきたことがある	インターネット等で知り合った人とメッセージ等のやりとりをしたことがある
全体		1,203	4.1	1.2	3.5	7.0	3.2	7.6	14.5	9.1	
子どもの性別	中学生:男性	273	2.2	1.5	1.8	11.0	4.8	4.4	8.1	4.0	
	中学生:女性	250	4.0	1.2	3.2	5.6	0.4	6.0	9.2	7.2	
	高校生世代:男性	223	2.2	1.8	3.6	8.1	3.1	7.6	14.3	10.3	
	高校生世代:女性	222	7.7	0.5	7.7	2.7	3.6	14.0	29.3	14.9	
	無回答	235	4.7	1.3	1.7	6.8	4.3	6.8	14.0	10.6	
		標本数(人)	同性と会ったことがある	異性と会ったことがある	睡眠不足になったりしたことがある	で勉強に集中できなかったり、寝込んでしまったことがある	その他困ったことがある	あてはまるものはない	分からない	無回答	
全体		1,203	2.3	0.4	23.2	3.8	37.5	11.6	4.7		
子どもの性別	中学生:男性	273	-	-	21.2	4.4	40.7	9.5	6.2		
	中学生:女性	250	0.4	0.4	19.6	4.8	47.6	7.2	5.2		
	高校生世代:男性	223	1.8	0.4	21.1	3.1	32.7	18.8	3.6		
	高校生世代:女性	222	7.7	0.9	27.0	2.7	24.3	11.7	2.3		
	無回答	235	2.6	0.4	27.7	3.8	40.0	11.9	6.0		

(6) インターネットや SNS 使用上の家庭でのルール

問15 あなたの家では、インターネットや SNS (LINE、Facebook、twitter など)、メールの使い方について何かルールはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-369 インターネットや SNS 使用上の家庭のルール



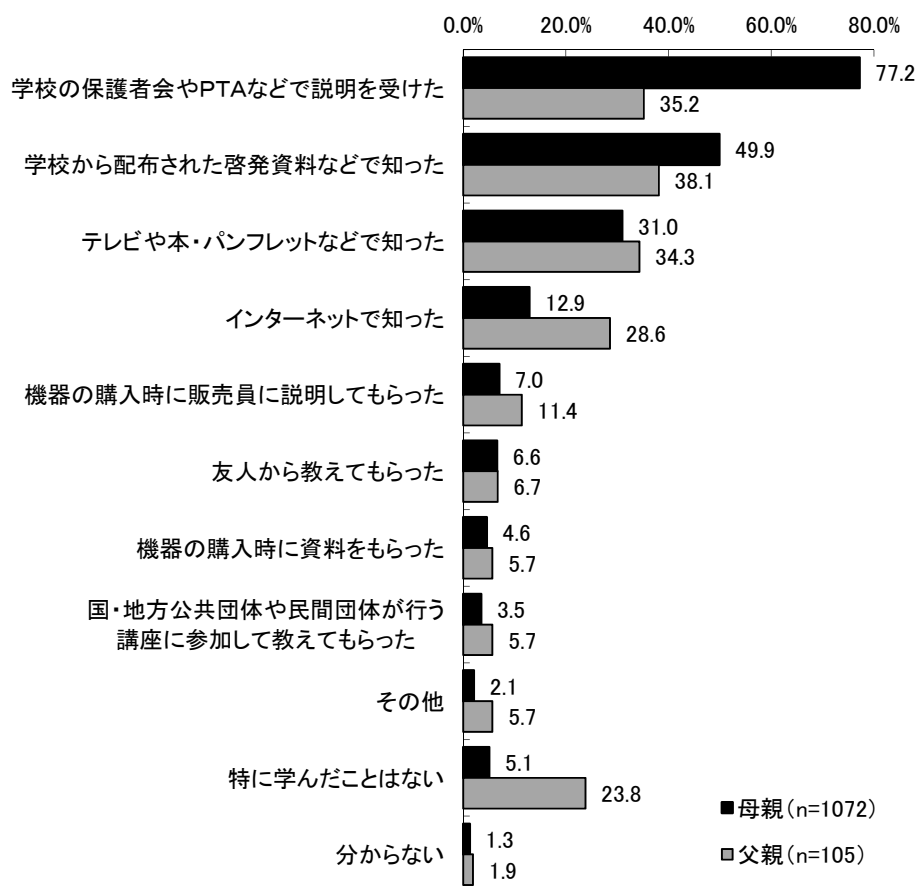
インターネットや SNS 使用上の家庭のルールとしては、中学生では「利用時間を決めている」(43.6%)の割合が最も高く、次いで「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」(40.8%)、「利用場所を決めている」(33.6%)となっている。

高校生世代では、「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」(42.8%)の割合が最も高く、次いで「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(28.4%)、「特にルールを決めていない」(25.3%)となっており、中学生と比べるとルールを決めていない割合が多い。

(7) インターネットの危険性について学んだ経験

問16 あなた（回答している保護者様）は、青少年に不適切なサイト（出会い系やアダルトサイトなど）やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表-370 インターネットの危険性について学んだ経験



保護者がインターネットの危険性について学んだ経験としては、母親は「学校の保護者会やPTAなどで説明を受けた」（77.2%）の割合が最も高く、次いで「学校から配布された啓発資料などで知った」（49.9%）、「テレビや本・パンフレットなどで知った」（31.0%）となっている。

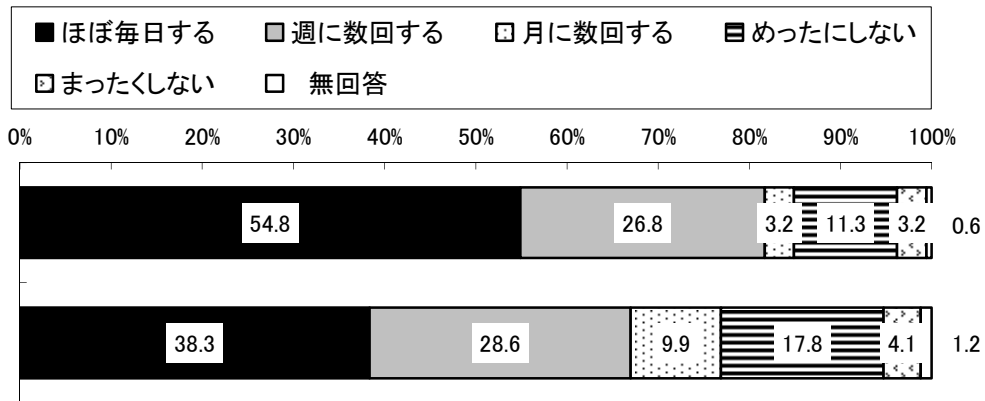
父親は「学校から配布された啓発資料などで知った」（38.1%）の割合が最も高く、次いで「学校の保護者会やPTAなどで説明を受けた」（35.2%）、「テレビや本・パンフレットなどで知った」（34.3%）となっており、「特に学んだことはない」についても23.8%の回答があった。

4. 学習や学校生活について

(1) 自宅での学習状況

問19 お子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

図表-371 自宅での学習状況



自宅での学習は、中学生では、「ほぼ毎日する」(54.8%)の割合が最も高く、次いで「週に数回する」(26.8%)、「めったにしない」(11.3%)となっている。

高校生世代では、「ほぼ毎日する」(38.3%)の割合が最も高く、次いで「週に数回する」(28.6%)、「めったにしない」(17.8%)となっており、中学生と比べると自宅で学習する頻度が低い傾向にある。

中学生の自宅での学習状況を世帯年収別にみると、200万円未満及び200～300万円未満では「ほぼ毎日する」(200万円未満：40.7%、200～300万円未満：42.1%)の割合が他の世帯より低く、「月に数回する」「めったにしない」「まったくしない」の合計が3割を超えている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では「ほぼ毎日する」(38.1%)の割合が低くなっている。

図表-372 世帯年収別・世帯分類別 中学生の学習の状況 (単位：%)

		標本数(人)	ほぼ毎日する	週に数回する	月に数回する	めったにしない	まったくしない	無回答
全体		622	54.8	26.8	3.2	11.3	3.2	0.6
世帯年収別	200万円未満	59	40.7	25.4	13.6	10.2	6.8	3.4
	200～300万円未満	38	42.1	23.7	2.6	18.4	13.2	-
	300～400万円未満	52	51.9	25.0	3.8	15.4	3.8	-
	400～500万円未満	65	60.0	21.5	1.5	12.3	3.1	1.5
	500～700万円未満	149	62.4	21.5	3.4	11.4	1.3	-
	700～1000万円未満	169	50.9	35.5	1.8	10.1	1.2	0.6
	1000万円以上	75	61.3	28.0	-	6.7	4.0	-
	無回答	15	66.7	20.0	-	13.3	-	-
世帯分類別	三世帯	37	56.8	18.9	5.4	16.2	2.7	-
	核家族	496	57.5	27.4	1.8	10.7	2.2	0.4
	ひとり親	63	38.1	27.0	12.7	9.5	9.5	3.2
	ひとり親三世帯	15	46.7	20.0	6.7	20.0	6.7	-
	その他	8	37.5	50.0	-	12.5	-	-
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	33.3	-

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

高校生世代の自宅での学習状況を世帯年収別にみると、200～300万円未満では「ほぼ毎日する」(16.0%)の割合が低くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では「ほぼ毎日する」(ひとり親：29.7%、ひとり親三世代：25.0%)の割合が低くなっている。

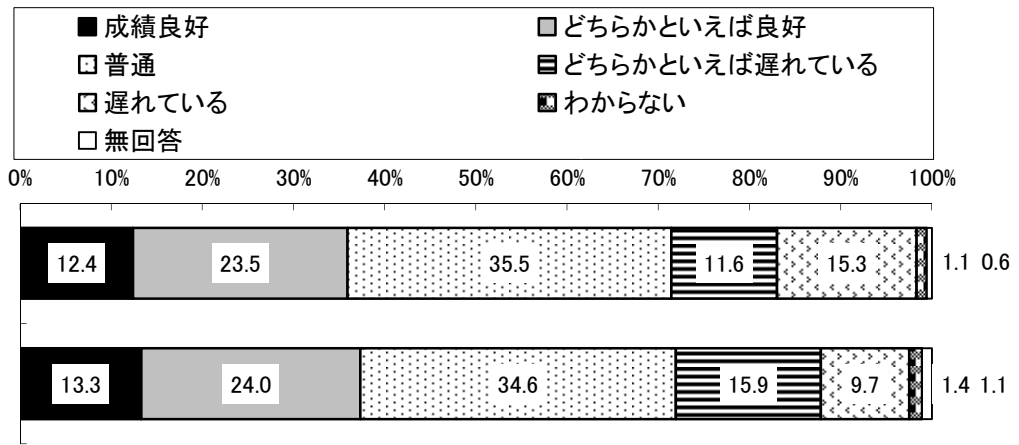
図表－373 世帯年収別・世帯分類別 高校生世代の学習の状況 (単位：%)

		標本数 (人)	ほぼ毎日する	週に数回する	月に数回する	めったにしない	まったくしない	無回答
全体		566	38.3	28.6	9.9	17.8	4.1	1.2
世帯年収別	200万円未満	30	36.7	16.7	6.7	26.7	13.3	-
	200～300万円未満	50	16.0	32.0	16.0	28.0	4.0	4.0
	300～400万円未満	49	30.6	32.7	14.3	14.3	8.2	-
	400～500万円未満	60	30.0	26.7	15.0	25.0	3.3	-
	500～700万円未満	114	31.6	31.6	10.5	21.9	2.6	1.8
	700～1000万円未満	144	45.8	29.2	8.3	13.2	3.5	-
	1000万円以上	105	56.2	23.8	4.8	11.4	1.0	2.9
	無回答	14	28.6	42.9	7.1	7.1	14.3	-
世帯分類別	三世代	33	45.5	21.2	6.1	15.2	6.1	6.1
	核家族	445	39.1	30.6	9.2	17.1	3.1	0.9
	ひとり親	64	29.7	23.4	15.6	23.4	6.3	1.6
	ひとり親三世代	12	25.0	16.7	16.7	16.7	25.0	-
	その他	7	14.3	28.6	14.3	42.9	-	-
	無回答	5	100.0	-	-	-	-	-

(2) 勉強の成績

問20 お子さんの学校等での勉強の成績はいかがですか。(〇は1つ)

図表-374 勉強の成績



勉強の成績は、中学生では「普通」(35.5%)の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば良好」(23.5%)、「遅れている」(15.3%)、「成績良好」(12.4%)、「どちらかといえば遅れている」(11.6%)となっている。

高校生世代では、「普通」(34.6%)の割合が最も高く、次いで「どちらかといえば良好」(24.0%)、「どちらかといえば遅れている」(15.9%)、「成績良好」(13.3%)、「遅れている」(9.7%)となっている。

中学生の勉強の成績についての回答を世帯年収別にみると、200万円未満及び200~300万円未満では他の世帯に比べて「遅れている」の割合が高く、1000万円以上では「成績良好」(24.0%)の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯では「成績良好」(4.8%)の割合がやや低くなっている。

図表-375 世帯年収別・世帯分類別 中学生の勉強の成績 (単位: %)

	標本数(人)	成績良好	どちらかといえば良好	普通	どちらかといえば遅れている	遅れている	わからない	無回答	
全体	622	12.4	23.5	35.5	11.6	15.3	1.1	0.6	
世帯年収別	200万円未満	59	3.4	11.9	47.5	5.1	28.8	1.7	1.7
	200~300万円未満	38	10.5	15.8	31.6	10.5	28.9	2.6	-
	300~400万円未満	52	7.7	32.7	21.2	13.5	23.1	1.9	-
	400~500万円未満	65	13.8	21.5	44.6	7.7	10.8	-	1.5
	500~700万円未満	149	8.1	23.5	40.9	13.4	13.4	0.7	-
	700~1000万円未満	169	15.4	26.0	33.1	14.2	8.9	1.8	0.6
	1000万円以上	75	24.0	22.7	26.7	8.0	17.3	-	1.3
	無回答	15	13.3	40.0	26.7	20.0	-	-	-
世帯分類別	三世代	37	10.8	24.3	35.1	10.8	18.9	-	-
	核家族	496	13.9	25.2	33.9	11.5	13.9	1.0	0.6
	ひとり親	63	4.8	14.3	44.4	11.1	20.6	3.2	1.6
	ひとり親三世代	15	-	6.7	53.3	6.7	33.3	-	-
	その他	8	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	-	-
	無回答	3	-	-	33.3	66.7	-	-	-

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

高校生世代の勉強の成績についての回答は、世帯年収別に大きな差は見られない。

図表－３７６ 世帯年収別・世帯分類別 高校生世代の勉強の成績（単位：％）

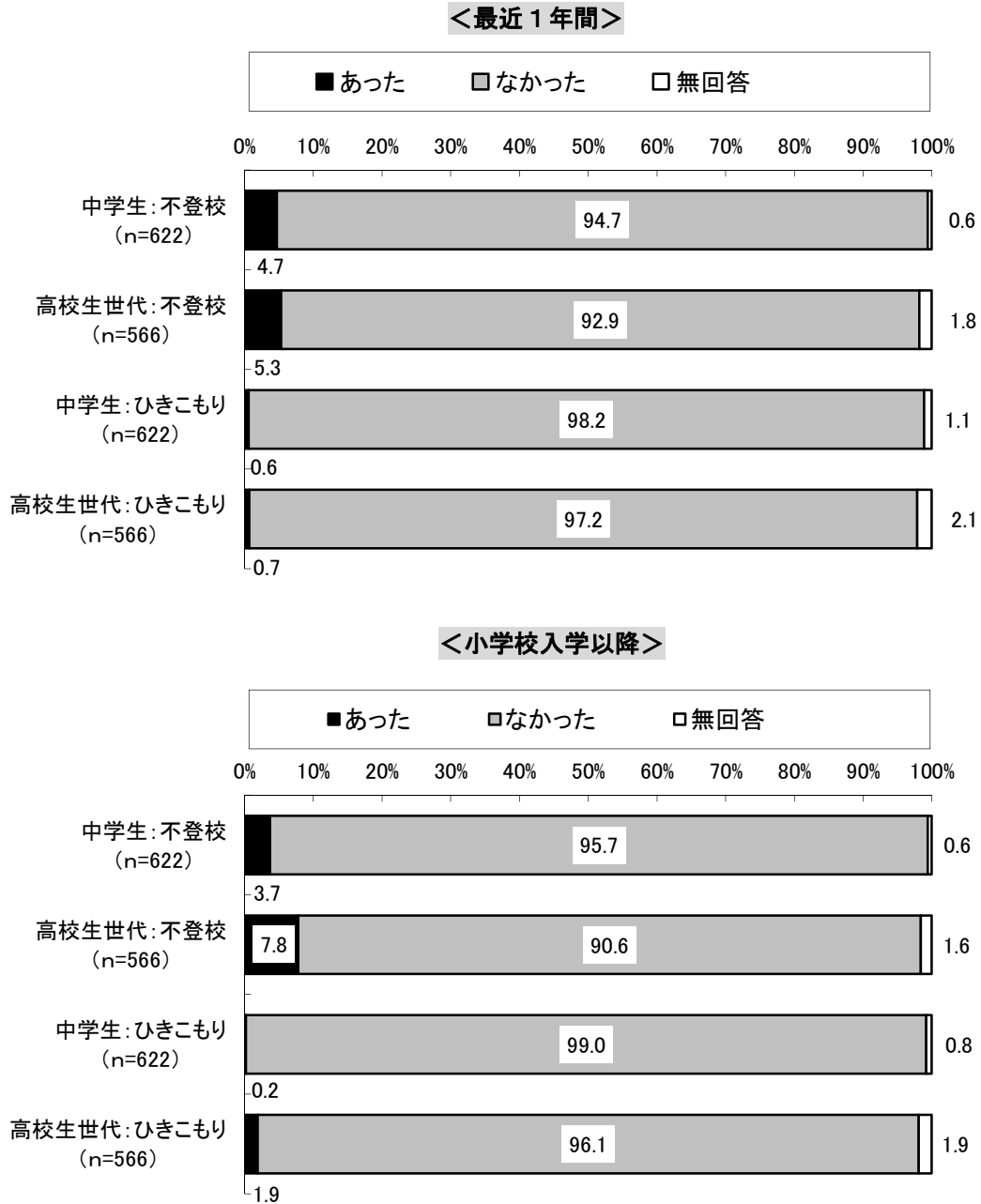
	標本数 (人)	成績良好	良好どちらか かといえ	普通	遅れどちらか かといえ	遅れている	わからない	無回答	
全 体	566	13.3	24.0	34.6	15.9	9.7	1.4	1.1	
世帯 年 収 別	200万円未満	30	16.7	16.7	33.3	20.0	10.0	3.3	-
	200～300万円未満	50	8.0	32.0	32.0	18.0	6.0	-	4.0
	300～400万円未満	49	16.3	18.4	34.7	20.4	10.2	-	-
	400～500万円未満	60	21.7	18.3	36.7	15.0	6.7	1.7	-
	500～700万円未満	114	11.4	25.4	38.6	12.3	9.6	1.8	0.9
	700～1000万円未満	144	5.6	26.4	34.7	19.4	12.5	1.4	-
	1000万円以上	105	19.0	24.8	31.4	12.4	8.6	1.0	2.9
無回答	14	28.6	14.3	28.6	7.1	14.3	7.1	-	
世帯 分 類 別	三世代	33	9.1	15.2	30.3	18.2	18.2	3.0	6.1
	核家族	445	14.4	24.7	35.1	14.4	9.2	1.6	0.7
	ひとり親	64	7.8	25.0	34.4	20.3	10.9	-	1.6
	ひとり親三世代	12	-	16.7	41.7	33.3	8.3	-	-
	その他	7	14.3	14.3	28.6	42.9	-	-	-
	無回答	5	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-

(3) 不登校、ひきこもりの経験

問21 お子さんは次の経験がありますか。(それぞれについて、「あった」「なかった」のいずれかに○)

不登校：病気やケガ以外の理由でおおむね年間30日以上学校を欠席したこと
ひきこもり：おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

図表-377 不登校、ひきこもりの経験



最近1年間の不登校、ひきこもりの経験については、中学生・高校生世代いずれも、不登校が約5%、ひきこもりが0.5%強となっている。

小学校入学以降の不登校、ひきこもりの経験については、中学生では不登校が3.7%、ひきこもりが0.2%、高校生世代では不登校が7.8%、ひきこもりが1.9%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

中学生について世帯年収別にみると、最近1年間・小学校入学以降のいずれにおいても、200万円未満及び200～300万円未満では他の世帯に比べて不登校の経験があった割合がやや高くなっている。

高校生世代について世帯年収別にみると、最近1年間・小学校入学以降のいずれにおいても、200万円未満では他の世帯に比べて不登校の経験があった割合がやや高くなっている。

図表－378 世帯年収別 不登校、ひきこもりの経験があった人の割合（単位：％）

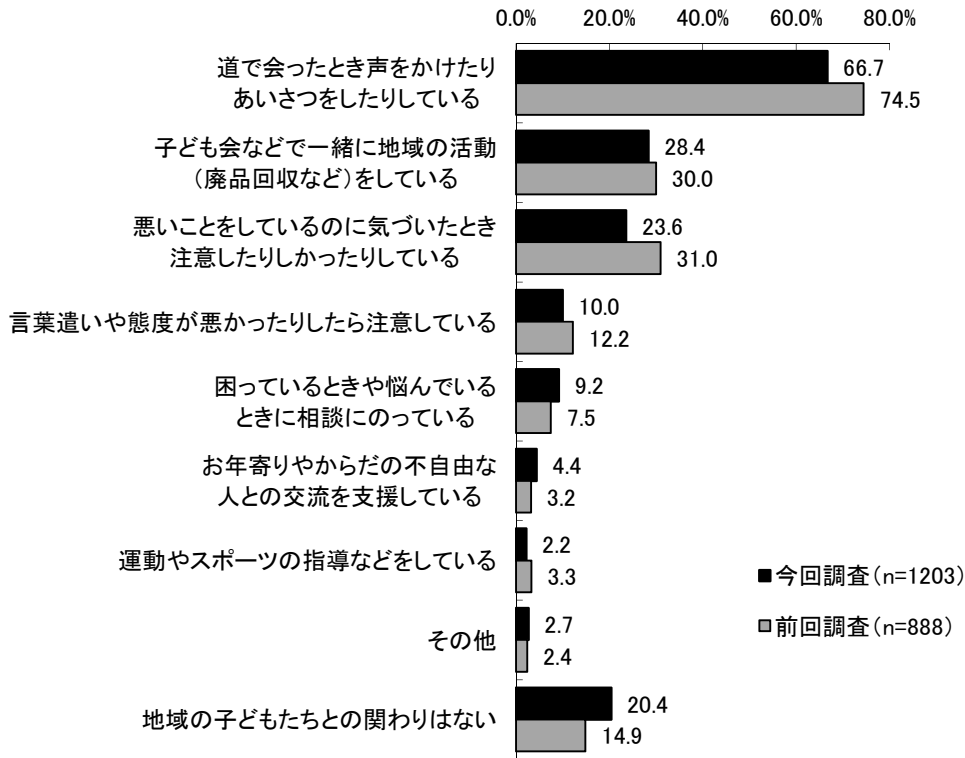
	標本数（人）	中学生				標本数（人）	高校生世代				
		最近1年間		小学校入学以降			最近1年間		小学校入学以降		
		不登校	ひきこもり	不登校	ひきこもり		不登校	ひきこもり	不登校	ひきこもり	
全 体	622	4.7	0.6	3.7	0.2	566	5.3	0.7	7.8	1.9	
世帯年収別	200万円未満	59	10.2	1.7	11.9	1.7	30	16.7	3.3	23.3	6.7
	200～300万円未満	38	15.8	-	10.5	-	50	6.0	2.0	10.0	2.0
	300～400万円未満	52	3.8	-	5.8	-	49	12.2	-	12.2	4.1
	400～500万円未満	65	6.2	3.1	1.5	-	60	6.7	-	5.0	-
	500～700万円未満	149	3.4	-	2.0	-	114	2.6	0.9	9.6	3.5
	700～1000万円未満	169	2.4	-	1.8	-	144	4.2	-	4.9	-
	1000万円以上	75	2.7	1.3	2.7	-	105	1.9	1.0	3.8	1.0
	無回答	15	-	-	-	-	14	7.1	-	7.1	7.1

第4章 地域とのかかわり

1. 地域の子どもとのかかわり

問22 あなたと地域の子ども達とのかかわりについておたずねします。あなたは、ふだん地域の子ども達に対して、次のようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-379 地域の子どもとのかかわり



地域の子どもとのかかわりをたずねたところ、「道で会ったとき声をかけたりあいさつをしたりしている」(66.7%)の割合が最も高く、次いで「子ども会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている」(28.4%)、「悪いことをしているのに気づいたとき注意したりしかったりしている」(23.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「道で会ったとき声をかけたりあいさつをしたりしている」は約8ポイント減少し、「悪いことをしているのに気づいたとき注意したりしかったりしている」は約7ポイント減少している。「地域の子どもたちと関わりはない」の割合は約6ポイント増加している。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

記入者別にみると、父親は母親に比べて「地域の子どもたちとの関わりはない」（31.4％）の割合が高くなっている。

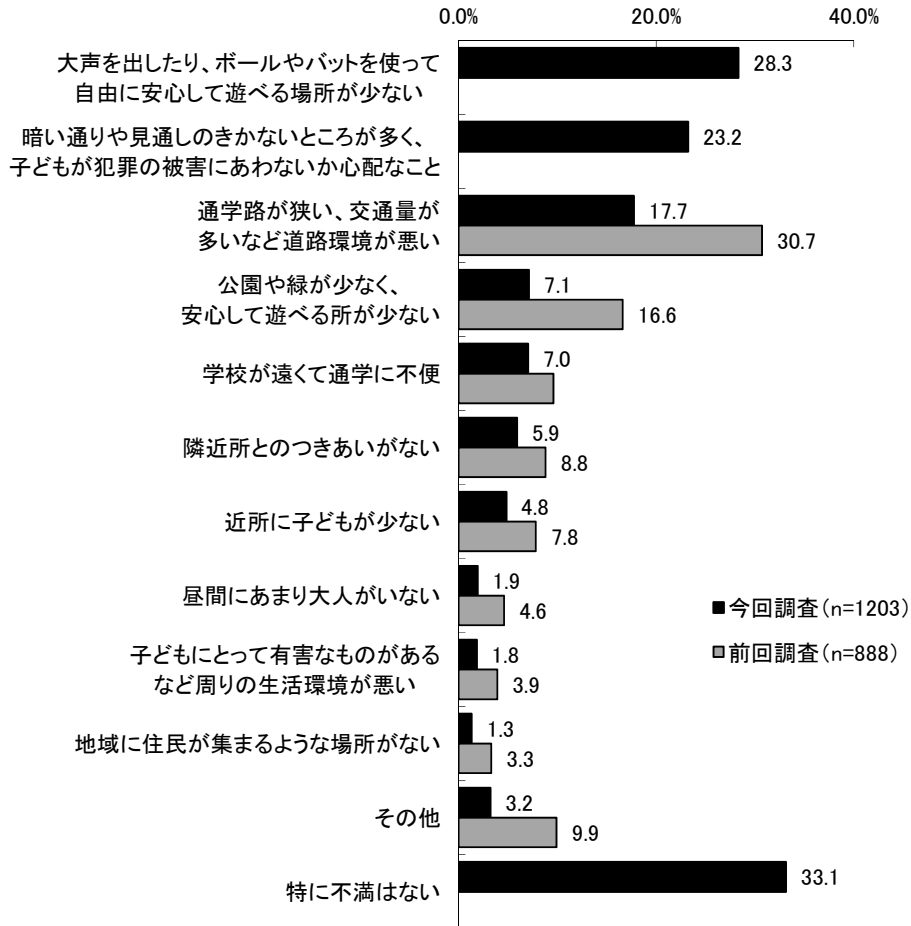
図表－380 世代別・記入者別 地域の子どもとのかかわり（単位：％）

	標本数（人）	道で会ったとき声をかけたりあいつをした	地域の子ども会などで一緒に活動（廃品回収など）	お年寄りやからの交流を支援している	運動やスポーツの指導など	言葉遣いや態度が悪かったりしたら注意している	気に入ったとき注意している	困っているときに相談にのりて	その他	地域の子どもたちとの関わりはない	無回答	
全体	1,203	66.7	28.4	4.4	2.2	10.0	23.6	9.2	2.7	20.4	1.9	
記入者別	母親	1,072	68.2	29.8	4.6	2.2	10.4	23.9	9.9	2.7	18.9	2.1
	父親	105	59.0	20.0	1.9	1.9	4.8	21.0	1.9	1.9	31.4	-
	祖母	5	80.0	-	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-
	祖父	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	3	66.7	-	33.3	-	33.3	66.7	66.7	66.7	-	-
	無回答	17	17.6	11.8	-	-	-	11.8	-	-	52.9	5.9

2. 地域の子育て環境で不満なこと

問23 お住まいの子育て環境について、不満がある場合、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は2つまで)

図表-381 地域の子育て環境で不満なこと



※「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」「特に不満はない」は、今回調査で新規で追加した選択肢

地域の子育て環境で不満なことは、「特に不満はない」(33.1%)の割合が最も高く、次いで「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」(28.3%)、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」(23.2%)、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」(17.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」の割合は13ポイント減少している。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

世代別にみると、高校生世代の保護者に比べて、中学生の保護者では「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」（31.0%）、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」（20.3%）の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親三世代世帯では他の世帯に比べて、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」（37.0%）、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」（29.6%）などの割合が高くなっている。

図表－382 世代別・世帯分類別 地域の子育て環境で不満なこと（単位：％）

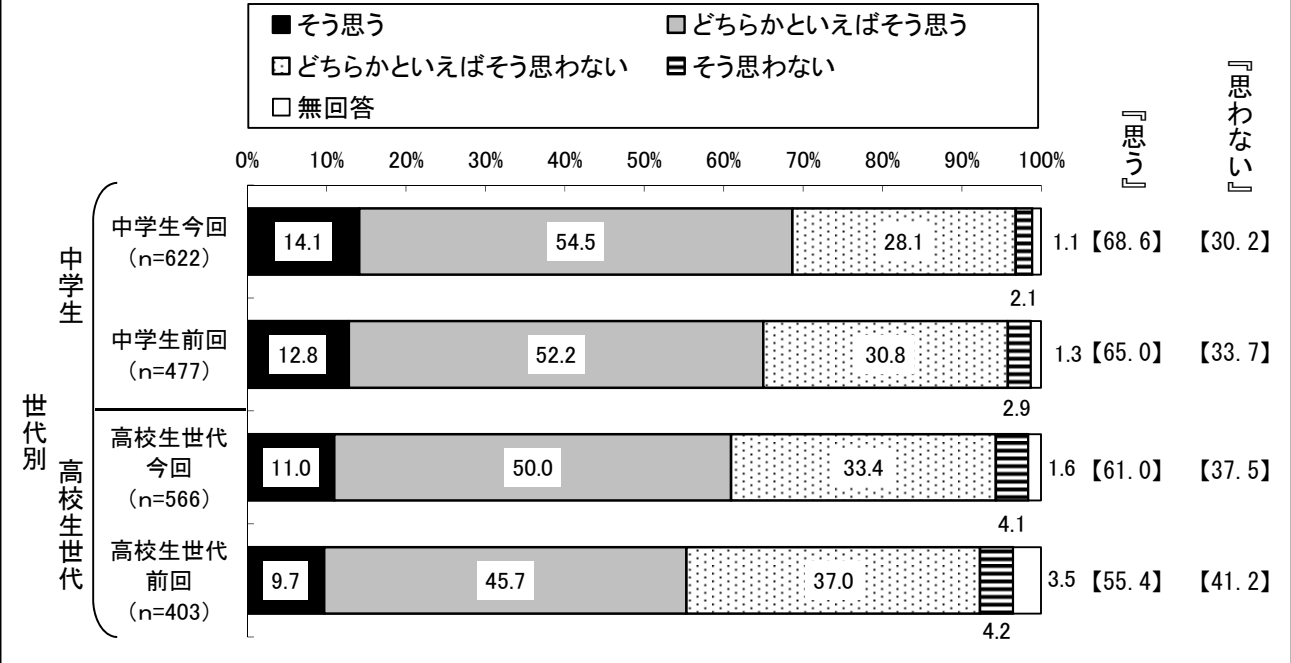
		標本数（人）	環境が悪いなど周りの有害な生活も	子どもにとつて有害な生活も	多学路が狭い、交通量が多い	いもな暗い通りや見通しのきかないところや多し、のきなどか	公園や緑が少なく、安心して遊べる場所が少ない	な安心して遊べる場所が少ない	や大声を出したり、ボールを使って遊べる場所が少ない	学校が遠くて通学に不便	い昼間にあまり大人がいない
全体		1,203	1.8	17.7	23.2	7.1	28.3	7.0	1.9		
世代別	中学生	622	1.1	20.3	23.3	8.2	31.0	8.5	1.8		
	高校生世代	566	2.7	15.4	23.5	5.5	25.4	5.3	2.1		
	無回答	15	-	-	6.7	20.0	20.0	6.7	-		
分類別 世帯	三世代	70	1.4	20.0	22.9	1.4	34.3	7.1	2.9		
	核家族	942	2.0	18.3	22.8	7.6	29.7	6.6	1.9		
	ひとり親	127	-	12.6	25.2	5.5	18.9	7.1	2.4		
	ひとり親三世代	27	3.7	29.6	37.0	7.4	25.9	22.2	-		
	その他	15	-	13.3	26.7	-	13.3	6.7	-		
	無回答	22	4.5	4.5	9.1	13.6	13.6	4.5	-		
		標本数（人）	近所に子どもが少ない	な地域に住民が集まるよう	い隣近所とのつきあいがな	その他	特に不満はない	無回答			
全体		1,203	4.8	1.3	5.9	3.2	33.1	3.7			
世代別	中学生	622	4.8	1.1	6.1	3.9	30.5	2.9			
	高校生世代	566	4.9	1.6	5.7	2.5	35.7	4.6			
	無回答	15	-	-	6.7	6.7	40.0	-			
分類別 世帯	三世代	70	12.9	2.9	5.7	1.4	21.4	8.6			
	核家族	942	3.9	1.4	5.6	3.2	33.0	3.3			
	ひとり親	127	5.5	-	8.7	3.9	40.2	5.5			
	ひとり親三世代	27	7.4	3.7	3.7	-	22.2	-			
	その他	15	20.0	-	-	6.7	33.3	-			
	無回答	22	-	-	9.1	9.1	45.5	-			

3. 子どもの健全育成に必要なこと

(1) 子どもは健全に育っているか

問24 あなたは、今の子どもたちは健全に育っていると思いますか。(○は1つ)

図表-383 子どもは健全に育っているか



今の子どもたちが健全に育っているかをたずねたところ、中学生の保護者では「そう思う」(14.1%)と「どちらかといえばそう思う」(54.5%)を合わせた『思う』は68.6%となっており、「どちらかといえば思わない」(28.1%)と「そう思わない」(2.1%)を合わせた『思わない』(30.2%)を大きく上回っている。前回調査と比較すると、『思う』の割合は約5ポイント増加している。

高校生世代の保護者では、「そう思う」(11.0%)と「どちらかといえばそう思う」(50.0%)を合わせた『思う』は61.0%となっており、「どちらかといえば思わない」(33.4%)と「そう思わない」(4.1%)を合わせた『思わない』(37.5%)を大きく上回っている。前回調査と比較すると、『思う』の割合は約6ポイント増加している。

記入者別にみると、父親は母親に比べて『思う』(68.6%)の割合がやや高くなっている。

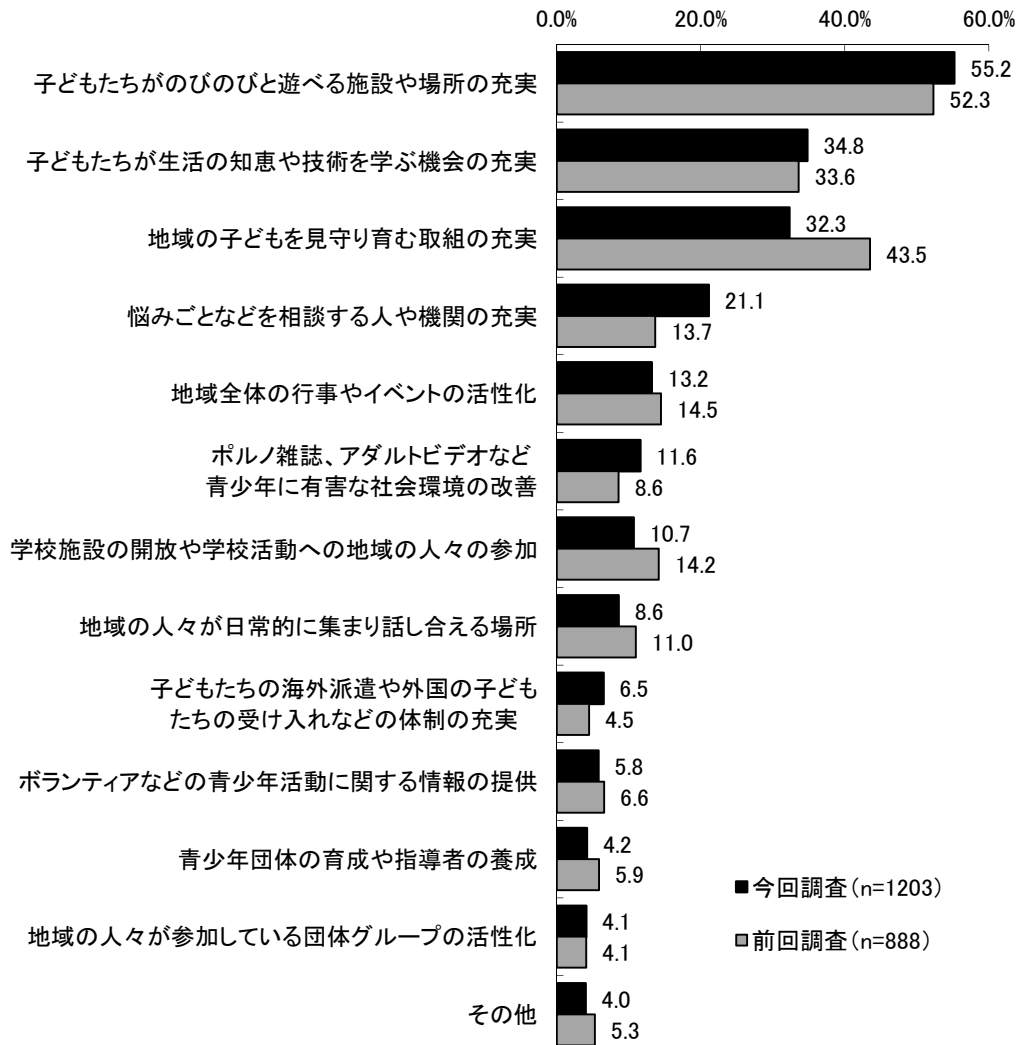
図表-384 記入者別 子どもは健全に育っているか (単位: %)

		標本数 (人)	「そう思う」 (%)	「どちらかといえばそう思う」 (%)	「どちらかといえば思わない」 (%)	「そう思わない」 (%)	「無回答」 (%)	『思う』 (%)	『思わない』 (%)
全体		1,203	12.6	52.3	30.8	3.0	1.3	64.9	33.8
記入者別	母親	1,072	11.9	52.8	31.0	3.0	1.3	64.7	34.0
	父親	105	20.0	48.6	27.6	2.9	1.0	68.6	30.5
	祖母	5	-	40.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0
	祖父	1	-	-	-	-	100.0	0.0	0.0
	その他	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3
	無回答	17	11.8	52.9	35.3	-	-	64.7	35.3

(2) 健全に育つために必要なこと

問25 あなたは、子どもたちが健全に成長していくためには、あなたの地域ではどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

図表-385 健全に育つために必要なこと



子どもたちが健全に育つために必要なことをたずねたところ、「子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実」(55.2%)の割合が最も高く、次いで「子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」(34.8%)、「地域の子どもの見守り育む取組の充実」(32.3%)、「悩みごとなどを相談する人や機関の充実」(21.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「地域の子どもの見守り育む取組の充実」の割合は約11ポイント減少し、「悩みごとなどを相談する人や機関の充実」は約7ポイント増加している。

世代別にみると、高校生世代の保護者に比べて中学生の保護者では「子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」(38.7%)の割合が高くなっている。

記入者別にみると、母親は父親に比べて「子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実」(56.8%)の割合が高くなっている。

図表-386 世代別・記入者別 健全に育つために必要なこと (単位: %)

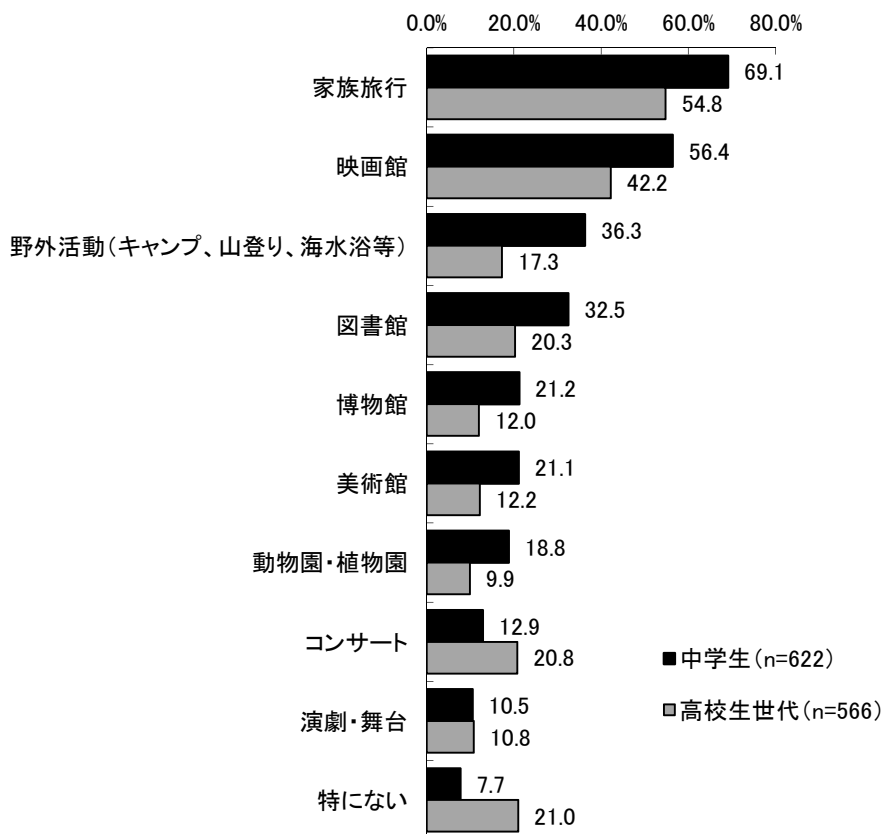
		標本数(人)	地域の人が日常的に集まり話し合える場所	地域の子どもを見守り育む取組の充実	地域のグループが参加して活動している	悩みごとなどを相談する人や機会の充実	ボランティアに関する情報の提供	青少年団体の育成や指導	地域の活性化の行事やイベント
全体		1,203	8.6	32.3	4.1	21.1	5.8	4.2	13.2
世代別	中学生	622	8.7	31.4	4.0	20.4	5.1	3.9	14.6
	高校生世代	566	8.8	33.7	4.2	21.4	6.5	4.4	11.8
	無回答	15	-	13.3	-	40.0	6.7	6.7	6.7
記入者別	母親	1,072	8.9	31.6	4.0	21.3	5.4	3.9	12.8
	父親	105	6.7	41.9	4.8	18.1	9.5	5.7	18.1
	祖母	5	20.0	40.0	-	-	20.0	20.0	20.0
	祖父	1	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	33.3
	無回答	17	-	5.9	-	41.2	5.9	5.9	5.9

		標本数(人)	外国籍の子どもの海外派遣や入国などの体制の充実	学校施設の開放や参加活動	子どもたちが遊ぶ施設や場ののびのびと	子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実	ポルノ雑誌、アダルトビデオなど青少年に有害な社会環境の改善	その他	無回答
全体		1,203	6.5	10.7	55.2	34.8	11.6	4.0	5.5
世代別	中学生	622	5.6	12.2	57.9	38.7	11.7	3.5	4.8
	高校生世代	566	7.4	9.4	52.7	30.7	11.5	4.6	6.2
	無回答	15	6.7	-	40.0	26.7	13.3	-	6.7
記入者別	母親	1,072	5.7	10.5	56.8	34.8	11.8	4.0	5.6
	父親	105	15.2	14.3	42.9	38.1	8.6	4.8	2.9
	祖母	5	-	-	40.0	20.0	20.0	-	20.0
	祖父	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-
	無回答	17	5.9	-	35.3	23.5	11.8	-	11.8

(3) 子どもと保護者の体験

問26 過去1年間に、お子さんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表-387 子どもと保護者の体験



この1年間に子どもといっしょに体験したことをは、中学生では「家族旅行」(69.1%)の割合が最も高く、次いで「映画館」(56.4%)、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」(36.3%)、「図書館」(32.5%)となっている。

高校生世代では、「家族旅行」(54.8%)の割合が最も高く、次いで「映画館」(42.2%)、「コンサート」(20.8%)、「図書館」(20.3%)となっている。また、「特にない」は21.0%となっており、中学生に比べて子どもと親がいっしょに体験することが少ない傾向にある。

世帯年収別にみると、700万円以上では他の世帯に比べて「家族旅行」、「図書館」の割合が高く、500万円未満ではその割合がやや低くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では「家族旅行」（ひとり親：50.4%、ひとり親三世代：48.1%）の割合が低くなっている

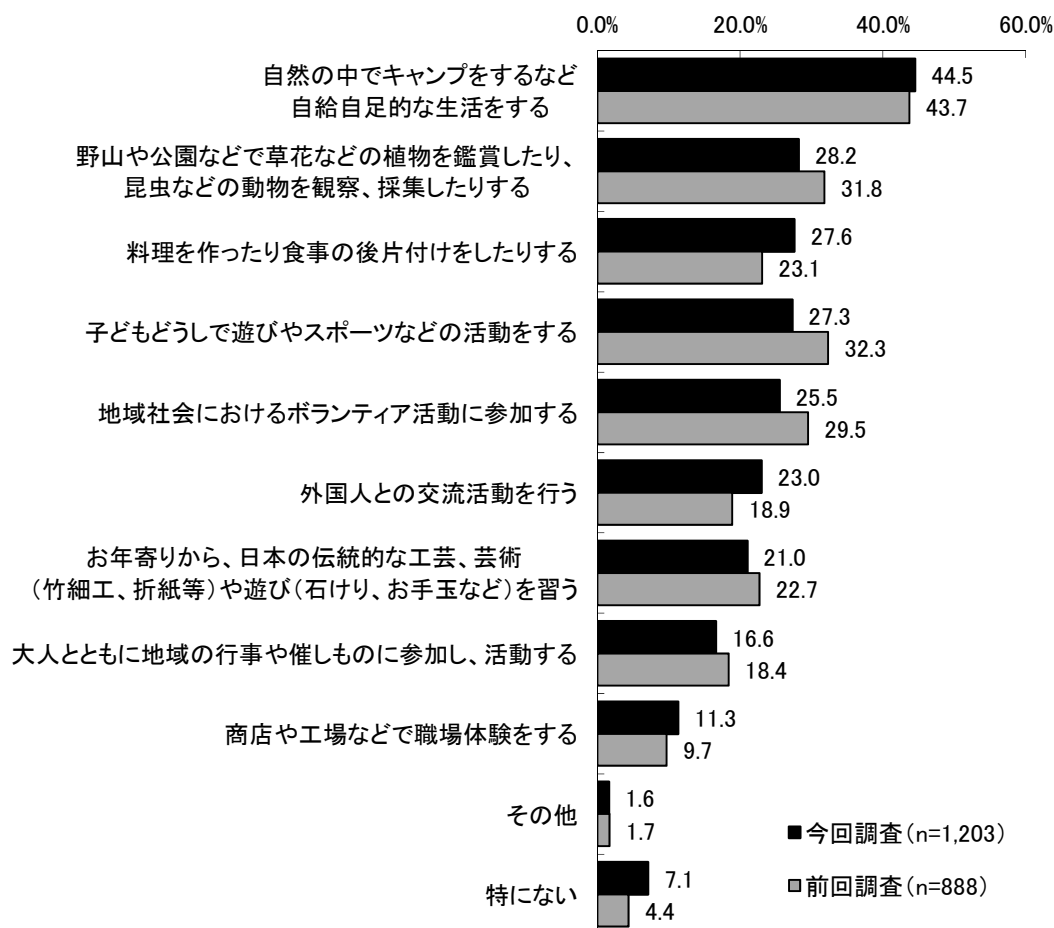
図表－388 世帯年収別・世帯分類別 子どもと保護者の体験（単位：％）

		標本数（人）	家族旅行	山野外活動（キャンプ、登山、海水浴等）	図書館	美術館	博物館	動物園・植物園	映画館	演劇・舞台	コンサート	特にない	無回答
全体		1,203	62.1	27.2	26.8	16.7	16.7	14.7	49.6	10.5	16.7	14.1	0.7
世帯年収別	200万円未満	89	48.3	24.7	18.0	15.7	14.6	10.1	53.9	6.7	13.5	16.9	2.2
	200～300万円未満	88	39.8	18.2	21.6	13.6	11.4	14.8	46.6	8.0	15.9	20.5	1.1
	300～400万円未満	101	57.4	28.7	19.8	17.8	15.8	15.8	49.5	7.9	11.9	14.9	-
	400～500万円未満	125	48.8	29.6	21.6	14.4	17.6	20.0	46.4	11.2	12.0	24.0	0.8
	500～700万円未満	264	60.2	29.2	27.7	12.5	13.3	12.1	48.9	11.4	15.9	12.9	0.4
	700～1000万円未満	313	71.9	26.2	30.7	18.8	20.4	13.4	49.2	9.3	21.1	10.5	0.6
	1000万円以上	180	78.3	28.9	32.8	23.9	20.0	16.1	52.8	16.1	18.9	8.9	0.6
	無回答	43	58.1	27.9	30.2	9.3	11.6	25.6	51.2	7.0	14.0	20.9	2.3
世帯分類別	三世代	70	58.6	28.6	22.9	15.7	15.7	17.1	44.3	8.6	11.4	15.7	-
	核家族	942	64.9	27.4	28.2	17.6	17.7	14.4	48.9	10.9	17.6	12.8	0.6
	ひとり親	127	50.4	24.4	18.9	13.4	11.8	15.0	55.9	9.4	14.2	19.7	1.6
	ひとり親三世代	27	48.1	22.2	18.5	7.4	14.8	3.7	59.3	7.4	14.8	22.2	-
	その他	15	53.3	46.7	26.7	20.0	13.3	13.3	53.3	20.0	13.3	6.7	-
	無回答	22	45.5	22.7	36.4	9.1	9.1	31.8	45.5	-	13.6	27.3	4.5

(4) 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験

問27 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(〇は3つまで)

図表-389 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験



最近の子どもに不足していると思う生活体験としては、「自然の中でキャンプをするなど自給自足的な生活をする」(44.5%)の割合が最も高く、次いで「野山や公園などで草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」(28.2%)、「料理を作ったり食事の後片付けをしたりする」(27.6%)、「子どもどうして遊びやスポーツなどの活動をする」(27.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「料理を作ったり食事の後片付けをしたりする」は約5ポイント、「外国人との交流活動を行う」の割合は約4ポイント増加しており、一方、「野山や公園などで草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」「子どもどうして遊びやスポーツなどの活動をする」「地域社会におけるボランティア活動に参加する」はそれぞれ4～5ポイント減少している。

世代別にみると、高校生世代に比べて、中学生では「野山や公園などで草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」(30.7%)、「外国人との交流活動を行う」(25.7%)、「商店や工場などで職場体験をする」(13.5%)の割合が高くなっている。

図表-390 世代別 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験 (単位: %)

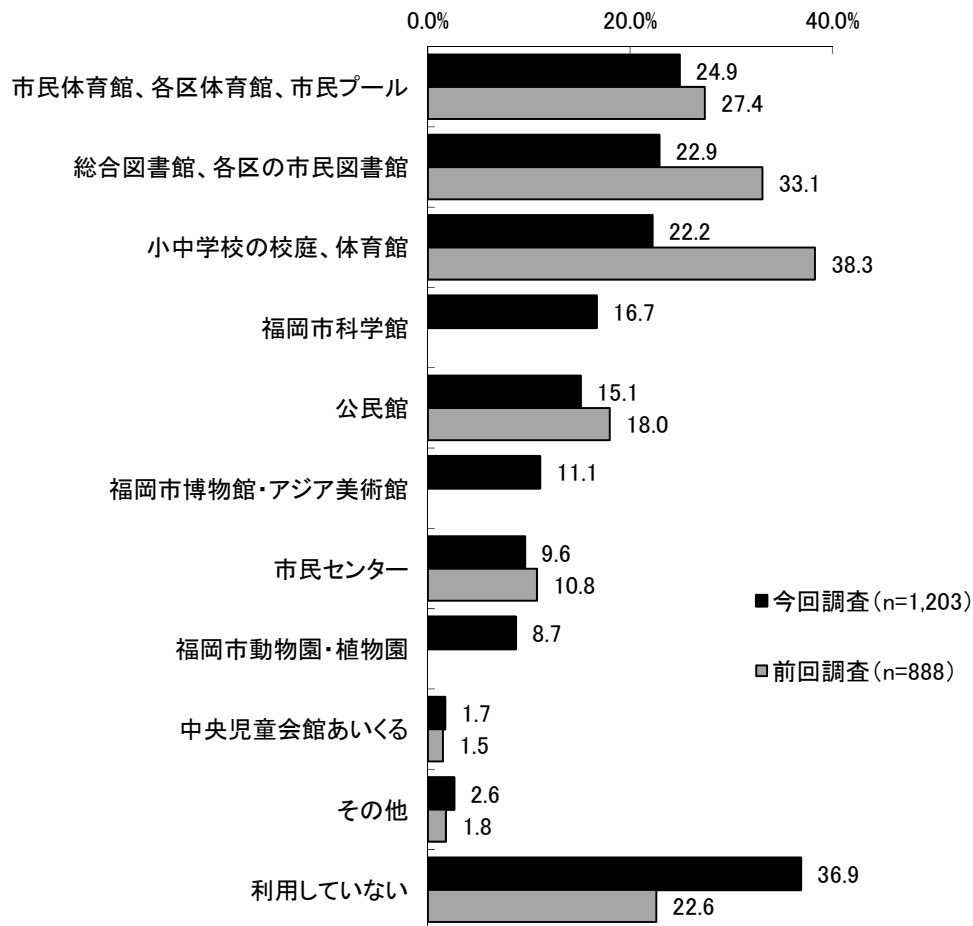
		標本数(人)	料理を作ったり食事後の片付けをしたりする	子どもどうして遊びやスポーツなどの活動をする	大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する	折紙等(や遊び(石けり、お手玉など)を習う	お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術(竹細工、	自然の中でキャンプをする	自然の中でキャンプをする	野山や公園などで草花など
全体		1,203	27.6	27.3	16.6	21.0	44.5	28.2		
世代別	中学生	622	26.0	26.2	16.1	21.1	44.9	30.7		
	高校生世代	566	29.2	28.8	17.5	21.0	44.5	25.4		
	無回答	15	33.3	20.0	6.7	20.0	26.7	26.7		

		標本数(人)	地域社会におけるボランティア活動に参加する	商店や工場などで職場体験をする	外国人との交流活動を行う	その他	特にない	無回答
全体		1,203	25.5	11.3	23.0	1.6	7.1	1.7
世代別	中学生	622	23.8	13.5	25.7	1.4	7.2	1.1
	高校生世代	566	27.2	8.8	20.0	1.8	6.9	2.1
	無回答	15	33.3	13.3	26.7	-	6.7	6.7

4. 過去1年間に子どもと利用した公共施設

問28 過去1年間にお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

図表-391 過去1年間に子どもと利用した公共施設



※「福岡市科学館」「福岡市動物園・植物園」「福岡市博物館・アジア美術館」は今回調査で新規で追加された項目

過去1年間に子どもと利用した公共施設は、「市民体育館、各区体育館、市民プール」(24.9%)の割合が最も高く、次いで「総合図書館、各区の市民図書館」(22.9%)、「小中学校の校庭、体育館」(22.2%)、「福岡市科学館」(16.7%)、「公民館」(15.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「総合図書館、各区の市民図書館」は約10ポイント、「小中学校の校庭、体育館」の割合は約16ポイント減少している。

世代別にみると、中学生に比べて、高校生世代では「利用していない」(52.3%)の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親世帯及びひとり親三世帯世帯では他の世帯に比べて、「利用していない」の割合が高くなっている。

図表-392 世代別・世帯分類別 過去1年間に子どもと利用した公共施設 (単位: %)

		標本数(人)	公民館	市民センター	総合図書館、市民図書館、各区	市民体育館、市民プール	小中学校の校庭、体育館	福岡市動物園・植
全体		1,203	15.1	9.6	22.9	24.9	22.2	8.7
世代別	中学生	622	21.7	13.7	28.3	33.0	33.0	11.1
	高校生世代	566	8.1	5.5	16.4	16.1	10.4	5.8
	無回答	15	6.7	-	40.0	20.0	20.0	20.0
分類別 世帯	三世帯	70	17.1	5.7	18.6	20.0	27.1	7.1
	核家族	942	15.7	10.1	24.0	26.2	22.3	8.3
	ひとり親	127	8.7	11.0	15.7	19.7	23.6	11.0
	ひとり親三世帯	27	22.2	7.4	18.5	11.1	18.5	3.7
	その他	15	26.7	6.7	20.0	46.7	6.7	13.3
	無回答	22	4.5	-	36.4	13.6	9.1	22.7

		標本数(人)	福岡市美術館・アジア美術館	中央児童会館あいくる	福岡市科学館	その他	利用していない	無回答
全体		1,203	11.1	1.7	16.7	2.6	36.9	2.1
世代別	中学生	622	14.5	2.4	22.7	2.7	23.0	1.3
	高校生世代	566	7.6	0.9	10.6	2.3	52.3	2.7
	無回答	15	6.7	-	-	6.7	33.3	13.3
分類別 世帯	三世帯	70	12.9	1.4	8.6	1.4	34.3	-
	核家族	942	11.6	1.7	17.9	2.8	35.9	1.9
	ひとり親	127	7.9	0.8	15.0	2.4	41.7	3.9
	ひとり親三世帯	27	7.4	7.4	11.1	-	63.0	-
	その他	15	13.3	-	20.0	-	26.7	-
	無回答	22	9.1	-	4.5	4.5	36.4	9.1

V 監修を終えて

V 監修を終えて

福岡大学人文学部
准教授 添田祥史

1. 乳幼児の保護者に対する調査結果について

子ども・子育て支援施策が整備され、子育て家庭の認知度や利用率が上がっている事業もあるが、子育てに関する負担や不安感はやや上昇している（図表-179）。今後、時代の変化をみすえた子ども・子育て支援施策のさらなる量的・質的な充実に向けて、次の3点への対応が問われてこよう。

①子育て世代の就業形態や意識の変化

父親の子育て参加の程度が高いほど、子育てを「大変楽しい」と感じ、「つらいと感じる時が多い」が低い傾向がみられる（図表-178）。子育てを主に行っている人は、約半数が「父母ともに」という回答であった（図表-9）。「父母ともに」と回答した世帯の約6割は、母親がフルタイムで働いている。子育てに特に影響する環境の質問に対して、「幼稚園」と「地域」が減り、「保育所（園）」が増加したのは、共働き世帯の増加が影響していると考えられる。

子ども・子育て支援事業の認知度は全体的に微減傾向だが、ファミリー・サポート・センター事業は認知度も利用経験も上昇している（図表-29, 31）。「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」という回答が、親族に対しては前回調査から約23ポイント減、友人・知人に対しては約14ポイント減と大きく変化している一方で、子どもプラザに一時預かりの機能を追加する要望は高かった（図表-49）。一時預かり事業と幼稚園の預かり保育の利用希望日数は、現在の利用日数より年間10日前後多く、子どもを安心して預けられる一時預け先の充実が望まれる。

子どもプラザや子育て交流サロンを利用していない人は前回調査より微増している（図表-35）。利用していない理由として「利用する時間がない」が4割弱で最も多く（図-45, 47）、共働き世帯の増加が影響していると思われる。

子育て交流サロンに参加しない理由では、「知人がいないので行きづらい」、「親同士の付き合いがわずらわしい」、「外出するのがめんどろ」といった回答が子どもプラザより多く（図表-47）、若い世代が多いと思われる乳児をもつ親にそうした傾向が強いこと（図表-48）が注目される。教育社会学者の土井隆義は、若い世代のコミュニケーション様式が、上の世代と異なっていると指摘する。当面の付き合いに必要な情報を共有できていれば、それで十分に濃密な関係を築くことができると考えるという。そうした人間関係を常とした世代にあっては、参加者が固定しがちな交流事業は参加を躊躇するのかもしれない。

こうした子育て世代の就業形態や意識の変化をふまえつつ、子育ての孤立化を予防する手だてや工夫を考えていく必要がある。

②子育てに関する情報をめぐる変化

前回調査と比較して変化が大きかった項目の一つとして、子育ての情報に関することが挙げられる。子育てに関する情報の入手先では、人や紙を媒体とする情報伝達経路の多くがポイントを下げている一方で、インターネットやSNSの活用が大きく増加しており（図表-27）、市のホームページの認知度も上がっている（図表-29）。

前回調査の1位であった「近所の人、地域の人、友人」は7ポイント減少し、今回の調査では「インターネット、SNS」（63.3%）が最も多くなった。人を媒体とした「保護者仲間」「親族」も減少し、紙媒体は、「市の広報紙、パンフレット、公民館だより」は10ポイント減、「子育て雑誌・育児書」は7ポイント減となっている（図表-27）。

子育てについて得たい情報は、「子どもの遊び場や施設」が最も多く、「子連れで参加できるイベント」「子どもの一時預かり」も増加している（図表-25）。これらの情報についてSNS上での情報交換が活発になされていることが、情報入手先の変化にも関連していると思われる。

こうしたSNSやインターネット上での子育てに関する情報の交流も踏まえつつ、必要な人に必要な情報を確実に届け、子ども・子育て支援へのアクセスを向上させていく視点・工夫が求められる。

③子育てに関する資源の格差

子育てに関する情報取得や学習の機会には格差がみられる。子育てをする上で気軽に相談できる人・場所は、世帯収入が高い世帯ほどたくさんある（図表-21）。区保健福祉センターや公民館の子育て教室・講座、市のホームページに関する認知度と利用経験は、いずれも、世帯収入が200万円未満の世帯で他の世帯より低くなっている（図表-30, 32）。世帯収入が200万円未満の世帯では、他の世帯に比べて、子育てに「不安や負担を感じる」割合が高い（図表-180）にもかかわらず、気軽に相談できる人・場所や学習の機会が少ないということになる。

困難な状況に置かれていても、子育てに関する情報収集や事業・学習機会の活用につながりづらい背景として、生活に追われて時間的、精神的な余裕がないことが考えられる。例えば、母子家庭の45%が年収200万円未満である（平成28年度福岡市ひとり親家庭実態調査）が、ひとり親世帯では、他の世帯に比べて「子どもとの時間を十分にとれない」という回答が多くなっている（図表-182）。

「ニーズはあるのではなく、つくられる」（中西正司・上野千鶴子）という観点からみると、現在の自分の状態をこうあってほしい状態に対する不足や欠乏ととらえることができたときに、はじめて自分のニーズがわかる。「子の発育や病気」、「子のしつけや勉強」、「子育ての手当や公的助成」等の子育てに関する情報のニーズが、ひとり親三世代において他の世帯より10ポイント以上高く、ひとり親世帯より約20ポイント高いこと（図表-26）は、制度や子育てに関する情報のニーズは、その必要性を身近で諭してくれる人がいてこそ発露しやすいことを意味するといえよう。

2. 小学生の保護者に対する調査結果について

①男女共同参画時代に合った子育て支援

子育てを主に行っている人は「父母ともに」が5割を超えているが、家事と育児の時間は圧倒的に母親が多く（図表-244）、「家事（育児）時間」よりも「仕事の時間」を優先する父親は前回調査より増加している（図表-250）。フルタイムで働く母親は前回調査より増えており（図表-202）、父親の家事と育児への参加を促す必要がある。ファミリー・サポート・センターについて「仕事で送迎が難しいときに利用している」という回答が増加した（図表-240）背景には、共働き世帯の増加があると考えられる。

また、現在パート・アルバイト等で就労している母親の約半数に、フルタイムへの転換希望があり（図表-208）、ライフステージにあわせた職場復帰や就職活動の支援が期待される。ひとり親三世代では約85%が、ひとり親世帯では約70%がフルタイムへの転換希望があり、安心して働ける学童保育等を提供や、就労のためのスキルアップ等の支援が必要であるが、ひとり親及びひとり親三世代は平日に子どもと過ごす時間が『不十分』だという回答が他の世帯より多く（図表-268）、子どもと過ごす時間を確保できるような働き方を支援する必要がある。

行政に充実してほしい施策としては、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」が最も多く（図表-324）、自由意見でも「医療費助成など経済的支援」を求める声は多い（図表-326）が、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」という回答がフルタイムで働く母親で特に多かったことにも、注目する必要がある。

②子ども期の豊かな体験・遊び・学びの充実

子どもとインターネットをめぐる環境が大きく変化している。家庭でインターネットを利用している小学生は、前回調査から約20ポイント増加して64.9%に達し、特に低学年の利用が伸びている（図表-290）。通信端末の所有も小学生で4割近くとなっており、特に4～6年生の所有が進んでいる（図表-291）。「外で遊ばない」小学生の割合がいずれの学年でも増加している（図表-284）ことは、インターネットの利用や通信端末の所有の増加と関連しているかもしれない。

一方、屋内で子どもが安心して遊べる場所を求めるニーズは高い（図表-317）。子どもが遊ぶ場所として、近所にあったらよいと思うものとしては、「雨の日でも自由に遊べる場所」という回答が6割を越え、次いで「絵を描いたり、工作、劇など家ではできないことができる場所」であった。

子ども期の体験には、格差が生じている。世帯年収が高い世帯ほど、「家族旅行」や「野外活動（キャンプ、山登り、海水浴等）」だけでなく、「図書館」「美術館」「博物館」などの社会教育施設の利用割合も高く（図表-321）、「科学館での子ども向け事業」「中央児童館の子育て支援事業」の利用割合も同様の傾向にある（図表-316）。事業の情報や魅力を届ける工夫と並行して、出前教室等のアウトリーチ活動など、経済的事情に関わらず参加しやすい体験機会の充実がのぞまれる。

3. 中学生・高校生等の保護者に対する調査結果について

特筆すべき変化は次の6点をあげたい。

1点目は、父親の多忙化である。平日・休日ともに、父親が子どもと過ごす時間が減っており（図表-338, 340）、平日に子どもと過ごす時間が十分であるという父親の回答も減少している（図表-342）。子どもが親と話をしない理由は、「子どもが忙しすぎるから」が減少した一方で、「親が忙しすぎて話す機会がないから」という回答が増えている。中高生時代にも親子の時間を確保できるよう働き方改革が望まれる。

2点目は、体罰についての意識の変化である。体罰を容認する回答（「しつけのためには体罰は必要だと思う」「多少の体罰はやむをえない」の合計）は依然として3割を超えているものの、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」の割合は前回調査から約10～11ポイント増加している（図表-353）。

3点目は、スマートフォン、タブレットなどの通信端末の普及である。携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの通信端末の所持率は、中学生では76.0%、高校生世代では97.9%となっており、前回調査と比較すると、中学生では約24ポイント、高校生世代では約7ポイント増加した（図表-359）。中学生では、インターネットやSNSについて家庭内で使用ルールを決めている世帯が多く（図表-369）、学校の保護者会やPTAなどでの説明や啓発資料配布などの成果であるといえる（図表-370）。

4点目は、自宅での学習状況の格差である。世帯年収が300万円未満の世帯の中学生では、自宅での学習を「月に数回する」「めったにしない」「まったくしない」の合計が約3割に達しており（図表-372）、他の世帯より自宅での学習が少なく、成績が「遅れている」割合も高い（図表-375）。

5点目は、世帯年収が200万円未満の世帯では、小学校入学以降に不登校・ひきこもりを経験した割合が他の世帯より高いことである（図表-378）。前述したように、世帯年収が低い世帯では、情報入手先が限られる傾向がある。このことも踏まえて、必要な世帯に必要な情報や支援が届く一層の工夫が求められよう。

6点目は、中高生の保護者と地域の子どもたちとのかかわりの希薄化である。前回調査と比較すると、「道で会ったとき声をかけたりあいさつをしたりしている」は約8ポイント減少し、「悪いことをしているのに気づいたとき注意したりしなかったりしている」は約7ポイント減少している一方、「地域の子どもたちとの関わりはない」の割合は約6ポイント増加している（図表-379）。また、子どもの健全育成のためには「地域の子どもを見守り育む取組の充実」が必要だとする回答が前回調査から約11ポイント減少している（図表-385）。過去1年間に子どもとともに利用した公共施設も軒並み減っている（図表-391）。意識的に中高生と地域との接点を増やしていく仕掛けが必要であろう。

VI 参考資料（使用した調査票）

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 (乳幼児の保護者の方)

ご記入に際してのお願い

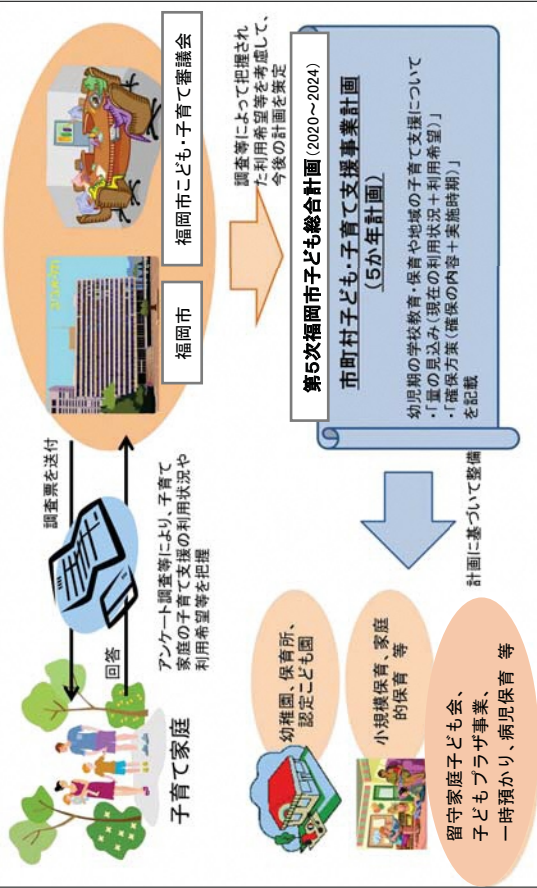
※ ご回答いただいた内容は、福岡市子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。その他の目的に利用することは一切ございません。

- (1) **保護者の方が記入してください。**
- (2) **封筒のあて名のお子さんについて**お答え下さい。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**2月20日(水)まで**にご投函ください。
- (6) 返信用封筒に切手は不要です。
- (7) 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともにお書きにならなくて結構です。
- (8) このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

問合せ先

福岡市子ども未来局子ども部総務企画課
 電話：711-41170 FAX：733-5534
 担当：福井、徳久

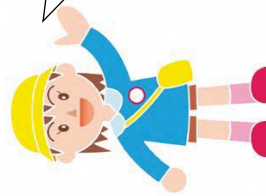
いただいた回答は福岡市の子ども・子育て支援の充実に生かしていきます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（保育所）（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）



ご協力のお礼として、
粗品を同封しています。
よろしくお願いいたします。



あて名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの区はどこですか。(○は1つ)

1. 東区 2. 博多区 3. 中央区 4. 南区
5. 城南区 6. 早良区 7. 西区

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(枠内に数字を記入)

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(枠内に数字を記入)

きょうだい数 人 (あて名のお子さんを含む)

問4 お2人以上のおさんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

末子の生年月 平成 年 月 生まれ

問5 あて名のお子さんとの同居の状況について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)
 籍柄はあて名のお子さんからみられた関係です。

1. 父母同居 (単身赴任別居等を含む) 5. 祖母同居
2. 父同居 (ひとり親家庭) 6. 祖父同居
3. 母同居 (ひとり親家庭) 7. 祖母同居
4. 祖父同居 8. その他 ()

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)
 あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他 ()

問7 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

1. ~200万円未満 5. 500~700万円未満
2. 200~300万円未満 6. 700~1,000万円未満
3. 300~400万円未満 7. 1,000万円以上
4. 400~500万円未満

問8 ご家庭において、あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。
 あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに 3. 主に父親 5. その他
2. 主に母親 4. 主に祖父母 ()

あて名のお子さんの子育て環境について

問9 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっているのはどなた(施設)ですか。
 お子さんからみられた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母ともに 3. 父親 5. 幼稚園 7. 認定こども園
2. 母親 4. 祖父母 6. 保育所(園) 8. その他 ()

問10 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭 3. 幼稚園 5. 認定こども園
2. 地域 4. 保育所(園) 6. その他 ()

問11 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人についてお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に、祖父母等の親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる
 3. 日常的に、友人・知人にみてもらえる
 4. 緊急時もしくは用事の際には、友人・知人にみてもらえる
 5. いずれもない

問11で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。

問11-1 親族にお子さんをみてもらうときの気持ちについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
 2. 親族の身体的負担が大きく心配である
 3. 親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
 4. 負担をかけていることが心苦しい
 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
 6. その他 ()

問11で「3」または「4」に○をつけた方にかがいます。

問11-2 友人・知人にお子さんをみてもらうときの気持ちについて、お答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
 4. 負担をかけていることが心苦しい
 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
 6. その他 ()

問 12 あて名のお子さんの子育てをす上で、気軽に相談できる人、また、相談できる場所についてお答えください。(〇は1つ)

1. たくさんいる (ある)	
2. 少しはいる (ある)	
3. あまりいない (ない)	
4. まったくいない (ない)	

問 12で「1」または「2」に〇をつけた方にかがいます。

問 12-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 配偶者・パートナー
2. その他の親族
3. 友人や知人
4. 隣近所の人、地域の知人
5. 職場の人
6. 保育所 (園)・幼稚園の保護者仲間
7. 子育てサークルの仲間
8. 保育所 (園) の保育士
9. 幼稚園の先生
10. 区保健福祉センター (保健所、福祉事務所)
11. 子どもプラザ・子育て交流サロン
12. 病院
13. 民生委員、児童委員、主任児童委員
14. 子ども食堂などの地域の居場所活動のスタッフ
15. こども総合相談センター (えがお館)
16. 民間の電話相談
17. インターネットや育児書で解決策を探す
18. その他 ()

すべての方にかがいます。

問 13 いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 子の発育や病気
2. 子の食事や栄養
3. 子のしつけや勉強
4. 保育所 (園) や幼稚園
5. 子連れで参加できるイベント
6. 子どもの遊び場や施設
7. 子育て相談窓口
8. 子育ての手当や公的助成
9. 育児サークル
10. 子育ての講座や講演会など
11. 子どもの一時預かり
12. その他 ()

問 14 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 親族 (親、きょうだいなど)
2. 近所の人、地域の知人、友人
3. 保護者仲間
4. 子どもプラザ・子育て交流サロン
5. 保育所 (園)、幼稚園、学校
6. 区役所 (保健福祉センター、市民センター等)
7. 市の広報紙・パンフレット・公民館だより
8. 市や区のホームページ
9. テレビ、ラジオ、新聞
10. 子育て雑誌・育児書
11. フリーペーパー
12. インターネット、SNS
13. 情報の入手手段がわからない
14. その他 ()

すべての方にかがいます。

問 15 福岡市の事業等で知っているものや、利用したことがある、今後利用したいと思うものをお答えください。(①~⑮の事業ごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに〇)

※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている はい	いいえ	これまでに利用 したことがある はい	いいえ	今後利用したい はい	いいえ
①区保健福祉センターや公民館の子育て教室 事業講座	1	2	1	2	1	2
②公民館等で行われる母子巡回健康相談	1	2	1	2	1	2
③区保健福祉センターの訪問指導	1	2	1	2	1	2
④区保健福祉センターでの相談 (電話含む、⑤を除く)	1	2	1	2	1	2
⑤産休明けサポート (産休明けすぐに復職など 保育が必要な方に、生後3か月までの間ベビ ーシッターを派遣する事業)	1	2	1	2	1	2
⑥子育て支援コンシェルジュ	1	2	1	2	1	2
⑦こども総合相談センターでの相談(電話含む)	1	2	1	2	1	2
⑧認可保育所 (園) の子育て支援事業 (園庭開放・相談・講座・イベント)	1	2	1	2	1	2
⑨幼稚園の子育て支援事業 (園庭開放・相談・講座・イベント)	1	2	1	2	1	2
⑩ファミリー・サポート・センター事業 (保育所送迎・子どもの預りなど)	1	2	1	2	1	2
⑪シルバークンセンター子育て支援事業 (保育所送迎・家事手伝いなど)	1	2	1	2	1	2
⑫中央児童会館の子育て支援事業	1	2	1	2	1	2
⑬子ども食堂などの地域の居場所活動	1	2	1	2	1	2
⑭市のホームページ	1	2	1	2	1	2
⑮子育て情報ガイド (冊子)	1	2	1	2	1	2

子ども・子育て交流サロンなどの利用状況について

問 16 あて名のお子さんと、現在、子どもプラザや子育て交流サロン、育児サークルなどを利用していますか。
(利用されているものすべてに○。枠内におおよその利用回数を記入)

1. 子どもプラザ (市内 14 か所)			
1 週当たり	回	または 1 ヶ月当たり	回程度
2. 子育て交流サロン (公民館等で、子育てサポーターが見守る中、乳幼児親子が自由に過ごせる場所)			
1 ヶ月当たり	回程度		
3. 育児サークルなど自主的な活動			
1 週当たり	回	または 1 ヶ月当たり	回程度
4. 利用していない			

すべての方にうかがいます。

問 17 子どもプラザや子育て交流サロンについて、今は利用していないが今後利用したい、または、利用を増やしたいと思えますか。(それぞれ○は1つ。枠内におおよその利用回数を記入)

《子どもプラザ》

1. 利用していないが、今後利用したい			
1 週当たり	回	または 1 ヶ月当たり	回程度
2. すでに利用しているが、今後利用を増やしたい			
1 週当たり	回	または 1 ヶ月当たり	回程度
3. 新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない			

《子育て交流サロン》

1. 利用していないが、今後利用したい			
1 週当たり	回	または 1 ヶ月当たり	回程度
2. すでに利用しているが、今後利用を増やしたい			
1 週当たり	回	または 1 ヶ月当たり	回程度
3. 新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない			

問 16 で「4」と回答された方にうかがいます。

問 18 現在、子どもプラザや子育て交流サロンを利用していない理由についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○) ※利用している場合は、回答不要です。

利用しない理由	子どもプラザ	子育て交流サロン
1. 場所が遠いので利用しづらい	1	1
2. 開催時間や日数が利用しづらい	2	2
3. 特に利用する必要性を感じない	3	3
4. 知人がいないので行きづらい	4	4
5. 子どもプラザや子育て交流サロンについて知らなかった	5	5
6. 利用する時間がない	6	6
7. 利用の仕方がわからず	7	7
8. 親同士の付き合いがわずらわしい	8	8
9. 外出するのが面倒	9	9
10. 子どもが大きくなって必要ない	10	10
11. その他 (具体的に:)	11	11
12. 特に理由はない	12	12

問 19 子どもプラザに次の機能があたら利用したいですか。(それぞれ○は1つ)

	利用したい	必要が す な い
①一時預かり室	1	2
②教育・保育サービス (保育所、幼稚園等) 相談の専門窓口 (常設)	1	2

あて名のおさんおの保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

問 20 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。（○は1つ）
【該当されない場合は記入は不要です】

→ 希望する就労形態

1. フルタイム
2. パートタイム、アルバイト等
→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

1. フルタイムで就労している
2. フルタイムで就労しているが、育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問 20 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 一週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

（枠内に数字を記入）
一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時
【24時間制で記入 例:18時】

問 20-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（枠内に時間を記入（例）18時）

一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

問 20 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。（○は1つ）

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 20 で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-4 就労への希望についてお答えください。（○は1つ。枠内に数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する就労形態

1. フルタイム
2. パートタイム、アルバイト等
→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

問 21 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。（○は1つ）

【該当されない場合は記入は不要です】

1. フルタイムで就労している
2. フルタイムで就労しているが、育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問 21 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

（枠内に数字を記入）
一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間

問 21-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（枠内に時間を記入。（例）18時）

一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時
【24時間制で記入 例:18時】

問 21 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。（○は1つ）

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問21で「5」または「6」に○をつけた方にかがいます。

問21-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する就労形態

1. フルタイム
2. パートタイム、アルバイト等

→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。

問22 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園……通常の教育時間の利用
2. 認定こども園 (教育利用) ……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で4時間程度の利用
3. 幼稚園預かり保育……通常の教育時間を延長して預かる事業
4. 幼稚園2歳児受入れ促進事業……保育が必要な2歳児を幼稚園で預かる事業
5. 認可保育所……国が定める基準に適合した保育施設
6. 認定こども園 (保育利用) ……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で8時間程度の利用
7. 小規模保育事業、家庭的保育事業……比較的小規模な環境で運営する、国が定める基準に適合した保育施設
8. 企業主導型保育事業、事業所内保育事業……企業が従業員や地域の子どものために運営する、国が定める基準に適合した保育施設
9. 居宅訪問型保育事業……ベビーマッサージが家庭を訪問して保育する事業
10. その他の認可外保育施設等
11. その他 ()
12. 利用していない

問22で「1～10」に○をつけた方にかがいます。

問22-1 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、全部あわせてどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(枠内に数字を記入。時間は、(例)9時～18時のように24時間制で記入)

《現在》

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)
 【24時間制で記入 例：9時～18時】

《希望》

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)
 【24時間制で記入 例：9時～18時】

問22-2 現在、教育・保育事業を利用している場所について、お答えください。(○は1つ)

1. 福岡市内
2. 福岡市外

問22-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 現在就労しているため
3. 就労予定がある／求職中であるため
4. 家族・親族などを介護しているため
5. 病気や障がいがあるため
6. 学生であるため
7. その他 ()

問22で「12. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

問22-4 利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの母親か父親が子育てしており、利用する必要がない
2. 子どもの祖父や親族がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない → 希望 時まで
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

すべての方にかかっています。

問 23 国は、2018年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2018」の中で、「幼児教育・保育の無償化」について、2019年10月からの実施を目標としています。

次の質問は、「幼児教育・保育の無償化」が実施されると仮定してお答えください。現在、利用している。利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

<幼児教育・保育の無償化の概要>

0歳から2歳：保育の必要性のある住民税非課税世帯を対象に無償化
3歳から5歳：幼稚園、保育所、認定こども園、企業主導型保育事業、認可外保育施設等を利用する子どもを対象に無償化

※これらの事業の利用には、給食費の実費など、一定の利用者負担が発生します

- | |
|---|
| 1. 幼稚園……通常の教育時間の利用 |
| 2. 認定こども園（教育利用）……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で4時間程度の利用 |
| 3. 幼稚園預かり保育……通常の教育時間を延長して預かる事業 |
| 4. 幼稚園2歳児受入れ促進事業……保育が必要な2歳児を幼稚園で預かる事業 |
| 5. 認可保育所……国が定める基準に適合した保育施設 |
| 6. 認定こども園（保育利用）……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で8時間程度の利用 |
| 7. 小規模保育事業、家庭的保育事業……比較的小規模な環境で運営する、国が定める基準に適合した保育施設 |
| 8. 企業主導型保育事業、事業所内保育事業……企業が従業員や地域の子どものために運営する、国が定める基準に適合した保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育事業……ベビーマッサージが家庭を訪問して保育する事業 |
| 10. その他の認可外保育施設等 |
| 11. その他（ ） |
| 12. 利用しない |

すべての方にかかっています。

問 23-1 問 23 にご回答いただくに当たり、「幼児教育・保育の無償化」の影響はありませんか。(○は1.つ)

- | | | |
|--------------|-----------------|----------|
| 1. 影響を受けた | 3. あまり影響を受けなかった | 5. わからない |
| 2. 多少、影響を受けた | 4. 影響を受けなかった | |

> 問 23 で「1か2」に○をつけ、かつ「3～10のいずれかに1つ以上」○をつけた方にかかっています。

問 23-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育含む）の利用を強く希望しますか。(○は1.つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

>> 問 23 で「1～10」に○をつけた方にかかっています。

問 23-3 教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。(○は1.つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 福岡市内 | 2. 福岡市外 |
|---------|---------|

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。

(土曜・日祝日それぞれ○は1.つ。希望時間を枠内に記入。(例)9～18時)

※ 教育・保育事業とは、幼稚園、保育所(園)、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

※ なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

<<土曜日>>

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯
3. 月に1、2回は利用したい [24時間制で記入 例：9時～18時]

<<日曜・祝日>>

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯
3. 月に1、2回は利用したい [24時間制で記入 例：9時～18時]

問 24 で、「3」に○をつけた方にかかっています。

問 24-1 毎週ではなく、月に1・2回だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要のため |
| 4. リフレッシュ等のため |
| 5. その他（ ） |

「幼稚園」を利用されている方にかかっています。

問 25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(○は1.つ。希望時間を枠内に記入。(例)9～18時)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい ⇒ 利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数日利用したい [24時間制で記入 例：9時～18時]

問 25 で、「3」に○をつけた方にかがいます。

問 25-1 毎日ではなく、週に数日だけ利用したい理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュ等のため
5. その他 ()

**あて名のお子さんの病気の対応について
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方 (問 22 で 1～10 に○をつけた方) にかがいます。

⇒ 利用していない方は、問 28 へお進みください。

問 26 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった
2. なかった

問 26 で「1」に○をつけた方にかがいます。

問 26-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度の場合も1日とカウント。)

1年間の対処方法	日数
1 父親が休んだ	日
2 母親が休んだ	日
3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5 病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した (保育所(園)で実施しているサービスを含む)	日
6 ベビーシッターを利用した	日
7 子どもだけで留守番をさせた	日
8 その他 ()	日

⇒問 26-5 へ

問 26-1 で「1」「2」のいずれれかに回答した方にかがいます。

問 26-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ。枠内に日数を記入)

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → 日
2. 利用したいとは思わない

問 26-2 で「1」に○をつけた方にかがいます。

問 26-3 その場合、下記いずれの事業形態が望ましいと思われましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園・保育所(園)等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ()

問 26-2 で「2」に○をつけた方にかがいます。

問 26-4 そう思われる理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他 ()

問 26-1 で「3」～「8」のいずれれかに回答した方にかがいます。

問 26-5 休めなかった理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 子の看護を理由に休みがとりにくい
2. 自営業なので休めない
3. 休暇制度が整っていない
4. その他 ()

病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した(利用しようとした)方にかがいます。

問 27 利用申し込みをした際に、施設の定員の都合を理由に断られたことがありますか。(○は1つ)

1. あった
2. なかった

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業の利用について

問 28 現在、あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(○は1つ)

1. 利用している 2. 利用していない

問 28-2 「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 28-1 利用している事業に【現在の利用日数】を記入してください。
また、今後利用したい事業（現在利用している事業を含む）に【今後の利用希望日数】を記入し、【利用希望の理由】をア～エから1つ選んで○をしてください

※各事業の利用には、一定の利用料がかかります

事業	現在の利用日数(年間)	今後の利用希望日数(年間)	利用希望の理由
一時預かり (私用など理由を問わずに保育所(園)などで一時的に子どもを保育する事業)	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()
幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()
ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()
ベビーシッター	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()
その他()	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()

問 28-2 「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 28-2 一時的にお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 大規模施設で子どもを保育する事業 (例: 幼稚園・保育所(園)等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業 (例: 小規模保育事業等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問 28 「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 28-3 現在利用していない理由は何ですか。(事業ごとに、あてはまるものすべてに○)

また、今後利用したい事業があれば、【今後の利用希望日数】を記入し、【利用希望の理由】をア～エから1つ選んで○をしてください。

事業	利用していない理由	今後の利用希望日数(年間)	利用希望の理由
一時預かり (私用など理由を問わずに保育所(園)などで一時的に子どもを保育する事業)	1. 特に利用する必要があるがない 2. 近くで事業が実施されていない 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 4. 利用料が高い 5. 事業をよく知らない 6. その他()	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()
幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	1. 特に利用する必要があるがない 2. 近くで事業が実施されていない 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 4. 利用料が高い 5. 事業をよく知らない 6. その他()	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()
ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1. 特に利用する必要があるがない 2. 近くで事業が実施されていない 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 4. 利用料が高い 5. 事業をよく知らない 6. その他()	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()
ベビーシッター	1. 特に利用する必要があるがない 2. 近くで事業が実施されていない 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 4. 利用料が高い 5. 事業をよく知らない 6. その他()	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他()

あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊ま
りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった（預け先が見つからなかった場合も含む）
場合の対処方法についてお答えください。（あてはまるものすべてに○。それぞれ枠内に日数を記入）

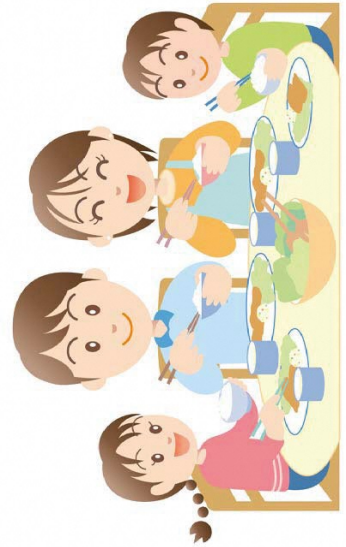
この1年間の対処方法	この1年間の 利用日数	今後の 利用希望日数
1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	泊	泊
2. 子どもショートステイ（短期入所生活援助事業）を利用 した（児童養護施設等で一定期間、子どもをお預かりする事業）	泊	泊
3. 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	泊	泊
4. 仕方なく子どもを同行させた	泊	泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊	泊
6. その他（ ）	泊	泊
7. なかった	泊	泊

⇒ 1.以外を選択した方は 問30へ

問 29で「1. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にかがいます。

問 29-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。（○は1つ）

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない



**あて名のお子さんか5歳以上である方に、うかがいます。
小学校就学後の放課後の過ごし方について**

⇒ あて名のお子さんか5歳未満の方は、問31へ
問 30 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校放課後）をどのような場所で過ごさせたいと思いま
すか。（あてはまるものすべてに○。それぞれ枠内に日数を記入）
また、学童保育（留守家庭子ども会）の場合には、希望時間もお答えください。（枠内に日数を記入。（例）
18時）

場 所	日数（小学校1～3年生）	日数（小学校4～6年生）
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母友人知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 学童保育（留守家庭子ども会）※1	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> 時まで
5. わいわい広場 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
6. ファミリー・サポーター・センター	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 学童保育（留守家庭子ども会）…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、放課後児童支援員の下、
子どもたちの生活の場を提供するものです。一定の利用料がかかります。

※2 「わいわい広場」…放課後にいったん家に帰ることなく、小学校の校庭等で、大人の見守りのもと自由に遊べる場
を提供するものです。実施校に在籍するすべての児童が無料で利用できます。

問 30で「4」に○をつけた方にかがいます。

問 30-1 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）に、留守家
庭子ども会の利用希望はありますか。（○は1つ。枠内に時間帯を記入。（例）9時～18時）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

《土曜日》

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 時から 時まで
3. 利用する必要はない 【24時間制で記入 例：9時～18時】

《日曜日・祝日》

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 時から 時まで
3. 利用する必要はない 【24時間制で記入 例：9時～18時】

《長期休業》

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 時から 時まで
3. 利用する必要はない 【24時間制で記入 例：9時～18時】

育児休業など職場の両立支援制度について

問 31 あなたの生活の中の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度についてお答えください。
 （それぞれ〇は1.2）

《希望》

1. 仕事時間を優先
 2. 家事（育児）時間を優先
 3. 仕事と家事（育児）を両立

《現実》

1. 仕事時間を優先
 2. 家事（育児）時間を優先
 3. 仕事と家事（育児）を両立

問 32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 （それぞれ〇は1.2）

	母親	父親
1. 取得した（取得中である）	1	1 ⇒問32-1へ
2. 取得していない	2	2 ⇒問32-8へ
3. 妊娠・出産を機に離職した	3	— ⇒問32-9へ
4. 働いていなかった	4	3 ⇒問33へ

問32-1～問32-8は、母親・父親それぞれの状況をお答えください。

問 32 で「1. 取得した」と回答した方にかがいます。

問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ〇は1.2）

	母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1 ⇒問32-2へ
2. 現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である	2	2 ⇒問32-7へ
3. 育児休業中に離職した	3	3 ⇒問32-9へ

問 32-1 で「1. 復帰した」と回答した方にかがいます。

問 32-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ〇は1.2）

※年度初めでの認可保育所（園）入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所（園）に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

	母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
2. それ以外だった	2	2

問 32-3 育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月から何歳何ヶ月の間、取得されましたか。また、お勤め先の育児休業の制度が3歳までであった場合、何歳何ヶ月から何歳何ヶ月のときまで取りましたか。（枠内に数字を記入）

	母親		父親	
実際の取得期間	→	→	→	→
	歳	ヶ月	歳	ヶ月
	歳	ヶ月	歳	ヶ月
3歳までの制度があった場合の希望	→	→	→	→
	歳	ヶ月	歳	ヶ月
	歳	ヶ月	歳	ヶ月

問 32-3 で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。

問 32-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

(1) 「希望」より早く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに〇）

	母親	父親
1. 希望する保育所（園）に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5. その他（ ）	5	5

(2) 「希望」より遅く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに〇）

	母親	父親
1. 希望する保育所（園）に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5. その他（ ）	5	5

問 32-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ〇は1.2）

	母親	父親
1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1	1
2. 利用した	2	2
3. 利用しなかったが、利用しなかった	3	3 ⇒問32-6へ
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため （利用できなかった）	4	4
5. その他（ ）	5	5

問 32-5 で「3」と回答した方にうかがいます。

問 32-6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなぜですか。（枠内にあてはまるものすべてを記入）

問 32-6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなぜですか。（枠内にあてはまるものすべてを記入）

回答欄：

 <あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

理由欄：

 <あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

理由：

 <あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

- 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が忙しかった
- 短時間勤務にすると給与が減額される
- 短時間勤務にする保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる
- 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかった
- その他（ ）

問 32-1 で「1」（育児休業取得後、職場復帰した）または「2」（現在も育児休業中）と回答した方にうかがいます。

問 32-7 あて名のお子さんを生後3か月以降に必ず預けられる保育・保育事業がある（又はあった）としたら、いつまで育児休業を取得したい（又はしたかった）ですか。（それぞれ〇は1つ）

	母親	父親
1. 1歳になる前に職場復帰したい（又はしたかった）	1	1
2. 1歳になるまでは育児休業を取得したい（又はしたかった）	2	2
3. 1歳になった後の3月末までは育児休業を取得したい（又はしたかった）	3	3
4. 2歳になるまでは育児休業を取得したい（又はしたかった）	4	4
5. （ ）歳までは育児休業を取得したい（又はしたかった）	5 (歳まで)	5 (歳まで)



問 32 で「2. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問 32-8 育児休業を取得されなかった理由はなぜですか。（枠内にあてはまるものすべてを記入）

問 32-8 育児休業を取得されなかった理由はなぜですか。（枠内にあてはまるものすべてを記入）

回答欄：

 <あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

理由欄：

 <あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

理由：

 <あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

- 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が忙しかった
- （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 仕事に戻るのが難しそうだった
- 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 保育所（園）などに預けることができた
- 配偶者が育児休業制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 育児休業を取得できなかったことを知らなかった
- 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかった
- その他（ ）

問 32 で「3. 妊娠・出産を機に離職した」と回答した方および、

問 32-1 で「3. 育児休業中に離職した」と回答した方にうかがいます。

問 32-9 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（〇は1つ）

問 32-9 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（〇は1つ）

回答欄：

 <あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

- 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
- 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていたら、継続して就労した
- 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていたら、継続して就労していた
- 家庭の考え（親族の理解が得られない）等の環境が整っていれば、継続して就労していた
- いずれにしてもやめていた
- その他（ ）

子育てについて

問 33 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

1. 毎日食べる
2. 週に3～4回食べる
3. 週に1～2回しか食べない
4. ほとんど食べない
5. 離乳前

問 34 忙しいときなど、何らかの理由で子どもにテレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことがありますか。ゲームをさせておくことも含みます。(○は1つ)

1. よく見せている
2. 時々そうしている
3. そのようなことはない

問 35 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見えていますか。ゲームをしている時間も含みます。(○は1つ)

1. 見ていない
2. 1時間未満
3. 1時間以上～2時間未満
4. 2時間以上～3時間未満
5. 3時間以上～4時間未満
6. 4時間以上～5時間未満
7. 5時間以上

問 36 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。(平日・休日それぞれ○は1つ)

《平日》

1. 外で遊ばない
2. 30分未満
3. 30分以上～1時間未満
4. 1時間以上～2時間未満
5. 2時間以上～3時間未満
6. 3時間以上～4時間未満
7. 4時間以上～5時間未満
8. 5時間以上

《休日》

1. 外で遊ばない
2. 30分未満
3. 30分以上～1時間未満
4. 1時間以上～2時間未満
5. 2時間以上～3時間未満
6. 3時間以上～4時間未満
7. 4時間以上～5時間未満
8. 5時間以上

問 37 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(○は3つまで)

1. 思いきり遊ぶために十分な広さがない
2. 遊具などの種類が充実していない
3. トイレがない
4. きたない
5. いつも閑散としていて寂しい感じがする
6. 遊具などの設備が古くて危険である
7. 緑などの自然が少ない
8. 遊び場やその周辺の見通しが悪くて、安心して遊べない
9. 遊び場周辺の道路が危険である
10. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいらない
11. 近くに遊び場がない
12. 雨の日に遊べる場所がない
13. その他 ()
14. 特に感じることはない

問 38 市内においてお子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。(○は3つまで)

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 公共交通機関がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. 建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
5. トイレがオムツ換えや親子での利用に配慮されていない
6. 授乳する場所や必要な設備がない
7. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がない
8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない
9. 緑や広い歩道が少ないなど、まち並みにゆとりといるおいが少ない
10. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配
11. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
12. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない
13. その他 (具体的に：)
14. 特に困る・困ったことはない

問 39 あなたにとって、理想的な子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

《理想的な子どもの数》

人

《実際に予定している子どもの数》

人

問 39 で、ほしいと思っっている子どもの数よりも、実際に予定している子どもの数が少ない方がいます。

問 39-1 その理由はどのようなことですか。(○は2つまで)

1. 育児の身体的な負担が大きいかから
2. 育児の精神的な負担が大きいかから
3. 配偶者やパートナーが家事や育児にあまり協力してくれないから
4. 年齢的な理由で無理だから
5. 健康上の理由で無理だから
6. 自分自身のやりたいことができなくなるから
7. 住まいが狭いから
8. 子どもを育てるのにお金がかかるから
9. 仕事ができな、続けにくいから
10. 教育に不安があるから
11. 社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから
12. 今いる子どもにも十分な愛情をかけてあげたいから
13. その他 ()
14. 特に理由はな

問 40 あて名のお子さんのお母さん・父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。

(1週間の時間を合計して枠内に記入)

※「育児時間」とは、子どもの身の回りの世話のほか、遊び相手になること、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

《母親》

【家事時間】 時間 分/週 【育児時間】 時間 分/週

《父親》

【家事時間】 時間 分/週 【育児時間】 時間 分/週

問 41 あなたの二家庭では父親はどの程度子育てをしていますか。(○は1つ) ⇒ 該当しない場合は問 42へ

1. 十分にやっている
2. 十分とはいえないが、まあやっている
3. かなり不足している
4. 全くやっていない

問 42 あなたは、子育てが楽しいですか。(○は1つ)

1. 大変楽しい
2. 楽しいことが多い
3. つらいと感じる時が多い
4. とてもつらい

問 43 子育てに関して不安や負担などはお感じですか。(○は1つ)

1. 不安や負担を感じる
2. 多少は不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担は感じない
4. 感じない
5. なんともいえない

問 44 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 子育てで出費がかさむこと
2. 子どもの病気や発育・発達に関すること
3. 子どもの食事や栄養に関すること
4. 子どもの遊ばせ方に関すること
5. 子どものしつけに関すること
6. 子どものくせや性格に関すること
7. 子どもの時間を十分にとれないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
11. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
12. 子育てをしているうちに世の中から取り残されるような気がする
13. 子どもを叱りすぎているような気がする
14. 子育てのストレスがたまっているうちに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
15. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
16. 子どもを通じた親同士の付き合いに関すること
17. その他 ()
18. 特になし

子ども・子育て支援について

問 45 あなたは、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(○は3つまで)

1. 子育てにかかってくる費用負担を軽減してほしい
2. 子どもや親子が安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作してほしい
3. 子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい
4. 地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい
5. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作してほしい
6. 保育所(園)を増やしてほしい
7. 幼稚園を増やしてほしい
8. 専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
10. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
12. 子育ての楽しさや大切さを広く世の中に知らせしてほしい
13. 子育てについて学べる機会を作してほしい
14. その他 ()
15. 特になし

◆教育・保育環境の充実や子育て支援など、福岡市の子ども施策に関する取り組みに関して福岡市へのご意見がございましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(小学生の保護者の方)

ご記入に際してのお願い

※ ご回答いただいた内容は、福岡市子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきますものであり、他の目的に利用することは一切ございません。

- (1) **保護者の方**が記入してください。
- (2) **新着のあて名のお子さんについて**お答え下さい。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**2月20日(水)まで**にご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- (6) 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともにお書きにならなくて結構です。
- (7) このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

問合せ先

福岡市子ども未来局こども部総務企画課
 電話：711-4170 FAX：733-5534
 担当：福井、徳久

お子さんとご家族の状況について

問1 お住まいの区はどこですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 東区 | 3. 中央区 | 5. 城南区 | 7. 西区 |
| 2. 博多区 | 4. 南区 | 6. 早良区 | |

問2 あて名のお子さんは何年生ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 小学校1年生 | 3. 小学校3年生 | 5. 小学校5年生 |
| 2. 小学校2年生 | 4. 小学校4年生 | 6. 小学校6年生 |

問3 あて名のお子さんを含め、お子さん(年齢は問いません)は何人いらっしゃいますか。また、お子さんが2人以上いる場合には、末子の生年月月をご記入ください。(枠内に数字を記入)

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月 生まれ
 (あて名のお子さんを含む)

問4 あて名のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 3. 主に父親 | 5. その他 () |
| 2. 主に母親 | 4. 主に祖父母 | |

問5 このアンケート調査の記入者はどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 3. 祖母 | 5. その他 () |
| 2. 父親 | 4. 祖父 | |

問6 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ~200万円未満 | 5. 500~700万円未満 |
| 2. 200~300万円未満 | 6. 700~1,000万円未満 |
| 3. 300~400万円未満 | 7. 1,000万円以上 |
| 4. 400~500万円未満 | |

問7 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について、選んでください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 父母同居 (単身赴任別居を含む) | 5. 祖母同居 |
| 2. 父同居 (ひとり親家庭) | 6. 祖父近居 |
| 3. 母同居 (ひとり親家庭) | 7. 祖母近居 |
| 4. 祖父同居 | 8. その他 () |

お子さんの保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

問8 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。
（○は1つ。枠内に数字を記入）【該当しない場合は記載不要です。】

1. 就労している（フルタイム：育児・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均就労時間は 時間 働いている日の平均的な帰宅時刻 時
【24時間制で記入 例：18時】

2. 就労している（フルタイムだが育児休業・介護休業中）

3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 1週当たり 日、1日当たり 時間

→フルタイムへの転換希望がありますか。 1. ある（1年以内）
 2. ある（いずれは）
 3. ない

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない

5. これまでに就労したことがない

問8で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。

問8-1 父親の就労希望はありますか。（○は1つ）

1. すぐにも又は1年以内に希望がある

2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい

3. ない

問8-1で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問8-2 就労希望の形態はどのようなものですか。（○は1つ。枠内に数字を記入）

1. フルタイムによる就労

2. パートタイム、アルバイト等による就労 ⇒ 1週あたり 日・1日あたり 時間

問8-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（○は1つ）

1. 働きながら子育てのできる適当な仕事がない

2. 自分の知識、能力にあう仕事がない

3. 子どもが小さいうちは、自分が家においてあげたい

4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）など就労する環境が整っていない

5. その他（ ）

問8-1で「2」を選んだ方にうかがいます。

問8-4 あて名のお子さんも含めて一番年齢の低い子が何歳になったときに就労を希望されますか。
（枠内に数字を記入）

歳になったとき

すべての方にうかがいます。

問9 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。
（○は1つ。枠内に数字を記入）【該当しない場合は記載不要です。】

1. 就労している（フルタイム：育児・介護休業中は含まない）
→ 1週当たりの平均就労時間は 時間 働いている日の平均的な帰宅時刻 時
【24時間制で記入 例：18時】

2. 就労している（フルタイムだが育児休業・介護休業中）

3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
→ 1週当たり 日、1日当たり 時間

→フルタイムへの転換希望がありますか。 1. ある（1年以内）
 2. ある（いずれは）
 3. ない

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない

5. これまでに就労したことがない

問9で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。

問9-1 母親の就労希望はありますか。（○は1つ）

1. すぐにも又は1年以内に希望がある

2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい

3. ない

問9-1で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問9-2 就労希望の形態はどのようなものですか。（○は1つ。枠内に数字を記入）

1. フルタイムによる就労

2. パートタイム、アルバイト等による就労 ⇒ 1週あたり 日・1日あたり 時間

問9-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（○は1つ）

1. 働きながら子育てのできる適当な仕事がない

2. 自分の知識、能力にあう仕事がない

3. 子どもが小さいうちは、自分が家においてあげたい

4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない

5. その他（ ）

問9-1で「2」を選んだ方にうかがいます。

問9-4 あて名のお子さんも含めて一番年齢の低い子が何歳になったときに就労を希望されますか。
（枠内に数字を記入）

歳になったとき

留守家庭子ども会等の利用について

問 10 あて名のお子さんについて、現在、留守家庭子ども会を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

※「留守家庭子ども会」とは、保護者が仕事などにより昼間家庭にいない児童を対象に遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。放課後児童クラブや学童保育なども呼ばれています。

問 10で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 10-1 ① 留守家庭子ども会の利用日数はどれくらいですか。(枠内に数字を記入)

週 日くらい ⇒ うち土曜日の利用 (1. ある 2. ない)

② どういう理由で利用していますか。(○は1つ)

【お子さんの子育てを主にしている方が】

1. 現在就労している
2. 妊娠中である又は出産後間もない
3. 家族・親族などを介護しなければならぬ
4. 病気や障がいを持っている
5. 学生である
6. その他 ()

問 10で「2」を選んだ方にうかがいます。

問 10-2 利用していない理由はなぜですか。(○は1つ)

【お子さんの子育てを主にしている方が】

1. 現在就労していないから
2. (留守家庭子ども会を知らなかったから
3. 留守家庭子ども会がないから
4. 留守家庭子ども会の開所時間が短いから
5. 留守家庭子ども会は利用料がかかるから
6. 就労しているが子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしているから
7. 放課後の短時間ならば子どもだけで留守番させても大丈夫だと思うから
8. 他の施設に預けているから
9. 祖父母等の親族 (同居含む) や知人に預けているから
10. 父親又は母親が子どもより早く早く家に帰ることができるから
11. その他 ()

すべての方にうかがいます。

問 11 福岡市では、全児童が利用できる平日の放課後に実施している「わいわい広場」、土日など学校が休みの時に実施している「昼間校庭開放事業」がありますが、その利用意向はありますか。

(それぞれについて○は1つ。意向がある場合は、わいわい広場については希望日数も記入。)

※ 「わいわい広場」とは、放課後にいったん家に帰ることなく、小学校の校庭等で、大人の見守りのもと自由に遊べる場を提供するものです。実施校に在籍する全ての児童が無料で利用できます。(現在 126 校区で実施)

※ 「昼間校庭開放事業」とは、自由に遊べる場として、土日等の小学校の校庭を開放するもので、全ての児童が無料で利用できます。(現在 138 校区で実施)

《わいわい広場》 ※平日実施

1. この事業を知っている
2. この事業を知らない

1. 利用させたい ⇒ 週 日くらい

2. 利用させたいとは思わない
3. わからぬ

《昼間校庭開放事業》 ※土日等学校休業日開放

1. この事業を知っている
2. この事業を知らない

1. 利用させたい
2. 利用させたいとは思わない
3. わからぬ



お子さんの病気の時の対応について

問 12 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければなかったことはありますか。(○は1.2)

1. あった
2. なかった

問 12 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 12-1 この1年間の対応はどのようでしたか。半日程度についても1日としてカウント
(あてはまるものすべてに○。枠内に数字を記入。半日程度についても1日としてカウント)

※「病児・病後児保育」とは、お子さんが病気の際、保護者の仕事の都合などで、自宅で看病できない場合、病院等の病児デイケアルームで預かる制度。

1年間の対応方法		日数
1	父親が休んだ	日
2	母親が休んだ	日
3	親族・知人(同居人を含む)に預けた	日
4	就労していない保護者がみた	日
5	病児・病後児保育(病児デイケアルーム)を利用した	日
6	ベビーシッターを頼んだ	日
7	子どもだけで留守番をさせた	日
8	その他()	日

⇒問 13へ

問 12-1 で「1」～「3」を選んだ方にうかがいます。

問 12-2 その際、できれば病児デイケアルーム等に預けたいと思った日数はどれくらいありますか。
(枠内に日数を記入)

日

お子さんの一時預かりについて

問 13 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時又は用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

すべての方にうかがいます。

問 14 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、宴会、美容院など)やリフレッシュ、冠婚葬祭、保護者の病氣、就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありませんか。(半日程度についても1日としてカウントしてください。)

1. ある ⇒ 年間 [] 日
2. ない

問 14 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 14-1 預けた日数を目的別に枠内に数字をご記入ください。

[私用(買物、習い事など)、リフレッシュ] ⇒ 年間 [] 日
[冠婚葬祭、保護者の病氣] ⇒ 年間 [] 日
[就労] ⇒ 年間 [] 日

ファミリー・サポート・センターの利用について

問 15 ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(○は1.2)

※「ファミリー・サポート・センター」とは、子どもを預けたい人と子どもを預かりたい人を会員登録しておき、保育所までの送迎や留守家庭子ども会の終了後の預かりなど、地域の中で育児の相互援助活動を行う制度。
(利用料:1時間800円～)

1. 利用している
2. 知っているが、利用していない
3. 知らない

問 15 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 15-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 仕事で送迎が難しいときに利用している
3. 留守家庭子ども会などの利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
4. 留守家庭子ども会などの送り迎えに利用している
5. 祖父母や知人友人等に預かってもらえないときに利用している
6. 冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している
7. 子育てのリフレッシュのために利用している
8. その他()

問 15-2 どれくらいの頻度で利用していますか。(枠内に数字を記入、不定期の場合は、不定期に○)

※1日に2回以上利用する場合は1日とカウントしてください。

月に [] 日くらい 1回あたり [] 時間程度 ・ 不定期の利用
【不定期の場合は○で囲ってください】

子育てに関する情報について

問17 あなたは、いま子育てについてどんな情報を得たいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 子どもの発育や病気について | 7. 子育ての相談窓口について |
| 2. 子どもの食事や栄養について | 8. 子育ての手当や公的助成について |
| 3. 子どものしつけや勉強について | 9. 家庭教育に関する講座や講演会などについて |
| 4. 習い事や学習塾について | 10. 子どもの一時預かりについて |
| 5. 子どもが参加できるイベントについて | 11. その他 () |
| 6. 子どもの遊び場や施設について | |

問18 あなたは、その知りたい情報を何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 親族(親、きょうだいなど) | 8. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 2. 近所の人、知人、友人 | 9. 子育て雑誌、育児書 |
| 3. 保護者仲間 | 10. フリーペーパー |
| 4. 小学校 | 11. インターネット |
| 5. 区役所(保健福祉センター、市民センター等) | 12. 情報の入手手段がわからない |
| 6. 市の広報紙やパンフレット、公民館だより | 13. その他 () |
| 7. 市や区のホームページ | |

子育てに関する悩みや相談について

問19 あなたが子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。(○は3つまで)

- | | |
|--|----------------------|
| 1. 子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身に付いていない | 11. 子どもの身体や発育、病気のことで |
| 2. 子どものしつけや教育に自信がもてない | 12. 子どもの非行や問題行動 |
| 3. 子どものしつけや教育についての相談相手がいらない | 13. 子育てで出費がかさむこと |
| 4. 配偶者があまり協力してくれない | 14. その他 () |
| 5. 子どもが勉強しない | 15. 特になし |
| 6. 子どもの進学や受験又は就職のこと | |
| 7. 子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない | |
| 8. 子どもの生活態度が消極的である | |
| 9. 子どもの友だちづきあい(いじめなどを含む)に関すること | |
| 10. 不登校などの課題について | |

問15で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます。

問15-3 今後利用したいと思いますか。(希望がある場合のみ、枠内に数字を記入)

※1日に2回以上利用する場合は1日とカウントしてください。

月に <input style="width: 50px;" type="text"/> 日(回) くらい

子育て支援サービスの認知度・利用の意向について

問16 下記福岡市の子育て支援サービスを知っていますか。また、これまでに利用したことはありますか。

今後利用したいと思いますか。

①～⑨までのサービスごとに、A、B、Cのそれぞれについて、はいの場合は「1」、いいえの場合は「2」に○をつけてください。

サービスの種類	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①区保健福祉センター、公民館、市民センターなどの子育て教室、講座	1	2	1	2	1	2
②区保健福祉センターでの相談(電話含む)	1	2	1	2	1	2
③子ども総合相談センターでの相談(電話含む)	1	2	1	2	1	2
④区保健福祉センター、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業	1	2	1	2	1	2
⑤子ども食堂などの地域の居場所活動	1	2	1	2	1	2
⑥科学館での子ども向け事業	1	2	1	2	1	2
⑦中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業	1	2	1	2	1	2
⑧市のホームページ	1	2	1	2	1	2
⑨子育て情報ガイド	1	2	1	2	1	2

問20 あなたが子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、誰（どこ）に相談されますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者やパートナー
2. その他の親族（親、きょうだいなど）
3. 友人知人
4. 近所の人
5. 職場の人
6. 学校等の保護者仲間
7. 学校の先生等
8. 区保健福祉センター（保健所、福祉事務所）
9. 病院
10. 警察署、交番
11. 民生委員、児童委員、主任児童委員
12. 子ども食堂などの地域の居場所活動のスタッフ
13. こども総合相談センター（えがお館）
14. 民間の電話相談
15. インターネットや育児書で解決策を探す
16. その他（ ）
17. 相談相手がいない
18. 相談することがない

子育てについて

問21 あなたは、あて名のお子さんの子育てが楽しいですか。（○は1つ）

1. 大変楽しい	3. つらいと感じる時が多い
2. 楽しいことが多い	4. とてもつらい

問22 母親と父親の1週間の家事・子育ての時間はどれくらいですか。1週間の時間を合計して枠内にご記入ください。

※ 子育ての時間とは、子どもの身の回りの世話や遊び相手、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

《母親》

【家事時間】	時間	分/週	【育児時間】	時間	分/週
【家事時間】	時間	分/週	【育児時間】	時間	分/週

《父親》

問23 あなたのご家庭では、父親はどの程度子育てをしていますか。（○は1つ）⇒該当しない場合は問24へ

1. 十分やっている	3. かなり不足している
2. 十分とはいえないが、まあやっている	4. 全くやっていない

問24 あなたの生活の中で「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度はどうですか。（希望と現実それぞれに○は1つずつ）

《希望》

1. 仕事時間優先	2. 家事育児時間優先	3. 両立
-----------	-------------	-------

《現実》

1. 仕事時間優先	2. 家事育児時間優先	3. 両立
-----------	-------------	-------

問25 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか。食事時間を含みます。（平日・休日それぞれに○は1つずつ）

《平日》

1. ほとんどない	3. 1～2時間程度	5. 5～6時間程度
2. 30分程度	4. 3～4時間程度	6. 7時間以上

《休日》

1. ほとんどない	3. 1～2時間程度	5. 5～6時間程度
2. 30分程度	4. 3～4時間程度	6. 7時間以上

問26 あなたは、ご自分があて名のお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思えますか。（平日・休日それぞれに○は1つずつ）

《平日》

1. 十分	2. まあ十分	3. やや不足している	4. まったく不足している
-------	---------	-------------	---------------

《休日》

1. 十分	2. まあ十分	3. やや不足している	4. まったく不足している
-------	---------	-------------	---------------

問27 お子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ（態度）はどのようにされていますか。（①～⑦について、それぞれに○は1つずつ）

	いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことではない
① 子どもが何かやっているときすぐ手伝ってしまうほうだ	1	2	3
② 子どもについてなんでもすぐに口を出すほうだ	1	2	3
③ 子どもにあまりかまってやれないほうだ	1	2	3
④ 時と場合によっては、子どもに言うことが違うことがある	1	2	3
⑤ だいたい子どもの言いなりになっているほうだ	1	2	3
⑥ 体罰をすることがある	1	2	3
⑦ 子どものことを分かっているほうだ	1	2	3

お子さんの日頃の生活について

問 28 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 毎日食べる | 3. 週に1～2回食べる |
| 2. 週に3～4回食べる | 4. ほとんど食べない |

問 29 ふつう、あて名のお子さんが寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。(枠内に数字を記入)

寝る時刻	<input style="width: 90%;" type="text"/>	時頃	<input style="width: 90%;" type="text"/>	時頃	<input style="width: 90%;" type="text"/>
[24時間制で記入 例: 21時]					

問 30 平日の放課後、あて名のお子さんは、主にどのように過ごされていますか。
(時間帯ごとに、最も多いものをそれぞれ1つずつ選び、下の表に番号を記入)

放課後～17時	17～18時	18～19時	19時以降

← 《時間帯ごとに番号を記入してください。》

- | | | | |
|----|--------------------|-----|---------------------------------|
| 1. | 学校にいる | 7. | 公園などで女たちと遊んでいる |
| 2. | わいわい広場で遊んでいる | 8. | 公民館や図書館など公共の施設にいる (施設名:) |
| 3. | 留守家庭子ども会で過ごす | 9. | 地域の居場所 (子ども食堂や地域の学習会など) で過ごしている |
| 4. | 保護者や祖父母など家族・親族と過ごす | 10. | クラブ活動や地域活動 (子ども会活動やスポーツ活動) をする |
| 5. | 家でひとりで過ごす | 11. | 学習塾や習い事に行っている |
| 6. | 友だちの家にいる | 12. | その他 () |

問 31 お子さんは、通常、放課後に子どもだけ (きょうだい含む) で留守番をすることがありますか。
(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|------------|----------|----------|------------|
| 1. ある ⇒ | [1. 1時間以内 | 2. 1～2時間 | 3. 2～3時間 | 4. 3時間以上] |
| 2. ない | | | | |

問 32 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、外で遊びますか。
(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

《平日》

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 外で遊ばない | 5. 2時間以上～3時間未満 |
| 2. 30分未満 | 6. 3時間以上～4時間未満 |
| 3. 30分以上～1時間未満 | 7. 4時間以上～5時間未満 |
| 4. 1時間以上～2時間未満 | 8. 5時間以上 |

《休日》

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 外で遊ばない | 5. 2時間以上～3時間未満 |
| 2. 30分未満 | 6. 3時間以上～4時間未満 |
| 3. 30分以上～1時間未満 | 7. 4時間以上～5時間未満 |
| 4. 1時間以上～2時間未満 | 8. 5時間以上 |

問 33 お子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日する | 4. めったにしない |
| 2. 週に数回する | 5. まったくしない |
| 3. 月に数回する | |

問 34 お子さんの学校等での勉強の成績はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 成績良好 | 4. やや遅れている |
| 2. まあまあ良好 | 5. かなり遅れている |
| 3. 普通 | 6. わからない |

問 35 お子さんは次の経験がありますか。(それぞれについて、「あった」「なかった」「なかつた」のいずれかに○)
不登校 : 病気やケガ以外の理由でおおむね年間30日以上学校を欠席したこと
ひきこもり : おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

《最近1年間》		あった	なかった
(ア) 不登校	(イ) ひきこもり	1	2
		1	2

《小学校入学以降》

(ア) 不登校		あった	なかった
	(イ) ひきこもり	1	2
		1	2

問 36 お子さんは、平均すると1日どれくらいの間、テレビやDVD、動画などを見ていますか。スマホやタブレットを見たリゲームをしている時間も含みます。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

《平日》

1. 見ていない
2. 1時間未満
3. 1時間以上～2時間未満
4. 2時間以上～3時間未満
5. 3時間以上～4時間未満
6. 4時間以上～5時間未満
7. 5時間以上

《休日》

1. 見ていない
2. 1時間未満
3. 1時間以上～2時間未満
4. 2時間以上～3時間未満
5. 3時間以上～4時間未満
6. 4時間以上～5時間未満
7. 5時間以上

問 37 あて名のお子さんは、ご家庭でパソコンや携帯電話、スマートフォン、タブレットなどでインターネットを使っていますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問 38 あて名のお子さん自身は、携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの通信端末を持っていますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

遊び場や地域の子育て環境について

問 39 あて名のお子さんが遊ぶ場所として、近所にあたらよいと思うものは何ですか。(○は2つまで)

1. かくれんぼや冒険遊びができる原っぱや空き地
2. 木登りやどろんこ遊びができる場所
3. フランコやすべり台などの遊具のある公園
4. 野球やサッカーのできる場所
5. 自然が残され、虫や鳥がいる場所
6. 雨の日でも自由に遊べる場所
7. 絵を描いたり、工作、劇など家でできないことができる場所
8. その他 ()

問 40 お住まいの地域の子育て環境で不満なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 子どもにとって有害なものがあるなど、周りの生活環境が悪い
2. 通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い
3. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと
4. 公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない
5. 大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない
6. 学校が遠くて通学に不便
7. 昼間にあまり大人がいない
8. 近所に子どもが少ない
9. 地域に住民が集まるような場所がない
10. 隣近所とのつきあいがいい
11. その他 ()
12. 特に不満はない

問 41 過去1年間に、お子さんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。(○は3つまで)
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族旅行
2. 野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)
3. 図書館
4. 美術館
5. 博物館
6. 動物園・植物園
7. 映画館
8. 演劇・舞台
9. コンサート
10. 特になし

問 42 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特になしのような「体験」が不足していると思いますか。(○は3つまで)

1. 料理を作ったり食事の後片付けをしたりする
2. 子どもどうしで遊びやスポーツなどの活動をする
3. 大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する
4. お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術(竹細工、折紙等)や遊び(石けり、お手玉など)を習う
5. 自然の中でキャンプをするなど自給自足的な生活をする
6. 野山や公園などで草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする
7. 地域社会におけるボランティア活動に参加する
8. 商店や工場などで職場体験をする
9. 外国人との交流活動を行う
10. その他 ()
11. 特になし

問 43 過去1年間にあて名のお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館
2. 市民センター
3. 総合図書館・各区の市民図書館
4. 市民体育館、各区体育館、市民プール
5. 小中学校の校庭、体育館
6. 福岡市動物園・植物園
7. 福岡市博物館・アジア美術館
8. 中央児童会館あいくる
9. 福岡市科学館
10. その他 ()
11. 利用していない

子どもの数について

問 44 あなたにとって、理想的な子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。
(枠内に数字を記入)

《理想的な子どもの数》 人

《実際に予定している子どもの数》 人

問 44で、理想的な子どもの数よりも実際に予定している子どもの数が少ない方がいます。
問 44-1 その理由は何ですか。(○は2つまで)

1. 育児の身体的な負担が大きいためから
2. 育児の精神的な負担が大きいためから
3. 配偶者やパートナーが家事や育児にあまり協力してくれないから
4. 年齢的な理由で無理だから
5. 健康上の理由で無理だから
6. 自分自身のやりたいことができなくなるから
7. 住まいが狭いためから
8. 子どもを育てるのにお金がかかるから
9. 仕事ができない・続けにくいから
10. 教育に不安があるから
11. 社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから
12. 今いる子どもにも十分な愛情をかけてあげたいから
13. その他 ()
14. 特に理由はない

子ども・子育て支援について

問 45 あなたは、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(○は3つまで)

1. 子育てにかかる費用負担を軽減してほしい
2. 子どもや親子が安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作してほしい
3. 子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい
4. 地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい
5. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作してほしい
6. 専業主婦などだれでも気軽に利用できる保育サービス(小学生向け含む)がほしい
7. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
8. 多世代の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい
9. 就業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
10. 子育ての楽しさや大切さを広く世の中に知らせしてほしい
11. 子育てについて学べる機会を作してほしい
12. その他 ()
13. 特にない

◆ 最後に、福岡市の子ども施策に関する取り組みについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに投函してください。

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(中学生・高校生等の保護者の方)

ご記入に際してのお願い

※ ご回答いただいた内容は、福岡市の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、他の目的に利用することはありません。

- (1) **保護者の方**が記入してください。
- (2) **封筒のあて名のお子さんについて**お答え下さい。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**2月20日(水)まで**にご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- (6) 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともにお書きにならなくて結構です。
- (7) このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

問合せ先 福岡市子ども未来局こども部総務企画課
電話：711-4170 FAX：733-5534
担当：福井、徳久

お子さんとご家族の状況について

問1 お住まいの区はどこですか。(Oは1つ)

1. 東区 3. 中央区 5. 城南区 7. 西区
2. 博多区 4. 南区 6. 早良区

問2 あて名のお子さんの所属と性別について、選んでください。(Oは1つ)

- 《所属》 1. 中学生 4. 高等専門学校 7. その他
2. 高校生 5. 仕事をしている ()
3. 専門学校 6. 無職

- 《性別》 1. 男性 2. 女性 3. その他

問3 あて名のお子さんからみた同居の家族の人数は。(枠内に数字を記入)

 人家族 (あて名のお子さんを含む)

問4 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について選んでください。横線はあて名のお子さんからみた関係です。(あてはまるものすべてにO)

1. 父母同居 (単身赴任別居を含む) 5. 祖母同居
2. 父同居 (ひとり親家庭) 6. 祖父近居
3. 母同居 (ひとり親家庭) 7. 祖母近居
4. 祖父同居 8. その他 ()

問5 このアンケート調査の記入者はどなたですか。(Oは1つ)

1. 母親 3. 祖母 5. その他 ()
2. 父親 4. 祖父

問6 世帯の年収をお聞いします。(Oは1つ)

1. ～200万円未満 5. 500～700万円未満
2. 200～300万円未満 6. 700～1,000万円未満
3. 300～400万円未満 7. 1,000万円以上
4. 400～500万円未満

お子さんのことやしつけについて

問7 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか(食事時間を含みます)。(平日・休日のそれぞれOは1つずつ)

《平日》

1. ほとんどない 4. 3～4時間程度
2. 30分程度 5. 5～6時間程度
3. 1～2時間程度 6. 7時間以上

《休日》

1. ほとんどない 4. 3～4時間程度
2. 30分程度 5. 5～6時間程度
3. 1～2時間程度 6. 7時間以上

問8 あなたは、ご自分がお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思えますか。

(平日・休日・全体的にそれぞれOは1つずつ)

《平日》

1. 十分 2. まあ十分 3. やや不足している 4. まったく不足している

《休日》

1. 十分 2. まあ十分 3. やや不足している 4. まったく不足している

問9 あて名のお子さんは、あなたやあなたの配偶者と日ごろよく話をしますか。(Oは1つ)

1. あなたにも配偶者にもよく話をする
2. あなたにはよく話をする(配偶者はいない)
3. あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない
4. 配偶者にはよく話をするが、あなたにはあまりしない
5. 配偶者にもあなたにもあまり話をしない
6. あなたにもあまり話をしない(配偶者はいない)
7. その他 ()

問9で「3」～「6」のいずれかにOをつけた方にうかがいます。

問9-1 お子さんが、あなたや配偶者の方とあまり話をしない理由は何か。(Oは2つまで)

1. 親が忙しすぎて話す機会がないから
2. 子どもが忙しすぎて話す機会がないから
3. 共通の話題がないから
4. 子どもがうるさいから
5. 親に話してもわかってもらえないと思っている
6. とくに話すことがないから
7. 家族でいっしょに過ごすことがないから
8. その他 ()

問 10 あて名のお子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ（態度）はどのようなにされていますか。

（ア）～（キ）について、それぞれ○は1つずつ

	いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない
（ア）子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまおうほうだ	1	2	3
（イ）子どもについてなんでもすぐに口を出すほうだ	1	2	3
（ウ）子どもにあまやかままってやれないほうだ	1	2	3
（エ）時と場合によっては子どもにも言うことがある	1	2	3
（オ）だいたいの子どもは言ひなりになっているほうだ	1	2	3
（カ）体罰をすることがある	1	2	3
（キ）子どものことを分かっているほうだ	1	2	3

問 11 家庭でのお子さんへの体罰について、あてはまる考えを選んでください。（○は1つ）

1. しつけのためには体罰は必要だと思ふ
2. 多少の体罰はやむをえない
3. 程度に関わらず体罰はよくないと思ふ
4. わからない

問 12 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末を持たせていますか。（○は1つ）

1. 持たせている
2. 持たせていない

問 12で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 12-1 あて名のお子さんは、携帯電話やスマートフォンやパソコンなどをどのような目的で使うことが多いですか。ご存知の範囲でお答えください。（○は3つまで）

1. 家族とメールやSNS (LINE, Facebook, twitter など)、通話をする
2. 友達とメールやSNS (LINE, Facebook, twitter など)、通話をする
3. ゲームをする
4. 音楽を聴く、または動画を見る
5. インターネットをする
6. 写真を撮る
7. 日記や手帳などメモとして
8. ワンセグでテレビを見る
9. その他 ()

すべての方にうかがいます。

問 13 あて名のお子さんは、インターネットを主にどのような目的で使用することが多いですか。ご存知の範囲でお答えください。（○は3つまで）

1. 勉強、授業、進路（就職状況、進学情報）のことを調べる
2. 趣味、遊びに関することを調べる
3. ネットショッピングをする
4. SNS (LINE, Facebook, twitter など) やブログ・掲示板などを読んだり書き込んだりする
5. その他 ()

問 14 あて名のお子さんは、平日1日あたりどれくらいインターネットやSNS (LINE, Facebook, twitter など) を使用していますか。ご存知の範囲でお答えください。（○は1つ）

《お子さんのインターネットやSNSの使用時間》

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上4時間未満
6. 4時間以上
7. 使っていない
8. 分からない

あて名のお子さんは、インターネットやSNS (LINE, Facebook, twitter など) を使っていて以下のようなことを経験したことはありますか。ご存知の範囲でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

《お子さんのインターネットやSNS上での経験》

1. 悪口やいやがらせのメッセージ等を送られたり、書き込みをされたことがある
2. 悪口やいやがらせのメッセージ等を送ったり、書き込みをしたことがある
3. 他人が閲覧できる掲示板等で、自分や他人の情報（名前、写真、メールアドレスなど）を書き込んだことがある
4. 親に話にくいサイトを見たことがある
5. ゲームやアプリでお金を使いすぎたことがある
6. 自分が知らない人やお店などからメッセージ等がきたことがある
7. 迷惑メール等が送られてきたことがある
8. インターネットで知り合った人とメッセージ等のやりとりをしたことがある
9. インターネットで知り合った同性と会ったことがある
10. インターネットで知り合った異性と会ったことがある
11. インターネットにのめり込んで勉強に集中できなくなったり睡眠不足になったりしたことがある
12. その他困ったことがある（具体的に：)
13. あてはまるものはない
14. 分からない

問 15 あなたの家では、インターネットやSNS (LINE、Facebook、twitter など)、メールの使い方について何かルールがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用時間を決めている
2. 利用場所を決めている
3. メールやメッセージを送る相手を制限している
4. 利用するサイトやアプリの内容を決めている
5. 他人を誹謗中傷する書き込みをしないなど送信・投稿する内容を決めている
6. パスワードなどの利用者情報が漏れないようにしている
7. ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている
8. 困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている
9. その他 ()
10. 特にルールを決めていない
11. 分からない

問 16 あなた(回答している保護者様)は、青少年に不適切なサイト(出会い系やアダルトサイトなど)やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校の保護者会やPTAなどで説明を受けた
2. 学校から配布された啓発資料などで知った
3. 国・地方公共団体や民間団体が行う講座に参加して教えてもらった
4. 機器の購入時に販売員に説明してもらった
5. 機器の購入時に資料をもらった
6. 友人から教えてもらった
7. テレビや本・パンフレットなどで知った
8. インターネットで知った
9. その他 ()
10. 特に学んだことはない
11. 分からない

問 17 あなたはあて名のお子さんのしつけや教育について、何か悩みや心配ことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない
2. 子どものしつけや教育に自信がもてない
3. 子どものしつけや教育についての相談相手がいらない
4. 配偶者があまり協力してくれない
5. 子どもが勉強しない
6. 子どもの進学や受験又は就職のこと
7. 子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない
8. 子どもの生活態度に意欲が感じられない
9. 子どもの友人関係がよくない
10. 子どもの不登校・子どものひきこもり
11. 子どもの身体や発育、病気のこと
12. 子どもの非行や問題行動
13. 子育てで出費がかさむこと
14. その他 ()
15. 特にない

問 18 あなたがあて名のお子さんのしつけや教育について、悩みや心配ごとを相談したり、参考にしたりしているものは誰(何)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者やパートナー
2. その他の親族(祖、きょうだいなど)
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 職場の人
6. 学校等の保護者仲間
7. 学校の先生等
8. 区保健福祉センター(保健所、福祉事務所)
9. 病院
10. 警察署、交番
11. 民生委員、児童委員、主任児童委員
12. こども総合相談センター(えがお館)
13. 電話相談など
14. 新聞、雑誌、書籍、テレビ、ラジオ、インターネット、SNS
15. その他 ()
16. 誰にも相談しない
17. 相談するようなことはない

問 19 お子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日する
2. 週に数回する
3. 月に数回する
4. めったにしない
5. まったくしない

問 20 お子さんの学校等での勉強の成績はいかがですか。(○は1つ)

1. 成績良好
2. どちらかといえば良好
3. 普通
4. どちらかといえば遅れている
5. 遅れている
6. わからない

問 21 お子さんは次の経験がありますか。(それぞれについて、「あった」「なかった」のいずれかに○)
不登校 : 病気やケガ以外の理由でおおむね年間30日以上学校を欠席したこと
ひきこもり : おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

《最近1年間》

	あった	なかった
(ア) 不登校	1	2
(イ) ひきこもり	1	2

《小学校入学以降》

	あった	なかった
(ア) 不登校	1	2
(イ) ひきこもり	1	2

地域について

問 22 あなたと地域の子ども達のかかわりについておたずねします。あなたは、ふだん地域の子ども達に
 対して、次のようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 道で会ったとき声をかけたりあいさつをしたりしている
2. 子ども会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている
3. お年寄りやからだの不自由な人との交流を支援している
4. 運動やスポーツの指導などをしている
5. 言葉遣いや態度が悪かったりしたら注意している
6. 悪いことをしているのに気づいたとき注意したりしかりしている
7. 困っているときや悩んでいるときに相談にのっている
8. その他 ()
9. 地域の子どもたちとの関わりはない

問 23 お住まいの子育て環境について、不満がある場合、あなたの考えに近いものを選んでください。
 (○は2つまで)

1. 子どもにとって有害なものがあるなど周りの生活環境が悪い
2. 通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い
3. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと
4. 公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない
5. 大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない
6. 学校が遠くて通学に不便
7. 昼間にあまり大人がいない
8. 近所に子どもが少くない
9. 地域に住民が集まるような場所がない
10. 隣近所とのつきあいがいい
11. その他 ()
12. 特に不満はない

問 24 あなたは、今の子どもたちは健全に育っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない



問 25 あなたは、子どもたちが健全に成長していくためには、あなたの地域ではどのようなことが必要だと
思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の人々が日常的に集まり話し合える場所
2. 地域の子どもの見守り育む取組の充実
3. 地域の人々が参加している団体グループの活性化
4. 悩みごとなどを相談する人や機関の充実
5. ボランティアなどの青少年活動に関する情報の提供
6. 青少年団体の育成や指導者の養成
7. 地域全体の行事やイベントの活性化
8. 子どもたちの海外派遣や外国の子どもたちへの受け入れなどの体制の充実
9. 学校施設の開放や学校活動への地域の人々の参加
10. 子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実
11. 子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実
12. ポールノ雑誌、アダルトビデオなど青少年に有害な社会環境の改善
13. その他 ()

問 26 過去1年間に、お子さんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。(○は3つまで)

1. 家族旅行
2. 野外活動 (キャンプ、山登り、海水浴等)
3. 図書館
4. 美術館
5. 博物館
6. 動物園・植物園
7. 映画館
8. 演劇・舞台
9. コンサート
10. 特になし

問 27 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特
どのような「体験」が不足していると思いますか。(○は3つまで)

1. 料理を作ったり食事の後片付けをしたりする
2. 子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする
3. 大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する
4. お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術 (竹細工、折紙等) や遊び (石けり、お手玉
など) を習う
5. 自然の中でキャンプをするなど自給自足的な生活をする
6. 野山や公園などで草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする
7. 地域社会におけるボランティア活動に参加する
8. 商店や工場などで職場体験をする
9. 外国人との交流活動を行う
10. その他 ()
11. 特になし

問 28 過去1年間にお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館
2. 市民センター
3. 総合図書館、各区の市民図書館
4. 市民体育館、各区体育館、市民プール
5. 小中学校の校庭、体育館
6. 福岡市動物園・植物園
7. 福岡市博物館・アジア美術館
8. 中央児童会館あいくる
9. 福岡市科学館
10. その他 ()
11. 利用していない

保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・・・・・・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・・フルタイム以外

問 29 あなたの就労状況について選んでください。(○は1つ)

1. フルタイムで就労している
2. パート・アルバイト等で就労している
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない
4. これまで就労したことがない

問 29で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問 29-1 平均的な帰宅時刻について選んでください。(○は1つ)

1. 午後3時よりも前
2. 午後3時ごろ
3. 午後4時ごろ
4. 午後5時ごろ
5. 午後6時ごろ
6. 午後7時ごろ
7. 午後8時ごろ
8. 午後9時ごろ
9. 午後10時ごろ
10. 午後11時ごろ
11. 午後11時よりも後

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。アンケートは貼らずに投函してください。

子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書
【乳幼児・小学生・中高生等の保護者】

令和元年9月

発行 福岡市 こども未来局

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

TEL (092) 711-4170

FAX (092) 733-5534